SYLLABUS

【授業の概要と授業計画2024】

九州情報大学



九州情報大学の三つのポリシー

「ビジネス DX 社会をリードする創造的エキスパートを養成する」

loT (Internet of Things) や AI (人工知能) などのデジタル技術が飛躍的な発展を遂げています。未来の社会では、すべての人とモノがつながり、われわれが抱えている課題や困難が克服されるとともに、新しい価値が生み出され、ひとりひとりのライフスタイルだけでなく社会全体の変革(イノベーション)が到来するだろうと考えられています(Society 50)。

企業の活動においても、これら先進的な新しいテクノロジーを活用して、ビッグデータを 集めて分析し、業績向上に生かしていくだけでなく、斬新で画期的な製品やサービス、そし て新時代のビジネスモデルを創造していくことが求められています。

九州情報大学の責務は、建学の精神「至心」、「報恩感謝・慈愛と奉仕」、「容(かたち)は心を呼び、心は容を呼ぶ」を進んで実践しようとする豊かな人間性を備えた社会人を養成することであるとともに、来るべきビジネス DX 社会をリードしていく創造的エキスパートを世に輩出することを通じて、時代の要請に即応していくことにあります。こうした'全人格的人間'を養成するために、建学の精神と学則第 1 条・第 3 条(教育・研究上の目的)に基づいて、以下のとおり三つのポリシーと学習成果(Student Learning Outcomes)を定めます。

※DX (デジタルトランスフォーメーション) 「情報技術の浸透が、人々の生活をあらゆる 面でより良い方向に変化させる」という見方。

■■ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

本学は以下に示す方針の通り、学則および諸規程が定める基準に達し、併せて学士として ふさわしい力(「学士力」1.知識・理解 2.汎用的技能 3. 態度・志向性 4.統合的な学習経 験と創造的思考力)を修得したと認められる学生に対して「学士(経営情報学)」の学位を 授与します。

- Ⅰ 必修科目の単位を含めて 124 単位以上を修得していること。
- 学習の成果を卒業研究(またはこれと同等と認められるもの)によって示すことができること。
- Ⅲ 建学の精神を理解し自ら進んで実践しようとする姿勢を備えるとともに、社会人として必要な態度・志向性を修得していると認められること。
- IV 経営情報学と関連する諸分野について基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて専門的知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。

特にICT(情報通信技術)、数理・データサイエンス・AIに関する専門的理解と汎用的技能を修得していると認められること。

V 社会の様々な事象に対応できる複眼的な知識・理解や汎用的技能を獲得し、それらを総合的に活用して、自らが立てた新たな課題に適用させることにより、その課題を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得していると認められること。





■■カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

経営情報の高度で専門的な知識・技能を修め、建学の精神に基づく豊かな人間性を備えたマネージメントエキスパート・デジタルエキスパートを養成するために、本学の教育課程は次のような特色の2つの科目群から構成されています。それは、幅広い教養と人格を陶冶するための「基礎総合科目」、そして経営情報学の諸分野を体系的に学ぶための「専門教育科目」です。2つの科目群は基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて体系的に学べるように設定されており、学則、諸規程、そしてディプロマポリシーと以下に示す方針に従って編成され実施されます。

なお学生の成績は、卒業までに修得してほしい「学士力」(1.知識・理解 2.汎用的技能 3. 態度・志向性 4. 統合的な学習経験と創造的思考力)のそれぞれの観点から評価されます。

 建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。

 建学の精神に基づいた全人格的教育を行います。そのために人間性を高め、感性を豊かにすることを目的とした科目や少人数教育を通じて社会的協調性を体得させるための科目(「建学の精神と人生」、「コミュニケーションと自己発見 I・II」、ゼミ・演習科目

■ マネージメントと ICT の諸分野に関して、基礎・応用・発展に応じて専門的知識・理解と汎用的技能を修得させること。

そのために、年次に応じて様々な「専門教育科目」(経営・会計、情報、国際ビジネス、ネットワーク、データサイエンスの各科目群)やゼミ・演習科目を体系的に設定します。

Ⅲ 社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。

社会の様々な事象に対応できる複眼的な知識・理解や汎用的技能を修得した有為な社会人を養成するために、「基礎総合科目」(人文・社会・自然科学、語学、スポーツ健康科学の各科目群)および「専門教育科目」の中に多様な科目を設定します。

IV 主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得させること。

など)を設定します。

能動型学習(アクティブラーニング)を積極的にすることにより、学生が自分で課題を設定し、様々な学習経験を統合させて、その解決に取り組むことができるような主体的で創造的な思考力・実践力を養います。特に、そのための科目としてゼミ・演習科目などを設定します。



Ⅴ 基礎学力・技能を確認・強化すること。

学生が主体的な学びの力をなるべく早く体得できるように、コミュニケーションや学びのスキルのための初年次科目を設定します(「コミュニケーションと自己発見 I・II」など)。また基礎学力を確認・強化するための科目、ICT リテラシーを修得するための科目を設定します(「情報リテラシー演習 I・II」、「コンピューター実務演習 I・II」など)。

Ⅵ キャリア開発の技能を培い、将来の進路に備えること。

学生が卒業後の進路を自ら考え、切り開いていけるように初年次からキャリア教育科目を設定します。就活支援などの学生のニーズに応じた科目、地域の経営者団体と提携して行う産学連携の実際的な科目を設定します(「キャリアデザイン入門 [・ II」、「キャリアデザイン I・ II」など)。



■■アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

本学が養成しようとする人材は、経営情報の高度で専門的な知識・技能を修め、建学の精神「至心」を進んで実践しようとする豊かな人間性を備えたマネージメントエキスパート・デジタルエキスパートです。この基本的理念に基づき、経営情報学科、情報ネットワーク学科共通で、以下の方針に従って入学者を受入れます。

፤ 建学の精神を理解し、実践しようとする意欲を持っていること。

本学建学の精神「至心」を理解し、実践しようとする意欲があり、勉学に進んで取り組み、そして進取の精神に溢れた者を求めます。

Ⅱ 経営情報の分野に関心を持ち、学ぶ意欲があること。

経営情報の諸分野に関心を持ち、知識や技能を身につけ、深めていこうとする意欲がある者、特に経営情報の諸分野に関する検定試験や資格取得に積極的に取り組む意欲がある者を求めます。

Ⅲ 基礎的な学力を身につけていること。

大学で学ぶにあたって必要とされる学力(学校教育法第 30 条の第 2 項による学力の三要素)

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
- (3) 主体的に学習に取り組む態度

を入学までに修得している者を求めます。

広範な知識・技能を体得し、社会の発展のために積極的に参画していく気概がある者を求めます。

▼ 上記の方針に基づき、本学では下記の入学試験を実施して多様な学生を受け入れます (本学の入学試験の詳細については「九州情報大学入試概要」をご覧ください)。

○学校推薦型選抜(特別推薦•一般推薦)

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性 (コミュニケーション能力、独創性、積極性等)などを出身高等学校長による調査書と推薦 書および面接(ロ頭プレゼンテーション含む)、自己 PR 作文と小論文(一般推薦のみ)に



基づいて総合的に選考します。

○総合型選抜

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性 (コミュニケーション能力、独創性、積極性等)などを受験生が作成したエントリーシート やインタビュー及び出身高等学校長による調査書を参考にして、面接(ロ頭プレゼンテーション含む)に基づいて総合的に選考します。

本学の総合型選抜が求める学生像は次の三点です

- ① 「経営・会計・情報」に強い関心を持つ者
- ② 企業家を目指す者や家業を継ぐ予定の者
- ③ 部活動(運動・文化)、課外活動(ボランティア等)、資格・検定の取得に熱心に取り組んだ者

〇スポーツ奨学生選抜

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験(実績)、関心、目標、適性(コミュニケーション能力、独創性、積極性等)などを受験生が作成したエントリーシートやインタビュー及び出身高等学校長による調査書を参考にして、面接(ロ頭プレゼンテーション含む)に基づいて総合的に選考します。

〇一般選抜

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、出身高等学校長による調査書、 自己 PR 作文および高等学校までに修得した基礎学力を筆記試験に基づいて総合的に選考 します。本学の一般入試の試験科目については「九州情報大学入試要項」をご覧ください。

○大学入学共通テスト利用選抜

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、出身高等学校長による調査書、 自己 PR 作文および高等学校までに修得した基礎学力を大学入学共通テストの得点に基づいて総合的に選考します。

○外国人留学生選抜

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性 (コミュニケーション能力、独創性、積極性等)などを受験生が作成した日本語作文(総合型選抜の場合は、エントリーシートやインタビューを含む)及び出身学校からの日本語能力等に関する証明書を参考にして、面接と日本留学試験(総合型選抜の場合は本学指定の試験)の成績に基づいて総合的に選考します。



〇社会人選抜

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性 (コミュニケーション能力、独創性、積極性等)などを受験生が作成した志願理由書(総合型選抜の場合は、エントリーシートやインタビュー)を参考にして、面接、小論文に基づいて総合的に選考します。

〇編入学選抜

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性 (コミュニケーション能力、独創性、積極性等)などを(指定校推薦の場合は、出身学校長の推薦書)を参考にして、面接(ロ頭プレゼンテーション含む)と小論文(一般のみ)に基づいて総合的に選考します。

VI 本学が指定する「入学前学習」を指示に従って最後まで履行できること。

入学予定者に対しては、大学で学ぶにあたって必要と思われる基礎学力を確認・強化する ために、課題や必要に応じて入学前のスクーリング等を課します。入学予定者は本学の指示 に必ず従ってください。

経営情報学科の三つのポリシー

■■■ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

経営情報学科は、マネージメントにかかわる広範で多様な領域について高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得し、ICT(情報通信技術)も駆使できる新時代にふさわしい 創造的なマネージメントエキスパートを養成することを目指しています。

この目標を達成するために経営情報学科は、大学が定めるディプロマポリシーの基準に達し、併せて次の要件を備えた学生に対して卒業を認定し、「学士(経営情報学)」の学位を授与します。

- I 経営情報学と関連する諸分野について、高度で専門的な知識・理解を修得していると認められること。
- 経営学の諸分野および会計学の諸分野について、高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。
- Ⅲ ビジネス社会で必要とされる ICT の諸分野について、専門的な知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。
- Ⅳ ビジネス社会で必要とされる数理・データサイエンス・AI について、基礎的な知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。
- ▼ ビジネス社会の様々な問題に対応できる統合的な学習経験を修得するとともに、諸課題を自ら設定して解決しようとする主体的で積極的な態度・志向性と創造的思考力を修得していると認められること。





■■カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

経営情報学科は、マネージメントにかかわる広範で多様な領域について高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得し、ICT(情報通信技術)も駆使できる創造的なマネージメントエキスパートを養成することを目指しています。

この目標を達成するために経営情報学科は、大学が定めるカリキュラムポリシーに基づき、以下の方針に沿って教育課程を編成し実施します。

- I 経営情報に関する概念、理論、方法等を修得する基幹的科目として「経営情報学 I・Ⅱ」を設定します。
- 経営の概念や理論全般をはじめとして、労務・財務・生産部門の知識と理論、流通や商業およびベンチャーや経営戦略に関する知識と理論、会計の概念や理論、簿記の技能等について、基礎・応用・発展の各段階に応じて体系的に学ぶことができる科目を年次に応じて設定します。またインターネットを駆使したビジネスのあり方などアップデートなテーマを扱った科目も設定します。
- Ⅲ ICT 理論・技術全般、プログラミング、ネットワーク、インターネット、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI、マルチメディアなどの諸分野について、基礎レベルを中心に学ぶことのできる科目を設定します。
- Ⅳ ビジネス社会で必要とされる税法・会社法・知的所有権など法律にかかわる科目、国際経済や国際経営など国際ビジネスにかかわる科目、ビジネスで必要な英語などを学ぶ科目を設定します。

■■アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

経営情報学科は、経営学を中心とする経営情報分野の全般にわたって高度で専門的な知識・技能を備えたマネージメントエキスパートを養成することを目指しています。この目標を達成するために経営情報学科は、大学が定めるアドミッションポリシーに基づき、以下のような意欲・目標を持った入学者を求めます。

- I ビジネス・マネジメント全般にわたって関心がある者
- Ⅱ ICT(情報通信技術)全般にわたって関心がある者
- Ⅲ 経営情報関連の検定試験に意欲的に取り組める者
- Ⅳ 学習の目的と将来の進路について意識を持っている者





情報ネットワーク学科の三つのポリシー

■■■ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

情報ネットワーク学科は、ICT(情報通信技術)や数理・データサイエンス・AI(人工知能)の高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得し、それらをマネージメントの分野で発揮できる新時代にふさわしい創造的なデジタルエキスパートを養成することを目指しています。

この目標を達成するために情報ネットワーク学科は、大学が定めるディプロマポリシーの基準に達し、併せて次の要件を備えた学生に対して卒業を認定し、「学士(経営情報学)」の学位を授与します。

- I 経営情報学と関連する諸分野について、高度で専門的な知識・理解を修得していると認められること。
- ICT 理論・技術、プログラミング、ネットワーク、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI の諸分野について高度で専門的な知識・理解および汎用的技能を修得していると認められること。
- Ⅲ 経営学と関連する諸分野について、専門的な知識・理解と汎用的技能を修得していると 認められること。
- IV ICT 社会の様々な問題に対応できる統合的な学習経験を修得するとともに、諸課題を 自ら設定して解決しようとする主体的で積極的な態度・志向性と創造的思考力を修得し ていると認められること。

■■カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

情報ネットワーク学科は、ICT(情報通信技術)や数理・データサイエンス・AI(人工知能)の高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得し、それらをマネージメントの分野で発揮できる新時代にふさわしい創造的なデジタルエキスパートを養成することを目指しています。

この目標を達成するために情報ネットワーク学科は、大学が定めるカリキュラムポリシーに基づき、以下の方針に沿って教育課程を編成し、実施します。

- Ⅰ 経営情報に関する概念、理論、方法等を修得する基幹的科目として「経営情報学 I・II」を設定します。
- Ⅱ ICT 理論・技術全般、プログラミング、ネットワーク、インターネット、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI、マルチメディアなどの諸分野について、基礎・応用・発展に応じて体系的に学ぶことのできる科目を設定します。
- Ⅲ 経営学と関連する諸分野の基礎的概念や理論、会計学、簿記、マーケティング、法律などの分野に関して必要な科目を設定します。





■■■アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

情報ネットワーク学科は、ICT(情報通信技術)を中心とする経営情報分野の全般にわたって高度で専門的な知識・技術を備えたデジタルエキスパートを養成することを目指しています。この目標を達成するために情報ネットワーク学科は、大学が定めるアドミッションポリシーに基づき、以下のような意欲・目標を持った入学者を求めます。

- I ICT (情報通信技術) 全般にわたって関心がある者
- Ⅱ ビジネス・マネジメント全般にわたって関心がある者
- Ⅲ 経営情報関連の検定試験に意欲的に取り組める者
- Ⅳ 学習の目的と将来の進路について意識を持っている者



〇九州情報大学経営情報学部の「学習成果」(Student Learning Outcomes)

九州情報大学は、ビジネス DX 社会をリードしていく創造的なマネージメントエキスパート・デジタルエキスパートを養成するために、建学の精神、教育・研究上の目的(学則第1条・第3条)に基づいて、下記のとおり学習成果を定めます。

なお学習成果は、学士としてふさわしい力(「学士力」1.知識・理解 2.汎用的技能 3. 態度・志向性 4.統合的な学習経験と創造的思考力)のそれぞれの観点から測定・評価されます。

1.知識 • 理解

- ・基礎総合科目の学習をとおして、多様な社会、文化のあり方について知識・理解を修得している。
- ・専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、経営情報学と関連する諸分野にかかわる基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて専門的知識・理解を修得している。さらに以下の事項が求められる。
 - ・大学が定めるレベルの数理・データサイエンス・AI に関する専門的な知識・理解を 修得している。
 - ・IT パスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。

2.汎用的技能

- •ICT 関連科目の学習をとおして、マネージメント分野だけでなく社会の多様な場面において、ICT を駆使して対応できる高度で専門的な技能を修得している。
- ・ゼミ・演習科目の学習をとおして、クラスの中で討論やプレゼンテーションを行うことにより、コミュニケーションスキルや論理的思考、問題解決力を修得している。

3.態度・志向性

- ・1年次必修科目「建学の精神と人生」の学習をとおして、建学の精神を理解し、進んで実践しようとする姿勢を身に付けている。
- •「建学の精神と人生」をはじめとする「基礎総合科目」やゼミ・演習科目の学習をとおして、ひとりの市民として責任感と倫理観をもって社会に参画できる態度・志向性を有している。
- 「コミュニケーションと自己発見 I ・ II 」のクラスやゼミ・演習クラスにおける共同行動



等をとおして、チームワークや自己管理の重要性を認識し、社会人としての責任を果たす ために必要な倫理観を身に付けている。

4.統合的な学習経験と創造的思考力

・大学における学習経験を専門的、体系的に統合し、創造的な発想に基づく卒業研究(またはこれと同等と認められるもの)を示すことができる。

〇経営情報学科の「学習成果」(Student Learning Outcomes)

ビジネス DX 社会をリードしていく創造的なマネージメントエキスパートを養成するために、学部の学習成果に基づいて、経営情報学科の学習成果を以下のとおり定めます。

1.知識•理解

- ・専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、経営学と関連する諸分野の基礎・応用・ 発展のそれぞれの段階に応じて専門的な知識・理解を修得している。
- ・マネージメントとICTの連関について高度で専門的な知識・理解を修得している。
- IT パスポート合格と同等の専門的な知識 理解を修得している。
- ・数理・データサイエンス・AI に関するリテラシーレベルの専門的な知識・理解を修得している。

2.汎用的技能

- ・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会の多様な場面に対応できるマネージメント技能、ICT 技能を修得している。
- 簿記関連科目の学習をとおして、簿記に関する一定の水準の技能を修得している。

3.態度・志向性

- ・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、実地の空間のみならずオンライン上の空間においても他者と円滑にコミュニケーションを図り、社会の一員としての責任感、倫理観をもってふるまうことができる態度や志向性を身に付けている。
- ・専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会における自己の役割



を自覚し、マネージメントの高度に専門的な知識・理解を生かして、諸課題に対応しようとする態度・志向性を身に付けている。

4.統合的な学習経験と創造的思考力

・ゼミ・演習科目の学習をとおして、マネージメントと ICT に関連する学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究(またはこれと同等と認められるもの)によって示すことができる。

〇情報ネットワーク学科の学習成果(Student Learning Outcomes)

ビジネス DX 社会をリードしていく創造的なデジタルエキスパートを養成するために、 学部の学習成果に基づいて、情報ネットワーク学科の学習成果を以下のとおり定めます。

1.知識•理解

- ・ICT 理論・技術、プログラミング、ネットワーク、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI の諸分野等について基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて高度で専門的な知識・理解を修得している。
- ICT とマネージメントの連関について専門的な知識・理解を修得している。
- ・IT パスポート合格と同等、あるいはそれ以上の高度で専門的な知識・理解を修得している。
- ・数理・データサイエンス・AI に関するリテラシーレベルの専門的な知識・理解を修得している。さらに応用基礎レベルの知識・理解を修得していることが望ましい。

2.汎用的技能

・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会の様々な場面に対応 できる汎用的な ICT を修得している。

特にネットワーク、情報セキュリティ、プログラミング、データサイエンス、AI 等について高度で専門的な技能を修得している。

3.態度・志向性

•基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、実地の空間のみならずオンライン上の空



間においても他者と円滑にコミュニケーションを図り、社会の一員としての責任感、倫理 観をもってふるまうことができる態度や志向性を身に付けている。

・専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会における自己の役割を自覚し、ICT の高度に専門的な知識・理解を生かして、諸課題に対応しようとする態度・志向性を身に付けている。

4.統合的な学習経験と創造的思考力

・ゼミ・演習科目の学習をとおして、ICT を中心とする学習経験を集成させて独自の学習の 方向性を設定し、卒業研究(またはこれと同等と認められるもの)によって示すことがで きる。



1. 2024(令和6)年度 学年暦

	行 事	期 日	備考
	入 学 式	4月 1日(月)	
	新入生オリエンテーション		
	在学生オリエンテーション	2日(火)	外国人留学生オリエンテーション、
			iパス表彰・DS修了授与式含む
	4 年 生 履 修 登 録 期 間	2日(火) ~ 5日(金)	
	新 入 生 合 宿	3日(水) ~ 4日(木)	
	新入生オリエンテーション	5日(金)	AM プレテスト、PM PCセットアップ
前	新入生教務履修指導	8日(月)	
"	授 業 開 始	9日(火)	【補講日】
	前期履修登録期間	9日(火) ~15日(月)	①5/18(土),②6/22(土),③7/25(木)
期	昭 和 の 日	29日(月)	通常授業
"	開 学 記 念 日	5月 27日(月)	通常授業
	学 生 総 会	29日(水)	短縮授業(70分)
	i パス kiis コンテスト	7月 3日(水)	PM 定期試験前オリエンテーション
	月曜日の授業	23日(火)	※月曜日の時間割
	前期授業終了	29日(月)	
	定期試験期間	30日(火) ~ 8月 7日(水)	8/6(火)、7(水) 予備日
	夏 季 休 業	8月 8日(木) ~ 9月23日(月)	
	追 再 試 験 	28日(水) ~ 30日(金)	
	在学生オリエンテーション	9月 24日(火)	iパス表彰・DS修了授与式含む
	授 業 開 始	25日(水)	【補講日】
	後期履修登録期間	25日(水) ~ 10月 1日(火)	①11/9(土),②12/14(土),③12/24(火)
	学 園 祭	11月 2日(土) ~ 3日(日)	11/1(金)準備・短縮授業(70分)
	i パス ki is コンテスト	12月18日(水)	PM 定期試験前オリエンテーション
後	冬 季 休 業	25日(水) ~ 1月5日(日)	
	授 業 開 始	1月 6日(月)	
	休 講 日	17日(金)	
期	月曜日の授業	23日(木)	※月曜日の時間割
	後期授業終了	27日(月)	
	定期試験期間	28日(火) ~ 2月5日(水)	2/4(火)、5(水) 予備日
	追 再 試 験	2月 18日(火) ~ 20日(木)	
	学 位 記 授 与 式	3月 18日(火)	
	春 季 休 業	25日(火) ~ 31日(月)	

	【前期	1)																			
		4 <i>J</i> F	1		5月						6	月				7月			8.	月	授業コマ数
月		15	22	29			13	20	27	3	10	17	24	1	8		22	29		5	16
火	9	16	23	30		7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	*23	30		6	16
水	10	17	24		1	8	15	22	29	5	12	19	26		10	17	24	31		7	16
木	11	18	25		2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	補		1		16
金	12	19	26			10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26		2		16
±							補					揮									
※前期 定期試験期間=7月30日(火)~8月7日(水)(予備日を含む) ※7月23日(火)は、月曜日の授業を実施																					

	【後其	A)																				
	9 <i>F</i>		10月				11月					12	月		1月				2月	授業コマ数		
月		30		7		21	28			11	18	25	2	9	16	23	6		20	27	3	16
火			1	8	15	22	29		5	12	19	26	3	10	17	補	7	14	21	28	4	16
水	25		2	9	16	23	30		6	13	20	27	4	11			8	15	22	29	5	16
木	26		3	10	17	24	31		7	14	21	28	5	12	19		9	16	 23	30		16
金																						
±									補					補								
※後	※後期 定期試験期間=1月28日(火)~2月5日(水) (予備日を含む) ※1月23日(木)は、月曜日の授業を実施											目曜日の授業を実施										

九州情報大学 履修案内

1. はじめに

履修とは「決められた学科などを習い修めること」です。大学では、必ず履修しなければならない授業科目(必修科目・選択必修科目)と履修したい授業科目(選択科目)を、自分自身で選択して教務課に届け出なければなりません。学生全員の届け出が終了した後でこれを集計し、授業科目ごとの名簿が作成されます。この一連の手続きを履修登録といい、この履修登録が正しくされないと、卒業にも重大な影響が出てきます。従って履修登録は慎重に行ってください。

本学では1年間を前期と後期の2学期に分けて授業を行います。各学期の1授業科目の授業回数は、15回です。授業は講義・演習、実験・実習および実技などの形態で行われ、各学期または年1回の定期試験の後、60点以上の評価であれば所定の単位を与えます。4年以上在学して、学則第23条別表第Iおよび別表第IIに定めるところにより所定の授業科目を履修し、合計124単位以上を修得した者を卒業と認め「学士(経営情報学)」の学位を授与します。

以下では、「九州情報大学学則(以下「学則」といいます。)」および「九州情報大学授業科目履修規程(以下「履修規程」といいます。)に沿って履修登録から卒業までの学習に関することがらについて、順を追って説明します。また、学則や履修規程は、改正されることがありますが、<u>卒業要件は、原則として入学時の規定が適用されます。従って、入学時に配布する学生便覧は、卒業するまで大切に保管してください。</u>

2. 教育課程

本学の授業科目は、「基礎総合科目」、「専門教育科目」および「教職に関する科目」に分けて編成されています。教職課程科目(「教職に関する科目」を含む)については、別冊「教職課程の手引き」で詳細に説明していますので、ここでは、学則第23条別表第Iおよび別表第IIに定める授業科目(「基礎総合科目」、「専門教育科目」)について説明します。開設する授業科目、必修・選択の別、単位数などはこの別表第Iおよび別表第IIに示されています。卒業するためには、別表第Iおよび別表第IIの教育課程表に従って授業科目を履修し、124単位以上を修得しなければなりません。履修規程別表Iおよび別表IIでは、学則別表第Iおよび別表第IIの教育課程表を各学年別に整理して揚げていますが、この履修案内では、入学年度別に分けて「授業科目一覧」を揚げています。履修登録時の参考にしてください。単位計算の基準は次のとおりです。

区分	授業時間	単位
講義・演習	1 コマ/週×15 週	2 単位
ゼミ・演習	1 コマ/週×30 週	4 単位
実 習	1 コマ/週×30 週	2 単位
(実習	1 コマ/週×15 週	1 単位)
実 技	1 コマ/週×15 週	1 単位

1コマの授業時間90分を2時間とみなす

※学則第24条が定める講義、演習、実験、実習、実技の主な内容はそれぞれ以下の通りで

す。

- ・講義とは 学問の方法や成果、また、研究対象などについて、その内容・性質などを説明する授業形式。
- ・演習・ゼミナール(ゼミ)とは 担当教員の指導のもとで学生が研究・発表・討議を行うことを主眼とした、少人数の授業の形式。
- ・実験とは 理論や仮説が正しいかどうかを、人為的な操作により実際に確かめてみる授業形式。
- ・実習とは 講義などで学んだ技術や方法などを実地または実物にあたって学ぶ授業形式。
- ・実技とは 技術や演技などを実際に行う授業形式。

また、卒業までの年次別修得単位数の目安は次のとおりです。

 1年次
 2年次
 3年次
 4年次
 合計

 40単位以上
 40単位以上
 8単位以上
 124単位以上

これは卒業することだけを主眼に置いた目安です。従って大学生にふさわしい広い視野と豊富な知識を身につけるためには、更に多くの科目を履修し単位を修得することが必要です。とりわけ就職活動を有利に進めたり、各分野で経営情報学部の卒業生として活躍したりするためには、3・4年次に専門教育科目を数多く履修することと、必修科目でもあるゼミナール・演習活動に力を注ぐことが重要です。

3. 授業

授業科目は、その授業が行われる時期によって次のように分類されます。

前期科目 前期開講、前期終了科目後期科目 後期開講、後期終了科目

・ 通 年 科 目 1年間の継続開講科目

・ 集中講義科目 時期的に集中開講される科目

授業は、「授業時間割」によって行われますが以下の点に注意してください。

やむを得ない事情により開講又は継続ができなくなった授業科目については、開講時期 (集中講義を含む) 若しくは担当教員等を変更することがあります。

授業科目によっては、あらかじめ受講者数を制限することがあります。

授業時間は、次のとおりです。

1時限目 8時50分~10時20分

2 時限目 10 時 30 分 ~ 12 時 00 分

3 時限目 12 時 50 分 ~ 14 時 20 分

4 時限目 14 時 30 分 ~ 16 時 00 分

5時限目 16時10分~17時40分

◇交通機関の運休による授業の取扱い

公共交通機関において天候(降雪、台風)等のため運休になった場合、当日の授業は、下 記のとおり取り扱われます。

ア.午前7時までに運休が解除されたときは、当日の授業は平常どおり行います。

- イ.午前7時を過ぎ午前9時までの間に運休が解除されたときは、午前の授業は休講とし、午後の授業は平常どおり行います。
- ウ.午前9時を過ぎても運休が解除されないときは、終日休講とします。
- エ.西鉄大牟田線・太宰府線以外の私鉄の交通機関において運休になった場合でも、西 鉄大牟田線・太宰府線が通常どおり運行されていれば、授業は平常どおり行います。 オ.以上のほか、交通機関が麻痺し、通学不能と本学が認めた場合は休講とします。

◇休講と補講

都合により授業が実施されない場合があります。この場合は、教務課掲示板に休講日時、 休講科目、担当教員等を掲示します。

補講は、原則として指定の土曜日および各学期定期試験前に特別に期間を設けて実施しますが、授業によっては、変則な日時で実施することもありますので注意してください。

4. 履修登録

履修登録とは、各授業科目の受講者名簿に、その科目の履修を希望する学生の学籍番号・ 氏名を登録することです。

授業科目には、必修科目および選択科目があります。各授業科目間には、それぞれつながりのある科目がありますので、選択科目の履修登録にあたっては、オリエンテーションでの話、「講義の概要と授業計画」(シラバス)、授業時間割、卒業要件および卒業単位数等をよく検討し、学習計画をたてた上で選択してください。

履修しようとする授業科目は、年度又は学期の初めの指定された期間に教務課に登録しなければなりません。ただし、万一事故等のため指定された期間に登録できないときは、教務課に相談してください。本学の場合、1年次前期以外は web 上で履修登録を実施しています。学年暦で指定された期間内に履修登録を行ってください。1年次前期については、履修登録用紙を指定された期間内に教務課に提出してください。

履修登録を行わない人は、授業および定期試験を受けることができません。したがって単位の認定もできなくなります。ただし、<u>正当な理由があって</u>指定された期間に手続ができなかった人は、後日各授業担当教員の承認を得て登録できることもありますので必ず申し出てください。

履修登録後、履修科目確認リストまたは Web 上で、各自確認してください。

※履修登録期間・登録方法等詳細は、その都度掲示等でも連絡します。

履修規定より抜粋 <参考>

第5条

2 本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として 49 単位 (教職に関する科目は含まない)を上限とする。

5. 定期試験等

◇試験の種類

履修規程第 10 条第 2 項の定めるところにより、本学における試験の種類と実施に関しては次のとおりとします。

- ・定期試験:前期および後期の学期末に、一定期間内で実施される試験をいいます。
- ・**臨時試験**:授業科目担当教員(以下、「担当教員」といいます。)の判断により、定期試験期間以外に実施される試験をいいます。
- 追 試 験: 正当な理由により、定期試験を受験できなかった人に対して実施される試験をいいます(後述、追試験の項参照)。
- •再 試 験: 定期試験の結果、不合格の判定を受けた人に対して実施される試験をいいます。 再試験は担当教員の判断により実施されないときがあります(後述、再試験の 項参照)。

◇試験の実施方法

試験は、原則として筆記試験で行われます。授業科目によっては、レポート、実技、口頭 試問等で行われます。また、場合によってはオンライン方式による試験をすることもありま す。

試験時間割は、試験開始日の10日前に掲示で発表します(試験室は試験当日発表)。 試験時間は、原則として60分とします。

◇受験資格

次のいずれかに該当する人は、試験を受けることができません。

- ・試験を受けようとする授業科目の履修登録をしていない者(ただし、なんらかの過失により履修登録が行われておらず、かつ当該受験科目を常時受講していた場合は、担当教員の承認を得て直ちに履修登録を行うことにより、受験できる場合がある。)
- ・当該学期分の授業料を前納していない者(ただし、事前に延納願を提出し、学長の許可を得た者を除く。)
- ・休学中又は停学中の者
- ・受験時に学生証を携帯していない者(ただし、学生課で当日限り有効の仮学生証の交付を受け、これを学生証に代えることができる。仮学生証の発行は試験期間中2回まで。)
- ・試験開始後20分以上遅刻した者
- ・原則として当該授業の3分の1以上欠席した者

◇受験前の注意

試験を受けるまでに、次のことを確認してください。

- ・試験は教室における対面方式かオンライン方式か。
- ・試験が行われる日時と場所。
- ・持ち込み(辞書、自筆のノート等)が許可されている試験か否か。
- 筆記用具が指定されている試験か否か。
- ・学生証は有るか。
- 受験許可の有無。
- ・オンライン試験の URL、クラスコード

◇受験時の注意

試験を受けるときは次のことに留意し、監督者の指示に従ってください。

- ・必ず指定された教室で、指定又は指示された席で受験してください。
- ・机の中にノート、教科書等を入れないようにしてください。
- ・学生証は、試験監督の指定する場所に置いてください。
- ・参考書、辞書、六法全書等の使用が許可されている場合でも、複写(コピー)したものは 認められていません。
- ・特別に許可がある以外、電子辞書の試験場への持込みはできません。
- ・図書館(すべての図書館)の図書および資料は試験中利用ができません。
- ・試験中の私語、物品の貸借等はしてはいけません。
- ・退室は、試験開始から30分以降とします。
- ・答案用紙は、試験監督者の指定する場所に提出し、提出後は速やかに退室してください。
- ・答案用紙を持ち帰ることは禁止されています。
- ・試験終了後、答案の回収が終わるまでは、次の時間の人は入室してはいけません。
- ・試験中に、試験室横の廊下等での立話は、受験中の人に迷惑をかけることになりますので 慎んでください。
- ・試験開始後、当該試験を棄権したい場合は、採点欄に「キケン」と記入してください。こ の場合当該科目の単位を放棄したものとします。従って追・再試験を受験することはでき ません。
- ・オンライン試験においても、担当教員および教務課の指示に従ってください。

◇レポート

レポートは、担当教員から指示された方式、提出期日等を守って提出してください。

なお、郵便および代理人による提出は認められません。

レポート用紙は、A4の大きさで提出してください。ただし、担当教員から別途指示が あるときはこの限りではありません。

レポートには授業科目名・題名・学籍番号・氏名を明記した表紙をつけ、ホッチキス等 で留めて提出してください。

提出先は、原則として担当教員までとします。なおレポートの受け渡しにあたって、電 子メールやインターネット(Google クラスルーム等)を利用することもありますので、 メールアドレス、URL、クラスコード等を確認しておいてください。

◇不正行為

試験中に不正行為を行った場合、原則として即時受験停止とします。

不正行為は、学則第41条に基づいて懲戒の対象となります。

不正行為は、履修規程第13条に基づき当該学期の全受験科目が0点となります。

◇試験結果の発表

試験の結果については、定期試験終了後、学内に掲示で発表します。学内掲示には次の ように表示されます。

表示 欠席

(合格) (不合格) (欠席または棄権した場合) 内容

追・再試験終了後(各学期成績確定後)「成績通知書」を次のように配布します。「成績通

知書」は、秀、優、良、可で表示されます。

教務課 → ゼミ・演習またはクラス担任 ⇒ 学生個人へ 保護者 (郵送)

6. 追試験

正当な理由で定期試験を受験できなかった授業科目については、追試験を受けることが できます。

追試験を受けようとする人は、定期試験の最終日から7日以内に、理由を明記した欠席届 とその証明書を教務課に提出しなければなりません。

追試験を受験できる理由と提出する証明書等の事例は、次のとおりです。

- ・本人の病気または怪我 (医師の診断書)
- ・二親等以内(父母兄弟など)の危篤または死亡(医師の診断書または会葬礼状等)
- ・就職試験の受験(受験証明書)
- ・天候不順や事故等による交通機関の乱れ(遅延証明書)
- ・天災等の非常災害(証明できるもの)
- ・その他やむを得ないと判断されたとき (証明できるもの)

追試験は、最高 90 点 (学則年度 219 までは 80 点) で評価されます。

◇追試験の申込み

追試験を受けようとする人は、指定された期間に「追・再試験受験願書」を教務課に提 出してください。

追試験を申込むときは、1授業科目につき1.500円の試験料が必要です。

7. 再試験

試験の結果、不合格となった授業科目(成績発表時に「×」で表示)については、再試験 を受けることができます。ただし、再試験が行われない科目もありますので注意してくださ い。また、本試験を棄権した場合も再試験の受験はできません。

再試験は、最高60点で評価されます。

◇再試験の申込み

再試験を受けようとする人は、指定された期間に「追・再試験受験願書」を教務課に提

再試験を申込むときは、1授業科目につき1,500円の試験料が必要です。

8. 再履修

不合格となった授業科目は、次年度に再度履修(以下、「再履修」という)することがで

当該年度に再履修しようとする授業科目が開講されなかったときや廃止されたときは、 指定された代替科目を履修してください。

◇必修科目の再履修について

在籍学年に再履修クラスが設けられているときは、再履修クラスで登録してください。在 籍学年の必修科目と再履修科目の時間が重複しているときは、教務課に相談してください。 **冷選択科目の再履修について**

選択科目の再履修は、必修科目の再履修と同じ方法で時間割を組むか、卒業単位等をよく検討して別の科目を選択することもできます。

9. 成績の評価

授業科目の成績は、次の基準により評価され、学則第27条により、秀、優、良、可、が合格、不可が不合格となります。

秀 100点~90点

優 89点~80点

良 79点~70点

可 69点~60点

不可 59点~ 0点

合格した科目は、単位が認定され、「成績証明書」には、秀、優、良、可で表示されます。 ただし、不合格となった科目については単位が認定されず、同証明書には、何の表示もされ ません。

入学前に修得した科目が本学の授業科目に振り替えられた場合、資格が単位として認定 された場合は、その表示は「認」で表示されます。

※本学では、提出された成績評価を GPA で計算する場合があります。

GPA (Grade Point Average) とは、各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の成績評価値のこと、あるいはその成績評価方式のことです。

一般的に試験の成績 $100\sim90$ を 4 点、 $89\sim80$ を 3 点、 $79\sim70$ を 2 点、 $69\sim60$ を 1 点、59 以下を 0 点換算し、各科目の(単位数×ポイント)の合計÷総単位数(履修登録単位の総数)で求めます。

10. 単位の認定

授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与えます。 合格した授業科目の再履修、再受験、取消はできません。

11. 卒業延期、退学勧告

授業科目の内容を理解するには、少なくともその総授業時間の3分の2以上出席していることが望まれます。出席状況が悪いと授業内容がわからなくなり勉学の意欲が薄れ、定期試験の受験資格を得られなかったり、若しくは、合格率が悪くなり、卒業延期(留年)や退学等の原因ともなりますので注意してください。

【学則年度 220~】

履修規程第8条に基づき、3年次の必修科目である専門ゼミIまたは経営学専門演習I・情報学専門演習Iを履修登録するためには、2年次の必修科目である基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習の単位を修得している必要があります。もし単位が取れなかった場合、3年次で基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習と専門ゼミIまたは経営学専門演習I・情報学専門演習Iを同時履修することはできません。つまり4年間で卒業することができなくなります。

同じように 3 年次で専門ゼミ I または経営学専門演習 I ・情報学専門演習 I の単位を修得することができなかった場合、4 年次になって必修科目である専門ゼミ I または経営学専門演習 I ・情報学専門演習 I と同時に履修することもできないので 4 年間で卒業することができなくなります。

なお履修規程第 22 条の 2 第 8 項により、専門ゼミ I 及び専門ゼミ I の履修にあたり累積 GPA が 1.00 未満の者は履修登録することができません。

【学則年度 219】

履修規程第8条に基づき、3年次の必修科目である専門ゼミ I を履修登録するためには、二年次の必修科目である基礎ゼミの単位を修得している必要があります。もし単位が取れなかった場合、3年次で基礎ゼミと専門ゼミ I を同時履修することはできません。つまり 4 年間で卒業することができなくなります。

同じように 3 年次で専門ゼミ I の単位を修得することができなかった場合、4 年次になって必修科目である専門ゼミ I と同時に履修することもできないので 4 年間で卒業することができなくなります。

【学則年度 214~】

履修規程第8条に基づき、3年次の必修科目である専門ゼミIまたは経営学演習I・情報 学演習Iを履修登録するためには、2年次の必修科目である基礎ゼミまたは経営学基礎演習・ 情報学基礎演習の単位を修得している必要があります。もし単位が取れなかった場合、3年次で 基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習と専門ゼミIまたは経営学演習I・情報学演習 Iを同時履修することはできません。つまり4年間で卒業することができなくなります。

同じように3年次で専門ゼミ I または経営学演習 I・情報学演習 I の単位を修得することができなかった場合、4年次になって必修科目である専門ゼミ II または経営学演習 II・情報学演習 II と同時に履修することもできないので 4年間で卒業することができなくなります。

なお履修規程第 22 条の 2 第 5 項により、専門ゼミ I 及び専門ゼミ I の履修にあたり累積 GPA が 1.00 未満の者は履修登録することができません。

各学年の授業科目をできるだけ多く受講し、確実に単位を修得してください。なお、3年生までの成績は「成績証明書」として就職試験時の参考資料にもなりますし、修得単位数によっては「卒業見込証明書」が発行されず、就職活動ができません。

*「卒業見込証明書」は、4年生以上で履修登録をした科目を修得すれば、卒業要件を満たす場合に発行されます。

4年終了までに、卒業要件である 124 単位以上の単位を修得できないとき、又は必修科目を1科目でも修得できないときは、卒業延期(留年)となります。

正当な理由がなく、各学年において修得単位が著しく少ない人には、担任教員や教務課か

ら指導が行われることがあります。

また履修規程第 22 条の 2 第 5 項(1)に基づき、2 学期連続して GPA が 1.00 未満の者 については、学生部長及び教務部長が勧告・指導・助言を行います。さらに 3 学期連続して GPA が 1.00 未満の者については、履修規程第 22 条の 2 第 6 項に基づき、学部長が退学を 勧告します。

※9月卒業について

- 4年以上在学した者で次の要件を満たす場合は、9月(前期)に卒業することができます。
- (1) 前期科目を修得することによって卒業要件を満たす場合

12. 入学年度別授業科目一覧

履修規程の別表 $I \cdot II$ では、学則別表第 $I \cdot II$ の教育課程表を各学年別に整理して揚げています。履修登録時の参考にしてください。

GPA (Grade Point Average) 制度について

GPA (Grade Point Average) とは

九州情報大学では、2017年度から GPA 制度を導入しました(2017年度以降入学生のみ対象)。 GPA 制度の評価方法は、科目の成績評価にグレード・ポイント(GP)を付与することにより、1 単位あたりの成績の平均値を示すものです。

(1) 成績評価基準とグレード・ポイント (GP)

点数	評価	合否		GP
100-90	秀		4	
89-80	優	合格	3	
79-70	良	(単位修得)	2	
69-60	可		1	GPA<成績評価を受けた科目の単位>(分母)の対象
59-0	不可		0	
棄権・欠 席	-	不合格	0	
認定	認	認定(合格)		GPA の計算対象外

※認定:編入学および資格取得における単位認定科目

(2) GPA の算出式

【 成績評価を受けた科目の単位数 × 科目のGP 】 の 合計

GPA

【 成績評価を受けた科目の単位数 】 の合計

(3) GPA の確認方法

- ・成績通知書:通算 GPA が表示されます。
- ・Campus Plan:成績状況参照の「GPA 欄」にて各学期・各年度の GPA を確認することができます。

(4) GPA の目安

GPA の値	評価の平均値	学修・生活面の状態					
4.0~3.0	優評価を平均的に修得	非常に優秀です。問題はありません。					
2.9~2.0	盾並仁,白並仁子、亚奶的17 <i>恢</i> 復	問題はありませんが、セメスターごとに下がっ					
2.9~2.0	優評価〜良評価を平均的に修得	てきている場合は注意が必要です。					
10-10	良評価~可評価を平均的に修得	ぎりぎり合格しているレベルです。今後の学修					
1.9~1.0	民評価~可評価を平均的に修得	姿勢に注意が必要です。					
0.9~	不合格の割合が多い	学修状況や生活面での見直しが必要です。					

以上

社会福祉主事

(1) 取得できる資格について

社会福祉主事とは、福祉事務所現業員(老人福祉指導主事、母子相談員等)として任用される者に要求される資格です。また、社会福祉施設の職員等(施設長、生活指導員等)の資格にも準用されています。

社会福祉各法に定める援護又は更生の措置に関する事務を行うために、福祉事務所には必置義務があります。(福祉事務所のない町村には任意設置)

「社会福祉主事」の任用資格は、卒業までに(2)に記載の授業科目のうち3科目分の単位を取得すると得ることができます。

同資格の取得を希望する者は、取得に必要な講義の履修登録に留意すること。

社会福祉主事任用資格の必要な職種は以下のとおり。

行政	福祉事務所	現業員、查察指導員、老人福祉指導主事、母子相談員、家庭 庭児童福祉主事[児童福祉事業主事2年以上等]、家庭相談員 [児童福祉事業従事2年以上等]
	各種相談所	知的障害者福祉司[知的障害者福祉事業従事2年以上等]、身体障害者福祉司[身体障害者福祉事業従事2年以上等]
		児童福祉司[児童福祉事業従事2年以上等]
社会福祉施設		施設長、生活指導員等

※ []内は、社会福祉主事任用資格に加えて必要な要件

(2) 修得すべき授業科目について

授業科目名	配当年次	H31(2019)以降入学	H24(2012)~H30(2018)入学
法学	1年	法学	法学
民法	2年	民事法	民法Ⅰ・民法Ⅱ
経済学	1年	経済学	経済学Ⅰ・経済学Ⅱ
社会学	1年	社会学	社会学Ⅰ·社会学Ⅱ
心理学	1年	心理学	心理学Ⅰ・心理学Ⅱ
資格取得に必要	要な科目数	上記科目	のうち3科目

※ 2012年度以降入学者適用

授業科目一覧 経営情報学科

〇卒業要件

必修科目43単位を含めて124単位以上を修得すること

【学籍番号】 219 221編入

基礎総合科目の開講時期と単位数 ※必修15単位を含み、40単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「総合教養」の分野から*(必修・選択必修)3単位 を含み12単位以上修得
- (注3)「語学」の分野から*(必修)2単位を含み6単位以上修得
- (注4) 「実践力養成・キャリア開発」の分野から*(必修)10単位 を含み12単位以上修得
- (注5) ☆ 印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
- (注6) (前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋 <参考>

2 本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49 単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

		1年生				2年生		3年生		4年生		
				授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
			*	建学の精神と人生	(前)	2						
				宗教学	(後)	2						
		人文		心理学	(前)	2						
		科学		文学	(前)	2						
	総	子		哲学	(後)	2						
				日本文化論	(後)	2						
				法学	(前)	2						
	合	社		日本国憲法	(後)	2						
		会		社会学	(後)	2						
基	教	科学		政治学	(前)	2						
		7		経済学	(前)	2						
			☆	日本事情	(前)	2						
礎	養	自 然		基礎数学	(前)	2						
		科学		地球と環境	(後)	2						
		スポー					*1内 スポーツ実技 I (前) 選択					
総		- ツ 科					必修 スポーツ実技Ⅱ (後)	1*				
"-		学					ウエルネス理論(前)	2				
		英	*	総合英語	(前)	2	英会話Advanced I (前)	2				
١,		天		英会話Basic I	(前)	2	英会話AdvancedⅡ (後)	2				
合		語		英会話Basic Ⅱ	(後)	2						
	語	中					47 (m ± 12 3 cm ()44)					
		玉					初級中国語 (前)					
科	学	語韓					中級中国語 (後)	2				
		玉					初級韓国語 (前)	2				
		語日	-/-	日本語 I	(前)	2	中級韓国語 (後) ☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
目		本		日本語Ⅱ	(後)	2	☆ 日本語IV (後)	2				
		語実	*	情報リテラシー演習	(前)	2	文章表現 I (前)	2				
	キ実ャ践	践ス	*	コミュニケーションと自己発見Ⅰ	(前)	2	文章表現Ⅱ (後)	2				
	リカ	キル		コミュニケーションと自己発見Ⅱ	(後)	2	X+450.11 (8)	~				
	ア養開成	* +		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(14)		* キャリアデザイン入門 I (前)	2	キャリアテ [*] サ [*] イン I (前)	2		
	発・	り ア 国 発					* キャリアデザイン入門Ⅱ (後)		キャリアテ゛サ゛イン II (後)	2		
	特	特		特別講義「語学」		1~4						
	別講	基別礎講		特別講義「実践力養成」		1~4						
	義	義		特別講義「キャリア」		1~4						

専門教育科目の開講時期と単位数 ※必修28単位を含み、84単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「専門基礎」の分野から必修科目10単位を含み20単位以上修得
- (注3)「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得
- (注4)「専門応用」の分野から24単位以上修得
- (注4)(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋<参考>

大	中	小	1年生			2年生			3年生		4年生		
分類	分類	分類	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目		単位
			* 経営学総論 I	(前)	2	マネージ・メント科学	(前)	2		1324			124
		経営	会計学入門	(前)	2	ビジネス実務	(前)	2					
			* 初級簿記	(前)	2	民事法	(前)	2					
	専	会計	* 簿記演習	(後)	2	経営情報論 I	(前)	2					
	門基		* 情報倫理	(後)	2								
	礎		情報学入門	(前)	2	統計学入門	(前)	2	* 情報·	2キュリティ	•	(前)	2
		情	情報数学 I	(後)	2				情報:	/ステムの	開発と管理	(前)	2
		報	情報ネットワーク入門	(後)	2				マルチ	ディア論	ì	(前)	2
			ピシ゚ネスソフト活用演習	(後)	4								
			* マーケティング論	(前)	2	企業金融	(前)	2	組織	心理学		(前)	2
		経	ヘンチャーピジネス入門	(後)	2	コマース論 I	(前)	2	知的	听有権		(前)	2
		営	* 経営学総論Ⅱ	(後)	2	日本経営史	(前)	2		管理論		(前)	2
専		会				経営分析	(前)	2	経営	思想		(前)	2
		計				* 会計学	(後)	2					
	専					統計学	(後)	2					
	門					経営組織論	(後)	2					
	発展		計算機システム論	(後)	2				ł	ラミング諸		(前)	2
門				情報が	クノロシ		(前)	2	+		ング実習	(後)	2
		情				アルゴリズムとデータ構造	(前)	2			フィックス論	(前)	2
		報				データベース論	(前)	2		制御論		(後)	2
							プログラ			2			
									シグ実習(後)	2			
教						the on this ≥ 1 or to	マネーシ	_		2		(24)	0
~						中級簿記演習I	(前)	2		会計論		(前)	2
						中級簿記演習Ⅱ	(後)	2	税法:	7-		(後)	2
l						原価計算論 I	(前)	2					
		슾				原価計算論 Ⅱ 財務会計論	(後)	2 2					
		計				財務管理	(前)	2					
育						会社法	(前)	2					
l						監査論	(後)	2					
						血血細 コンピュータ会計	(前)	2					
			経営戦略論	(前)	2	マーケティング・リサーチ	(前)	2	ト*シ/オ	スプラニン	/ħ°	(後)	2
l			消費者行動論	(後)	2	Webサービス論	(後)	2		ス 承継論		(前)	2
科	専		11月11到11	(12)	2	SNS活用と問題解決	(前)	2		YMV III 经済分	iF	(後)	2
	門応	経				コマース論Ⅱ	(後)	2	印里	生识力1	71	(12)	2
	用	営				- t Vim II	経営作		I (後)	2			
l							ペンチャ			2			
l							中小公			l I			
目						国際経営論	(後)	2	1	上 2 経済論		(前)	2
						国際情報分析	(後)	2		政治学		(前)	2
		国				国際金融論	(後)	2					
		際ビ				ビジネス英語 I	(前)	2					
		ジ				ビジネス英語Ⅱ	(後)	2					
		ネス				TOEIC I	(前)	2					
		,				TOEIC II	(後)	2					
						国際地域文化論	(前)	2					
	演	せけった基礎				* 基礎t [*] ?	(通年)						
	習	せけっち専門						Ė	* 専門ゼミ I (通年)	4	* 専門ゼミⅡ	(通年)	4
	特	特	特別講義「経営」		1~4				1		***		
	別	専別	特別講義「会計」		1~4								
	講義	門講義	特別講義「情報」		1~4								
					-								

授業科目一覧 情報ネットワーク学科

〇卒業要件

必修科目43単位を含めて124単位以上を修得すること

【学籍番号】 219 221編入

基礎総合科目の開講時期と単位数 ※必修15単位を含み、40単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「総合教養」の分野から*(必修・選択必修)3単位 を含み12単位以上修得
- (注3)「語学」の分野から*(必修)2単位を含み6単位以上修得
- (注4) 「実践力養成・キャリア開発」の分野から*(必修)10単位 を含み12単位以上修得
- (注5) ☆ 印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
- (注6) (前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋 <参考>

2 本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49 単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

			1年生			2年生		3年生		4年生		
				授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
			*	建学の精神と人生	(前)	2		1		1.22		J.L.
		١.		宗教学	(後)	2						
		人文		心理学	(前)	2						
		科		文学	(前)	2						
	総	学		哲学	(後)	2						
				日本文化論	(後)	2						
				法学	(前)	2						
	合	١		日本国憲法	(後)	2						
		社会		社会学	(後)	2						
基	教	科		政治学	(前)	2						
	9 X	学		経済学	(前)	2						
			☆	日本事情	(前)	2						
礎	養	自然		基礎数学	(前)	2						
便		科学		地球と環境	(後)	2						
		スポ					*1内 スポーツ実技 I (前)	1*				
		リッ					選択 必修 スポーツ実技Ⅱ (後)	1*				
総		科学					ウエルネス理論 (前)	2				
			*	総合英語	(前)	2	英会話Advanced I (前)	2				
		英		英会話Basic I	(前)	2	英会話Advanced II (後)	2				
合		語		英会話Basic Ⅱ	(後)	2						
	語											
		中					初級中国語 (前)	2				
科		国語					中級中国語 (後)	2				
"'	学	韓					初級韓国語 (前)	2				
		国語					中級韓国語 (後)	2				
l _		日本	☆	日本語 I	(前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
目		語	☆	日本語Ⅱ	(後)	2	☆ 日本語IV (後)	2				
	キ実	実践	*	情報リテラシー演習	(前)	2	文章表現 I (前)	2				
	ヤ践	ス	*	コミュニケーションと自己発見 I	(前)	2	文章表現Ⅱ (後)	2				
	リカア養	キル	*	コミュニケーションと自己発見Ⅱ	(後)	2						
	開成	* * 9					* キャリアデザイン入門 I (前)	2	キャリアテ [*] サ [*] イン I (前)	2		
	発・	P R					* キャリアデザイン入門Ⅱ (後)	2	キャリアテ゛サ゛イン Ⅱ (後)	2		
1	特	特		特別講義「語学」		1~4						
1	別講	基別礎講		特別講義「実践力養成」		1~4						
	義	義		特別講義「キャリア」		$1\sim4$						

専門教育科目の開講時期と単位数 ※必修28単位を含み、84単位以上修得

(注1) * 印のついた科目は必修科目

(注2)「専門基礎」の分野から必修科目10単位を含み20単位以上修得

(注3)「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得

(注4)「専門応用」の分野から24単位以上修得

(注4)(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋<参考>

大	中	小		1年生			2年生			3年生		4年生	
分類	分類	分類		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目	単位
				情報学入門	(前)	2	統計学入門	(前)	2	* 情報	セキュリティ	(前)	2
		情		情報数学 I	(後)	2				情報	システムの開発と管	理 (前)	2
		報		情報ネットワーク入門	(後)	2				マルチ	メディア論	(前)	2
	専			ビジネスソフト活用演習	(後)	4							
専	門基	677	*	経営学総論 I	(前)	2	マネージ・メント科学	(前)	2				
	礎	経営		会計学入門	(前)	2	ビジネス実務	(前)	2				
			*	初級簿記	(前)	2	民事法	(前)	2				
		会計	*	簿記演習	(後)	2	経営情報論I	(前)	2				
			*	情報倫理	(後)	2							
門				計算機システム論	(後)	2	アルコ゚リス゛ムとデ・ータ構造	(前)	2	計測	•制御論	(後)	2
' '			*	プログラミング初歩 I	(前)	2	情報数学Ⅱ	(前)	2	モバイ	(ルネットワーク	(前)	2
	専			プログラミング初歩Ⅱ	(後)	2	データヘース語	(前)	2				
	門	情					オヘ゜レーティングシステム論	(後)	2				
	発展	報					プログラミング実践 I	(前)	4				
	/ACC						プログラミング実践Ⅱ	(後)	4				
教							* 情報テクノロジー演習 I	(前)	4				
							情報テクノロシー演習Ⅱ	(後)	4				
				Webコンテンツ制作 I	(後)	2	Webコンテンツ制作Ⅱ	(前)	2	Web	プ°ロク˙ラミンク˙ Ⅱ	(前)	2
		ネッ					Webプ゚ロク゚ラミンク゚ I	(後)	2	Web	プ゚ログラミングⅢ	(後)	2
		1					スイッチング技術	(前)	2	ネットワ	フークアプリケーション構	築 (通年) 4
育		ワート					ルーティング技術	(後)	2	インタ-	ーネット技術	(前)	2
		ク					SNS活用と問題解決	(前)	2				
	亩						Webサービス論	(後)	2				
	門			マーケティング・論	(前)	2	統計学	(後)	2	多変	量解析	(前)	2
	応用	デ		消費者行動論	(後)	2	ビジネスプ゚ログラミング	(前)	2	デ*ータ	解析	(前)	2
科	/13	タ					マーケティング・リサーチ	(前)	2	デ*ータ	7モデ [*] リンク [*]	(後)	2
41		サ					経営分析	(前)	2	統計	プログラミング	(後)	2
		イエ					会計学	(後)	2	機械	学習	(前)	2
		ン								人工	知能	(後)	2
		ス								計量	経済分析	(後)	2
目	演	ゼンナール基礎					* 基礎で?	(通年)	4				
	習	ゼン・ル専門								* 専門ゼミ I (通年	4 * 専	門セ [*] ミⅡ (通年) 4
	特	特		特別講義「経営」		1~4							
	別講	専別門講		特別講義「会計」		1~4							
ı	義	義		特別講義「情報」		$1\sim4$							

授業科目一覧 経営情報学科

〇卒業要件

必修科目42単位を含めて124単位以上を修得すること

【学籍番号】 220 222編入

別表 I - I 基礎総合科目の開講時期と単位数 ※<u>必修16単位</u>を含み、40単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「総合教養」の分野から*(必修)4単位を含み12単位以上修得
- (注3)「語学」の分野から*(必修)2単位を含み6単位以上修得
- (注4)「実践力養成・キャリア開発」の分野から*(必修)10単位 を含み12単位以上修得
- (注5) ☆ 印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
- (注6)(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋 <参考>

2 本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49 単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

			1年生			2年生		3年生		4年生	
			授業科	目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
			* 建学の精神と人生	(前)	2				1.22		1.22
			宗教学	(後)	2						
		人文	心理学	(前)	2						
		科	文学	(前)	2						
	総	学	哲学	(後)	2						
			日本文化論	(後)	2						
	_		* 情報倫理	(後)	2						
	合		法学	(前)	2						
		社	日本国憲法	(後)	2						
基	教	会	社会学	(後)	2						
		科学	政治学	(前)	2						
		7	経済学	(前)	2						
礎	養		☆ 日本事情	(前)	2						
WE.		科自学然	基礎数学	(前)	2						
		ツス科ポ		(前)	1	スポーツ理論(前) 2				
総		学丨	スホ [°] ーツ	(後)	1	ウェルネス理論(後) 2				
			* 総合英語	(前)	2	英会話Advanced I (前) 2				
		英	英会話Basic I	(前)	2	英会話AdvancedⅡ (後) 2				
合		語	英会話Basic II	(後)	2						
	語	中				In the Later Co.					
		玉				初級中国語 (前					
科	学	語韓				中級中国語 (後	_				
''	-	玉				初級韓国語 (前					
		語目	☆ 日本語 I	(前)	2	中級韓国語 (後 ☆ 日本語Ⅲ (前	_				
B		本		(後)	2						
		語実	☆ 日本語 II* 情報リテラシー演習	(前)	2	☆ 日本語IV (後文章表現 I (前					
	キ実	践ス	* コミュニケーションと自己		2	文章表現Ⅱ (後					
	ヤ践リカ	キル	* コミュニケーションと自己		2	X+XX (X					
	ア養	アキ	(2) 13 610	707011 ((X)	_	* キャリアテ [*] サ [*] イン入門 I (前) 2	キャリアデ'サ'イン I (前)	2		
	開成発・	開リ				* キャリアテ [*] サ [*] イン入門Ⅱ (後		キャリアデ・サ・イン II (後)	2		
	特		特別講義「語学」	1	1~4	((()		((人) / (人) ((友)			
	別	特 基別	特別講義「実践力養		1~4 1~4						
	講義	礎講 義	特別講義「キャリア」		1~4 1~4						
	报		1寸か1神我・17リ/		1 ~4						

別表 I - II 専門教育科目の開講時期と単位数 ※<u>必修26単位</u>を含み、84単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「専門基礎」の分野から必修科目8単位を含み20単位以上修得
- (注3)「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得
- (注4)「専門応用」の分野から24単位以上修得
- (注4)(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋く参考> 第8条 専門ゼミIまたは、経営学演習I・情報学演習Iは、原則と してその履修登録時において基礎ゼミまたは、経営学基礎演 習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。 ただし、編入学生については、これを適用しない。

大八	中八	小	1年生			2年生			3年生		4年生	
分類	分類	分類	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目	単位
		経	* 経営学総論 I	(前)	2	マネージ・メント科学	(前)	2				
		営•	会計学入門	(前)	2	ピジネス実務	(前)	2				
	専	会	* 初級簿記	(前)	2	民事法	(前)	2				
	号門 基	計	* 簿記演習	(後)	2	経営情報論 I	(前)	2				
	基礎		情報学入門	(前)	2	統計学入門	(前)	2	* 情報も	キュリテ	(前)	2
	,	情	情報数学 I	(後)	2				情報シ	ステムの)開発と管理 (前)	2
		報	情報ネットワーク入門	(後)	2				マルチメ	ティア部	前 (前)	2
			ビジネスソフト活用演習	(後)	4							
			* マーケティンク 論	(前)	2	企業金融	(前)	2	組織心	心理学	(前)	2
		経	ヘンチャーピジネス入門	(後)	2	コマース論 [(前)	2	知的原	斤有権		
		営	* 経営学総論Ⅱ	(後)	2	日本経営史	(前)	2	労務管 		(前)	
車		会				経営分析	(前)	2	経営見	思想	(前)	2
4		計				* 会計学	(後)	2				
						統計学	(後)	2				
	専		⇒ [/数: 4後 、	(141)		経営組織論	(後)	2	-9.4 Omg	20, 202	A (26)	
	門発		計算機システム論	(後)	2		(24)	0	プログラ			
門	展	-		情報?	クノロン	アルコ゚リス゚ムとデータ構造	(前)	2			(後)	
ניז						データヘース論	(前)				フィックス論 (前)	
		情				サーダベース論 情報テクノロジー演習 I	(前) (前)	2	計測・	市和神	(後)	2
		報				情報テクノロジー演習Ⅱ	(後)	4				
						旧形///22 供目Ⅱ	プログラ		<u> </u> 人門 (前)	2		
									ング実習(後)	2		
教							マネーシ			2		
ŀ						中級簿記演習 I	(前)	2	税務会		(前)	2
						中級簿記演習Ⅱ	(後)	2	税法等		(後)	
						原価計算論 I	(前)	2				
						原価計算論Ⅱ	(後)	2				
育		会計				財務会計論	(前)	2				
		н				財務管理	(後)	2				
						会社法	(前)	2				
						監査論	(後)	2				
						コンピュータ会計	(前)	2				
科	専		経営戦略論	(前)	2	マーケティング・リサーチ	(前)	2	ピジネ	スプラニ	ング (後)	2
	門		消費者行動論	(後)	2	Webサーヒ、ス論	(後)	2	計量組	圣済分	析 (後)	2
	応用	ýZ				SNS活用と問題解決	(前)	2				
	, .	経営				コマース論Ⅱ	(後)	2				
							経営情			2		
目							ヘンチャ			2		
						Finite for W	中小公			2		
		国				国際経営論	(後)	2	国際組			
		際				国際情報分析	(後)	2	国際項	文治学	(前)	2
		ビジ				ビジネス英語 I	(前)	2				
		ネ				ĽÝÝĀĀ英語Ⅱ TOPICI	(後)	2				
		ス				TOEIC I	(前)	2				
ŀ	yes.		プレセミI	(};;)	9	TOEIC II 並2巻セジ	(後)	2	専門セ*ミ I (通年)		専門ゼミⅡ(通年)	3)
	演習	ゼミ	プレセ: I プレセ'ミⅡ	(前)	2	基礎セ*ミ * 怒労労其嫌済羽	(通年) (通年)	4	*	4	専門ゼミⅡ (通年) * 経営学専門演習1(通年)	4
}	特	特	特別講義「経営」	(後)	1~4	経営学基礎演習	(進平)		経営学専門演習(通年)		社員子号門側首【 /	7
	別	専別	特別講義「会計」									
	講義	門講義	特別講義「情報」		1~4 1~4							
	松	抄	竹川碑我「月報」		1.04							

授業科目一覧 情報ネットワーク学科

〇卒業要件

必修科目42単位を含めて124単位以上を修得すること

【学籍番号】 220 222編入

別表 II - I 基礎総合科目の開講時期と単位数 ※<u>必修16単位</u>を含み、40単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「総合教養」の分野から*(必修)4単位を含み12単位以上修得
- (注3)「語学」の分野から*(必修)2単位を含み6単位以上修得
- (注4)「実践力養成・キャリア開発」の分野から*(必修)10単位 を含み12単位以上修得
- (注5) ☆ 印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
- (注6)(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋 <参考>

第5条

2 本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として 49単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

_			_	1年生			1	2年生		3年生		4年生	
				授業科目		単		授業科目	単	授業科目	単	授業科目	単
		ı				位		1又未行口	位	1又未行口	位	1又未行口	位
			*	建学の精神と人生	(前)	2							
		人		宗教学	(後)	2							
		文		心理学	(前)	2							
		科学		文学	(前)	2							
	総	7		哲学	(後)	2							
				日本文化論	(後)	2							
	_		*	情報倫理	(後)	2							
	合			法学	(前)	2							
		2 .L.		日本国憲法	(後)	2							
基	教	社会		社会学	(後)	2							
		科		政治学	(前)	2							
		学		経済学	(前)	2							
	養		☆	日本事情	(前)	2							
礎		科自		基礎数学	(前)	2							
		学然		ウェルネス	(前)	1		スポーツ理論(前	2				
		科ポ											
総		学丨		スポーツ	(後)	1		ウェルネス理論(後	_				
			*	総合英語	(前)	2		英会話Advanced I (前	2				
		英		英会話Basic I	(前)	2		英会話AdvancedⅡ (後	2				
合		語		英会話Basic Ⅱ	(後)	2							
	語												
		中国						初級中国語 (前	2				
١		語						中級中国語(後	2				
科	学	韓国						初級韓国語 (前	2				
		語						中級韓国語 (後	2				
		日本	☆	日本語 I	(前)	2	☆	日本語Ⅲ (前	2				
目		語	☆	日本語Ⅱ	(後)	2	☆	日本語Ⅳ (後	2				
	2	実践	*	情報リテラシー演習	(前)	2		文章表現 I (前	2				
	キ実	ス	*	コミュニケーションと自己発見 I	(前)	2		文章表現Ⅱ (後	2				
	リカ	キル	*	コミュニケーションと自己発見Ⅱ	(後)	2							
	ア養開成	アキ					*	キャリアデザイン入門 I (前	2	キャリアデ [*] サ [*] イン I (前)	2		
	発・	開ヤ発リ						kulariti but BB m		k. neretnik b. m. (Ab)			
	41.	元リ						キャリアデ・サ・イン入門Ⅱ (後)	2	キャリアデザインⅡ (後)	2		
	特別	特 基別		特別講義「語学」		1~4							
	講	磁講義		特別講義「実践力養成」		1~4							
	義	296		特別講義「キャリア」		$1\sim4$							

別表Ⅱ-Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数 ※必修26単位を含み、84単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「専門基礎」の分野から必修科目8単位を含み20単位以上修得
- (注3)「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得
- (注4)「専門応用」の分野から24単位以上修得
- (注4)(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋<参考> 第8条

第8余 専門ゼミIまたは、経営学演習I・情報学演習Iは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは、経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。ただし、編入学生については、これを適用しない。

大	中	小	1年生			2年生			3年生	4年生	
分類	分類	分類	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目 単位	授業科目	単位
			情報学入門	(前)	2	統計学入門	(前)	2	* 情報セキュリティ	(前)	2
		情	情報数学I	(後)	2				情報システムの開発と管	理 (前)	2
	専	報	情報ネットワーク入門	(後)	2				マルチメディア論	(前)	2
١	門		ビジネスソフト活用演習	(後)	4						
専	基礎	経	* 経営学総論 I	(前)	2	マネージ・メント科学	(前)	2			
	1985	営・	会計学入門	(前)	2	ピジネス実務	(前)	2			
		会	* 初級簿記	(前)	2	民事法	(前)	2			
		計	* 簿記演習	(後)	2	経営情報論 I	(前)	2			
			計算機システム論	(後)	2	アルゴリス゛ムとテ゛ータ構造	(前)	2	計測•制御論	(後)	2
門			* プログラミング初歩 I	(前)	2	情報数学Ⅱ	(前)	2	モハ・イルネットワーク	(前)	2
	専		プログラミング初歩Ⅱ	(後)	2	データヘース論	(前)	2			
	門	情				オヘ゜レーティング・システム論	(後)	2			
	発展	報				プログラミング実践 I	(前)	4			
	/32					プログラミング実践Ⅱ	(後)	4			
教						* 情報テクノロジー演習 I	(前)	4			
~						情報テクノロシー演習Ⅱ	(後)	4			
			Webコンテンツ制作 I	(後)	2	Webコンテンツ制作Ⅱ	(前)	2	インターネット技術	(前)	2
		ネッ				Webプログラミング I	(後)	2	Webプ [°] ログ [*] ラミング Ⅱ	(前)	2
		卜				スイッチングを持術	(前)	2	Webプ゚ログラミングⅢ	(後)	2
۱		ワー				ルーティング技術	(後)	2	ネットワークアプリケーション棒	持築 (通年)	4
育		ク				SNS活用と問題解決	(前)	2			
	-					Webサービス論	(後)	2			
	門		マーケティング。論	(前)	2	統計学	(後)	2	多変量解析	(前)	2
	応用	デ	消費者行動論	(後)	2	ピジネスプ゚ログラミング	(前)	2	データ解析	(前)	2
	/13	タ				マーケティング・リサーチ	(前)	2	データモデリンク゛	(後)	2
科		サ				経営分析	(前)	2	統計プログラミング	(後)	2
		イエ				会計学	(後)	2	機械学習	(前)	2
		ン							人工知能	(後)	2
		ス							計量経済分析	(後)	2
目	演	ぜぇ	プレセミ Ι	(前)	2	基礎でき	(通年)	4	* 4 *	門ゼミⅡ (通年)	4
	習		プレセミⅡ	(後)	2	情報学基礎演習	(通年)	-		報学専門演習 I (通年)	
	特別	特 専別	特別講義「経営」		1~4						
	講	門講	特別講義「会計」		1~4						
l	義	義	特別講義「情報」		$1\sim4$						

授業科目一覧 経営情報学科

〇卒業要件

必修科目40単位を含めて124単位以上を修得すること

【学籍番号】 221-222 223編入

別表 I - I 基礎総合科目の開講時期と単位数 ※必修16単位を含み、40単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「総合教養」の分野から*(必修)4単位を含み12単位以上修得
- (注3)「語学」の分野から*(必修)2単位を含み6単位以上修得
- (注4)「実践力養成・キャリア開発」の分野から*(必修)10単位 を含み12単位以上修得
- (注5) ☆ 印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
- (注6)(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋 <参考>

2 本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として4 9単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

				1年生			2年生		3年生		4年生	
				授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
			*	建学の精神と人生	(前)	2		122		1224		1224
		人		宗教学	(後)	2						
		文科		心理学	(前)	2						
	総	学		文学	(前)	2						
	NAC?			日本文化論	(後)	2						
			*	情報倫理	(後)	2						
	合			法学	(前)	2						
		社		日本国憲法	(後)	2						
		会		社会学	(後)	2						
l	教	科学		政治学	(前)	2						
基		子		経済学	(前)	2						
	養		☆	日本事情	(前)	2						
		科自学然		基礎数学	(前)	2						
礎		ツス		ウェルネス	(前)	1	スポーツ理論	(前) 2				
		科ポ学ー		スホ [°] ーツ	(後)	1	ウェルネス理論	(後) 2				
l			*	総合英語	(前)	2	英会話Advanced I	(前) 2				
総		英		英検中級・TOEIC基礎	(後)	2	英会話Advanced II	(後) 2				
		語		英会話Basic I	(前)	2						
	語			英会話Basic Ⅱ	(後)	2						
合		中国					初級中国語	(前) 2				
		語					中級中国語	(後) 2				
	学	韓国					初級韓国語	(前) 2				
科		語					中級韓国語	(後) 2				
		日本	☆	日本語 I	(前)	2	☆ 日本語Ⅲ	(前) 2				
		語	☆	日本語Ⅱ	(後)	2	☆ 日本語IV	(後) 2				
目		実	*	情報リテラシー演習	(前)	2						
	キ実	践	*	コミュニケーションと自己発見 I	(前)	2						
	ヤ践	スキ	*	コミュニケーションと自己発見Ⅱ	(後)	2						
	リカ ア 巻	ル		大学基礎総合	(前)	2						
	開成			文章表現	(後)	2						
	発・	アキ 開ヤ					* キャリアデザイン入門 I	(前) 2	キャリアテ [*] サ [*] イン I (前)	2		
		発リ					* キャリアデ・サ・イン入門 II	(後) 2	キャリアテ*サ*イン Ⅱ (後)	2		
	特	特		特別講義「語学」		1~4						
	別講	基別礎講		特別講義「実践力養成」		1~4						
	義	義		特別講義「キャリア」		1~4						

別表 I - Ⅱ 専門教育科目の開講時期と単位数 ※必修24単位を含み、84単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「専門基礎」の分野から必修科目8単位を含み20単位以上修得
- (注3)「専門発展」の分野から必修科目4単位を含み14単位以上修得
- (注4)「専門応用」の分野から24単位以上修得
- (注4)(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

-1	~~-
	い。

大	中	小	1年生			2年生			3年生		4年生	
分類	分類	分類	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目	単位
			* 経営学総論 I	(前)	2	マネージメント科学	(前)	2		122.		12
		経営	* 会計学入門	(前)	2	ビジネス実務	(前)	2				
		·	* 簿記 I	(前)	2	民事法	(前)	2				
	専	숲	簿記Ⅱ	(後)	2	経営情報論 I	(前)	2				
	門	計		(0.0)		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	経営信		Ⅱ (後)	2		I
	基礎		情報学入門	(前)	2	統計学入門	(前)	2	* 情報セ		(前)	
		情	情報数学 I	(後)	2				情報シ	ステムの閉	開発と管理 (前)	:
		報	情報ネットワーク入門	(後)	2				マルチメ		(前)	
			ピジネスソフト活用演習	(後)	4							
ı			* マーケティング 論	(前)	2	企業金融	(前)	2	組織心)理学	(前)	
専│		経	ペンチャーピジネス入門	(後)	2	コマース論 Ι	(前)	2	知的原	有権	(前)	:
٦		営	* 経営学総論Ⅱ	(後)	2	日本経営史	(前)	2	労務管	理論	(前)	. :
		· 会	会計学	(後)	2	経営分析	(前)	2	経営思	想	(前)	
		計				統計学	(後)	2				
						経営組織論	(後)	2				
<u> </u>	専		計算機システム論	(後)	2				プログラ	ミング論	(前)	
門	門発			情報を	クノロシ		(前)	2	中級フ	゜ロク・ラミンク	が実習(後)	
	展	Ī				アルコ・リス・ムとデータ構造	(前)	2	コンピュ੶	ータグラフィ	(が)	
						データヘース論	(前)	2	計測・	制御論	(後)	
		情報				情報テクノロシー演習 I	(前)	4				
		ŦK				情報テクノロシー演習Ⅱ	(後)	4				
教							プログラ	ミングフ	(前)	2		
							初級フ	゜ロク・ラミ	ング実習(後)	2		
							マネーシ	゚メントケ	*-ム (後)	2		
						中級簿記演習 I	(前)	2	税務会	計論	(前)	:
						中級簿記演習Ⅱ	(後)	2	税法学	Ė	(後)	
育						原価計算論 I	(前)	2				
						原価計算論Ⅱ	(後)	2				
		会計				財務会計論	(前)	2				
						財務管理	(後)	2				
						会社法	(前)	2				
科						監査論	(後)	2				
"	専					コンピュータ会計	(前)	2				
	門応		経営戦略論	(前)	2	マーケティング・リサーチ	(前)	2	ピジネ	マプラニンク	7 (後)	
	用		消費者行動論	(後)	2	Webサービス論	(後)	2	計量組	医済分析	(後)	
		経				SNS活用と問題解決	(前)	2				
_		営				コマース論 Ⅱ	(後)	2				
▮							ヘンチャ	一企業	(後)	2		
							中小公	企業論	(前)	2		
		国際				国際経営論	(後)	2	ピシネ	英語 I	(前)	
		ピ				国際情報分析	(後)	2	ピジネ	英語Ⅱ	(後)	
		ジネ				英検上級 I • TOEIC応用 I	(前)	2	国際組	E 済論	(前)	
		ス				英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ	(後)	2	国際政	7治学	(前)	
	演	ゼ	プレセミ I	(前)	2	基礎セ*ミ *	(通年)	4	専門ゼミ I (通年)	4	専門ゼミⅡ (通年) *	(
	習	3	プレセミⅡ	(後)	2	経営学基礎演習	(通年)	ı	経営学専門演習 [(通年)	1	経営学専門演習 [(通年	
	特	特	特別講義「経営」		1~4			_				_
	別講	専別 門講	特別講義「会計」		1~4							
	義	義	特別講義「情報」		1~4							

授業科目一覧 情報ネットワーク学科

〇卒業要件

必修科目40単位を含めて124単位以上を修得すること

【学籍番号】 221-222 223編入

別表 II - I 基礎総合科目の開講時期と単位数 ※<u>必修16単位</u>を含み、40単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「総合教養」の分野から*(必修)4単位を含み12単位以上修得
- (注3)「語学」の分野から*(必修)2単位を含み6単位以上修得
- (注4)「実践力養成・キャリア開発」の分野から*(必修)10単位を含み12単位以上修得
- (注5) ☆ 印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
- (注6)(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋 <参考>

第5条

2 本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として4 9単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

				1年生				2年生			3年生		4年生	
				授業科目		単位		授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目	単位
			*	建学の精神と人生	(前)	2								
		人		宗教学	(後)	2								
		文科		心理学	(前)	2								
	総	学		文学	(前)	2								
	Anto			日本文化論	(後)	2								
			*	情報倫理	(後)	2								
	合			法学	(前)	2								
		社		日本国憲法	(後)	2								
	det.	会		社会学	(後)	2								
	教	科学		政治学	(前)	2								
基		,		経済学	(前)	2								
	養		☆	日本事情	(前)	2								
		科自 学然		基礎数学	(前)	2								
礎		ツス		ウェルネス	(前)	1		スポーツ理論	(前)	2				
		科ポ学ー		スホ°ーツ	(後)	1		ウェルネス理論	(後)	2				
40			*	総合英語	(前)	2		英会話Advanced I	(前)	2				
総		英		英検中級·TOEIC基礎	(後)	2		英会話AdvancedⅡ	(後)	2				
		語		英会話Basic I	(前)	2								
	語			英会話BasicⅡ	(後)	2								
合		中国						初級中国語	(前)	2				
		語						中級中国語	(後)	2				
	学	韓国						初級韓国語	(前)	2				
科		語						中級韓国語	(後)	2				
		日本	☆	日本語 I	(前)	2	☆	日本語Ⅲ	(前)	2				
		語	☆	日本語Ⅱ	(後)	2	☆	日本語IV	(後)	2				
目		実	*	情報リテラシー演習	(前)	2								
	キ宝	践		コミュニケーションと自己発見 I	(前)	2								
	ヤ践	スキ	*	コミュニケーションと自己発見Ⅱ	(後)	2								
	リカア養	ル		大学基礎総合	(前)	2								
	開成			文章表現	(後)	2								
	発・	アキ 開ヤ					*	キャリアデザイン入門 I	(前)	2	キャリアテ [*] サ [*] イン I (前) 2		
		発リ					*	キャリアテ゚サ゚イン入門Ⅱ	(後)	2	キャリアテ゚サ゚インⅡ (後) 2		
	特	特		特別講義「語学」		1~4								
	別講	基別 礎講		特別講義「実践力養成」		1~4								
	義	義		特別講義「キャリア」		1~4								

別表Ⅱ-Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数 ※必修24単位を含み、84単位以上修得

(注1) * 印のついた科目は必修科目

(注2)「専門基礎」の分野から必修科目6単位を含み20単位以上修得

(注3)「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得

(注4)「専門応用」の分野から24単位以上修得

(注4)(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

大	中	小	1年生			2年生			3年生	4年生	
分類	分類	分類	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目単位	授業科目	単位
			情報学入門	(前)	2	統計学入門 ((前)	2	* 情報セキュリテ	1 (前	
		情	情報数学 I	(後)	2				情報システムの	の開発と管理(前) 2
	_	報	情報ネットワーク入門	(後)	2				マルチメディア言	論 (前) 2
	専門		ピジネスソフト活用演習	(後)	4						
車	基礎		* 経営学総論 I	(前)	2	マネージ・メント科学((前)	2			
	1PE	経営	* 会計学入門	(前)	2	ピジネス実務 ((前)	2			
		•	簿記 I	(前)	2	民事法 ((前)	2			
		会計	簿記Ⅱ	(後)	2	経営情報論 I ((前)	2			
						稻	圣営情	骨報論]	Ⅱ (後) 2		
門			計算機システム論	(後)	2	プログラミング実践 I ((前)	4	計測·制御記	論 (後) 2
''			* プログラミング初歩 I	(前)	2	プログラミング実践Ⅱ ((後)	4	モハ・イルネットワ	1-7 (前) 2
	専		プログラミング初歩Ⅱ	(後)	2	* 情報テクノロジー演習 I ((前)	4			
	門	情					(後)	4			
	発展	報				アルゴリス・ムとデータ構造((前)	2			
							(前)	2			
教							(前)	2			
							(後)	2			
		ネ	Webコンテンツ制作 I	(後)	2		(前)	2	Webプログラミ		
		イッ					(後)	2	Webプ [°] ロク [*] ラ		
		トワ					(前)	2		リケーション構築 (通年	
育		1					(後)	2	インターネット技	(前) 2
		ク					(前)	2			
	専		34.15.4	(111)			(後)	2	4 ** = !m !c	- (34:	
	門応		会計学	(後)	2		(前)	2	多変量解析		
	用	デー	マーケティング論	(前)	2		(前)	2	デ*ータ解析	前	
科		タ	消費者行動論	(後)	2		(後)	2	デ*ータモデ*リン:		
		サイ				ピジネスプログラミング ((前)	2	統計プログラ		
		エ							機械学習	(前	
		ンス							人工知能	(後	
									計量経済分	析(後	2
目	342	.,	プレゼミI	(前)	2		通年)		専門セ*ミ I (通年)	専門セ*ミⅡ (通年	Ξ)
	演習	ゼミ	プレセミⅡ	(後)	2	*	通年)	4	* 情報学専門演習 [(通年)	* 情報学専門演習 I (通年	4
	特	特	特別講義「経営」		1~4	III I CENCIA I		!	111 No. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	דם אוווי נאונוו	
	別	専別	特別講義「会計」		1~4						
	講義	門講義	特別講義「情報」		1~4						
	水	报	7寸パ1冊4戈「 月刊(]		1 -4						

授業科目一覧 経営情報学科

〇卒業要件

必修科目42単位を含めて124単位以上を修得すること

【学籍番号】 223

別表 I - I 基礎総合科目の開講時期と単位数 ※必修16単位を含み、40単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「総合教養」の分野から*(必修)4単位を含み12単位以上修得
- (注3)「語学」の分野から*(必修)2単位を含み6単位以上修得
- (注4)「実践力養成・キャリア開発」の分野から*(必修)10単位を含み12単位以上修得
- (注5) ☆ 印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
- (注6)(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋 <参考>

第5条

2 本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として4 9単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

				1年生				2年生		3年生		4年生	
				授業科目		単		授業科目	単	授業科目	単	授業科目	単
					()()	位		1又来付日	位	1文来付日	位	1文来行日	位
			*	建学の精神と人生	(前)	2							
		人文		宗教学	(後)	2							
		科		心理学	(前)	2							
	総	学		文学	(前)	2							
			*	情報倫理	(後)	2							
	合			法学	(前)	2							
	Н	社		日本国憲法	(後)	2							
		会		社会学	(後)	2							
	教	科学		政治学	(後)	2							
		,		経済学	(前)	2							
基			☆	日本事情	(前)	2							
	養	科自 学然		基礎数学	(前)	2							
礎		健ス康ポ		ウェルネス	(前)	1		スポーツ理論 (前	fj) 2				
1778		科 学ツ		スホ゜ーツ	(後)	1		ウェルネス理論 (名	後) 2				
			*	総合英語	(前)	2		英会話Advanced I (前	fj) 2				
総		英		英検中級·TOEIC基礎	(後)	2		英会話AdvancedⅡ (征	(全) 2				
THES.		語		英会話Basic I	(前)	2							
	語			英会話Basic Ⅱ	(後)	2							
		田中						初級中国語 (前	íj) 2				
合		語						中級中国語 (征	(全) 2				
	学	韓国						初級韓国語 (前	íj) 2				
		語						中級韓国語 (征	(全) 2				
科		日本	☆	日本語 I	(前)	2	☆	日本語Ⅲ (前	fj) 2				
		語	☆	日本語Ⅱ	(後)	2	☆	日本語IV (名	(全) 2				
			*	情報リテラシー演習 I	(前)	2							
I		実		情報リテラシー演習Ⅱ	(後)	2							
	キ実	践ス	*	コミュニケーションと自己発見 I	(前)	2							
	ヤ践リカ	イキ	*	コミュニケーションと自己発見Ⅱ	(後)	2							
	ア養	ル		大学基礎総合	(前)	2							
	開成			文章表現	(後)	2							
	発・	アキ					*	キャリアデ・サーイン入門 I (育	fj) 2	キャリアテ [*] サ [*] イン I (前)	2		
		開ヤ発リ						キャリアデザイン入門Ⅱ (名		キャリアテ'サ'イン II (後)	2		
	特			特別実習•講義「語学」		1~4							
	淵実習	講 業 業 業		特別実習・講義「実践力養」	- t	1~4							
	義習	義基礎.		特別実習・講義「キャリア」	~.J	1~4							
				10 1/17 日 - 時我 「7 777]		1 -4							

別表 I - II 専門教育科目の開講時期と単位数 ※<u>必修26単位</u>を含み、84単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「専門基礎」の分野から必修科目12単位を含み20単位以上修得
- (注3)「専門発展」の分野から必修科目2単位を含み14単位以上修得
- (注4)「専門応用」の分野から24単位以上修得
- (注4)(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

大	中	小	1年生			2年生			3年生			4年生		
分	分	分	授業科目		単	授業科目		単	授業科目		単	授業科目		単
類	類	類		(2/ 1)	位		(24)	位 2	12 未行口		位	1又未行口		位
		経	* 経営学総論 I * 会計学入門	(前) (前)	2 2	マネージメント科学 ビジネス実務	(前) (前)	2						
		営・	* 云町子八門 * 簿記 I	(前)	2	民事法	(前)	2						
		会	* 海記Ⅱ 簿記Ⅱ	(後)	2	* 経営情報学 I	(前)	2						
	専	計	得記Ⅱ	(仮)	2	* 醛呂旧報子1		青報学	п	(後)	2			
	門基		* 情報学入門	(前)	2	統計学入門	(前)	2		情報な	 !	,	(前)	2
	礎		情報数学I	(後)	2	が印子八丁	(111)	2				開発と管理	(前)	2
		情	情報ネットワーク入門	(後)	2					マルチメテ			(前)	2
		報	コンピュータ実務演習 I	(前)	2					Y/V) //	1/m=		(11)	2
			コンピュータ実務演習Ⅱ	(後)	2									
			* マーケティング i論	(前)	2	企業金融	(前)	2		組織心	田学		(前)	2
j.		terr			2	コマース論Ⅰ		2						2
		経営	ベンチャーピジネス入門	(後)			(前)			知的所			(前)	
			経営学総論Ⅱ	(後)	2	日本経営史	(前)	2		労務管	理論		(前)	2
		会計	会計学	(後)	2	経営分析	(前)	2						
						統計学 経営組織論	(後)	2						
			三上館 4米 シュニュ 三人	(34.)	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	(後)	2		7° ~ 4° = 3	こい おき		(34)	0
9	専		計算機システム論	(後)	2		(24)	0	•	プログラミ			(前)	2
	門 発			1月 年 /	クノロシ		(前)	2	•	中級プロ			(後)	2
	展					アルゴリズムとデータ構造	(前)					フィックス論	(前)	2
						データベース論	(前)	2		計測・制			(後)	2
		情報				ケームプログラミング	(前)	2				術演習Ⅲ	(前)	2
女		TIK				情報処理技術演習I	(前)	2		情報処	埋技作	術演習Ⅳ	(後)	2
						情報処理技術演習Ⅱ	(後)	2		(24)	0			
								ミングス		(前)	2			
								゜ロク・ラミ		(後)	2			
						+		*メントケ		(後)	2		(34)	2
ŧ						中級簿記演習I	(前)	2		税務会			(前)	
						中級簿記演習Ⅱ	(後)	2		税法学	•		(後)	2
						原価計算論I	(前)	2						
		会計				原価計算論Ⅱ	(後)	2						
		н				財務会計論	(前)	2						
si si						会社法	(前)	2						
4						監査論	(後)	2						
	専		for M Mh wh a f	()()	_	コンピュータ会計	(前)	2			.0		((0)	_
	門応		経営戦略論	(前)	2	マーケティング・リサーチ	(前)	2		ピシネス			(後)	2
	用		消費者行動論	(後)	2	デジタルビジネス論	(後)	2		計量経	済分4	PT .	(後)	2
		経営				SNS活用と問題解決	(前)	2						
■						コマース論Ⅱ	(後)	2		((0)				
								一企業	論	(後)	2			
		国				East Office Gray SSI . St.A.	中小公			(前)	2	T	(24)	_
		際				国際経営論	(後)	2		ピシネス			(前)	2
		ビジ				国際情報分析	(後)	2		ピジネス		П	(後)	2
		ネ				英検上級 I・TOEIC応用		2		国際経	済論		(前)	2
		ス	0.10			英検上級 II・TOEIC応用		2			-			
	演羽	ゼミ	プレセミI	(前)	2	基礎ゼミ	(通年)	4	*	(通年)	4	専門ゼミⅡ *	(通年)	4
	習 "	3	プレセ"ミⅡ	(後)	2	経営学基礎演習	(通年)		経営学専門演習I	(通年)		経営学専門演習Ⅱ	(通年)	
	特別実習	講義専門・	特別実習•講義「経営」		1~4									
	***実 義習	専習	特別実習•講義「会計」		1~4									
	-	1 ²³ .	特別実習•講義「情報」		$1\sim4$									

授業科目一覧 情報ネットワーク学科

〇卒業要件

必修科目42単位を含めて124単位以上を修得すること

【学籍番号】 223

別表 II - I 基礎総合科目の開講時期と単位数 ※<u>必修16単位</u>を含み、40単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「総合教養」の分野から*(必修)4単位を含み12単位以上修得
- (注3)「語学」の分野から*(必修)2単位を含み6単位以上修得
- (注4)「実践力養成・キャリア開発」の分野から*(必修)10単位を含み12単位以上修得
- (注5) ☆ 印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
- (注6)(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋 <参考>

第5条

2 本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として4 9単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

		1年生		2年生		3年生		4年生						
				授業科目		単位		授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目	単位
			*	建学の精神と人生	(前)	2				مكدا		1224		122
		人		宗教学	(後)	2								
		文科		心理学	(前)	2								
	総	学		文学	(前)	2								
			*	情報倫理	(後)	2								
				法学	(前)	2								
	合	÷1.		日本国憲法	(後)	2								
		社会		社会学	(後)	2								
	教	科学		政治学	(後)	2								
		7		経済学	(前)	2								
基			☆	日本事情	(前)	2								
	養	科自 学然		基礎数学	(前)	2								
		健ス康ポ		ウェルネス	(前)	1		スポーツ理論 ((前)	2				
礎		科ー学ツ		スポ [°] ーツ	(後)	1		ウェルネス理論 ((後)	2				
			*	総合英語	(前)	2		英会話Advanced I ((前)	2				
総		英		英検中級·TOEIC基礎	(後)	2		英会話Advanced II ((後)	2				
WE.		語		英会話Basic I	(前)	2								
	語			英会話Basic Ⅱ	(後)	2								
		中国						初級中国語 ((前)	2				
合		語						中級中国語 ((後)	2				
	学	韓国						初級韓国語 ((前)	2				
		語						中級韓国語 ((後)	2				
科		日本	☆	日本語 I	(前)	2	☆	日本語Ⅲ ((前)	2				
		語	☆	日本語Ⅱ	(後)	2	☆	日本語Ⅳ ((後)	2				
			*	情報リテラシー演習 I	(前)	2								
目		実		情報リテラシー演習Ⅱ	(後)	2								
	キ実	践ス	*	コミュニケーションと自己発見 I	(前)	2								
	マ既リカ	キル	*	コミュニケーションと自己発見Ⅱ	(後)	2								
	ア養	10		大学基礎総合	(前)	2								
	開成 発・			文章表現	(後)	2						-		
		アキ 開ヤ					*	キャリアデザイン入門 I ((前)	2	キャリアテ [*] サ [*] イン I (前) 2		
		発リ					*	キャリアデ・サ・イン入門Ⅱ ((後)	2	キャリアテ゛サ゛イン Ⅱ (後) 2		
	特別	講智		特別実習・講義「語学」		1~4								
	淵実習	講義基礎 特別実習・		特別実習・講義「実践力養」	成」	1~4								
	*~習	礎智		特別実習・講義「キャリア」		1~4								

別表 II - II 専門教育科目の開講時期と単位数 ※<u>必修26単位</u>を含み、84単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「専門基礎」の分野から必修科目10単位を含み20単位以上修得
- (注3)「専門発展」の分野から必修科目4単位を含み14単位以上修得
- (注4)「専門応用」の分野から24単位以上修得
- (注4)(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

大	中	小	1年生			2年生			3年生		4年生	4年生	
分類	分類	分類	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目		
			* 情報学入門	(前)	2	統計学入門	(前)	2	* 情幸		1	(前)	Ì
			情報数学I	(後)	2				情 幸	員システムの	の開発と管理	(前)	
		情報	情報ネットワーク入門	(後)	2				マル	ゲメディア語	侖	(前)	
	専	+IX	コンピュータ実務演習 I	(前)	2								
	門基		コンピュータ実務演習Ⅱ	(後)	2								
車	礎	ten.	* 経営学総論 I	(前)	2	マネージメント科学	(前)	2					
		経営	* 会計学入門	(前)	2	ビジネス実務	(前)	2					
			簿記 I	(前)	2	民事法	(前)	2					
		会計	簿記Ⅱ	(後)	2	* 経営情報学 I	(前)	2					
							経営性	青報学	Ⅱ (後) 2			
門			計算機システム論	(後)	2	プログラミング実践 [(前)	4	計准	・制御語	侖	(後)	
'			* プログラミング初歩 I	(前)	2	プログラミング実践Ⅱ	(後)	4	そハ	イルネットワ	ーク	(前)	
			プログラミング初歩Ⅱ	(後)	2	ケ・ームプ・ロク・ラミンク・	(前)	2	情幸	处理技	術演習Ⅲ	(前)	
	専門	情				* 情報処理技術演習 I	(前)	2	情幸	处理技	術演習Ⅳ	(後)	
	発	報				情報処理技術演習Ⅱ	(後)	2					
	展					アルゴリス゛ムとテ゛ータ構造	(前)	2					
教						情報数学Ⅱ	(前)	2					
						データヘース論	(前)	2					
						オペ゜レーティング・システム論	(後)	2					
		<i>→</i>	Webデザイン	(後)	2	スイッチング・技術	(前)	2		プログラミ		(前)	
		ネッ				ルーティング技術	(後)	2		プログラミ		(後)	
育		トワ				SNS活用と問題解決	(前)	2			リケーション構築	(通年)	
		1				デジタルビジネス論	(後)	2	インタ	ーネット技	術	(前)	
		ク				Webシステム	(前)	2					
	専			(44.)		Webプログラミング I	(後)	2					
	門皮		会計学	(後)	2	マーケティング・リサーチ	(前)	2		量解析		(前)	
科	用	デー	マーケティング。論	(前)	2	経営分析	(前)	2		タ解析		(前)	
		タ	消費者行動論	(後)	2	統計学	(後)	2		タモテ゛リンク		(後)	
		サイ				ヒ゛シ゛ネスプ゜ロク゛ラミンク゛	(前)	2		トプログラ	ミング	(後)	
		エ								学習		(前)	
		ンス							* *	知能	ler.	(後)	
в		^`							計畫	経済分	析	(後)	
	342		プレセミI	(前)	2	基礎でミ	(通年)		専門セ'ミ I (通4	=)	専門セ′ミⅡ	(通年))
	演習	ゼミ	プレセミ エ プレセミⅢ	(後)	2	* 情報学基礎演習	(通年)	4	* 情報学専門演習 I (通・	4	サロビ:II * 情報学専門演習II		
	特	特	特別実習・講義「経営」	(1久)	1~4	旧形士巫诞供自	(地十)		旧林工-孙川州日1 (理)	1	旧水十寻门枫首Ⅱ	(地十)	,
	.別 講義習	講義専門 特別実習・	特別実習・講義「会計」		1~4								
	義習	専習	特別実習•講義「情報」		1 -4								

授業科目一覧 経営情報学科

〇卒業要件

必修科目40単位を含めて124単位以上を修得すること

【学籍番号】 224

別表 I - I 基礎総合科目の開講時期と単位数 ※必修14単位を含み、40単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「総合教養」の分野から*(必修)4単位を含み12単位以上修得
- (注3)「語学」の分野から*(必修)2単位を含み6単位以上修得
- (注4) 「実践力養成・キャリア開発」の分野から*(必修)8単位を含み12単位以上修得
- (注5) ☆ 印のついた科目は外国人留学生のみ選択可

(注6)(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋 <参考>

第5条

2 本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として4 9単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

		1年生				2年生			3年生		4年生			
				授業科目		単位		授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目	単位
			*	建学の精神と人生	(前)	2				11/2.		11/2		11/4
		人		宗教学	(後)	2								
		文		心理学	(前)	2								
	総	科学		文学	(前)	2								
		,	*	情報倫理	(後)	2								
				法学	(前)	2								
	合			日本国憲法	(後)	2								
		社会		社会学	(後)	2								
	det.	科		政治学	(後)	2								
	教	学		経済学	(前)	2								
基			☆	日本事情	(前)	2								
	養	科自		基礎数学	(前)	2								
		学然										-		
礎		康ポ		ウェルネス	(前)	1		スポーツ理論	(前)	2				
		科 学ツ		スポ゜ーツ	(後)	1		ウェルネス理論	(後)	2				
			*	総合英語	(前)	2		英会話Advanced I	(前)	2				
総		英		英検中級·TOEIC基礎	(後)	2		英会話Advanced II	(後)	2				
		語		英会話Basic I	(前)	2								
	語			英会話Basic Ⅱ	(後)	2								
合		中国						初級中国語	(前)	2				
		語						中級中国語	(後)	2				
	学	韓国						初級韓国語	(前)	2				
		語						中級韓国語	(後)	2				
科		日本	☆	日本語 I	(前)	2	☆	日本語Ⅲ	(前)	2				
		語	☆	日本語Ⅱ	(後)	2	☆	日本語Ⅳ	(後)	2				
		実	*	情報リテラシー演習 I	(前)	2								
目	キ実	践ス		情報リテラシー演習Ⅱ	(後)	2								
	ヤ践リカ	キ	*	スタテ・イスキル	(前)	2								
	ア養	ル		ラーニングリテラシー	(前)	1								
	開成発・	丰	*	キャリアテ゛サ゛イン Ι	(前)	2		キャリアテ゛サ゛インⅢ	(前)	2	キャリアテ [*] サ [*] インV (前	2		
		開ヤ	*	キャリアテ゚サ゚イン Ⅱ	(後)	2		キャリアテ [*] サ [*] イン IV	(後)	2	キャリアテ [*] サ [*] インVI (後	2		
		ア			インター	ンシップ゜	実習		(通年)	2				
	特	持二		特別実習・講義「語学」		1~4								
	講 漢 義 習	講義基礎 特別実習・		特別実習・講義「実践力養	成」	1~4								
	*~習	礎 .		特別実習・講義「キャリア」		1~4								

別表 I - II 専門教育科目の開講時期と単位数 ※<u>必修26単位</u>を含み、84単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「専門基礎」の分野から必修科目10単位を含み20単位以上修得
- (注3)「専門発展」の分野から必修科目4単位を含み14単位以上修得
- (注4)「専門応用」の分野から24単位以上修得
- (注4)(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

大	中	小		1年生			2年生			3年生		4年生		
分類	分類	分類		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目		<u>i</u>
	77.	77.	*	経営学総論 I	(前)	2	マネージ・メント科学	(前)	2		12/4			
		経営	*	簿記 I	(前)	2	ビジネス実務	(前)	2					
		宮 •		簿記Ⅱ	(後)	2	民事法	(前)	2					
		会			(0.0)		* 経営情報学 I	(前)	2					
	専門	計					12 July 114 14 7 =	経営情		П (後) 2	-		
	基		*	情報学入門	(前)	2	統計学入門	(前)	2		報セキュリテ	1	(前)	
	礎			情報数学 I	(後)	2						の開発と管理	(前)	
		情却		情報ネットワーク入門	(後)	2					ルチメテ [*] ィア言		(前)	
専		報		コンピュータ実務演習Ⅰ	(前)	2								
				コンピュータ実務演習Ⅱ	(後)	2								
			*	マーケティング・論	(前)	2	企業金融	(前)	2		的財産権		(前)	
				ヘ'ンチャーピシ'ネス入門	(後)	2	コマース論	(前)	2	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	務管理論		(前)	
		経営		経営学総論Ⅱ	(後)	2	経営史	(前)	2					
門		営・	*	会計学	(前)	2	経営分析	(前)	2					
		会計					統計学	(後)	2					
		PΙ					コンピュータ会計	(後)	2					
							経営組織論	(後)	2					
				計算機システム論	(後)	2				フ	゚ロク゛ラミンク゛言	倫	(前)	
数	専門				情報を	クノロシ	=	(前)	2	4	級プログラ	ミング	(後)	
a	発						アルコ・リス・ムとデータ構造	(前)	2	2	ンピュータグラ	フィックス論	(前)	
	展						データヘース語	(前)	2	言	-測・制御:	<u></u>	(後)	
							ケ・ームプ・ロケ・ラミンク・	(前)	2	· · ·	新 報処理技	術演習Ⅲ	(前)	
		情報					eスポーツ概論	(後)	2	悍	青報処理技	術演習IV	(後)	
		+IX					情報処理技術演習I	(前)	2					
育							情報処理技術演習Ⅱ	(後)	2					
								プログラ	ミングブ	門 (前) 2			
								初級プ	ログラミ	ング (後) 2			
								マネーシ	メントケ	`-L (後) 2			
							中級簿記	(前)	2	移	務会計論		(前)	
P		会					原価計算論	(前)	2	移	法学		(後)	
		計					財務会計論	(前)	2					
	亩						会社法	(前)	2					
	専門	60		経営戦略論	(後)	2	デシ゚タルピシ゚ネス論	(後)	2	ť	シ゚ネスプラニ	ング	(後)	
	応用	経営		消費者行動論	(後)	2	SNS活用と問題解決	(前)	2					
目	/14							中小企	業論	(前) 2			
		国際					国際経営論	(後)	2	Ľ.	ジネス英語		(前)	
		ビジ					英検上級 I・TOEIC応用 I	(前)	2	Ξ	際経済論		(前)	
		ネス					英検上級Ⅱ·TOEIC応用Ⅱ	(後)	2					
	演	ゼ		プレセミ I	(前)	2	基礎で、	(通年)	4	専門ゼミ I (i	重年) 4	専門ゼミⅡ *	(通年)	
	習	11		プ°レセ°ミⅡ	(後)	2		(通年)	4	* 経営学専門演習 I (i		* 経営学専門演習 II	(通年)	
	特 別	游 訓		特別実習・講義「経営」		1~4								
	湖 講 義習	講義専門 特別実習・		特別実習・講義「会計」		1~4								
	音	門。		特別実習·講義「情報」		1~4								

授業科目一覧 情報ネットワーク学科

〇卒業要件

必修科目40単位を含めて124単位以上を修得すること

【学籍番号】 224

別表 II - I 基礎総合科目の開講時期と単位数 ※<u>必修14単位</u>を含み、40単位以上修得

- (注1) * 印のついた科目は必修科目
- (注2)「総合教養」の分野から*(必修)4単位を含み12単位以上修得
- (注3)「語学」の分野から*(必修)2単位を含み6単位以上修得
- (注4) 「実践力養成・キャリア開発」の分野から*(必修)8単位を含み12単位以上修得
- (注5) ☆ 印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
- (注6)(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋 <参考>

2 本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として4 9単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

		1年生		2年生				3年生		4年生				
				授業科目		単位		授業科目		単位	授業科目	単位	授業科目	単位
			*	建学の精神と人生	(前)	2				J.Z.a		124		1224
		人		宗教学	(後)	2								
		文科		心理学	(前)	2								
	総	学		文学	(前)	2								
			*	情報倫理	(後)	2								
				法学	(前)	2								
	合	÷1.		日本国憲法	(後)	2								
		社会		社会学	(後)	2								
	教	科学		政治学	(後)	2								
基		7		経済学	(前)	2								
_			☆	日本事情	(前)	2								
	養	科自 学然		基礎数学	(前)	2								
礎		健ス		ウェルネス	(前)	1		スポーツ理論	(前)	2				
1778		康ポー		スポ゜ーツ	(後)	1		ウェルネス理論	(後)	2				
		学ツ	*	総合英語	(前)	2		英会話Advanced I		2				
		英	*	英検中級・TOEIC基礎	(後)	2		英会話Advanced II	(前)	2				
総				英会話Basic I	(前)	2		央云前Advanced II	(仮)					
	and the same of th	語		英会話Basic II	(後)	2								
	語	中		Z m basic n	(1007)	2		初級中国語	(前)	2				
合		国語						中級中国語	(後)	2				
	学	韓						初級韓国語	(前)	2				
		国語						中級韓国語	(後)	2				
科		日	☆	日本語 I	(前)	2	☆		(前)	2				
		本語	☆	日本語Ⅱ	(後)	2	☆	日本語IV	(後)	2				
		実	*	情報リテラシー演習 I	(前)	2								
目	キ実	践ス		情報リテラシー演習Ⅱ	(後)	2								
	ャ践リカ	キ	*	スタテ・イスキル	(前)	2								
	ア養	ル		ラーニングリテラシー	(前)	1								
	開成発・	+	*	キャリアデ [・] サ [・] イン I	(前)	2		キャリアデ [*] サ [*] イン Ⅲ	(前)	2	キャリアデザインV(前	i) 2		
	_	開ヤ	*	キャリアテ [*] サ [*] イン I I	(後)	2		キャリアテ [*] サ [*] イン I V	(後)	2	キャリアテ゛サ゛インVI (後	2		
		光クア			インター:	ンシップ゜	実習		(通年)	2				
	特	***特		特別実習·講義「語学」		1~4								
	講実 習	語 義 数 実		特別実習•講義「実践力者		1~4								
	表習	講義基礎特別実習・		特別実習・講義「キャリア」		1~4								

別表Ⅱ-Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数 ※必修26単位を含み、84単位以上修得

(注1) * 印のついた科目は必修科目

(注2)「専門基礎」の分野から必修科目8単位を含み20単位以上修得

(注3)「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得

(注4)「専門応用」の分野から24単位以上修得

(注4)(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

大	中	小		1年生			2年生			3年生	4年生		
分類	分類	分類		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目 単位	授業科目		住
			*	情報学入門	(前)	2	統計学入門	(前)	2	* 情報セキュリティ		(前)	
				情報数学 I	(後)	2				情報システムの	開発と管理	(前)	
		情報		情報ネットワーク入門	(後)	2				マルチメディア論		(前)	
	専	+1×		コンピュータ実務演習 I	(前)	2							
	門基			コンピュータ実務演習Ⅱ	(後)	2							
	礎		*	経営学総論I	(前)	2	マネージ・メント科学	(前)	2				
		経営		簿記 I	(前)	2	ビジネス実務	(前)	2				
ŗ		١.		簿記Ⅱ	(後)	2	民事法	(前)	2				
		会計					* 経営情報学 I	(前)	2				
		PI						経営性	青報学	Ⅱ (後) 2			
				計算機システム論	(後)	2	プログラミング実践 I	(前)	4	計測·制御論		(後)	
			*	プログラミング初歩I	(前)	2	プログラミング実践Ⅱ	(後)	4	モハ・イルネットワー	¹	(前)	
				プログラミング初歩Ⅱ	(後)	2	ケ・ームプ・ログ・ラミング	(前)	2	情報処理技術	所演習Ⅲ	(前)	
i							eスポーツ概論	(後)	2	情報処理技術	所演習Ⅳ	(後)	
		情					* 情報処理技術演習 I	(前)	2				
	専	報					情報処理技術演習Ⅱ	(後)	2				
	門発						アルゴリス・ムとデータ構造	(前)	2				
	展						情報数学Ⅱ	(前)	2				
t							データヘース論	(前)	2				
							オヘ゜レーティング・システム論	(後)	2				
		経営	*	会計学	(前)	2	コマース論	(前)	2	知的財産権		(前)	
							経営組織論	(後)	2				
		会計					コンピュータ会計	(後)	2				ı
f				Webテ'サ'イン	(後)	2	スイッチング技術	(前)	2	Webプログラミン	<i>ӯ</i> * II	(前)	Ī
		ネッ					ルーティング技術	(後)	2	Webプ [°] ロク [°] ラミン	J [*] III	(後)	
		卜					SNS活用と問題解決	(前)	2	ネットワークアプリ	アーション構築 (通年)	
		ワー					デジタルビジネス論	(後)	2	インターネット技術	Ť	(前)	
		ク					Webシステム	(前)	2				
	寅						Webプ゚ログラミンク゛ I	(後)	2				
	門	デ		マーケティング゛論	(前)	2	経営分析	(前)	2	多変量解析		(前)	
	応用	タ		消費者行動論	(後)	2	統計学	(後)	2	データ解析		(前)	
	/14	サ					ビジネスプログラミング	(前)	2	デ [*] ータモテ [*] リンク [*]		(後)	
		イエ								統計プログラミン	グ	(後)	
		ン								機械学習		(前)	
		ス								人工知能		(後)	
		ジ国					英検上級 I • TOEIC応用	I (前)	2	ビジネス英語		(前)	
		ネ際ス					英検上級Ⅱ·TOEIC応用	Ⅱ (後)	2				
	演	ぜ		プレセ'ミ I	(前)	2	基礎セ [*] ミ	(通年)	4	専門セミI (通年) * 4	専門ゼミⅡ (a	通年)	
	習	Ì		プレセミⅡ	(後)	2	情報学基礎演習	(通年)		情報学専門演習 I (通年)	情報学専門演習Ⅱ(通年)	
	特別	游 游 別		特別実習•講義「経営」		1~4							
	講実習	義専門· 親専習·		特別実習・講義「会計」		$1 \sim 4$							
	:	門:	l	特別実習・講義「情報」		1~4							

九州情報大学教育課程表(カリキュラム)のナンバリング(科目番号付け)について

学生生活を送るにあたって、学生の皆さんが必ずしなければいけないことの一つに履修 登録(学生が授業で学ぶ科目を届け出ること)があります。この履修登録の時に、自分が どの科目を登録したらよいか、判断の材料にしていただきたいのが科目のナンバリング(科 目番号付け)です。

ナンバリングは3つのゾーンに分かれており、それぞれを「-」(ハイフン)で繋いでいます。各ゾーンは左から順に「科目情報」、「開講情報」、「履修情報」を表します。それぞれ、「科目情報」は4桁、「開講情報」は4桁、「履修情報」は3~4桁で構成されており、ナンバリング変数を以下の様にしています。

ナンバリング変数 $S_1S_2S_3S_4$ - $C_1C_2C_3C_4$ - $T_1T_2T_3T_4$

科目情報 開講情報 履修情報

 S_1 は科目を開設する教育課程を表します。 S_2S_3 は科目群、 S_2 はカリキュラム表の大分類、 S_3 は中分類ならびに小分類を表します。 S_4 は科目水準を表します。

 $C_1C_2C_3$ は S_1 の教育課程内で 3 桁の連番($501\sim999$)を付し、科目名のヨミガナ昇順とします。両学科や他コースに配置される同一科目名は同じ番号とします。 C_4 は受講に際しての前提条件(前提科目)を表し、前提条件が無ければ 0、有れば 1 以上の値とします。前提条件を備えた一連の科目は、ヨミガナに関わらず $C_1C_2C_3$ を同一とし、履修の順番を C_4 で示しています。

 T_1 は開講学年、 T_2 は単位数、 T_3 は選択・必修科目を表します。 T_4 は教職科目のうち、別表 $\mathbf{III}(1)$ ならびに別表 $\mathbf{III}(2)$ の教科に関する科目等を表します。

具体的なコード表は3ページ以降に示します。

【ナンバリングの例】

ナンバリング変数 $S_1S_2S_3S_4$ - $C_1C_2C_3C_4$ - $T_1T_2T_3T_4$

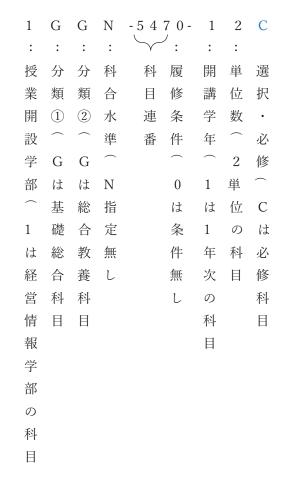
 教育
 科
 日
 単
 選択・必修

 村
 日
 基
 サ
 単
 単
 数職教科(必修

 村
 日
 水
 本
 本
 体
 公修

それではナンバリングについて、「建学の精神と人生」という科目を例にして説明しましょう。この科目の番号とその意味は次の通りです。

建学の精神と人生



このようにナンバリングは、皆さんが履修の時に必要なその科目に関する様々な情報が表示されています。たとえば科目の分類(基礎総合科目、専門教育科目など)、科目の水準(入門・基礎、応用・発展)、履修条件(授業によっては、関連科目を履修または合格を履修条件にする科目あり)、開講学年、単位数、選択・必修の区別などです。

本学の授業科目は、1年次から4年次まで段階を追って入門基礎から応用発展まで追って無理なく学ぶことができるように編成されています。皆さんは、自分の学年、単位の取得状況、興味関心、将来の進路など考慮したうえで、科目の履修登録をしてください。その際はそれぞれの科目のナンバリングを参考にしましょう。また、科目の内容についてきちんと理解したうえで履修登録をすることが肝心です。ですからシラバスをしっかりと読むことはもちろんですが、わからないところは担当教員や教務課に聞いてみましょう。

ナンバリングは学科、分類、開講年次、単位数などの情報に従って、11 桁の番号で表します。ただし、教職科目については12 桁としています。

①授業開設学部 S₁

学部	S_1
経営情報学部	1
教職	2
大学院 修士課程	3
大学院 博士課程	4

② 科目群 1 S_2 、 ③ 科目群 2 S_3

学士課程

科目群1 (大分類)	S_2	科目群 2 (中小·分類)	S_3
		総合教養	G (General)
基礎総合	G (General)	語学	L (L anguage)
		実践力養成・キャリア開発	C (Career)
専門基礎	B (B asic)	経営・会計系	M (Management)
守门圣陇	B (Basic)	情報系	I (Information)
専門発展	A (Advanced)	経営・会計系	M (Management)
守门	A (Advanced)	情報系	I (Information)
		経営系	M (Management)
		会計系	A (Accounting)
専門応用	E (Expand)	国際ビジネス系	G (Global)
		ネットワーク系	N (Network)
		データサイエンス系	D (Data science)
		プレゼミ	P(P re)
演習	Se(Se minar)	ゼミナール・演習基礎	B (Basic)
(供自	Se(Semmar)	ゼミナール・演習専門I	A(A dvanced)
		ゼミナール・演習専門II	E(E xpand)
		経営系	M (M anagement)
		会計系	A (Accounting)
 特別実習・講義	S (Special)	情報系	I (Information)
刊加大日	o (Opeciai)	総合教養系	G (G eneral)
		語学系	L (Language)
		実践力養成・キャリア系	C (Career)

教職課程

科目群	1 (大分類)	S_2	科目群2 (中小・分類)	S_3
教職課程	1	T (Teacher)	教職に関する科目	T (Teacher)

大学院(修士課程、博士課程)

科目群1(大分類)	S_2	科目群2(中小・分類)	S_3
		経営	M (Management)
		会計	A (Accounting)
修士課程	M (Master)	税法	T (Tax)
		情報	I (Information)
		M 演習	S (Seminar)
		経営	M
博士課程	D (Doctor)	会計	A
	(Doctor)	情報	I
		D 演習	S

④ 科目水準 S₄

水準	S_4	
基礎・入門	В	Basic
応用・発展	A	A pplied • Advanced
無し	N	Neutral

科目群内でアイウエオ順の連番(3桁、501~999)

開講学年	$C_1 C_2 C_3$
学部	501~999
教職課程	501~999
修士課程	501~999
博士課程	501~999

※ 連番を2グループに分け、 001~499 と 501~999 は カリキュラム変更によって、 交互に使用する。

⑧ 前提条件(履修条件) C₄

履修条件 内容	C_4
履修条件なし	0
履修条件あり	1以上の数
	1 は最初に履修
	2は1の後に履修
	n+1 は n の後に履修

⑨ 開講学年 T₁

開講学年	T_1
1 年生	1
2 年生	2
3 年生	3
4 年生	4
1 • 2	X
1~4	Y
3 • 4	Z
2 · 3	U
1~3	V
2~4	W

⑩ 単位数 T₂

単位数	T_2
1 単位	1
2 単位	2
4 単位	4
6 単位	6
2~4 (特別講義)	W
1~4 (特別講義)	Y

① 必修・選択 T₃

	選択制限	T_3	
ſ	必修科目	С	Compulsory subject
ſ	選択科目	Е	Elective subject
Ī	選択必修	D	

② 教職 T4

教科に関する科目	T_4	
必修科目	Т	Teaching subject
選択科目	S	teaching subject of S election

number	大分類	中分類	小分類	科目名
1GGN-5470-12C	基礎総合			建学の精神と人生
1GGN-5660-12E	基礎総合	総合	人文科学	宗教学(宗教と人生)
1GGN-5850-12E	基礎総合	総合	人文科学	心理学(心理学Ⅰ)
1GGN-6080-12E	基礎総合	総合	人文科学	哲学(政治学Ⅱ)
1GGN-6260-12E	基礎総合		人文科学	日本文化論
1GGN-6400-12E 1GGN-6710-12CT	基礎総合基礎総合		人文科学 人文科学	文学
1GGN-5420-12E	基礎総合			経済学
1GGN-5650-12E	基礎総合		社会科学	社会学(社会学Ⅱ)
1GGN-5890-12E	基礎総合	総合		政治学(政治学 I)
1GGN-6240-12ET	基礎総合	総合	社会科学	日本国憲法
1GGN-6250-12E	基礎総合		社会科学	日本事情(日本事情B)
1GGN-6450-12E	基礎総合			法学
1GGB-5270-12E 1GGN-5140-22E	基礎総合 基礎総合			<u>基礎数学</u> ウェルネス理論
1GGN-5870-11ET	基礎総合		スポーツ科学	
1GGN-5880-11ET	基礎総合	総合	スポーツ科学	
1GGN-6700-22E	基礎総合	総合	スポーツ科学	スポーツ理論
1GLN-0190-12E	基礎総合	語学	英語	英検中級·TOEIC基礎
1GLN-5150-22ES	基礎総合		英語	英会話 Advanced I
1GLN-5160-22ES	基礎総合	語字	英語	英会話 Advanced II
1GLN-5170-12ES 1GLN-5180-12ES	基礎総合 基礎総合	<u> </u>	<u>英語</u> 英語	英会話 Basic I 英会話 Basic II
1GLN-5180-12ES	基礎総合	語学	<u> </u>	央会站 Basic II 総合英語
1GLN-5810-22ES	基礎総合	<u>品于</u> 語学	中国語	初級中国語
1GLN-6000-22ES	基礎総合	語学	中国語	中級中国語
1GLN-5800-22ES	基礎総合	語学	韓国語	初級韓国語
1GLN-5990-22ES	基礎総合	語学	韓国語	中級韓国語
1GLN-6200-12E	基礎総合		日本語	日本語Ⅰ
1GLN-6210-12E 1GLN-6220-22E	基礎総合		日本語	日本語Ⅱ
1GLN-6230-22E	基礎総合基礎総合	<u> </u>	日本語 日本語	日本語皿 日本語IV
1GCB-5781-12C				情報リテラシー演習 [
1GCB-5792-12ET		実践カキャリア		情報リテラシー演習Ⅱ
1GCN-5580-12C	基礎総合	実践カキャリア	実践スキル	スタディスキル(コミュニケーションと自己発見 I)
1GCN-5590-12C			実践スキル	コミュニケーションと自己発見Ⅱ
1GCN-6650-11E		実践力キャリア	実践スキル	ラーニングリテラシー
1GCN-6660-12C 1GCN-6670-12C			キャリアキャリア	キャリアデザイン I キャリアデザイン II
1GCN-5310-22E			キャリア	キャリアデザインⅢ(キャリアデザイン入門 I)
1GCN-5320-22E		実践カキャリア	キャリア	キャリアデザインⅣ(キャリアデザイン入門Ⅱ)
1GCN-5290-32E		実践カキャリア	キャリア	キャリアデザイン V (キャリアデザイン I)
1GCN-5300-32E		実践カキャリア	キャリア	キャリアデザインⅥ(キャリアデザインⅡ)
1GCN-6680-X2E		実践力キャリア	キャリア	インターンシップ実習
	特別講義	語子 実践カキャリア		特別実習·講義(語学) 特別実習·講義(実践力養成)
1SLN-6140-YYE		実践カキャリア		特別実習・講義(キャリア)
1BMB-5220-12C		経営·会計		会計学入門
1BMB-5331-12C	専門基礎	経営·会計		経営学総論 I (経営学入門)
1BMB-5831-12C	専門基礎	経営・会計		簿記 I (初級簿記)
1BMB-5831-12E	専門基礎	経営・会計		簿記 I によって ない としょう マン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1BMB-6302-22E 1BMB-6462-12C	字门基礎	経営·会計 経営·会計		<u>ビジネス実務(ビジネス実務 I)</u> 簿記演習
1BMB-6462-12E	専門基礎	経営·会計		海記.展自 簿記.Ⅱ
1BMN-5360-22C	専門基礎	経営·会計		経営情報学 I (経営情報論 I)
1BMN-5370-U2ET	専門基礎	経営·会計		経営情報学Ⅱ(経営情報論Ⅱ)
1BMN-6510-22ET	専門基礎	経営・会計		マネージメント科学
1BMN-6540-22E		経営・会計		民事法 情報数数 1 / 情報数数)
1BIB-5710-12E 1BIB-6110-22E	専門基礎専門基礎	1月初		情報数学 I (情報数学) 統計学入門
1BIB-6310-14E	専門基礎	情報		
1BIB-6550-12E	専門基礎			コンピュータ実務演習 I
1BIB-6560-12E	専門基礎	情報		コンピュータ実務演習Ⅱ
1BIN-5690-12CT	専門基礎			情報学入門
1BIN-5702-Z2ET	専門基礎	情報		情報システムの開発と管理
1BIN-5730-Z2CT 1BIN-5770-12ET	専門基礎 専門基礎			情報セキュリティ 情報ネットワーク入門
1BIN-6532-Z2ET	専門基礎	情報 信報		有報イットソーク人(下) マルチメディア論
		経営・会計		経営思想
1AMB-5332-12E	専門発展	経営·会計		経営学総論Ⅱ
1AMB-6082-22E	専門発展	経営·会計		統計学
1AMB-6192-22E	専門発展	経営·会計		経営史(日本経営史)

number	大分類	中分類 小分類	科目名
1AMN-5200-12C		経営・会計	会計学(会計学総論)
1AMN-5260-22E		経営·会計	企業金融(金融論)
1AMN-5390-22E	専門発展	経営·会計	経営組織論
1AMN-5400-22E	専門発展	経営・会計	経営分析
1AMN-5562-22E	専門発展	経営・会計	コマース論(コマース論Ⅰ(中級小売商業Ⅰ))
1AMN-5600-22E		経営·会計	コンピュータ会計
1AMN-5952-Z2E	専門発展	経営・会計	組織心理学
1AMN-5980-Z2ET		経営・会計	知的財産権(知的所有権)
1AMN-6440-12E 1AMN-6490-12C		経営・会計	へ、シチャーと、シネス入門
1AMN-6490-12C	中门	経営·会計	マーケティング 論 労務管理論
1AIN-6580-22E	専門発展	柱呂・云引	カ 傍 音 珪 調
1AIN 0380 22L	専門発展	情報	情報数学Ⅱ
1AIB-6361-12C	専門発展	情報	7゚ログラミング初歩 I (プログラミング入門)
1AIB-6372-12E	専門発展		プログラミング 初歩 II
1AIN-5122-22ET	専門発展		アルゴリス゛ムとデータ構造
1AIN-5192-22E	専門発展	情報	オヘ゜レーティング・システム論
1AIN-5432-12ES	専門発展	情報	計算機システム論
1AIN-5440-Z2ET	専門発展	情報	計測・制御論
1AIN-5610-Z2ET	専門発展	情報	コンピュータグ・ラフィックス論
1AIN-5740-X2ET	専門発展	情報	情報テクノロジー
1AIN-5750-24C 1AIN-5750-24E	専門発展 専門発展	1月 羊収	情報テウノロジー演習 I 情報テクノロジー演習 I
1AIN-5750-24E 1AIN-5760-24E	専門発展	I	情報アグバンー演賞 I 情報テクバロジー演習 II
1AIN-6060-22ET	専門発展	情報	
1AIN-6342-24E	専門発展	情報	プログラミング実践Ⅰ
1AIN-6353-24E	専門発展	情報	プログラミング 実践 II
1AIN-6381-U2ET	専門発展	情報	プログラミング入門
1AIN-6392-U2ET	専門発展	情報	初級プログラミング実習
1AIN-6403-Z2ES	専門発展	情報	プログラミング論
1AIN-6414-Z2ES	専門発展	情報	中級プログラミング実習
1AIN-6522-U2ES 1AIN-6550-Z2ES	専門発展 専門発展	情報 桂起	マネーシ・メントケーム モハ・イルネットワーク
1AIN-6590-U2ET	専門発展	1月 羊以	初級プログラミング
1AIN-6600-Z2ES	専門発展		中級プログラミング
1AIN-6610-22C	専門発展		情報処理技術演習I
1AIN-6610-22E	専門発展		情報処理技術演習 I
1AIN-6620-22E	専門発展	情報	情報処理技術演習Ⅱ
1AIN-6630-Z2E	専門発展	情報	情報処理技術演習Ⅲ
1AIN-6640-Z2E	専門発展	情報	情報処理技術演習Ⅳ
1AIN-6690-22E 1EAN-5230-22E	専門発展 専門応用	情報	eスポーツ概論
1EAN-5230-22E	専門応用	조리 소計	会社法 監査論
1EAN-5480-22E	専門応用	수計	原価計算論(原価計算論 I)
1EAN-5490-22E	専門応用		原価計算論Ⅱ
1EAN-5620-22E	専門応用	会計	財務会計論(財務会計論 I)
1EAN-5630-22E	専門応用		財務管理
1EAN-5900-Z2E	専門応用		税法学
1EAN-5910-Z2E	専門応用	会計	税務会計論
1EAN-6020-22E	専門応用	会計 소립	中級簿記(中級簿記演習 I (中級簿記 I))
1EAN-6030-22E 1EMN-5010-22E	専門応用 専門応用	公司	中級簿記演習Ⅱ(中級簿記Ⅱ) SNS活用と問題解決
1EMN-5070-22E	専門応用		T・シ・タルヒ・シ・ネス論(Webサーヒ・ス論)
1EMN-5380-12E	専門応用		経営戦略論
1EMN-5572-22E	専門応用		□マース論Ⅱ(中級小売商業Ⅱ)
1EMN-5670-12E	専門応用	経営	消費者行動論
1EMN-6040-U2E	専門応用	経営	中小企業論
1EMN-6320-Z2E	専門応用	経営	ヒ゛シ゛ネスフ゜ランニンク゛
1EMN-6430-U2E	専門応用		へシチャー企業論
1EGA-5520-Z2E		国際ビジネス	国際経済論
1EGA-5540-Z2E 1EGN-5030-22ES		国際ビジネス国際ビジネス	国際政治学 英検上級I·TOEIC応用I(TOEICI(英検上級I·TOEIC応用I))
1EGN-5030-22ES		国際ビジネス	英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ(TOEICⅡ(英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ)) 英検上級Ⅲ・TOEIC応用Ⅲ(TOEICⅡ(英検上級Ⅲ・TOEIC応用Ⅲ))
1EGN-5510-22E		国際ビジネス	国際経営論
1EGN-5530-22E		国際ビジネス	国際情報分析
1EGN-6280-Z2E		国際ビジネス	ビジネス英語(ビジネス英語 I)
1EGN-6290-Z2E		国際ビジネス	L [*] ジネス英語 Ⅱ
1ENN-5010-22E	専門応用	ネットワーク	SNS活用と問題解決
1ENN-5050-12E		ネットワーク	Webデザイン(Webコンテンツ制作 I)
1ENN-5060-22E	専門応用	ネットワーク	Webシステム(Webコンテンツ制作 II)
1ENN-5070-22E		ネットワーク	テ・シ・タルヒ・シ・ネス論(Webサーヒ・ス論)
1ENN-5082-22E 1ENN-5093-Z2E		ネットワーク ネットワーク	Webプログラミング I Webプログラミング II
I EININ-3083-77F	守门心用	かソドソーソ	MACD / H/ /2// T

number	大分類	中分類	小分類	科目名
1ENN-5104-Z2E		ネットワーク		WebプログラミングⅢ
1ENN-5862-22E	専門応用	ネットワーク		スイッチング技術
1ENN-5873-22E		ネットワーク		ルーティング技術
1ENN-5884-Z2E		ネットワーク		インターネット技術(ネットワーク演習)
1ENN-6270-Z4ES		ネットワーク		ネットワークアプ・リケーション構築
1EDB-6082-22E	専門心用	データサイエンス		統計学
1EDN-5251-Z2E 1EDN-5262-Z2E		データサイエンス データサイエンス		機械学習 人工知能
1EDN-5400-22E		データサイエンス		公工和能 経営分析
1EDN-5670-12E	車門応用	データサイエンス		消費者行動論
1EDN-6052-Z2E		データサイエンス		¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬
1EDN-6070-Z2E	専門応用	データサイエンス		データモデリング
1EDN-6092-Z2E	専門応用	データサイエンス		多変量解析
1EDN-6120-Z2E	専門応用	データサイエンス		統計プログラミング
1EDN-6372-22E	専門応用	データサイエンス		ヒ゛シ゛ネスフ゜ログ゛ラミンク゛
1EDN-6490-12E		データサイエンス		マーケティング論
1SePN-6720-12E 1SePN-6730-12E	演習演習	プレゼミプレゼミ		プレセ"ミ I プレセ"ミ II
1SeBN-6741-24C	演習	ゼミナール・演習基礎		アルミュ 経営学・情報学基礎演習
1SeBN-6751-24C	演習	ゼミナール・演習基礎		性呂子・
1SeAN-6762-34C	演習	ゼミナール・演習専門 I		経営学·情報学専門演習 I
1SeAN-6772-34C	演習	ゼミナール・演習専門 I		専門ゼミ I
1SeEN-6783-44C	演習	ゼミナール・演習専門Ⅱ		経営学・情報学専門演習Ⅱ
1SeEN-6793-44C	演習	ゼミナール・演習専門Ⅱ		専門ゼミⅡ
1SAN-6130-YYE	特別講義			特別実習・講義(会計)
1SIN-6180-YYE	特別講義			特別実習·講義(情報)
1SMN-6150-YYE	特別講義			特別実習・講義(経営)
2TTA-5040-43ET 2TTA-5070-32ET	教職課程	教職科日 教職科日		教育実習(事前事後指導) 教育知識
2TTA-5070-32ET 2TTA-5110-42ET	教職課程 教職課程	<u> </u>		教育相談 教職実践演習(高)
2TTA-5120-32ET	教職課程	教職科日 教職科日		女戦大成演員 \ 同 / 生徒指導 (進路指導を含む)
2TTB-5010-32ET	教職課程	教職科目		情報科教育法I
2TTB-5020-32ET	教職課程			情報科教育法Ⅱ
2TTB-5030-22ET	教職課程	教職科目		教育課程論(特別活動を含む)
2TTB-5050-22ET	教職課程	教職科目		教育社会学
2TTB-5060-22ET	教職課程			教育心理学
2TTB-5080-22ET	教職課程	教職科目		教育哲学
2TTB-5090-32ET	教職課程	教職科目		教育方法学(ICT活用を含む)
2TTB-5100-12ET 2TTN-5130-32ET	教職課程 教職課程			教師入門 総合的な探求の時間の指導法
2TTN-5130-32ET	教職課程	<u> </u>		特別支援教育
3MAB-5030-X2E	修士課程			会計監査特論
3MAB-5040-X2E	修士課程	会計		会計情報学特論
3MAB-5230-X2E	修士課程	会計		税務会計特論
3MIB-5070-X2E	修士課程	情報		経営情報システム設計特論
3MIB-5130-X2E	修士課程	情報		情報科学特論
3MIB-5140-X2E	修士課程			情報セキュリティ特論
3MIB-5150-X2E	修士課程			情報ネットワーク特論
3MIB-5160-X2E 3MIB-5170-X2E	修士課程 修士課程	1月牧 水宝品		情報メディア特論
3MIB-5170-X2E	修士課程	I		人工知能特論 数値解析特論
3MIB-5240-X2E	修士課程	情報		女祖 肝切 付 調 データ解析特論
3MIB-5250-X2E	修士課程			データベース特論
3MMB-5050-X2E	修士課程	経営		経営科学特論
3MMB-5060-X2E	修士課程	経営		経営学特論
3MMB-5080-X2E	修士課程	経営		経営戦略特論
3MMB-5090-X2E	修士課程	経営		経営組織特論
3MMB-5100-X2E	修士課程	経営		国際経営特論
3MMB-5120-X2E	修士課程	栓呂		財務管理特論
3MMB-5280-X2E 3MMB-5320-X2E	修士課程 修士課程	経営		日本経営史特論 ロジスティクス特論
3MMB-5370-X2E	修士課程			ロンスティックを行動
3MMB-5380-X2E	修士課程	経営		経営管理特論
3MMB-5390-X2E	修士課程			中小企業特論
3MTB-5190-X2E	修士課程			税法学特論 I
3MTB-5200-X2E	修士課程	税法		税法学特論Ⅱ
3MTB-5210-X2E	修士課程	税法		税法学特論Ⅲ
3MTB-5220-X2E	修士課程			税法学特論Ⅳ
3MTB-5330-X2E	修士課程	祝法		税法学特論 V
3MTB-5340-X2E	修士課程			民法特論 合分は体験
3MTB-5350-X2E 3MTB-5360-X2E	修士課程 修士課程	(元) 日本		会社法特論 民事·行政訴訟特論
3MSA-5010-14C	修士課程			氏争・行政訴訟行論 演習 I
ONION 0010 140	心上坏任	117 / 次日		/C = 1

number	大分類	中分類	小分類	科目名
3MSA-5020-24C	修士課程			演習Ⅱ
3MSA-5260-14C	修士課程			特別演習 I
3MSA-5270-24C	修士課程			特別演習Ⅱ
4DAB-5050-V2E	博士課程			会計監査論特別研究
4DAB-5060-V2E	博士課程	会計		会計情報学特別研究
4DAB-5160-V2E	博士課程			税務会計特別研究
4DIB-5040-V2E	博士課程	情報		応用数値解析特別研究
4DIB-5100-V2E	博士課程			情報科学特別研究
4DIB-5110-V2E	博士課程	情報		情報セキュリティ特別研究
4DIB-5120-V2E	博士課程	情報		情報メディア特別研究
4DIB-5130-V2E	博士課程			人工知能特別研究
4DIB-5140-V2E	博士課程			数值解析特別研究
4DIB-5170-V2E	博士課程	情報		情報·信号処理特別研究
4DMB-5070-V2E	博士課程			財務管理特別研究
4DMB-5080-V2E	博士課程	経営		経営学特別研究
4DMB-5090-V2E	博士課程			国際経営特別研究
4DMB-5150-V2E	博士課程	経営		日本経営史特別研究
4DMB-5200-V2E	博士課程			経営戦略特別研究
4DMB-5210-V2E	博士課程			経営管理特別研究
4DMB-5220-V2E	博士課程			中小企業特別研究
4DTB-5180-V2E	博士課程			税法学特別研究
4DTB-5190-V2E	博士課程			民法特別研究
4DSA-5010-14C	博士課程			演習I
4DSA-5020-24C	博士課程	D 演習		演習Ⅱ
4DSA-5030-34C	博士課程	D 演習		演習Ⅲ

経営情報学科 2021 • 2022年度履修系統図(カリキュラムマップ) 必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

			基礎総合科目(必修	316単位を含み	40 単位以上)					
終	合教養			語学		実践力養成	・キャリア	引発		
必修4単位を	き含み12単位」	以上	必修2単位	必修2単位を含み6単位以上			必修10単位を含み12単位以上			
〈人文科学〉			〈英語〉			〈実践スキル〉				
科目名	授業を行う 年次	番号	科目名	授業を行う 年次	番号	科目名	授業を行う 年次	番号		
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C	◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT	◎情報リテラシー演習	1前	1GCB-5781-12C		
宗教学	1後	1GGN-5660-12E	英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E	◎コミュニケーションと自己発見Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C		
心理学	1前	1GGN-5850-12E	英会話 Basic I	1前	1GLN-5170-12ES	◎コミュニケーションと自己発見 II	1後	1GCN-5590-12C		
文学	1前	1GGN-6400-12E	英会話 Basic II	1後	1GLN-5180-12ES	大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E		
日本文化論	1後	1GGN-6260-12E	英会話Advanced I	2前	1GLN-5150-22ES	文章表現	1後	1GCN-6410-12E		
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT	英会話Advanced II	2後	1GLN-5160-22ES					
〈社会科学〉			〈中国語〉							
法学	1前	1GGN-6450-12E	初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES	〈キャリア開発〉				
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET	中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES	◎キャリアデザイン入門Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C		
社会学	1後	1GGN-5650-12E	〈韓国語〉			◎キャリアデザイン入門Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C		
政治学	1前	1GGN-5890-12E	初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES	キャリアデ ザ イン I	3前	1GCN-5290-32E		
経済学	1前	1GGN-5420-12E	中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES	キャリアデ ザ イン II	3後	1GCN-5300-32E		
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E	〈日本語〉							
〈自然科学〉			※日本語 I	1前	1GLN-6200-12E					
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E	※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E					
〈スポーツ健康科学〉			※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E					
ウェルネス	1前	1GGN-5870-11ET	※日本語IV	2後	1GLN-6230-22E					
スポーツ	1後	1GGN-5880-11ET								
スボーツ理論	2前	1GGN-6700-22E								
ウェルネス理論	2後	1GGN-5140-22E								

〈特別講義基礎〉							
科目名	授業を行う 年次	番号					
特別講義「語学」	1~4	1SLN-6160-YYE					
特別講義「実践力養成」	1~4	1SCN-6170-YYE					
特別講義「キャリア」	1~4	1SCN-6140-YYE					

				専門教育科目(必修	201出片七合2	0.4 単 片 1 上 1				
市	門基礎				174年世を3の 1門発展	04年证以工/		市	門応用	
必修8単位を		1.6			*含み14単位」	1 6			(位以上	
必修0単位を	古み20年11月	以上		必修4単位 2 〈経営・会計〉	と古の14年位は	V.E.		〈会計〉	型以上	
科目名	授業を行う	番号		科目名	授業を行う	番号		科目名	授業を行う	番号
)経営学総論	1前	1BMB-5331-12C		©₹-57425° 論	#x 1前	1AMN-6490-12C		中級簿記演習	2前	1EAN-6020-2
)会計学入門	1前	1BMB-5220-12C		○、 // 1/ // imへ、 ンチャーヒ・ジ・ネス入門	1後	1AMN-6440-12F		中級簿記演習Ⅱ	2後	1FAN-6030-2
)簿記 I	1前	1BMB-5831-12C		◎経営学総論	1後	1AMB-5332-12C		原価計算論	2前	1FAN-5480-
記 II	1後	1BMB-6462-12E		会計学	1後	1AMN-5200-12E		原価計算論Ⅱ	2後	1EAN-5490-
ジェント科学	2前	1BMN-6510-22ET		企業金融	2前	1AMN-5260-22E		財務会計論	2前	1EAN-5620-
ジ	2前	1BMB-6302-22E		37-3論	2前	1AMN-5562-22E		財務管理	2後	1EAN-5630-
事法	2前	1BMN-6540-22E		日本経営史	2前	1AMB-6192-22E		会社法	2前	1EAN-5230-
営情報論	2前	1BMN-5360-22E	\Rightarrow	経営分析	2前	1AMN-5400-22E	\Rightarrow	監査論		1EAN-5240-
営情報論		1BMN-5370-U2ET		統計学	2後	1AMB-6082-22E		コンピュータ会計		1EAN-5600-
情報〉	- 02			経営組織論	2後	1AMN-5390-22E		税務会計論		1EAN-5910-
報学入門	1前	1BIN-5690-12ET		組織心理学	- 500	1AMN-5952-Z2E		税法学		1EAN-5900-
報数学丨	1後	1BIB-5710-12E		知的所有権		1AMN-5980-Z2ET		〈経営〉		
報ネットワーク入門	1後	1BIN-5770-12ET		労務管理論		1AMN-6572-Z2ET		経営戦略論	1前	1EMN-5380
ジネスソフト活用演習	1後	1BIB-6310-14E		経営思想	3・4前	1AMA-5350-Z2E		消費者行動論	1後	1EMN-5670
計学入門	2前	1BIB-6110-22E		〈情報〉		ı		マーケティング・リサーチ	2前	1EMN-6470
情報セキュリティ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT		計算機システム論	1後	1AIN-5432-12ES		Webサービス論	2後	1EMN-5070
報システムの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET		情報テウノロジー	1・2前	1AIN-5740-X2ET		SNS活用と問題解決	2前	1EMN-5010
チメディア論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET		アルゴリズムとデータ構造	2前	1AIN-5122-22ET		□マ-ス論 II	2後	1EMN-5572-
				データペース論	2前	1AIN-6060-22ET		ペンチャー企業論	2後	1EMN-6430-
				情報テウノロジー演習 I	2前	1AIN-5750-24E		中小企業論	2前	1EMN-6040-
				情報テウノロジー演習Ⅱ	2後	1AIN-5760-24E		ピップ ネスプ・ランニング	3・4後	1EMN-6320-
				プログラミング入門	2・3前	1AIN-6381-U2ET		計量経済分析	3・4後	1EMN-5450-
				初級プログラミング実習	2・3後	1AIN-6392-U2ET		〈国際ビジネス〉		
				マネージ・メントケ・ーム	2・3後	1AIN-6522-U2ES		国際経営論	2後	1EGN-5510-
				プログラミング論	3・4前	1AIN-6403-Z2ES		国際情報分析	2後	1EGN-5530-
				中級プログラミング実習	3・4後	1AIN-6414-Z2ES		英検上級 I · TOEIC応用 I	2前	1EGN-5030-
				コンピュータグ・ラフィックス論	3・4前	1AIN-5610-Z2ET		英検上級 II ・ TOEIC応用 II	2後	1EGN-5040-
				計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET		ピジネス英語 l	3・4前	1EGN-6280-
								ピジネス英語Ⅱ	3・4後	1EGN-6290-
								国際経済論	3・4前	1EGA-5520-
								国際政治学	3 · 4前	1EGA-5540-2

	演習											
〈プレゼミ〉	ゼミ〉 〈ゼミナール基礎〉							〈ゼミナール専門〉				
科目名	授業を行う 年次	番号		科目名	授業を行う 年次	番号		科目名	授業を行う 年次	番号		
プレゼミー	1前		1	◎基礎ゼミ	2通年		1	◎専門t ⁱ ミI	3通年			
プレゼミII	1後		\rightarrow	◎経営学基礎演習	2通年			◎経営学専門演習	3通年			
			_				\rightarrow	◎専門tř ミII	4通年			
								◎経営学専門演習	4通年			

〈特別講義専門〉										
科目名	授業を行う 年次	番号								
特別講義「経営」	1~4	1SMN-6150-YYE								
特別講義「会計」	1~4	1SAN-6130-YYE								
特別講義「情報」	1~4	1SIN-6180-YYE								

経営情報学科 2023年度履修系統図(カリキュラムマップ) 必修科目42単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

经金			基礎総合科目(必修	到6単位を含み	40 単位以上)				
40 F	合教養			語学		実践力養成	・キャリア	引発	
必修4単位を	含み12単位」	以上	必修2単位	を含み6単位に	以上	必修10単位を含み12単位以上			
(人文科学>			〈英語〉			〈実践スキル〉			
科目名	授業を行う 年次	番号	科目名	授業を行う 年次	番号	科目名	授業を行う 年次	番号	
②建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C	◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT	◎情報リテラシー演習Ⅰ	1前	1GCB-5781	
宗教学	1後	1GGN-5660-12E	英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E	情報リテラシー演習Ⅱ	1後	1GC-5792-	
心理学	1前	1GGN-5850-12E	英会話 Basic I	1前	1GLN-5170-12ES	◎コミュニケーションと自己発見Ⅰ	1前	1GCN-5580	
文学	1前	1GGN-6400-12E	英会話 Basic II	1後	1GLN-5180-12ES	◎コミュニケーションと自己発見Ⅱ	1後	1GCN-5590	
)情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT	英会話Advanced I	2前	1GLN-5150-22ES	大学基礎総合	1前	1GCN-1510	
			英会話Advanced II	2後	1GLN-5160-22ES	文章表現	1後	1GCN-6410	
(社会科学>			〈中国語〉		<u> </u>				
去学	1前	1GGN-6450-12E	初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES				
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET	中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES	〈キャリア開発〉			
社会学	1後	1GGN-5650-12E	〈韓国語〉		<u> </u>	◎キャリアデザイン入門 Ⅰ	2前	1GCN-5310	
政治学	1後	1GGN-5890-12E	初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES	◎キャリアデザイン入門Ⅱ	2後	1GCN-5320	
径済学	1前	1GGN-5420-12E	中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES	キャリアデ・ザ・イン	3前	1GCN-5290	
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E	〈日本語〉		<u> </u>	キャリアデ ザ イン II	3後	1GCN-5300	
(自然科学>			※日本語 I	1前	1GLN-6200-12E				
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E	※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E				
〈スポーツ健康科学〉			※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E				
1.BAX	1前	1GGN-5870-11ET	※日本語IV	2後	1GLN-6230-22E				
±° −9	1後	1GGN-5880-11ET							
ば -7理論	2前	1GGN-6700-22E							
はルネス理論	2後	1GGN-5140-22E							

			専門教育科目(必何	§26単位を含み	84単位以上)					
専門	『基礎		4	専門発展			専門応用			
必修12単位を	含み20単位	以上	必修2単位	を含み14単位」	以上		24単位以上			
〈経営・会計〉			〈経営・会計〉			〈会計〉				
科目名	授業を行う 年次	番号	科目名	授業を行う 年次	番号	科目名	授業を行う 年次	番号		
◎経営学総論	1前	1BMB-5331-12C	◎マーケティング 論	1前	1AMN-6490-12C	中級簿記演習	2前	1EAN-6020-22E		
②会計学入門	1前	1BMB-5220-12C	ペンチャーピジネス入門	1後	1AMN-6440-12E	中級簿記演習Ⅱ	2後	1EAN-6030-22E		
③簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12C	経営学総論	1後	1AMB-5332-12E	原価計算論Ⅰ	2前	1EAN-5480-22E		
奪記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E	会計学	1後	1AMN-5200-12E	原価計算論Ⅱ	2後	1EAN-5490-22E		
7ネージメント科学	2前	1BMN-6510-22ET	企業金融	2前	1AMN-5260-22E	財務会計論	2前	1EAN-5620-22E		
ビジ叔実務	2前	1BMB-6302-22E	⊐マ−ス論 I	2前	1AMN-5562-22E	会社法	2前	1EAN-5230-22E		
民事法	2前	1BMN-6540-22E	日本経営史	2前	1AMB-6192-22E	監査論	2後	1EAN-5240-22E		
◎経営情報学	2前	1BMN-5360-22C	経営分析	2前	1AMN-5400-22E	コンピュータ会計	2前	1EAN-5600-22E		
経営情報学Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET	統計学	2後	1AMB-6082-22E	税務会計論	3・4前	1EAN-5910-Z2E		
〈情報〉	•		経営組織論	2後	1AMN-5390-22E	税法学	3・4後	1EAN-5900-Z2E		
◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT	組織心理学	3・4前	1AMN-5952-Z2E	<u> </u>	•			
情報数学 I	1後	1BIB-5710-12E	知的所有権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET	〈経営〉				
情報ネットワーク入門	1後	1BIN-5770-12ET	労務管理論	3・4前	1AMN-6572-Z2ET	経営戦略論	1前	1EMN-5380-128		
コンピュータ実務演習	1前	1BIB-6550-12E		•		消費者行動論	1後	1EMN-5670-128		
コンピュータ実務演習Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E	〈情報〉			マーケティング・リサーチ	2前	1EMN-6470-228		
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E	計算機システム論	1後	1AIN-5432-12ES	デジダルジネス論	2後	1EMN-5070-228		
◎情報セキュリティ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT	情報デクノロジー	1・2前	1AIN-5740-X2ET	SNS活用と問題解決	2前	1EMN-5010-228		
情報システムの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET	アルゴリズムとデータ構造	2前	1AIN-5122-22ET	コマース論Ⅱ	2後	1EMN-5572-228		
マルチメディア論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET	データベース論	2前	1AIN-6060-22ET	ペンチャー企業論	2・3後	1EMN-6430-U2		
			ケ゛ームフ゛ロク゛ラミンク゛	2前	1AIN-6580-22E	中小企業論	2・3前	1EMN-6040-U2		
			情報処理技術演習I	2前	1AIA-6610-22E	ピージーネスプーランニング	3・4後	1EMN-6320-Z2		
			情報処理技術演習Ⅱ	2後	1AIA-6620-22E	計量経済分析	3・4後	1EMN-5450-Z21		
			プログラミング入門	2・3前	1AIN-6381-U2ET	〈国際ビジネス〉				
			初級プログラミング	2・3後	1AIN-6590-U2ET	国際経営論	2後	1EGN-5510-22E		
			マネージ・メントケ・ーム	2・3後	1AIN-6522-U2ES	国際情報分析	2後	1EGN-5530-22E		
			プログラミング論	3・4前	1AIN-6403-Z2ES	英検上級 I · TOEIC応用 I	2前	1EGN-5030-22E		
			中級プログラミング	3・4後	1AIN-6600-Z2ES	英検上級 II · TOEIC応用 II	2後	1EGN-5040-22E		
			コンピュータグ・ラフィックス論	3・4前	1AIN-5610-Z2ET	ビジネス英語 I	3・4前	1EGN-6280-Z2E		
			計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET	ピジネス英語Ⅱ	3・4後	1EGN-6290-Z2E		
			情報処理技術演習Ⅲ	3・4前	1AIA-6630-Z2E	国際経済論	3・4前	1EGA-5520-Z2E		
			情報処理技述演習IV	3. //4	1AIA-6640-Z2E					

次日											
プレゼミ〉				〈ゼミナール基礎〉				〈ゼミナール専門〉			
科目名	授業を行う 年次	番号]	科目名	授業を行う 年次	番号		科目名	授業を行う 年次	番号	
Vť ミl	1前			◎基礎ゼミ	2通年			◎専門t [*] ミI	3通年		
νŧ΄ :	1後		\rightarrow	◎経営学基礎演習	2通年		\rightarrow	◎経営学専門演習 I	3通年		
			\neg				$\overline{}$	◎専門t゚ミⅡ	4通年		
								◎経営学専門演習 II	4通年		

	特別夫省

〈特別実習・講義専門〉		
科目名	授業を行う 年次	番号
特別実習・講義「経営」	1~4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1~4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1~4	1SIN-6180-YYE

経営情報学科 2024年度履修系統図 (カリキュラムマップ)

必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎ . 2019111	ナエバロ							
			基礎総合科目(必修	14単位を含み	40単位以上)			
総	合教養			語学		実践力		
必修4単位を	含み12単位」	以上	必修2単位	必修2単位を含み6単位以上				
〈人文科学〉			〈英語〉			〈実践スキル〉		
科目名	授業を行う 年次	番号	科目名	授業を行う 年次	番号	科目名		
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C	◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT	◎情報リテラシー演習Ⅰ		
宗教学	1後	1GGN-5660-12E	英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E	情報リテラシー演習Ⅱ		
心理学	1前	1GGN-5850-12E	英会話 Basic I	1前	1GLN-5170-12ES	⊚λ¢τ" ∢λ≒ル		
文学	1前	1GGN-6400-12E	英会話 Basic II	1後	1GLN-5180-12ES	ラーニング・リテラシー		
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT	英会話Advanced I	2前	1GLN-5150-22ES	·		
			英会話Advanced II	2後	1GLN-5160-22ES			
〈社会科学〉			〈中国語〉	•		<キャリア開発>		
法学	1前	1GGN-6450-12E	初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES	◎キャリアデザイン I		
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET	中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES	©\$ャリアデザインⅡ		
社会学	1後	1GGN-5650-12E	〈韓国語〉			インダーンシップ 実習		
政治学	1後	1GGN-5890-12E	初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES	\$+IJアデザインⅢ		
経済学	1前	1GGN-5420-12E	中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES	キャリアデ ザ インIV		
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E	〈日本語〉			キャリアデザインV		
〈自然科学〉			※日本語	1前	1GLN-6200-12E	キャリアデ ザ インVI		
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E	※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E			
〈スポーツ健康科学〉			※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E			
ウェルネス	1前	1GGN-5870-11ET	※日本語IV	2後	1GLN-6230-22E			

515U-22ES			
5160-22ES			
	<キャリア開発>		
5810-22ES	◎キャリアデ ザ イン I	1前	1GCN-6660-12C
6000-22ES	◎キャリアデ ザ イン II	1後	1GCN-6670-12C
	インターンシップ実習	1・2通年	1GCN-6680-X2E
5800-22ES	キャリアデ [・] ザ [・] イン III	2前	1GCN-5310-22E
5990-22ES	キャリアデ [・] ザ [・] インIV	2後	1GCN-5320-22E
	+ +リアデザイ> V	3前	1GCN-5290-32E
6200-12E	キャリアデ [・] ザ [・] インVI	3後	1GCN-5300-32E
6210-12E			
6220-22E			
6230-22E			

〈特別実習・講義基礎〉										
科目名	授業を行う 年次	番号								
特別実習・講義「語学」	1~4	1SLN-6160-YYE								
特別実習・講義「実践力養成」	1~4	1SCN-6170-YYE								
特別実習・講義「キャリア」	1~4	1SCN-6140-YYE								

				専門教育科目(必修	26単位を含み	84単位以上)				
専	門基礎			草	門発展			Ī	専門応用	
必修10単位を	含み20単位!	以上	Ī	必修4単位	を含み14単位に	以上		24	単位以上	
〈経営・会計〉			-	〈経営・会計〉				〈会計〉		
科目名	授業を行う 年次	番号		科目名	授業を行う 年次	番号		科目名	授業を行う 年次	番号
◎経営学総論 I	1前	1BMB-5331-12C	Ī	◎マーケティング論	1前	1AMN-6490-12C		中級簿記	2前	1EAN-6020-22E
◎簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12C	Ī	ペンチャーピジネス入門	1後	1AMN-6440-12E		原価計算論	2前	1EAN-5480-22E
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E		経営学総論Ⅱ	1後	1AMB-5332-12E		財務会計論	2前	1EAN-5620-22E
マネージメント科学	2前	1BMN-6510-22ET		◎会計学	1前	1AMN-5200-12C		会社法	2前	1EAN-5230-22E
ピジネス実務	2前	1BMB-6302-22E		企業金融	2前	1AMN-5260-22E		税務会計論	3・4前	1EAN-5910-Z2E
民事法	2前	1BMN-6540-22E		コマース論	2前	1AMN-5562-22E		税法学	3・4後	1EAN-5900-Z2E
◎経営情報学	2前	1BMN-5360-22C	\rightarrow	経営史	2前	1AMB-6192-22E	\rightarrow			
経営情報学 II 2 · 3後 IBMN-5370-U2ET			\neg	経営分析	2前	1AMN-5400-22E	$\overline{}$	〈経営〉		
				統計学	2後	1AMB-6082-22E		経営戦略論	1後	1EMN-5380-12E
〈情報〉				経営組織論	2後	1AMN-5390-22E		消費者行動論	1後	1EMN-5670-12E
◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT	Ī	コンピュータ会計	2後	1AMN-5600-22E		デジタルビジネス論	2後	1EMN-5070-22E
情報数学 I	1後	1BIB-5710-12E		知的財産権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET		SNS活用と問題解決	2前	1EMN-5010-22E
情報ネットワーク入門	1後	1BIN-5770-12ET	Ī	労務管理論	3・4前	1AMN-6572-Z2ET		中小企業論	2・3前	1EMN-6040-U2E
コンピュータ実務演習	1前	1BIB-6550-12E	-	〈情報〉				ピップ ネスプ ランニング	3・4後	1EMN-6320-Z2E
コンピュータ実務演習	1後	1BIB-6560-12E		計算機システム論	1後	1AIN-5432-12ES				
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E		情報テクノロジー	1・2前	1AIN-5740-X2ET		〈国際ビジネス〉		
◎情報セキュリティ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT		アルゴリズムとデータ構造	2前	1AIN-5122-22ET		国際経営論	2後	1EGN-5510-22E
情報システムの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET		データベース論	2前	1AIN-6060-22ET		英検上級 I · TOEIC応用 I	2前	1EGN-5030-22ES
マルチメデ・ィア論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET	Ī	ゲームブ ログ・ラミング	2前	1AIN-6580-22E		英検上級 II ・TOEIC応用 II	2後	1EGN-5040-22ES
			Ī	e スポーツ概論	2後	1AIN-6690-22E		ビジ 杁英語	3・4前	1EGN-6280-Z2E
			Ī	情報処理技術演習Ⅰ	2前	1AIN-6610-22E		国際経済論	3・4前	1EGA-5520-Z2E
				情報処理技術演習Ⅱ	2後	1AIN-6620-22E				
				プログラミング 入門	2・3前	1AIN-6381-U2ET				
				初級プログラミング	2・3後	1AIN-6590-U2ET				
			Ī	マネージ メントゲ ーム	2・3後	1AIN-6522-U2ES				
				プログラミング 論	3・4前	1AIN-6403-Z2ES				
			ļ	中級プログラミング	3・4後	1AIN-6600-Z2ES				
			Ī	コンピュータグ・ラフィックス論	3・4前	1AIN-5610-Z2ET				
			Ī	計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET				
			Ī	情報処理技術演習Ⅲ	3・4前	1AIN-6630-Z2E				
			Ī	情報処理技述演習Ⅳ	3・4後	1AIN-6640-Z2E				

					演習					
〈プレゼミ〉				〈ゼミナール基礎〉				〈ゼミナール専門〉		
科目名	授業を行う 年次	番号		科目名	授業を行う 年次	番号		科目名	授業を行う 年次	番号
プルミー	1前			◎基礎ゼミ	2通年		1	◎専門f ミI	3通年	
プルデミⅡ	1後		\rightarrow	◎経営学基礎演習	2通年		 \	◎経営学専門演習 I	3通年	
			_				\neg	◎専門ゼミⅡ	4通年	
								◎経営学専門演習 II	4通年	

〈特別実習	・講義専門>	

科目名	授業を行う 年次	番号
特別実習・講義「経営」	1~4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1~4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1~4	1SIN-6180-YYE

情報ネットワーク学科 2021・2022年度履修系統図(カリキュラムマップ) 必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎:必修科目 ※:留学生科目

総合教養

2前 1GGN-6700-22E

2後 1GGN-5140-22E

2前 1BMB-6302-22E

番号

2前 18

〈人文科学〉
科目名
◎建学の精神と人生
宗教学
心理学
文学
日本文化論
○情報倫理
〈社会科学〉
VE 304

スポーツ理論

ウェルネス理論

特別講義「語学」 特別講義「実践力養成」

特別講義「キャリア

ジネ実務

経営情報論 |

経営情報論Ⅱ

〈プレゼミ〉

科目名

₹ _₹ IJアデ ザ イン	1前	1GCN-6660-12C
ŧャリアデ ザ イン Ⅱ	1後	1GCN-6670-12C
ケーンシップ 実習	1・2通年	1GCN-6680-X2E
Jアデザイン III	2前	1GCN-5310-22E
リアデ [・] ザ [・] イン IV	2後	1GCN-5320-22E
Jアデザイン V	3前	1GCN-5290-32E
リアデ ザ イン VI	3後	1GCN-5300-32E

実践力養成・キャリア開発

必修8単位を含み12単位以上

1後 1GC-5792-12ET 1前 1GCN-5580-12C

1前 1GCN-6650-11E

専門応用	ı
24単位以上	
	7

〈会計〉		
科目名	授業を行う 年次	番号
中級簿記	2前	1EAN-6020-22E
原価計算論	2前	1EAN-5480-22E
財務会計論	2前	1EAN-5620-22E
会社法	2前	1EAN-5230-22E
税務会計論	3・4前	1EAN-5910-Z2E
税法学	3・4後	1EAN-5900-Z2E

忧/五子	3 · 4夜 IEAN-3900-22E
〈経営〉	
経営戦略論	1後 1EMN-5380-12E
消費者行動論	1後 1EMN-5670-12E
デジタルジネス論	2後 1EMN-5070-22E
SNS活用と問題解決	2前 1EMN-5010-22E
中小企業論	2·3前 1EMN-6040-U2E
ピップ ネスプ ランニング	3 · 4後 1EMN-6320-Z2E

中小企業論	2・3前	1EMN-6040-U2E
ご ジネスプランニング	3・4後	1EMN-6320-Z2E
(国際ビジネス>		
国際経営論	2後	1EGN-5510-22E
英検上級 I ・TOEIC応用 I	2前	1EGN-5030-22ES

	〈ゼミナール専門〉		
	科目名	授業を行う 年次	番号
	◎専門t ⁱ ミI	3通年	
_	◎経営学専門演習	3通年	
7	◎専門ゼミII	4通年	
	◎経営学専門演習 II	4通年	

〈特別講義専門〉		
科目名	授業を行う 年次	番号
特別講義「経営」	1~4	1SMN-6150-YYE
特別講義「会計」	1~4	1SAN-6130-YYE
特別議義「情報」	1~4	1SIN-6180-YYF

基礎総合科目(必修16単位を含み40単位以上) 実践力養成・キャリア開発 必修10単位を含み12単位以上 語学

必修4単位を含み12単位以上			l	必修2単位	必修10.			
				〈英語〉				〈実践スキル〉
科目名	授業を行う 年次	番号		科目名	授業を行う 年次	番号		科目名
と人生	1前	1GGN-5470-12C	1	◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT		◎情報リテラシー演習
	1後	1GGN-5660-12E	1	英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E		◎コミュニケーションと自己発見Ⅰ
	1前	1GGN-5850-12E	1	英会話 Basic I	1前	1GLN-5170-12ES		◎コミュニケーションと自己発見Ⅱ
	1前	1GGN-6400-12E	1	英会話 Basic II	1後	1GLN-5180-12ES		大学基礎総合
	1後	1GGN-6260-12E	1	英会話Advanced I	2前	1GLN-5150-22ES		文章表現
	1後	1GGN-6710-12CT		英会話Advanced II	2後	1GLN-5160-22ES		
			='	〈中国語〉				
	1前	1GGN-6450-12E		初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES		〈キャリア開発〉
	1後	1GGN-6240-12ET	1	中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES		◎キャリアデザイン入門Ⅰ
	1後	1GGN-5650-12E]	〈韓国語〉	•	•		◎キャリアデザイン入門Ⅱ
	1前	1GGN-5890-12E		初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES		キャリアデ ザ イン

〈社会科学〉			〈中国語〉			
法学	1前	1GGN-6450-12E	初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES	〈キャリ
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET	中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES	
社会学	1後	1GGN-5650-12E	〈韓国語〉	•		
政治学	1前	1GGN-5890-12E	初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES	キャリアデ゛サ゛
経済学	1前	1GGN-5420-12E	中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES	‡ャリアデ [*] サ [*]
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E	〈日本語〉	-		<u></u>
〈自然科学〉			※日本語 I	1前	1GLN-6200-12E	
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E	※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E	
〈スポーツ健康科学〉			※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E	
ウェルネス	1前	1GGN-5870-11ET	※日本語IV	2後	1GLN-6230-22E	
ス ポ−ツ	1後	1GGN-5880-11ET		-		

〈キャリア開発〉		
◎キャリアデザイン入門 I	2前	1GCN-5310-22C
◎キャリアデザイン入門 II	2後	1GCN-5320-22C
キャリアデ ザ イン I	3前	1GCN-5290-32E
キャリアデ ザ イン II	3後	1GCN-5300-32E

^{授業を行う} 番号 1前 1GCB-5780-12CS 1前 1GCN-5580-12C

1後 1GCN-5590-12C

1前 1GCN-1510-12E 1後 1GCN-6410-12E

_				
4	〈特別講義基礎〉			
Г	利日夕	授業を行う	포므	7

				等门软目科目 (必修	24年12を3の	04年世以上)	
専門	『基礎			専門発展			
必修6単位を含み20単位以上				必修6単位を含み14単位以上			
〈情報〉			-	〈情報〉			-
科目名	授業を行う 年次	番号		科目名	授業を行う 年次	番号]
情報学入門	1前	1BIN-5690-12ES		計算機システム論	1後	1AIN-5432-12ES	1
情報数学 I	1後	1BIB-5710-12E	1	◎プログラミング初歩Ⅰ	1前	1AIB-6361-12C	1
情報ネットワーク入門	1後	1BIN-5770-12ET		プログラミング初歩Ⅱ	1後	1AIB-6372-12E	1
ピジネスソフト活用演習	1後	1BIB-6310-14E	1	プログラミング 実践	2前	1AIN-6342-24E	1
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E		プログラミング 実践	2後	1AIN-6353-24E	1
◎情報セキュリティ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT	1	◎情報テクノロジー演習 I	2前	1AIN-5750-24C	1
情報システムの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET	\rightarrow	情報テクノロジー演習Ⅱ	2後	1AIN-5760-24E	1.
マルチメディア論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET		アルゴリズムとデータ構造	2前	1AIN-5122-22ET	1 :
〈経営・会計〉			•	情報数学Ⅱ	2前	1AIB-5720-22E	1
◎経営学総論 I	1前	1BMB-5331-12C		データベース論	2前	1AIN-6060-22ET	1
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C	1	オペレーティンク゚システム論	2後	1AIN-5192-22E]
簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12E		計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET]
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E	1	モハ・イルネットワーク	3・4前	1AIN-6550-Z2ES]

〈ゼミナール基礎〉

◎情報学基礎演習

科目名

〈ネットワーク〉		
科目名	授業を行う 年次	番号
Webコンテンウ制作 I	1後	1ENN-5050-12E
スイッチング技術	2前	1ENN-5862-22E
ルーティング技術	2後	1ENN-5873-22E
SNS活用と問題解決	2前	1ENN-5010-22E
Webサーピス論	2後	1ENN-5070-22E
Webコンテンウ制作 II	2前	1ENN-5060-22E
Webプログラミング I	2後	1ENN-5082-22E
Web7 and fished II	3・4前	1ENN-5093-Z2E
Web7゚ログラミングIII	3・4後	1ENN-5104-Z2E
ネットワークアプ・リケーション構築	3・4通年	1ENN-6270-Z4ES
インターネット技術	3・4前	1ENN-5884-Z2E
〈データサイエンス〉		
会計学	1後	1EDN-5200-12E
マーケティング論	1前	1EDN-6490-12E
消費者行動論	1後	1EDN-5670-12E
マーケティング・リサーチ	2前	1EDN-6470-22E
経営分析	2前	1EDN-5400-22E

会計学	1後	1EDN-5200-12E
マーケティング論	1前	1EDN-6490-12E
消費者行動論	1後	1EDN-5670-12E
マーケティング・リサーチ	2前	1EDN-6470-22E
経営分析	2前	1EDN-5400-22E
統計学	2後	1EDB-6082-22E
ピップ ネスプ ログ ラミング	2前	1EDN-6372-22E
多変量解析	3・4前	1EDN-6092-Z2E
データ解析	3・4前	1EDN-6052-Z2E
データモデリング	3・4後	1EDN-6070-Z2E
統計プログラミング	3・4後	1EDN-6120-Z2E
機械学習	3・4前	1EDN-5251-Z2E
人工知能	3・4後	1EDN-5262-Z2E
計量経済分析	3・4後	1EDN-5450-Z2E

Ē						
				〈ゼミナール専門〉		
	授業を行う 年次	番号		科目名	授業を行う 年次	番号
	2通年			◎専門ゼミl	3通年	
	2通年		\rightarrow	◎情報学専門演習 I	3通年	
			\rightarrow	◎専門t [*] ミII	4通年	
				◎情報学専門演習Ⅱ	4通年	·

業			

情報ネットワーク学科 2023年度履修系統図(カリキュラムマップ)

必修科目42単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。 ③: 必修科目 ※: 留学生科目

総合教養				
必修4単位を含み12単位以上				
〈人文科学〉				
科目名	授業を行う 年次	番号		
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C		
宗教学	1後	1GGN-5660-12E		
心理学	1前	1GGN-5850-12E		
文学	1前	1GGN-6400-12E		
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT		
〈社会科学〉				
	4.36			

〈社会科字〉		
法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1後	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E
〈自然科学〉		
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E
〈スポーツ健康科学〉		

基礎総合科目(必修16単	位を含み	40単位以上)
語学		
必修2単位を含み	⊁6単位以	让
〈英語〉		
科目名	授業を行う 年次	番号
CO 600 A MART	4.34	401 N 5040 400T
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
◎総合央語 英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-5940-12C1 1GLN-0190-12E
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E

英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic I	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic II	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced I	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced II	2後	1GLN-5160-22ES
〈中国語〉		
初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES
〈韓国語〉		
初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES
〈日本語〉		
※日本語	1前	1GLN-6200-12E
※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語IV	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発						
必修10単位を含み12単位以上						
践スキル〉						
科目名	授業を行う 年次	番号				
青報リテラシー演習	1前	1GCB-5781-12C				

〈夫成人ヤル〉						
科目名	授業を行う 年次	番号				
◎情報リテラシー演習	1前	1GCB-5781-12C				
情報リテラシー演習Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET				
◎コミュニケーションと自己発見Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C				
◎コミュニケーションと自己発見Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C				
大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E				
文章表現	1後	1GCN-6410-12E				

◎キャリアデザイン入門 I	2前	1GCN-5310-22C
◎キャリアデザイン入門 II	2後	1GCN-5320-22C
キャリアデ ザ イン	3前	1GCN-5290-32E
キャリアデ ザ イン II	3後	1GCN-5300-32E

〈特別実習・講義基礎〉		
科目名	授業を行う 年次	番号
特別実習・講義「語学」	1~4	1SLN-6160-YYE
特別実習・講義「実践力養成」	1~4	1SCN-6170-YYE
寺別実習・職義「キャリア」	1~4	1SCN-6140-YYF

スポーツ理論

1後 1GGN-5880-11ET 2前 1GGN-6700-22E

専門基	き礎	
必修10単位を含	み20単位	以上
〈情報〉		
科目名	授業を行う 年次	番号
◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT
情報数学 I	1後	1BIB-5710-12E
情報ネットワーク入門	1後	1BIN-5770-12ET
コンピュータ実務演習	1前	1BIB-6550-12E
コンピュータ実務演習Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報セキュリティ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報システムの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET

情報ネットワーク入門	1後	1BIN-5770-12ET	
コンピュータ実務演習	1前	1BIB-6550-12E	
コンピュータ実務演習Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E	
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E	
◎情報セキュリティ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT	
情報システムの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET	
マルチメデ・ィア論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET	
〈経営・会計〉			
◎経営学総論 I	1前	1BMB-5331-12C	
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C	
簿記	1前	1BMB-5831-12E	
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E	
マネージメント科学	2前	1BMN-6510-22ET	
ビジね実務	2前	1BMB-6302-22E	
民事法	2前	1BMN-6540-22E	
◎経営情報学	2前	1BMN-5360-22C	
経営情報学Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET	

科目名	授業を行う 年次	番号
計算機システム論	1後	1AIN-5432-12ES
◎プログラミング初歩Ⅰ	1前	1AIB-6361-12C
プログラミング初歩Ⅱ	1後	1AIB-6372-12E
プログラミング実践	2前	1AIN-6342-24E
プログラミング実践Ⅱ	2後	1AIN-6353-24E
ケームブ ロケ・ラミング	2前	1AIN-6580-22E
◎情報処理技術演習 I	2前	1AIA-6610-22C
情報処理技術演習Ⅱ	2後	1AIA-6620-22E
アルゴリズムとデータ構造	2前	1AIN-5122-22ET
情報数学Ⅱ	2前	1AIB-5720-22E
データベース論	2前	1AIN-6060-22ET
オペレーティングシステム論	2後	1AIN-5192-22E
計測·制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
モハ゜イルネットワーク	3・4前	1AIN-6550-Z2ES
情報処理技術演習Ⅲ	3・4前	1AIA-6630-Z2E
情報処理技術演習IV	3・4後	1AIA-6640-Z2E

科目名 授業を行う 学次	番号
Webデザイン 1後 1ENN-	5050-12E
スイッチング 技術 2前 1ENN-	5862-22E
ルーティング 技術 2後 1ENN-	5873-22E
SNS活用と問題解決 2前 1ENN-	5010-22E
デ ジ タルピ ジ ネス論 2後 1ENN-	5070-22E
Webシステム 2前 1ENN-	5060-22E
Webプログラミング l 2後 1ENN-	5082-22E
Webプログラミング II 3・4前 1ENN-	5093-Z2E
WebプログラミングIII 3・4後 1ENN-	5104-Z2E
ネットワークアフ・リケーション構築 3・4通年 1ENN-	6270-Z4ES
インターネット技術 3・4前 1ENN-	5884-Z2E

1717 777 77 1172	~				
インターネット技術	3・4前	1ENN-5884-Z2E			
〈データサイエンス〉					
会計学	1後	1EDN-5200-12E			
マーケティング論	1前	1EDN-6490-12E			
消費者行動論	1後	1EDN-5670-12E			
マーケティング・リサーチ	2前	1EDN-6470-22E			
経営分析	2前	1EDN-5400-22E			
統計学	2後	1EDB-6082-22E			
ピップ ネスプ ログ ラミング	2前	1EDN-6372-22E			
多変量解析	3・4前	1EDN-6092-Z2E			
データ解析	3・4前	1EDN-6052-Z2E			
デ−タモテ゚リング	3・4後	1EDN-6070-Z2E			
統計プログラミング	3・4後	1EDN-6120-Z2E			
機械学習	3・4前	1EDN-5251-Z2E			
人工知能	3・4後	1EDN-5262-Z2E			
計量経済分析	3・4後	1EDN-5450-Z2E			

〈プレゼミ〉						
科目名	授業を行う 年次	番号]	科目名	授業を行う 年次	番号
プルゼミー	1前			◎基礎ゼミ	2通年	
プレゼミⅡ	1後		\rightarrow	◎情報学基礎演習	2通年	

	〈ゼミナール専門〉		
	科目名	授業を行う 年次	番号
	○専門t ⁱ ミ I	3通年	
\rightarrow	◎情報学専門演習	3通年	
$\overline{}$	○専門t [*] ミII	4通年	
	◎情報学専門演習Ⅱ	4通年	·

〈特別実習・講義専門〉		
科目名	授業を行う 年次	番号
特別実習・講義「経営」	1~4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1~4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1~4	1SIN-6180-YYE

情報ネットワーク学科 2024年度履修系統図(カリキュラムマップ) 必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。 ②:必修科目 ※:留学生科目

10 11 11 11 11						
必修4単位を含み12単位以上						
〈人文科学〉						
科目名	授業を行う 年次	番号				
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C				
宗教学	1後	1GGN-5660-12E				
心理学	1前	1GGN-5850-12E				
文学	1前	1GGN-6400-12E				
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT				

〈社会科学〉		
法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1後	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E
〈自然科学〉		
44 T84 (pl. 304)	1 34	1000 5070 105

※日本事情	1前	1GGN-6250-12E
〈自然科学〉		
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E
〈スポーツ健康科学〉		
ウェルネス	1前	1GGN-5870-11ET
ス ホ ゚−ワ	1後	1GGN-5880-11ET
スポーツ理論	2前	1GGN-6700-22E
ウェルネス理論	2後	1GGN-5140-22E

語学						
必修2単位を含み6単位以上						
〈英語〉						
科目名	授業を行う 年次	番号				
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT				
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E				
英会話 Basic I	1前	1GLN-5170-12ES				
英会話 Basic II	1後	1GLN-5180-12ES				
英会話Advanced I	2前	1GLN-5150-22ES				
	2後	1GLN-5160-22FS				

基礎総合科目(必修14単位を含み40単位以上)

央会話Advanced I	2 Bij	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced II	2後	1GLN-5160-22ES
〈中国語〉		
初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES
〈韓国語〉		
初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES
〈日本語〉		
※日本語 I	1前	1GLN-6200-12E
※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語IV	2後	1GLN-6230-22E

必修8単位を含み12単位以上						
〈実践スキル〉						
科目名	授業を行う 年次	番号				
◎情報リテラシー演習Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C				
情報リテラシー演習Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET				
◎ スタデ ィスキル	1前	1GCN-5580-12C				
ラーニング・リテラシー	1前	1GCN-6650-11E				

<キャリア開発>		
©‡ャリアデ ザ イン	1前	1GCN-6660-12C
◎キャリアデ ザ イン II	1後	1GCN-6670-12C
インターンシップ 実習	1.2通年	1GCN-6680-X2E
キャリアデ゛サ゛インⅢ	2前	1GCN-5310-22E
キャリアデ [・] ザ [・] インIV	2後	1GCN-5320-22E
キャリアデ・サ・インV	3前	1GCN-5290-32E
キャリアデ [・] ザ [・] インVI	3後	1GCN-5300-32E

〈特別実習・講義基礎〉		
科目名	授業を行う 年次	番号
特別実習・講義「語学」	1~4	1SLN-6160-YYE
特別実習・講義「実践力養成」	1~4	1SCN-6170-YYE
特別実習・講義「キャリア」	1~4	1SCN-6140-YYE

			専門教育科目(必修	26単位を含み	.84単位以上)				
専	門基礎		専	門発展				門応用	
必修8単位を	含み20単位」	以上	必修6単位を	必修6単位を含み14単位以上			24単位以上		
(情報>			〈情報〉			-	〈ネットワーク〉		
科目名	授業を行う 年次	番号	科目名	授業を行う 年次	番号	Ī	科目名	授業を行う 年次	番
◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT	計算機システム論	1後	1AIN-5432-12ES	Ī	Webデザイン	1後	1ENN-50
青報数学Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E	◎プログラミング初歩 Ⅰ	1前	1AIB-6361-12C		スイッチング技術	2前	1ENN-58
青報ネットワーク入門	1後	1BIN-5770-12ET	プログラミング初歩Ⅱ	1後	1AIB-6372-12E	1	レーティング技術	2後	1ENN-58
ンピュータ実務演習 I	1前	1BIB-6550-12E	プログラミング実践	2前	1AIN-6342-24E		SNS活用と問題解決	2前	1ENN-50
ンピュータ実務演習Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E	プログラミング実践Ⅱ	2後	1AIN-6353-24E		デジタルピジネス論	2後	1ENN-50
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E	ケームブログ・ラミング	2前	1AIN-6580-22E	1	Webシステム	2前	1ENN-506
◎情報セキュリティ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT	e スボーツ概論	2後	1AIN-6690-22E	\rightarrow	Webプログラミング I	2後	1ENN-50
青報システムの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET	◎情報処理技術演習Ⅰ	2前	1AIN-6610-22C	\neg	WebプログラミングⅡ	3・4前	1ENN-50
ルチメディア論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET	情報処理技術演習Ⅱ	2後	1AIN-6620-22E	[WebプログラミングIII	3・4後	1ENN-51
経営・会計〉			アルコ゚リス゚ムとデータ構造	2前	1AIN-5122-22ET		ネットワークアプリケーション構築	3・4通年	1ENN-62
)経営学総論 I	1前	1BMB-5331-12C	情報数学Ⅱ	2前	1AIB-5720-22E		インターネット技術	3・4前	1ENN-58
F記	1前	1BMB-5831-12E	データペース論	2前	1AIN-6060-22ET	-	〈データサイエンス〉		
算記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E	オヘ゛レーティング・システム論	2後	1AIN-5192-22E		マーケティング論	1前	1EDN-64
ネージメント科学	2前	1BMN-6510-22ET	計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET	F	消費者行動論	1後	1EDN-56
ジ 叔実務	2前	1BMB-6302-22E	モハ イルネットワーク	3・4前	1AIN-6550-Z2ES	-	経営分析	2前	1EDN-54
民事法	2前	1BMN-6540-22E	情報処理技術演習Ⅲ	3・4前	1AIN-6630-Z2E	-	統計学	2後	1EDB-60
)経営情報学 I	2前	1BMN-5360-22C	情報処理技術演習Ⅳ	3・4後	1AIN-6640-Z2E	Ī	ピジネスプログラミング	2前	1EDN-63
E営情報学Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET	〈経営・会計〉			[多変量解析	3・4前	1EDN-60
			◎会計学	1前	1AMN-5200-12C		データ解析	3・4前	1EDN-60
			コマース論	2前	1AMN-5562-22E		データモデ リング	3・4後	1EDN-60
			経営組織論	2後	1AMN-5390-22E	-	統計プログラミング	3・4後	1EDN-61
			コンピュータ会計	2後	1AMN-5600-22E	1	機械学習	3・4前	1EDN-52
			知的財産権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET	[人工知能	3・4後	1EDN-52
			·			_	〈国際ビジネス〉		
							英検上級 I ・TOEIC応用 I	2前	1EGN-50
							英検上級 II・TOEIC応用 II	2後	1EGN-50
						Ī	どが叔英語	3・4前	1EGN-62

〈プレゼミ〉				〈ゼミナール基礎〉				〈ゼミナール専門〉		
科目名	授業を行う 年次	番号		科目名	授業を行う 年次	番号	7	科目名	授業を行う 年次	番号
7 はミ	1前		7	◎基礎ゼミ	2通年		1	◎専門t ⁱ ミI	3通年	
プレゼミ	1後		$^{ ed}$	◎情報学基礎演習	2通年		\neg	◎情報学専門演習	3通年	
	-		_ —		-			◎専門t [*] ミII	4通年	
								◎情報学専門演習	4通年	

〈特別実習・講義専門〉							
科目名	授業を行う 年次	番号					
特別実習・講義「経営」	1~4	1SMN-6150-YYE					
特別実習・講義「会計」	1~4	1SAN-6130-YYE					
特別実習・講義「情報」	1~4	1SIN-6180-YYE					

特別実習	講義

基礎総合科目

ナンバリング (Numbering)							
1GGN-5470-12C							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
建学の精神と人生		219~	1年生・前期		2単位	必修	副学長·担当教員
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条f Course Prerequis		学生便覧の「建学の精神をたずねて」(2~3ページ)を読んでおくこと。 ※禁止事項:不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の 使用。その他指定する事項。					

授業概要 Course Outline

麻生学園の創立者 麻生繁樹先生は、建学の精神を 1.「至心」、2.「報恩感謝・慈愛と奉仕」3.「容(かたち)は心を呼び、心は容を呼ぶ」に定めた。これらの精神は、本学の教育・研究活動の根幹をなすものであるが、同時にわれわれすべてが日々の暮らしを営むにあたって従うべき行動準則となり、目標となりうるものである。本講義では、建学の精神がひとりひとりの人間存在そのものにとっていかなる意義を持ちうるのかというその根源的意味を探求していく。そして本学の由来や創立の経緯、麻生繁樹先生の軌跡や言葉を辿ることにより、建学の精神の背景や内容を考察していく。さらに、建学の精神と本学の教育・研究活動の関連性について説明する。また、建学の精神に則った学生生活のあり方について提唱する。さらに、太宰府や地域の歴史や事情を学ぶことにより、われわれと太宰府・地域との紐帯について自覚を学生に促していく。以上をもって、学生諸君が建学の精神を体得し、全人格的な人間性を備えた有為な社会人として世に貢献できるように、その素地を涵養していく。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content		Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない						
	授業を通して修得で	そる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	哉の理解 Multiple Cul	ture / Different Culture O			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Cult	ure / Society / Nature O			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / L	istening			
汎用的技能の観点 Generic Skills	数量的スキル	Mathematics				
	情報リテラシー	Information Literacy				
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy				
	自己管理力	Self-management	0			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	チームワーク	Teamwork				
	リーダーシップ	Leadership				
	倫理観	Ethical Sense	0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	0			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	0			

到達目標 Objectives

この授業の目標は以下の通りである。

- ①建学の精神 1.「至心」、2.「報恩感謝・慈愛と奉仕」、3.「容(かたち)は心を呼び、心は容を呼ぶ」の意味を理解できる こと。
- 宰府・地域の歴史や諸事情を理解できること。
- ③大学生としてふさわしい生活態度、学習態度について理解できること。
- ④その他

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回の授業の内容に関して理解度を確認するために課題を出すので、Googleクラスルームの所定のページに提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認すること。

授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行うこと。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|学習の確認:ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出すること。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
プリントを配布する。							
参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
幼児教育と親心 新菅家御伝 人物叢書 菅原道真 菅原道真 大学的福岡・太宰府ガイド 日本古典文学大系72 菅家文草・菅家後集	麻生繁樹 味酒安則·村田眞理 坂本太郎 滝川幸司 西高辻·赤司·高倉 編 川口久雄	三晃書房 太宰府天満宮文化研究所 吉川弘文館 中公新書 昭和堂 岩波書店					

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:試験80%。平常点20%(毎回の授業のポートフォリオ(事前学習と事後学習)の提出、ルーブリックの提出、その他)。

	授業計画 Course Schedule								
	テーマ Theme								
	4月16日(火) 副学長 ①1回~15回の概要 ②日本の教育制度 ②大学の教育力 ③建学の精神・教育理念・校訓								
第1回	事前学習 学生便覧「建学の精神を訪ねて」を読み、本学の教育理念について理解を深めておく。(2時間)								
	事後学習 「大学で何を学び、何に挑戦するのか」まとめておく。(2時間)								
	4月23日(火) 副学長 いま大学で「学ぶ」ということ								
第2回	事前学習 あなたがこれまでに行った自由研究のテーマとその内容について200字程度にまとめる。(2 (内容・時間) 時間)								
	事後学習 (内容・時間) 大学で学びたいことについて200字程度にまとめる。(2時間)								
	4月30日(火) 学長 建学の精神 (至心・四恩の学び舎 について)								
第3回	事前学習 (内容・時間) 本学が公表している「至心」「四恩の学び舎」の意味を調べておく。(2時間)								
	事後学習 「至心」と関係する自らの行動について考察する。四恩の学び舎において自らが実践出来る (内容・時間) 事を考察する。(2時間)								
	5月7日(火) 学生部長 出身高校で多くの先生方から学んだ生きる力(誇り等)と4年後を見据えた学生生活の在り方について								
第4回	事前学習 出身高校3年間で学習や生活、特別活動において、自分自身が変化したと感じた強く印象に残る先 (内容・時間) 生についてまとめておくこと。(その時の自分を変えた言葉や自分を奮い立たせた理由等)(2時間)								
	事後学習 先生たちの思いで自身を変えるきっかけとなった瞬間の言葉、行動を、これからの学生生活 (内容・時間) にどのように生かしたいか(このことだけは続けたい等)まとめること。(2時間)								
	5月14日(火) 経営情報学科長 経営情報学と経営情報学科について								
第5回	事前学習 学生便覧、大学のパンフレット(大学HPにあるWebパンフレットをダウンロード)を読むこと (内容・時間) (特に経営情報学科についての部分)。(2時間)								
	事後学習 (内容・時間) 経営情報学科と情報ネットワーク学科との役割について考えてもらう。(2時間)								
	5月21日(火) 情報ネットワーク学科長 本学における情報教育のあり方について								
第6回	事前学習 学生便覧、大学のパンフレット(大学HPにあるWebパンフレットをダウンロード)を読むこと (内容・時間) (特に情報ネットワーク学科についての部分)。(2時間)								
	事後学習 (内容・時間) 身に着けたい情報技術を3点以上調べまとめて提出すること。(2時間)								
	5月28日(火) 国際交流センター長 国際社会の中の太宰府								
第7回	事前学習 プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。(2時間)								
	事後学習 (内容・時間) 授業の内容に関する課題を作成して提出すること。(2時間)								
	6月4日(火) 教務部長「至心」の哲学的探求: 麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想その1								
第8回	事前学習 プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。(2時間)								
	事後学習 (内容・時間) 授業の内容に関する課題を作成して提出すること。(2時間)								

	6月11日(火) 教務部長「至心」の哲学的探求:麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想その2
第9回	事前学習 プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業の内容に関する課題を作成して提出すること。(2時間)
	6月18日(火) 教務部長「至心」の哲学的探求:麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想その3
第10回	事前学習 プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 授業の内容に関する課題を作成して提出すること。(2時間)
	6月25日(火) 教務部長 菅原道真と太宰府天満宮について その1
第11回	事前学習 プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 授業の内容に関する課題を作成して提出すること。(2時間)
	7月2日(火) 教務部長 菅原道真と太宰府天満宮について その2
第12回	事前学習 プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 授業の内容に関する課題を作成して提出すること。(2時間)
	7月9日(火) 教務部長 菅原道真と太宰府天満宮について その3
第13回	事前学習 プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業の内容に関する課題を作成して提出すること。(2時間)
	7月16日(火) 教務部長 菅原道真と太宰府天満宮について その4
第14回	事前学習 プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 授業の内容に関する課題を作成して提出すること。(2時間)
	7月23日(火)副学長・教務部長 まとめ、試験の説明等、その他
第15回	事前学習 試験で出題されるであろう設問について予習し、不明な事項を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 ポートフォリオ & ルーブリック作成と提出(2時間)
第16回	定期試験

ナンバリング (Numb 1GGN-5660-12							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
宗教学		共通 1年生·後期		2単位	選択	安達義弘	
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom なし				•	
履修の前提条 Course Prerequis		容を呼ぶ)」? ・なぜ宗教学	を理解しておくこと。 を学ぶ必要がある。 コンには積極的に	と思った	このかを考え	ておく	

- ・世界の主要な宗教(とくにユダヤ教、キリスト教、イスラム教)、および日本の宗教(とくに神道と仏教)を取り上げます。
- ・それらの宗教の起源と歴史、基本的な行動のパターン、および精神文化を比較しながら考察します。
- ・それによって、宗教の違いによって人の考え方や行動のパターンがどのように違うのかを考察します。
- ・そのような授業を通して、宗教を相対化する力、グローバル社会の中で生き抜く力、および社会人として必要な態度・志向性、豊な人間性を修得することを目指します。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

・そして最後に、宗教学の視点から、本学の「建学の精神」の意味と意義について考察を深めます。

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty

with Work Experience	Work Experience Content	Glass Gori	Glass Contents Offizing Work Experience				
該当しない							
	授業を通して修得で	きる力 Competency Go	pals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Mul	ltiple Culture / Different Culture	0			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Hur	man Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Spea	aking / Listening	0			
77 FT 44 + 44 - 45 - 4	数量的スキル	Mathematics					
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー Information Literacy						
donono onino	論理的思考力	ive Thinking					
	問題解決力	Problem Solving	lem Solving				
	建学の精神	University Founding Phile	osophy	0			
	自己管理力	Self-management					
北京 ナウ州の知り	チームワーク	Teamwork					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership					
r croomar quantico	倫理観	Ethical Sense		0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility					
	生涯学習力	Lifelong Learning					
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Expe	erience				
Greative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills					

到達目標 Objectives

- ・世界の主要な宗教の起源と歴史、基本的な行動のパターンやそれぞれの精神文化を理解し、説明できるようにはります。
- ・日本の主要な宗教、とくに神道と仏教の起源と歴史、基本的な行動のパターンと精神文化を理解し、説明できるようになります。
- ・そのような学習を通じて、宗教を相対化する力、グローバル化社会の中で生き抜く力、および社会人として必要な態度・志向性を修得します。
- ・また、本学の「建学の精神」の理解を深めます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ・毎回の講義でカーボン・ノートに、講義中に考えたこと、興味や疑問を持った点、意見などを記入し、講義終了後に提出していただきます。
- ・重要と思われるテーマや受講生の多くが関心を持っているテーマについては、次回の授業で取り上げ解説し、 |必要に応じてディスカッションを行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

|連絡・問い合わせ・相談などは授業の前後に対応します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

講義のカーボン・コピー・ノートを毎回の講義終了時に提出していただきます。 学習の確認については、ポートフォリオ&ルーブリックのシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し て、最終講義時に提出していただきます。

教科書 Textbooks 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐-F ISBN Code 書名 Title 講義中に資料を配布します。 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 世界がわかる宗教社会学入門 橋爪大三郎 筑摩書房 978-4480422279 平凡社 世界宗教大事典 山折哲雄(監修) 4-582-13002-X 仏教文化事典 柳川啓一、他(監修) 佼成出版社 4-333-01355-O 原始仏典を読む 中村元 岩波書店 978-4-00-600317-3 4006002831 『コーラン』を読む 井筒俊彦 岩波書店

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験50%

レポート20%

平常点(カーボン・コピー・ノート、ポートフォリオ&ルーブリック、ディスカッション)30%

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	オリエンテーション(講義の概要、受講上の注意、成績評価方法の説明)					
第1回	事前学習 宗教学とは何か、について自分なりの考え方をまとめておいてください。2時間					
	事後学習 宗教学で、何に関心があるか、なぜ関心があるか、を書いてください。2時間					
	宗教と現代社会(現代社会での宗教と科学の関係、宗教が関係する出来事を取り上げます。)					
第2回	事前学習 (内容・時間) 宗教が関係する事件や出来事を調べてください。2時間					
	事後学習 宗教はなぜ問題を引き起こすのかを、講義内容を中心にまとめてください。2時間					
	ユダヤ教(1)(ユダヤ教の起源とその社会背景について考察します。)					
第3回	事前学習 ユダヤ教に関係する出来事について調べてください。2時間					
	事後学習 ユダヤ教がどのように成立したのか、授業内容を中心にまとめてください。2時間					
	ユダヤ教(2)(ユダヤ教の歴史について考察します。)					
第4回	事前学習 ユダヤ教の聖書の創世記の後半と出エジプト記を事前に読んでください。2時間					
	事後学習 (内容・時間) ユダヤ教の精神文化について、講義内容を中心にまとめてください。2時間					
	ユダヤ教(3)(ユダヤ教の歴史と文化およびをキリスト教との異同を考察します。)					
第5回	事前学習 ユダヤ教のデアスポラ(離散)とシオニズム運動について調べてください。2時間					
	事後学習 ユダヤ教の歴史の特徴について、講義内容を中心にまとめてください。2時間					
	キリスト教(1)(キリスト教の起源とその社会背景について考察します。)					
第6回	事前学習 イエス・キリストとはどのような人だったのかについて調べてください。2時間					
	事後学習 キリスト教の起源とその社会背景について、講義内容を中心にまとめてください。2時間					
	キリスト教(2)(キリスト教の歴史と文化およびをユダヤ教との異同を考察します。)					
第7回	事前学習 キリスト教の三位一体説について調べてください。2時間					
	事後学習 (内容・時間) キリスト教とユダヤ教の異同について、講義内容を中心にまとめてください。2時間					
	キリスト教(3)(キリスト教の歴史および精神文化について考察します。)					
第8回	事前学習 キリスト教の現代社会における影響について調べてください。2時間					
	事後学習 キリスト教と近代社会との関係について、講義内容を中心にまとめてください。2時間					

	イスラム教(1)(イスラム教の起源とその社会背景について考察します。)
第9回	事前学習 イスラム教が関係する出来事について調べてください。2時間
	事後学習 (内容・時間) ムハンマドはどのような人だったかについて、講義内容を中心にまとめてください。2時間
	イスラム教(2)(イスラム教の歴史と文化をユダヤ教やキリスト教と比較しながら考察します。)
第10回	事前学習 (内容・時間) イスラム教においてジハード(聖戦)とは何か、について調べてください。2時間
	事後学習 (内容・時間) イスラム教の歴史の特徴を、講義内容を中心にまとめてください。2時間
	イスラム教(3)(イスラム教の分化的特徴について解説します。)
第11回	事前学習 (内容・時間) イスラム教の偶像崇拝の禁止とそれに関する出来事について調べてください。2時間
	事後学習 (内容・時間) イスラム教の精神文化について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
	日本の宗教(1)(インドでの仏教の誕生とその発展の歴史を考察します。)
第12回	事前学習 (内容・時間) 仏陀はどのような人だったか、を調べてください。2時間
	事後学習 初期仏教の歴史について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
	日本の宗教(2)(日本における仏教の導入とその特徴を考察します。)
第13回	事前学習 神道とはどのような宗教か、について調べてください。2時間
	事後学習 (内容・時間) 神道と仏教の成立について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
	日本の宗教(3)(日本における仏教の歴史的展開とその特徴を考察します。)
第14回	事前学習 (内容・時間) 神道と仏教の基本的な考え方について調べてください。2時間
	事後学習 (内容・時間) 神道と仏教の精神文化とその日本的特徴を、講義内容を中心にまとめてください。2時間
	本学の「建学の精神」の考察(日本の宗教文化の視点から考察します。)
第15回	事前学習 「建学の精神」について、事前に理解を深めておいてください。2時間
	事後学習 (内容・時間) 本学の専門教育と「建学の精神」との関係についてまとめてください。2時間
第16回	講義内容の振り返りと確認のための筆記試験を行います。
(定期試験)	

ナンバリング (Numb							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学芽 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
心理学		219~	1年生・前期		2単位	選択	鈴木 和也
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条 Course Prerequi			を心理学的な視点 心理学諸学会連合:				を持っていること。2. 受講 及を受験すること。

近年、インターネットなどの情報化の進展やグローバル化に伴い、私たちの生活は、利便性、効率性、多様性が 高まっている。その反面、個人や社会的には、物質的な豊かさとは裏腹に心の貧しさを感じることも多くなってき ている。本講義では、心理学を学ぶことで、本来の豊かで人間らしい高い生活の質(QOL)を持った人生送るため に必要な、豊かな人間性と創造的かつ実践的な力を醸成していくための知識を身に付ける。

なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題 や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0		
刀甲的针丝办知上	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
derierio ciuno	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy	0		
	自己管理力	Self-management			
お中 十九州の知上	チームワーク	Teamwork	0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0		
1 or cornar adamento	倫理観	Ethical Sense	0		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0		
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

自分が自分自身に対し、現実から目をそらさずに積極的に向き合い、課題と取り組むための冷静さと積極性を もって日常を生きるヒントとなる知識や態度を心理学という学問・方法から出来るだけ多く学びとれること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- 対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
- ・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー 以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価 など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
心理学・入門 心理学はこんなに面白い	サトウタツヤ・渡邊芳之 著	タツヤ・渡邊芳之 著 有斐閣					
	参考文献 Referen	ce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
基礎心理学 I 入門心理学	加藤義明 他著	八千代出版	978-4-8429-0648-5				
はじめて出会う 心理学	長谷川寿一 他著	有斐閣	978-4-641-12345-8				
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation							

1.定期試験(80%)、2.小テスト(10%)、3.学修課題の提出(5%)、4.授業への取組み(5%)

授業計画 Course Schedule									
	テーマ Theme								
	授業概要(授業の進め方、評価について) 心理学とは								
第1回	事前学習 (内容・時間) 教科書1頁~6頁を確認する								
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)							
	心理学の基礎分野								
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書24頁~36頁を通読する	(2.0h)							
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)							
	学習								
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書38頁~50頁を通読する	(2.0h)							
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)							
	認知								
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書52頁~65頁を通読する	(2.0h)							
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)							
	神経・生理								
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書67頁~81頁を通読する	(2.0h)							
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)							
	個人差―パーソナリティ、知能								
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書84頁~98頁を通読する	(2.0h)							
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)							
	乳幼児期から児童期前半の発達と臨床								
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書99頁~117頁を通読する	(2.0h)							
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)							
	児童期後半(青年前期)・思春期・青年期の発達と臨床								
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書119頁~140頁を通読する	(2.0h)							
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)							

	成人期から老年(高齢)期の発達と臨床							
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書144頁~163頁を通読する	(2.0h)						
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	社会·集団心理							
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書166頁~175頁を通読する	(2.0h)						
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	対人関係とコミュニケーション							
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書178頁~189頁を通読する	(2.0h)						
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	社会病理の心理学							
第12回	事前学習 「内容・時間) 配布資料「社会病理の心理学」を通読する	(2.0h)						
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	スクールカウンセリング							
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書191頁~202頁を通読する	(2.0h)						
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	福祉心理学							
第14回	事前学習 (内容・時間) 教科書205頁~215頁を通読する	(2.0h)						
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	コンピュータと人間							
第15回	事前学習 (内容・時間) 配布資料「コンピュータと人間」を通読する	(2.0h)						
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
第16回	定期試験の実施							
(定期試験)	(まとめと振り返りを行う。) 							

ナンバリング(Numb	ering)						
1GGN-6400-12	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
文学		共通	1年生•前期		2単位	選択	進藤 康子
オンライン授業 Online Class	なし	なし Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom あり		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		①日本の文学 読んでおくこと		こと。 (2各作品のあ	らすじ、	現代語訳を事前に予習して

本科目は、本学の建学精神である『至心』の「暖かく豊かな人間性」を磨くことを基本理念に、1親、祖先の御恩 2教師、先生への御恩 3社会、国家の御恩、4神、仏の御恩に報いられる人間づくりの教育を目標としている。授業内容は、次のとおりである。①世界中で翻訳されている日本の古典小説『雨月物語』九話のうち、二話を取り上げ学習する。中国の怪異小説を翻案したことで有名だが、日本の伝統、古典、文化をも融合させ、再構築した構成要素を、わかりやすく、楽しく解説する。現代人に通じる人間の強さ弱さ、優しさ、醜さ、善悪など、豊かな感性を磨き、心の変化とその本質を洞察できる力、未来に向かっての人間理解力を身につけるよう指導する。留学生にもわかりやすく、この世界的に有名な日本の小説を紹介する。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experier

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty

授業概要 Course Outline

with Work Experience	work Experience Content	Glass	Gontents Utilizing Work Experience	
該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competenc	y Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understandi	ng 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0
	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	/	
donorio okino	論理的思考力	Logical Thinking / 0	Creative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving		0
	建学の精神	University Founding	; Philosophy	0
	自己管理力	Self-management		\bigcirc
北本 ナカ州の知り	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
r oroonar adamsoo	倫理観	Ethical Sense		\bigcirc
	市民としての社会的責任	Social Responsibilit	у	0
	生涯学習力	Lifelong Learning		0
統合的な学習経験と創造的思考; Integrated Learning Experience ar		Integrated Learning	Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	kills	\circ

到達目標 Objectives

この授業の目標は次の3つ。第1に怪異小説『雨月物語』の内容を理解し、人間の心理の動きを味わう。第2に人の心の美しさや恐ろしさの裏にある人間の本質を解き明し、現代に通じる問題解決力を見いだすことができるようになること。第3に『雨月物語』と原話の中国白話小説を比較することにより、日本独自の表現方法や特徴、作者の文学理念が理解できるようになること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業の内容に関して、受講者が自主的に、事前に調べて、興味のあるテーマを設定し、レポートメモを作成する。レポートメモから、レポートを作成する。常に対話型の授業をし、学生からの積極的な発言や質問、提案などを自由に発信、発表できるようにする。作品別に感想文を作成し、グループ内での討論会を実施する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談、質問は、授業の終わりに随時受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験;該当なし。学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し提出。毎回、クラスルームにても受け付ける。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
雨月物語	上田秋成	角川文庫ソフイア					
参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
マンガ日本の古典『雨月物語』	木原敏江	中公文庫					
成績記	平価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation					

成績評価の方法:定期試験70% 平常点30% (出席・レポート・デイスカッション・受講態度など) 成績評価の基準:小説の内容を理解しているか。人間の心の美しさや恐ろしさにある心の本質を解き明し、現代 に通じる人間理解への洞察力を身につけたか。日本独自の表現方法や特色を理解できたか。

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	授業の方針、オリエンテーション。日本の文学と雨月物語についてプリント1					
第1回	事前学習 日本の古典文学と雨月物語について基礎調査をしてくる。					
	事後学習 プリント1を熟読する。					
	江戸時代の文学について。雨月物語について プリント2					
第2回	事前学習 (内容・時間) 工戸時代の小説と雨月物語について調査をする。					
	事後学習 (内容・時間) 江戸時代の文学について。雨月物語について プリント2を熟読する。					
	作者上田秋成の人物と思想について プリント3。 第一回「理解度チェック」ミニテスト					
第3回	事前学習 上田秋成の人物と思想について調べてくる。					
	事後学習 (内容・時間) 作者上田秋成の人物と思想について プリント3を熟読する。					
	雨月物語の「青頭巾」解釈①、プリント4「中国の怪異小説と日本文学」について。					
第4回	事前学習 「中国の怪異小説」について調査をしてくる。					
	事後学習 「内容・時間) 雨月物語の「青頭巾」プリント4「中国の怪異小説と日本文学」について熟読する。					
	雨月物語の「青頭巾」解釈②、プリント5「翻案小説」について					
第5回	事前学習 「翻案小説」について調べてくる。					
	事後学習 雨月物語の「青頭巾」プリント5「翻案小説」について熟読する。					
	雨月物語の「青頭巾」③、プリント6「寓意」について					
第6回	事前学習 (内容・時間) 「寓意」について調べてくる。					
	事後学習 雨月物語の「青頭巾」プリント6「寓意」について熟読する。					
	雨月物語の「青頭巾」解釈④、とプリント7「白話小説」について					
第7回	事前学習 「白話小説」について調べてくる。					
	事後学習 雨月物語の「青頭巾」プリント7「白話小説」について熟読する。					
	雨月物語の「青頭巾」解釈⑤、プリント8 第二回「理解度チェック」ミニテスト					
第8回	事前学習 雨月物語の「青頭巾」の解釈をまとめてくる。					
	事後学習 (内容・時間) 雨月物語の「青頭巾」 プリント8 まとめを熟読する。					

	
	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈①、とプリント9「もののけ」について
第9回	事前学習 「もののけ」について調査をしてくる。
	事後学習 雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈1とプリント9「粋」「もののけ」についてを熟読する。
	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈②、プリント10「水滸伝」について
第10回	事前学習 「水滸伝」について調べてくる。
	事後学習 「内容・時間) 雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈2とプリント10「水滸伝」について熟読する。
	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈③、プリント11「白話語とルビの意味」について
第11回	事前学習 「白話語とルビの意味」について調査をしてくる。
	事後学習 両月物語の「夢応の鯉魚」解釈3とプリント11「白話語とルビの意味」について熟読する。
	 雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈④、プリント12 第三回「理解度チェック」ミニテスト
第12回	事前学習 雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈を熟読する。
	事後学習 (内容・時間) 「理解度チェック」ミニテストを復習してくる。
	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈⑤、プリント13「源氏物語」について
第13回	事前学習 「源氏物語」を調べてくる。
	事後学習 「内容・時間) 雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈5とプリント13「源氏物語」について熟読する。
	「青頭巾」と「夢応の鯉魚」のまとめ、プリント14 質問タイム。自分のテーマを決定し、レポート準備。
第14回	事前学習 (内容・時間) 「青頭巾」と「夢応の鯉魚」の質問をまとめてくる。
	事後学習 _{青頭巾」と「夢応の鯉魚」のあらすじをまとめる。}
	マンガで読む『雨月物語』プリント15 レポートメモを作成し、デイスカッションする。
第15回	事前学習 (内容・時間)
	事後学習 レポートメモを、レポートにまとめる。
第16回 (定期試験)	定期試験
() () () () () () () () () ()	

ナンバリング(Numb	pering)						
1GGN-6260-12	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem	•	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
日本文化論		~222	1年生•後期		2単位	選択	進藤 康子
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom あり					
履修の前提条 Course Prerequis		日本の文化について関心を持っている 授業中のディスカッションには積極的に					

留学生にも親しみやすい資料を用い、なるべく平易に解説する。授業の前に課題や問題点を調べておく。授業が終わってから自分の意見をまとめレポートを出すことを課する。①浮世絵などの「絵画資料」②ヨーロッパでのジャポニズム(ゴッホ・モネ・ルノアール・ゴーギャン)③「ひらがな・漢字・カタカナの歴史と成り立ち」を学ぶ。④和歌や俳句を実作指導する。日本文化を体感し、より深い理解に到達できるようになる。⑤「武道」「神道」「茶道」「香道」「書道」を担当を決めて発表することにより、「道」の文化の精神性を、より身近に具体的に理解できるようになる。⑥ 江戸時代のマンガ(北斎漫画)や浮世絵など。⑧万葉集・源氏物語・雨月物語⑨日本独自の趣のある文化を時間軸に沿いながら総合的に学ぶことにより、日本人としてのアイデンティティーの確立と、建学の精神『至心』の根本理念に基づき、現代にもつながる日本文化の精神性への理解ができるようになる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content		Class	実務経験をいかした教育内容 Contents Utilizing Work Experience	
該当しない	·				
	授業を通して修得で	きる力(Competenc	y Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	#	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understanding	3 人類の文化・社会と自然に	関する知	識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading	g / Writing /	Speaking / Listening	0
7 m4444 6 5 5	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			0
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			0
	問題解決力	Problem Solving		0	
	建学の精神	Univers	ity Founding	Philosophy	0
	自己管理力	Self-management			0
	チームワーク	Teamwo	ork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leaders	ship		
r or corrai quantico	倫理観	Ethical	Sense		0
	市民としての社会的責任	Social F	Responsibility	,	
	生涯学習力	Lifelong	g Learning		0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrat	ted Learning	Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creativ	e Thinking S	kills	

到達目標 Objectives

日本の伝統文化、および歴史への考察を深め、正しく理解するために、この学科では、歌舞伎や浮世絵や、江戸時代の実物のカルタ遊びや、「茶道」、「書道」、「武士道」、「香道」、「忍者」、「和食」など「道」の文化の精神性について学ぶ。日本文化の根底にある、八百万神への畏敬の念を、留学生にもわかる様にかみ砕いて教えることにより、より的確に日本文化を理解できるようになることを目指している。又、百人一首や、福岡(博多)の歌人大隈言道の和歌を学び、和歌、俳句を実作することにより、言語感覚と、リズムを体感し、かつ、日本文化の「雅と俗」の基礎知識、建学の精神『至心』などへの理解をすることができる。江戸時代の漫画、現代につづくマンガについても採り上げ、浮世絵の歴史にも言及する。ヨーロッパにおける日本文化の評価の高さは、江戸時代の浮世絵になど関するジャポニズムの流行を知ることにより更に理解が深まる。これらの日本文化の質の高さを知ることにより、学生のアイデンティティーの確立に寄与するものとなることをも目指している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生が自主的にテーマを設定して、レポートを作成してもらいます。対話型の授業を心がけています。学生から積極的に自分の考えを発言することを期待します。毎回の授業の終わりには、コメントカード、ミニレポートの作成・提出をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。 教室内の学習30時間→1コマ2時間(90分)×15週, 授業時間外学習60時間→事前学習2時間+事後学習2時間×15週

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

|連絡、問い合わせ、相談、質問は随時授業の終わりに受け付ける。また、ミニレポート提出先でも受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオの作成と提出をお願いします。履修の目的、毎回の授業の内容、予習、復習、自己評価を記入し、 授業第7回目の終わりと第15回目の終わりに提出してください。提出先は、ミニレポート提出と同じです。

教科書 Textbooks								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
プリントを配布する								
	参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
日本文学の歴史9 和歌文学大系 74 草径集	ドナルド・キーン 進藤 康子	中央公論社 明治書院						
15 (de === 1 a.1 a.1 a.1 a.1 a.1 a.1 a.1 a.1 a.1 a								

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点(10%)レポート(10%)定期試験(80%)。平常点は、科目別履修状況チェック表の提出状況、授業の中で行うディスカッションの様子、積極的な発言、提案、質問の様子で判断する。

授業計画 Course Schedule						
テーマ Theme						
	オリエンテーション (授業の概要・授業の方針・受講上の諸注意などを説明する)					
第1回	事前学習 日本文化で興味のあるものは何かを自分で考え、いくつか見つけてくる(2時間)					
	事後学習 授業の概要・授業の方針を復習する。ポートフォリオを作成する。以後毎回。(2時間)					
	日本文化と伝統的年中行事 1 (日本文化の概観と世界の中の日本文化の特色の説明をする)					
第2回	事前学習 日本の伝統文化といえば、代表的なものは何かをいくつか調べて200字でまとめる(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 年中行事について復習し、授業で習ったことと自分の感想をミニレポートを提出する(2時間)					
	日本文化と伝統的年中行事 2 (月の異称について説明する。)					
第3回	事前学習 日本の伝統的な年中行事を調べ、それはどんな願いが込められているか考えてくる(2時間)					
	事後学習 年中行事と月の関係など授業で習ったことを200字でミニレポートに提出する。(2時間)					
	日本文化と絵画資料1(まんが資料・鳥獣戯画などを説明する)					
第4回	事前学習 日本のまんがで、あなたが好きなものは何か。また、北斎漫画についても調べてくる(2時間)					
	事後学習 日本のまんがの歴史をまとめて、さらに興味をもったことは調べて、ミニレポート提出する。(2時間)					
	日本文化と絵画資料2(浮世絵・ジャポニズムについて説明する)					
第5回	事前学習 (内容・時間) 浮世絵について調べて200字でまとめておく。授業中に発表する。(2時間)					
	事後学習 ジャポニズムとは何か。授業で習ったことを200字でまとめ、自分の感想も加えて。ミニレポート提出する。(2時間)					
	日本文化と絵画資料3(カルタ遊び・百人一首について説明する)					
第6回	事前学習 日本のカルタ遊びとは何か。また百人一首の歌を一首調べて意味を書いてくる。(2時間)					
	事後学習 百人一首かるたについて、授業で習ったことを200字で、ミニレポート提出する。(2時間)					
	日本文化と演劇・芸能 (歌舞伎・人形浄瑠璃文楽を説明する)					
第7回	事前学習 歌舞伎とはどんなものが調べて100字にまとめておく。(2時間)					
	事後学習 ポートフォリオを提出する。(2時間)					
	いろは歌「いろはにほへと」、50音図「あいうえお」 の歴史を説明する。					
第8回	事前学習 「いろは」うたについて調べてくる。疑問点をまとめておく。(2時間)					
	事後学習 「はひふへほ」と「ぱぴぷぺぽ」の歴史をまとめて、ミニレポート提出する。(2時間)					

	俳句の実作(松尾芭蕉・小林一茶・仙涯 などの楽しい俳句を紹介する)
第9回	事前学習 (内容・時間) 俳句とは何かを調べて100字でまとめておく。また、有名な俳句を一句調べてくる。(2時間)
	事後学習 自分のオリジナルで、季節の俳句を作って、ミニレポート提出する。(2時間)
	和歌1 和歌の実作(万葉集・古今集などの歌)と大宰府の歴史(梅花の宴「の坂本神社など)
第10回	事前学習 和歌とは何かを調べて100字でまとめておく。第6回の「百人一首」の復讐をしておく。(2時間)
	事後学習 和歌のすばらしさを200字でまとめ、また、和歌を一首作って、ミニレポート提出する。(2時間)
	和歌2 歌人、大隈言道(おおくまことみち)と、橘曙覧(たちばなあけみ)の和歌について鑑賞する。
第11回	事前学習 前回の授業の和歌についての疑問点、質問店をまとめておく(2時間)
	事後学習 橘曙覧「たのしみは」で始まる和歌にならって、「たのしみは」の和歌を作る(2時間)
	日本を代表する物語、 源氏物語、雨月物語について解説する
第12回	事前学習 『原氏物語、雨月物語について調べて、200字でまとめておく。(2時間)
	事後学習 授業で習った源氏物語、雨月物語の特色を200字でミニレポート提出する。(2時間)
	神道・茶道・華道・弓道・香道・武道・書道 など「道」の文化の根本理念と建学の精神について説明する。
第13回	事前学習 (内容・時間) 神道・茶道・華道・弓道・香道・武道・書道のうち、自分の興味がある「道」を選んで調べる。
	事後学習 授業で習った「道」について200字でまとめてミニレポート提出する。(2時間)
	2回~13回までの授業の中で習たことについての復讐とミニテスト
第14回	事前学習 2回~13回までの授業の中での振り返りテストのための質問を考えてくる。(2時間)
	事後学習 復讐テストのやり直しをしてメール送付すること。(2時間)
	レポートを発表し、内容についてデイスカッションする。定期試験に向けての学習と質問を受ける。
第15回	事前学習 自分のテーマのレポートをまとめ、発表の練習をしておく。(2時間)
	事後学習 定期テストのための勉強をして準備をする。建学の精神、親への恩、師への恩、社会への恩、国への (内容・時間) 恩、そして、日本の伝統文化を享受できる事に対する平和への恩についても討議する。(2時間)
第16回	定期試験を行う。

ナンバリング (Numbe							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学與 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報倫理 (教職関連科目 必 高等学科	校 情報)	共通	1年生•後期		2単位	必修	丹羽 崇之
オンライン授業 Online Class	なし		スルームの利用 ogle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisi		新聞の切り払	友きなどを続けて、愉	青報社 :	会、メディア <i>の</i>)動向(こ注意すること。

情報通信技術の発達により、利便性は飛躍的に向上した。一方で、大規模な情報漏洩やサイバー攻撃、個人情報の不正利用、プライバシー侵害など、犯罪や権利侵害も深刻になっている。豊かで安心して暮らせる社会を目指すためには、情報に関するモラルやルールを構築することは極めて重要である。この授業では、情報社会を構成する個人として、情報倫理の知識を身につけ、自ら考え行動する力を養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understandi	^{ig} 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
20 四份社会の知上	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management	0	
北京 十九州の知り	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 or oon at a dame oo	倫理観	Ethical Sense	0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考で Integrated Learning Experience an		Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

建学の精神をふまえ、情報社会の構成員として情報倫理の知識を十分に修得し、責任ある行動ができる。また、自分にかかわる人々の権利・利益を守ることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

情報とモラルをめぐる事例を取り上げ、ディスカッションする。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問は授業の前後のほか、オフィスアワーを積極的に活用してほしい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

情報学系の科目に加え、「知的所有権」、「法学」、「日本国憲法」、「民事法」、「会社法」などの法学系科目を受講することにより、理解を深めてもらいたい。

	教科書 Textbooks				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
『情報倫理〔改訂3版〕』	│ │ 高橋・原田・佐藤・岡部 対術評論ネ │		978-4297134150		
	参考文献 Referen	ce Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
『情報社会と情報倫理』	梅本吉彦【編著】	丸善出版	978-4621304686		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

平常点(ディスカッションへの参加や小テスト)30点、筆記試験70点により総合的に評価する。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	はじめに				
第1回	事前学習 「情報社会」にはどのような問題があるのか、新聞などで調べる(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 配付資料を読み返し、学んだこと、理解したことをまとめる(2時間)				
	情報倫理について				
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書第1章を読み、「倫理」の意味と「情報倫理」の範囲を調べる(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書と配付資料を読み返し、「情報倫理」の重要性を確認する(2時間)				
	情報社会について				
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2章を読み、「情報社会」の歴史を調べる(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書と配付資料を読み返し、「情報社会」の特性を確認する(2時間)				
	ネット時代のコミュニケーション				
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書第3章を読み、情報化に伴うコミュニケーション手段の変遷について調べる(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書および講義内容について復習をし、第3章の内容を整理する(2時間)				
	メディアの変遷について				
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書第4章を読み、「メディア」の歴史について調べる(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 本科書と配付資料を読み返し、現代における「倫理」の重要性を確認する(2時間)				
	メディア・リテラシー				
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書第5章を読み、「メディア・リテラシー」の定義について調べる(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書と配付資料を読み返し、「メディア・リテラシー」の重要性を確認する(2時間)				
	情報技術とセキュリティ				
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書第6章を読み、情報技術とセキュリティについて調べる(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書および講義内容について復習をし、第6章の内容を整理する(2時間)				
	インターネットと犯罪				
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書第7章を読み、インターネットと犯罪について調べる(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書および講義内容について復習をし、第7章の内容を整理する(2時間)				

	個人情報とプライバシー						
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書第8章を読み、「個人情報」「プライバシー」の意味を調べる(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 教科書と配付資料を読み返し、「個人情報保護」の重要性を確認する(2時間)						
	知的所有権とコンテンツ						
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書第9章を読み、「知的所有権」の意味と種類を調べる(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 教科書と配付資料を読み返し、「知的所有権」の保護について確認する(2時間)						
	企業と情報倫理						
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書第10章を読み、情報に関する企業の社会的責任について調べる(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 教科書と配付資料を読み返し、企業の関係者が守るべき倫理について確認する(2時間)						
	ビッグデータとAIの倫理						
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書第12章を読み、ビッグデータとAIについて調べる(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 教科書および講義内容について復習をし、12章の内容を整理する(2時間)						
	デジタルデバイドとユニバーサルデザイン						
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書第13章を読み、ユニバーサルデザインについて調べる(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 教科書および講義内容について復習をし、13章の内容を整理する(2時間)						
	ソーシャルネットワークサービスと情報モラル						
第14回	事前学習 (内容・時間) 教科書第14章を読み、ソーシャルネットワークサービスについて調べる(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 教科書および講義内容について復習をし、14章の内容を整理する(2時間)						
	情報通信社会とリテラシー						
第15回	事前学習 (内容・時間) 教科書第15章を読み、情報リテラシーとメディアリテラシーについて調べる(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 教科書および講義内容について復習をし、15章の内容を整理する(2時間)						
第16回(定期試験)	筆記試験						
I							

ナンバリング (Numberin	g)					
1GGN-6450-12E						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年·学 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
法学	共通	共通 1年生・前期		2単位	選択	丹羽 崇之
オンライン授業 Online Class な		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites	日頃から新	日頃から新聞をよく読んでおくこと。				

現代社会は社会的・経済的諸活動などあらゆる生活領域が法的関係に取り囲まれている。とりわけ、経営・情報などの分野では多様かつ複雑な法的問題に触れる機会も多く、これらの分野の従事者は法的なものの見方、リーガルマインドの涵養が要請される。そこで、本科目では、建学の精神をふまえ、これからの個別領域での法律学の習得のための端緒としてその導入部的理解を進めた上で、適宜経営・情報等の分野での事例を素材としながら、法学の基礎を学ぶ。

授業概要 Course Outline

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない				
	授業を通して修得で	きるカ Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
20円的社能の組占	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
Giornal Crimic	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management		
 態度・志向性の観点	チームワーク	Teamwork		
悠及・応円性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
	倫理観	Ethical Sense	0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning	0	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

本科目は、以下の授業計画にしたがって法学領域全般にかかわる基礎的理解を得ることにより、「法的なものの考え方」・「リーガルマインド」習得のための第一歩を踏み出し、法学部門で中心的領域を占める憲法・刑法・民法など各法令の特質と相違の概略を知ることにある。そのうえで、この科目を出発点とし、今後の各種法分野の知見を習得し、研修を重ねることにより、リーガルマインドが涵養されることとなる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

事例をあげながら、学生諸君に適用法令、法律関係を考えてもらう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問等は、授業の前後の時間やオフィスアワーを積極的に利用してもらいたい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

欠席した場合には、その回の学習課題を提出してもらう。(提出しない場合は、定期試験の受験を認めない。)

教科書 Textbooks				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
法の世界へ 第9版	池田真朗·犬伏由子他 有斐閣		978-4-641-22212-0	
参考文献 Reference Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
ポケット六法 令和6年版	佐伯・大村編	有斐閣	978-4-641-00924-0	
法律学小辞典	高橋和之他	有斐閣	978-4641000292	
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation				

平常点(ミニテスト、レポート)30%、定期試験70%により総合評価する。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	ガイダンス 法の学び方				
第1回	事前学習 法とは何かについて調べる(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 法とは何かについて復習する(2時間)				
	日常生活と契約(1)				
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書第1章1~3を読み、契約総論について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第1章1~3を読み返し、契約総論について復習する(2時間)				
	日常生活と契約(2)				
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書第1章4~5を読み、各種の契約について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第1章4~5を読み返し、各種の契約について復習する(2時間)				
	日常生活とアクシデント(1)				
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2章1~2を読み、不法行為について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第2章1~2を読み返し、不法行為について復習する(2時間)				
	日常生活とアクシデント(2)				
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2章3~4を読み、特殊の不法行為について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第2章3~4を読み返し、特殊の不法行為について復習する(2時間)				
	雇用社会のルール(1)				
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書第3章1~2を読み、雇用社会について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第3章1~2を読み返し、雇用社会について復習する(2時間)				
	雇用社会のルール(2)				
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書第3章3~4を読み、労働法について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第3章3~4を読み返し、労働法について復習する(2時間)				
	家族関係(1)				
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書第4章1~2を読み、家族法について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第4章1~2を読み返し、家族法について復習する(2時間)				

F						
	家族関係(2)					
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書第4章3~4を読み、相続法について考える(2時間)					
	事後学習 教科書第4章3~4を読み返し、相続法について復習する(2時間)					
	企業と法(1)					
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書第5章1~3を読み、会社法について考える(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 教科書第5章1~3を読み返し、会社法について復習する(2時間)					
	企業と法(2)					
第11回	事前学習 教科書第5章4~6を読み、コーポレート・ガバナンスについて考える(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 教科書第5章4~6を読み返し、コーポレート・ガバナンスについて復習する(2時間)					
	紛争の解決(1)					
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書第6章1を読み、紛争と法について考える(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 教科書第6章1を読み返し、紛争と法について復習する(2時間)					
	紛争の解決(2)					
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書第6章2~3を読み、訴訟手続きについて考える(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 教科書第6章2~3を読み返し、訴訟手続きについて復習する(2時間)					
	憲法(1)人権					
第14回	事前学習 (内容・時間) 教科書第7章1~7を読み、人権について考える(2時間)					
	事後学習 教科書第7章1~7を読み返し、人権について復習する(2時間)					
	憲法(2)統治					
第15回	事前学習 (内容・時間) 教科書第7章8~14を読み、統治について考える(2時間)					
	事後学習 教科書第7章8~14を読み返し、統治について復習する(2時間)					
第16回(定期試験)	定期試験					
<u> </u>						

ナンバリング(Numb	ering)						
1GGN-6240-12E	ĒΤ						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
日本国憲法 (教職関連科目 必 高等学校	交情報)	共通 1年生・後期		2単位	選択	吉野 正	
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequis		前期の法学を履修済みであることが望ましい。また、日本社会に関心をもっていること。					

めまぐるしく発展する現代社会の中で生じてきた憲法のさまざまな論点を理解することを通じて、憲法の基本的な知識としくみについて解説します。この講義では、特に日本国憲法において実際の社会で生じた具体的な事件に 焦点を当てながら皆さん自身の立場や価値観を見つめなおす機会にしてもらいたいと思います。 教職課程を目指す受講者には、教育者として学生のもつ人権に配慮することの意味と役割について理解すること

教職課程を目指す受講者には、教育者として学生のもつ人権に配慮することの意味と役割について理解することができるようになることを求めます。

実務経験をいかした教育内容

なおこの講義は、建学の精神・ディプロマポリシーに基づき、弁護士として実際に勤務している教員が担当します。

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

with Work Experience	Work Experience Content		Class Contents Utilizing Work Experien	Class Contents Utilizing Work Experience		
= 2,		実務50年の経験の中で多く なり扱ってきた。	の憲法 実際に憲法が適用される事例をあげて、憲法の を教示する。	考え方		
		授業を通して修得で	そる力 Competency Goals			
知識・理解の観	点	多文化・異文化に関する知	能の理解 Multiple Culture / Different Cult	ıre		
Knowledge and Unders	standing	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Natu	re O		
辺田的世紀の組占		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0		
		数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0		
		問題解決力	Problem Solving			
		建学の精神	University Founding Philosophy			
		自己管理力	Self-management			
能由 古向州の制	日上	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観 Personal Qualiti		リーダーシップ	Leadership			
		倫理観	Ethical Sense	0		
		市民としての社会的責任	Social Responsibility	0		
		生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的 Integrated Learning Experie		統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Ski		創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

以下の3点を授業の目標とします。

- ①日本国憲法の基礎知識・用語法を習得し、説明できること
- ②日本国憲法をめぐって生じた争いや具体的な事件の背後にある立場や考え方の違いを説明できること
- ③日本国憲法の学説や判例の立場の違いを理解したうえで自分自身の立場を明確にしながら説明できること

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回、講義においてかなりの文章量を小レポートとして書くように求めます。日本国憲法の裁判例では意見や立場の違いから争いがしばしば生じますが、受講生には自分としてはどちらが正しいのかを主張してもらい、その主張に対する理由づけをしてもらうつもりです。このことには受講生の能動的な参加が不可欠です。積極的に取り組んでください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

講義の開始前後を使って質問などは受け付けます。時間がない場合などはコメントカードを通じて質問の受付を 行う予定です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|講義は板書を用いて行いますので、初回からノートを必ず持参してください。 |また、初回のガイダンスにおいて教員作成の毎回の学習確認のチェックリストを配布します。そこに毎回の予習・ |復習の範囲を書いていますので、必ず初回のガイダンスには出席してください。

|ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
目で見る憲法 【第5版】	初宿正典ほか	有斐閣	978-4-641-22735-4		
	参考文献 Reference Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
資料を配布します					

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(授業内容15回分に関して到達目標①と②の観点から出題)…70%毎回の小レポート(到達目標③の観点から出題、1回2点×15回)…30%

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	憲法と法律のちがい				
第1回	事前学習 憲法と法律のちがいを教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 講義ノートの復習(2時間)				
	日本国憲法の成立史				
第2回	事前学習 憲法の成立史を教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 講義ノートの復習(2時間)				
	日本国憲法の基本原理、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義				
第3回	事前学習 (内容・時間) 3原理を教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 講義ノートの復習(2時間)				
	国民主権と天皇制				
第4回	事前学習 天皇制を教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 講義ノートの復習(2時間)				
	平和主義				
第5回	事前学習 憲法前文を5回読んでおく(2時間)				
	事後学習 講義ノートの復習(2時間)				
	基本的人権 幸福追求権				
第6回	事前学習 憲法11条から13条まで考えておく(2時間)				
	事後学習 講義ノートの復習(2時間) 講義ノートの復習(2時間)				
	基本的人権 法の下の平等				
第7回	事前学習 平等と自由の違いを教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 講義ノートの復習(2時間) 講義ノートの復習(2時間)				
	精神的自由権				
第8回	事前学習 表現の自由を教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートの復習(2時間)				

—									
	経済的自由権 								
第9回	事前学習 (内容・時間) 営業の自由を教科書で読んでおく(2時間)								
	事後学習 講義ノートの復習(2時間)								
	社会権(生存権と教育を受ける権利)								
第10回	事前学習 (内容・時間)								
	事後学習 講義ノートの復習(2時間)								
	参政権								
第11回	事前学習 (内容・時間) 一票の価値の不平等について教科書で読んでおく(2時間)								
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートの復習(2時間)								
	民主政治のしくみ 立法(国会)								
第12回	事前学習 (内容・時間) 何故二院があるのか教科書で読んでおく(2時間)								
	事後学習 講義ノートの復習(2時間)								
	行政(内閣)								
第13回	事前学習 内閣総理大臣の選任手続きについて教科書で読んでおく(2時間)								
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートの復習(2時間)								
	司法(裁判所)								
第14回	事前学習 _(内容・時間) 違憲審査権について教科書で読んでおく(2時間)								
	事後学習 講義ノートの復習(2時間)								
	地方自治								
第15回	事前学習 (内容・時間)								
	事後学習 講義ノートの復習(2時間)								
第16回	定期試験など								

	ナンバリング(Numb	pering)						
	1GGN-5650-12	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor	
	社会学		219~	1年生・後期		2単位	選択	平田 毅
	オンライン授業 Online Class	なし		スルームの利用 logle Classroom	あり			
	履修の前提条f Course Prerequis			.をとりまく他者(=ネ らっていること。	士会)に	こついて、自ら	っ洞察し	「考えよう!」とする姿勢

この授業では、現代社会の諸事象について社会学的に考察していきます。その際、最も大切なことは、自らの生活感覚(リアル)と重ね合わせて理解し検証することです。つまり自ら論理的に「考える」ことです。 そこでこの授業では、現代社会について、都市化、消費文化、情報化の3つの領域をとりあげ、それぞれの観点を通して現代社会のあり方を考察していきます。

なお,本授業はディプロマポリシーのVに基づき、「社会の様々な事象について、複眼的な知識・理解や汎用的技能を獲得し、それらを総合的に活用して、自らが立てた新たな課題に適用させることにより、その課題を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得」するための一助として位置づけられています。

宝路経験をいかした教育内突

宝怒経睑内突

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	关伤在缺内谷 Work Experience Content	美術経験をいかした教育内谷 Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Understandi	^{ng} 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0		
辺田的社会の知ら	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0		
Gonorio Giuno	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0		
	問題解決力	Problem Solving	0		
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management	0		
 態度・志向性の観点	チームワーク	Teamwork	0		
態度 ® 応回性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
Toronar dominios	倫理観	Ethical Sense	0		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0		
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思考だ Integrated Learning Experience an		Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

・現代社会に生起する諸事象の文化的特質と構造を理解し、それを自らのリアリティと重ねて検証することができる。

・レポート作成や定期試験、授業での討議活動などを通して、自らの「考え」を社会学的に根拠づけて論理的に展開できる力を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的には対話型の授業スタイルで学習を進めていきます。授業時間中の私の問いかけには主体的に応えてください。みなさんから質問や疑問点がある場合も適宜発話してください。相互のコミュニケーションを通して学習を 深められることを期待しています。

必要に応じて、全体もしくはグループでの討論・討議を通した授業も実施します。自ら考え、積極的に発言することで、みんなで学ぶ場を豊かにしていってください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業終了後に私に声を掛けるか、もしくは研究室を訪ねてください。

オフィスアワーの時間は、掲示案内を参照してください。

メールアドレス: t-hirata@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,

ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

GoogleClassroomを活用して「学び」の構築を図ります。

毎授業時間に「社会学『学び』のまとめシート」を記入し、今日の学びを振り返ってもらいます。しっかり、文章で記入するようにしてください。

また、この授業では、学びの足跡を定着させるために、各自で「ノート」の作成することを重視しています。それぞれが自分の「社会学のノートをつくる」ことを念頭に置いて取り組んでください。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出してくださ

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
資料等を配布します									
	参考文献 Reference Books								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
放課後の社会学	大多和直樹	北樹出版	978-4-7793-0427						

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

論述式の期末試験の成績(80%)をベースに、

プレレポート(10%)・「学び」の記録&振り返りシート(10%)などを加味し、

総合的に評価します。

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	社会学概論(1) 社会学一歩前(授業ガイダンス、「社会学」とはどんな学問だろう? 社会学で学ぶこと)					
第1回	事前学習 (内容・時間) シラバスを読む。「社会学」という学問領域についてネット等で下調べをしておく。[2h]					
	事後学習 「振り返りシート」の記入。プレレポートのテーマに即して作成の構想を練る。[2h]					
	社会学概論(2) 社会学 はじめの一歩(「社会」とは何か?「社会」研究・2つのアプローチ、社会学の方法論)					
第2回	事前学習 _(内容・時間) プレレポートを作成する。[2h]					
	事後学習 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]					
	マックス・ウェーバーの社会学(方法論的個人主義、社会的行為と行為連関)					
第3回	事前学習 提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]					
	事後学習 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]					
	現代社会を読み解く(1) 都市社会としての現代社会① 都市とは何か、「都市」の社会学的定義					
第4回	事前学習 提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]					
	事後学習 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]					
	現代社会を読み解く(2) 都市社会としての現代社会② 都市と村落の比較、都市/村落二分法					
第5回	事前学習 提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]					
	事後学習 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]					
	現代社会を読み解く(3) 都市社会としての現代社会③ ゲマインシャフトからゲゼルシャフト 近代的価値原理としての都市文化					
第6回	事前学習 提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]					
	事後学習 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]					
	現代社会を読み解く(4) 都市社会としての現代社会④ 都市化とアーバニズム 都市文化の特徴					
第7回	事前学習 提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]					
	事後学習 (内容・時間) 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]					
	現代社会を読み解く(5) 都市文化の浸透と消費文化の興隆① 都市文化のスペクタクル 祝祭空間としての都市					
第8回	事前学習 提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]					
	事後学習 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]					

	現代社会を読み解く(6) 都市文化の浸透と消費文化の興隆② 百貨店と都市·消費文化の形成
第9回	事前学習 _(内容・時間) 提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
	現代社会を読み解く(7) 記号的消費と消費社会① 消費社会とは何か 記号消費の時代
第10回	事前学習 提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
	現代社会を読み解く(8) 記号的消費と消費社会② ボードリヤールの消費社会論 記号化する社会・情報化する社会
第11回	事前学習 _(内容・時間) 提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
	現代社会を読み解く(9) 情報社会としての現代社会① 情報化と情報社会(IT化の進展と情報文化)
第12回	事前学習 提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
	現代社会を読み解く(10) 情報社会としての現代社会② ICT化の進展とコミュニケーションの変容
第13回	事前学習 _(内容・時間) 提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
	現代社会を読み解く(11) グルーバル化する現代社会 グローバル化する社会、ローカル化する社会、地球規模化のなか社会と文化の行方
第14回	事前学習 _(内容・時間) 提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
	まとめ 現代の社会を生きるために、「社会学する」ということ
第15回	事前学習 (内容・時間) これまでの授業のキーワードを復習し、授業全体を振り返っておく。(予習)[2h]
	事後学習 cれまでの配付資料とノートを見直し・整理し総復習をする。[2h]
第16回(定期試験)	論述問題にて出題します。

ナンバリング (Numberin)						
1GGN-5890-12E							
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor	
政治学	223~	1年生・後期		2単位	選択	坂上 宏	
以几于	219~	1年生•前期		2年位 送扒		狄⊥ ⅓	
オンライン授業 Online Class な	1/11 1						
履修の前提条件 Course Prerequisites	政治思想について関心 考書のうちでいずれか 不必要な私語。正当な 指定する事項。	に目をi	通しておくこと		い。 「のない入退室。携帯電話の		

近代西欧において、個人の諸権利の擁護を目的とした民主主義思想が生まれ、さらに自律的な人格を目指す近代的自我の思想が確立しました。本講義では主としてホッブズ、ロック、ルソーの思想をとりあげて、このような近代民主主義思想の主軸をなす社会契約論と「独立した個人」のあり方について講義します。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「I 建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「皿 社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience		実務経験内容 Work Experience Content		実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience				
該当しない								
		授業を通して修得でき	きる力 Cor	npetency	√ Goals			
知識・理解の観点	点	多文化・異文化に関する知	識の理解		Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Underst	tanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の	の理解	Human Culture / Society / Nature	0		
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening					
辺田仏社社の知	上	数量的スキル	Mathematics					
汎用的技能の観』 Generic Skills	尽	情報リテラシー	テラシー Information Literacy					
		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking					
		問題解決力	Problem S	olem Solving				
		建学の精神	University Founding Philosophy		Philosophy	0		
		自己管理力	Self-management					
 態度・志向性の観	ı 上	チームワーク	Teamwork					
思及・芯門性の観 Personal Qualitie		リーダーシップ	Leadership	1				
		倫理観	Ethical Ser	nse		0		
		市民としての社会的責任	Social Res	ponsibility	,	0		
		生涯学習力	Lifelong Learning					
統合的な学習経験と創造的 Integrated Learning Experier		統合的な学習経験	Integrated	Learning	Experience			
Creative Thinking Skill		創造的思考力	Creative T	hinking Sk	kills			

到達目標 Objectives

近代西欧思想の歴史に燦然とそびえ立つホッブズ、ロック、ルソーの思想の学習を通して、受講者が近代民主主義思想の特質とその歴史的背景、および個人の主体性と道徳的自由の意味について理解できるようになることを目指しています。そして受講者自身が、国家(社会)と人間のあるべき姿について深く考え、真の自由(人間らしい自由)を実践しようとする資質を養うことがさらなる目標です。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。

毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(363)およびGoogleクラスルーム・メール(sakagami@g.kiis.ac.jp)にて随時受け付けます。

提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,

ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

学習の確認:ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks									
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
プリントを配布する。									
参考文献 Reference Books									
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
『リヴァイアサン1-4』 『完訳 統治ニ論』『人間知性論1-4』 『社会契約論』 『人間不平等起原論』 『エミール上中下』	ホッブズ ロック ルソー ルソー ルソー	岩波文庫	4003362330,4003300000 4003362217,2225,2233 4003362330 4003300000 4003362217,2225,2233						

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ(事前学習と事後学習)の提出、ルーブリックの提出)。

成績評価の基準:

- ①近代民主主義思想の誕生の歴史的背景およびデカルトの合理論、ベーコンの経験論の要点を説明できるか。
- ②ホッブズの社会契約説について、自然権(自己保存を追求する自由)、「各人の各人に対する戦い」という言葉を使って説明できるか。
- ③ロックの社会契約説について、固有権、信託、抵抗権という言葉を使って説明できるか。
- ④ルソーの社会契約説について、「人間はいたるところで鎖につながれている」、憐みの情、一般意志という言葉を使って説明できるか。

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	授業の方針など、国家における個人の権利と義務、ホッブズの思想ーその生涯と清教徒革命 :プリント1					
第1回	事前学習 (内容・時間) 社会契約説とは何ですか。第1回授業プリントを読んで説明してください。(2時間)					
	事後学習 ホッブズの著書『リヴァイアサン』の出版の目的について、授業ではどのように述べられてい (内容・時間) ましたか。(2時間)					
	ホッブズの思想ーその生涯と清教徒革命(続き)、認識論 :プリント2					
第2回	事前学習 ホッブズの機械論的自然観と社会観について、第2回授業プリントを読んで説明してくださ (内容・時間) い。(2時間)					
	事後学習 ホッブズは、人間の認識がどのようにして生まれると考えていましたか。授業の内容を説明 (内容・時間) してください。(2時間)					
	ホッブズの思想一人間性について、自己保存と戦争、自然権と自然状態 :プリント3					
第3回	事前学習 ホッブズの考える人間性の本質について、第3回授業プリントを読んで説明してください。(2時間)					
	事後学習 ホッブズの言葉「各人の各人に対する戦争」について、自然権と自然状態という言葉を使っ (内容・時間) て説明してください。(2時間)					
	ホッブズの思想一自然法、社会契約 : プリント4					
第4回	事前学習 ホッブズが述べている第一の自然法、第二の自然法、第三の自然法について、第4回授業 (内容・時間) プリントを読んでその内容を説明してください。(2時間)					
	事後学習 ホッブズの社会契約説について、授業ではどのように述べられていましたか。					
	ホッブズの思想一社会契約(続き) :プリント5					
第5回	事前学習 ホッブズが述べている統治者(主権者)の主権のあり方について、第5回授業プリントを読ん (内容・時間) で説明してください。(2時間)					
	事後学習 ホッブズの政治思想に対する批判と意義について、授業ではどのように述べられていました (内容・時間) か。(2時間)					
	ロックの思想ージョン・ロックの生涯と名誉革命 : プリント6					
第6回	事前学習 ロックの政治思想の意義について、第6回授業プリントを読んで説明してください。(2時間)					
	事後学習 ロックの著書『統治二論』の主な内容について説明してください。(2時間)					
	ロックの思想—ロックの認識論 : プリント7					
第7回	事前学習 ロックは生得観念についてどのように考えていましたか。第7回授業プリントを読んで説明し (内容・時間) てください。(2時間)					
	事後学習 経験の種類としての「感覚」と「内省」について、ロックの考えを説明してください。(2時間)					
	ロックの思想一絶対王政批判(父権論批判)、自然状態、自然権、自然法 :プリント8					
第8回	事前学習 『統治二論』の主な内容と出版の社会的・政治的背景について、第8回授業プリントを読ん (内容・時間) で説明してください。(2時間)					
	事後学習 ロックは自然状態における人間性についてどのように述べていますか。(2時間)					

	ロックの思想一自然状態、自然権、自然法(続き):固有権 :プリント9							
第9回	事前学習 ロックは、固有権についてどのように述べていますか。第9回の授業プリントを読んで説明し (内容・時間) てください。(2時間)							
	事後学習 ロックは、自然法についてどのように説明していますか。(2時間)							
	ロックの思想一社会契約説 :プリント10							
第10回	前学習 ロックの社会契約説について、第10回の授業プリントを読んで、「信託」という言葉を使って 幸・時間 説明してください。(2時間)							
	事後学習 ロックの社会契約説に関して、「抵抗権」とはどのような意味ですか。(2時間)							
	ルソーの思想ールソーの生涯と思想、自然状態における人間 :プリント11							
第11回	事前学習 ルソーの理想とする社会について、第11回授業プリントを読んで説明してください。(2時間)							
	事後学習 (内容・時間) ルソーは、人間の自然状態をどのように説明していますか。(2時間)							
	ルソーの思想一自然状態における人間(続き)~憐れみの情、自然状態、自然権、自然法、社会状態と 不平等 : プリント12							
第12回	事前学習 ルソーは、憐れみの情についてどのように述べていますか。第12回授業プリントを読んで説 (内容・時間) 明してください。(2時間)							
	事後学習 (内容・時間) ルソーは、社会状態と不平等についてどのように説明していますか。(2時間)							
	ルソーの思想一社会状態と不平等(続き)、社会契約説 :プリント13							
第13回	事前学習 ルソーの社会契約説の特徴A~Fについて、第13回授業プリントを読んで書いてください。(2 (内容・時間)							
	事後学習 ルソーの言葉「個人のすべての権利や身体を国家へ譲渡する」とはどういう意味ですか。そ (内容・時間) の目的は何ですか。(2時間)							
	ルソーの思想一社会契約説(続き)「一般意思」:プリント14							
第14回	事前学習 (内容・時間) ルソーの思想「一般意志」について、第14回授業プリントを読んで説明してください。(2時間)							
	事後学習 ルソーが主張する直接民主政について説明してください。(2時間) (内容・時間) 直接民主政について							
	ルソーの思想一社会契約説(続き)「政治と人間の改革」 : プリント15							
第15回	事前学習 ルソーの社会契約説の意義と目的として、「政治と人間の改革」とはどのような意味ですか。 (内容・時間) 第15回授業プリントといままでの授業の内容を踏まえて説明してください。(2時間)							
	事後学習 ルソーの思想がその後の世界に与えた影響について説明してください。(2時間)							
第16回	定期試験、ポートフォリオ&ルーブリック作成等							

ナンバリング(Num	bering)]					
1GGN-5420-1	1GGN-5420-12E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
経済学		219~	 1年生・前期 	1年生・前期 2単		選択	中原康征
オンライン授業 Online Class	なし	_	ラスルームの利用 pogle Classroom	あり			
履修の前提条 Course Prerequ		図書館やイン	ターネットでどのような	経済学	この本があるの	かを調	べる。

この授業は、ディプロマポリシーに基づき、基礎的な経済学の考え方を学修します。

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

経済学は消費者や生産者がそれぞれが自分の幸せや自分にとって最適なものは何かということをもって行動することの結果としてすべての人々がハッピーになれるような枠組みを考えることを目的としています。

この講義は、はじめて経済学を学ぶ学生が経済学に親しみ、基礎的な内容を理解できるようにすることを目標にします。経済活動は私たち自身が毎日、直接に関わっている活動ですが、それを理解するには、企業や金融機関、政府など私たちの家計以外の活動を知ること、また地域や日本全体、さらに世界各国との経済的なつながりを知ることが必要になります。講義では、需要や供給、物価や貨幣、市場や政府活動などの経済学の基本的な事柄を順に学んでいきます。

実務経験をいかした教育内容

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience			
	授業を通して修得で	きる力 Competenc	y Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識	識の理解	Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening		
辺田が世紀の知ら	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
G.G.N.G.N.G. G.N.M.G	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding	Philosophy		
	自己管理力	Self-management			
** またい おおおおお ままれる ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま まま	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 or cornar quantico	倫理観	Ethical Sense		0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	y	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

日々の新聞やテレビで接する経済ニュースをある程度理解し、より関心を持って読み、さらに経済問題について経済学的視点で自ら考えることができる力を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生からの積極的な発言を期待しています。毎回の授業の終わりに課題レポート作成・提出をお願いします。課題レポートの後半箇所に感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法はメールでお願いします。メール宛先およびオフィスアワーの曜日時限については第1回目の授業時にお知らせいたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

経済学検定などの外部試験を受験した者は成績評価の対象とします。 ポートフォリオ・ルーブリックの作成・提出をお願いします。

教科書 Textbooks 書名 Title 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 著者名 Author 1からの経済学 中谷武、中村保編著 碩学舎 978-4502680809 参考文献 Reference Books 書名 Title 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 著者名 Author 大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる 井堀利宏 978-4046040572 角川文庫 マンキュー入門経済学 N・グレゴリー・マンキュー 東洋経済新報社 978-4492315217

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

2/3以上の出席を前提として、課題レポート:60%、試験:40%の割合で成績を評価します。

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	経済学とわたしたち ①経済学とはどういう学問か②経済学をどう学ぶのか③経済学の基本的な考え方					
第1回	事前学習 (内容・時間) 経済学を学習する前に経済学とはどういうものなのかを考えてまとめる。(2時間)					
	事後学習 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
	分業の利益 ①分業の(経済学的な)意味②私的な分業と社会的分業③特化と交換からの利益④市場が必要な理由					
第2回	事前学習 _(内容・時間) 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
	事後学習 _{授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)}					
	需要と供給 ①買い手の需要を決める要因②需要曲線の描き方③売り手の供給を決める要因④供給曲線の描き方					
第3回	事前学習 _(内容・時間) 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
	価格メカニズム ①財の取引と市場②市場価格とは何か?③需要と供給がバランスする仕組み④市場価格が変化する要因					
第4回	事前学習 (内容・時間) 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
	市場の効率性 ①市場のはたらき②市場の望ましさ					
第5回	事前学習 _(内容・時間) 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
	市場の失敗 ①独占②外部効果③公共財④情報の非対称性⑤政府介入の根拠					
第6回	事前学習 _(内容・時間) 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
	事後学習 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
	市場の限界 ①資源の効率的配分②逆選択、モラルハザード③市場メカニズムと所得分配					
第7回	事前学習 _(内容・時間) 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
	事後学習 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
	労働市場 ①労働市場の役割②失業や様々な格差の発生③格差を解消するための政策					
第8回	事前学習 _(内容・時間) 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
	事後学習 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					

GDPとは何か ①GDPとはなにか②経済の循環					
事前学習 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
事後学習 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
何がGDPを決めるのか ①国民生活とGDPの関係②生産能力の大きさとGDPの関係③需要の大きさとGDPの関係④生産能力と需要の関係					
事前学習 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
事後学習 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
消費需要と投資需要 ①日本の消費と投資(データの概観)②消費需要(何が消費需要を決めるのか?)③投資需要(何が投資需要を決めるのか?)					
事前学習 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
事後学習 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
お金のはなし ①貨幣とはなにか②貨幣は誰が発行するのか③金融政策					
事前学習 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
事後学習 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
政府の役割 ①政府の役割とはなにか②政府の予算:歳入と歳出					
事前学習 _(内容・時間) 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
事後学習 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
外国貿易と為替レート ①日本の貿易の状況②貿易とマクロ経済の関係③為替レートの決定					
事前学習 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
事後学習 _(内容・時間) 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
経済成長と国民生活 ①経済成長率の表し方②経済成長の分析方法③制度と経済成長					
事前学習 授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する(2時間)					
事後学習 授業内容を復習し、課題レポートに取り組む(2時間)					
定期試験など					

ナンバリング(Numb	ering)						
1GGN-6250-12E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本事情		共通	1年生・前期		2単位	選択	安部 正俊
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条f Course Prerequis	-	履修規定第5条3項に基づいて、原則と			して1年生留学	生は全	:員履修すること。

この授業では、留学生が日本の文化や社会のしくみを理解するために行います。日本人の生活上のならわしや年中行事、歴史、伝統文化、地理、教育など様々な視点から日本について理解を深め、これらを母国の歴史・文化と比較しながら日本事情を学んでいきます。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」、カリキュラムポリシー「I 建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」、「皿 社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行なわれるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない					
授業を済して依得できるも、Commodern Conde					

授業を通して修得できる力 Competency Goals							
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	、類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0				
カロの社会の知よ	数量的スキル	Mathematics					
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0				
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力	Problem Solving	0				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0				
	自己管理力	Self-management					
** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	チームワーク	Teamwork					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership					
1 oroonar quantito	倫理観	Ethical Sense	0				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility					
	生涯学習力	Lifelong Learning	0				
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience					
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills					

到達目標 Objectives

- ① 日本人の生活上のならわしや文化について理解を深め、日本での生活に溶け込もうとすることができる。
- ② 多様な人と交流できるようになり、日本での留学生活を楽しく有意義なものにすることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、対話型の授業を心がけます。また特定のテーマについて、グループでディスカッションし発表することがあります。積極的な発言を期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員にメールをするか、授業終了後に声をかけてください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

Googlee Classroomを活用します。授業では、ポートフォリオ&ルーブリックに必要事項を記入し、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks							
書名 Title	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
プリントを配布する。							
	参考文献 Reference Books						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
「日本人のしきたり」 「日本人の一年と一生」 「日本総論 I 」	飯倉晴武 石井研士 阿南良恵·太田由紀子·工 藤美佳	株式会社青春出版社 株式会社春秋社 株式会社クリエイツ					
成績訓	成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation						

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:

試験80%、平常点20%(出席状況、発言等の授業での活動状況、ポートフォリオ&リーブリックの提出)

成績評価の基準:

①日本の社会と文化の概要について理解しているか。②身近な日本文化や習慣を理解し、積極的に日本の生活に溶け込もうとしているか。③自ら主体的に調べ、集団では他者と協力・協調ができているか。

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	オリエンテーション・授業の方針、概要悦明 学習プリント1					
第1回	事前学習 事前アンケート(自己紹介シート)を記入し提出する。(2時間)					
	事後学習 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深めておく。(2時間)					
	日本のくらし①(日本人の日常生活) 学習プリント2					
第2回	事前学習 (内容・時間) 学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深めておく。(2時間)					
	日本のくらし②(日本人の衣食住) 学習プリント3					
第3回	事前学習 (内容・時間) 学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)					
	事後学習 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深めておく。(2時間)					
	日本のくらし③(日本の年中行事) 学習プリント4					
第4回	事前学習 配布プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 配布プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。(2時間)					
	日本のくらし④(日本人の一生) 学習プリント4					
第5回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 配布プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。(2時間)					
	日本のくらし⑤(日本の伝統文化と〇〇道) 学習プリント6					
第6回	事前学習 (内容・時間) 学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)					
	事後学習 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。(2時間)					
	日本の国土①(地理的特徴) 学習プリント7					
第7回	事前学習 (内容・時間) 学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。(2時間)					
	日本の国土②(人口問題) 学習プリント8					
第8回	事前学習 (内容・時間) 学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)					
	事後学習 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。(2時間)					

	
	日本の歴史①(国の成り立ちから武士の世の中) 学習プリント9
第9回	事前学習 (内容・時間) 学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。(2時間)
	日本の歴史②(明治から戦後の新しい日本) 学習プリント10
第10回	事前学習 (内容・時間) 学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)
	事後学習 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。(2時間)
	日本の制度と行政のしくみ 学習プリント11
第11回	事前学習 (内容・時間) 学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)
	事後学習 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。(2時間)
	日本の教育①(教育基本法と生涯学習社会の実現) 学習プリント12
第12回	事前学習 (内容・時間) 学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。(2時間)
	日本の教育②(義務教育の教育活動) 学習プリント13
第13回	事前学習 (内容・時間) 学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)
	事後学習 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。(2時間)
	日本の教育③(学校外の教育活動) 学習プリント14
第14回	事前学習 (内容・時間) 学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。(2時間)
	日本の社会課題 学習プリント15
第15回	事前学習 (内容・時間) 学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。(2時間)
第16回	学習プリントや資料を中心にテストを行う。ポートフォリオ&リーブリックの作成等。

ナンバリング (Numbe	ering)						
1GGB-5270-12E	E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎数学		共通	1年生•前期		2単位	選択	中島 直樹
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisi	-	高校までの数学を復習して講義に臨む)こと.			

情報、経済、経営などの分野では、現象のモデル化やシミュレーションによって現状把握や将来予測などが盛んに行われています。本講義では、ディプロマポリシーに基づき、モデル化の基礎となる数学を理解し、数学がどのように使われ、活用されているかを学びます。また、統計学に必要となってくる確率についても学習します。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

授業概要 Course Outline

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
77 円45++4kの知 b	数量的スキル	Mathematics	0	
Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management		
** またはいます。	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
r or oon ar quarteroo	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

【知識】

- ・定義・定理を説明できる。
- ・問題演習において、適切な定義・定理を選択できる。
- ・定義・定理を適切に使用できる。

【態度·習慣】

- 疑問点を尋ねることができる。
- 講義に参加できる。

【技能】

- ・例題を模倣し、演習問題を解くことができる。
- ・時間内で、与えられた問題を解くことができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義中に随時演習時間を設けるので,積極的に取り組むこと。 講義中に課題を指定するので、次回の講義までにノートに解いて提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

教員との連絡方法は、授業の終了後、あるいは研究室を訪ねること。 オフィスアワーの時間は、掲示を参照すること。

> その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

学習の確認:毎回指定した課題を解くこと。

教科書 Textbooks							
書名 Title	ISBN⊐ード ISBN Code						
基礎数学 式計算から微積の初歩まで	小澤善隆 編集 永井 敦 他	裳華房	978-4-7853-1556-6				
参考文献 Reference Books							
書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN							
大学基礎数学 キャンパス・ゼミ 改訂1 社会科学系学生のための基礎数 学	馬場敬之 塩出 省吾・上野 信行・ 柴田 淳子・中村 光宏 著	マセマ出版社 共立出版	978-4-86615-210-3 978-4-32011-133-2				
_± /±=							

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習課題(50%)、定期試験(50%)の総合評価とします。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	数の分類と文字式				
第1回	事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間) は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)				
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)				
	式の計算1 (展開と因数分解)				
第2回	事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間) は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)				
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)				
	式の計算2 (根号・累乗、方程式と不等式)				
第3回	事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間) は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)				
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)				
	式の計算3 (複素数と2次方程式)				
第4回	事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間) は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)				
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)				
	式の計算4 (整式の割り算と因数定理)				
第5回	事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間) は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)				
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)				
	関数1 (1次関数、2次関数)				
第6回	事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間) は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)				
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)				
	関数2 (分数関数、無理関数)				
第7回	事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間) は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)				
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)				
	関数3 (指数関数)				
第8回	事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間) は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)				
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)				

	関数4 (対数関数)					
第9回	事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間) は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)					
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)					
	関数5 (三角関数)					
第10回	 事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間 は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)					
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)					
	関数6 (関数の極限)					
第11回	事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間) は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)					
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)					
	関数7 (微分)					
第12回	事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間) は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)					
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)					
	関数8(積分)					
第13回	事前学習 次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところ (内容・時間) は、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)					
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)					
	確率1 (順列・組み合わせ)					
第14回	事前学習 次回の学習範囲について、スライド資料を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、 (内容・時間) インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)					
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)					
	確率2 (様々な確率)					
第15回	事前学習 次回の学習範囲について、スライド資料を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、 (内容・時間) インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)					
	事後学習 講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成 (内容・時間) させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)					
第16回(定期試験)	定期試験					

ナンバリング (Numbering) 1GGN-5870-11ET							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学類 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
ウェルネス (教職関連科目 必 高等学校 情報)		220~	1年生•前期		4 # /T	選択	# . * * ^
スポーツ実技 I (教職関連科目 必 高等学校 情報)		219	2年生•前期		1単位 	選択必修	竹石 洋介
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites		ること。授業を		のマナ・	ーを守ること(え		いては室内履きの着用をす 真む、飴やガムを食べなが

今日、生活習慣病やストレスによる精神的疾患が急増し、大学教育における健康・体力づくりの意義が強調されています。また、高齢化社会、余暇社会への移行などを背景に、生涯にわたって健康を維持し、生きがいある生活を実現するため運動の重要性が著しく高まりつつあります。授業は、建学の精神を踏まえ、形態・体力の測定を行い、次に運動の方法を学びながら学習目標に到達出来るようにする。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

授業概要 Course Outline

	'	5 .			
該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture 〇			
Knowledge and Understar	nding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
derione entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy O			
	自己管理力	Self-management O			
能由 古白州の知り	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities		Leadership			
	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning O			
統合的な学習経験と創造的思 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

- ① 健康・体力づくりの必要性と方法を理解し、客観的に自身の生活を見直すことのできる。
- ②基本的な運動を実践できる。
- ③運動を通じてマナーの修得や人間関係の改善と向上を図ることが出来る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|健康に関してのテーマに基づいてディスカッションを行います。積極的に参加することが望まれます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

|連絡、問い合わせ、相談等は研究室(502)にて随時受け付けます。yousuke@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|学習の確認:ポートフォリオシートに必要事項を記入して竹石までメールで提出してください。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	著者名 Author 出版社 Publisher			
実習ノート ソフトボール教室	吉村 正	大修館書店			
	参考文献 Referen	ce Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
The GOLFRULES 日本一わかりやすいゴルフの教科書	マイク青木 深見 悦司	日本ヴォーグ社 成美堂出版			
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

平常点(授業態度等)20%、試験80%を加味して総合的に評価します。本授業は実技授業のため、特に授業に取り組む姿勢を重視します。

※体育館の使用規則を守れない学生は評価しません。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	オリエンテーション(実習ノート作成・クラス分け・他)				
第1回	事前学習 シラバスの確認(30分)				
	事後学習 (内容・時間) 授業内容の復習(30分)				
	形態・脈拍数のチェック、肥満度・運動強度の設定(心拍数測定、BMI計算)				
第2回	事前学習 (内容・時間) 健康維持増進のために必要だと思うことを具体的にピックアップしておく(30分)				
	事後学習 日常の中でのウォーキング、ジョギングを、心拍数を計測して評価する(30分)				
	①体力測定(握力・上体起こし・長座体前屈)・バドミントン(基礎的技術習得)				
第3回	事前学習 ストレッチの種類・方法について調べる・バトミントンのルール確認(30分)				
	事後学習 (内容・時間) 実施したストレッチの目的と方法を確認し実践する・バトミントンの技術確認(30分)				
	②体力測定(立ち幅跳び・反復横跳び)・バドミントン(ルール説明と試合)				
第4回	事前学習 ストレッチの種類・方法について調べる・バトミントンのルール確認(30分)				
	事後学習 (内容・時間) 実施したストレッチの目的と方法を確認し、実践する・バトミントンの技術確認(30分)				
	ゴルフ・ソフトボール ※天候により変更有				
第5回	事前学習 ゴルフ・ソフトボールのルールの確認(30分)				
	事後学習 ストレッチ、ゴルフ・ソフトボールのルールの復習(30分)				
	ゴルフ・ソフトボール ※天候により変更有				
第6回	事前学習 ゴルフ・ソフトボールの技術の確認(30分)				
	事後学習 ストレッチ、ゴルフ・ソフトボールの技術の復習(30分)				
	ゴルフ・ソフトボール ※天候により変更有				
第7回	事前学習 ゴルフ・ソフトボールの技術の確認(30分)				
	事後学習 ストレッチ、ゴルフ・ソフトボールの技術の復習(30分)				
	③体力測定(50m走) · バドミントン(ルール説明と試合)				
第8回	事前学習 無酸素運動とは何か、またその効果を調べる・バトミントンのルールの確認(30分)				
	事後学習 各自の目的に応じた運動強度を把握する・バトミントンの技術の確認(30分)				

	④体力測定(ハンドボール投げ)・ 卓球(基礎的技術習得)					
第9回	事前学習 ストレッチの種類・方法について調べる・卓球のルールの確認(30分)					
	事後学習 (内容・時間) ストレッチ、卓球の技術の復習(30分)					
	⑤体力測定(シャトルラン)・ 卓球(ルール説明と試合)					
第10回	事前学習 (内容・時間) 有酸素運動とは何か、またその効果を調べる・卓球のルールの確認(30分)					
	事後学習 各自の目的に応じた運動強度を把握する・卓球の技術の復習(30分)					
	体力測定と自己評価 ・ 卓球(試合)					
第11回	事前学習 (内容・時間) 健康維持増進のために必要だと思うことを考える・卓球の技術の確認(30分)					
	事後学習 (内容・時間) 現在の生活の中でできる健康維持を考える・卓球の技術の復習(30分)					
	ウォーミングアップとストレッチ ・ フリースポーツ(バドミントン/卓球選択)					
第12回	事前学習 (内容・時間) ストレッチングの種類・方法について調べておく(30分)					
	事後学習 (内容・時間) 実施したストレッチングの目的と方法を確認し、実践する(30分)					
	目標心拍数を用いたウォーキング及びジョギング ・ フリースポーツ(バドミントン/卓球選択)					
第13回	事前学習 有酸素運動の効果を調べておく(30分)					
	事後学習 有酸素運動に応じた運動強度のエクササイズを実践してみる(30分)					
	SAQトレーニングとバランストレーニング					
第14回	事前学習 バランスボールの特徴と効果について調べる(30分)					
	事後学習 プリントのエクササイズのポイントを確認しておく(30分)					
	レポート発表と提出					
第15回	事前学習 (内容・時間) 健康や身体づくりのために必要なエクササイズを調べる(30分)					
	事後学習 習得した運動を生かして健康を考える(30分)					
第16回	テストをする					

ナンバリング (Numbering) 1GGN-5880-11ET								
	科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学類 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
	スポーツ (教職関連科目 必 高等学校 情報)		220~	1年生•後期		1単位	選択	 竹石 洋介
	スポーツ実技 II (教職関連科目 必 高等学校 情報)		219	2年生・後期		選択		114 并列
	オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
	履修の前提条件 Course Prerequisites		ること。授業を		のマナ	一を守ること(Sいては室内履きの着用をす 認めない、飴やガムを食べな

スポーツには、「するスポーツ」・「見るスポーツ」・「ささえるスポーツ」・「きわめるスポーツ」と様々な性質を持っており、私達 の身近な生活に存在しています。特に、現代は高齢化社会、余暇社会への移行などを背景に健康・体力づくりの意識が高ま りつつある中、スポーツは運動の一つとして捉えられ、より健康で充実した生活を送るための方法として役割を担うように なってきました。

授業では、建学の精神を踏まえて、指定されているスポーツを実践していく中で、ルールを理解し、基本的な技術を学び学 習目標に到達出来るようにする。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty	実務経験内容 Work Experience Content			実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience		
with Work Experience		Work Experience Content		Class	Contents Utilizing Work Experience	
該当しない						
		授業を通して修得でき	きる力	Competency	y Goals	
知識・理解の観り	点	多文化・異文化に関する知	識の理解	解	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Unders	tanding	人類の文化・社会と自然に	関するタ	口識の理解	Human Culture / Society / Nature	
		コミュニケーション・スキル	Readin	g / Writing /	Speaking / Listening	0
	-	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観 Generic Skills	点	情報リテラシー	Information Literacy			
denone orang		論理的思考力	Logica	Thinking / C	reative Thinking	
		問題解決力	Problem Solving			
		建学の精神	Univer	sity Founding	Philosophy	0
		自己管理力	Self-m	anagement		0
	- ⊢	チームワーク	Teamw	ork		0
態度・志向性の観 Personal Qualitie		リーダーシップ	Leader	ship		0
1 or sorial Qualities	00	倫理観	Ethical	Sense		
		市民としての社会的責任	Social	Responsibility	,	
		生涯学習力	Lifelon	g Learning		0
統合的な学習経験と創造的		統合的な学習経験	Integra	ted Learning	Experience	
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills		創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

- ①各スポーツを通じて健康・体力づくりの必要性を理解できる。
- ②各スポーツの基本的なルールや技術を養い、ゲーム(試合)ができる。
- ③各スポーツのルールからマナーを養い、より良い人間関係を構築できる。
- これらの実践を通じてスポーツの心地よさを体感し、生涯にわたってスポーツを実践していくための基礎的能力と態度を身に つける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|スポーツに関してのテーマに基づいてディスカッションを行います。積極的に参加することを望みます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(502)にて随時受け付けます。yousuke@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|学習の確認:ポートフォリオシートに必要事項を記入して竹石までメールで提出してください。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
実習ノート ソフトボール教室	吉村 正	大修館書店				
	参考文献 Referen	ce Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
The GOLFRULES 日本一わかりやすいゴルフの教科 書	マイク青木 深見 悦司	日本ヴォーグ社 成美堂出版				
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation						

平常点20%、実技試験80%、平常点は、レポートの提出状況、授業の中で行うディスカッションの様子などで判断 する。

※体育館の使用規則を守れない学生は評価しません。

	授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme					
	オリエンテーション 実習ノート作成					
第1回	事前学習 シラバスの確認(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 授業内容の復習(2時間)					
	バドミントン(基礎的技術習得)					
第2回	事前学習 サーブ・ドライブについて調べる(30分)					
	事後学習 改善点をまとめる(30分)					
	バドミントン(ルール説明と試合)					
第3回	事前学習 スマッシュについて調べる(30分)					
	事後学習 (内容・時間) 改善点をまとめる(30分)					
	バドミントン(試合)					
第4回	事前学習 シングルスの目標を立てる(30分)					
	事後学習 試合結果を振り返り、まとめる(30分)					
	ゴルフ・ソフトボール ※天候により変更有 ゴルフに関する基礎知識(ルール・マナー)・ソフトボールの基礎					
第5回	事前学習 ゴルフのルール確認・ソフトボールの必要なルールを確認する(30分)					
	事後学習 (内容・時間) 次回への改善点をまとめる(30分)					
	ゴルフ・ソフトボール ※天候により変更有 スイングの基礎(グリップ、スイング)・(キャッチング、バッティング)					
第6回	事前学習 スイング技術を理解する・ソフトボールに必要な基本技術を確認する(30分)					
	事後学習 次回への改善点をまとめる(30分)					
	ゴルフ・ソフトボール ※天候により変更有 実践的なショット・ソフトボール(チーム練習・試合)					
第7回	事前学習 ゴルフの技術確認をしておくこと・ソフトボールの試合のルールを確認する(30分)					
	事後学習 次回への改善点をまとめる(30分)					
	卓球(基礎的技術習得)					
第8回	事前学習 (内容・時間) 卓球の技術確認(30分)					
	事後学習 (内容・時間) 卓球の技術の復習(30分)					

	卓球(ルール説明と試合)
第9回	事前学習 (内容・時間) 卓球のルール確認(30分)
	事後学習 卓球のルール、技術の復習(30分)
	卓球(試合)
第10回	事前学習 卓球のルール確認(30分)
	事後学習 (内容・時間) 試合の改善点をまとめる(30分)
	フリースポーツ(バドミントン/卓球選択)
第11回	事前学習 (内容・時間) 各種目のルール確認(30分)
	事後学習 (内容・時間) 次回への改善点をまとめる(30分)
	フリースポーツ(バドミントン/卓球選択)
第12回	事前学習 (内容・時間) 各種目のルール確認(30分)
	事後学習 (内容・時間) 次回への改善点をまとめる(30分)
	フリースポーツ(バドミントン/卓球選択)
第13回	事前学習 各種目のルール確認(30分)
	事後学習 (内容・時間) 次回への改善点をまとめる(30分)
	フリースポーツ(バドミントン/卓球選択)
第14回	事前学習 (内容・時間) 各種目のルール確認(30分)
	事後学習 (内容・時間) 次回への改善点をまとめる(30分)
	レポートの発表と提出
第15回	事前学習 (内容・時間) 習得した競技のまとめ(30分)
	事後学習 (内容・時間) 習得した競技を生かして健康を考える(30分)
第16回	テストを行う

ナンバリング(Numb	pering)						
1GGN-6700-22	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
スポーツ理論		220~	2年生•前期		2単位	選択	桑野裕文
オンライン授業 Online Class	なし	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites			見心があり、スポーツ	ツの実	銭を心掛けて	いる人	

建学の精神「至心」を進んで実践しようとする豊かな人間性を備えた人材を養成するために、授業内容は1.発育発達に応じた運動とスポーツの実践 2.各種トレーニング法 3.スポーツ文化 4.スポーツの歴史 とする。演習の時間(「2.各種トレーニング法」トレーニング機器を用いての測定)は、履修生が相互に関連しあいながら精神性(相手をおもいやる心)と行動性(相互に助け合う)を高めるための時間であり、建学の精神の「報恩感謝、慈悲変と奉仕」の具現化を目指している。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

該当しない							
		授業を通して修得でき	きる力 Competenc	y Goals			
知識・理解の観点	į	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Understa	anding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature			
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening				
7 THE SEE SEE	_	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	⊼	情報リテラシー Information Literacy					
denone entire		論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					
		問題解決力	Problem Solving				
		建学の精神	University Founding Philosophy				
		自己管理力	Self-management				
华克 十九州 《知	_	チームワーク	Teamwork		0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities		リーダーシップ	Leadership				
1 or sorial qualities	5	倫理観	Ethical Sense		0		
		市民としての社会的責任	Social Responsibility	у	0		
		生涯学習力	Lifelong Learning		0		
統合的な学習経験と創造的思		統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience			
Integrated Learning Experienc Creative Thinking Skills		創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

|豊かなスポーツライフを送るための基礎知識とスポーツ実践法への理解を深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①スポーツクラブでのトレーニング体験。②スポーツイベントへの参加及びボランティア活動

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究室(359研究室)、オフィスアワー時間内、部活動指導時間内に随時受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

スポーツ関連の講座参加者、シスポーツ関資格有資格者は成績評価の対象とする。ポートフォリオシートに必要事項記入し提出。

教科書 Textbooks									
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
教員作成資料配布。									
	参考文献 Referen	ce Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
教養としてのスポーツ科学	鈴木一行	大修館	4-469-26521-7						
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation									

|発表・レポート(20%)、小テスト・有資格者(20%)、定期試験(60%)

	授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme						
	1. スポーツ (1)スポーツと体育の違い(成り立ち)						
第1回	事前学習 「運動」・「体育」・「スポーツ」が°どのように使い分けられているか調べる。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 好きなスポーツの起源について調べる。(2時間)						
	(2)日本のスポーツ(歴史、競技スポーツ、ニュースポーツ)と世界のスポーツ						
第2回	事前学習 スポーツ人口の多いスポーツ種目を調べる。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 日本版スポーツ起源年表を作成する。(2時間)						
	(3)世界のスポーツ(歴史、組織)						
第3回	事前学習 世界のスポーツ起源年表を作成する。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 世界(日本を含む)スポーツ起源年表を完成させる。(2時間)						
	(4)オリンピック(歴史、商業オリンピック、オリンピックムーブメント)						
第4回	事前学習 1964年東京オリンピックと2020東京オリンピックの実施種目について調べる。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) オリンピックの将来像(2024パリオリンピック)を考える。(2時間)						
	2. トレーニング (1)トレーニングの原則、栄養・休養・運動						
第5回	事前学習 (内容・時間) 生活の様々な場面での心拍数(脈拍数)を計る。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 運動前と運動中と運動後の心拍数(脈拍数)を計る。(2時間)						
	(2)年齢別・種目別トレーニング						
第6回	事前学習 室内でできるトレーニングを作る。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 日常生活の中で実践可能なトレーニングを作る。(2時間)						
	(3)スポーツマッサージ、テーピング、準備運動とクールダウン						
第7回	事前学習 体の一部のスポーツマッサージを実践する。(2時間)						
	事後学習 回りの人(家族、友人、他)にスポーツマッサージを実践する。(2時間)						
	(4)ウェイトトレーニング(ベンチプレスの測定、ダンベルを使ってのトレーニング)						
第8回	事前学習 トレーニング機器に触れてみる。(2時間)						
	事後学習 トレーニング機器を使ってトレーニングを実践する。(2時間)						

	3. スポーツライフ (1)スポーツクラブ(企業スポーツクラブ、総合型スポーツクラブ、他)							
第9回	事前学習 スポーツの盛んな会社を調べる。(2時間)							
	事後学習 スポーツクラブ所有する会社のを種目別・業種別一覧を作成する。(2時間)							
	(2)スポーツイベント(参加型イベント、観るイベント、世界規模のスポーツイベント)							
第10回	事前学習 内容・時間)							
	事後学習 スポーツイベントの規模別の主催、主管、後援、協賛を調べる。(2時間)							
	(3)プロスポーツ(プロ野球、サッカー、相撲、他)							
第11回	事前学習 回り・身近なプロスポーツ選手の経歴について調べる。(2時間)							
	事後学習 回り・身近なプロスポーツ選手の引退後について調べる。(2時間)							
	(4)スポーツメディア							
第12回	事前学習 スポーツメディア一覧を作成する。(2時間)							
	事後学習 スポーツ番組とバラエティ番組の視聴率の比較を行いその要因について考える。(2時間)							
	(5)スポーツ傷害(傷害と障害、発育期の障害、種目別傷害)と予防							
第13回	事前学習 回りの人(家族、友人、他)のスポーツにおける怪我防止策について情報収集する。(2時間)							
	事後学習 回りの人(家族、友人、他)リハビリの方法・手段についてインタビューしまとめる。(2時間)							
	(6)スポーツとルール(ルールの機能と構造)							
第14回	事前学習 (内容・時間) 好きなスポーツのルールの変遷について調べる。(2時間)							
	事後学習 好きなスポーツのルール改正案提示する。(2時間)							
	(7)スポーツ行政とスポーツの将来像							
第15回	事前学習 スポーツ庁の設立について調べる。(2時間)							
	事後学習 オリンピックの将来像について考える。(2時間)							
第16回								
(定期試験)	定期試験							

ナンバリング (Numberi	ing)						
1GGN-5140-22E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
ウェルネス理論		220~	2年生・後期		2単位	選択	桑野裕文
ウエルネへ壁譜		219	2年生•前期		2年四	送扒	朱封竹又
オンライン授業 なし Googleクラスルームの利用 あり Using Google Classroom			あり				
履修の前提条件 Course Prerequisite	es	「スポーツ・仮	建康に関する意識調]査」及	び「食生活の	調査」	の提出者。

本学建学の精神の「至心」は誠実さで積極果敢に事に臨む精神的態度であり、「容(かたち)は心を呼び、心は容 を呼ぶ」は行動変容の基本原理である。

本講義では精神性と行動性を高める学問としての、

- 1. 健康維持増進
- 2. 運動・栄養・休養のバランスのとれた生活
- 3. 生活習慣病、疾病、感染症への理解とその予防法

を学習し、「優れた社会人たるにふさわしい豊かな人間性」と「優れた科学者たる豊かな人間性」を兼ね備えた人材養成を目指す。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得できる力 Competency Goals						
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0			
刀田的壮华の知上	数量的スキル	Mathematics					
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy					
GOTTOTTO OTTIMO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力	Problem Solving		0			
	建学の精神	University Founding Philosophy					
	自己管理力	Self-management					
************************************	チームワーク	Teamwork					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership					
i croonar quantico	倫理観	Ethical Sense					
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	у	0			
	生涯学習力	Lifelong Learning					
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	ative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

①食生活、②病気、予防・医療へ理解を深める ②健康診断の習慣化。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|定期的に体重と血圧の測定を行う。「熱中症対策」・「感染症対策」のポスター作成・掲示の広報活動。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究室(359研究室)、オフィスアワー時間内、部活動指導時間内に随時受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

医療機関を利用しての健康診断の受診を促す。献血の広報活動等への積極的な関与を促す。 ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks									
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
適宜プリントを配布します。									
	参考文献 Referen	ice Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
健康・運動・スポーツの科学	鈴木一行	大修館書店	978-4-469-26654-2						
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation									

|発表・レポート提出(20%)、小テスト(20%)、定期試験(60%)

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	1. ウェルネスとは (1)健康観の変遷とヒトの発育発達
第1回	事前学習 「感染症対策」のポスター作成。スポーツ・健康に関する意識調査」と「食生活調査」の確認。 (内容・時間) (2時間)
	事後学習 自分の生活スタイルを考え「健康〇〇」としてまとめる(書きだす)。第2回目に提出。(2時間)
	(2)健康寿命(平均寿命と健康寿命の違い、死因の推移、他)
第2回	事前学習 (内容・時間) 第1回目授業中に配布したプリントを読んで疑問点などをまとめる。(2時間)
	事後学習 次回の小テスト(第2回の振り返りテスト)勉強・復習。小テスト対策としての復習の習慣化は (内容・時間) かる。(2時間)
	2. 体の仕組みと疾病 (1)仕組み(脳・感覚器官、血液・血圧・循環器官、呼吸器官、消化器官)と 痛み
第3回	事前学習 自分自身のこれまでの病気歴をまとめる。及び「母子手帳」の確認。(2時間)
	事後学習 履修前提条件に提出した「スポーツ・健康にかんする意識調査」と疾病についてまとめる。(2 (内容・時間)
	(2)生活習慣病とメタボリックシンドローム
第4回	事前学習 自分の日常生活と周りの人々(家族や友人など)の生活習慣の違いについて調べておく。(2 (内容・時間) 時間)
	事後学習 インフルエンザなどの感染症の現状について調べている。(2時間)
	(3)感染症生活習慣病とメタボリックシンドローム
第5回	事前学習 食生活を記録する(第10回「ライフスタイル」の時間に発表する)。(2時間)
	事後学習 「感染症対策」のポスター作成(次回提出)。(2時間)
	(4)健康と生活環境(住居、気象)
第6回	事前学習 自分の住んでいる部屋の掃除及び家の周辺の安全確認(危険な場所の有無)。(2時間)
	事後学習 屋内(家の中、自分の部屋、他)でできる手軽な運動の実践。(2時間)
	3. 健康生活 (1)健康と運動(有酸素性運動、水中運動、ウォーキング)
第7回	事前学習 屋外でできる手軽な運動の実践。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 屋内外でできる手軽な運動を企画・立案し、実践する。(2時間)
	(2)癒し(睡眠、入浴、温泉、森林浴)
第8回	事前学習 国内の温泉地について調べる。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 近くの公園での散歩または軽登山の実践。(2時間)

	(3)薬(西洋薬・漢方薬、飲み方・保管方法)と医療行政(保険、介護)							
第9回	事前学習 (内容・時間) 自分の「お薬手帳」の確認。(2時間)							
	事後学習 (内容・時間) 常備薬の保存方法の確認及び見直し。(2時間)							
	4. ウェルネの危機 (1)ライフスタイル(栄養摂取と食習慣)							
第10回	事前学習 履修前提条件提出の「食生活調査」の調査内容について確認。(2時間)							
	事後学習 周りの人(家族、友人、他)のBMIを計算する。(2時間)							
	4. ウェルネの危機 (1)ライフスタイル(未病、健康診断、予防医療)							
第11回	事前学習 自分のこれまでの健康診断の確認。(健康診断表等記録があれは授業時に持参する)(2時 (内容・時間) 間)							
	事後学習 cれまでの予防接種について接種歴について確認する。(2時間)							
	5. 発表とディスカッション (1)学生個々の興味・関心の高いテーマについて発表(1テーマ10分)。							
第12回	事前学習 (内容・時間) 発表資料の作成。(2時間)							
	事後学習 (内容・時間) 発表内容に対する、意見・質問について調べる。(2時間)							
	(2)学生個々の興味・関心の高いテーマについて発表(1テーマ10分)。デス カッション(1テーマ5分)							
第13回	音習 第12回で発表した発表への意見・質問等について調べる。(2時間)							
	事後学習 _(内容・時間) 第13回での発表内容に対する、意見・質問について調べる。(2時間)							
	6測定結果の集計と分析(1)各自の摂取カロリーの集計と分析							
第14回	事前学習 (内容・時間) 1週間の自分の食事(摂取した食物)についてまとめる。(2時間)							
	事後学習 回りの人(家族、友人、他)の食事生活について調査する。(2時間)							
	(2)血圧測定の集計と分析							
第15回	事前学習 授業内(第2回から14回まで血圧測定実施)での血圧測定値を集計する。(2時間)							
	事後学習 (内容・時間) 第1回から15回までの内容について定期試験に備えて復習する。(2時間)							
第16回	定期試験							
、AC 777 04 河次)								
I								

ナンバリング (Numbe							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
総合英語 (教職関連科目 必 高等学校 情報)		共通	1年生・前期		2単位	必修	藤内 響子 内田 水生
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisit	事前学習をき	きちんと行うこと。熱	意を持	って授業に耳	なり組む	こと。	

世界語としての英語を駆使して、情報を入手したり、発信したりすることは、今後ますます不可欠なものとなっていくことが予想される。このような時代の流れに対応するためにも、教科書を通して文法や語法を確実に理解し、実践に役立つ英語力を身に着ける。なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われる。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない					
		授業を通して修得でき	きる力 Competenc	y Goals	
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding		多文化・異文化に関する知識の理解		Multiple Culture / Different Culture	0
		人類の文化・社会と自然に	こ関する知識の理解 Human Culture / Society / Na		0
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		0
77 F74444 6 77 F	⊢	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	.	情報リテラシー	Information Literacy		
denote oning		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
		問題解決力	Problem Solving		
		建学の精神	University Founding	Philosophy	
		自己管理力	Self-management		
総由 古白州の知	┶	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観り Personal Qualities		リーダーシップ	Leadership		
T of contain qualities		倫理観	Ethical Sense		
		市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力		Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思 Integrated Learning Experience		統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience	
Creative Thinking Skills		創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

文法や語法を復習しながら、より発展した文法概念にも触れることで、確実な理解を構築する。英語の習得に必要な4技能(Reading、Listening、Writing、Speaking)をバランスよく学び、英語力の土台を築き上げることを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生の積極的な参加を期待します。疑問に感じたことは必ず質問として用意し、他人の質問についても授業の中の議論に積極的に参加して常に考え続ける姿勢を持ってください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

随時研究室(272)にて受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験として英検やTOEICの受験を推奨します。受験者には成績評価時に加点します。 ポートフォリオシートは、Google Classroom を用いてやり取りを行います。必要事項を記入し最終講義時に提出し て下さい。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
English Primer	佐藤 哲三 愛甲 ゆかり	南雲堂	978-4-523-17717-3			
参考文献 Reference Books						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
総合英語 Evergreen	墺 タカユキ	いいずな書店	978-4-86460-721-6C7082			
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation						

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

授業計画 Course Schedule								
	テーマ Theme							
	Introduction							
第1回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit1be動詞 Unit2 一般動詞(現在)							
第2回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit3 一般動詞(過去)							
第3回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit4 進行形 Unit5 未来形							
第4回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit6 助動詞 Unit7 名詞·冠詞							
第5回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit8 代名詞 Unit9 前置詞							
第6回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit10 形容詞·副詞 Unit11 比較							
第7回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際 (内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit12 命令文·感嘆文 Unit13 接続詞(I)							
第8回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握(内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際 (内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							

	Unit14 不定詞(I)·動名詞(I) Unit15 受動態							
第9回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit16 完了形 Unit17 接続詞(II)							
第10回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit18 5つの基本文型 Unit19 各種疑問文							
第11回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握(内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit20 不定詞(II) Unit21 It の特別用法							
第12回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握(内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit22 分詞・動名詞(II)							
第13回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握(内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit23 関係代名詞							
第14回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握(内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
	Unit24 仮定法							
第15回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握(内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)							
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)							
第16回	定期試験等							
(定期試験)								

ナンバリング(Numb	ering)						
1GLN-0190-12E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
英検中級・TOEIC	基礎	221~ 1年生・後期			2単位	選択	藤内 響子
オンライン授業 Online Class	なし	_	スルームの利用 pogle Classroom	あり			
			ちんと行うこと。熱意な 語を受講していること			ぱこと。	

特にTOEICを受験する場合に必要な文法事項を厳選し、必要な項目を効率的に学習する。 学習者にとって必要不可欠なものを無駄なく学ぶ。なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない								
授業を通して修得できる力 Competency Goals								
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識の理解		Multiple Culture / Different Culture	0				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	Human Culture / Society / Nature	0					
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		0				
汎用的技能の観点 Generic Skills	数量的スキル	Mathematics						
	情報リテラシー	Information Literacy						
denone diame	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking						
	問題解決力	Problem Solving						
	建学の精神	University Founding Philosophy						
	自己管理力	Self-management						
お またはの知ら	チームワーク	Teamwork						
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership						
	倫理観	Ethical Sense						
	市民としての社会的責任	Social Responsibility						
	生涯学習力	Lifelong Learning						
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience					
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills						

到達目標 Objectives

英語の基本的な文法事項の再確認を効率的に行い、高校までに学んだ英語の力を活性化させる。英語のより高度な運用技能を養うための基礎力の確保および維持を目的とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生の積極的な参加を期待します。疑問に感じたことは必ず質問として用意し、他人の質問についても授業の中の議論に積極的に参加して常に考え続ける姿勢を持ってください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

随時研究室(272)にて受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

外部試験として英検やTOEICの受験を推奨します。受験者には成績評価時に加点します。 ポートフォリオシートは、Google Classroom を用いてやり取りを行います。必要事項を記入し最終講義時に提出し て下さい。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code Practical Grammar for the 古家 聡、櫻井千佳子、 南雲堂 978-4-523-17679-4 マーク・ショーラム TOEIC Test 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 墺 タカユキ いいずな書店 978-4-86460-721-6C7082 総合英語 Evergreen

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

	授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme						
	品詞の種類						
第1回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	動詞(1)						
第2回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	動詞(2)						
第3回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	助動詞						
第4回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	不定詞と動名詞						
第5回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際(内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	分詞						
第6回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際 (内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	形容詞と副詞						
第7回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際 (内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	前置詞						
第8回	事前学習 教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握 (内容・時間) と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際 (内容・時間) の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						

	接続詞							
第9回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 (内容·時間)	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	名詞							
第10回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 (内容·時間)	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	代名詞							
第11回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 (内容·時間)	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	比較							
第12回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 (内容·時間)	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	関係詞							
第13回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 (内容·時間)	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	仮定法							
第14回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 (内容·時間)	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
	Part6対策							
第15回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 (内容·時間)	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)						
第16回 (定期試験)	定期試験	等 						

ナン	ンバリング (Numb 1GLN-5170-12							
	科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学與 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
(教職	英会話Basic I (教職関連科目選高等学校情報)		共通	1年生•前期		2単位	選択	クリス フリン
_	ンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
(履修の前提条(Course Prerequis		①積極的に	=を出して授業に参	・加する	こと②資格記	式験を和	責極的にとること

テキストに沿って海外旅行で使う英会話をプレゼンテーションを交えながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ぶ。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫する。英検の2次試験の模擬試験も毎週練習する。建学の精神、3つのポリシー(CP, DP)、学習目標(学則1, 3条)に基づいています。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

bject Taught by The Faculty with Work Experience 授業概要 Course Outline

該当しない						
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0			
刀田仏社社の知り	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management				
华克 土 克州 0 铝 上	チームワーク	Teamwork	0			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
i craonar Quantica	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

21世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。 ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。 クラスの前に立って声を出して発言をします。

Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(362)にて随時受け付けます。 オフィスアワー: 火曜日2時限目と5時限目

flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:英検検定試2~3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。 試験日 6月、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、7月30日までに フリン までメールで提出してください。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code Passport 1 English for Angela Buckingham Oxford University Press 978-0194718165 **International Communication** Lewis Lansford 参考文献 Reference Books ISBNコード ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

|・成績評価の方法:定期試験30%、外部試験10%、平常点(レポート・提出物・スピーチ・面接など)60% |・成績評価の基準:①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験は学生自身が作成した英語の会話を発表③英 |検の面接試験の練習や成果は成績に反映する。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	Introduction to spoken English
第1回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Introducing yourself and your family
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 「内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Speaker controlling techniques
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Text Chapter 1 Ordering a meal on a plane
第4回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 「内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Text Chapter 2 Going through
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Text Chapter 3 Talking about your family
第6回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Text Chapter 4 Staying at a friend's house
第7回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Text Chapter 5 Ordering at a restaurant
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)

	Text Cha	pter 6 Asking directions					
第9回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)					
	事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)					
	Text Cha	pter 7 Going to a bank					
第10回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)					
	事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)					
	Text Cha	pter 8 Booking a hotel room					
第11回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)					
	事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)					
	Text Cha	pter 9 Buying medicine					
第12回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)					
	事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)					
	Eiken interview techniques L3, LP2, L2						
第13回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)					
	事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)					
	Text Cha	pter 10 Small talk with friends					
第14回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)					
	事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)					
	BUILD MY	TEST preparation					
第15回	事前学習 (内容·時間)	定期試験のための原稿をまとめる、講義中添削してもらう。(2hr)					
	事後学習 (内容·時間)	BUILD MY TEST 原稿をペアと一緒に練習する。(2hr)					
第16回	定期試験。	テストを参考にした原稿を(先生の前で)発表する。					

ナンバリング (Numb	ering)						
1GLN-5180-12E	ES						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
英会話Basic II (教職関連科目 選 高等学校		共通	1年生•後期		2単位	選択	クリス フリン
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		①積極的に	声を出して授業に参	加する	らこと②資格記	式験を和	責極的にとること

英会話Basic 1 に続いてテキストに沿って海外旅行で使う英会話をプレゼンテーションを交えながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ぶ。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫する。英検の2次試験の模擬試験も毎週練習する。建学の精神、3つのポリシー(CP, DP)、学習目標(学則1,3条)に基づいています。

実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

該当しない						
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0			
Knowledge and Understandin	g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0			
刀田的壮华の知上	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
GONONO ONINO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management				
総由 古白州の知上	チームワーク	Teamwork	0			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
r orconar quantito	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning				
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and		Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

21世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。 ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。 クラスの前に立って声を出して発言をします。 Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(362)にて随時受け付けます。 オフィスアワー: 火曜日2時限目と5時限目

flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|外部試験:英検検定試2~3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。 |試験日 1月 、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに フリン までメールで提出してください。

教科書 Textbooks 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title Passport 1 English for Angela Buckingham Oxford University Press 978-0194718165 **International Communication** Lewis Lansford 参考文献 Reference Books ISBNコード ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

|・成績評価の方法:定期試験30%、外部試験10%、平常点(レポート・提出物・スピーチ・面接など)60% |・成績評価の基準:①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験は学生自身が作成した英語の会話を発表③英 |検の面接試験の練習や成果は成績に反映する。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	Orientation
第1回	事前学習 (内容・時間) 教科書を事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Text Chapter 11 Visiting a Tourist Information Center
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Text Chapter 12 Talking about experiences
第3回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 (内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Text Chapter 13 Talking about sport
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Text Chapter 14 Organising meeting times
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Text Chapter 15 Shopping and bargaining
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Text Chapter 16 Sending mail and parcels
第7回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Text Chapter 17 Discussing things to do at tourist destinations
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)

Text Chapter 18 Dealing with lost property							
事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)						
事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)						
Text Cha	pter 19 Using public transportation						
事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)						
事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)						
Text Cha	pter 20 Looking back on a trip						
事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)						
事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)						
Eiken tes	t interview techniques LP2						
事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)						
事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)						
Eiken interview techniques L3, LP2, L2							
事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)						
事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)						
Speech p	resentation						
事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)						
事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)						
Review/S	peech						
事前学習 (内容·時間)	定期試験のための原稿をまとめる、講義中添削してもらう。(2hr)						
事後学習 (内容·時間)	BUILD MY TEST 原稿をペアと一緒に練習する。(2hr)						
定期試験。	テストを参考にした原稿を(先生の前で)発表する。						
	事(内事)(内事)(内事)(内事)(内事)(内事)(内事)(内事)(内事)(内事						

ナンバリング (Numb	ering)						
1GLN-5150-22E	1GLN-5150-22ES						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem	•	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
英会話Advanced I (教職関連科目選高等学校情報)		共通	2年生•前期		2単位	選択	クリス フリン
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom あり					
履修の前提条作 Course Prerequis		①積極的に	=を出して授業に参	・加する	らこと ②資格	お試験を	看極的に受験すること

テキストに沿って海外旅行で使うTOEIC問題を学びながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ばせる。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫したい。定期的にトピックについて賛成反対の主張を述べさせる。TOEICの学習としてテキストを宿題とし、講義で復習。建学の精神、3つのポリシー(CP, DP)、学習目標(学則1, 3条)に基づいています。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない						
	授業を通して修得で	きる力 Competend	y Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Understan	ding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0		
カロが井外の知よ	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
derionic ciune	論理的思考力	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding	g Philosophy	0		
	自己管理力	Self-management				
*************************************	チームワーク	Teamwork		0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
1 or oon ar addition	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning		0		
統合的な学習経験と創造的思想 Integrated Learning Experience		Integrated Learning	Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	skills			

到達目標 Objectives

21世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして英語を習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。そしてそのスキルを生かして、自分の意見や主張を議論(DEBATE)できるようになることとTOEIC 800, 英検の2・準1級の2次試験を合格できるレベルを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。 ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。 クラスの前に立って声を出して発言をします。

Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(362)にて随時受け付けます。 オフィスアワー:火曜日2時限目と5時限目

flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:英検検定試2~3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。試験日 1月、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。 TOEICは学外で受験。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに フリン までメール で提出してください。

	教科書 Textbooks						
	書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
	Challenge Book #4	Helene Uchida	Little America Press	978-4-947736-55-0			
		参考文献 Referen	参考文献 Reference Books				
	書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code			
	その他の教材や宿題はLANに掲載						
¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm							
	rt维韧带+++ 0						

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法:定期試験30%、外部試験10%、平常点(レポート・提出物など)60% ・成績評価の基準:①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験はTOEICの模擬試験となる

授業計画 Course Schedule								
	テーマ Theme							
	Introductions 自己紹介							
第1回	事前学習 教科書を事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							
	Introducing family and friends 家族の紹介							
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 「内容・時間」 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							
	English quiz and games 英語のクイズ大会							
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							
	English quiz and games 英語のクイズ大会							
第4回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							
	Presentation Test 発表テスト							
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							
	Study a movie scene 映画シーンのせりふを覚えよう							
第6回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							
	Restaurants 好きなレストランの紹介							
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							
	Studying the lyrics of a song 歌の歌詞を勉強しよう							
第8回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							

	My school days 懐かしい学校時代を思い出そう	
第9回	事前学習 内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。((2hr)
	事後学習 内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)	
	「alking about travel 思い出の旅行	
第10回	事前学習 内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。((2hr)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)	
	Presentation Test 発表テスト	
第11回	事前学習 内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。((2hr)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)	
	「alking about music 好きなアーティスト	
第12回	事前学習 内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。((2hr)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)	
	「alking about movies 好きな映画	
第13回	事前学習 内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。((2hr)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)	
	iken interview test techniques L2 英検2次試験演習 2級	
第14回	事前学習 内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。((2hr)
	事後学習 内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)	
	Presentation test practice 発表テスト練習	
第15回	事前学習 内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。((2hr)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)	
第16回(定期試験)	定期試験 学生が準備した会話を発表する。ペアでプリンどなしで会話を発表。	

ナンバリング(Num	bering)]					
1GLN-5160-22	ES.						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
英会話Advanced II (教職関連科目 選 高等学校 情報)		共通	2年生•後期		2単位	選択	クリス フリン
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites		①積極	的に声を出して授業	に参加	ロすること②〕	資格試.	験を積極的にとること

テキストに沿って英語の対話力を身に付ける。毎週のダイアログを復習して、教室で発表する。日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ぶ。また毎週スピーチや会話を発表する。テキストに加えて動画、ネットコンテンツ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるようにする。英検の準2級と2級の2次試験形式を毎週練習する。建学の精神、3つのポリシー(CP, DP)、学習目標(学則1, 3条)に基づいています。

実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

該当しない			
	授業を通して修得でき	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture C	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening C	
	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy C	
GOTIOTIO GIAIIO	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving	
	建学の精神	University Founding Philosophy C	
	自己管理力	Self-management	
約束 ナウ州の知上	チームワーク	Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
r orderial Gaancies	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning C	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

21世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。 ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。 |クラスの前に立って声を出して発言をします。英検のLISTENING問題も定期的にします。 |Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(362)にて随時受け付けます。 オフィスアワー:火曜日2時限目と5時限目

flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:英検検定試2~3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。

試験日 6月 、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、7月30日までに フリン までメールで提出してください。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code Challenge Book #4 Helene Uchida Little America Press 978-4-947736-55-0 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

|・成績評価の方法:定期試験30%、外部試験10%、平常点(レポート・提出物・スピーチ・面接など)60% |・成績評価の基準:①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験は学生自身が作成した英語の会話を発表③英 |検の面接試験の練習や成果は成績に反映する。

授業計画 Course Schedule								
	テーマ Theme							
	Introductions 自己紹介							
第1回	事前学習 (内容・時間) 教科書を事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							
	Introducing family and friends 家族の紹介							
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							
	English quiz and games 英語のクイズ大会							
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							
	English quiz and games 英語のクイズ大会							
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 _{授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)}							
	Presentation Test 発表テスト							
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							
	Study a movie scene 映画シーンのせりふを覚えよう							
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							
	Restaurants 好きなレストランの紹介							
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 _{授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)}							
	Studying the lyrics of a song 歌の歌詞を勉強しよう							
第8回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)							
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)							

	My school	days 懐かしい学校時代を思い出そう
第9回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Talking ab	out travel 思い出の旅行
第10回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Presentati	ion Test 発表テスト
第11回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Talking ab	out music 好きなアーティスト
第12回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Talking ab	out movies 好きな映画
第13回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Eiken inte	rview test techniques L2 英検2次試験演習 2級
第14回	事前学習 (内容·時間)	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 (内容·時間)	テストで使う会話原稿を準備して、提出。(2hr)
	Presentati	ion test practice 発表テスト練習
第15回	事前学習 (内容·時間)	添削されたテストで使う会話原稿を練習。(2hr)
	事後学習 (内容·時間)	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第16回(定期試験)	定期試験 学生が準(備した会話を発表する。ペアでプリンどなしで会話を発表。
	1	

ナンバリング(Numl	pering)]					
1GLN-5810-22	ES						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学邦 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
初級中国語(教職関連科目選高等学	校 情報)	219~ 2年生・前期			2単位	選択	喬 秦寧
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites		①中国文化	・中国語に興味があ	ること	②授業に積	極的に	三参加すること。

この授業は建学の精神『至心』に基づいて、初めて中国語を学習する人を対象とする講義を行う。本講義履修 を通じて、中国文化への理解、社会的スキルとしてのコミュニケーション能力と協同力の向上を目指している。

発音編では、声調、母音、子音などを学ぶ。発音練習を繰り返し行うことにより、発音の基礎を身に着ける。本 篇では、日常会話と講読を中心に、基本的な文法項目、語彙などを学ぶ。対話練習と翻訳練習を通して学習事 項の定着を図ると同時に「コミュニケーション能力」と「他者と協同する能力」を高める。さらに、視聴覚資料を使っ て、中国や中国文化に関する理解を深める。

> 実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Exper

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

with Work Experience	Work Experience Content	Glass Contents Utilizing Work Experience	
該当しない			
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understa	nding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0
	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	
derione civile	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	0
	建学の精神	University Founding Philosophy	0
	自己管理力	Self-management	0
炎声 ナウ州の知 り	チームワーク	Teamwork	0
態度・志向性の観点 Personal Qualities		Leadership	0
r orderial gaanties	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的思 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

- 1. 会話、文法ポイント、短文の学習と読解による発音・語彙・文法の理解に基づいて、中国語でコミュニケーショ ンするための「読み、書き、聴き、話す」基礎力を身に着けることを目標とする。
- 2. コミュニケーション能力と協同力が向上できる。 (中国語検定試験準4級程度)

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけると同時に、協同学習を促進し、グループ活動を重視する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワー:授業終了後(火曜日2限目~)

連絡方法:kyo@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

- ・学習の確認:ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」に必要事項を毎回授業後記入し、学期末に必ず提出 する。
- •外部試験:「中国語検定試験」の受験を勧める。試験日:3月、6月、11月の第4日曜日。詳細は後日連絡する。 http://www.chuken.gr.jp 受験料:3300円。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
「中国語への道」 ――近きより遠きへ―― 初級編	内田慶市、奥村佳代子、塩山正純ら	金星堂	978-4-7647-0723-8		
参考文献 Reference Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
「作文のルール」	相原茂 他	朝日出版社	978-4-255-45138-1		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

定期試験(50%)、宿題・練習問題の完成度・「科目別履修確認チェック表」(30%)、授業態度(20%)

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	1.ガイダンス、中国語とは 2.第1課 声調、単母音、複母音、子音①、軽声①				
第1回	事前学習 なぜ中国語を履修するのか、中国の何について興味があるのかを考えて、授業の時に発表する。(2時間)				
	事後学習 1. 繰り返しP12-14のCDを聴き、声調、単母音、複母音、子音①、軽声①を復習する。特に声調に慣れる。 (内容・時間) 2. 第一課の会話を日本語に訳す(2時間)				
	第2課 1、会話 2. 子音②、鼻母音、変調のパターン①				
第2回	事前学習 (内容・時間) CDを繰り返し聴き、特にそり舌音と鼻母音に慣れる。P15-16(2時間)				
	事後学習 1. CDを繰り返し聞き、特に有気音と無気音になれる。2. 会話を日本語に訳し、暗記できる P15-17(2時間)				
	第3課 数字、基本語彙リスト、よく使う量詞、軽声②、変調パターン①②				
第3回	事前学習 (内容・時間) CD1-25~1-31を繰り返し聞き、中国語のリズムに慣れる。P18-19(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 第3課の会話を日本語に訳し、暗記できる。数字の表現と値段の表現を身に着ける。 P18-19(2時間)				
	発音まとめ、自己紹介、小テスト				
第4回	事前学習 繰り返しCDを聴き、r化された言葉、声調の組み合わせの言葉の発音リズムをつかむ。P18-20(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 繰り返しCDを聴き、第3課の会話とP21の決まり文句の会話表現を暗記できるようになる。P18-21(2時間)				
	第4課一回目 トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明				
第5回	事前学習 (内容・時間) 単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P22(2時間)				
	事後学習 ①文法ポイントを理解し、日本語に翻訳する。②会話文を繰り返し聞き、暗記できるほど真似て音読する。このよ (内容・時間) うに中国語のリズム感を養う。P22-23(2時間)				
	第4課二回目 文法説明、閲読の読解・練習、練習問題の学習				
第6回	事前学習 語句②を単語帳に追加する。閲読のCDを繰り返し聞き、その独特なリズムになれる。P24(2時間)				
	事後学習 ①スマートフォンの録音機能を利用して、第4課の会話(P22)と閲読(P24)を録音して、音声メッセージとして提出 (内容・時間) する。②P81-82の小テストを90点以上取れるまで練習する。(2時間)				
_	第5課一回目 トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明				
第7回	事前学習 (内容・時間) 単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P 26(2時間)				
	事後学習 ①文法ポイントを理解し、日本語に翻訳する。②会話文を繰り返し聞き、暗記できるほど真似て音読する。このよ (内容・時間) うに中国語のリズム感を養う。P26-27(2時間)				
	第5課二回目 文法説明、閲読の読解・練習、練習問題の学習				
第8回	事前学習 (内容・時間) 語句②を単語帳に追加する。閲読のCDを繰り返し聞き、その独特なリズム感になれる。P28(2時間)				
	事後学習 ①スマートフォンの録音機能を利用して、第5課の会話(P26)と閲読(P28)を録音して、音声メッセージとして提出 (内容・時間) する。②P83-84の小テストを90点以上取れるまで練習する。(2時間)				

	第6課一回目 トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明
第9回	事前学習 (内容・時間) 単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P 30(2時間)
	事後学習 ①文法ポイントを理解し、日本語に翻訳する。②会話文を繰り返し聞き、暗記できるほど真似て音読する。このよ (内容・時間) うに中国語のリズム感を養う。P30-31(2時間)
	第6課二回目 文法説明、閲読の読解・練習、練習問題の学習
第10回	事前学習 (内容・時間) 語句②を単語帳に追加する。閲読のCDを繰り返し聞き、その独特なリズムになれる。P32(2時間)
	事後学習 ①スマートフォンの録音機能を利用して、第6課の会話(P30)と閲読(P32)を録音して、音声メッセージとして提出 する。②P85-86の小テストを90点以上取れるまで練習する。(2時間)
	第7課一回目 トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明
第11回	事前学習 (内容・時間) 単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P 34(2時間)
	事後学習 ①文法ポイントを理解し、日本語に翻訳する。②会話文を繰り返し聞き、暗記できるほど真似て音読する。このよ (内容・時間) うに中国語のリズム感を養う。P34-35(2時間)
	第7課二回目 文法説明、閲読の読解・練習、練習問題の学習
第12回	事前学習 (内容・時間) 語句②を単語帳に追加する。閲読のCDを繰り返し聞き、その独特なリズムになれる。P36(2時間)
	事後学習 ①スマートフォンの録音機能を利用して、第7課の会話(P34)と閲読(P36)を録音して、音声メッセージとして提出 (内容・時間) する。②P87-88の小テストを完成する。(2時間)
	第8課一回目 トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明
第13回	事前学習 (内容・時間) 単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P 30(2時間)
	事後学習 ①文法ポイントを理解し、日本語に翻訳する。②会話文を繰り返し聞き、暗記できるほど真似て音読する。このよ (内容・時間) うに中国語のリズム感を養う。P38-39(2時間)
	第8課二回目 文法説明、閲読の読解・練習、練習問題の学習
第14回	事前学習 (内容・時間) 語句②を単語帳に追加する。閲読のCDを繰り返し聞き、その独特なリズム感になれる。P40(2時間)
	事後学習 ①スマートフォンの録音機能を利用して、第8課の会話(P38)と閲読(P40)を録音して、音声メッセージとして提出 (内容・時間) する。②P89-90の小テストを完成する。(2時間)
	総合復習
第15回	事前学習 (内容・時間) 第4課~第8課の小テストをもう一回チャレンジする。(2時間)
	事後学習 総合復習(2時間) 総合復習(2時間)
第16回	定期試験

ナンバリング (Numberin 1GLN-6000-22ES	ıg)						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学掉 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
中級中国語 (教職関連科目選高等学校 情	報)	219~	2年生・後期		2単位	選択	喬 秦寧
			スルームの利用 pogle Classroom	なし			
履修の前提条件 Course Prerequisites		基本的に「	初級中国語」を履修	· 済み、	或いは同等	レベル	の持つ人を対象とする。

この授業は建学の精神『至心』に基づいて、「中級中国語」を学習する人を対象とする講義を行う。中国語でコミュニケーションするための「読み、書き、聴き、話す」基礎を学習する。協同学習を通して学習事項の定着を図る。テキストは「初級中国語」に引き続き、「中国語への道」を使用する。第9課から始める。

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competenc	y Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / N		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0
刀田仏社社の知上	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
denone diame	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		0
	自己管理力	Self-management		0
** ** * * * * * * * * * * * * * * * *	チームワーク	Teamwork		0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0
1 or oonar Quantito	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	У	
	生涯学習力	Lifelong Learning		0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

・「中級中国語」の講義は、正確な発音とより多くの語彙、文型、豊かな表現、中国語特有の「会話のコツ」を習得することに基づいて、中国語の「聴き・読み・書き・話す」の基礎能力を高めることを目標とする。 ・コミュニケーション能力と協同力が向上できる。 (中国語検定試験4級程度)

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけると同時に、協同学習を促進し、グループ活動を重視する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワー:授業終了後(火曜日2限)、連絡先:kyo@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し、学期末に提出する。 外部試験:「中国語検定試験4級」の受験を勧める。

試験日:3月、6月、11月の第4日曜日。詳細は後日連絡する。http://www.chuken.gr.jp 受験料:4800円

教科書 Textbooks								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
「中国語への道」	奥村佳代子、塩山正純など	KINSEIDO	978-4-7647-0723-8					
参考文献 Reference Books								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
「中国語辞書」	相原 茂 朝日出版社		4-255-00113-8					
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation								

定期試験(45%)、平常点(課題・練習問題・授業参加)(50%)、「科目別履修確認チェック表」5%により総合評価 する

課題の提出先:kyo@g.kiis.ac.jp

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	第9課一回目 トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明
第1回	事前学習 (内容・時間) 1. 「初級中国語」を復習する。P12-41 2. 単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P42(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す(P43) 2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する(P42)(2時間)
	第9課二回目 介詞、数量補語、過去の経験、方位詞などを説明し、閲読文の読解・練習
第2回	事前学習 語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P44 (2時間)
	事後学習 (1)P44の閲読文を録音し、提出する。②P91-92の発展練習問題を完成する。(2時間)
	第10課一回目 トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明
第3回	事前学習 (内容・時間) ①単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P46 (2時間)
	事後学習 (内容・時間) 1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す(P47) 2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する(P46)(2時間)
	第10課二回目 主述述語文、完了・変化の「了」、願望の表現などを学習する
第4回	事前学習 語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P48 (2時間)
	事後学習 (内容・時間) ①P48の閲読文を録音し、提出する。 ②P93-94の発展練習問題を完成する。(2時間)
	第11課一回目 トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明
第5回	事前学習 (内容・時間) ①単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P50 (2時間)
	事後学習 (内容・時間) 1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す(P51) 2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する(P50)(2時間)
	第11課二回目 動作の進行、状態の持続、連動文、結果補語
第6回	事前学習 語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P52 (2時間)
	事後学習 ①P52閲読文を録音し、提出する。②P95-96の発展練習問題を完成する。(2時間)
	第12課一回目 トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明
第7回	事前学習 (内容・時間) ①単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P54 (2時間)
	事後学習 (内容・時間) 1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す(P55) 2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する(P54)(2時間)
	第12課二回目 可能を表す助動詞と必然・当然を表す助動詞、副詞「才」と「就」
第8回	事前学習 語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P56 (2時間)
	事後学習 (内容・時間) ①P56の閲読文を録音し、提出する。②P97-98の発展練習問題を完成する。(2時間)

	第13課一回目 トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明							
第9回	事前学習 (内容・時間) ①単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P58 (2時間)							
	事後学習 (内容・時間) 1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す(P59) 2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する(P58)(2時間)							
	第13課二回目 様態補語、二重目的語、受け身の表現							
第10回	事前学習 (内容・時間) 語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P60 (2時間)							
	事後学習 (内容・時間) ①P60の閲読文を録音し、提出する。②P99-100の発展練習問題を完成する。(2時間)							
	第14課一回目 トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明							
第11回	事前学習 (内容・時間) ①単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P62 (2時間)							
	事後学習 (内容・時間) 1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す(P63) 2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する(P62)(2時間)							
	第14課二回目 存現文と自然現象の表現、方向補語と可能補語							
第12回	事前学習 語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P64 (2時間)							
	事後学習 (内容・時間) ①P64の閲読文を録音し、提出する。②P101-102の発展練習問題を完成する。(2時間)							
	第15課一回目 トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明							
第13回	事前学習 (内容・時間) ①単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P66 (2時間)							
	事後学習 (内容・時間) 1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す(P67) 2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する(P66)(2時間)							
	第15課の二回目 状況の確認「是不是A?」、使役の表現							
第14回	事前学習 (内容・時間) 語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P68 (2時間)							
	事後学習 ①P68の閲読文を録音し、提出する。②P103-104の発展練習問題を完成する。(2時間)							
	総合復習							
第15回	事前学習 (内容・時間) 単語帳のまとめ、P91-104の発展練習問題をもう一度チャレンジしてみる。							
	事後学習 _(内容・時間) テスト勉強(2時間)							
第16回	定期試験							
(VC/9104/9X)								

	ナンバリング(Numb	pering)						
	1GLN-5800-22ES							
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor	
	初級韓国語 《教職関連科目選高等学校 情報》		219~	2年生•前期		2単位	選択	全 彰煥
	オンライン授業 Online Class なし		_	スルームの利用 logle Classroom	あり			
	履修の前提条件 Course Prerequisites			所持者以外の学生及 核当者とする。	とび、ハ	ヘングル(韓国]語)をほ	母国語としていない日本人

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」一「四恩」の(1)親・祖先の御恩 (2)教師・先生の御恩 (3)社会・国家の御恩 (4)神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。授業内容は、次のとおりである。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

① 学習内容は、ハングル文字の構造、発音を説明して読み・書きを通じて習得させる。 また、テキストの会話文を覚えて発表させる。

実務経験内容

Work Experience Content

② 学習者は毎週、出席カード用の小テストを提出しなければならない。

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0	
辺田的社会の知よ	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
	論理的思考力	カ Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management		
 態度・志向性の観点	チームワーク	Teamwork		
思及・心門注の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
·	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

国際化・グロバル化の時代において隣国の言語を学習することで、建学精神の『至心』を持った人間づくりに 寄与することを目標とする。

具体的内容は次の通りであある。

- ① 生活に必要な基礎的な言語技能を遂行することができ、「自分自身、家族、趣味、天気」などたいへん私的で身近な話題に関連した内容を理解し表現することができる。
- ② 約800個の基礎語彙と基本文法に関する理解を基に簡単な文章を生成することができる。
- ③ 簡単な生活文と実用文を理解し構成することができる。
- ④「初級韓国語」の受講及び「韓国語能力試験(TOPIK)」I -1、2級の受験を指導する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- 対話型授業を中心とする。
- ② 授業中のグループ、チーム発表に積極的に参加しなければならない。
- ③ レポート代わりの1:1の確認発表をする。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

- ① 連絡・問い合わせ・相談:研究室(453)にて随時受け付ける。
- ② オフィスアワー: <水>2-5限目
- ③ メール:jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

- ① 外部試験:「韓国語能力試験(TOPIK)」I (1·2級)、または「ハングル検定試験」(5級)を受験する。 試験結果は成績評価の対象とする。試験日、会場に関する案内の詳細は授業中に告知する。
- ② 学習確認:ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 「韓国語の世界へ」入門編 李 潤玉 外4人 朝日出版社 978-4-255-55647-5 参考文献 Reference Books 出版社 Publisher 書名 Title 著者名 Author ISBNコード ISBN Code 「ゼロからスタート」 鶴見ユミ Jリサーチ出版 978-4-901429-66-5 韓単語 BASIC1400

- ① 定期試験 ⇒ 50%、確認発表/1:1発表 ⇒ 30%、平常点 ⇒ 20%
- ② 平常点は、「外部試験」と発表を基本とする。

		授業計画 Course Schedule
		テーマ Theme
	「イントロ	ダクション」と 第1課 文字と発音(1)
第1回	事前学習 (内容·時間)	ハングルの子音と母音の確認しておく。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「反切表」の暗記と「練習1~9」を解く。(2時間)
	文字と発	音(2)
第2回	事前学習 (内容·時間)	「説明2-1から2-4」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1~8」を解く。(2時間)
	第3課	文字と発音(3)
第3回	事前学習 (内容·時間)	「説明3-1から3-4」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1~9」を解く。(2時間)
	第4課	한국 사람입니다. (韓国人です。)
第4回	事前学習 (内容·時間)	「説明4-1から4-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1~5」を解く。(2時間)
	第5課	한국어는 전공이 아니에요.(韓国語は専門ではありません。) -
第5回	事前学習 (内容·時間)	「説明5-1から5-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1~5」を解く。(2時間)
	第6課	강의실은 계단 옆에 있어요(講義室は階段の横にあります。)
第6回	事前学習 (内容·時間)	「説明6-1から6-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1~5」を解く。(2時間)
	復習(第	4課·第5課·第6課)
第7回	事前学習 (内容·時間)	「4課の復習」、「まとめ4」、「5課の復習」、「6課の復習」、「まとめ5,6」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「4課の復習」、「まとめ4」、「5課の復習」、「6課の復習」、「まとめ5, 6」を解く。(2時間)
	第7課	오후에 시간 괜찮아요?(午後、時間大丈夫ですか。)
第8回	事前学習 (内容·時間)	「説明7-1から7-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1~3」を解く。(2時間)

	第8課	초등학생에게 태권도를 가르쳐요(小学生にテクォンドを教えます。)
第9回	事前学習 (内容·時間)	「説明8-1から8-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1~3」を解く。(2時間)
	第9課	보통 여섯 시에 일어나요.(普通、6時に起きます。)
第10回	事前学習 (内容·時間)	「説明9-1から9-4」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1~3」を解く。(2時間)
	復習(第	7課・第8課・第9課)
第11回	事前学習 (内容·時間)	「7課の復習」、「8課の復習」「まとめ7,8」、「9課の復習」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「7課の復習」、「8課の復習」「まとめ7,8」、「9課の復習」を解く。(2時間)
	第10課	야구를 아주 좋아해요.(野球が大好きです。)
第12回	事前学習 (内容·時間)	「説明10-1から10-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1~4」を解く。(2時間)
	第11課	점심 안 먹었어요?(昼ご飯食べてませんか。)
第13回	事前学習 (内容·時間)	「説明11-1から11-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1~4」を解く。(2時間)
	第12課	봄 방학 때 뭐 할 거예요?(春休みに何をしますか。)
第14回	事前学習 (内容·時間)	「説明12-1から12-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1~6」を解く。(2時間)
	復習(第	10課·第11課·第12課)
第15回	事前学習 (内容·時間)	「10課の復習」、「まとめ9, 10」、「11課の復習」、「12課の復習」、「まとめ11, 12」 を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「10課の復習」、「まとめ9, 10」、「11課の復習」、「12課の復習」、「まとめ11, 12」 を解く。(2時間)
第16回	各課の「ネ	練習問題」と「復習問題」を基本とする試験を行う。

ナンバリング (Number	ring)						
1GLN-5990-22ES	3						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
中級韓国語 《教職関連科目選高等学校	情報)	219~	2年生·後期		2単位	選択	全 彰煥
			スルームの利用 logle Classroom	あり			
			ハングル(韓国語)をf る者か、90時間以上				と留学生として、「入門韓 当者とする。

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」一「四恩」の(1)親・祖先の御恩 (2)教師・先生の御恩 (3)社会・国家の御恩 (4)神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。 授業内容は、次のとおりである。

実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

- ① 前期学習内容の復習、各課の文法説明、テキストの会話文暗記を通して会話文を習得させる。
- ② 学習者は毎週、出席カード用の小テストを提出しなければならない。

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

該当しない						
	授業を通して修得でき	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0			
Knowledge and Understan	ding 人類の文化・社会と自然に	、類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0			
カロの社会の知ら	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0			
33.13.13 3.11.13	論理的思考力	的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management				
│ │ 態度・志向性の観点	チームワーク	Teamwork				
思度・心円注の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思想 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

国際化・グローバル化の時代において隣国の言語を学習することで、建学精神の『至心』を持った人間づくりに寄与することを目標とする。

具体的内容は次の通りである。

- ①「電話する、頼みごとをする」などの日常生活に必要な技能と「郵便局、銀行」などの公共施設の利用に必要な技能を遂行することができる。
- ② 約1,500~2,000個の語彙を利用して私的で身近な話題に関して段落単位で理解し使用することができる。
- ③ 公式的な状況と非公式的な状況での言語を区分して使用することができる。
- ④「中級韓国語」の受講及び「韓国語能力試験(TOPIK)」I-1、2級の受験を指導する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- 対話型授業を中心とする。
- ② 授業中のグループ、チーム発表に積極的に参加しなければならない。
- ③ レポート代わりの1:1の確認発表をしなければならない。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

- ① 連絡・問い合わせ・相談:研究室(453)にて随時受け付ける。
- ② オフィスアワー: <水>2~5限目
- ③ メール:jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

- ① 外部試験:「韓国語能力試験(TOPIK)」I (1·2級)、または「ハングル検定試験」(4級)を受験する。 試験結果は成績評価の対象とする。試験日、会場に関する案内の詳細は授業中に告知する。
- ② 学習確認:ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 「韓国語の世界へ」初・中級編 李 潤玉外4人 朝日出版社 978-4-255-55644-4 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
キゾー式 パーフェクトハングル」	小倉紀蔵	精興社	4-88724-417-7

- ① 定期試験 ⇒ 50%、確認発表/1:1発表 ⇒ 30%、平常点 ⇒ 20%
- |② 平常点は、「外部試験」と発表を基本とする。

授業計画 Course Schedule						
テーマ Theme						
	第1課	몇 학번이에요?(学籍番号は何番ですか。)				
第1回	事前学習 (内容·時間)	会話文と「説明1-1」から「説明1-2」を熟読する。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	「練習1」「練習2」を解く。(2時間)				
	第2課	한국어를 열심히 공부할 거예요.(韓国語を一所懸命に勉強します。)				
第2回	事前学習 (内容·時間)	会話文と「説明2-1」から「説明2-3」を熟読する。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	「練習1」から「練習5」を解く。(2時間)				
	第3課	저 구두 좀 보여 주세요.(あの靴をちょっと見せてください。)				
第3回	事前学習 (内容·時間)	会話文と「説明3-1」から「説明3-3」を熟読する。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	「練習1」から「練習4」を解く。(2時間)				
	第4課	자주 가는 한식집 있으면 소개해 주세요.(よく行っている韓食屋があったら紹介して下さい。)				
第4回	事前学習 (内容·時間)	会話文と「説明4-1」から「説明4-3」を熟読する。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	「練習1」から「練習6」を解く。(2時間)				
		1課~第4課)				
第5回	(内容・時間)	「1課の復習」「2課の復習」「聞いてみよう1」「3課の復習」「4課の復習」「ステップアップ1」 予習(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	「1課の復習」「2課の復習」「聞いてみよう1」「3課の復習」「4課の復習」「ステップアップ1」 復習(2時間)				
	第5課	함께 찍은 사진을 첨부했어요.(一緒に撮った写真を添付しました。)				
第6回	事前学習 (内容·時間)	会話文と「説明5-1」から「説明5-3」を熟読する。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	「練習1」から「練習5」を解く。(2時間)				
	第6課	발표 시간에 늦어서 죄송합니다(発表時間に遅れてすみません。)				
第7回	事前学習 (内容·時間)	会話文と「説明6-1」から「説明6-4」を熟読する。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	「練習1」から「練習6」を解く。(2時間)				
	第7課	더운 여름에 삼계탕을 먹어요.(暑い夏にサンゲタンを食べます。)				
第8回	事前学習 (内容·時間)	会話文と「説明7-1」から「説明7-3」を熟読する。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	「練習1」から「練習4」を解く。(2時間)				

	第8課	안 무거우니까 혼자 할게요.(重くないから自分でします。)
第9回	事前学習 (内容·時間)	会話文と「説明8-1」から「説明8-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1」から「練習4」を解く。(2時間)
	復習(第5	5課~第8課)
第10回	3 13 3 H	「5課の復習」「6課の復習」「聞いてみよう2」「7課の復習」「8課の復習」「ステップアップ2」 予習(2時間)
	, , , , ,	「5課の復習」「6課の復習」「聞いてみよう2」「7課の復習」「8課の復習」「ステップアップ2」 復習(2時間)
	第9課	컴퓨터 잠깐 빌려도 돼요? (コンピューターをちょっと借りてもいいですか。)
第11回	事前学習 (内容·時間)	会話文と「説明9-1」から「説明9-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1」から「練習4」を解く。(2時間)
	第10課	리무진 버스가 편하겠죠?(リムジンバスが便利でしょう?)
第12回	事前学習 (内容·時間)	会話文と「説明10-1」から「説明10-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1」から「練習3」を解く。(2時間)
	第11課	도자기도 만들어 봤어요?(陶磁器を作ったことありますか。)
第13回	事前学習 (内容·時間)	会話文と「説明11-1」から「説明11-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1」から「練習5」を解く。(2時間)
	第12課	한국 회사에 취직하려고 해요.(韓国の会社に就職するつもりです。)
第14回	事前学習 (内容·時間)	会話文と「説明12-1」から「説明12-3」を熟読する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「練習1」から「練習4」を解く。(2時間)
	復習(第9	9課~第12課)
第15回	事前学習 (内容·時間)	「9課の復習」「10課の復習」「聞いてみよう3」「11課の復習」「12課の復習」「ステップアップ3」予習(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「9課の復習」「10課の復習」「聞いてみよう3」「11課の復習」「12課の復習」「ステップアップ3」予習(2時間)
第16回	各課の「絹	東習問題」と「復習問題」を基本とする試験を行う。

ナンバリング (Numbering)							
1GLN-6200-12	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学與 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語 I (J1)		共通	1年生·前期		2単位	選択	古川 幸子
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites			学生で漢字学習を深 5履修することが望る			ること。	日本語1を履修したもの

この授業は建学の精神『至心』に基づいて、日本での留学生活はもちろん、大学での学習に必要な漢字(初級後半から中級程度)を授業で扱いながら、日本語力の総合的な向上を目標とする。読み書きを中心に、聞く、話す力を総合的に身につける。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得できる力 Competency Goals						
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature				
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0			
刀田的针织の知上	数量的スキル	Mathematics					
川 汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	1				
Generie et and	論理的思考力	Logical Thinking / 0	Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving					
	建学の精神	University Founding	; Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management					
**・ 十つ州の知よ	チームワーク	Teamwork					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership					
l crosman danner	倫理観	Ethical Sense					
	市民としての社会的責任	Social Responsibilit	у				
	生涯学習力	Lifelong Learning		0			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	kills				

到達目標 Objectives

日常生活に必要なことがらに真摯に向き合うための語学力を高めることが目標である。留学生活で目の当たりに する様々な書類やテキストなどの漢字が読め、また必要なことが書けるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

漢字学習がメインとはいえ、日本語力を高めることを目標にしているので、対話をしながら進める。積極的な日本語での発話を期待している。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ等はオフィスアワー掲示時間内に研究室(452)で受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:進度に合わせた小テストなどで学習理解度を確認する。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author 出版社 Publisher		ISBN⊐ード ISBN Code			
にほんご漢字トレーニング	松浦真理子·上妻直博· 半田健一	アスク出版				
	参考文献 Referen	ce Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
日本語総まとめN2漢字	佐々木仁子	アスク出版				
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation						

成績評価の方法:定期試験70%、小テスト20%、平常点10%(提出物の取り組み方や内容によって評価します)

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	ナリエンテーション: 授業方針説明、受講上の注意、自己紹介、レベルテスト				
第1回	事前学習 内容・時間)				
	事後学習 内容・時間) レベルテストの反省(2時間)				
	美字をきれいに書くルールとポイント 				
第2回	事前学習 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)				
	事後学習 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間) _{内容・時間)}				
	漢字の読み方がわかるルール① 				
第3回	事前学習 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)				
	事後学習 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間) _{内容・時間)}				
	漢字の読み方がわかるルール②				
第4回	事前学習 肉容・時間) 該当ページの予習				
	事後学習 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間)				
	漢字の読み方が変わるルール① 				
第5回	事前学習 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)				
	事後学習 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間)				
	漢字の読み方が変わるルール② 				
第6回	事前学習 内容・時間) 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)				
	事後学習 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間) _{内容・時間}				
	漢字の意味が分かる記号 				
第7回	事前学習 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)				
	事後学習 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間) 内容・時間)				
	漢字一字の意味を考える 				
第8回	事前学習 対容・時間) 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)				
	事後学習 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間)				

少しの漢字から言葉を増やす
事前学習 (内容・時間) 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)
事後学習 _(内容・時間) 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間)
漢字の前について言葉を作る漢字
事前学習 (内容・時間) 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)
事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間)
漢字の前後について言葉を作る漢字
事前学習 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)
事後学習 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間)
同じ読み方の漢字を覚える
事前学習 (内容・時間) 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)
事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間)
同じ意味を持つ漢字
事前学習 (内容・時間) 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)
事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間)
文章の中の漢字を考える
事前学習 (内容・時間) 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)
事後学習 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間)
身近なものから情報を得る
事前学習 (内容・時間) 該当ページの予習 読んで質問内容などをまとめておく(2時間)
事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 漢字ノートにきれいに書いて覚える(2時間)
筆記試験を行います。(持ち込み不可)

ナンバリング (Numbering)							
1GLN-6200-12	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語 I (J2)		共通	 1年生•前期 		2単位	選択	全 彰煥
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
			学生を対象者とする Nら中級へのレベル				-る。

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」一「四恩」の(1)親・祖先の御恩 (2)教師・先生の御恩 (3)社会・国家の御恩 (4)神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。 授業内容は、次のとおりである。

①「日本語能力試験2級(N2)」の語彙、文法と「漢字検定4級」の漢字を学習する。

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

② 学習者は、毎週与えられる「漢字検定4級」の問題と「ワークブック問題」をレポートで提出しなければならない。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

with Work Experience	Work Experience Content	Olass	S Contents Offizing Work Experience			
該当しない						
	授業を通して修得で	きる力 Competenc	y Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0		
77 17 44 44 6 49 4	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	У			
GOTTOTTO STATE	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding	g Philosophy			
	自己管理力	Self-management				
総由・古白州の組占	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0		
	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibilit	У			
	生涯学習力	Lifelong Learning		0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	skills			

到達目標 Objectives

外国人留学生として、正しい日本語学習を通して日本人と日本文化に対する理解力を増進することで、建学精神の『至心』を持った人間づくりに寄与することを目標とする。

具体的内容は次の通りである。

- ① 日本語基礎文法を学び、中級レベルと漢字検定4級以上の日本語力取得を目指す。
- ②「日本語能力試験2級(N2)」の語彙、文法を学習する。
- ③「日本語能力試験2級(N2)」と「漢字検定4級」の受験・取得を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ① 対話型例文を熟知して、「1:1チーム発表」で発表をする。
- ② レベル別漢字テストの基本漢字の関連単語と語句を自主的に調査し、課題として提出する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

- ① 連絡・問い合わせ・相談:研究室(453)にて随時受け付ける。
- ② オフィスアワー: <水>2-5限目
- ③ メール:jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

- ① 外部試験:「日本語能力試験(JLPT)」N2と「漢字検定」4級を受験する。
 - 試験結果は成績評価の対象とする。試験日、会場に関する案内の詳細は授業中に告知する。
- ② 学習確認:ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書 Textbooks ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher 日本語能力試験N2文法 氏原庸子/佐伯玲子 Jリサーチ出版 978-4-86392-331-7 必修パターン 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 「書き込み式、漢字の学習」 明治書院教科書編集部 明治書院 978-4-625-23302-9 一漢検対応一

- 1 定期試験 ⇒ 50%、課題/1:1チーム発表 ⇒ 30%、平常点 ⇒ 20%
- |② 平常点は、「外部試験」と発表を基本とする。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	基礎の復習一1. 助詞、2. 副詞 / インターネットニュース:聞き取り練習				
第1回	事前学習 特定無し(2時間)				
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問① (2時間)				
	基礎の復習一3.接続詞、4.敬語❶ / インターネットニュース:聞き取り練習				
第2回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問②(2時間)				
	基礎の復習一4. 敬語❷ / インターネットニュース∶聞き取り練習				
第3回	事前学習 (内容・時間) 「敬語資料」を熟読する。(2時間)				
	事後学習 「敬語資料」暗記する。 / 【課題】漢検4級一過去問③(2時間)				
	「N3文型」の整理 (1)、(2)、(3)、(4) / インターネットニュース:聞き取り練習				
第4回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)				
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問④(2時間)				
	「N3文型」の整理 (5)、(6)、(7)、(8) / インターネットニュース:聞き取り練習				
第5回	事前学習 (内容・時間) - 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)				
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問⑤ (2時間)				
	「N3文型」の整理 (9)、(10)、(11)、(12) / インターネットニュース:聞き取り練習				
第6回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)				
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問⑥(2時間)				
	「N2文型」の整理 (1)、(2) / インターネットニュース:聞き取り練習				
第7回	事前学習 (内容・時間) 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)				
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問⑦ (2時間)				
	「N2文型」の整理 (3)、(4) / インターネットニュース:聞き取り練習				
第8回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)				
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問⑧(2時間)				

	「N2文型」の整理(5)、(6) / インターネットニュース:聞き取り練習
第9回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問⑨(2時間)
	「N2文型」の整理 (7)、(8) / インターネットニュース:聞き取り練習
第10回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問⑩(2時間)
	「N2文型」の整理 (9)、(10) / インターネットニュース:聞き取り練習
第11回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問⑪ (2時間)
	「N2文型」の整理 (11)、(12) / インターネットニュース:聞き取り練習
第12回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問⑫ (2時間)
	「N2文型」の整理 (13)、(14) / インターネットニュース:聞き取り練習
第13回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問③(2時間)
	「N2文型」の整理 (15)、(16) / インターネットニュース:聞き取り練習
第14回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問⑭ (2時間)
	「N2文型」の整理 (17)、(18) / インターネットニュース:聞き取り練習
第15回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検4級一過去問(り) (2時間)
	1. テキストの「練習問題」「応用問題」「実践問題」「模擬試験問題」を基本とする試験を行う。 2. 漢字検定4級の課題を基本とする試験を行う。

ナンバリング (Number							
1GLN-6210-12E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Seme	-	単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語 II (J1)		共通	共通 1年生・後期		2単位	選択	古川 幸子
オンライン授業 Online Class	なし	_	スルームの利用 logle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites 漢字の読み書き、また、作文論文表現		能力への向」	上意欲	を持っていること。			

この授業は建学の精神『至心』に基づいて、正しい文法で短い文章を作る(書く)練習から始め、最後には長い文章(レポートなど)が書けるようになるよう、課題に取り組む。書くことだけにとどまらず、コミュニケーション能力の向上も目指し、お互いの異文化に触れながらディスカッションをして理解を深める。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	ect Taught by The Faculty			実務経験をいかした教育内容 Contents Utilizing Work Experience		
該当しない						
	授業を通して修得で	きるカ	Competenc	y Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	解	Multiple Culture / Different Culture	0	
Knowledge and Understar	nding 人類の文化・社会と自然に	関する知	印識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Readin	ng / Writing /	Speaking / Listening	0	
20 四44+44: 0 知 上	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Inform	,			
donono onino	論理的思考力	Logical Thinking /		ing / Creative Thinking		
	問題解決力	問題解決力 Problem Solvi			0	
	建学の精神	Univer	sity Founding	Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management				
	チームワーク	Teamv	vork			

Leadership

市民としての社会的責任 Social Responsibility

Ethical Sense

Lifelong Learning

Creative Thinking Skills

Integrated Learning Experience

0

0

態度・志向性の観点

Personal Qualities

統合的な学習経験と創造的思考力

Integrated Learning Experience and

Creative Thinking Skills

リーダーシップ

生涯学習力

創造的思考力

統合的な学習経験

倫理観

到達目標 Objectives

留学生として積極的に学ぶための、様々な場面で必要とされる文章を読み書きできる力を身につける。自分の意思を自分の力で表現する力、また相手の意見を明確に理解できる力を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

自分の考えを正しく表現することが目標であるので、考える→話す→聞く→書く→(まとめる)という順番で行う。授業中は意見を求めることも多いので、予告されたテーマについて準備しておくこと。最後の課題、レポートはWordで提出。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ等はオフィスアワー掲示時間内に研究室(452)で受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|学習の確認:進度に合わせて小テストなどを行い、理解度を確認する。

教科書 Textbooks									
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
講義資料を配布									
	参考文献 Referen	ce Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
大学で学ぶための日本語ライティング	佐々木瑞枝、細井和代、 藤尾清子	The Japan Times							
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation									

成績評価の方法:定期試験70%、平常点30%(出席率、提出物の内容等でも判断します)

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション:講義内容、方針説明、受講上の注意など
第1回	事前学習 テキストの準備 1課を読んでおく(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習(2時間)
	書き言葉と話し言葉、文体について。
第2回	事前学習 該当箇所の予習 予告されたテーマについて調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
	状況を説明し、意見を述べる①
第3回	事前学習 身の回りの出来事を描写する言い方をまとめておく(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
	状況を説明し、意見を述べる②
第4回	事前学習 該当箇所の予習 予告されたテーマについて調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
	段落を作る①
第5回	事前学習 該当箇所の予習 配布プリントを読んで予習しておく(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
	段落を作る②
第6回	事前学習 テキストの該当箇所の予習(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
	文や段落をつなぐ練習(接続詞など)
第7回	事前学習 (内容・時間) 該当箇所の予習 接続詞などについてまとめておく(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
	体験したことを書く
第8回	事前学習 テキストの該当箇所の予習(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)

テーマに沿って意見文を書く①(疑問提示、伝聞、因果関係、予想、意見主張の表明)
事前学習 テキストの該当箇所の予習 指定した文法事項について確認しておく(2時間)
事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
テーマに沿って意見文を書く②
事前学習 テキストの該当箇所の予習 指定した文法事項について確認しておく(2時間)
事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
レポート書くための基礎知識と構成①
事前学習 テキストの該当箇所の予習 指定した文法事項について確認しておく(2時間)
事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
レポート書くための基礎知識と構成②引用の表現
事前学習 テキストの該当箇所の予習 指定した文法事項について確認しておく(2時間)
事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
レポートを書くために基礎知識③資料を引用して書く
事前学習 テキストの該当箇所の予習 指定した文法事項について確認しておく(2時間)
事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
レポートを書く(資料をまとめる)
事前学習 テキストの該当箇所の予習 指定した文法事項について確認しておく(2時間)
事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
レポートを書く(レポートの大筋を立てて書く準備をする)
事前学習 テキストの該当箇所の予習 指定した文法事項について確認しておく(2時間)
事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 授業内に書いたものの清書(2時間)
筆記試験を行います。持ち込み不可。

ナンバリング(Numb	pering)						
1GLN-6210-12	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語 II (J2))	共通	1年生・後期		2単位	選択	全彰煥
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条f Course Prerequis			象者とする中級日本 Nら上級ヘレベルア			゚゚゚をする	'o

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会 人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」一「四恩」の(1)親・祖先の御恩 (2)教師・先生の御恩 (3) 社会・国家の御恩(4)神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。 授業内容は、次のとおりである。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

- ①「日本語能力試験」N1の語彙、文法と「漢字検定3級」の漢字を学習する。
- ②「日本語能力試験」N1の重要表現を文型を中心に学習する。
- ③「日本語能力試験」N1の文法問題を課題として熟知する。

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

④ インターネット・ニュースを持って時事問題を接し、聴解力と発表力を鍛えさせる。 実務経験内容

Work Experience Content

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency	y Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0
71 EL 44 A 44 A 44 A	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
donono orano	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding	Philosophy	0
	自己管理力	Self-management		
华克 ナウルの知上	チームワーク	Teamwork		0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0
1 or oorial quantios	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	,	
	生涯学習力	Lifelong Learning	_	0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	kills	

到達目標 Objectives

外国人留学生として、正しい日本語学習を通して日本人と日本文化に対する理解力を増進することで、建学 精神の『至心』を持った人間づくりに寄与することを目標とする。

具体的内容は次の通りである。

- ①「日本語能力試験」N1の語彙、文法を学習する。
- ②「日本語能力試験」N1と「漢字検定」3級以上の受験・取得を目指す。
- ③ インターネット・ニュースを通して聴解力と発表力の向上を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- 指定のインターネット・ニュースを発表する。
- ② レベル別漢字テストの基本漢字の関連単語と語句を自主的に調査し、課題として提出する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

- ① 連絡・問い合わせ・相談:研究室(453)にて随時受け付ける。
- ② オフィスアワー: <水>2一5限目
- ③ メール: jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

- ① 外部試験:「日本語能力試験(JLPT)」N1と「漢字検定」3級を受験する。 試験結果は成績評価の対象とする。試験日、会場に関する案内の詳細は授業中に告知する。
- ② 学習確認:ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書 Textbooks 著者名 Author 書名 Title 出版社 Publisher ISBN⊐-F ISBN Code 日本語能力試験N1文法 氏原庸子/岡本牧子 Jリサーチ出版 978-4-86392-233-4 必修パターン 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐—F ISBN Code 「日本語総まとめ」 佐々木仁子・松本紀子 アスク出版 978-4-87217-726-8 一N1、文法一 「書き込み式、漢字の学習」 明治書院教科書編集部 明治書院 978-4-625-23302-9 一漢検対応一

- 定期試験 ⇒ 50%、課題/聴解·発表 ⇒ 30%、平常点 ⇒ 20%
- ② 平常点は、「外部試験」と発表を基本とする。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	文法の復習1、2、3 / インターネットニュース:聞き取り練習
第1回	事前学習 特定無し(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問① (2時間)
	文法の復習4. 敬語 / インターネットニュース:聞き取り練習
第2回	事前学習 (内容・時間) (内容・時間)
	事後学習 (内容・時間) 「敬語資料」暗記する。 / 【課題】漢検3級一過去問②(2時間)
	N2・N3の復習1.2、3、4 / インターネットニュース:聞き取り練習
第3回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問③ (2時間)
	N2・N3の復習5、6、7、8 / インターネットニュース:聞き取り練習
第4回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問④(2時間)
	N2・N3の復習9、10、11、12 / インターネットニュース:聞き取り練習
第5回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問⑤ (2時間)
	N1文型の整理(1)、(2) / インターネットニュース:聞き取り練習
第6回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問⑥ (2時間)
	N1文型の整理(3)、(4) / インターネットニュース:聞き取り練習
第7回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問⑦ (2時間)
	N1文型の整理(5)、(6) / インターネットニュース:聞き取り練習
第8回	事前学習 (内容・時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問® (2時間)

	N1文型の整理(7)、(8) / インターネットニュース:聞き取り練習
第9回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問⑨(2時間)
	N1文型の整理(9)、(10) / インターネットニュース:聞き取り練習
第10回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問⑩ (2時間)
	N1文型の整理(11)、(12) / インターネットニュース:聞き取り練習
第11回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問⑪ (2時間)
	N1文型の整理(13)、(14) / インターネットニュース:聞き取り練習
第12回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問①(2時間)
	N1文型の整理(15)、(16) / インターネットニュース:聞き取り練習
第13回	事前学習 (内容・時間) 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問③(2時間)
	N1文型の整理(17)、(18) / インターネットニュース:聞き取り練習
第14回	事前学習 (内容・時間) 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 「練習問題」「応用問題」を解く。 / 【課題】漢検3級一過去問⑭ (2時間)
	N1文型の整理(19)、(20) / インターネットニュース:聞き取り練習
第15回	事前学習 「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 「練習問題」「応用問題」を解く。(2時間)
	1. テキストの「練習問題」「応用問題」「実践問題」「模擬試験問題」を基本とする試験を行う。 2. 漢字検定3級の課題を基本とする試験を行う。

ナンバリング (Numbering)						
1GLN-6220-22E						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語皿	219~	2年生·前期		2単位	選択	古川幸子
オンライン授業 Online Class なし		ラスルームの利用 pogle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		留学生を対象とする日本語講座です。 講を求めます。			能力向	上に意欲のある学生の受

この授業は建学の精神『至心』に基づき、日本語を学び活用するうえで、学習者が陥りやすい誤用や不自然さを 意識しながら語彙力をつける。日本語の基礎力と応用力を身につける。日本語能力試験の対策も行います。

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0	
Knowledge and Understandin	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0	
カロの社会の知ら	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving	0	
	建学の精神	University Founding Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management		
お古 十九州の知 b	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 or oonar quantios	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning	0	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

日本の大学で学ぶ上で必要な日本語運用能力、また多数ある類似語を場面で使い分けて表現し円滑なコミュニ ケーションが積極的にとれるようになる。また、語彙から日本の文化や習慣、価値観などに関して知り、日本社会 について理解を深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

特定の場面を提案するので、それぞれが既習の語彙を使って会話をし、さらによりよい表現になるように新しい言 葉を学びながら練習する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ等はオフィスアワー掲示時間内に研究室(452)で受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:進度に合わせた小テストなどで学習理解度を確認する。

教科書 Textbooks									
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
講義資料を配布									
	参考文献 Reference Books								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
日本語総まとめN2読解文法	佐々木仁子	アスク社							
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation									

成績評価の方法:定期試験70%、小テスト20%、平常点10%

授業計画 Course Schedule				
		テーマ Theme		
	オリエンテ	ーション∶授業方針説明、受講上の注意、自己紹介、プレテスト		
第1回	事前学習 (内容·時間)	Googleclassroom で配布したプリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	プレテスト内容の復習		
	4月の言葉	(花見)		
第2回	事前学習 (内容·時間)	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	学習済内容の復習(2時間)		
	4月の言葉	生(入学)		
第3回	事前学習 (内容·時間)	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	学習済内容の復習(2時間)		
	5月の言葉	き(ゴールデンウイーク)		
第4回	事前学習 (内容·時間)	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	学習済内容の復習(2時間)		
	5月の言葉	を(こどもの日、こどもに関する言葉)		
第5回	事前学習 (内容·時間)	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	学習済内容の復習(2時間)		
	手の動き	こ関する言葉		
第6回	事前学習 (内容·時間)	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	学習済内容の復習(2時間)		
	6月の言葉	き(梅雨など天気に関する言葉)		
第7回	事前学習 (内容·時間)	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	学習済内容の復習(2時間)		
	6月の言第	き(ジューンブライド、結婚式など)		
第8回	事前学習 (内容·時間)	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	学習済内容の復習(2時間)		

	7月の言葉(海に関する言葉)				
第9回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習(2時間)				
	7月の言葉(景色に関する言葉)				
第10回	事前学習 配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) (内容・時間)				
	7月の言葉(話すことに関する言葉)				
第11回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習(2時間)				
	心に関する言葉(気持ちなど)				
第12回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習(2時間)				
	お祭りに関する言葉				
第13回	事前学習 配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習(2時間)				
	秋に関する言葉				
第14回	事前学習 配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習(2時間)				
	身近なものから情報を得る				
第15回	事前学習 配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習(2時間)				
第16回	筆記試験を行います。(持ち込み不可)				

ナンバリング (Numbering)						
1GLN-6230-22E						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語IV	219~	2年生·後期		2単位	選択	古川 幸子
オンライン授業 Online Class なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites	留学生を対象		<u></u> です。	日本語運用的	能力向	上に意欲のある学生の受

この授業は建学の精神『至心』に基づき、論理的思考を養うために様々な文章を読み、練習問題を重ねながらアカデミックジャパニーズを身につけます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience		実務経験内容 Work Experience Content	Class	実務経験をいかした教育内容 Contents Utilizing Work Experience	
該当しない					
		授業を通して修得できる力	Competency	y Goals	
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding		多文化・異文化に関する知識の理	解	Multiple Culture / Different Culture	0
		人類の文化・社会と自然に関する知識の理解		Human Culture / Society / Nature	

授業を通して修得できる力 Competency Goals					
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening		
7 四44+44 0 知 上	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	,		
donorio omis	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		0	
	問題解決力	Problem Solving		0	
	建学の精神	University Founding	Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management			
	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 orsonar Quantios	倫理観	Ethical Sense		0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	/		
	生涯学習力	Lifelong Learning		0	
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience		
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking SI	kills		

到達目標 Objectives

日本をより理解し、積極的に文献などを読み学習にあたるため、様々な文章に触れながら読解力を深め、さらには考えることを習慣化し、自分の考えを表現できるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

トピックスを正しく読み取り、ディスカッションしたりして意見をまとめ発表します。学生からの積極的な発話をお願いします。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ等はオフィスアワー掲示時間内に研究室(452)で受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|学習の確認:進度に合わせた小テストなどで学習理解度を確認します。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
日本語ロジカルトレーニング 中級	西隈俊哉	アルク					
	参考文献 Referen	ce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
新聞記事など							
成结评価支注 Crading Critaria / Mathad of Evaluation							

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:定期試験70%、小テスト20%、平常点10%(発表等での態度や内容でも評価します)

	授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme					
	オリエンテーション:授業方針説明、評価の方法					
第1回	事前学習 テキストの準備 テキストの構成などを見ておく(二時間)					
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 (2時間)					
	発想力:言葉の地図を作ってみよう					
第2回	事前学習 指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します(二時間)					
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 (2時間)					
	イラストを見て考えよう					
第3回	事前学習 指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します(二時間)					
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 (2時間)					
	文章を読んで図や表にしてみよう					
第4回	事前学習 指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します(二時間)					
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 (2時間)					
	標グラフの内容を読み取ってみよう					
第5回	事前学習 指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します(二時間)					
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 (2時間)					
	マッピングをしながら読んでみよう					
第6回	事前学習 指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します(二時間)					
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 (2時間)					
	登場人物になったつもりで読んでみよう					
第7回	事前学習 指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します(二時間)					
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 (2時間)					
	理由を考えながら読んでみよう					
第8回	事前学習 指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します(二時間)					
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 (2時間)					

	意味を考えながら読んでみよう				
第9回	事前学習 指定された内容について理解を深める。授業中に質問します(二時間)				
	事後学習 (内容・時間) (内容・時間)				
	キーワードをつなげて書いてみよう				
第10回	事前学習 指定された内容について理解を深める。授業中に質問します(二時間)				
	事後学習 (内容・時間) (内容・時間)				
	イラストを見て書いてみよう				
第11回	事前学習 指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します(二時間)				
	事後学習 (内容・時間) (内容・時間)				
	文章を読んで考えてみよう				
第12回	事前学習 指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します(二時間)				
	事後学習 (内容・時間) (内容・時間)				
	文章を読んで考えてみよう				
第13回	事前学習 指定された内容について理解を深める。授業中に質問します(二時間)				
	事後学習 (内容・時間) (内容・時間)				
	文章を読んで考えてみよう				
第14回	事前学習 (内容・時間) 指定された内容について理解を深める。授業中に質問します(二時間)				
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 (2時間)				
	まとめ				
第15回	事前学習 (内容・時間) 指定された内容について理解を深める。授業中に質問します(二時間)				
	事後学習 (内容・時間) 学習済内容の復習 (2時間)				
第16回	筆記試験を行います。持ち込み不可。				

ナンバリング (Numbering)								
	1GCB-5781-12C							
	科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
	情報リテラシー演習 I		223~	- 1年生·前期		2単位	必修	リテラシー担当教員
	情報リテラシー演習 (教職関連科目 選 高等学校 情報)		219~222					
	オンライン授業 Online Class	なし		ラスルームの利用 pogle Classroom	あり			
	履修の前提条件		パソーン・の目	「大場作めなくぱい	· ・		が切士	

Course Prerequisites

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty
with Work Experience

パソコンの基本操作やタイピングに慣れていることが望ましい。

本演習ではディプロマポリシーに基づき、少人数クラスに分かれて担当教員が分担して、情報リテラシーの基礎となるワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどに関する基礎技能を学ぶ。また、これらの基礎技能を用いて、実データの収集、分析、応用の方法について体験する。さらに、情報教育の基礎となる情報検索方法や情報モラル・セキュリティ、ネットワークコミュニケーション、人工知能についても概説する。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

該当しない			
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0
カロの社会の知よ	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0
gonone onme	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving	0
	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
** また性の知り	チームワーク	Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
1 or sorial Qualities	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【知識】

・パソコンの基礎的事項(五大装置、通信方法)を説明できる。 ・情報の定義、情報モラル、セキュリティについて説明できる。

・インターネットの利点・欠点、SNSの利点・欠点を列挙できる。・人工知能の定義、実用例について説明できる。

【態度·習慣】

疑問点を尋ねることができる。 ・講義に参加できる。

【技能】

・タッチタイピングができる。・ビジネス文書の例を模倣し、自分で作成することができる。・Excelで表やグラフの作成、数式の利用ができる。・Powerpointで発表スライドを作成し、発表できる。・講義レポートを作成することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ実習をこなすだけでなく、卒業論文や科目レポートの作成を念頭に、学ぶ機能がどう使えるかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、各担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては 掲示を確認すること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

MOS(Microsoft Office Specialist)の合格者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇します。 学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックシートに必要事項を記入し8回目講義および最終講義時に提出すること.

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
リメディアル教育のための 情報リテラシー	鈴木和也•荒平高章 八千代出版		978-4-8429-1812-9			
	参考文献 Referen	ce Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
適宜資料を配布する。						
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation						

提出課題(30%)、講義中の発表(10%)、実習試験(30%)、筆記試験(30%)で評価する。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	パソコンの基本設定1(学内ネットワーク接続、メール環境構築)				
第1回	事前学習 シラバスを通読し、本科目の内容について把握する。(2.0h)				
	事後学習 (内容・時間) 大学が配布した冊子を通読し、本時で終わらなかった部分を補う。(2.0h)				
	パソコンの基本設定2(オフィスソフトのインストール、共有フォルダ設定)				
第2回	事前学習 大学が配布した冊子を通読し、本時で終わらなかった部分を補う。(2.0h)				
	事後学習 (内容・時間) 大学が配布した冊子を通読し、本時で終わらなかった部分を補う。(2.0h)				
	授業計画説明、メールの書き方、人工知能・データサイエンス(導入講義)				
第3回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				
	第1章 パソコン入門、第2章 タイピングの基礎				
第4回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				
	第3章 文書作成の基礎(1)、第4章 文書作成の基礎(2)				
第5回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				
	第5章 文書作成の応用				
第6回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				
	第6章 表作成の基礎				
第7回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				
	第7章 グラフ作成の基礎				
第8回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				

	第8章 表計算の応用				
第9回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				
	第9章 レポート作成の基礎				
第10回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				
	第10章 プレゼンテーションの基礎				
第11回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				
	第11章 プレゼンテーションの応用				
第12回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				
	第12章 学生生活と情報、第13章 インターネットと情報検索				
第13回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				
	第14章 情報モラルとセキュリティ				
第14回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				
	第15章 最新のネットワークコミュニケーション				
第15回	事前学習 テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(2.0h)				
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。(2.0h)				
第16回	実習試験および筆記試験を実施する。				

ナンバリング (Numbering)							
1GCB-5792-12ET							
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
情報リテラシー演習 Ⅱ (教職関連科目 必 高等学校 情報) (数理・データサイエンス・AI入門)		223~	1年生・後期		2単位	選択	荒平 高章
オンライン授業 Online Class なし			スルームの利用 logle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites			ー演習Iを修得して 度の素養があること		<u>L</u> .		

本講義では、ディプロマポリシーに基づき、現代社会の読み書きそろばんともいわれるデータサイエンスについて、その役割にはじまり、データ分析の基礎事項、分析手法の基礎について概説する。また、分析手法については、コンピュータを用いた分析演習も実施する。さらに、現代社会におけるデータサイエンスの応用事例についても触れ、2年次以降の履修計画の参考にしてもらう。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

授業概要 Course Outline

該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competenc	y Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0	
20日的社会の知ら	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
Gonorio Citino	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
能在 土力州 の知上	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0	
r oreemar quantree	倫理観	Ethical Sense		0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibilit	у		
	生涯学習力	Lifelong Learning		0	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

データサイエンスについて説明できる. データサイエンスに関連する情報倫理とその問題について説明できる. データ分析のためのデータ取得・管理方法について説明できる. データ分析の基礎(ヒストグラム・箱ひげ図・平均値・分散・散布図・相関係数・回帰直線)について説明できる. データサイエンスの手法について列挙でき, それについて説明できる. コンピュータを用いてデータ分析ができる. データサイエンスの応用事例について列挙できる. 講義に参加できる. 問題解決のために自ら行動することができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは研究室(653)にて受け付ける. オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.

また、クラスルームを開設するので、講義に関する連絡はクラスルームで行う。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること(毎時間)

教科書 Textbooks								
書名 Title	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
データサイエンス入門	竹村彰通 他	学術図書出版	978-4-7806-0730-7					
	参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
必要に応じて資料を配布する.								
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation								

|講義内演習・レポート課題(20%), プレゼンテーション(40%), 定期試験(40%)をもとに総合的に判断する.

授業計画 Course Schedule							
テーマ Theme							
	講義ガイダンス						
第1回	事前学習 シラバスを通読し、受講理由を明確にする.(2h)						
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	データサイエンスの役割						
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.1-13)を通読する. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	データサイエンスと情報倫理						
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.14-33)を通読する. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	データ分析のためのデータの取得と管理						
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.34-43)を通読する. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	データ分析の基礎 ヒストグラム・箱ひげ図・平均値と分散						
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.45-55)を通読する. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	データ分析の基礎 散布図と相関係数						
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.56-61)を通読する. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
hts	データ分析の基礎 回帰直線						
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.62-80)を通読する. (2h) 事後学習 (水で学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する (2h)						
	(内容・時間) (
## a	データサイエンスの手法 クロス集計・回帰分析						
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.81-89)を通読する. (2h) 事終学習						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						

	データサイエンスの手法 ベイズ推論・アソシエーション分析・クラスタリング
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.90-98)を通読する. (2h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)
	データサイエンスの手法 決定木・ニューラルネットワーク・機械学習とAI
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.99-112)を通読する. (2h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)
	データサイエンスの応用事例
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.160-216)を通読する. (2h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)
	データ分析演習 (1)
第12回	事前学習 (内容・時間) 第11回までを復習する. (2h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)
	データ分析演習 (2)
第13回	事前学習 (内容・時間) 第11回までを復習する. (2h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)
	データ分析発表
第14回	事前学習 データ分析演習の内容を整理し、プレゼンテーションの準備をする. (2h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)
	まとめ
第15回	事前学習 第14回までを復習する. (2h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)
第16回	定期試験を実施する
	,

ナンバリング (Numb							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
スタディ・スキル		224~	- 1年生•前期		2単位	必修	担当教員
コミュニケーションと自己発見 I		~223		2年位	北門	クラス担任教員	
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条 Course Prerequi		②入学前学習 ③入学後のフ ※禁止事項:)ため、1年生は必ず原理をすでに提出済みで 関をすでに提出済みで パレテストを受験してい 不必要な私語。正当な 指定する事項。	あること。	L 0	び許可	のない入退室。携帯電話の

大学での学習は、自分で課題を設定したうえで、資料やインターネット等を駆使して、あるいは実地に赴いて調査し、客観的・論理的なレポートを作成し、他者に理解してもらうように発表(プレゼンテーション)する、といった汎用的で統合的な技能や思考力を必要とします。この授業では、1年生の皆さんが大学での学習を支障なく進めることができるように、「読み・書き・話す」に関わる基本的な技能を学んで、修得することを目的とします。したがって学生には課題が出されますので、それに従ってレポートを実際に作成し、発表していただくことになります。この授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「I 建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「II 社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」「IV 主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得させること。」に則り行われるものです。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0		
カロの社会の知よ	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy	0		
	自己管理力	Self-management			
お中 ナウ州の知上	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 or oon at Quantito	倫理観	Ethical Sense	0		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	0		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

本講義の目標は以下のとおりです。

- ①学術書・専門書、インターネットなどを利用して論点を調べて自ら課題を設定し、結論を導き出すことができる。
- ②論理的・客観的なレポートを作成できる。
- ③他者を理解させるために、PowerPointやレジュメを作成、駆使できる。
- ④討論では、他者を尊重するとともに、自分の意見を積極的に発言できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

クラス別授業では、学生による発表や討論、担当教員による個別指導の機会を設けます。 毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は担当教員の研究室およびGoogleクラスルーム・メールにて随時受け付けます。 提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|学習の確認:ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks								
書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN								
プリントを配布する。								
	参考文献 Referer	ice Books						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
天学学びのことはじめ 入門ゼミナール スタディスキルズ・トレーニング	佐藤·矢島·山本 大江·黒崎·田中 吉原·間淵·冨江·小針	ナカニシヤ出版 学文社 実教出版						
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation								

成績評価の方法:試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ(事前学習と事後学習)の提出、ルーブリックの提出、課題の提出)。

成績評価の基準:「到達目標」に同じ。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	授業の方針、授業を受ける姿勢 大学4年間における履修についての考え方(坂上)
第1回	事前学習 (内容・時間) ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	事後学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	ノートの取り方、学術書・専門書の読み方(鈴木)
第2回	事前学習 (内容・時間) ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	事後学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	図書館の利用法(図書館)
第3回	事前学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	インターネットで情報を検索してみよう①(中島)
第4回	事前学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	事後学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	インターネットで情報を検索してみよう①(宮崎)
第5回	事前学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	事後学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	レポートの書き方①(平田)
第6回	事前学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	事後学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	レポートの書き方②(平田)
第7回	事前学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	事後学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	レポートの書き方③(平田)
第8回	事前学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)
	事後学習 ポートフォリオの所定の質問に回答してください。(2時間)

ナンバリング (Numbering)						
1GCN-5590-12C						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
コミュニケーションと自己発見 II(再)	~223	1年生・後期		2単位	必修	坂上 宏
オンライン授業 Online Class なし		スルームの利用 ogle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		しないでください。課 パスポートコンテス				組む姿勢が重要です。

この科目は本来、初年次学生向けの導入教育を目的としているが、再履修の学生はひと通り導入教育は済んでおり、また、その時期も過ぎているものとみなして、ITパスポート試験対策のための授業を行う。これは、本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」に基づくものである。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty

with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience					
該当しない							
授業を通して修得できる力 Competency Goals							
知識·理解の観点	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Cu		;				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature						
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル	Mathematics					
	情報リテラシー	Information Literacy					
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力	Problem Solving O					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy					
	自己管理力	Self-management					
	チームワーク	Teamwork					
	リーダーシップ	Leadership					
	倫理観	Ethical Sense					
	市民としての社会的責任	Social Responsibility					
	生涯学習力	Lifelong Learning	0				
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience					
	創造的思考力	Creative Thinking Skills					

到達目標 Objectives

上記の通り、本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」を到達目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回、過去問題に取り組みます。分からなかったり、間違った問題については、事前・事後学習で再度あたってみる姿勢が望まれます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

363研究室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

|学内模試「ITパスポートコンテスト」を必ず受験してください。 |学習の確認・ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して「授業内で

学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、授業内で指定された期日までに提出してください。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
配布資料						
参考文献 Reference Books						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
ITパスポート合格教本	岡嶋裕史	技術評論社				
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation						

・成績評価の方法:試験「ITパスポートコンテスト」(90%)、平常点(ポートフォリオ・ルーブリックの提出状況、授業における姿勢など)

・成績評価の基準:本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	授業ガイダンス / 資料(1)の問題に取り組む
第1回	事前学習 資料(1)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 資料(1)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	資料(2)の問題に取り組む
第2回	事前学習 (内容・時間) 資料(2)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 資料(2)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	資料(3)の問題に取り組む
第3回	事前学習 (内容・時間) 資料(3)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 資料(3)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	資料(4)の問題に取り組む
第4回	事前学習 資料(4)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 資料(4)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	資料(5)の問題に取り組む
第5回	事前学習 _(内容・時間) 資料(5)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 資料(5)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	資料(6)の問題に取り組む
第6回	事前学習 (内容・時間) 資料(6)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 資料(6)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	資料(7)の問題に取り組む
第7回	事前学習 _(内容・時間) 資料(7)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 資料(7)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	資料(8)の問題に取り組む
第8回	事前学習 資料(8)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 資料(8)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)

	資料(9)の[問題に取り組む
第9回	事前学習 (内容·時間)	資料(9)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容·時間)	資料(9)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	資料(10)の	問題に取り組む
第10回	事前学習 (内容·時間)	資料(10)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容·時間)	資料(10)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	資料(11)の	問題に取り組む
第11回	事前学習 (内容·時間)	資料(11)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容·時間)	資料(11)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	資料(12)の	問題に取り組む
第12回	事前学習 (内容·時間)	資料(12)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容·時間)	資料(12)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	 資料(13)の 	問題に取り組む
第13回	事前学習 (内容·時間)	資料(13)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容·時間)	資料(13)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	資料(14)の	問題に取り組む
第14回	事前学習 (内容·時間)	資料(14)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容·時間)	資料(14)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
	資料(15)の	問題に取り組む
第15回	事前学習 (内容·時間)	資料(15)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容·時間)	資料(15)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
		学内模試「ITパスポートコンテスト」 クならびにポートフォリオの作成と提出

ナンバリング (Numl	pering)]					
1GCN-6650-1	1E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学斯 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
ラーニングリテラシ (日本人学生)		224	1年生•前期		1単位	選択	安部 正俊
オンライン授業 Online Class	なし		スルームの利用 logle Classroom	あり			
履修の前提条 Course Prerequi		①4月に実施 ⁻ 員から特に履		果、この られた1)科目の履修を 年生、③その(を推奨さ	る者の履修を許可します。 れた日本人学生、②担当教
			授業概要 Course	e Outli	ne		

この授業では、日本人学生に対して、国語力の基本的な知識・技能を身につけることを目的に実施します。学力の向上に は、言葉を理解し、適切に使用する語彙力を高めることが必要です。そこで本授業では、漢字の読み書きについて習得し、 文章の中で適切に使えるようにすることを目指します。漢字学習を中心課題としながら、国語力(漢字能力、日本語表現力) の基礎的な能力とスキルの充実を図るとともに、学習習慣の定着を目指して取り組んでまいります。

なお、本授業は、本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」及びカリキュラムポ リシー「Ⅰ 建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「V 基礎学力・技能を確認・強化するこ と。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experienc	÷
該当しない			
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understandin	g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Natur	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0
7 E 44+4k A 58 F	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	
Goriorio Giano	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
	建学の精神	University Founding Philosophy	0
	自己管理力	Self-management	0
	チームワーク	Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
r orconar quanties	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

- ① 大学での授業を理解し知識や技能を習得していく上で、必要とされる基礎的な学力(主として漢字力)の充実を図る。
- ② 各自の漢字能力の向上と定着を図るために、漢字能力検定の合格を目指した課題学習に取り組む。
- ③ 授業及び自宅での課題に積極的に取り組むことを通して、意欲的に学習する習慣と態度を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業そのものは、漢字力の向上のための反復学習が中心となります。自身の弱点を見極め、日常的にその克服に向けた 学習の習慣を築くことが非常に大切です。そのため、授業での課題を契機として、地道にそして主体的に自らの欠点を改善 してほしいと願っています。また、漢字能力検定に関する問題集等を自ら購入し、主体的に取り組むことが重要です。「自学 自習」の姿勢こそが、漢字力をはじめとする自らの国語力を向上させる上で欠かせない要素です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員にメールをするか、授業終了後に声をかけてください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

Google Classroomを活用します。

漢字能力検定の目標級の取得を目指して取り組みます。

本学で実施される検定試験は必ず受験してください。

授業では、ポートフォリオ&ルーブリックに必要事項を記入し、指定する日時までに提出してください。

	教科書 Textb	oooks	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
改訂三版 漢検分野別問題集3級	公益財団法人 日本漢字能力検定協会	公益財団法人 日本漢字能力検定協会	978-4890964833
	参考文献 Referen	ice Books	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
内閣告示「常用漢字表」(平成22年) 内閣告示「現代仮名遣い」 内閣告示「送り仮名の付け方」	文化庁		
=+4.4=		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

- ① 定期試験の結果(90%)
- ② 平常点(課題の提出、ポートフォリオ&ルーブリックの提出、その他)(10%)

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	授業ガイダンス、漢字能力検定の概要説明、練習問題と解説 :プリント①
第1回	事前学習 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom②
第2回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom③
第3回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom④
第4回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom⑤
第5回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom⑥
第6回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom⑦
第7回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom®
第8回	事前学習 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)

	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom⑨
第9回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom⑩
第10回	事前学習 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom①
第11回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom⑫
第12回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom®
第13回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom⑭
第14回	事前学習 (内容・時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom⑮
第15回	事前学習 (内容・時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第16回 (定期試験)	定期試験、ポートフォリオ&ルーブリック作成等

ナンバリング(Numb	ering)]					
1GCN-6650-11E	E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem	•	単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
ラーニングリテラシ (留学生)	/ —	224	1年生•前期		1単位	選択	進藤康子
オンライン授業 Online Class	なし		スルームの利用 ogle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequis	-	月に実施する	「プレテスト」の結果、	この科	目の履修を勧	奨された	5者の履修を許可します。①4 た者、②担当教員から特に ~4年生の履修は認めませ
			1꼭 게루 Tun 크트				

この授業では、日本人クラスと留学生クラスに分かれ、習熟度に応じた内容で学習を行います。漢字・日本語学習を中心に課題(自主学習を含む)に取り組みながら、国語力(漢字能力、日本語表現力)を中心に、基礎的な能力とスキルの充実と学習習慣の形成を図ります。授業は、反復学習や自宅での学習を軸に構成されていますので、自学自習の意欲に基づいた主体的な取り組みと継続的な課題の提出が毎回要求されます。

なお、本授業は、本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「 I 建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「 V 基礎学力・技能を確認・強化すること。」に則り行われるものです。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

with Work Experience Work Experience C		Class Contents Utilizing Work Experience	
該当しない			
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
 知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0
7 17 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0
GOTTOTTO STATE	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
	建学の精神	University Founding Philosophy	0
	自己管理力	Self-management	0
能由 土力州の知上	チームワーク	Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
, orconai duantico	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

- ①大学での授業を理解し知識や技能を習得していく上で、必要とされる基礎的な学力(漢字力・日本語力等)の充実を図る。 ②各自の漢字・日本語能力の向上と定着を図るために漢字能力検定・日本語能力検定の合格をめざした課題学習を取り組
- ③授業および自宅での課題に積極的に取り組むことを通して、意欲的に学習する習慣と態度を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業そのものは、漢字力・日本語力の向上のための反復学習が中心となります。自身の弱点を見きわめ、日常的にその克服に向けた学習の習慣を築くことが非常に大切です。そのため、授業での課題を契機として、地道にそして主体的に自らの欠点を改善してほしいと願っています。また、漢字能力検定・日本語能力検定に関連する参考書や問題集を自ら購入し、主体的に取り組んでほしいと願っています。「自学自習」の姿勢こそが、自らの漢字力・日本語力を向上させるうえで欠かせない要素です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業終了後に担当教員に声を掛けてください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

GoogleClassroomを活用します。

漢字能力検定・日本語能力検定の目標級の取得を目指して取り組みます。

本学で実施される検定試験は必ず受験してください。

学習の確認:ポートフォリオ&ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
(留学生クラス) 「漢検漢字学習 ステップ6級」改訂4版		日本漢字能力検定協会	978-4-89096-406-2
	参考文献 Referer	nce Books	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
漢字検定準2級頻出度順問題集(高橋書店) 日本語能力試験公式問題集N2(日本国際教育支援協会) その他多数			
成績記	平価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation	

- ①定期試験の結果(90%)
- ②平常点(課題の提出、ポートフォリオ&ルーブリックの提出、その他)(10%)

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	授業ガイダンス、漢字能力検定・日本語能力検定の概要説明、練習問題と解説 :プリント①
第1回	事前学習 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom②
第2回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説:プリントもしくはGoogleClassroom③
第3回	事前学習 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説:プリントもしくはGoogleClassroom④
第4回	事前学習 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説:プリントもしくはGoogleClassroom⑤
第5回	事前学習 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 : プリントもしくはGoogleClassroom⑥
第6回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogleClassroom⑦
第7回	事前学習 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogleClassroom®
第8回	事前学習 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)

	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogleClassroom⑨
第9回	事前学習 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説:プリントもしくはGoogleClassroom⑩
第10回	事前学習 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説:プリントもしくはGoogleClassroom①
第11回	事前学習 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説:プリントもしくはGoogleClassroom⑫
第12回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	練習問題と解説:プリントもしくはGoogleClassroom®
第13回	練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom (3) 事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
第13回	事前学習 配布プリントを予翌して 分からない占を明確にしておくこと (2時間)
第13回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間) 事後学習 不正答だった問題を中心に、配在プリントを復習すること (2時間)
第13回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間) 事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間) 事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間) 練習問題と解説 :プリントもしくはGoogleClassroom(4) 事前学習 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと (2時間)
	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間) 事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間) 練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom (4) 事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間) 事後学習 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
	事前学習 (内容・時間)配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)事後学習 (内容・時間)不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)練習問題と解説 :プリントもしくはGoogleClassroom(4)配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)事後学習 (内容・時間)不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第14回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間) 事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間) 練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom (4) 事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間) 事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間) 練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom (5) 事前学習 配布プリントを多習して、分からない点を明確にしておくこと (2時間)
第14回	事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間) 事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間) 練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom(4) 事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間) 事後学習 (内容・時間) 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間) 練習問題と解説 :プリントもしくはGoogle Classroom(5) 事前学習 (内容・時間) 配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間) 事後学習 不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること (2時間)

ナンバリング (Numbe								
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.I	授業担当者 Instructor	
キャリアデザイン [224~	1年生•前期		2単位	必修	大多 正人 鈴木 和也	
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using あり Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisi		①「社会基準」としてマナー(時間厳守、挨拶、筆記 ②講演者の話をしっかり聴き、メッセージの要諦を記						

経済産業省が提唱する「社会人基礎力」は、職場や地域社会での多様な人々との協働に必要な基本的な力を指し、それは「前に踏み出 |すカ」「考え抜くカ」「チームで働くカ」の3つの能力から成り立っています(12の能力要素含む)。この授業では、特に「主体性を発揮し、行 |動する」「課題発見力を養う」「傾聴力を養う」の能力要素に焦点を当て、クラス別のグループワークを通じて社会人と学生の違いを理解 し、実社会で求められる基礎力を学びます。外部資源を活用し、個々の学生が主体的に将来のキャリアを築くプロセスに重点を置きま す。担当教員のサポートを得ながら、自己の能力向上と成長を遂げ、将来の社会で要求される力を身に付けます。この講座では、ディプ ロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し、主体的に実践できる姿勢や社会人として必要な態度を身につけます。同時に、カリキュラ ムポリシー I とVIも取り組んでいます。様々なワークを通じて、学生は考え行動し、協働して成果を生み出す力を育て、「前に踏み出す 力」「考え抜くカ」「チームで働くカ」などの「社会人基礎力」を身につけます。学生は自分の将来を「キャリアデザイン」し、人間性を向上さ せることで、自分に合った進路を選ぶ力を養います。この講座は、知識だけでなく、自己管理や協力能力などの実践的なスキルを重視 し、学生が将来の目標に向けて主体的に動けるようサポートします。

> 実務経験内容 Work Experience Content

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験のある教員による科目 Subject

				4		
	す豊功はを業衛指精基の第4たが、第4年ので、第4年がでので、第4年がでので、第4年がでので、第4年がでので、第4年がで、第4年のので、第4年のでは、第4年のではのはのはのはのはのはのはのはのはのはのはのはのはのはのはのはのはのはのは	は、長年にわたり大学でキャリア教育と就 企業の人事採用コンサルタントとしても活 務経験を活かし、学生たちには実際のビジ 勢の洞察力や社会人基礎力を伝授してい。 1~第13回まで外部講師を招き、様々な視。 ちに提供します。大学・短期大学校でのキャ セラー、キャリアコンサルタント養成講座で 職場体験学習を通して社会人基礎力の構 職個県中小企業家同友会の共育委員会で び、経営者と社員が共に育つよい会社を目 労使教育に関わる経営者が授業を通じて、 識とスキルを身につけ、将来のキャリア形が せます。	動していまで、またいまでで、またが、またいので、いまでで、いいので、いいので、いいので、いいので、いいので、いいので、い	担当講師の講義では、「主体性を発揮し、行動する」「課題発う」「傾聴力を養う」といった社会人基礎力の能力要素に焦点います。クラス別のグループワークを通じて社会人と学生の実 解し、実社会で必要な基礎力を学びます。第4回〜第13回では等の外部講師を招いてオムニバスで実施され、学生たちにはなキャリアデザインの知識やスキルが提供されます。	を当てて 建いを理 は、企業	
		授業を通して修得できる	る力 Comp	petency Goals		
知識・理解の観点	į	多文化・異文化に関する知識の現	 理解	Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understa	anding	人類の文化・社会と自然に関する知識の理		Human Culture / Society / Nature	0	
		コミュニケーション・スキル Reading		/ Writing / Speaking / Listening	0	
N	_	数量的スキル Mathem		atics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	急	情報リテラシー	Informat	ion Literacy		
denone ciano		論理的思考力	Logical	Thinking / Creative Thinking	0	
		問題解決力	Problem	Solving	0	
		建学の精神 Univers		ty Founding Philosophy	0	
		自己管理力	Self-mai	Self-management		
생호 구수사 2년	F	チームワーク	Teamwo	0		
態度・志向性の観 Personal Qualitie		リーダーシップ	Leadersl	nip	0	
, or other squares	-	倫理観	Ethical S	Sense	0	
		市民としての社会的責任	Social R	esponsibility	0	
		生涯学習力	Lifelong	Learning	0	
統合的な学習経験と創造的		統合的な学習経験	Integrate	ed Learning Experience		
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills				tive Thinking Skills		

到達目標 Objectives

この講義では、クラス別のグループワークを通じて、社会人(成人)と学生との違いについて深く理解します。実社会で求められる社会人 基礎力(3つの能力・12の能力要素)を知り、『私の30年先のキャリアの土台を築くこと』を目指します。特にこの授業では、外部講師によ る講義とアクティブラーニングを交え、私が主体的となって求められるキャリアを探っていきます。クラス担当教員のサポートを受けなが ら、自らの能力を高め、成長することで社会で必要とされる力を身に付けていきます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

外部講師の講話の中で、あるいは講話を振り返るグループディスカッションにおいて、学生同士で考え方や価値観を共有する場が設けら れます。積極的に意見交換し、刺激を受け合いながら、自身の「キャリアデザインの解像度」を高めてくれることを期待しています。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー(外部講師)への相談は授業の前後にお願いします。 その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター(CDC)まで連絡ください。

> その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
必要に応じて資料配布							
	参考文献 Reference Bo	oks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
マイナビ2025オフィシャル就活BOOK 内定獲 得のメソッド 就職活動がまるごと分かる本(電子版)	岡 重信	マイナビ出版	978-4839983369				
成績	評価方法 Grading Criteria / Met	hod of Evaluation					

- ①遅刻・途中退席は原則認めない。
- ②テキスト・筆記具を持たない学生は受講できない。
- ③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。
- ④「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
- ⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。試験未受験者には単位付与しない。
- ⑥カードリーダーによる入室チェックと毎回提出する課題ワークシートで出席を確認し、その記載内容のレベルも平常点に反映する。
- ⑦成績評価の方法…平常点(80%)・定期試験(20%)
- ※平常点では、受講態度、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出、グループワーク活動状況を重視。
- ⑧定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

		授業計画 Course Schedule
		テーマ Theme
	オリエンテー	ション(受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します)
第1回	事前学習 (内容·時間)	事前にシラバスの内容(授業概要、到達目標、授業計画等)を確認しておく(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	オリエンテーションで伝えられた内容をノート等にまとめて、授業本番に備えておく。また、不明な点は質問できるように準備する。(2.0h)
	コミニュニケ	ーション① テーマ:仲間づくり
第2回		担任制による少人数クラス、または合同クラス講義の為、自己紹介の準備をします。大学生としての抱負を明確にしノート等にまとめておく。(2.0h)
	, , , ,	学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、大学生活において、大事なことを再確認しノート等にまとめておく。(2.0h)
	コミニュニケ	ーション② テーマ:協働ゲーム
第3回		担任制による少人数クラス、または合同クラス講義の為、自己紹介の準備をします。大学生としての抱負を明確にしノート等にまとめておく。(2.0h)
	T (A) D	学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、大学生活において、大事なことを再確認しノート等にまとめておく。(2.0h)
	外部講師に	よる講演 テーマ:大学生のキャリア創造
第4回	事前学習 (内容·時間)	大学における目標・進路のイメージなどを明確にしておく。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	学んだことをノートにまとめて整理し、自身の進路選択に反映させておく。(2.0h)
	アクティブラ・	ーニング(前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます)
第5回	事前学習 (内容·時間)	前回学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、課題ワークシートを完成させておく。(2.0h)
	外部講師に	よる講演 テーマ:社会人基礎力「挨拶編」
第6回	事前学習 (内容·時間)	社会人基礎力は、『前に踏み出す力』、『考え抜く力』、『チームで働く力』の3つの能力と12の能力要素から構成されています。この社会人基礎力を事前に確認しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	学んだことをノートにまとめて、第9回のディスカッションで伝えられるよう整理しておく。(2.0h)
	外部講師に	よる講演 テーマ:社会人基礎力「行動編」
第7回		社会人基礎力は、『前に踏み出す力』、『考え抜く力』、『チームで働く力』の3つの能力と12の能力要素から構成されています。この社会人基礎力を事前に確認しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	学んだことをノートにまとめて、第9回のディスカッションで伝えられるよう整理しておく。(2.0h)
	外部講師に	よる講演 テーマ:社会人基礎力「責任編」
第8回	事前学習 (内容·時間)	社会人基礎力は、『前に踏み出す力』、『考え抜く力』、『チームで働く力』の3つの能力と12の能力要素から構成されています。この社会人基礎力を事前に確認しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	学んだことをノートにまとめて、第9回のディスカッションで伝えられるよう整理しておく。(2.0h)

	アクティブラーニング(第6回~第8回の講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます)
第9回	事前学習 第6回~第8回で学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。(2.0h)
	事後学習 学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、課題ワークシートを完成させておく。(2.0h)
	自分を知る(オープニング) マイナビの適性診断テスト「MATCH PLUS」から自身の社会人基礎力を知ります
第10回	事前学習 就職情報サイト 「マイナビ」アプリをインストールして、事前に示された内容については必ず予習しておく。 (内容・時間) (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 適性診断テストの振り返りと課された課題について取り組んでおく。(2.0h)
	ゼロ 就職を知る(オープニング) マイナビ 第0回就職ガイダンスから自身のキャリアプランニングを考えます
第11回	事前学習 就職情報サイト 「マイナビ」アプリをインストールして、事前に示された内容については必ず予習しておく。 (内容・時間) (2.0h)
	事後学習 学んだことをノートにまとめて、第14回総括 ~大学生活を充実させるために で伝えられるよう整理しておく。 (内容・時間) (2.0h)
	経営者による講演 テーマ:グリット(やり抜くカ)を持つ人
第12回	事前学習 (内容・時間) ゲストスピーカーの経歴やその企業の事業活動について事前調査する。(2.0h)
	事後学習 学んだことをノートにまとめて整理し、自身の職業観を磨くことやテーマの再現性に反映させる。(2.0h)
	アクティブラーニング(前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます)
第13回	事前学習 前回学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、課題ワークシートを完成させる。(2.0h)
	総括 ~大学生活を充実するために(講義、行動計画作成など体験型ワーク、課題・レポート作成を行います)
第14回	事前学習 (内容・時間) テキストの授業内容に該当する箇所を事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 ポートフォリオを完成させ。自身の大学生活を充実させる行動計画を立て、4年先の卒業後の進路選択のイ (内容・時間) メージを具体化する(2.0h)
	総括 ~キャリデザインⅡ(後期授業)に向けて
第15回	事前学習 4年後の進路を考え、私の進路を実現するために必要な知識・技術について検討する。さらには各科目のシラ (内容・時間) バスを確認し、今後の科目で得られる知識を調べておく。(2.0h)
	事後学習 4年後の私の進路を実現するために必要な履修計画を立てて、履修する科目で得られることを確認しておく。 (内容・時間) (2.0h)
第16回 (定期試験)	定期試験の実施

ナンバリング (Numbe							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
キャリアデザイン	I	224~	1年生・後期		2単位	必修	大多 正人 鈴木 和也
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisi	【ノ)譲油者(ノ)詰をしつかり腮さ メッヤーン(の要諦を	書きとる習慣を	身につけ	

この講義では、クラス別でグループワーク等を通して社会で求められる様々な能力や資質を修得するために、以下の7つのステップを通じて自己成長を促します。まず、自分を肯定し、「これでいいのだ」という自覚を持つことから始めます。次に、自分らしさを知り、「私の強みは〇〇だ」と明確に認識します。さらに、社会を知り、「仕事は、大人は、面白い」という視点を身につけます。社会で必要な資質を磨くために、コミュニケーションスキルなどの汎用的技能を向上させます。卒業後のイメージを描くと同時に、その目標に向けて今から取り組むべきことを具体的に明確にします。最後に、毎日を充実させるために行動を起こし、「やるなら、今」の意識を持ちます。これらのステップを通じて、学生は知識・理解を深め、幅広いスキルを身につけ、将来への準備を進めます。この講座では、ディプロマポリシー田を目指し、建学の精神を理解し、主体的に実践できる姿勢や社会人として必要な態度を身につけます。同時に、カリキュラムポリシー I とVIも取り組んでいます。様々なワークを通じて、学生は考え行動し、協働して成果を生み出す力を育て、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけます。学生は自分の将来を「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、自分に合った進路を選ぶ力を養います。この講座は、知識だけでなく、自己管理や協力能力などの実践的なスキルを重視し、学生が将来の目標に向けて主体的に動けるようサポートします。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目 Subject

Taught by The Faculty with Work Experience

	<u>'</u>						
事する傍事ます。傍事ま境 第4回 該当 該当 で共 変 表 共 共 に 育 つ。 共 に 育 つ。	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従 再する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動してい ます。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス 環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授していま で、第4回〜第5回は、企業等の外部講師を招いてオムニバス で実施する授業です。担任講師は、福岡県中小企業家同友会 共育委員会に属し、「労使見解の精神を学び、経営者と社員が まに育つよい会社を目指す」理念のもと、多岐に渡り従業員研 多等で指導を行っております。						
授業を通して修得できる力 Competency Goals							
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識の	理解 Multiple Culture / Different Culture					
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に関する	る知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0				
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0				
	数量的スキル	Mathematics					
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy					
donone drains	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0				
	問題解決力	Problem Solving	0				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0				
	自己管理力	Self-management	0				
45 -	チームワーク	Teamwork	0				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0				
1 oroonar Quantico	倫理観	Ethical Sense	0				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0				
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creativ	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience					
Thinking Skills	。 創造的思考力	Creative Thinking Skills					

到達目標 Objectives

社会で必要になる以下の様々な能力・資質の修得を目指して、イメージし、感じ、行動することを通じて、社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めます。

- (1)自分を肯定する~「これでいいのだ」
- (2)自分らしさを知る~「私の強みは〇〇だ」
- (3)社会を知る~「仕事は、大人は、面白い」
- (4)社会で必要となる資質を磨く~「コミュニケーションってこういうことか」
- (5)卒業後のイメージを具体的に描く~「10年後はこうありたい」
- (6)そのために今から取り組むべきことを明確にする~「ここからはじめよう」
- (7)毎日を充実させるためのアクションを起こす~「やるなら、今」

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を実施していきます。グループワークの機会も予定しています。積極的にコミュニケーションを図り、周囲に働きかけることを期待します。各回の課題としてワークシートの作成・提出が求められます。「気づいたいこと・発見したこと」「今後どう活かしたいか」などの記入を通して 授業をリフレクションします。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー(外部講師)への相談は授業の前後にお願いします。 その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター(CDC)まで連絡ください。

> その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks									
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
「キャリアデザインⅡ」 テキスト・ワークブック (専用テキスト)	大多正人	九州情報大学作成							
参考文献 Reference Books									
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
教科書」	①池上 彰 ②藤尾秀昭(監修) ③岡 重信	①学研プラス ②致知出版社 ③マイナビ出版	①978-4052051715 ②978-4800912473 ③978-4839983369						
FICE STATE OF THE PROPERTY OF	结证価方法 Grading Criteria /	Method of Evaluation							

- ①遅刻・途中退席は原則認めない。
- ②テキスト・筆記具を持たない学生は受講できない。
- ③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。
- ④「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
- |⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。試験未受験者には単位付与しない。
- ⑥カードリーダーによる入室チェックと毎回提出する課題ワークシートで出席を確認し、その記載内容のレベルも平常点に反映する。
- (7)成績評価の方法…平常点(80%)・定期試験(20%)
- |※平常点では、受講態度、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出、グループワーク活動状況を重視。
- 8定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション(受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します)
第1回	事前学習 テキストを準備し、一通り目を通しておく。大学生活をどう充実させるか、卒業後の進路選択をどうするのか、自分なり のイメージを描いておく。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。(2.0h)
	自分を知る① 卒業後の未来をイメージしてみる(講義、キャリアアンカーの体験型ワーク、課題・レポート作成を行います)
第2回	事前学習 (内容・時間) テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)
	自分を知る② キャリアを考えるうえで大切にしたいこと(講義、キャリアをイメージする体験型ワーク、課題・レポート作成を行います)
第3回	事前学習 (内容・時間) テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)
	経営者による講演 テーマ:今の時代をどのようにして生き抜くのか
第4回	事前学習 ゲストスピーカーの経歴やその企業の事業活動について事前調査する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 学んだことをノートにまとめて整理し、自身の職業観を磨くことやテーマの再現性に反映させる。(2.0h)
	アクティブラーニング(前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます)
第5回	事前学習 前回学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)
	自分を知る③ 自分らしさについて(講義、自分マッピングなど体験型ワーク、課題・レポート作成を行います)
第6回	事前学習 (内容・時間) テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)
	自分を知る④ 社会人基礎力(講義、社会人基礎力の体験型ワーク、課題・レポート作成を行います)
第7回	事前学習 テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)
	自分を知る⑤ ストレスマネジメント(講義、ストレスマネジメントの体験型ワーク、課題・レポート作成を行います)
第8回	事前学習 (内容・時間) テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)

	社会を知る①)働くってどういうこと?(講義、働くことの意味の体験型ワーク、課題・レポート作成を行います)
第9回	事前学習 (内容·時間)	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)
	社会を知る②)社会人訪問のすすめ(講義、社会人訪問の体験型ワーク、課題・レポート作成を行います)
第10回	事前学習 (内容·時間)	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)
	社会を知る③)社会が求める人材(講義、人材採用の体験型ワーク、課題・レポート作成を行います)
第11回	事前学習 (内容·時間)	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)
	社会を知る④)学生と社会人の違い(講義、ビジネスマナーの体験型ワーク、課題・レポート作成を行います)
第12回	事前学習 (内容·時間)	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)
	社会を知る⑤) ワークルール(講義、事例に基づく体験型ワーク、課題・レポート作成を行います)
第13回	事前学習 (内容·時間)	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)
	ロールモデル	を探す~先輩に学ぶ就職活動の心構え(講義、先輩への質疑応答、課題・レポート作成を行います)。
第14回	事前学習 (内容·時間)	先輩ゲストスピーカーの就職活動体験やその企業の事業活動について事前調査する。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	学んだことをノートにまとめて整理し、自身の就職活動を準備する。(2.0h)
	総括 ~大学	生活を充実させるために(講義、行動計画作成など体験型ワーク、課題・レポート作成を行います)
第15回	事前学習 (内容·時間)	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	ポートフォリオを完成させ、自身の大学生活を充実させる行動計画を立て、卒業後の進路選択のイメージを具体化する。(2.0h)
第16回(定期試験)	定期試験の乳	E施

ナンバリング (Numbe	ring)						
1GCN-6680-X2E							
科目名Class	科目名Class		開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 必・選 Credit Comp. / Opt.1 Instructor		
インターンシップ実習	習	224~	1⋅2年生・通年		2単位	選択	合田 和正
オンライン授業 Online Class	あり	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisit		・学生が参加するインターンシップが適切かどうか、担当教員が判断する。※定員人数有・学生は、インターンシップに参加する前に担当教員の承認を得ること。 ・事業先は大学が指定する企業或いは、学生自らが選び、担当講師から承認を得られた事業先とす。 ※大学での学研災付帯賠償責任保険加入手続きが必要である。					

この授業では、夏季休業期間中(8/8~9/23)の3日~7日程度、大学指定する企業・事業所、或いは学生自ら選び、担当講師から承認を得られた企業・事業所等で実践的なインターンシップを通じて、民間企業などの多様で積極的な就労体験や実務経験を積むことが求められます。この実践的な教育により、大学内の理論だけでは得られない実社会への興味や関心を高め、キャリア教育の重要性を理解します。学生たちは学習意欲や就業意欲を向上させつつ、今後の進路選択や就職活動に活かすことが期待されています。この期間を通じて得た経験は、単なる職場体験だけでなく、将来の職業選択やキャリア形成において有益な知見を提供し、学生たちの成長に寄与します。授業の目的は、単なる学問だけでなく、実際の職場環境での学びを通じて、学生たちがより充実した大学生活を送り、将来の社会で活躍するための基盤を築くことにあります。この1年間の授業はディプロマポリシーⅢに向け、カリキュラムポリシー I 及びⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を修得し、自己成長を遂げます。

実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

0

0

実務経験内容

Work Experience Content

統合的な学習経験

創造的思考力

実務経験のある教員による科目 Subject

統合的な学習経験と創造的思考力

tegrated Learning Experience and Creati

Thinking Skills

with Work Experience		Work Experience Content		Olass Contents Othizing Work Experience	
該当しない					
		授業を通して修得で	できる力(Competency Goals	
知識・理解の観点	点	多文化・異文化に関する知識の	の理解	Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Underst	tanding	人類の文化・社会と自然に関す	ける知識の	理解 Human Culture / Society / Nature	0
			Reading	/ Writing / Speaking / Listening	0
7 8 44 44 6 49 5		数量的スキル	Mathem		
汎用的技能の観 Generic Skills	点	情報リテラシー	Information Literacy		
donorio okino		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
		問題解決力	Problem Solving		
		建学の精神	Universi	ty Founding Philosophy	0
		自己管理力	Self-ma	nagement	0
45 1 11 - 60		チームワーク	Teamwo	rk	0
態度・志向性の観 Personal Qualitie		リーダーシップ	Leaders	hip	0
i oroonal Guando		倫理観	Ethical S	Sense	0
		市民としての社会的責任	Social R	esponsibility	0
		生涯学習力	Lifelong	Learning	0

Integrated Learning Experience

Creative Thinking Skills

到達目標 Objectives

夏季休業(8/8~9/23)にインターンシップを積極的に活用し、将来のキャリアにおいて不可欠な要素を手に入れることです。インターンシップを通じて、職場での実務経験を積み重ね、専門知識を獲得し、プロフェッショナルなスキルを発展させることで、将来の就職活動やキャリアの成功に向けた準備を低学年で達成します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

このインターンシップに参加することは、大学で学ぶ理論だけでなく実践的なスキルを身につける絶好の機会です。この主体的な学びのプロセスでは、学生は教室の枠を越えて実際の職場環境で主体的かつ積極的に学び、経験を得ることが期待されます。インターンシップを通じて、学生は企業や組織の日常業務に参加し、リアルな業務体験を通して専門知識や実践的なスキルを向上させます。これにより、抽象的な理論だけでなく、実際の業務において必要な能力や洞察を養うことができます。また、異なる環境でのコミュニケーションや問題解決などのスキルも発展させ、職場での実践的な課題に主体的かつ創造的に取り組む力を培います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者への相談は授業の前後にお願いします。

その他、インターンシップ実習に関する相談は随時「キャリアデザインセンター(CDC)まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

|学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks								
著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
参考文献 Reference Books								
著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
①東洋経済新報社(編著) ②東洋経済新報社(編著) ③東洋経済新報社(編著) ④岡 茂信	①東洋経済新報社 ②東洋経済新報社 ③東洋経済新報社 ④マイナビ出版	①978-4492974377 ②978-4492973332 ③978-4492971390 ④978-4839983307						
	著者名 Author	著者名 Author 出版社 Publisher 参考文献 Reference Books 著者名 Author 出版社 Publisher ①東洋経済新報社(編著) ①東洋経済新報社 ②東洋経済新報社(編著) ②東洋経済新報社 ③東洋経済新報社(編著) ③東洋経済新報社 ③東洋経済新報社(編著) ③東洋経済新報社						

- ・実習先事業所からの評価なども含め総合的に評価して100点満点とする。
- ・履修登録をした上で、「事前指導」「夏季実習(インターンシップ)」「中間報告会」「事後指導」「成果報告会」のプロセスを踏むことを前提とする。 ・提出書類が期限までに出ない、または不備を改善する意欲がない、担当講師や事業所の指導・教育担当者からの指導を聞き入れない場合は 失格として、職場実習を中止する。
- ・成果報告会での口頭発表(およそ10%)、「インターンシップ実習簿」、「インターンシップ目標管理シート」の各書類(およそ40%)、実習先事業所からの評価(およそ50%)
- ※実習先での勤務評価は、実習簿の指導担当者の初見、担当講師、就職対策委員、就職課による企業・事業所への訪問、聞き取り内容より評価する。

		授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme					
	オリエンテー	ション 履修条件や成績判定についての説明、インターンシップについての説明			
第1回	事前学習 (内容·時間)	事前にシラバスの内容(授業概要、到達目標、授業計画等)を確認しておく(0.5h)			
	事後学習 (内容·時間)	オリエンテーションで伝えられた内容をノート等にまとめて、授業本番に備えておく。また、不明な点は質問できるように 準備する。(0.5h)			
	事前指導①	インターンシップ目標管理シートを作成・提出する			
第2回	事前学習 (内容·時間)	インターンシップに必要な基礎知識を調べ、自分のノートに整理しておく。(0.5h)			
	事後学習 (内容·時間)	授業内容を振り返り、新たに資料を調べ、自分のノートに整理すること。(0.5h)			
	事前指導②	企業を選ぶ、エントリーシートを作成する			
第3回	事前学習 (内容·時間)	夏季実習(インターンシップ)の事業所を調べ、自分のノートに整理しておく。(0.5h)			
	事後学習 (内容·時間)	授業内容を振り返り、新たに資料を調べ、自分のノートに整理すること。(0.5h)			
	事前指導③	インターンシップの心構え(礼儀作法、相応しい服装・容姿、所作を学ぶ)			
第4回	事削字省 (内容・時 間)	インターンシップに必要な社会人基礎力を調べ、ノートに整理しておく。(0.5h)			
	事後学習 (内容·時間)	授業内容を振り返り、新たに資料を調べ、自分のノートに整理すること。(0.5h)			
	夏季実習(イ	ンターンシップ)①			
第5回	事前学習 (内容·時間)	実習簿を準備する。(0.5h)			
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)			
	夏季実習(イ	ンターンシップ)②			
第6回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)			
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)			
	夏季実習(イ	ンターンシップ)③			
第7回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)			
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)			
	夏季実習(イ	ンターンシップ)④			
第8回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)			
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)			
	夏季実習(イ	ンターンシップ)⑤			
第9回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)			
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)			

	夏季実習(イ)	ンターンシップ)⑥				
第10回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)				
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)				
	夏季実習(イ	ンターンシップ) ⑦				
第11回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)				
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)				
	夏季実習(イ)	ンターンシップ) ⑧				
第12回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)				
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)				
	夏季実習(イ)	ンターンシップ) ⑨				
第13回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)				
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)				
	夏季実習(イ	ンターンシップ) ⑩				
第14回	事前学習 (内容·時間)					
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)				
	夏季実習(イ	ンターンシップ) ⑪				
第15回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)				
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)				
	夏季実習(イ	ンターンシップ) ⑫				
第16回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)				
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)				
	オリエンテーション 中間報告会					
第17回	事前学習 (内容·時間)	夏季実習(インターンシップ)⑪までの実習内容を実習簿で振り返り、ノート等にまとめておく。(0.5h)				
	事後学習 (内容·時間)	中間報告会で修正した目標設定を実習簿に記述しておく。(0.5h)				
	夏季実習(インターンシップ)(3)					
第18回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)				
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)				

	夏季実習(イ	ンターンシップ) ⑭
第19回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)
	夏季実習(イ	ンターンシップ) ⑮
第20回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)
	夏季実習(イ	ンターンシップ) (値)
第21回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)
	夏季実習(イ	ンターンシップ) ⑪
第22回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)
	夏季実習(イ	ンターンシップ) (18)
第23回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)
	夏季実習(イ	ンターンシップ) ⑲
第24回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)
	夏季実習(イ	ンターンシップ) ⑩
第25回	事前学習 (内容·時間)	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	当日の実習簿をまとめておく。(0.5h)
	事後指導①	成果報告会に向けた準備 実習簿をまとめる
第26回	事前学習 (内容·時間)	実習簿を整理してノート等にまとめておく。(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	成果報告のフォーマットを準備しておく(0.5h) ※報告会はパワーポイント、エクセル、ワードを使用
	事後指導②	成果報告会に向けた準備 成果報告資料を作る
第27回	事前学習 (内容·時間)	成果報告の内容をまとめておく。(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	成果報告の資料を完成しておく。(0.5h)

	成果報告会① 実習生10名の発表とフィードバック
第28回	事前学習 (内容・時間) 成果報告の発表準備をしておく。(0.5h)
	事後学習 評価者のフィードバックを整理してまとめておく。(0.5h)
	成果報告会② 実習生10名の発表とフィードバック
第29回	事前学習 成果報告の発表準備をしておく。(0.5h)
	事後学習 評価者のフィードバックを整理してまとめておく。(0.5h)
	インターンシップ実習総括
第30回	事前学習 今回のインターンシップ実習で学んだ事柄を、今後どのようにして活かすのか考える。(0.5h)
	事後学習 今後のインターンシップに参加して、自身の就職活動に繋げる(0.5h)
第31回(定期試験)	実習先事業所からの評価なども含め総合的に評価して100点満点とする。 ・成果報告会での口頭発表(およそ10%) ・「インターンシップ実習簿」、「インターンシップ目標管理シート」の各書類(およそ50%) ・実習先での勤務評価(およそ40%) ※実習先での勤務評価は、実習簿の指導担当者の初見、担当講師、就職対策委員、就職課による企業・事業所への訪問、 聞き取り内容より評価する。

ナンバリング (Numbering)
1GCN-5310-22E
科目名 Class

科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Seme		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor	
	キャリアデザインⅢ		224~	2年生·前期		2単位	選択	+2 71
	キャリアデザイン入門 I		~223	24王•前朔		2年位	必修	大多 正人
	オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			

履修の前提条件 Course Prerequisites

実務経験のある教員による科目 Subject

①「社会基準」としてマナー(時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など)を実践できること。 ②実践的なアプローチ(グループワークなど)において能動的に取り組めること。

実務経験をいかした教育内容

授業概要 Course Outline

就職活動の成功の鍵は、ルールと流れを徹底的に理解し、自己整理と企業が求める人物像を把握することにあります。自身の能力(仕事におけ るスキル)、興味(やりたい仕事)、価値観(譲れない条件)を考慮に入れ、キャリアの方向性を明確にし、雄気堂々とした態度で就職活動に臨む準 備を整えます。希望する業界・企業を絞り込み、事前に研究を行います。同時に、自己分析を通じて履歴書やエントリーシートをしっかりと準備し、 アピールポイントを明確に示します。これにより、自分の強みを最大限に引き出し、企業に対して自信をもってアプローチすることが可能となります。自己分析と企業研究の徹底的な実践を通じて、充実した就職活動を展開し、理想のキャリアを築く一歩を踏み出します。この講座では、「社会 基準」を大切にし、ディプロマポリシー皿を目指します。建学の精神を理解し、自ら進んで実践する姿勢や、社会人として必要な態度・志向性を身 につけることが目標です。同時に、カリキュラムポリシー I (建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと)とカリキュラムポ リシーVI(キャリア開発の技術を培い、将来の進路に備えること)にも取り組みます。特に、2年生の皆さんには、将来の就職に備えて、社会基準に 則った授業で、実践的なスキルや適切な態度を身につけ、職場での成功につなげましょう。

実務経験内容

Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience	Class Contents Utilizing Work Experience			
援もに会第れに会第れて養まや会生	当講師は、長年にわたり大学でキャリア教に従事する傍ら、企業の人事採用コンサリ 活動しています。豊富な実務経験を活かし ま実際のビジネス環境で成功するための 人基礎力を伝授しています。この授業では 5回にかけて外部講師を招いてオムニバス ます。この外部講師は、大学・短期大学校 改講師や産まかウンセラー、キャリア指導に す。講師的は実務の視点から学生たちに キャリア形成に関するアドバイスを提供し、 人基礎力の向上をサポートしています。こ たちは将来の進路において自己の強みを できるようになります。	レタントとして、学生たちが将来の進路に向けて的確な、学生たち洞察力や社、第40~ は事前研究を行う一方で、自己分析を通じて履歴書やエントリーは、第40~ にのキャリンサルタントに使用して大きを置いています。これにより、学生たちは自身の可能に引き出し、企業へのアプローチに自信を持つことができます。とは事しています。これにより、学生たちは自身の可能に引き出し、企業のアプローチに自信を持つことができます。というできませましています。また、第5回にかけての授業では、外部講師を招いてオムニバス形式を実践的な知識ます。このアプローチを通じた、学生たちは大学教育では得られたしより、学生によっによる数が、第一次により、学生によっによります。これでは一般により、学生によっによります。	込み、 人の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大			
	授業を通して修得	できる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識	の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understand	ding 人類の文化・社会と自然に関	する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0			
77日45十七八年上	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
Gonone Chine	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0			
	問題解決力	Problem Solving	0			
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management	0			
왕帝 구수싸조되다	チームワーク	Teamwork	0			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0			
i oroonar quantioo	倫理観	Ethical Sense	0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考 Integrated Learning Experience and		Integrated Learning Experience				
Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

- 1)就職活動の実像を知り、疑問や不安を解消する。具体的には、
- ①就職活動のルールと流れを知る
- ②マナーや心構えをつくる
- ③すべきことを明確にする
- (2)実戦的なワークやアクティビティを通して、「雄気堂々」本番に臨めるように準備する。具体的には、
- ④希望する業界・企業を絞り、事前に研究する
- ⑤自己分析を通して履歴書・エントリーシートを準備する
- ⑥グループディスカッションや面接の対策をする

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

就職活動はすべてが「アクティブ」です。自己分析や履歴書・エントリーシートの作成では、自分自身の「強み・改善点」「学生生活で得たもの」「志 望動機」「ビジョン」などを整理し、わかりやすく自己表現することが必要です。また、面接では、それらを全身でアピールすることが求められます。 さらに、グループディスカッションでは、意見交換を通して、異なる見解や対立を乗り越えながら集団で意思決定しなければなりません。授業では皆 さんがこれから遭遇するだろうと思われる場面を極力「リアルに再現」して、実戦的なトレーニングを行います。本番で「後悔しない」よう、積極的に 取り組むことを期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー(外部講師)への相談は授業の前後にお願いします。 その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター(CDC)まで連絡ください。

> その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code					
「キャリアデザインⅢ」 テキスト・ワークブック (専用テキスト)	大多正人	九州情報大学作成						
	参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
①マイナビ2024 オフィシャル就活BOOK 内定獲得のメソッド 業界&職種研究ガイド(電子版) ②マイナビ2025 オフィシャル就活BOOK 内定獲得のメソッド 自己分析 適職へ導く書き込み式ワークシート(電子版)		①マイナビ出版 ②マイナビ出版	①978-4839980061 ②978-4839983260					

- ①遅刻・途中退席は原則認めない。
- ②テキスト・筆記具を持たない学生は受講できない。
- ③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。 ④「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
- ⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。試験未受験者には単位付与しない。
- ⑥カードリーダーによる入室チェックと毎回提出する課題ワークシートで出席を確認し、その記載内容のレベルも平常点に反映する。
- ⑦成績評価の方法…平常点(80%)・定期試験(20%)
- ※平常点では、受講態度、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出、グループワーク活動状況を重視。
- ⑧定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

	授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme				
	オリエンテーション(「就職活動はなんのため?」「どうすればいいのか?」について説明します)				
第1回	事前学習 テキストを準備し、一通り目を通しておく。1年次の必修科目「キャリアデザイン I 」及び「キャリアデザイン I 」及び「キャリアデザイン I 」 (履修者のみ)を振り返り、自分なりの職業観について考えを整理しておく。(2.0h)				
	事後学習 (内容・時間) ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。(2.0h)				
	就活を知る① 就職活動の全体像(講義、ワーク、課題・レポートを作成します)				
第2回	事前学習 (内容・時間) テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。(2.0h)				
	事後学習 (内容・時間) テキストを見直して理解を深めておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。(2.0h)				
	社会が求める人物像① ビジネスマナーの重要性とコミュニケーション、コンピテンシー、モチベーション(講義、体験型ワーク、課題・レポートを作成します)				
第3回	事前学習 (内容・時間) テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。(2.0h)				
	事後学習 (内容・時間) テキストを見直して理解を深めておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。(2.0h)				
	外部講師による講演 テーマ:自分だけのキャリア創造				
第4回	事前学習 (内容・時間) 4年後の目標・進路のイメージなどを明確にしておく。(2.0h)				
	事後学習 (内容・時間) 学んだことをノートにまとめて整理し、自身の進路選択に反映させておく。(2.0h)				
	アクティブラーニング(前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます)				
第5回	事前学習 前回学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。(2.0h)				
	事後学習 (内容・時間) 学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、課題ワークシートを完成させる。(2.0h)				
	仕事を知る① 企業研究の手がかり(講義、ワーク、課題・レポートを作成します)				
第6回	事前学習 (内容・時間) テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。(2.0h)				
	事後学習 (内容・時間) テキストを見直して理解を深め、自身の職業観を整理しておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。(2.0h)				
	仕事を知る② 企業研究の進め方(講義、ワーク、課題・レポートを作成します)				
第7回	事前学習 (内容・時間) テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。(2.0h)				
	事後学習 (内容・時間) テキストを見直して理解を深め、自身の職業観を整理しておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。(2.0h)				
	仕事を知る③ 後悔しない企業(職場)選び(講義、ワーク、課題・レポートを作成します)				
第8回	事前学習 (内容・時間) テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。(2.0h)				
	事後学習 (内容・時間) テキストを見直して理解を深め、自身の職業観を整理しておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。(2.0h)				

	自分を知る① 自己分析ノススメ マイナビの適性診断テスト「MATCH PLUS」から私の社会人としての適性を知ります。
第9回	事前学習 (内容・時間) テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。(2.0h)
	事後学習 テキストを見直して理解を深めておく。各種自己分析ワークシートに取り組む。(2.0h)
	自分を知る② コンピテンシーから考える自己分析(講義、ワーク、課題・レポートを作成します)
第10回	事前学習 (内容・時間) テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) テキストを見直して理解を深めておく。各種自己分析ワークシートに取り組む。(2.0h)
	履歴書・エントリーシート① 自己PRと短所(講義、ワーク、課題・レポートを作成します)
第11回	事前学習 テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。(2.0h)
	事後学習 テキストを見直して理解を深めておく。履歴書・エントリーシート作成に取り組む。(2.0h)
	履歴書・エントリーシート② 学生時代に力を注いだこと(講義、ワーク、課題・レポートを作成します)
第12回	事前学習 テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。(2.0h)
	事後学習 テキストを見直して理解を深めておく。履歴書・エントリーシート作成に取り組む。(2.0h)
	履歴書・エントリーシート③ 志望動機、履歴欄の書き方(講義、ワーク、課題・レポートを作成します)
第13回	事前学習 テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) テキストを見直して理解を深めておく。履歴書・エントリーシート作成に取り組む。(2.0h)
	就活を知る② 内定者による就職活動報告会(講義、ワーク、課題・レポートを作成します)
第14回	事前学習 (内容・時間) インターンシップに参加するなど自身で就職活動に関する情報収集を行う。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 自身の就職準備に向けた行動計画を具体的に立てる。(2.0h)
	総括 ~キャリデザインⅣに向けて
第15回	事前学習 テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。 (2.0h)
	事後学習 ポートフォリオを完成させ、自身の就職活動を充実させる行動計画を立て、卒業後の進路選択のイ (内容・時間) メージを具体化する。 (2.0h)
第16回(定期試験)	定期試験の実施

ナンバリング (Number 1GCN-5320-22)							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
キャリアデザインⅣ		224~	0.F # 44 #B		0 出 仕	選択	大多 正人
キャリアデザイン入門Ⅱ		2年生·後期 ~223			2単位	必修	
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequis		てマナー(時間厳守、挨拶、 ーチ(グループワークなど)I				こと。	

就職活動において成功するためには、まずルールと流れを理解し、これまでの自己整理と企業が望む人物像を明確に把握することが不可欠です。自身の仕事におけるスキルややりたい仕事に対する興味、そして譲れない価値観を考慮に入れ、後半にはグループディスカッションと模擬面接を通じて人間力を向上させることを目指します。他者との意見交換を通して意見を発信し、相互理解を深めることで、コミュニケーション力を高めます。また、模擬面接を通じては自己表現力を養い、面接において魅力をアピールする方法を習得します。さらに、SPI3の演習では、自己の基礎能力を視覚化し向上を目指します。自身の強みや改善が必要な点を見つけ出すことで、より効果的な学習とスキル向上の方法を理解し、着実な成長を遂げていきます。この講座では、「社会基準」を大切にし、ディプロマポリシーⅢを目指します。建学の精神を理解し、自ら進んで実践する姿勢や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることが目標です。同時に、カリキュラムポリシー I (建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと)とカリキュラムポリシーⅥ(キャリア開発の技術を培い、将来の進路に備えること)にも取り組みます。特に、2年生の皆さんには、将来の就職に備えて、社会基準に則った授業で、実践的なスキルや適切な態度を身につけ、職場での成功につなげましょう。

実務経験内容 Work Experience Content 実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験のある教員による科目 Subject

事ま環す まま環す 下 ま 下 下 で で が に が を る め 分 た 者 が が た 者 が た 者 が た も の が た も の が た も の が の が が の が る が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の の の の の の の の の の の の の	る傍ら、企業の人事採用コンサルタントとして。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実で成功するための洞察力や社会人基礎力を 第4回~第12回の授業に登壇する外部講師 験を有し、学生たちに有益な知識を提供して 点に企業・大学・自治体と協力し、進学・キャ校連携事業に参画してきた経営者や、「社会 こ尽力し、長年にわたり就職活動に不可欠な ・企業研究・業界研究・採用試験対策等方ど が実践的なスキルを身につけられるよう支援	:、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従、企業の人事採用コンサルタントとしても活動していな実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネスするための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第12回の授業に登壇する外部講師は、幅広い実し、学生たちに有益な知識を提供しています。九州皇ののスキルや興味、価値観を考慮し、グループディスカッションと模擬面接でし、学生たちに有益な知識を提供しています。九州皇・大学・自治体と協力し、進学・キャリアに関連す事業に参画してきた経営者や、「社会人の準備のた」、長年にわたり就職活動に不可欠なスキル(自己研究・業界研究・採用試験対策等)を取り上げ、学生、助なスキルを身につけられるよう支援してきた指導の成功に向けて必要な知識やスキルを効果的に習また。SPI試験に焦点を当て、数理理理能の問題などを情報を提供します。また、SPI試験に焦点を当て、数理理理能の問題などを情報を提供します。また、SPI試験に焦点を当て、数理理理能の問題などを情報を提供します。また、SPI試験に焦点を当て、数理理理能の問題などを情報を提供します。また、SPI試験に焦点を当て、数理理理能の問題などを情報を表現のよりに学びます。自信を持ちつたの成功に向けて必要な知識やスキルを効果的に習また。				
	授業を通して修得	Fできる力 Competend	cy Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識	战の理解	Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understand	ing 人類の文化・社会と自然に関	する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0		
77 M44444 0 78 1	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	y			
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		0		
	問題解決力	Problem Solving		0		
	建学の精神	University Founding	g Philosophy	0		
	自己管理力	Self-management		0		
	チームワーク	Teamwork		0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0		
1 craonar Quanties	倫理観	Ethical Sense		0		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	у	0		
	生涯学習力	Lifelong Learning		0		
統合的な学習経験と創造的思考		Integrated Learning	Experience			
Integrated Learning Experience and C Thinking Skills	reative 創造的思考力	Creative Thinking S	skills			

到達目標 Objectives

就職活動のルールと流れを把握し、これまでの自己整理と企業が求める人物像を理解することです。自分の能力(仕事におけるスキル)、興味 (やりたい仕事)、価値観(譲れない条件)を考慮に入れて、後期には、さらなるステップとして、多くの企業で採用されているSPI試験を攻略します。 SPI3の演習では、私の基礎能力を可視化し、向上を目指します。自らの強みや改善すべき点を見つけることで、より効果的な学習やスキルの磨 き方を把握し、成長していきます。次には模擬面接を通して人間力を磨くことを目標とします。他の人と意見を発信し、相互理解を深めることで、コ ミュニケーション力を高めます。また、模擬面接を通じて自己表現力を養い、面接における魅力をアピールする方法を学びます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

就職活動はすべてが「アクティブ」です。自己分析や履歴書・エントリーシートの作成では、自分自身の「強み・改善点」「学生生活で得たもの」「志望動機」「ビジョン」などを整理し、わかりやすく自己表現することが必要です。また、面接では、それらを全身でアピールすることが求められます。 さらに、グループディスカッションでは、意見交換を通して、異なる見解や対立を乗り越えながら集団で意思決定しなければなりません。授業では皆さんがこれから遭遇するだろうと思われる場面を極力「リアルに再現」して、実戦的なトレーニングを行います。本番で「後悔しない」よう、積極的に取り組むことを期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー(外部講師)への相談は授業の前後にお願いします。 その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター(CDC)まで連絡ください。

> その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
必要に応じて資料配布							
参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
①「これが本当のSPI3テストセンターだ」	①SPIノートの会	①講談社	•978-4065306543				
②「ゼロから分かるSPI」	②山口 卓(監修)	②永岡書店	•978-4522460016				
③「主要7単元 100分制覇 SPI最強メソッド」	③柳本 新二	③高橋書店	•978-4471410124				
④マイナビ2025 オフィシャル就活BOOK 内定獲得のメソッド 面接 自己PR 志望動機(電子版)	④才木 弓加	④マイナビ出版	•978-4839983284				
⑤マイナビ2025 オフィシャル就活BOOK 内定獲得のメソッド 面接担当者の質問の意図(電子版)	⑤才木 弓加	⑤マイナビ出版	•978-4839983277				

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

⑥マイナビ出版

978-4839-983338

①遅刻・途中退席は原則認めない。

(雷子版)

- ②テキスト・筆記具を持たない学生は受講できない。
- ③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。
- 4)「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
- ⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。試験未受験者には単位付与しない。
- ⑥カードリーダーによる入室チェックと毎回提出する課題ワークシートで出席を確認し、その記載内容のレベルも平常点に反映する。
- ⑦成績評価の方法…平常点(80%)・定期試験(20%)

⑥マイナビ2025 オフィシャル就活BOOK 内定獲 ⑥才木 弓加

得のメソッド Web面接 オンライン面接の必勝法

- ※平常点では、受講態度、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出、グループワーク活動状況を重視。
- ⑧定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

		授業計画 Course Schedule
		テーマ Theme
	オリエンテーシ	ョン(受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します)
第1回		シラバスを事前に確認しておく。大学生活をどう充実させるのか、卒業後の進路選択をどうするのか、自分な りのイメージを描いておく。
	事後学習 (内容・時間)	ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。(2.0h)
	就職活動のマ	アナー リクルートスーツの着こなし、所作、言葉づかいの実践
第2回	(内容・時間)	Jクルートスーツや鞄・靴など就職活動の必需品を事前に準備しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	学んだことをノートにまとめて整理し、授業で足りなかった就活アイテムは事前準備しておく。(2.0h)
	グループディス	スカッション 基礎編・実践編
第3回	事前学習 (内容·時間)	自身のアピール内容を整理し、表現できるように準備しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	ポートフォリオを完成させ、提出する。自分たちで面接の経験を積む(2.0h)
	外部講師による	る講演 テーマ:現在の就職活動を知る
第4回	事前学習 (内容·時間)	最近の就職活動に関する傾向・対策についての情報を事前調査する。(2.0h)
	, , , , , ,	学んだことをノートにまとめて整理し、1年後に迫った自身のインターンシップや就職活動に向けて準備する。 (2.0h)
	アクティブラー	-ニング(前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます)
第5回	事前学習 (内容·時間)	前回学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、課題ワークシートを完成させる。(2.0h)
	面接① 基礎	編
第6回	事前学習 - (内容・時間)	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	受業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)
	面接② 実践	編(オンライン・対面・グループ面接)
第7回	事前学習	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	受業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。(2.0h)
	演習① SPI記	式験対策 よく使われる就職試験の種類について解説
第8回	事前学習 (内容·時間)	SPI3試験の出題傾向等をCDCから情報収集しておくこと。(2.0h)
	事後学習 - (内容・時間)	テスト結果から、言語問題、非言語問題の課題点を理解しておくこと。(2.0h)

	演習② SPI試験対策 数理論理能力問題解説①
第9回	事前学習 (内容・時間) テキストの練習問題の解答手順と解答の詳細をノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておくこと。(2.0h)
	演習③ SPI試験対策 数理論理能力問題解説②
第10回	事前学習 (内容・時間) テキストの練習問題の解答手順と解答の詳細をノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておくこと。(2.0h)
	演習④ SPI試験対策 数理論理能力問題解説③
第11回	事前学習 (内容・時間) テキストの練習問題の解答手順と解答の詳細をノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておくこと。(2.0h)
	演習⑤ SPI試験対策 数理論理能力問題④
第12回	事前学習 (内容・時間) テキストの練習問題の解答手順と解答の詳細をノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておくこと。(2.0h)
	演習⑥ SPI3受検会
第13回	事前学習 (内容・時間) テキストの練習問題の解答手順と解答を復習しておくこと。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) テスト結果を復習して、採用試験の本番前に備えて準備しておくこと。(2.0h)
	社会を知る⑥ IT業界を知る 講師:福岡県情報サービス産業協会
第14回	事前学習 (内容・時間) 福岡県情報サービス産業協会の経歴やその事業活動について事前調査する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 学んだことをノートにまとめて整理し、自身の職業観を磨くことやテーマの再現性に反映させる。(2.0h)
	総括 ~就職活動を充実させるために
第15回	事前学習 (内容・時間) テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。(2.0h)
	事後学習 ポートフォリオを完成させ、自身の就職活動を充実させる行動計画を立て、卒業後の進路選択のイメージを具体化する。(2.0h)
第16回 (定期試験)	定期試験の実施

ナンバリング (Numbe	ering)						
1GCN-5290-32	Ξ						
科目名 Class			開講学年•学期 School Year, Seme		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
キャリアデザイン	V	224~	3年生∙前期		2単位	選択	大多 正人
キャリアデザイン I		~223	3十五-削朔		2年位	送扒	八岁 正人
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件		①「社会基準」。②実践的なアフ	としてマナー(時間厳守、 プローチ(グループワーク ⁷	挨拶、筆 など)にお	記具・ノート必携 おいて能動的に	ちど)を 取り組め	実践できること。 ること。

進路・就職活動の総仕上げに焦点を当てたこの講義では、模擬面接や自己PRの作成、SPI対策などの実践的なスキルを磨くことが重要とします。学生は自らが主体となり、進路や就職活動において必要なスキルや知識を獲得し、実践的な経験を積んでいきます。このプロセスを通じて、学生たちは自己成長を促進し、ひとりで自分の進路や就職活動を堂々と進める自信を身につけます。この講座は、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し自己を進んで実践する態度や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることを目標としています。同時に、カリキュラムポリシー I およびⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけることが期待されています。この講座では、学生が将来の就職活動を円滑に進めるために必要な実践的なスキルを向上させ、自信をつける準備が整います。学生が自らの将来を積極的に「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、悔いのない進路選択ができるようにサポートします。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目 Subject

支援に活動 支援に活動 した対会へ11 にた社会~11 を対した対会の 9回験を・コート を選りし、 がでする。 がでする。 がでする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	は、長年にわたり大学でキャリア教 事する傍ら、企業の人事採用コンサ しています。豊富な実務経験を活が 実際のビジネス環境で成功するため 基礎力を伝授しています。第4回~記 型の授業に登壇する外部講師は、幅 リアに関連する学校連携に機していまかと、「社会人の準備のため、「社会人の準備のため、「社会人の準備のため、「かたり就職活動に不可欠なスキルをするが実践的なスキルを身につけらいまない。また指導者が社会での成功に向けていた効果的に習得すること目指しま	ルタントといし、学生のに、学生の洞察力 育と就業支援に尽力しています。同時に、企業の人事採用コンタントとしても活動し、最新の情報を通じて学生たちに進路決定 要な視点を提供しています。学生たちには実際のビジネス環境 ないます。 さきたキャリに尽力 (自己分取り上 れるよう 必要な知 す。 では、ます。 では、まず。 第1回~ 第11回では、企業等の外部講師を招き、オムニバス所で授業を展開します。就職ナビサイトの活用知識を深めて即戦がまでに高め、学生たちに迅速な就職活動のスタートを切らせます。 9回~第11回ではSPI試験対策を講じます。これらの授業を通じ学生たちは実践的なスキルを向上させ、自信をもって就職活動で、必要な知す。	サにで第形態すてい必成6式勢第、					
	授業を通して修得できる力 Competency Goals							
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識の							
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に関す	「る知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0					
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0					
 汎用的技能の観点	数量的スキル	Mathematics						
Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy						
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0					
	問題解決力	Problem Solving						
	建学の精神	University Founding Philosophy	0					
	自己管理力	Self-management	0					
能由。士白州の知上	チームワーク	Teamwork	0					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0					
	倫理観	Ethical Sense	0					
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0					
	生涯学習力	Lifelong Learning	0					
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience						
Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills						

到達目標 Objectives

進路・就職活動の総仕上げに重点を置いた講義を通じて、実践的な就職活動の準備として模擬面接や自己PRの作成、SPI対策などの実践的なスキルを磨き、私自らが主体となり、自己成長を促進していきます。就職活動において必要なスキルや知識を積極的に学び、実践的な経験を積むことで、ひとりで自分の進路や就職活動をしっかりと進める自信を身につけていきます。最後には、自身で選択した会社説明会に参加して採用試験に臨みます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

就職活動はすべてが「アクティブ」です。自己分析や履歴書・エントリーシートの作成では、自分自身の「強み・改善点」「学生生活で得たもの」「志望動機」「ビジョン」などを整理し、わかりやすく自己表現することが必要です。また、面接では、それらを全身でアピールすることが求められます。さらに、グループディスカッションでは、意見交換を通して、異なる見解や対立を乗り越えながら集団で意思決定しなければなりません。授業では皆さんがこれから遭遇するだろうと思われる場面を極力「リアルに再現」して、実戦的なトレーニングを行います。本番で「後悔しない」よう、積極的に取り組むことを期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー(外部講師)への相談は授業の前後にお願いします。 その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター(CDC)まで連絡ください。

> その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

> > 教科聿 Taythooks

学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

	教料者 Textboo	OKS	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
必要に応じて資料を配布			
	参考文献 Reference	Books	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
①「これが本当のSPI3テストセンターだ」 ②「ゼロから分かるSPI」 ③「主要7単元 100分制覇 SPI最強メソッド」 ④マイナビ2025 オフィシャル就活BOOK 内定 獲得のメソッド エントリーシート 完全突破塾 (電子版) ⑤就活BOOK2025 内定獲得のメソッド SPI 解 法の極意(電子版) ⑥マイナビ2025 オフィシャル就活BOOK 内定 獲得のメソッド 一般常識 即戦力 問題集(電子版)	④岡 茂信 ⑤マイナビ出版編集部	①講談社 ②永岡書店 ③高橋書店 ④マイナビ出版 ⑤マイナビ出版 ⑥マイナビ出版	①978-4065306543 ②978-4522460016 ③978-4471410124 ④978-4839983291 ⑤978-4839983321 ⑥978-4839983253

- ①遅刻・途中退席は原則認めない。
- ②テキスト・筆記具を持たない学生は受講できない。
- ③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。
- ④「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
- ⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。試験未受験者には単位付与しない。
- ⑥カードリーダーによる入室チェックと毎回提出する課題ワークシートで出席を確認し、その記載内容のレベルも平常点に反映する。
- (7)成績評価の方法…平常点(80%)・定期試験(20%)
- ※平常点では、受講態度、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出、グループワーク活動状況を重視。
- ⑧定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

		授業計画 Course Schedule				
		テーマ Theme				
	オリエンテー	ション(受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します)				
第1回	事前学習 (内容·時間)	シラバスを事前に確認しておく。大学生活をどう充実させてきたのか、卒業後の進路選択をどうするのか、自分なりのイメージを描いておく。(2.0h)				
	事後学習 (内容·時間)	ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。(2.0h)				
	就職ナビサイ	/ト登録会 就職ナビサイトの本登録と活用法を学ぶ				
第2回	事前学習 (内容·時間)	マイナビ、リクナビ、あさがくナビ、キャリタス就活の就職ナビサイトを事前に仮登録しておく。(2.0h)				
	事後学習 (内容·時間)	マイナビ、リクナビ、あさがくナビ、キャリタス就活の就職ナビサイトを本登録しておく。(2.0h)				
	就職ガイダン	ス 就職課の就職支援について、進路登録カード作成、就職活動ハンドブック活用法を学ぶ				
第3回	事前学習 (内容·時間)	キャリアデザインセンターを訪問して、進路登録カード、就職活動ハンドブックを入手しておく。(2.0h)				
	事後学習 (内容·時間)	進路登録カードを完成して、第4回の授業前に提出する。(2.0h)				
	特別講義 イ	ンターンシップ実践① インターンシップの実態を学ぶ				
第4回	事前学習 (内容·時間)	合同企業説明会の出展企業を自ら調べ、「業界・職種研究」「企業研究」を予め行っておく。(2.0h)				
	事後学習 (内容·時間)	インターンシップイベント(合同企業説明会)に参加エントリーしておく。(2.0h)				
	特別講義 インターンシップ実践② インターンシップの企業選び					
第5回	事前学習 (内容·時間)	合同企業説明会の出展企業を自ら調べ、「業界・職種研究」「企業研究」を予め行っておく。(2.0h)				
	事後学習 (内容·時間)	インターンシップイベント(合同企業説明会)に参加エントリーしておく。(2.0h)				
	特別講義 イ	ンターンシップ実践③ インターンシップを就職活動に繋げる				
第6回	事前学習 (内容·時間)	合同企業説明会の出展企業を自ら調べ、「業界・職種研究」「企業研究」を予め行っておく。(2.0h)				
	事後学習 (内容·時間)	インターンシップイベント(合同企業説明会)に参加エントリーしておく。(2.0h)				
	学内合同企業	業説明会① 学内合同企業説明会の参加心得を学ぶ				
第7回	事前学習 (内容·時間)	学内合同企業説明会の位置づけを知っておく。(2.0h)				
	事後学習 (内容·時間)	学内合同企業説明会の企業研究の仕方、企業ブースの回り方のポイントを押さえておく。(2.0h)				
	学内合同企業	業説明会② 合同企業説明会を実体験する				
第8回	事前学習 (内容·時間)	身だしなみ・マナー・第一印象を準備しておく。「判断軸」を自ら設けて選んでみる。(2.0h)				
	事後学習 (内容·時間)	合同企業説明会に参加する。(2.0h)				

	I	
		数理論理能力問題 総括①
第9回	事削字省 (内容・時 間)	テキストを準備し、一通り目を通しておく。2年次の科目「キャリアデザインIV」(履修者のみ)を振り返り、時間内での解答まで進めておく(2.0h)
	事後字省 (内容・時 問)	テスト結果を復習して、採用試験の本番前に備えて準備しておくこと。(2.0h)
	SPI試験対策	数理論理能力問題 総括②
第10回	事前学習 (内容·時間)	テキストを準備し、一通り目を通しておく。2年次の科目「キャリアデザインIV」(履修者のみ)を振り返り、時間内での解答まで進めておく(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	テスト結果を復習して、採用試験の本番前に備えて準備しておくこと。(2.0h)
	SPI受検会	
第11回	事前学習 (内容·時間)	SPI3試験の過去問の解答を行っておくこと。※過去問題はCDCで情報提供有(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	テスト結果を復習して、採用試験の本番前に備えて準備しておくこと。(2.0h)
	総仕上げ①	自己理解と仕事理解 マイナビの適性診断テスト「MATCH PLUS」から私に合った企業を選ぶ。
第12回	事前学習 (内容·時間)	テキストを準備し、一通り目を通しておく。2年次の科目「キャリアデザインⅢ」(履修者のみ)を振り返り、時間内での解答まで進めておく(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	自身の自己理解と仕事理解を整理して、エントリーシートに記述する内容を準備しておく。(2.0h)
	総仕上げ②	履歴書・エントリーシート完成 ※OpenES(リクルート)、MyCarrerBox(マイナビ)のシートを完成する
第13回	事前学習 (内容·時間)	大学指定の履歴書、就職ナビサイトのエントリーシート ※OpenES(リクルート)、MyCarrerBox(マイナビ)を確認しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	就職活動で提出するエントリーシートを完成させて面接準備をする。(2.0h)
	総仕上げ③	模擬面接会(オンライン・対面・グループ)
第14回	事前学習 (内容·時間)	自分のアピール内容を整理し、表現できるよう準備しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	ポートフォリオを完成させ、提出する。自分たちで面接の経験を積む。(2.0h)
	総括 ~就職	は活動の本番に向けて
第15回	事前学習 (内容·時間)	会社説明会にエントリーする企業を選択して、授業での発表本番に備えておく。(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	選択した企業の会社説明会に参加して、採用試験に挑戦する(2.0h)
第16回 (定期試験)	定期試験の乳	実施
•	•	

1GCN-5300-32E 科目名 Class 入学年度 Admission Year 開講学年・学期 School Year, Semester 単位数 Credit 必・選 Comp. / Opt. 授業担当者 Instructor キャリアデザインVI 224~ キャリアデザインII 3年生・後期 2単位 選択 大多 正人	ナンバリング (Numbering)]						
Class Admission Year School Year, Semester Credit Comp. / Optil Instructor キャリアデザインVI 224~ 3年生・後期 2単位 選択 大多 正人	1GCN-5300-32E							
3年生・後期 2単位 選択 大多 正人		八十人				Comp. /	,,,,,,	
	キャリアデザインVI	:			2単位	强扣	十名 正人	
	キャリアデザインⅡ	~223	── 3年生·後期 		2年位	进扒	入岁 正人	
オンライン授業 Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom なし	<i>**</i>	•		なし				
履修の前提条件 Course Prerequisites 国内の上場・大手企業に志望・受験することが条件です(定員枠有)。事前に担当講師、教員による面持 査により決定します。	1,21,2 1,11,11			とが条	件です(定員枠有	有)。事前	に担当講師、教員による面接審	

この講義では、国内の上場・大手企業への就職を志し、更に上位の企業から内々定を勝ち取るスキルを身につけます。授業では、就職活動に不 可欠な情報やスキルを習得しますが、その際には国内の上場・大手企業を志望・受験する条件があります。履歴書やエントリーシートの作成、面 接対応など、実践的な就職活動の準備が行われ、求められるスキルや知識を上場・大手企業の人事担当者から学びます。自己分析を進め、自 らの強みを明確に把握することも重要です。最終的な目標は、理想の企業から内々定を獲得することであり、学生たちはその目標に向かって決 意を持ち、積極的に進展していきます。授業は定員制で、上場・大手企業への志望と受験が求められるため、限られた枠内で目指す企業への内 定獲得に向けて効果的なスキルを養います。この講座は、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し自己を進んで実践する態度や、 社会人として必要な態度・志向性を身につけることを目標としています。同時に、カリキュラムポリシー I およびVIに対応しており、学生は様々な ワークを通して「前に踏み出すカ」「考え抜くカ」「チームで働くカ」などの「社会人基礎カ」を身につけることが期待されています。この講座では、 学生が将来の就職活動を円滑に進めるために必要な実践的なスキルを向上させ、自信をつける準備が整います。学生が自らの将来を積極的 に「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、悔いのない進路選択ができるようにサポートします。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目 Subject

Taught by The Faculty with Work Experience

該当	援いに活は人口を対しておは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次で	は、長年にわたり大学でキャリナる傍ら、企業の人事採用かたり大学でおれています。豊富な実務経験を注めれるではで、第4回・授業に登壇する外部講師は、長経験を有し、学生たちに有益なと業採用に関わってきた人事採の準備のため」に尽力し、長年に大なスキル(自己分析・企業研が策等)を取り上げ、学生たちが対策等)を取り上げ、学生たちがつけられるよう支援してきた指導内定獲得に向けて必要な知識すること目指します。	サルタントとし 舌かし、学生た めのの洞察等9回 一等6回、等9回 民間企業等で幅 スで第後で成 に進路決定 に進路決定 に進路決定 に進路決定 に進路決定 でですからで を提供し、 でも、第6里で 者の、第 を実践的なスキ に表現の対 を表すいる。 ですがも ですがよりの対 を表すいる。 を、まずいる。 を、まずい。 を、まずいる。 を、を、を、を、。 を、を、を、を、を、を、を、を、を、を、を、を、を、を、を、を、を、を、を、	は、キャリアコンサルタントとして広範囲な大学でキャニスカしています。同時に、企業の人事採用コンサル、上場・大手企業の多様な採用試験の傾向を通じています。学生たちには実践がするための洞察力や社会人基礎力も伝えていま第9回〜第12回は、企業等の外部講師を招き、オム・農開します。求められるスキルや知識を上場・大手企ははSPI試験対策を講じます。第11回〜第12回では賃を講じます。これらの授業を通じて、学生たちは実ませ、自信をもつて上場・大手企業の就職試験に臨む	レタントとし 学生たち 祭のビジョの第4 ニバス担当の 東団・個人 ま は な ま り な ま り に が る り に り い る り の り の り の り の り の り の り の り の り の り	
		授業を通して修	得できる力 Competer	ncy Goals		
知識•理解0	D観点	多文化・異文化に関する知	1識の理解	Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding		人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing	/ Speaking / Listening	0	
`D	o 48 ⊦	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能(Generic S		情報リテラシー	Information Litera	су		
33.13.13		論理的思考力	Logical Thinking /	Creative Thinking	0	
		問題解決力	Problem Solving		0	
		建学の精神	University Foundir	ng Philosophy	0	
		自己管理力	Self-management		0	
態度・志向性	小 組上	チームワーク	Teamwork		0	
悲度•志问性 Personal Qu		リーダーシップ	Leadership		0	
		倫理観	Ethical Sense		0	
		市民としての社会的責任	Social Responsibil	ity	0	
		生涯学習力	Lifelong Learning		0	
統合的な学習経験と創 tegrated Learning Experi		統合的な学習経験	Integrated Learnin	ng Experience		
Thinking Sk		創造的思考力	Creative Thinking	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

国内の上場・大手企業を志望・受験することが条件です。国内の上場・大手企業への就職を目指すための授業を通じて、履歴書やエントリー シートの書き方や面接の対応など、実践的な就職活動の準備を行います。また、上場・大手企業の人事担当者より社会や組織の中で自分が生 きていくために必要な経験・知識とは何かを生の話を聴き、求められるスキルや知識を習得し、自己分析を進めて自らの強みを把握します。最終 的な目標である理想の企業への内々定を実現するため、決意を持って進んでいきます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

就職活動はすべてが「アクティブ」です。自己分析や履歴書・エントリーシートの作成では、自分自身の「強み・改善点」「学生生活で得たもの」「志 望動機」「ビジョン」などを整理し、わかりやすく自己表現することが必要です。また、面接では、それらを全身でアピールすることが求められます。 さらに、グループディスカッションでは、意見交換を通して、異なる見解や対立を乗り越えながら集団で意思決定しなければなりません。授業では 皆さんがこれから遭遇するだろうと思われる場面を極力「リアルに再現」して、実戦的なトレーニングを行います。上場・大手企業の採用試験本番 で「後悔しない」よう、積極的に取り組むことを期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー(外部講師)への相談は授業の前後にお願いします。 その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター(CDC)まで連絡ください。

> その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher 必要に応じて資料配布 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐-F ISBN Code 1)978-4480065353 ①現代語訳「論語と算盤」 ②東洋経済新報社 ②東洋経済新報社編集 2978-4492974377 ②就職四季報 企業研究・インターンシップ版 2025年版 ③東洋経済新報社編集 3東洋経済新報社 3978-4492973332 ③会社四季報 業界地図 2024年版 ④東洋経済新報社編集 9東洋経済新報社 (4)978-4492971390 ④就職四季報 総合版 2024年版 (5)978-4065306543 ⑤SPIノートの会

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

の講談社

6)永岡書店

7)高橋書店

6978-4522460016

(7)978-4471410124

①遅刻・途中退席は原則認めない。

⑤「これが本当のSPI3テストセンターだ」

⑦「主要7単元 100分制覇 SPI最強メソッド」

⑥「ゼロから分かるSPI」

- ②テキスト・筆記具を持たない学生は受講できない。
- ③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。

⑥山口 卓(監修)

⑦柳本 新二

- ④「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
- ⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。試験未受験者には単位付与しない。
- ⑥カードリーダーによる入室チェックと毎回提出する課題ワークシートで出席を確認し、その記載内容のレベルも平常点に反映する。
- ⑦成績評価の方法…平常点(80%)・定期試験(20%)
- ※平常点では、受講態度、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出、グループワーク活動状況を重視。
- ⑧定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション(受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します)
第1回	事前学習 シラバスを事前に確認しておく。卒業後の進路選択でどの業界・企業の上場・大手企業を選ぶのか、自分な (内容・時間) りのイメージを描いておく。(2.0h)
	事後学習 ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。(2.0h)
	企業研究① テーマ:上場·大手企業の選び方、求人票の見方
第2回	事前学習 (内容・時間) キャリタス就活「業界MAP」を使用して、身近なものから業界のつながりを調べておく。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 業界別に上場・大手企業をセグメントしておく。(2.0h)
	企業研究① テーマ: 上場・大手企業の採用試験 傾向と対策
第3回	事前学習 (内容・時間) キャリタス就活「業界MAP」を使用して、受験する上場・大手企業をピックアップしておく。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 上場・大手企業の会社説明会等の情報収集しておく。(2.0h)
	 上場・大手企業の人事担当者による講演 テーマ:上場・大手企業での仕事と求める人材像
第4回	事前学習 (内容・時間) ゲストスピーカーの企業の事業活動について事前調査する。(2.0h)
	事後学習 学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業の求める人物像を把握して、採用選考に備えておく。(2.0h)
	上場・大手企業の人事担当者による講演 テーマ:上場・大手企業での仕事と求める人材像
第5回	事前学習 (内容・時間) ゲストスピーカーの企業の事業活動について事前調査する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業の求める人物像を把握して、採用選考に備えておく。(2.0h)
	上場・大手企業の人事担当者による講演 テーマ∶上場・大手企業での仕事と求める人材像
第6回	事前学習 (内容・時間) ゲストスピーカーの企業の事業活動について事前調査する。(2.0h)
	事後学習 学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業の求める人物像を把握して、採用選考に備えておく。(2.0h)
	履歴書・エントリーシート① テーマ:インターンシップ体験を言語化する
第7回	事前学習 インターンシップの体験をノートに整理して、エントリー・履歴書の学生時代に頑張ったこと(ガクチカ)を作っておく。 (内容・時間) (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業のインターンシップにエントリーする。
	履歴書・エントリーシート② テーマ:上場・大手企業向けの履歴書・エントリーシート等を作成する
第8回	事前学習 インターンシップの体験をノートに整理して、エントリー・履歴書の学生時代に頑張ったこと(ガクチカ)を作っておく。 (内容・時間) (2.0h)
	事後学習 学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業のインターンシップにエントリーする。

	PI試験対策 数理論理能力問題 上級編①
第9回	事前学習 テキストを準備し、一通り目を通しておく。3年次の科目「キャリアデザインⅤ」(履修者のみ)を振り返り、時間 内での解答まで進めておく(2.0h)
	事後学習 テスト結果を復習して、採用試験の本番前に準備しておくこと。(2.0h)
	PI試験対策 数理論理能力問題 上級編②
第10回	事前学習 テキストを準備し、一通り目を通しておく。3年次の科目「キャリアデザインⅤ」(履修者のみ)を振り返り、時間 内での解答まで進めておく(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) テスト結果を復習して、採用試験の本番前に準備しておくこと。(2.0h)
	所接塾① 苦手克服(集団面接)
第11回	事前学習 テキストを準備し、一通り目を通しておく。3年次の科目「キャリアデザインV」(履修者のみ)を振り返り、面接試験のでは、内容・時間 本をまとめておく。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 模擬面接(集団)を復習して、面接試験の本番前に準備しておくこと。(2.0h)
第12回	事前学習 テキストを準備し、一通り目を通しておく。3年次の科目「キャリアデザインV」(履修者のみ)を振り返り、面接試験の代内容・時間 本をまとめておく。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 模擬面接(個人)を復習して、面接試験の本番前に準備しておくこと。(2.0h)
	場・大手企業 内々定獲得ロードマップ作成
第13回	事前学習 (内容・時間) 会社説明会にエントリーする企業を選択して、授業での発表本番に準備しておく。(2.0h)
	事後学習 選択した企業を再度見直し、授業での発表本番に準備しておくこと。(2.0h)
	場・大手企業 内々定獲得ロードマップ発表会
第14回	事前学習 会社説明会にエントリーする企業を選択して、授業での発表本番に準備しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 選択した企業の会社説明会に参加して、採用試験に挑戦する(2.0h)
	於括 〜上場·大手企業の挑戦に向けて
第15回	事前学習 会社説明会にエントリーする企業を選択して、授業での発表本番に準備しておく。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 選択した企業の会社説明会に参加して、採用試験に挑戦する(2.0h)
第16回(定期試験)	E期試験の実施

ナンバリング (Numb							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学頻 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
特別実習・講義(実践力養成) 倫理と人間		223~	1年生・後期		2単位	23.10	坂上 宏
特別講義(実践力養成) 倫理と人間		219~222	, , , , , , , , , ,		2年位	選択	双工 冱
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
②プラトン『 ※禁止事項 ※禁止事項 不必要な私 正当な理由 携帯電話の		②プラトン『ソー ※禁止事項: 不必要な私語	ない遅刻および許可原用。	ン』を読	をでしておくこと	≥が望ま	:Lh.

下記に掲げた古代ギリシアの哲学者の思想をとりあげて、人間としてのあるべき姿と道徳について考えていきます。また彼らの思想のうちで理想と現実の関係、ものの認識のありかたについても併せて講義し、彼らの思想についての理解を深めていきたいと思います。特に「徳」の意味するものについて留意しながら講義を進めていきますが、「徳」について考えることは、混迷の時代に暮すわれわれ現代人にとって、「善い生」についての何らかの示唆を与えることでしょう。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「I建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「皿社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「I建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「皿社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experienc	e			
該当しない						
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Cultu	re O			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Natur	e O			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0			
カロササポッタト	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy				
	自己管理力	Self-management				
** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
1 of sorial qualities	倫理観	Ethical Sense	0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0			
	生涯学習力	Lifelong Learning				
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	0			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	0			

到達目標 Objectives

本講義の目標は以下のとおりです。

- ①ソクラテスの道徳観と人間観の要点について理解できる。
- ②プラトンの道徳観と人間観の要点について理解できる。
- ③アリストテレスの道徳観と人間観の要点について理解できる。
- ④ストア派とエピクロス派の倫理思想について理解できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。

毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(363)およびGoogleクラスルーム・メール(sakagami@g.kiis.ac.jp)にて随時受け付けます。

提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|学習の確認:ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks										
書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN										
配布プリント										
	参考文献 Referen	ice Books								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code							
ソクラテスの弁明・クリトン 国家 上・下 ニコマコス倫理学 上・下 エピクロス―教説と手紙ー 生の短さについて他二篇 その他	ブラトン プラトン アリストテレス エピクロス セネカ	岩波文庫								
+/==:/m+++										

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ(事前学習と事後学習)の提出、ルーブリックの提出)。 成績評価の基準:

- ①ソクラテスの道徳観と人間観の要点について説明できる。
- ②プラトンの道徳観と人間観の要点について説明できる。
- ③アリストテレスの道徳観と人間観の要点について説明できる。
- ④ストア派とエピクロス派の倫理思想について説明できる。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	授業の方針、倫理と道徳の基本的な考え方、 古代ギリシア思想の特徴 :プリント1
第1回	事前学習 (内容・時間) 倫理と道徳とは何ですか。第1回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ①)(2時間)
	事後学習 古代ギリシア思想の特徴について、第1回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ①)(2時間)
	ソクラテスの思想一生涯と思想 :プリント2
第2回	事前学習 ソクラテスが述べる「無知の知」とはどのような意味ですか。第2回授業プリントを読んで答えてくださ (内容・時間) い。(ポートフォリオー②) (2時間)
	事後学習 ソクラテスが述べる「善く生きる」とはどのような意味ですか。第2回授業プリントを読んで答えてくださ (内容・時間) い。(ポートフォリオ②)(2時間)
	ソクラテスの思想-福徳一致と知行合一、ソクラテスの死について :プリント3
第3回	事前学習 ソクラテスは、「幸福」についてどのように考えていますか。第3回授業プリントを読んで答えてくださ (内容・時間) い。(ポートフォリオ③)(2時間)
	事後学習 ソクラテスは、なぜ逃げずに死刑を受け入れたのでしょうか。第3回授業プリントを読んで答えてくださ (内容・時間) い。(ポートフォリオ③)(2時間)
	ソクラテスの思想一ソクラテスの死について(続き)、プラトンの思想一その生涯と思想 :プリント4
第4回	事前学習 ソクラテスの死と知行合一、福徳一致について、第4回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォ (内容・時間) リオ④)(2時間)
	事後学習 プラトンの思想の基本的特徴について、第4回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ④)(2 (内容・時間) 時間)
	プラトンの思想一イデア論と洞窟の比喩:プリント5
第5回	事前学習 イデアについてプラトンはどのように述べていますか。第5回授業プリントを読んで答えてください。(ポー (内容・時間) トフォリオ⑤) (2時間)
	事後学習 洞窟の比喩についてプラトンはどのように説明していますか。第5回授業プリントを読んで答えてくださ (内容・時間) い。(ポートフォリオ⑤)(2時間)
	プラトンの思想一哲人と四つの徳 その1 :プリント6
第6回	事前学習 哲人のあり方についてプラトンはどのように説明していますか。第6回授業プリントを読んで答えてくださ (内容・時間) い。(ポートフォリオ⑥)(2時間)
	事後学習 プラトンが述べる四つの徳とは何ですか。第6回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑥)(2 (内容・時間) 時間)
	プラトンの思想一哲人と四つの徳 その2 :プリント7
第7回	事前学習 節制の徳についてプラトンはどのように説明していますか。第7回授業プリントを読んで答えてください。 (内容・時間) (ポートフォリオ⑦)(2時間)
	事後学習 正義についてプラトンはどのように説明していますか。第7回授業プリントを読んで答えてください。(ポー (内容・時間) トフォリオ⑦)(2時間)
	アリストテレスの思想一理想と現実のあり方:プリント8
第8回	事前学習 アリストテレスが述べている理想と現実の関係の特徴について、第8回授業プリントを読んで答えてくだ (内容・時間) さい。(ポートフォリオ®)(2時間)
	事後学習 プラトンのイデア論に対するアリストテレスの批判の要点について、第8回授業プリントを読んで答え (内容・時間) てください。(ポートフォリオ⑧)(2時間)

	アリストテロ	レスの思想一善と幸福と徳、観照的な活動 : プリント9					
第9回	事前学習 (内容·時間)	あらゆる事物、あらゆる運動の目的についてアリストテレスはどのように考えていますか。第9回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑨)(2時間)					
	事後学習 (内容·時間)	観照的な活動とはどのような意味ですか。第9回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑨) (2時間)					
	アリストテレ	·スの思想一徳のあり方:プリント10					
第10回	事前学習 (内容·時間)	知性的徳と倫理的徳とは何ですか。アリストテレスの考えを第10回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑩)(2時間)					
	事後学習 (内容·時間)	中庸とは何ですか。アリストテレスの考えを第10回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑩)(2時間)					
	アリストテロ	レスの思想一正義 :プリント11					
第11回	事前学習 (内容·時間)	人間にとっての正義についてアリストテレスはどのように述べていますか。第11回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑪)(2時間)					
	事後学習 (内容·時間)	国家にとっての正義についてアリストテレスはどのように述べていますか。第11回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑪)(2時間)					
	アリストテロ	レスの思想一友愛:プリント12					
第12回	事前学習 (内容·時間)	友愛の意味についてアリストテレスはどのように述べていますか。第12回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑫)(2時間)					
	事後学習 (内容·時間)	「人間は本性上、国的動物である」というアリストテレスの言葉の意味について、第12回授業プリントを 読んで答えてください。(ポートフォリオ⑫)(2時間)					
	ヘレニズム時代の思想ーストア派の思想 :プリント13						
第13回	事前学習 (内容·時間)	ヘレニズム時代の思想の特徴と代表的思想について、第13回授業プリントを読んで答えてください。 (ポートフォリオ⑬)(2時間)					
	事後学習 (内容·時間)	ストア派の主張する禁欲主義について、第13回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑬)(2 時間)					
	ヘレニズム	ム時代の思想ーエピクロス派の思想 : プリント14					
第14回	事前学習 (内容·時間)	エピクロスの主張「魂の平静さ」とはどのような意味ですか。第14回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑭)(2時間)					
	事後学習 (内容·時間)	エピクロスの主張「快楽主義」について、第14回授業プリントを読んで答えてください(ポートフォリオ⑭)(2時間)					
	古代ギリシ	ア思想における道徳について :プリント15					
第15回	事前学習 (内容·時間)	古代ギリシア思想における道徳の特徴について、第15回授業プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑮)(2時間)					
	事後学習 (内容·時間)	授業全体の学習目標到達度の確認(ポートフォリオ⑮・ループリック)(2時間)					
第16回	定期試験、	ポートフォリオ&ルーブリック作成等					

専門教育科目 (両学科共通)

ナンバリング (Numbering)							
1BMB-5331-12C							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
経営学総論 I		219~	1年生•前期	主·前期 2単位 必修 遠藤		遠藤 真紀	
オンライン授業 Online Class	あり		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites		営情報および	び企業の経営・マネ 会(世の中)の出来	ジメント	に関心を持	っている	なるための基礎として, 経 ること。 るニュースなどに関心を

- ・本学の建学の精神、3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ、中小企業診断士として企業の経営戦略や事業計画作成支援など、経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
- •「経営学総論 I (経営学入門)」では,企業と社会についての基本的な視点から,企業経営に関する基本理論を体系的に理解するとともに,その理論の背景や意義などについても考察していきます。
- ・テキストを基に、伝統的な理論から現代の経営学まで、その形成過程や今日的課題について講義を進めます。 現代企業の経営は、情報システムやネットワーク技術との関わりで進化しています。理論だけでなく、これまでの 実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。
- ・なお人数制限はありませんが、履修人数が多い場合は2つの教室を使い、片方が教室で対面授業、もう片方が教室でオンライン授業となる事があります(学籍番号で割り振りし、対面とオンラインは交互に入れ替えます)。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience		実務経験内容 Work Experience Content	Cla	実務経験をいかした教育内容 ass Contents Utilizing Work Experience				
該当	級土木· 卸売会补 販売士) 診断, 中	#会社(5年): 建築設備施工作 2級管工事施工管理技士), 社(10年): 商品開発, 営業管: , 経営コンサルタント(30年) ロ小企業経営支援(中小企業 S/EMS Lead Auditor)	建材 等への経 理(1級 連科目の :経営 や管理手 診断 考え方等(流通業等の実務経験および製造業・サー 営支援実務を通じて得た知見を元に、経 講義を通じて、理論だけでなく企業経営の 法および社会の常識や社会で生き抜くた こついても伝えていきます。また事例や「 断士の問題を活用した演習等も行います	営関 の実態 めの 中小企			
知識・理解の観	点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0			
Knowledge and Unders	tanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0			
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing	eading / Writing / Speaking / Listening				
		数量的スキル	Mathematics					
汎用的技能の観 Generic Skills		情報リテラシー	Information Literacy					
denono orano		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking					
		問題解決力	Problem Solving		0			
		建学の精神	University Found	ing Philosophy	0			
		自己管理力	Self-managemen	t	0			
		チームワーク	Teamwork					
態度・志向性の観 Personal Qualiti		リーダーシップ	Leadership					
i croonar Quanti	03	倫理観	Ethical Sense		0			
		市民としての社会的責任	Social Responsib	ility	0			
		生涯学習力	Lifelong Learning					
統合的な学習経験と創造的		統合的な学習経験	Integrated Learni	ng Experience				
Integrated Learning Experie Creative Thinking Ski		創造的思考力	Creative Thinking	g Skills	0			

到達目標 Objectives

- 1. 経営学の体系を理解するとともに,生活者としての企業との関わり方,近現代における企業の発展の歴史, 企業がもたらす社会への貢献と負の影響の側面などを理解している。
- 2. 企業を取り巻く環境変化の理解と現代企業のあり方について理解している。
- 3. 個人個人が、企業との関わりの中でどのようにセルフコントロールしていくべきか理解している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し、講義を聴いているだけでは単位取得できません。 ・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。 ・企業経営や経営戦略等に関するビデオ聴講による演習や中小企業診断士試験の問題を活用した演習を行います。また演習に基づき、ディスカッションを行うため、ビデオ内容の聞き取り力、メモカ、聴講した内容や関連情報に関する考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は、研究室での直接面談またはGoogleクラスルームやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には、研究室のメッセージボードやEメール(endo@kiis.ac.jp)等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず、去る者追わず」のスタンスで対応しますが、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

・希望者には、必要に応じて、販売士(3級~1級)、経営学検定(マネジメント検定:初級、中級、上級)、中小企業診断士等、経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。

・事前・事後学習としての課題レポート以外に、授業態度や資格試験への積極的な取り組み、関連するレポートおよび学習記録(事前学習/授業レポートやポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
企業経営入門	井上善海 他	中央経済社	978-4-502-42681-0					
	参考文献 Referen	ce Books						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐−F ISBN Code					
経営学要論	岸川善光同文舘出版		978-4-4953-9010-5					
	亚伟士:	/ Mathed of Footbacker						

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法:定期試験(50%), 平常点(出席率, ディスカッションへの参加, 各種レポート提出, 資格試験への 取り組み, ポートフォリオ提出, 教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性)等(50%)を総合的に考慮し て評価します。

評価基準:学習に対する積極性および環境変化と企業の役割・機能などについて基礎的な理解が図られている。 自身と企業とのかかわりが理解でき、自律的・自発的な行動への判断基準が持てている。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	講義の目的と進め方(講義内容のアウトラインの理解)(全員:対面授業) 企業経営を考える
第1回	事前学習 テキストの事前確認および企業経営等に関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載され (内容・時間) ているため、積極的にアクセスし、自分の挑戦材料として頭に入れておく。(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	1. 企業の種類と統治(対面授業+オンライン授業) 企業の概念, 企業の形態, 企業の統治
第2回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	2. 企業の経営目的と理念(対面授業+オンライン授業) 企業の経営特性, 企業の経営目的, 企業の経営理念
第3回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	3. 企業の社会的責任とSDG's(対面授業+オンライン授業) 企業の社会的責任, CSRと企業評価, CSRとSDG's
第4回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	4. 企業の成長戦略とイノベーション(対面授業+オンライン授業) 企業と戦略, 企業の成長戦略, イノベーション
第5回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	5. 企業の競争戦略とグローバル化(対面授業+オンライン授業) 競争と競争戦略, VUCA時代と競争戦略, グローバル化と競争戦略
第6回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	6. 企業の組織構造と組織文化(対面授業+オンライン授業) 組織とは, 組織構造, 組織文化
第7回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	講義のまとめ(中間)と演習(対面授業+オンライン授業)
第8回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)

	7. 企業の採用と人材育成(対面授業+オンライン授業) 採用, 育成, 将来を見通した人材の成長
第9回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	8. 企業の評価と報酬(対面授業+オンライン授業) 人事評価, 人事評価の困難性, 報酬
第10回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	9. 企業の動機づけとリーダーシップ(対面授業+オンライン授業) 動機づけ, リーダーシップ, 企業活動における動機づけとリーダーシップの実際
第11回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき, ビデオ演習を含む, 講義内容の復習(2時間)
	10. 企業の生産と販売(対面授業+オンライン授業) 生産管理, マーケティング, 生産から販売までの全体最適
第12回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	11. 企業の情報と意思決定(対面授業+オンライン授業) 情報と意思決定, 企業の意思決定と情報, 企業が記録し蓄積する情報
第13回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	12. 企業の資本と資金(対面授業+オンライン授業) 企業の資本調達, 企業の資金運用, 企業の資金管理
第14回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき, ビデオ演習を含む, 講義内容の復習(2時間)
	講義のまとめ(講義内容全体の総括)(全員:対面授業)
第15回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき, ビデオ演習を含む, 講義内容の復習(2時間)
第16回	定期試験

ナンバリング (Numbering) 1BMB-5220-12C								
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学斯 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor	
소리쓰기때		221~223	221~223 1年生·前期 219·220		2単位	必修	山下壽文	
云川于八门	会計学入門				2年四	選択	四1 ⁷ 前入	
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり				
履修の前提条件 Course Prerequisites 7		ても、基本的す。力を抜い ナーは守って	には足し算、引き第 て履修していただけ ください。 入門の履修者は、	「、掛け ければ。	り 算しか使いると思います。	ませんのとだし、	らしてください。そうは ので計算自体は簡単 講義を受ける上で <i>の</i> Ⅱ(後期)を履修する	値で Dマ

本講義では、会計学とは何を学ぶのか、どのように社会で役に立っているのか、学修によって何ができるようになるのかを網羅的に学習していきます。 また、簿記や他の会計関係の講義への橋渡しになるスタートアップの授業となります。本講義の学修によって、本学のディプロマポリシーⅡおよびⅢを満たします。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

授業概要 Course Outline

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture 〇			
Knowledge and Understandin	g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature 〇			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
	数量的スキル	Mathematics O			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
deficite civilis	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking O			
	問題解決力	Problem Solving O			
	建学の精神	University Founding Philosophy O			
	自己管理力	Self-management O			
华克 十 克州 8 年 1	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
r or oonar quantioo	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning O			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and		Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

会計学の知識は、現在、ビジネスに関わる人にとっては、身に付けておかねばならない重要な常識になっています。本講義は、このような社会的要請に応えるため、下記の目標を設定しています。

- ・会計学分野のすべての科目に通じる基礎的な知識を習得すること。
- 習得した基礎的な知識を通じて、企業経営に参画するビジネスパーソンとしての手掛かりを得ること。
- ・より発展したものとして、簿記などの資格取得にトライする意欲を養うこと。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
- ・授業内で適宜実施する小テスト・レポートを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を |促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

- 講義に関する質問、相談等は、講義終了後の教室又は研究室にて随時受け付けます。
- ・オフィスアワー時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
- *研究室にお越しの際は、事前にメールなどでご相談ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認として、ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

	教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
ビギナーのための会計学	山下壽文他	創成社	978-7944-1479-3					
	参考文献 Referen	ce Books						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
会計学のススメ	山下壽文	創成社	978-47944-1471-7					
成績	· 评価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation						

- 1.定期試験(60%)
- 2.平常点(40%)
- |*平常点の内訳:各回の小テスト(30%)、授業への取組み(10%)

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション(授業の内容と進め方)・なぜ会計を学ぶのか?
第1回	事前学習 まずはテキスト・プレレッスンを一読し、講義の全体像をイメージしてみましょう。(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	会計とは何か
第2回	事前学習 学習予定範囲(テキスト・レッスン1)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	会計のグローバリゼーション
第3回	事前学習 学習予定範囲(テキスト・レッスン2)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	わが国の会計制度のあらまし
第4回	事前学習 学習予定範囲(テキスト・レッスン3)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	わが国の会計基準のしくみ
第5回	事前学習 学習予定範囲(テキスト・レッスン4)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	貸借対照表のしくみ(1) 基本構造・流動資産
第6回	事前学習 学習予定範囲(テキスト・レッスン5・6)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	貸借対照表のしくみ(2) 固定資産・負債・純資産
第7回	事前学習 学習予定範囲(テキスト・レッスン7・8)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	損益計算書のしくみ(1) 基本構造
第8回	事前学習 学習予定範囲(テキスト・9)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)

	損益計算書のしくみ(2) 発生主義会計
第9回	事前学習 (内容・時間) 学習予定範囲(テキスト・レッスン9)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	キャッシュ・フロー計算書のしくみ
第10回	事前学習 (内容・時間) 学習予定範囲(テキスト・レッスン10)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	公正価値(1) 貨幣は価値を生む
第11回	事前学習 (内容・時間) 学習予定範囲(テキスト・レッスン12)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	公正価値(2) 将来価値・現在価値
第12回	事前学習 (内容・時間) 学習予定範囲(テキスト・12)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	損益分岐点分析
第13回	事前学習 (内容・時間) 学習予定範囲(テキスト・レッスン13)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	粉飾決算(不正な利益操作)
第14回	事前学習 (内容・時間) 学習予定範囲(テキスト・レッスン15)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう(2時間)
	まとめ
第15回	事前学習 (内容・時間) 学習予定範囲(テキスト全体)を一読してみましょう(2時間)
	事後学習 これまでの講義の振り返りを行い、定期試験に向け、わからなかったところを中心に復習を (内容・時間) しましょう(2時間)
第16回	定期試験(講義全体をとおした学習成果の確認)

ナンバリング (Numbering)					
1BMB-5831-12C						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
簿記 I	224 経営情報学科				必修	
74 HO 1	221~223	1年生•前期 -		2単位	経営 必修 NW 選択	岩下 昌美 平川 淳一
初級簿記	219-220				必修	
オンライン授業 Online Class なし		ラスルームの利用 pogle Classroom	あり		-	
履修の前提条件 Course Prerequisites	回の講義開さい。	テキストを必ず購入すること。なお、使用するテキストは市販されていませんの 回の講義開始時に購入してもらいます。掲示板でもお知らせしますので,ご留 さい。 12桁程度の電卓を準備してください。推奨電卓は講義内でご案内をいたします			せしますので, ご留意くだ	

ディプロマポリシーにもとづき、この授業では、簿記の基礎的レベルについて説明します。

ビジネス社会において必要不可欠といわれる会計の知識、その基礎となっているのが、複式簿記の原理と技術 です。複式簿記とは、企業の日々の経営活動を記録・計算・整理して経営成績と財政状態を明らかにする技能の ことです。

本講義では、小規模な株式会社を前提した複式簿記の原理と技術の基礎的知識を習得します。企業の経営活 動の記帳方法,簿記一巡の手続き,決算資料(財務諸表)の作成について学習します。日本商工会議所主催の 簿記検定3級の内容です。後期の「簿記Ⅱ」の講義内容を含めて簿記検定3級の範囲を網羅しますので,必ず受 講をするようにしてください。簿記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席することが とても重要です。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	職の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understand	ng 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
辺田的社能の知点	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0	
	問題解決力	Problem Solving	0	
	建学の精神	University Founding Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management		
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
r or oorial addition	倫理観	Ethical Sense	0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning	0	
統合的な学習経験と創造的思考 Integrated Learning Experience a		Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

本学では4年間で簿記検定3級、全員取得を掲げています。そこで本講義では、簿記一巡の手続きを理解し、小 規模な株式会社における帳簿記帳の基礎的知識を習得することを目標とします。

そして「簿記Ⅰ」「簿記Ⅱ」の履修により日本商工会議所簿記検定3級取得を目指します。簿記検定のペーパー 試験(統一試験)は6月,11月,2月(翌年)に実施されます。2021.4月からWEB検定(受験日自由選択)も実施され ることになりました。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。 授業終了時には毎回の理解度をチェックするため、ミニテストを実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは2号館2階270室の研究室にてオフィスアワー時(年度はじめに掲示), あるい は電子メール(アドレス: masami-i@g.kiis.ac.jp)で受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下ま でメールで提出してください。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
『2024 日商簿記3級テキスト』, 1,800円	岩下昌美	なお、使用するテキストは市販されていませんの で,初回の講義開始時に購入してもらいます。					
	参考文献 Reference Books						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code				
『スッキリわかる 日商簿記3級 最 新版 テキスト&問題集』	滝澤 ななみ	TAC出版					
成績	平価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation					

成績評価の方法:定期試験(70%), 平常点(15%), 復習課題(15%)。平常点は科目別履修状況チェック表の提 出状況, 毎回の授業最後の成果物提出状況で判断する。

成績評価の基準:①3級の取引の仕訳ができるか。②試算表が作成できるか。③伝票が起票できるか。④決算整 理事項から精算表および財務諸表(貸借対照表・損益計算書)が作成できるか。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
<i>ft</i> . □	オリエンテーション(講義の進め方, 講義内容, 受講上の諸注意, 評価方法など)を確認します。 第1章 簿記の基礎(簿記の意味, 目的, 種類, 簿記一巡の手続, 簿記上の取引, 5大要素)について学 習します。
第1回	事前学習 テキストの第1章を一読してください。(2時間)
	事後学習 配布する復習問題を解いてください。(2時間)
	第1章 簿記の基礎(「貸借対照表」と「損益計算書」の構造)について学習します。
第2回	事前学習 テキストの第1章を一読してください。(2時間)
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第2章 取引と仕訳(取引の種類と仕訳のルール)について学習します。
第3回	事前学習 テキストの第2章を一読してください。(2時間)
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第2章 取引と仕訳(勘定記入の方法と帳簿の種類)について学習します。
第4回	事前学習 テキストの第2章を一読してください。(2時間)
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第3章 株式会社の設立・剰余金の配当、資金の借入れ・貸付けの会計処理について学習します。
第5回	事前学習 テキストの第3章を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第4章 商品売買(商品の仕入れ,売上げ,付随費用,請求書・領収証など証憑類)の会計処理について学習します。
第6回	事前学習 テキストの第4章を一読してください。(2時間)
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第5章 現金・預金・小口現金の会計処理について学習します。
第7回	事前学習 テキストの第5章を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第6章 掛け取引(売掛金,買掛金,貸倒れ,貸倒引当金)の会計処理について学習します。
第8回	事前学習 テキストの第6章を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)

	第7章 手形取引と電子記録債権・債務(手形の振出しや受取り、電子記録債権・債務の発生や消滅) の会計処理について学習します。
第9回	事前学習 テキストの第7章を一読してください。(2時間)
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第8章 固定資産(種類,取得,減価償却,売却)の会計処理について学習します。
第10回	事前学習 テキストの第8章を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第9章 その他の取引(債権・債務, 未収入金と未払金, 仮払金と前受金, 立替金と預り金, 受取商品券, 差入保証金)の会計処理について学習します。
第11回	事前学習 テキストの第9章を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第10章 税金(税金の種類,法人税等,消費税)の会計処理について学習します。 第11章 伝票会計(3伝票制,入金伝票・出金伝票・振替伝票の作成)について学習します。
第12回	事前学習 テキストの第10章, 第11章を一読してください。(2時間)
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第12章 試算表(勘定記入の検証,合計試算表・残高試算表・合計残高試算表の作成)について学習します。第13章 決算(決算の意義,手続き,決算整理)の会計処理について学習します。
第13回	事前学習 テキストの第12章, 第13章を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第13章 決算(商品の棚卸し,売上原価の算定,費用・収益の前払い・前受けと未払い・未収)の会計処理について学習します。
第14回	事前学習 テキストの第13章を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第13章 決算(精算表および財務諸表の作成, 元帳の締切りと繰越試算表の作成)について学習します。
第15回	事前学習 テキストの第13章を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
第16回	60分の定期試験(電卓持ち込み可)

ナンバリング (Numb							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem	. •	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
簿記 I		224 情報ネットワーク学科	1年生•前期		2単位	選択	長友 陛富
オンライン授業 Online Class	あり		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条 ^を Course Prerequi	Using Google Classroom あり Using Google Classroom あり Using Google Classroom あり 本学では、日本商工会議所主催の簿記検定3級の取得を大きな目的としています。この簿言を学んだことのない学生も基礎基本をしっかり学習することで、簿記3級の内容を理解し、簿記検定3級の検定に合格できると思います。「大原で合格る日商簿記3級」のCHAPTERO~1を読み、その内容を確認し、学習項目の流れを理解しておきましょう。本講義では、簿記検定3級の内容を学習項目ごとに段階的に修得するために、簿記の基礎基本の内容をしっかかつ繰り返し学習します。					記3級の内容を理解し、簿 簿記3級」のCHAPTERO~1 しよう。本講義では、簿記検 D基礎基本の内容をしっかり い。 い。 物など机上に置かない) ぶ姿勢を身に付ける。	

企業を経営管理するためには会計情報の知識(会社がどういう経営状態か)が必要です。必要な情報として会計情報を正確に理解するためには、簿記を理解することが不可欠です。経営情報学部を卒業する学生は、将来企業の経営管理に関わる可能性が高いことを考えると、簿記の知識習得は必須となります。本科目では、企業が行う経済活動により発生する、資産、負債、純資産、費用、収益の増減を一定のルールに従って、記録・計算・整理することを実践します。また、講義では建学の精神に則った学生生活の在り方を提唱する中で、この科目の学習の目的と進路意識を持たせ、何事にも意欲的に取り組む姿勢の一歩とし、日本商工会議所簿記検定3級合格を目指します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understandin	g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
	数量的スキル	Mathematics	0		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
denone diams	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
45. + + + 4.4.6.49. +	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 Craonar Quantica	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

- ①簿記の基本概念及び記帳・計算の基礎を理解できる。
- ②日常の手続きを理解し、仕訳及び勘定記入ができ、決算の意味を理解し、試算表の作成ができる。
- ③簿記一巡の手続を理解し、財務諸表作成までの計算構造を理解できる。
- ④簿記の機能と役割を理解させ、簿記への興味関心を持たせ、学習習慣と学ぶ姿勢を確立し、日本商工会議所 簿記検定3級合格を目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生からの積極的な発言を期待し、毎回授業中に知識の定着を図るための口頭試問を実施します。また、 学生自ら段階別の問題を作成し解答の具体的な説明を行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(556)にて随時受け付けます。連絡先はnagatomoy@kiis.ac.jpです。 なお、出勤日は火曜日、水曜日、木曜日です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:日本商工会議所主催の簿記検定3級を必ず受験します。(検定月は、6月、11月、2月です。 検定料は¥2,850です。CDC就職課から申し込みの案内が2か月前にあります。) 学習の確認:ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に説明します。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐-F ISBN Code 大原で合格る日商簿記3級 資格の大原 中央経済社 978-4502392719 ¥1.210 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 日商簿記3級過去問への ステップアップ問題集 資格の大原 大原出版 978-4864869218 ¥1,320

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法

- (1)講義回数の3分の2以上の出席を必須条件とします。
- (2)定期試験50%
 - 口頭試問10%
 - 提出物 15%
- 日本商工会議所簿記検定受験10%
- 学習意欲(課題板書及び説明)15%

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	簿記で学ぶこと(簿記の基本を学ぶための、資産、負債、純資産、費用、収益について説明)教科書(P2-8)また、学習に対する取り組み姿勢や時間管理、注意事項など受講の在り方についての説明を行います。
第1回	事前学習 簿記で学ぶこと CHAPTER O(P2~P8)までを読み、貸借対照表項目と損益計算書項目を理解し、 (内容・時間) 記憶すること。(2時間)ステップアップ問題集(P2~P4)
	事後学習CHAPTER O(P2~P8)で学んだことを復習し、配布プリントを再確認し、反復学習をすること。(2時間)ステップ(内容・時間)アップ問題集(P2~P4)
	簿記の意味と目的、意義、必要性等を興味深く説明し、目的を達成する財務諸表として貸借対照表及び損益計算書の作成を行います。(貸借対照表から企業の必要な資金の状態が分かり、記載するカテゴリーとして、資産、負債、純資産の分類を理解し、カテゴリーの中の勘定科目を記憶します。教科書(P4-8)
第2回	事前学習 貸借対照表カテゴリーのそれぞれの勘定科目を区別して理解し記憶すること。教科書P4~P8までの勘定科目及 (内容・時間) び配布プリントの勘定科目を明確に記憶し作成できること。ステップアップ問題集(P3~P4)(2時間)
	事後学習 講義中に学習した内容を教科書と配布プリントでしっかり振り返り、カテゴリー別の勘定科目を (内容・時間) 確認すること。ステップアップ問題集(P3~P4)(2時間)
	財務諸表の1つ損益計算書のカテゴリーの中のそれぞれの勘定科目を区別して、内容理解と共に記憶すること。また、損益計算書の算式を理解すること。(P6~P8)ステップアップ問題集(P2~P4)
第3回	事前学習教科書P4~P5の確認とP6~P8までをしっかり確認し学習内容の把握をすること。ステップアップ(内容・時間)問題集(P2~P4)(2時間)
	事後学習 貸借対照表カテゴリーのそれぞれの勘定科目の理解、損益計算書のカテゴリーのそれぞれの勘定科目の理解 (内容・時間) を、配布プリントで確認しそれぞれの表を作成できるようにする。ステップアップ問題集(P2~4)(2時間)
	貸借対照表に関する勘定科目と、損益計算書に関する勘定科目の分類の説明と取引の意味を踏まえて仕訳を行い、それぞれの勘定への転記を教科書、配布プリント及び問題集で説明する。(P10~P16)
第4回	事前学習 貸借対照表項目と損益計算書項目の分類と簿記上の取引について事前学習を行う。 (内容・時間) ステップアップ問題集(P5~P10)(2時間)
	事後学習 貸借対照表及び損益計算書に関する勘定科目を区別して配布プリントを参考に理解し、簿記上の取引を見分け (内容・時間) 仕訳を行い、各勘定への転記を理解する。ステップアップ問題集(P5~P10)(2時間)
	各勘定への転記が正しいかどうかの判断を行うために試算表を作成する。一定期間の範囲の中で取引と判断できる取引を仕訳し、それぞれの勘定へ転記する。この一連の流れが正しいかどうか判断するための資料作成を説明する。(P10~P18)ステップアップ問題集(P11~P17)
第5回	事前学習 各項目の勘定科目の意味と分類をしっかりと理解し、取引か取引でないかの判断をしたうえで仕訳を行い、それぞ (内容・時間) れの勘定に転記する意味を考え、記入方法を理解しておくこと。(P10~P18)(2時間)
	事後学習 取引か取引でないかの判断を行い、仕訳しそれぞれの勘定に転記して、その一連の行為が (内容・時間) 正しいか判断する試算表の作成を理解する。ステップアップ問題集(P11~P17)(2時間)
	商品売買に関する記帳を3分法で行う説明を行います。繰越商品勘定と仕入勘定と売上勘定の関係を説明し、繰越商品と仕入勘定は原価が 記帳されている意味を理解させる。また、現金で商品を売買する、掛取引で売買する場合の処理方法、並びに返品や値引きを受ける時やした 場合の会計処理、商品購入時の引取り費用の会計処理、販売時の発送費の会計処理方法について説明する。 (P20~P26)ステップアップ問題集(P14~P20)
第6回	事前学習 3分法の意味や会計処理、掛取引の会計処理、値引き返品の会計処理、引き取り費用及び発送費の会計処理に (内容・時間) ついて意味の理解をしておく。(P20~P26)ステップアップ問題集(P14~P20)(2時間)
	事後学習 商品購入の会計処理、商品売買の会計処理に関して現金使用時、掛取り引き時、商品購入時の引取運賃や商品 (内容・時間) 販売時の発送費の会計処理を配布プリントで確認し理解を深める。ステップアップ問題集(P14~P20)(2時間)
	商品売買契約を確実に行うため、商品受け渡し前に代金の一部を内金または手付金とする会計処理、ギフトカードや商店街や 自治体が発行したものなど、売上取引に関連して、他者発行の商品券の会計処理について説明します。(P27~P32)
第7回	事前学習 内金や手付金の会計処理や商品券の会計処理の方法について、その内容を把握しておくこと。 (内容・時間) また、前回の内容の確認をしておくこと。ステップアップ問題集(P18~P20)(2時間)
	事後学習 第7回講義内容、前払い金と前受け金の簿記上の意味を理解し、その会計処理について配布 (内容・時間) プリントで確認理解を深めておくこと。ステップアップ問題集(P18~P20)(2時間)
	簿記上の現金とは何か、その会計処理について、また、現金勘定の帳簿残高と実際有高との不一致の 場合の会計処理について、プリントを配布し説明します。(P34~P39)
第8回	事前学習 内金や手付金の確認と同時に、現金勘定の会計処理についてその内容を把握しておくこと。 (内容・時間) また、現金過不足の意味や会計処理を把握しておくこと。(P21~P23)(2時間)
	事後学習 第8回講義内容、現金勘定の会計処理及び現金過不足の意味や会計処理について勘定記入を含めて、配布プリ (内容・時間) ント及び問題集で確認し理解を深める。ステップアップ問題集(P21~P23)(2時間)

	支払手段としての普通預金、当座預金勘定の意味と会計処理及び約束手形の意味と会計処理、電子記 録債権債務の会計処理について、教科書やプリントを配布し説明します。(P40~P50)
第9回	事前学習 支払手段としての現金の理解を確認したうえで、現金以外の支払い手段の内容について理解 (内容・時間) をしておくこと。(P42~P52)ステップアップ問題集(P26~P30)(2時間)
	事後学習 支払手段としての普通預金及び当座預金、約束手形の意味や処理方法、そして勘定記入を (内容・時間) 配布プリントで理解を深めること。ステップアップ問題集(P26~P30)(2時間)
	有形固定資産の購入、改善と改良の会計処理、クレジット取引の会計処理、金銭を貸す場合や借りる場合の会計処理について教科書及び配布プリントに従って説明します。(P52~P62)
第10回	事前学習 約束手形の確認をプリントで行ったうえで、有形固定資産の会計処理とクレジット売掛金の (内容・時間) 会計処理について配布プリントで理解を深める。(P52~P62)(2時間)
	事後学習 有形固定資産の会計処理と金銭の貸借の会計処理、クレジット売買の会計処理の理解をプリ (内容・時間) ント、問題集を使って深めること。ステップアップ問題集(P31~P36)(2時間)
	金銭の貸し付けや借り入れを行うとき、手形を用いる場合の会計処理、商品以外の売買取引で代金を後日受取る場合と後日支払う場合の会計処理、従業員のために一時的に金銭を立て替えた場合、給料の源泉所得税を差し引いて一時的に預かり、後日税務署に支払う会計処理をプリント等で説明します。(P63~P72)
第11回	事前学習 有形固定資産の会計処理と金銭の貸借の会計処理、クレジット売買の会計処理の理解をプリントを使って深める。また、給料の (内容・時間) 会計処理や手形による金銭貸借等について理解しておく。(P63~P72)ステップアップ問題集(P33~P40)(2時間)
	事後学習 手形を用いて金銭貸借の会計処理や商品以外の掛取引の会計処理、給料の会計処理につ (内容・時間) いてプリントなどで理解を深めること。ステップアップ問題集(P33~P40)(2時間)
	従業員の出張に関する会計処理、従業員が出張中に取引先から金銭を送金してくる場合の会計処理契約を実行する担保として債務者が債権者に対して差し入れた保証金についての会計処理、消費税の会計処理について(間接税)プリントを交えて説明します。(P71~P78)ステップアップ問題集(P69~P72)
第12回	事前学習 手形を用いて金銭貸借の会計処理や商品以外の掛取引の会計処理、給料の会計処理についてプリントなどで理 (内容・時間) 解を深め、また、従業員の出張に関する会計処理を理解しておく。ステップアップ問題集(P33~P47)(2時間)
	事後学習 出張に関する会計処理、消費税の会計処理について、配布プリントで確認し、理解を深める。 (内容・時間) ステップアップ問題集(P33~P47)(2時間)
	主要簿と補助簿の記入方法、仕訳帳の記入方法、総勘定元帳の記入方法、受取手形記入帳や支払手形記入帳、仕入帳や売上帳についてプリントを配布し、記帳練習を繰り返し説明します。(P94~P114)
第13回	事前学習 出張に関する会計処理、消費税の会計処理について、配布プリントで確認し、理解を深める。 (内容・時間) また、主要簿や補助簿、仕入帳、売上帳、受取手形記入帳などの理解をしておく。(P56—P68)(2時間)
	事後学習 総勘定元帳や仕入帳、受取手形記入帳や支払手形記入帳、仕入帳、売上帳の記入についてプリントなどで繰り 返し記入方法を理解する。(P94~P114)ステップアップ問題集(P56~P68)(2時間)
	売掛金元帳、買掛金元帳の記載方法、商品有高帳の記載方法についてプリントを配布して説明します。 (P109~P116)ステップアップ問題集(P94~P114)
第14回	事前学習 総勘定元帳や仕入帳、受取手形記入帳や支払手形記入帳、仕入帳、売上帳の記入についてプリントなどで繰り (内容・時間) 返し記入方法を理解した上で、商品有高帳の記載について理解しておく。(P56~P68))(2時間)
	事後学習 売掛金元帳、買掛金元帳の記載方法、商品有高帳の記載方法について、配布したプリント (内容・時間) で確認し理解を深める。(P94~P114)ステップアップ問題集(P56~P68)(2時間)
	伝票会計の会計処理を行い、仕訳日計表の作成をプリント等を使用して説明します。(P116~P122)
第15回	事前学習 売掛金元帳、買掛金元帳の記載方法、商品有高帳の記載方法について、配布したプリント (内容・時間) で確認し理解を深める。また、伝票会計について理解しておく。(P116~P122)(2時間)
	事後学習 伝票会計の会計処理を行い、仕訳日計表の作成をプリント等で確認し理解を深める。 (内容・時間) (P116~P122)ステップアップ問題集(P72~P78)(2時間)
	商工会議所簿記検定3級試験の検定範囲の中(学習した内容)で、決算問題を中心に60分間で実施します。 持ち込み可能なもの ①電卓のみ

ナンバリング (Numberin 1BMB-6462-12E	g)				
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
簿記Ⅱ	224 経営情報学科		選択	選択	
77 10 -	221~223	1年生・後期	2単位		岩下 昌美 平川 淳一
簿記演習 ————	219•220	9-220		必修	
オンライン授業 Online Class		ラスルームの利用 pogle Classroom			
履修の前提条件 Course Prerequisites	テキストを必	たは「初級簿記」の単位を らず準備してください。使用 Dになります。			22年度の前期「簿記Ⅰ」で

ディプロマポリシーにもとづき,この授業では簿記についての基礎レベルについて説明します。 本講義は,日本商工会議所主催の簿記検定3級の範囲,小規模な株式会社を前提した複式簿記の原理と技術の基礎的知識を習得するため,前期「簿記 I 」と連続した内容になりますので,必ず受講をするようにしてくださ

い。薄記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席することがとても重要です。							
	実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience				

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals						
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening				
7 E 44 44 6 49 F	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
donono onino	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0			
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management	0			
	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
1 or oonar Quantico	倫理観	Ethical Sense	0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

本学では4年間で簿記検定3級、全員取得を掲げています。そこで本講義では、簿記一巡の手続きを理解し、小規模な株式会社における帳簿記帳の基礎的知識を習得することを目標とします。

そして「簿記 I 」「簿記 II 」の履修により日本商工会議所簿記検定3級取得を目指します。簿記検定のペーパー 試験(統一試験)は6月, 11月, 2月(翌年)に実施されます。2021.4月からWEB検定(受験日自由選択)も実施されることになりました。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。 授業終了時には毎回の理解度をチェックするため、ミニテストを実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは2号館2階270室の研究室にてオフィスアワー時(年度はじめに掲示), あるいは電子メール(アドレス:masami-i@g.kiis.ac.jp)で受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
『2024 日商簿記3級テキスト』, 1,800円 2024年度前期の「簿記 I 」テキストと同じです。	岩下昌美	前期に購入していない場合は、空き時間を利用して 岩下(270号室)研究室で購入してください。					
	参考文献 Referer	nce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
『スッキリわかる 日商簿記3級 最 新版 テキスト&問題集』	滝澤 ななみ	TAC出版					
式结证佈士法 Curadian Cuitania / Mathad of Fugluation							

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:定期試験(70%), 平常点(15%), 復習課題(15%)。平常点は科目別履修状況チェック表の提出状況, 毎回の授業最後の成果物提出状況で判断する。

成績評価の基準:①3級の取引の仕訳ができるか。②補助簿の作成できるか。⑤決算整理事項から精算表および財務諸表(貸借対照表・損益計算書)が作成できるか。

		授業計画 Course Schedule
		テーマ Theme
		ーション(講義の進め方, 講義内容, 受講上の諸注意, 評価方法など)を確認します。 I 」の復習として, 総合的な仕訳問題その1(株式会社の設立等, 商品売買, 掛け取引, 現金預金等) きます。
第1回	事前学習 (内容·時間)	前期「簿記 I 」の復習および勘定科目一覧表を確認しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	配布する復習問題を解いてください。(2時間)
		[I 」の復習として,総合的な仕訳問題その2(貸倒れ,手形取引等,固定資産,その他の債税金,決算整理)を解いていきます。
第2回	事前学習 (内容·時間)	前期「簿記 I 」の復習および勘定科目一覧表を確認しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第14章 分	う記法(商品売買)の会計処理について学習します。
第3回	事前学習 (内容·時間)	テキストの第14章を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
		制助簿(商品有高帳, 仕入帳, 売上帳, 得意先元帳, 仕入先元帳, 現金出納帳)の作成方法 学習します。
第4回	事前学習 (内容·時間)	テキストの第15章を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	第15章 補いて学習し	制助簿(当座預金出納帳, 小口現金出納帳, 手形記入帳, 固定資産台帳,)の作成方法につ します。
第5回	事前学習 (内容·時間)	テキストの第15章を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	日本商工	会議所簿記検定3級の過去の仕訳問題を配布資料①をもとに解いていきます。
第6回	事前学習 (内容·時間)	勘定科目一覧表で資産・負債・純資産・費用・収益について確認してください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	当該回の仕訳問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。(2時間)
	日本商工	会議所簿記検定3級の過去の仕訳問題を配布資料②をもとに解いていきます。
第7回	事前学習 (内容·時間)	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	当該回の仕訳問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。(2時間)
	日本商工	会議所簿記検定3級の過去の仕訳問題を配布資料③をもとに解いていきます。
第8回	事前学習 (内容·時間)	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	当該回の仕訳問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。(2時間)

	-	
	日本商工会	会議所簿記検定3級の過去の補助簿作成・穴埋め問題を配布資料④をもとに解いていきます。
第9回	事前学習 (内容·時間)	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	当該回の仕訳問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。(2時間)
	日本商工会	会議所簿記検定3級の過去の補助簿作成・穴埋め問題を配布資料⑤をもとに解いていきます。
第10回	事前学習 (内容·時間)	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。(2時間)
	日本商工	会議所簿記検定3級の過去の伝票問題を配布資料⑥をもとに解いていきます。
第11回	事前学習 (内容·時間)	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。(2時間)
	日本商工: ます。	会議所簿記検定3級の過去の決算整理・精算表作成問題を配布資料⑦をもとに解いていき
第12回	事前学習 (内容·時間)	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。(2時間)
	日本商工:	会議所簿記検定3級の過去の決算整理・財務諸表作成問題を配布資料⑧をもとに解いてい
第13回	事前学習 (内容·時間)	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。(2時間)
	日本商工: ます。	会議所簿記検定3級の過去の決算整理後試算表作成問題を配布資料⑨をもとに解いていき
第14回	事前学習 (内容·時間)	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。(2時間)
	日本商工:に解いてい	会議所簿記検定3級の過去の帳簿記入と締切り、繰越試算表作成問題を配布資料⑩をもと いきます。
第15回	事前学習 (内容·時間)	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。(2時間)
第16回(定期試験)	60分の定	期試験(電卓持ち込み可)

ナンバリング (Numbering)							
1BMB-6462-12E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学與 School Year, Sem	•	単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
簿記Ⅱ		224 情報ネットワーク学科 221~223	1年生・後期		2単位	選択	長友 陛富
簿記演習		219-220)			必修	
オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisites		だことのない学 検定に合格でき を確認し、学習 とに段階的する また、配布プリン 講義語はしない 電話の利用は熱	生も基礎基本をしっかりると思います。「大原で頃目の流れを理解しておいますので、電いとがありますので、電い小等をとじる紙ファイルを頂は以下の通りです。 2時間を守る 3飲食	学合きを基準を必ずない。 禁食をはまり はままま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま は	ることで、簿記36 目商簿記3級」の よう。本講義では なの内容をしっか しておいてくださ 増してください。 ペットボトルや食・ の励行と学ぶ姿勢	級の内容 CHAPTE 、 りい。 物 りい。 が を身に といっ といっ といっ といっ といっ といっ といっ といっ といっ といっ	机上に置かない)4 携帯

宇務経験をいかした教育内突

企業を経営管理するためには会計情報の知識(会社がどういう経営状態か)が必要です。必要な情報として会計情報を正確に 理解するためには、簿記を理解することが不可欠です。経営情報学部を卒業する学生は、将来企業の経営管理に関わる可能 性が高いことを考えると、簿記の知識習得は必須となります。本科目では、企業が行う経済活動により発生する、資産、負債、 純資産、費用、収益の増減を一定のルールに従って、記録・計算・整理することを実践します。また、講義では建学の精神に則った 学生生活の在り方を提唱する中で、この科目の学修の目的と進路意識を持たせ、何事にも意欲的に取り組む姿勢の一歩とし、 日本商工会議所簿記検定3級合格を目指します。

宇淼経験内突

実務経験のある教員による科目

夫務症映のの句教員による符日 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	美務詮験内容 Work Experience Content	美務詮験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience				
該当しない						
授業を通して修得できる力 Competency Goals						
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understanding	g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening				
刀甲的牡化の知上	数量的スキル	Mathematics	0			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
GOTTOTTO OTTITIO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0			
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management	0			
能在 土力州の知上	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
i ordonar quantito	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

- ①簿記の基本概念及び記帳計算の基礎を理解できる。
- ②日常の手続きを理解し、仕訳及び勘定記入ができ、決算の意味を理解し、試算表の作成ができる。
- ③簿記一巡の手続を理解し、財務諸表作成までの計算構造を理解できる。
- ④簿記の機能と役割を理解させ、簿記への興味関心を持たせ、学習習慣と学ぶ姿勢を確立し、日本商工会議所 簿記検定3級合格を目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生からの積極的な発言を期待し、毎回授業中に知識の定着を図るための口頭試問、課題の板書及び説明することを実施します。また、学生自ら段階別の問題を作成し解答を含め説明・発表します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(556)にて随時受け付けます。連絡先はnagatomoy@kiis.ac.jpです。なお、出勤日は火曜日、水曜日、木曜日です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:日本商工会議所主催の簿記検定3級を必ず受験します。(検定月は、6月、11月、2月です。 検定料は¥2,850です。CDC就職課から申し込みの案内が2か月前にあります。) |学習の確認:ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に説明します。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
大原で合格る日商簿記3級 ¥1,210	資格の大原	中央経済社	978-4502392719				
参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
日商簿記3級過去問への ステップアップ問題集 ¥1,320	資格の大原	大原出版	978-4864869218				

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法

- (1)講義回数の3分の2以上の出席を必須条件とします。
- (2)定期試験50%
- 口頭試問10%
- 提出物 15%
- 簿記コンテスト及び日本商工会議所簿記検定受験10%
- 学習意欲(課題板書及び説明)15%

		授業計画 Course Schedule				
		テーマ Theme				
第1回	会計学入門や簿記 I で学習した内容を振り返る。そのうえで精算表の作成を説明し、貸し倒れの会計処理、貸借対照表のにおける貸倒引当金の表示、有形固定資産の減価償却の会計処理について説明する。(教科書P132~P168)					
	3 13 3 H	前期の会計学入門と簿記 I の講義の内容を、教科書やプリントで振り返り理解を深め、精算表の作成についてその方法を理解しておくこと。(P132~P168)(2時間)				
	事後学習 (内容・時間)	情算表の作成に決算整理事項として出題される貸し倒れと減価償却の計算方法、会計処理について、その仕訳と記帳方法を 配布プリントで理解すること。ステップアップ問題集(P82~P93)(2時間)				
第2回	会計学入門や簿記 I で学習した内容を振り返る。そのうえで精算表の作成を説明し、貸し倒れの会計処理、貸借対照表のにおける貸倒引当金の表示、有形固定資産の減価償却の計算及び会計処理について説明する。(P132~P168)ステップアップ問題集(P82~P93)					
	事則子百	第1回講義内容、精算表の作成に決算整理事項として出題される貸し倒れと減価價却について、その仕訳と記帳方法を配布フリントで理解し、有形固定資産の売却の会計処理について理解しておく。(P132~P168)ステップアップ問題集(P90~P115) (2時間)				
	, , , ,	情算表の作成に関して、貸倒の設定、減価償却の計算及び会計処理、有形固定資産の売却時の会計処理について配布プリン 、や問題集で確認する(P132~P168)ステップアップ問題集(P82~P93)(2時間)				
	精算表の作成に関して、費用収益の前払い・前受け、費用収益の未払い・未収についてプリントを交え説明する。 教科書(P170~P184)ステップアップ問題集(P82~P93)					
第3回		貸倒れと減価償却等を配布プリントで理解を深め、費用収益の前払いや前受け、未払い・未収について、理解しておくこと。 (P170~P184)ステップアップ問題集(P82~P93)(2時間)				
		情算表の作成を理解する。費用収益の前払い・前受け、費用収益の未払い・未収についてプリントを交え理解を深める (P170~P184)ステップアップ問題集(P82~P93)(2時間)				
	精算表の作成に関して、費用収益の前払い・前受け、費用収益の未払い・未収についてプリントを交え説明する。教科書(P170~P184)ステップアップ問題集(P82~P93)					
第4回		貸倒れと減価償却等を配布プリントで理解を深め、費用収益の前払いや前受け、未払い・未収について、理解しておくこと。 数科書(P170~P184)ステップアップ問題集(P82~P93)(2時間)				
		情算表の作成を理解する。費用収益の前払い・前受け、費用収益の未払い・未収についてプリントを交え理解を深める (P170~P184)ステップアップ問題集(P82~P93)				
	精算表の作成をプリント・問題集を利用して決算整理事項を含めて、作成の理解を深める。 (P209~P212)ステップアップ問題集(P114~P115)					
第5回		央算整理事項に関係する、貸倒、減価償却、売上原価、現金過不足、前受金、税金関係、費用・収益の見越し繰り延べ、貯蔵 品等を含めた精算表作成の理解を深めておくこと。(P161~P212)ステップアップ問題集(P86~P115)(2時間)				
	事後学習 (内容・時間)	情算表の作成手順をプリント・問題集を活用して明確に理解を深めること。(P161~P212)ステップアップ問題集(P86~P115)(2 時間)				
		及び財務諸表の作成までの一連の手続きについて、プリントと教科書で説明します。損益勘定の締め切り、資産・負債・資本書 を行い、損益計算書と貸借対照表の作成を説明します。(P185~P204)ステップアップ問題集(P112~P116)				
第6回		央算整理事項を終了した後、各勘定を締め切る流れについて理解を深めること。また、一連の流れの中から損益計算書及び貸 昔対照表の作成について理解しておくこと。(P202~P205)(2時間)				
	事後学習 (内容・時間)	第5回講義内容、損益計算書と貸借対照表の作成の手順と受取手形や売掛金に対する貸倒引当金及び減価償却累計額の表示の方法について明確に理解すること。ステップアップ問題集(P112~P116)(2時間)				
	帳簿の締め切り及び財務諸表の作成までの一連の手続きについて、プリントと教科書で説明します。損益勘定の締め切り、資産・負債・資本書簡上の締め切りを行い、損益計算書と貸借対照表の作成を説明します。(P145~P205)ステップアップ問題集(P82~P121)					
第7回	(内容・時間)	央算整理事項を終了した後、各勘定を締め切る流れについて理解を深めること。また、一連の流れの中から損益計算書及び貸 昔対照表の作成について理解しておくこと。(P145~P205)(2時間)				
	事後学習 (内容・時間)	第6回講義内容、損益計算書と貸借対照表の作成の手順と受取手形や売掛金に対する貸倒引当金及び減価償却累計額の表示の方法について明確に理解すること。ステップアップ問題集(P82~P121)(2時間)				
		級の総合問題をジャンル別に学習する。1、過去に出題された仕訳問題をプリントを活用して解く。 問題集(P4~P121)				
第8回	事前学習 (内容・時間)	取引から仕訳に関係する、今までに配布したプリントや問題集を振り返り、理解を深めておくこと。 ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
	事後学習 (内容・時間)	取引と判断できる場合の仕訳をあらゆるジャンルで出来るように繰り返し行い、理解を深めること。 ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				

	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。1、過去に出題された仕訳問題をプリントを活用して解く。 ステップアップ問題集(P4~P121)					
第9回	事前学習 (内容·時間)	取引から仕訳に関係する、今までに配布したプリントや問題集を振り返り、理解を深めておくこと。 ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	取引と判断できる場合の仕訳をあらゆるジャンルで出来るように繰り返し行い、理解を深めること。 ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
		3級の総合問題をジャンル別に学習する。2、過去に出題された試算表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。 P209)ステップアップ問題集(P4~P121)				
第10回	事前学習 (内容·時間)	試算表の作成を行うためには、日々の取引の簡単な仕訳と転記が必要です。地道なことの繰り返し根気強く取り組んでください。(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	試算表の作成は多くの時間を要します。根気よく問題に向かって解くこと以外に方法はありません。繰り返し解くことで理解を深めてください。(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。2、過去に出題された試算表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。 教科書(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)					
第11回	事前学習 (内容·時間)	試算表の作成を行うためには、日々の取引の簡単な仕訳と転記が必要です。地道なことの繰り返しですので根気強く取り組んでください。教科書(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	試算表の作成は多くの時間を要します。根気よく問題に向かって解くこと以外に方法はありません。繰り返し解くことで理解を深めてください。(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
第12回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。3、過去に出題された精算表、損益計算書・貸借対照表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。教科書(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)					
	事前学習 (内容·時間)	過去に出題された精算表・損益計算書・貸借対照表を教科書や問題集及びプリントを活用して、しっかり理解し正確な解答が出るように会計処理を高めること。教科書(P2~P2O9)ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	第12回の講義内容、精算表・損益計算書・貸借対照表の作成時間が40分で完成できるように繰り返し問題を解き、正確性とスピードカを身につけること。教科書(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
第13回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。3、過去に出題された精算表、損益計算書・貸借対照表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。教科書(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)					
	事前学習 (内容·時間)	過去に出題された精算表・損益計算書・貸借対照表を教科書や問題集及びプリントを活用して、しっかり理解し正確な回答が出るように会計処理を高めること。教科書(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	第13回講義内容、精算表・損益計算書・貸借対照表の作成時間が40分で完成できるように繰り返し問題を解き正確性とスピードカを身につけること。教科書(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。4、伝票の起票、集計、をプリント及び問題集を活用して解く。売掛金元帳・買掛金元帳、商品有高帳、仕入帳・売上帳の記入方法につて理解しておくこと。教科書(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)					
第14回	事前学習 (内容·時間)	総勘定元帳や仕入帳、受取手形記入帳や支払手形記入帳、仕入帳、売上帳の記入についてプリントなどで繰り返し記入方法を理解した上で、商品有高帳の記載について理解しておく。教科書(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	売掛金元帳、買掛金元帳の記載方法、商品有高帳の記載方法について、配布したプリントで確認し理解を深める。 教科書(P2~P209)ステップアップ問題集(P4~P121)(2時間)				
第15回	日商簿記検定3級の総合問題の理解度確認し、抑えるべ項目の把握と理解度を高める。(3級検定試験全体)					
	事前学習 (内容·時間)	日商簿記3級検定試験範囲を繰り返し学習する過程で、時間配分や配点の部分まで考えて合格に結びつけられるよう問題を解 〈習慣を身につけておく。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	3級全体の問題に対する解答をバランスよく出来るように確認を最大限に行う。ステップアップ問題集(全体)(2時間)				
第16回	商工会議所簿 で実施します。 持ち込み可能 ①電卓のみ					

ナンバリング(Numb	pering)]					
1BMN-6510-22ET							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
マネージメント科学 (教職関連科目 必 高等学校 情報)		共通	2年生・前期		2単位	選択	古川 哲也
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条 Course Prerequi		「情報リテラジが望ましい。	シー演習Ⅰ、Ⅱ」を原	爱修済 [·]	であること。数	数学関:	連科目を受講していること

ディプロマポリシーに基づき、経営の意思決定における複眼的な知識・理解や汎用的技能を獲得する。具体的には、問題を解決するための理論やモデル作成について学習すると共に、結果を身近な問題に応用して演習をする。分析やシミュレーション結果をグラフ等を用いて視覚的に表現し解決策を解りやすくする。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals						
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understar	nding 人類の文化・社会と自然に	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening				
カロが井がる知り	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0			
derionia entina	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving	0			
	建学の精神	University Founding Philosophy				
	自己管理力	Self-management				
************************************	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning				
統合的な学習経験と創造的思 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

経営には需要を予測することや在庫を適切に管理する等の問題がある。それら経営上の問題を科学的に解決する初歩的な解決技法を理解し習得する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|授業で学習した問題解決の手法を実際の問題に適用し、自ら問題を解決する実習を行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡にはメールを用いる。

furukawa@econ.kyushu-u.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオ「科目別履修状況チェック表」を作成し、第5回、第10回、第15回の授業時に提出する。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
必要に応じて資料を配布します。							
参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
・経営科学と情報処理 ・問題解決のための オペレーションズ・リサーチ入門	宮川 公男、他 高井英造、他	実教出版株式会社 日本評論社	ISBN 4-407-02775-4 ISBN978-4-535-55191-6				
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation							

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

課題の提出結果(30%) + 定期試験(70%)

授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme			
	1)授業内容、授業の進め方、成績評価の仕方を説明する。			
第1回	事前学習 資料を読んで、経営上の問題を科学的に解くとはどういうことなのか理解しておく。(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 説明内容を復習し、技術用語、専門用語など不明なものは調べるなどして確認する。(2時間)			
	2)統計データの分析			
第2回	事前学習 (内容・時間) 資料を読んで、必要な数学の知識を復習しておく。(2時間)			
	事後学習 _(内容・時間) 授業で用いた例題を完成し、練習問題を解く。(2時間)			
	3)需要予測: 時系列データの分析手法			
第3回	事前学習 (内容・時間) 資料を読んで、移動平均法、最小二乗法、季節変動の考え方を理解しておく。(2時間)			
	事後学習 授業で用いた例題を完成する。(2時間)			
	3)需要予測: 時系列分析による予測			
第4回	事前学習 (内容・時間) 資料の正規方程式の導出と計算の部分を読んでおく。(2時間)			
	事後学習 _(内容・時間) 授業で用いた例題を完成し、練習問題を解く。(2時間)			
	3)需要予測: 回帰分析による予測			
第5回	事前学習 (内容・時間) 資料の決定係数と相関の部分を読んでおく。(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 授業で用いた例題を完成し、練習問題を解く。(2時間)			
	4)在庫管理: 最適在庫管理と確定需要の在庫管理			
第6回	事前学習 (内容・時間) 資料を読んで、確定需要の場合の在庫費用の計算を理解しておく。(2時間)			
	事後学習 _(内容・時間) 最適発注量の導出を理解し、練習問題を解く。(2時間)			
	4)在庫管理: 不確定需要で発注が独立している場合			
第7回	事前学習 資料を読んで、不確定性を期待値で考えることを理解する。(2時間)			
	事後学習 授業で用いた例題を完成し、練習問題を解く。(2時間)			
	4)在庫管理: 不確定需要で発注が独立していない場合			
第8回	事前学習 (内容・時間) 資料を読んで、在庫基準量の計算方法を理解しておく。(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 授業で用いた例題を完成し、練習問題を解く。(2時間)			

	5)線形計画法:線形計画問題
第9回	事前学習 (内容・時間) 文章による記述から目的関数、制約条件式を求めることができるようにしておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 線形計画問題の最適解がどのようなものになるのか復習し、十分に理解する。(2時間)
	5)線形計画法: グラフによる解法
第10回	事前学習 2変数の線形計画問題での実行可能領域を理解しておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 連立二元一次方程式の解、線形計画問題の解、実行可能領域の関係を復習する。(2時間)
	5)線形計画法: シンプレックス法による解法
第11回	事前学習 _(内容・時間) 資料を読んで、シンプレックス法の考え方を理解する。(2時間)
	事後学習 例題を完成し、シンプレックス法の計算手順を確認する。(2時間)
	5)線形計画法: シンプレックス法の計算
第12回	事前学習 (内容・時間) シンプレックス法の各計算手順で何を求めているのかを理解する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 練習問題をシンプレックス法で解き、最適解を導く。(2時間)
	6)日程計画: 日程計画表とネットワーク表示、日程の計算
第13回	事前学習 (内容・時間) 資料を読み、日程計画の考え方を理解する。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業で用いた例題を完成し、日程を完成する。(2時間)
	6)日程計画: クリティカルパス、AonAとAonN
第14回	事前学習 _(内容・時間) 資料を読み、AonAとAonNの考え方の違いを理解する。(2時間)
	事後学習 練習問題を解き、2つの方法でクリティカルパスを求める。(2時間)
	7)全体のまとめ: マネージメント科学で何を学習したか。
第15回	事前学習 この授業で学習した内容を復習しておく。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 最終レポートをまとめる。(2時間)
第16回 (定期試験)	8)定期試験

ナンバリング (Numbering)]					
1BMB-6302-22E						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネス実務	219~	2年生·前期		2単位	選択	鈴木 和也
オンライン授業 Online Class なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisites	取得している)関連科目を履修し単位を 妾遇検定試験(3級)を申し

この講義では、ビジネス実務の知識やスキルの習得、さらには広い視野から社会に広がるビジネス実務の諸課題を、具具体的な活動プロセスの中で探求し、実践の場で生かせるような必要な知識や方法を学習をとおして身に付けることに主眼をおいている。また体験学習を積極的に取り入れ、現場の課題に取り組む姿勢についても学習をする。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		
	授業を通して修得できる力	Competency Goals

	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0
77 EP 45 ++ 45 の知 F	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0
GOTOTO OKIIIO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving	0
	建学の精神	University Founding Philosophy	0
	自己管理力	Self-management	0
华克 十九州 5 知 L	チームワーク	Teamwork	0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0
i craonar quantica	倫理観	Ethical Sense	0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本講義では、職業人として、企業においてビジネス実務を実際に行うために必要な基礎的な考え方と知識・技能を習得する。また講義をとおして、そうすることが「なぜ」必要なのかという考え方を持ち、実際に活用できる能力も身に付ける。信頼される社会人として、ふさわしい言動や人柄を身に付け、社会に必要となる豊かな教養と温かい人間性を兼ね備えた人材としての基本を培う。

なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- 対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
- ・授業内で実施するロールプレイや小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加 を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー 以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握に努める。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code すらすら合格 サービス接遇検定 西村この実 著 翔永社 978-4-7981-7005-3 準1級・2級・3級 テキスト&問題集 参考文献 Reference Books 出版社 Publisher 書名 Title 著者名 Author ISBN⊐ード ISBN Code サービスの心を磨く 実務技能検定協会 編 早稲田教育出版 978-4-7766-1305-3 サービス接遇検定 公式テキスト 3級 サービスの心を磨く 早稲田教育出版 実務技能検定協会 編 978-4-7766-1306-0 サービス接遇検定 公式テキスト 2級

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験(80%)、2.小テスト(5%)、3.学修課題の提出(5%)、4.授業への取組み(10%)

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	オリエンテーション[講義の進め方、成績評価について] サービススタッフの資質				
第1回	事前学習 (内容・時間) 教科書16頁~34頁を通読する	(2.0h)			
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)			
	専門知識[サービスの意義、サービスの機能、品選び①、品選び②、サービスの機能を考えた	態度•行動]			
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書46頁~54頁を通読する	(2.0h)			
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)			
	専門知識[お客様を迎える心構え①、お客様を迎える心構え②、お客様対応のコツ①、お客様	対応のコツ②]			
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書56頁~62頁を通読する	(2.0h)			
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)			
	一般知識[知っておきたいことわざ・慣用句]				
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書74頁~84頁を通読する	(2.0h)			
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)			
	一般知識[サービス業の用語、手紙における表現]				
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書86頁~106頁を通読する	(2.0h)			
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)			
	対人技能[人間関係の対処法、社内外の人間関係、適切な接遇用語、接遇者としての話し方]				
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書120頁~126頁を通読する	(2.0h)			
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)			
	対人技能[適切な服装と不適切な態度、サービス接遇の4S、接遇の流れ、購買行動]				
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書128頁~134頁を通読する	(2.0h)			
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)			
	対人技能[敬語、お役様に対する丁寧な言葉遣い]				
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書136頁~148頁を通読する	(2.0h)			
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)			

	 実務技能[サービス接遇の基本手順、店舗以外での接客、クレーム対応①、クレーム対応②]	
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書164頁~174頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
	実務技能[問題処理法と非常事態、環境整備、金品管理、商品管理]	
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書178頁~186頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
	実務技能[社交業務①、社交業務②]	
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書188頁~190頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
	実務技能[服装のマナー、現金の包み方、水引のかけ方]	
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書192頁~194頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
	実務技能[上書きと水引①、上書きと水引②、上書きと水引③]	
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書196頁~200頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
	 実務技能[電話応対の基本] 	
第14回	事前学習 (内容・時間) 配布した参考資料を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
	実践演習[3級模擬問題、2級模擬問題、準1級面接対策]	
第15回	事前学習 (内容・時間) 教科書216頁~238頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
第16回	定期試験の実施 (まとめと振り返りを行う。)	

ナンバリング (Numberin	g)				
1BMN-6540-22E					
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semeste	単位数 r Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
民事法	219~	2年生・前期	2単位	選択	丹羽 崇之
オンライン授業 Online Class な	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom			
履修の前提条件 Course Prerequisites	「法学」、「日	本国憲法」を履修済みで	であることが望る	ましい。	

私たちの私的生活関係は、二つの生活関係から成り立っている。契約のような、経済的取引活動を中心とする生活関係と、夫婦や親子、相続などの家族に関する生活関係である。前者に関する法規範を財産法といい、後者に関する法規範を家族法という。民法は、この二つを規律していて、市民生活の基本となる法律である。本講では、民法を中心に、民事手続法、会社法について学ぶ。

宝務経験をいかした教育内容

宝務経驗内突

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	美務詮缺內谷 Work Experience Content	美務栓験をいかした教育内谷 Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない				
	授業を通して修得でき	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に関	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
刀甲的杜铁の知よ	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0	
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management		
北庄 ナウ州の知り	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
r ordonar quantios	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning	0	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

建学の精神をふまえ、私法の基本原理をから始まり、市民生活を営むうえで必要となる民事法の基本的知識、考え方を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

判例を簡略化した事例を題材にするので、学生諸君に適用条文や法律関係を考えてもらう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問等は、授業の前後の時間やオフィスアワーを積極的に利用してもらいたい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

欠席した場合には、その回の授業内容を学習したレポートを提出してもらう。(提出しない場合は、定期試験の受験を認めない。)

|学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出すること。

教科書 Textbooks				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
民事法入門〔第8版補訂版〕	野村豊弘	有斐閣	978-4641221987	
	参考文献 Referen	ce Books		
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
ポケット六法 令和6年版	佐伯•大村編	有斐閣	978-4641009240	
民法基本判例集〔第4版〕	遠藤∙川井他編	勁草書房	978-4326451227	
民法Visual Materials〔第3版〕	池田真朗他	有斐閣	978-4641138575	
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation				

|平常点(ミニテスト、レポート)30%、定期試験70%により総合評価する。

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	民事法の意義					
第1回	事前学習 (内容・時間) 教科書第1章を読み、民事法、民法の意義を考える。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 教科書第1章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)					
	民法と民法典、権利と義務					
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2章・第3章を読み、民法の基本原理を考える。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 教科書第2章・第3章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)					
	法律行為					
第3回	事前学習 教科書第4章を読み、法律行為、権利の主体について考える。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 教科書第4章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)					
	代理					
第4回	事前学習 教科書第5章を読み、代理のしくみについて考える。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 教科書第5章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)					
	時効					
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書第6章を読み、時効について考える。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 教科書第6章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)					
	契約					
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書第7章を読み、時効について考える。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 教科書第7章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)					
	所有権					
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書第8章を読み、物権について考える。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 教科書第8章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)					
	不法行為					
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書第9章を読み、不法行為の意義、要件、効果について考える。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 教科書第9章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)					

	事務管理	·不当利得
第9回	事前学習 (内容·時間)	教科書第10章を読み、事務管理。不当利得の意義、要件、効果について考える。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	教科書第10章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)
	債務の弁済	斉
第10回	事前学習 (内容·時間)	教科書第11章を読み、債務の担保、債務の弁済について考える。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	教科書第11章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)
	家族	
第11回	事前学習 (内容·時間)	教科書第12章を読み、親族法の意義、基本原理について考える。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	教科書第12章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)
	親子、扶養	
第12回	事前学習 (内容·時間)	教科書第13章を読み、親子、親権、親族扶養について考える。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	教科書第13章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)
	相続	
第13回	事前学習 (内容·時間)	教科書第14章を読み、相続の意義、法定相続、遺言について考える。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	教科書第14章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)
	団体	
第14回	事前学習 (内容·時間)	教科書第15章を読み、法人、会社について考える。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	教科書第15章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)
	権利の実	現
第15回	事前学習 (内容·時間)	教科書第16章を読み、権利実現の方法、紛争の解決、裁判制度について考える。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	教科書第16章を読み返し、設例の解答を書いてみる。(2時間)
第16回	定期試験	

ナンバリング (Numberin 1BMN-5360-22C	<u>z)</u>					
科目名 Class	入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
経営情報学I	223~	0年出 新期		2単位	必修	秋吉浩志
経営情報論I	2年生·前期 経営情報論 I ~222			2年1世	選択	松口 / 口/心
オンライン授業 Online Class	•	ラスルームの利用 pogle Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites		「経営学総論 I 」「情報学入門」を履修していること。「情報テクノロジー(情報処:門)」を履修し、ストラテジー分野について理解していることが望ましい。				

本学の建学の精神と3つのポリシーを基盤とした、本学の経営情報学の全体像を把握するための重要な科目である。

経営情報学とはなにか。その入り口の内容をさまざまな分野から説明を行っていく。

業種毎(製造業、流通業、金融業)のシステム構成や具体的システム事例(家電メーカ、コンビニエンスストア、銀行等)について解説する。

ITパスポート試験(ストラテジー分野)から出題した小テストを毎回実施する。

この科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)必修科目である。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容			
with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Understar	nding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
77 FT 44 44 6 79 4	数量的スキル	Mathematics	0		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	情報リテラシー Information Literacy			
deficite onling	論理的思考力	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving	0		
	建学の精神	University Founding Philosophy	0		
	自己管理力	Self-management	0		
	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 or sorial Qualities	倫理観	Ethical Sense	0		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0		
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	0		

到達目標 Objectives

経営情報の基本的な理論の理解を目指す。さらに業種毎の経営情報システムの仕組み、特徴について正しく理解し、説明が出来るようになる。

また、社会で求められる経営情報に関する土台としての知識を習得し、他の基礎科目、および応用・発展科目へと導き、より深い知識を得る道しるべを得ることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回の授業で、授業内容をまとめた課題と実体験のレポート提出があります。意見、感想なども記入してください。

- ①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
- ②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う
- ③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
- ④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。な ど

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に研究室(2号館5階555研究室)にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。 研究室訪問の際、メール;akiyoshi@g.kiis.ac.jpにメール連絡をしておくことを薦める。(遠隔授業の場合はGoogleク ラスルームを活用して連絡を随時行う)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

外部試験:ITパスポート資格の未取得者は受験すること。資格取得状況を成績評価の対象とする。 学修の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に該当事項を記入して、次回授業までに 共有フォルダもしくは指定したGoogleクラスルームへ提出すること。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐─F ISBN Code テキストは使用せず、毎回教員が 作成した資料を事前にclassroom にて配布する。 参考文献 Reference Books 書名 Title 出版社 Publisher ISBN⊐-F ISBN Code 著者名 Author 情報・技術経営シリーズ10 薦田憲久、水野浩孝他 コロナ社 4339026301 ビジネス情報システム 同文舘出版 9784495384111 経営の基礎から学ぶ 武藤明則 経営情報システム教科書 日科技連 島田達己、高原康彦 9784817192141 経営情報システム 第3版

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験(60%)、出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。(30%)、授業態度、ミニテスト(10%)を基準とする。

パソコン(タブレット型も含む)、携帯(スマートフォン)その他電子機器の使用は出席登録以外では一切禁止し、 使用した場合によっては科目受講失格(0点)にする。基本的に座席指定を行う。使用する際は事前に連絡をす る。

|成績評価の基準:利用部門での情報リーダーに必要な、情報系システムの企画・開発に関する知識がある。

授業計画 Course Schedule								
	テーマ Theme							
	オリエンテーション(授業の概要・受講上の諸注意)							
第1回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
	経営情報システムの概要(経営情報システムの構成、体系について学習する)							
第2回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
	経営情報とは(経営学の視点からの経営情報を考える①経営と情報の関り)							
第3回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
	経営情報とは(経営学の視点からの経営情報を考える②経営と情報の関り)							
第4回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
	製造業情報システム(家電メーカ等を事例にして具体的に学習する)							
第5回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
	流通業情報システム(流通業における情報システムの構成について学習する)							
第6回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
	流通業情報システム(販売管理、在庫管理、受発注、物流・配送、売れ筋分析等について学習する)							
第7回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
	流通業情報システム(コンビニエンスストア等を事例にして具体的に学習する)							
第8回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							

	金融業情報システム(金融業情報システムの発展について学習する)
第9回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	データ流通システムを考える(データ流通、活用の動向)
第10回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	データ流通システムを考える(データ流通ビジネスの課題と展望)
第11回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	金融業情報システムを考える(銀行等を事例にして具体的に学習する)
第12回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	ワークフロー管理システム(企業内でのグループ業務を支えるシステムについて学習する)
第13回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 (内容・時間) classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	テレワーク(企業内での遠隔業務を支えるシステムについて学習する)
第14回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	TCO(情報システムにかかる費用を把握し、削減対策について学習する)
第15回	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 (内容・時間) classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第16回	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。 その進捗状況も試験の一部とみなす。

ナンバリング (Numb							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学頻 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営情報学Ⅱ (教職関連科目 必 高等学		223~					
経営情報論 Ⅱ]	221 · 222	2・3年生・後其	月	2単位	選択	井上 善海
(教職関連科目 必 高等学		219·220 経営情報学科					
オンライン授業 Online Class	なし	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条 Course Prerequis							

経営コンサルタントの実務経験がある教員が、経営環境の変化や情報技術の進展により、情報通信技術がどのように発展してきたかを解説することにより、各情報通信技術の利点・欠点・留意点について学修する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience		実務経験内容 Work Experience Content			実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience			
該当		企業経営者11年 経営コンサルタント9年		企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等,経営コサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。				
		授業を通して修得でき	きる力	Competency	y Goals			
知識・理解の観点	点	多文化・異文化に関する知	識の理解	裈	Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Underst	tanding	人類の文化・社会と自然に	関する知	口識の理解	Human Culture / Society / Nature	0		
		コミュニケーション・スキル	Readin	Reading / Writing / Speaking / Listening				
20日的社会の知	±	数量的スキル	Mather	matics				
汎用的技能の観 Generic Skills	汎用的技能の観点 Generic Skills		Information Literacy			0		
denone orang		論理的思考力	Logical	Thinking / C	Creative Thinking			
		問題解決力	Problem Solving					
		建学の精神	Univers	sity Founding	Philosophy			
		自己管理力 Self-		f-management				
能産 ま白州の知	1 <u>1</u>	チームワーク	Teamw	amwork				
態度・志向性の観 Personal Qualitie		リーダーシップ	Leader	eadership				
i oroonar quantro		倫理観	Ethical	thical Sense				
			Social Responsibility					
生涯学習力		Lifelon	g Learning					
統合的な学習経験と創造的 Integrated Learning Experier		統合的な学習経験	Integra	ted Learning	Experience			
Creative Thinking Skill		創造的思考力	Creativ	e Thinking S	kills			

到達目標 Objectives

「学修成果(Student Learning Outcomes) 3項 社会で求められる知識・技能を修得し、もろもろの課題に主体的に取り組むことができる創造的な思考力や実践力を修得している」に基づき、

情報通信技術の発展過程を理解できる、各情報通信技術について考え方を説明できる、ネットワーク社会の新しい分野で活躍できる人材となることを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し、講義を聴いているだけでは単位取得できません。講 義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。 また情報通信技術に関するビデオ聴講による演習等を行います。聴講したビデオに基づき、ディスカッションを行 うため、ビデオ内容の聞き取り力、メモカ、聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法:メールで連絡してください。

オフィスアワー:授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録(ポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
テキストは使用せず、毎回教員 が作成した資料を事前に classroomにて配布する							
参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
経営情報論	遠山暁、村田潔、 岸眞理子	有斐閣アルマ	9784641220577				
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation							

中間と期末のレポート、もしくは試験(60%)、授業内課題レポート(40%)を基準とする。

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	オリエンテーション(授業の概要・受講上の諸注意)					
第1回	事前学習 本授業のテーマについてネット検索等で調べ、疑問点を整理する。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 授業を受講するためのネットワーク環境や資料を整備する。(2時間)					
	企業の経営と情報通信技術の関係					
第2回	事前学習 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)					
	企業の経営組織と情報通信技術					
第3回	事前学習 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)					
	企業の経営組織と情報通信技術を活用した意思決定					
第4回	事前学習 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)					
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)					
	企業の経営組織と情報通信技術を活用したコミュニケーション					
第5回	事前学習 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)					
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)					
	企業の経営組織と情報通信技術を活用した組織変革					
第6回	事前学習 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)					
	企業の経営戦略と情報通信技術					
第7回	事前学習 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)					
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)					
	企業の経営戦略と情報通信技術を活用したビジネスプロセス革新					
第8回	事前学習 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)					
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)					

	企業の経営戦略と情報通信技術を活用したネット・ビジネスの展開
第9回	事前学習 _(内容・時間) 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	企業の経営戦略と情報通信技術を活用したビジネスモデル構築
第10回	事前学習 _(内容・時間) 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	情報通信技術の設計・開発
第11回	事前学習 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	情報通信技術の管理
第12回	事前学習 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	情報通信技術と社会
第13回	事前学習 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	情報通信技術の進化
第14回	事前学習 _(内容・時間) 授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	まとめ
第15回	事前学習 (内容・時間) 全体を振り返り、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 キーワードについて説明できるようにする。(2時間)
fritz 4	
第16回 (定期試験)	定期試験等

ナンバリング (Numl 1BIN-5690-120							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
情報学入門		223~	1年生•前期		2単位	必修	九自 杏椒
(教職関連科目 必 高等学校 情報)		219~222			2年12	選択	中島 直樹
オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom あり					
履修の前提条 Course Prerequi		情報について学ぶ意識を強く持つことを期待します。					

学則第3条を踏まえて、

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

情報学分野全般の基本的な知識(人工知能、ICTを含む)を習得することを目標とする。

実務経験内容

Work Experience Content

具体的には、情報処理や情報ネットワークのような技術的な内容だけではなく、情報や情報メディアおよびそれらの活用、活用する際の姿勢・態度について学ぶ。情報ネットワーク学科の他の先生方とのオムニバス形式で運用するため、順番が前後したり、内容に若干の変更があったりすることがあります。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。状況によりオンライン(Zoom)授業になることがある。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

	<u> </u>				
該当しない					
	授業を通して修得でき	る力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識	戦の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Natu	re O		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
7 m4444 6 50 b	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving	0		
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

情報や情報技術に興味を持ち、それを扱う際に欠かせない基礎知識を学び、またメディアリテラシーの素養を育む。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、実生活でも身近になってきたネットショッピングサイトを題材に、そこで用いられている技術だけでなく、プラットフォーム、メディアとしての捉え方、活用する際の姿勢・態度についても考察する。その際には、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。紙のノート・ルーズリーフでの学習を推奨。

ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。

授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、

関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。

※学内のパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
講義資料を配布します。			
	参考文献 Referen	nce Books	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
「痛快!コンピュータ学」	坂村健	集英社	978-4087474282

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- 1) 提出物(授業の振り返りや課題等)が約60%、
- 2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
- であって、かつ、これら1).2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
- |※オムニバス形式のため、各回の担当者の評価を合計して科目全体の評価とする。授業担当者以外の評価は、 |1)提出物とみなす。
- さらに、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

	授業計画 Course Schedule			
	テーマ Theme			
	入門(1) 身近な例から始める情報と社会、情報とは(値、データなど)			
第1回	事前学習 大学入学までの情報に関する学習を振り返ってまとめる。[2.0h]			
	事後学習 「内容・時間」 データ、情報、知識についてまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]			
	入門(2) 情報の種類と特性(アナログ、デジタル)、意味、価値			
第2回	事前学習 身近なアナログ、デジタルの例を探してまとめておく。 [2.0h]			
	事後学習 (内容・時間) アナログ、デジタルの違い、特徴、利点欠点についてまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]			
	メディア(1) 媒体:メディアの種類と特性、媒介される対象としての情報			
第3回	事前学習 身近なメディアについて、書き出してまとめておく。[2.0h]			
	事後学習 (内容・時間) ノートをまとめ直す。振り返りを書く。[2.0h]			
	データサイエンス(1) データ、情報、知識			
第4回	事前学習 データサイエンス、データリテラシーという用語について調べておく。[2.0h]			
	事後学習 「ボータサイエンスの概要についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]			
	データサイエンス(2) 人材、技術、実例			
第5回	事前学習 データサイエンスの応用事例について調べる。[2.0h]			
	事後学習 「内容・時間」 データサイエンティストの活躍分野、就職先について調べる。振り返りを書く。[2.0h]			
	情報通信システム(1) 情報通信産業、スマートシティ			
第6回	事前学習 スマートシティ、スマートソサエティ、スマートスピーカについて調べる。[2.0]			
	事後学習 (内容・時間) インターネットを支えるインフラについて調べる。振り返りを書く。[2.0h]			
	情報通信システム(2) モバイル通信			
第7回	事前学習 (内容・時間) IoT, ToSという用語、便利と危険のバランスについて調べる。[2.0h]			
	事後学習 (内容・時間) 5Gで広帯域通信が可能になったらしてみたいことについてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]			
	情報と医療(1) 遠隔医療			
第8回	事前学習 (内容・時間) 遠隔教育、通信教育、テレワークについて調べる。 [2.0h]			
	事後学習 遠隔医療に不可欠なインフラとその維持についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]			

	情報と医療(2) 再生医療と情報
第9回	事前学習 (内容・時間) 人工物と自然物の融合について考察し、まとめる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 開発競争と情報共有における問題、産業機密について考察。振り返りを書く。[2.0h]
	情報セキュリティ入門(1) 暗号入門
第10回	事前学習 暗号の歴史、暗号をトリックにした小説について調べる。[2.0h]
	事後学習 暗号の有用性についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
	情報セキュリティ入門(2) PKI(Public Key Infrastructure)
第11回	事前学習 暗号の活用とそのためのインフラ(社会基盤)について調べる。[2.0h]
	事後学習 量子暗号について調べる。振り返りを書く。[2.0h]
	生体情報(1) 脳、生物、歩行
第12回	事前学習 (内容・時間) 人間の五感覚とセンサーとの対応、人間の代理としてのセンサーについて考察。[2.0h]
	事後学習 二足歩行、四つ足、這うということの観察の仕方と再現についてまとめる。[2.0h]
	生体情報(2) スポーツと情報
第13回	事前学習 (内容・時間) eスポーツについて調べる。従来のスポーツとの違いをまとめる。[2.0h]
	事後学習 従来のスポーツとeスポーツとゲームとの関係を考察してまとめる。[2.0h]
	メディア(2) 情報メディアの光と影
第14回	事前学習 情報メディア、伝達メディア、表現メディアについて調べる。[2.0h]
	事後学習 情報の容器、道具としてのメディアの利点欠点をまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
	まとめ
第15回	事前学習 (内容・時間) 14回の内容をまとめる。できるだけ紙のノートに書きだしてまとめる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 定期試験に向けて、想定問題を考え、対策を立てる。 [2.0h]
第16回	定期試験等

ナンバリング (Numbering)							
1BIB-5710-12E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
情報数学 I		219~	1年生・後期		2単位	選択	荒平 高章
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		基礎数学を原	覆修していることが	望ましい	, \ ₀		

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、大量データの処理に欠かせない数学の一分野である「線形代数」について学びます。「線形代数」は、経営学、会計学、統計学や情報処理の基礎知識である重要な科目です。個々のデータを一括表現することで、データ分析の本質的な要素を理解したり、大局的な視点を持つ素養を身に着けます。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
刀田的针织の知上	数量的スキル	Mathematics	0	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
GOTTOTTO GIVINO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0	
	問題解決力	Problem Solving	0	
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management		
** また性の知り	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
r or oonar quantito	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

線形代数の基礎知識である①行列の演算、②逆行列と行列式の関係、③連立一次方程式の解法、④ベクトル空間と線形写像の性質、⑤固有値・固有ベクトルなどを理解することを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回授業内で演習を行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室(653)にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること(毎時間)

教科書 Textbooks			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
テキスト線形代数	小寺 平治	共立出版	978-4-320-01710-8
参考文献 Reference Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
大学新入生のための線形代数入門	石村 園子	共立出版	978-4320110922
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation			

演習(10%), ノート提出(40%), 定期試験(50%)により評価する.

授業計画 Course Schedule			
	テーマ Theme		
	ガイダンス、プレースメントテスト		
第1回	事前学習 高校の頃に勉強した数学の復習をしておく(2h)		
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(2h)		
	ベクトルと行列の表現		
第2回	事前学習 高校の頃に勉強した数学の復習をしておく(2h)		
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		
	ベクトルの演算		
第3回	事前学習 (内容・時間) 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		
	ベクトルの内積		
第4回	事前学習 (内容・時間) 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		
	ベクトルの交角		
第5回	事前学習 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		
	行列の和・差・スカラ一倍		
第6回	事前学習 (内容・時間) 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		
	行列の積		
第7回	事前学習 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		
	掃き出し法		
第8回	事前学習 (内容・時間) 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		

	逆行列	
第9回	事前学習 (内容・時間) 前回までの授業で	解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間) 教科書やノートを見	見ながら試験問題を解く(2h)
	行列の階数	
第10回	事前学習 (内容・時間)	解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 _(内容・時間) 課題を行う。教科書	書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
	ベクトルの一次独立性	
第11回	事前学習 _(内容・時間) 前回授業で解説し	た問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 _(内容・時間) 課題を行う。教科書	書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
	基底と次元	
第12回	事前学習 (内容・時間) 前回授業で解説し	た問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 _(内容・時間) 課題を行う。教科書	書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
	ベクトル空間	
第13回	事前学習 _(内容・時間) 前回授業で解説し	た問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 _(内容・時間) 課題を行う。教科書	書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
	線形写像	
第14回	事前学習 _(内容・時間) 前回授業で解説し	た問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 _(内容・時間) 課題を行う。教科書	書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
	固有値・固有ベクトル	
第15回	事前学習 _(内容・時間) 前回授業で解説し	た問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。これま	でに間違えた問題を理解できるまで何度も解く(2h)
第16回 (定期試験)	定期試験	

ナンバリング (Numbering) 1BIN-5770-12ET							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
情報ネットワーク入門 (教職関連科目 必 高等学校 情報)		219~	1年生・後期		2単位	選択	車 炳玘
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		情報検索機	器の操作やWebアフ	゚゚゚リケー	-ションの操作	手等に情	貫れること。

Webシステムを通して通信ネットワークの役割やネットワークシステムの基本構成、データ転送の仕組み、通信プロトコルなどを修得する。さらにWWW、電子メール、ネットニュースなどについて理解を深めることによりコミュニケーションの目的や仕組みについて習得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience	
該当しない			

授業を通して修得できる力 Competency Goals					
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
20日4年代の知り	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0		
denone diamo	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving	0		
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
华克 十 九 州 6 年 上	チームワーク	Teamwork	0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 or oonar Quantico	倫理観	Ethical Sense	0		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0		
	生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、情報ネットワークに関する用語や基礎知識の習得及び最近技術動向を修得することにより、ITパスポートおよび基本情報技術者試験のネットワーク分野の出題問題に対応できるレベルに達することを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|情報ネットワークに関する最新のトレンドをつかむため、2人から4人のグループで必修用語や最新技術等をWe|b上で調べ(5回以上)、ポートフォリオに記入すること。また、個人ホームページを作成し、第15回目の授業時間|に提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法:学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先:cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべく オフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー::水曜日2、3時限、木曜日3時限 研究室:656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。(CCENT、ITパスポート、基本情報技術者)学習の確認:情報ネットワーク関連用語のテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
かんたんネットワーク入門 改訂3版	三輪賢一	技術評論社	978-4-7741-8190-5		
	参考文献 Reference Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
3分間ネットワーク基礎講座	網野衛二	技術評論社	978-4774143736		
成结评価方法 Crading Critaria / Mathad of Evaluation					

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(30%)、Webテスト(20%)、Web学習(30%)、その他(20%、専用ノート、レポート、実習課題、外部試験の結果)

授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme			
	情報通信ネットワークの役割・歴史			
第1回	事前学習 テキストP3~P21を読んでおくこと。2時間 (内容・時間)			
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。2時間			
	ネットワークシステムの基本構成			
第2回	事前学習 _(内容・時間) テキストP24~P37を読んでおくこと。 2時間			
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間			
	クライアント・サーバモデル			
第3回	事前学習 テキストP38~P47を読んでおくこと。2時間			
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間			
	イントラネット及びLANの管理			
第4回	事前学習 テキストP48~P53を読んでおくこと。2時間 (内容・時間)			
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間			
	デジタルデータの仕組み及びOSI参照モデル			
第5回	事前学習 テキストP56~P63を読んでおくこと。2時間			
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間			
	イーサネットとTCP/IP			
第6回	事前学習 テキストP64~P71を読んでおくこと。2時間			
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間			
	IPアドレスとポート番号			
第7回	事前学習 テキストP72~P77を読んでおくこと。2時間			
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間			
	経路選択及びルーティングプロトコル			
第8回	事前学習 _(内容・時間) テキストP78~P79を読んでおくこと。2時間			
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間			

—								
	インターネットの仕組み							
第9回	事前学習 _(内容・時間) テキストP84~P89を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 (内容・時間) 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間							
	ドメインについて							
第10回	事前学習 _(内容・時間) テキストP90~P91を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 (内容・時間) 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間							
	インターネット接続技術							
第11回	事前学習 _(内容・時間) テキストP92~P113を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間							
	インターネットプロトコル							
第12回	事前学習 _(内容・時間) テキストP116~P119を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間							
	ネットワークアプリケーションの仕組み							
第13回	事前学習 _(内容・時間) テキストP120~P145を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間							
	インターネットの現状							
第14回	事前学習 _(内容・時間) テキストP148~P155を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間							
_	セキュリティ対策							
第15回	事前学習 テキストP156~P167を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間							
第16回(定期試験)	四択及び記述式問題による定期試験を行う。							

ナンバリング (Numbering)							
1BIB-6310-14E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネスソフト活用演習		219~222	1年生・後期		4単位	選択	平川 淳一
オンライン授業 Online Class				なし			
履修の前提条件 Course Prerequisites		•MOS資格♂	て受講できる人。)取得に意欲がある を守れる人。	人。			

世界的に行われている資格試験「Microsoft Office Specialist」の内容を通して、コンピュータを利活用する実務力を養成していきます。

演習問題は、「MOS」試験の一般レベル(Word、Excel、PowerPoint)から、上級レベル(Excel、Word)までの範囲を網羅した内容です。

パソコンスキルを客観的に証明する資格の取得と、業務や作業効率を向上させる実務力を併せて学びます。 この科目は、カリキュラムポリシー「V 基礎学力・技能を確認・強化すること。」に基づいて、コンピュターリテラシーの修得、基礎の確認と強化を目的とします。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class	Contents Utilizing Work Experience	
該当しない				
	授業を通して修得でき	きる力 Competency	y Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	
刀甲的牡化の知上	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		0
Giorrania Grania	論理的思考力	Logical Thinking / C	reative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving		0
	建学の精神	University Founding	Philosophy	0
	自己管理力	Self-management		0
態度・志向性の観点	チームワーク	Teamwork		
態度・芯内性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
, or corruin a damente	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	/	
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	kills	

到達目標 Objectives

- ・MS社が認定する国際的資格、Microsoft Office Specialistの最上位となる「MOS Expert」の称号を目指します。 (MOS Expertの認定要件は、5科目の合格となります。※詳細は授業の中で紹介します。)
- ・経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能を習得するために、この科目ではビジネスシーンにおけるソフトウェアの活用方法を学び、実践できるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ・ビジネスソフト活用を想定した確認問題は、受講者の自主的な操作によって解答していきます。 学んだビジネスソフトの活用能力を発揮して、すべてのMissionをコンプリートしてください。
- →毎回、習得状況や目標スケジュール、進捗状況などを記録して、自己管理に努めてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験: Microsoft Office Specialist 365&2019

|試験日:随時試験 ※月に複数回実施

試験会場:任意で選択 ※パソコン教室など多くの場所で受験可能

受験料:学割価格 8,580円(税込) ※受験には、事前に受験者IDの登録が必要

MOS公式HP:http://mos.odyssey-com.co.jp/index.html

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さ い、

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
プリント配布							
	参考文献 Referen	ce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-429-5				
MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-430-1				
MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-440-0				
MOS Word 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-448-6				
MOS Excel 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-447-9				

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- ·成績評価方法:平常点 20%、課題 20%、定期試験 60%
 - ※平常点は、学習意欲、受講マナー等を見て総合的に評価します。
 - 注)受講ルールを守れない人は、「減点」、「欠席」、「受講停止」にする場合があります。
 - ※定期試験をMOS受験(外部試験)に代えることを認めます。
 - (試験結果の提出義務有り)(最低得点ライン有り)
 - ※MOS検定に2つ以上合格した人は、単位を認定します。
- ・成績評価の基準:MOS試験の合格レベルに達しているか。ビジネスソフトを正しく利活用することができているか。

Word:ビジネス文書やビジュアル文書を効率よく作成できているか。

Excel:関数やグラフなど自主的な判断により選択し、活用することができているか。

PowerPoint:ソフトの特性を理解して効果的に利用することができているか。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション:科目とMOS試験の概要、ビジネスソフトの操作力を確認するテストを行います。 ※座席数に限りがあるため、履修希望者が多数の場合は、選抜テストとなります。(出席必須)
第1回	事前学習 (内容・時間) 必修科目「情報リテラシー演習」で学んだ内容を復習しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テスト結果を再確認して、自身の得手、不得手な操作をノートにまとめておくこと。(2.0h)
	Word Specialist ①:文書の管理(テキスト P.16~67) Word Specialist ②:文字、段落、セクションの挿入と書式設定(テキスト P.68~91)
第2回	事前学習 (内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Specialist ③:表やリストの管理(テキスト P.92~129) Word Specialist ④:参考資料の作成と管理(テキスト P.130~155)
第3回	事前学習 (内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Specialist ⑤:グラフィック要素の挿入と書式設定 (テキスト P.156~205) Word Specialist ⑥:文書の共同作業の管理 (テキスト P.206~229)
第4回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	【Checkテスト】MOS Word Specialist 模擬試験問題
第5回	事前学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Specialist ① : ワークシートやブックの作成と管理 (テキストP.16~64) Excel Specialist ② : セルやセル範囲のデータの管理 (テキスト P.66~122)
第6回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Specialist ③:テーブルとテーブルのデータ管理(テキスト P.124~144) Excel Specialist ④:数式や関数を使用した演算の実行(テキスト P.146~171)
第7回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Specialist ⑤:グラフの管理(テキスト P.174~200)
第8回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)

	【Checkテスト】MOS Excel Specialist 模擬試験問題
第9回	事前学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	PowerPoint Specialist ①:プレゼンテーションの管理 (テキスト P.16~95) PowerPoint Specialist ②:スライドの管理 (テキスト P.96~123)
第10回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	PowerPoint Specialist ③:テキスト、図形、画像の挿入と書式設定 (テキスト P.124~169)
第11回	事前学習 (内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	PowerPoint Specialist ④:表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入 (テキスト P.170~219)
第12回	事前学習 _(内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	PowerPoint Specialist ⑤:画面切り替えやアニメーションの適用 (テキスト P.220~243)
第13回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	【Checkテスト】PowerPoint Specialist ⑥:MOS PowerPoint Specialist 模擬試験問題
第14回	事前学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Expert ①: 文書のオプションと設定の管理 (テキスト P.16~71) テンプレートの管理、共同作業用の文書、言語オプションの設定
第15回	事前学習 _(内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Expert ②:高度な編集機能や書式設定機能の利用(テキスト P.72~99) 高度な検索と置換、段落レイアウトのオプション、スタイルの作成と管理
第16回	事前学習 (内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)

	Word Expert ③ : ユーザー設定のドキュメント要素の作成 (テキスト P.100~141) 文書パーツの作成、索引・図表一覧の作成と管理
第17回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Expert ④-1:高度なWord機能の利用(テキスト P.142~168) フォーム、フィールド、コントロールの管理、マクロの作成と管理
第18回	事前学習 (内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Expert ④-2:高度なWord機能の利用(テキスト P.169~189) 差し込み印刷の設定と管理
第19回	事前学習 _(内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	【Checkテスト】MOS Word Expert 模擬試験問題
第20回	事前学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Expert ⑤:MOS Word Expert 模擬試験問題 解答解説
第21回	Word Expert ⑤: MOS Word Expert 模擬試験問題 解答解説 事前学習 模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)
第21回	事前学習 横塚試験プログラムで 再度横塚試験を解答しておくこと ※1回 50分+解答確認(2 0b)
第21回	事前学習 模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h) 事後学習 横擬試験プログラムで、第2回模擬試験を解答しておくこと ※1回 50分+解答確認 (2.0h)
第21回	事前学習 (内容・時間)模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)事後学習 (内容・時間)模擬試験プログラムで、第2回模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)Excel Expert ①: ブックのオプションと設定の管理 (テキスト P.16~51)
	事前学習 (内容・時間) (内容・時間) 模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h) 事後学習 (内容・時間) (内容・時間) 模擬試験プログラムで、第2回模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h) Excel Expert ①: ブックのオプションと設定の管理 (テキスト P.16~51) ブックの管理、共同作業用のブック、言語オプションの設定 事前学習 テーマに対応したLesson問題を解しておくこと ※1Lesson 5分 × 10問 + 解答確認 (2.0h)
	事前学習 模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h) 事後学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムで、第2回模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h) Excel Expert ①: ブックのオプションと設定の管理 (テキスト P.16~51) ブックの管理、共同作業用のブック、言語オプションの設定 事前学習 (内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h) 事後学習 確認問題を解答して 誤答第所の記録と操作を再確認しておくこと (2.0h)
	事前学習 (内容・時間)模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)事後学習 (内容・時間)模擬試験プログラムで、第2回模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)Excel Expert ①: ブックのオプションと設定の管理 (テキスト P.16~51) ブックの管理、共同作業用のブック、言語オプションの設定事前学習 (内容・時間)テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1 Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)事後学習 (内容・時間)確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)Excel Expert ②-1: データの管理と書式設定 (テキスト P.52~78)
第22回	事前学習 (内容・時間)模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)事後学習 (内容・時間)模擬試験プログラムで、第2回模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)Excel Expert ①: ブックのオプションと設定の管理 (テキスト P.16~51) ブックの管理、共同作業用のブック、言語オプションの設定事前学習 (内容・時間)テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)事後学習 (内容・時間)確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)Excel Expert ②-1: データの管理と書式設定 (テキスト P.52~78) データの表示形式や入力規則の活用事前学習 テーマに対応したLesson問題を解しておくこと ※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
第22回	事前学習 (内容・時間) (内容・時間)模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)事後学習 (内容・時間)模擬試験プログラムで、第2回模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)Excel Expert ①: ブックのオプションと設定の管理 (テキスト P.16~51) ブックの管理、共同作業用のブック、言語オプションの設定テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)事前学習 (内容・時間)確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)Excel Expert ②-1: データの管理と書式設定 (テキスト P.52~78) データの表示形式や入力規則の活用テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)事前学習 (内容・時間)テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)事後学習 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと (2.0h)
第22回	事前学習 (内容・時間) (内容・時間) (内容・時間) 模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)事後学習 (内容・時間) アーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h) (方・カータの管理と書式設定 (テキスト P.52~78) データの表示形式や入力規則の活用事前学習 (内容・時間) (中区・大に長いのに関係を使用であるに関係を使用であるに関係を使用であるに関係を使用であるに関係を使用であるに関係を使用であるに関係を使用であるに関係を使用であるに関係を使用であるに関係を使用であるに関係を使用であるに関係を用であるに関係を用であるに関係を用であるに関係を用であるに関係を用であるに関係を用であるに関係を用であるに関係を用であるに対象を用であるに対象を用でするに対象を用では対象を用であるに対象を用でするに対象を用でするに対象を用であるに対象を用でするに対象を用でするに対象を用でするに対象を用でするに対象を用でするに対象を用でするに対象を用でするに対象を用でするに対象を用でするに対象を用でするに対象を用でするに対象を用で
第22回	事前学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認(2.0h) 事後学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムで、第2回模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認(2.0h)

	Excel Expert ③-1:高度な機能を使用した数式およびマクロの作成 (テキスト P.94~130) 関数の活用(論理演算、データ検索、高度な日付と時刻、財務)
第25回	事前学習 _(内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Expert ③-2:高度な機能を使用した数式およびマクロの作成 (テキスト P.131~167) What-If分析、数式のトラブルシューティング、マクロの作成と管理
第26回	事前学習 _(内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Expert ④-1:高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理(テキスト P.168~186) グラフの活用(ヒストグラム、マップグラフ、サンバースト、ウォーターフォール図など)
第27回	事前学習 _(内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Expert ④-2:高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理(テキスト P.187~219) ピボットテーブルやピボットグラフの作成、ドリルダウン分析
第28回	事前学習 _(内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	【Checkテスト】MOS Excel Expert 模擬試験問題
第29回	事前学習 模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Expert ⑤:MOS Excel Expert 模擬試験問題 解答解説
第30回	事前学習 模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)
	事後学習 模擬試験プログラムで、第2回模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)
第31回	定期試験 ※Microsoft Office Specialist試験に準じた内容で、実施します。 (出題範囲:PowerPoint、Word Expert、Excel Expert)

ナンバリング (Numbering) 1BIB-6550-12E

科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
コンピ [°] ュータ実務演習 I (Microsoft Office Specialist 対策)		223~	1年生•前期		2単位	選択	平川 淳一
オンライン授業 Online Class	なし		スルームの利用	なし			

履修の前提条件 Course Prerequisites

MOS資格の取得に意欲がある人。受講マナーを守れる人

授業概要 Course Outline

世界的に行われている資格試験「Microsoft Office Specialist」の内容を通して、コンピュータを利活用する実務力を養成していきます。

演習問題は「MOS」試験の一般レベル(Word、Excel、PowerPoint)の範囲を網羅した内容です。 パソコンスキルを客観的に証明する資格の取得と、業務や作業効率を向上させる実務力を併せて学びます。 この科目は、カリキュラムポリシー「V基礎学力・技能を確認・強化すること。」に基づいて、コンピュターリテラシーの修得、基礎の確認と強化を目的とします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

1 ,7,4,0,0,0						
授業を通して修得できる力 Competency Goals						
知識・理解の観点	点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Underst	tanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature		
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening		
7 8 44 44 6 49	-	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観』 Generic Skills	l用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		0	
GONONO GIAMO		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
		問題解決力	Problem Solving			
		建学の精神	University Founding Philosophy		0	
		自己管理力	Self-management		0	
お中 十九州の知	ı±	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観 Personal Qualitie		リーダーシップ	Leadership			
i orconal adams		倫理観	Ethical Sense			
		市民としての社会的責任	Social Responsibility			
		生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的 Integrated Learning Experien		統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience		
Creative Thinking Skill		創造的思考力	Creative Thinking Sk	kills		

到達目標 Objectives

- ・MS社が認定する国際的資格、Microsoft Office Specialist「MOS Associate」の称号を目指します。 (MOS Associateの認定要件は、3科目の合格となります。※詳細は授業の中で紹介します。)
- ・経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能を習得するために、この科目ではビジネスシーンにおけるソフトウェアの活用方法を学び、実践できるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ・ビジネスソフトの活用を想定した確認問題は、受講者の自主的な操作によって解答していきます。 学んだビジネスソフトの活用能力を発揮して、すべての問題をコンプリートしてください。
- ・毎回、習得状況や目標スケジュール、進捗状況などを記録して、自己管理に努めてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験: Microsoft Office Specialist 365&2019

試験日:随時試験 ※月に複数回実施

試験会場:任意で選択 ※パソコン教室など多くの場所で受験可能

受験料:学割価格 8,580円(税込) ※受験には、事前に受験者IDの登録が必要

MOS公式HP:http://mos.odyssey-com.co.jp/index.html

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code				
プリント配布							
	参考文献 Reference Books						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-429-5				
MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-430-1				
MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-440-0				

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- ·成績評価方法:平常点 20%、課題 20%、定期試験 60%
 - ※平常点は、学習意欲、受講マナー等を見て総合的に評価します。
 - 注)受講ルールを守れない人は、「減点」、「欠席」、「受講停止」にする場合があります。
 - ※定期試験をMOS受験(外部試験)に代えることを認めます。
 - (試験結果の提出義務有り)(最低得点ライン有り)
 - ※MOS検定に2つ以上合格した人は、単位を認定します。
- ・成績評価の基準: MOS試験の合格レベルに達しているか。ビジネスソフトを正しく利活用することができているか。

Word:ビジネス文書やビジュアル文書を効率よく作成できているか。

Excel:関数やグラフなど自主的な判断により選択し、活用することができているか。

PowerPoint:ソフトの特性を理解して効果的に利用することができているか。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション:科目とMOS試験の概要、ビジネスソフトの操作力を確認するテストを行います。 ※座席数に限りがあるため、履修希望者が多数の場合は、選抜テストとなります。(出席必須)
第1回	事前学習 (内容・時間) 必修科目「情報リテラシー演習」で学んだ内容を復習しておくこと。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) テスト結果を再確認して、自身の得手、不得手な操作をノートにまとめておくこと。(2.0h)
	Word Specialist ①:文書の管理(テキスト P.16~67) Word Specialist ②:文字、段落、セクションの挿入と書式設定(テキスト P.68~91)
第2回	事前学習 (内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Specialist ③:表やリストの管理(テキスト P.92~129) Word Specialist ④:参考資料の作成と管理(テキスト P.130~155)
第3回	事前学習 (内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Specialist ⑤:グラフィック要素の挿入と書式設定 (テキスト P.156~205) Word Specialist ⑥:文書の共同作業の管理 (テキスト P.206~229)
第4回	事前学習 「内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	【Checkテスト】MOS Word Specialist 模擬試験問題
第5回	事前学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Specialist ①: ワークシートやブックの作成と管理 (テキストP.16~64) Excel Specialist ②: セルやセル範囲のデータの管理 (テキスト P.66~122)
第6回	事前学習 (内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Specialist ③: テーブルとテーブルのデータ管理(テキスト P.124~144) Excel Specialist ④: 数式や関数を使用した演算の実行(テキスト P.146~171)
第7回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Specialist ⑤:グラフの管理(テキスト P.174~200)
第8回	事前学習 「内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)

	【Checkテスト】MOS Excel Specialist 模擬試験問題
第9回	事前学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	PowerPoint Specialist ①:プレゼンテーションの管理 (テキスト P.16~95) PowerPoint Specialist ②:スライドの管理 (テキスト P.96~123)
第10回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	PowerPoint Specialist ③:テキスト、図形、画像の挿入と書式設定 (テキスト P.124~169)
第11回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	PowerPoint Specialist ④:表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入 (テキスト P.170~219)
第12回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	PowerPoint Specialist ⑤:画面切り替えやアニメーションの適用 (テキスト P.220~243)
第13回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	【Checkテスト】PowerPoint Specialist ⑥:MOS PowerPoint Specialist 模擬試験問題
第14回	事前学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	総復習(Word、Excel、PowerPoint)模擬試験問題
第15回	事前学習 第14回授業までに学んだ内容について、見直しと操作練習をしておくこと。(2.0h)
	事後学習 これまで記録した誤答箇所や苦手分野について、もう一度操作練習をしておくこと。(2.0h)
第16回(定期試験)	定期試験 ※Microsoft Office Specialist試験に準じた内容で、実施します。 (出題範囲:Word Specialist、Excel Specialist、PowerPoint)

ナンバリング (Numbering)							
1BIB-6560-12E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学與 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.I	授業担当者 Instructor
コンピ [°] ュータ実務演習 Ⅱ (Microsoft Office Specialist 対策)		223~	1年生・後期		2単位	選択	平川 淳一
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		なし			
履修の前提条件 Course Prerequisites)取得に意欲がある を守れる人。	人。			

世界的に行われている資格試験「Microsoft Office Specialist」の内容を通して、コンピュータを利活用する実務力を養成していきます。

演習問題は、「MOS」試験のExpertレベル(Excel、Word)範囲を網羅した内容です。

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある数員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

パソコンスキルを客観的に証明する資格の取得と、業務や作業効率を向上させる実務力を併せて学びます。 この科目は、カリキュラムポリシー「V 基礎学力・技能を確認・強化すること。」に基づいて、コンピュターリテラシーの修得、基礎の確認と強化を目的とします。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

該当しない			
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
20円的社会の知よ	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0
GOTTOTTO GIVINO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	0
	建学の精神	University Founding Philosophy	0
	自己管理力	Self-management	0
北京 ナウルの知り	チームワーク	Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
1 or oonar quantioo	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・MS社が認定する国際的資格、Microsoft Office Specialistの最上位となる「MOS Expert」の称号を目指します。 (MOS Expertの認定要件は、5科目の合格となります。※詳細は授業の中で紹介します。) ・経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能を習得するために、この科目ではビジネスシーンにおけるソフト

ウェアの活用方法を学び、実践できるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・ビジネスソフト活用を想定した確認問題は、受講者の自主的な操作によって解答していきます。学んだビジネスソフトの活用能力を発揮して、すべてのMissionをコンプリートしてください。・毎回、習得状況や目標スケジュール、進捗状況などを記録して、自己管理に努めてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験: Microsoft Office Specialist 365&2019

|試験日:随時試験 ※月に複数回実施

試験会場:任意で選択 ※パソコン教室など多くの場所で受験可能

受験料:Expertレベル 学割価格 10,780円(税込) ※受験には、事前に受験者IDの登録が必要

MOS公式HP:http://mos.odyssey-com.co.jp/index.html

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
プリント配布					
	参考文献 Reference Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
MOS Excel 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-447-9		
MOS Word 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-448-6		
MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-440-0		

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

•成績評価方法:平常点 20%、課題 20%、定期試験 60%

- ※平常点は、学習意欲、受講マナー等を見て総合的に評価します。
- 注)受講ルールを守れない人は、「減点」、「欠席」、「受講停止」にする場合があります。
- ※定期試験をMOS受験(外部試験)に代えることを認めます。
- (試験結果の提出義務有り)(最低得点ライン有り)
- ※MOS検定に2つ以上合格した人は、単位を認定します。

・成績評価の基準: MOS試験の合格レベルに達しているか。ビジネスソフトを正しく利活用することができているか。

Word:ビジネス文書やビジュアル文書を効率よく作成できているか。

Excel:関数やグラフなど自主的な判断により選択し、活用することができているか。

PowerPoint:ソフトの特性を理解して効果的に利用することができているか。

		授業計画 Course Schedule
		テーマ Theme
		・ション:科目とMOS試験の概要、ビジネスソフトの操作力を確認するテストを行います。 限りがあるため、履修希望者が多数の場合は、選抜テストとなります。(出席必須)
第1回	事前学習 (内容・時間)	修科目「情報リテラシー演習」で学んだ内容を復習しておくこと。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	・スト結果を再確認して、自身の得手、不得手な操作をノートにまとめておくこと。(2.0h)
	Word Expert	①:文書のオプションと設定の管理(テキスト P.16~71) テンプレートの管理、共同作業用の文書、言語オプションの設定
第2回	(内容•時間)	-ーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	崔認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Expert	②:高度な編集機能や書式設定機能の利用 (テキスト P.72~99) 高度な検索と置換、段落レイアウトのオプション、スタイルの作成と管理
第3回	事前学習 テ	-ーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確	崔認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Expert	③:ユーザー設定のドキュメント要素の作成 (テキスト P.100~141) 文書パーツの作成、索引・図表一覧の作成と管理
第4回	事前学習 テ	-ーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確	崔認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Expert	④-1:高度なWord機能の利用(テキスト P.142~168) フォーム、フィールド、コントロールの管理、マクロの作成と管理
第5回	事前学習 テ	-ーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	笙認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Word Expert	④-2:高度なWord機能の利用(テキスト P.169~189) 差し込み印刷の設定と管理
第6回	事前学習 テ	-ーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	笙認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	【Checkテスト	ト】MOS Word Expert 模擬試験問題
第7回	事前学習 (内容·時間)	模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Expert	: ①:ブックのオプションと設定の管理(テキスト P.16~51) ブックの管理、共同作業用のブック、言語オプションの設定
第8回	事前学習 (内容・時間)	-ーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容·時間) 確	笙認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)

	Excel Expert ②-1: データの管理と書式設定 (テキスト P.52~78) データの表示形式や入力規則の活用
第9回	事前学習 _(内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Expert ②-2:データの管理と書式設定 (テキスト P.79~93) 詳細な条件付き書式やフィルターの利用
第10回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Expert ③-1: 高度な機能を使用した数式およびマクロの作成 (テキスト P.94~130) 関数の活用(論理演算、データ検索、高度な日付と時刻、財務)
第11回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	事後学習 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Expert ③-2:高度な機能を使用した数式およびマクロの作成(テキスト P.131~167) What-If分析、数式のトラブルシューティング、マクロの作成と管理
第12回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	事後学習 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	Excel Expert ④-1:高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理 (テキスト P.168~186) グラフの活用(ヒストグラム、マップグラフ、サンバースト、ウォーターフォール図など)
第13回	事前学習 テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h)
	古 悠兴羽
	事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
第14回	(内容・時間) 確認の超を解告して、誤告しがの記録と採作を再端認じておいこと。(2.01) Excel Expert ④-2: 高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理(テキスト P.187~219)
第14回	(内容・時間)
第14回	(内容・時間) 確認问題を解告して、誤告箇所の記録と採作を再確認しておくこと。(2.0h) Excel Expert ④-2: 高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理 (テキスト P.187~219) ピボットテーブルやピボットグラフの作成、ドリルダウン分析 事前学習 (内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認 (2.0h) 事後学習 確認問題を解答して 調答節面の記録と操作を再確認しておくこと (2.0h)
第14回	(内容・時間) はこれの日間を存在して、試合目的の記録と採作を再確認しておくこと。(2.0h) Excel Expert ④-2: 高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理 (テキスト P.187~219) ピボットテーブルやピボットグラフの作成、ドリルダウン分析 事前学習 (内容・時間) テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問+解答確認(2.0h) 事後学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)
	(内容・時間)
	Excel Expert ④-2: 高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理 (テキスト P.187~219) ピボットテーブルやピボットグラフの作成、ドリルダウン分析 事前学習 (内容・時間) 確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h) 【Checkテスト】 MOS Excel Expert 模擬試験問題 模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h) 事後学習 (内容・時間) 模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分+解答確認 (2.0h) 事後学習 模擬試験プログラムを使って、調答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。(2.0h)

ナンバリング (Numbering)							
1BIB-6110-22E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
統計学入門		219~	2年生•前期		2単位	選択	中島 直樹
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		基礎数学、愉	青報数学Ⅰを修得し	ている	ことが望まし	l۱.	

統計データには、アンケートや計測などで得られた1次データ(生データともいう)と、それらを何らかの目的で第三者がまとめた2次データがある。

本講義では、2次データの読み取りや、目的に沿ったデータのまとめ方や視覚化と分析について学ぶ、また、実際の調査データや実験データなどを用いてデータ解析の意味や現代社会における統計スキルの必要性について学ぶ、

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience	
該当しない			
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understand	Jing 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
20日4年46月日	数量的スキル	Mathematics	0
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0
Generic Cimic	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving	
	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
総由 古白州の知よ	チームワーク	Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
r or cornar quartities	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考 Integrated Learning Experience a		Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではデータの視覚化や基本統計量などを踏まえて、データの特性や関連性を理解し、統計データを通した社会の見方や、エビデンス(証拠や根拠)を基にした議論の素養を身につけることを目標とします。また、データを読む力、説明する力の基礎を身につけ、データを扱えるようになることを目標します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回の講義中に演習問題に取り組んでもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義中に演習問題に取り組んでもらいます。また、講義時間中に行えなかった問題については、次の講義までに自分で解答を考えます。

教科書 Textbooks				
書名 Title	著者名 Author 出版社 Publisher		ISBN⊐ード ISBN Code	
プレステップ統計学I 記述統計学 (プレステップシリーズ14)	稲葉 由之(著)	弘文堂	978-4335001598	
	参考文献 Referer	nce Books		
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code	
マンガでわかる統計学素朴な疑問からゆる~く解説 (サイエンス・アイ新書)	大上 丈彦(著) メダカカレッジ (監修)	SBクリエイティブ	978-4797342512	
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation				

/外景日 | 画/J/A Grading Officeria / Modified of Evalua

中間試験(40%)、定期試験(60%)

授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme			
	ガイダンス			
第1回	事前学習 記述統計学について予習しておく(2h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(2h)			
	統計データの分類			
第2回	事前学習 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)			
	統計データの集計			
第3回	事前学習 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)			
	集計表と各種グラフ			
第4回	事前学習 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)			
	度数分布表とヒストグラム			
第5回	事前学習 (内容・時間) 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)			
	中心の位置の統計量			
第6回	事前学習 (内容・時間) 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)			
	平均值			
第7回	事前学習 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)			
	中間試験			
第8回	事前学習 前回までの授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容・時間) 教科書やノートを見ながら試験問題を解く(2h)			

	変化を表す統	計量			
第9回	事前学習 これ (内容・時間)	れまでの授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容·時間) 課題	題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)			
	散らばりの統訂	計量			
第10回	事前学習 前(内容・時間)	回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容·時間) 課題	題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)			
	標準偏差の活	i用			
第11回	事前学習 前 (内容·時間)	回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容·時間) 課題	題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)			
	散らばりのグラ	ラフ表現			
第12回	事前学習 前[(内容・時間)	回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容·時間) 課題	題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)			
	2変数の関連性				
第13回	事前学習 前(内容・時間)	回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 課題 (内容・時間)	題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)			
	記述統計と推	測統計			
第14回	事前学習 前[(内容・時間)	回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容·時間)	題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)			
	まとめ				
第15回	事前学習 前[(内容・時間)	回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)			
	事後学習 (内容·時間)	題を行う。これまでに間違えた問題を理解できるまで何度も解く(2h)			
第16回	定期試験				

ナンバリング(Numb	ering)						
1BIN-5730-Z20	CT						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
情報セキュリティ (教職関連科目 必 高等学		219~	3・4年生・前期	Ą	2単位	必修	宮﨑武
オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		ネット <i>σ</i>)最新技術の	動向を	調べること。		

情報漏えいに関する事例紹介を通して情報通信技術に潜む危険について認識した上で、情報セキュリティの基本概念、セキュリティリスク及びその対策などについて調べる。情報セキュリティに関する最新技術、関連法規及び個人や企業の情報セキュリティに対する取組み動向について調べる。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
カロの社会の知よ	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
derierie enine	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
能由 土白州の知上	チームワーク	Teamwork	0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
. C. Contan Guantico	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、情報セキュリティに関する事例や基礎知識の習得を通して、情報化社会における情報セキュリティの理解及びその全体像を把握するとともに、SPREAD情報セキュリティサポーター能力検定、情報セキュリティ管理士、ITパスポート、基本情報技術者試験のセキュリティ分野の出題問題に対応できる知識レベルに達することを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

情報セキュリテイに関する不正アクセスや問題発生事例について各自調査し、原因やセキュリティ上の問題点、対処方法や改善点などをまとめてレポートとして提出してもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室(274)にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,

ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認: 毎回の授業内容を各自好きな方法でまとめること。(例: 専用のノートに書き込む、ノートパソコンにWordやPowerpointなどで講義内容をまとめた資料を作成する)

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 情報セキュリティ読本(六訂版) 情報処理推進機構 実教出版 978-4-407-36117-9 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 情報セキュリティの基本と仕組み 相戸浩志 978-4-798-02558-2 秀和システム

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(60%)、レポート課題(40%)

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	セキュリティリスクの実例
第1回	事前学習 テキスト第1.1節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
	危険の認識と対策
第2回	事前学習 テキスト第1.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間) 本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
	情報セキュリティの基本概念及び外部のリスク要因
第3回	事前学習 テキスト第2.1,2.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
	内部のリスク要因
第4回	事前学習 テキスト第2.3,2.4節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間) 本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
	マルウェアの種類及び感染の原因
第5回	事前学習 (内容・時間) テキスト第3.1節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
	マルウェア対策
第6回	事前学習 (内容・時間) テキスト第3.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
	標的型攻撃と誘導型攻撃、フィッシング詐欺への対策
第7回	事前学習 テキスト第3.3, 3.4節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
	ワンクリック詐欺及びスマートフォンの脅威と対策
第8回	事前学習 テキスト第3.5, 3.6節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間) 本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)

	無線LANに潜む脅威とその対策
第9回	事前学習 _(内容・時間) テキスト第3.7節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間) 本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
	組織のセキュリティ対策
第10回	事前学習 (内容・時間) テキスト第4.1, 4.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
	情報漏えいについて
第11回	事前学習 テキスト第4.3~4.5節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
	アカウントとパスワードについて
第12回	事前学習 (内容・時間) テキスト第5.1, 5.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
	脆弱性を悪用する攻撃とその対策
第13回	事前学習 (内容・時間) テキスト第5.3, 5.4節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
	暗号とディジタル署名
第14回	事前学習 (内容・時間) テキスト第5.5節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間) 本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
	認証局と身近に使われている暗号技術
第15回	事前学習 _(内容・時間) テキスト第5.5節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間) 本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
第16回	定期試験
(定期試験)	

ナンバリング (Numbering)						
1BIN-5702-Z2ET						
科目名 Class	入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
情報システムの開発と管理 (教職関連科目 必 高等学校 情報)	共通	3・4年生・前期		2単位	選択	荒平 高章
オンライン授業 Online Class なし		gleクラスルームの利用 ng Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミン はこの限りで		小情報	日 テラシー 漬	寅習を修	を得していること.(編入生

本講義では、ディプロマポリシーに基づき、様々な分野で利用されている情報システムを念頭に、事例等を提示しながら、情報システムについて概説する。また、システム開発に必要な基本計画や設計について学び、簡単な仕様書の作成を通して、システム開発の手順を経験する。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

授業概要 Course Outline

該当しない						
·	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understand	ng 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0			
77 田松井秋 6 知 F	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
GONONO OKINO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy				
	自己管理力	Self-management				
华克 十九州 6年 1	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
1 Craonal Qualities	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考		Integrated Learning Experience				
Integrated Learning Experience a Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

- ①情報システムの例をあげることができ、システムについて説明することができる.
- ②システム開発の技法について説明することができ、基本計画や設計について述べることができる.
- ③講義に積極的に参加することができ、自分の意見を表現することができる.
- ④仕様書の作成について、自分から作成方法を工夫することができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容について、議論やグループワークを実施する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは研究室(653)にて受け付ける. オフィスアワーの時間については掲示を確認すること. また, クラスルームを開設するので, 講義に関する連絡はクラスルームで行う.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|学習の確認:本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること(毎時間)。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
基礎シリーズ 最新情報システムの開発	伏見正則 実教出版株式会社		978-4-407-30957-7				
	参考文献 Referen	ce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code				
上流・下流工程から改善・監査までわかる システム開発のすべて	北村 充晴	日本実業出版社	978-4534044075				
成績詞	成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation						

| |課題提出(60%), 定期試験(40%)によって評価する.

	授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme						
	講義ガイダンス						
第1回	事前学習 シラバスを通読し、受講理由を明確にする. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	情報システム概論						
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.6-7)を通読する. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	情報システムの構造						
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.8-9)を通読する. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	情報システム開発の技法						
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.10-13)を通読する. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	情報システム開発手順						
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.14-17)を通読する. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	情報システム開発の効率化						
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.18-19)を通読する. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	基本計画						
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.24-25)を通読する. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	現状調査と現状分析						
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.26-28)を通読する. (2h)						
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						

	外部設計							
第9回	事前学習 (内容·時間)	教科書の当該箇所(pp.34-43)を通読する. (2h)						
	事後学習 (内容·時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	内部設計							
第10回	事前学習 (内容·時間)	教科書の当該箇所(pp.56-62)を通読する. (2h)						
	事後学習 (内容·時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	プログラム	設計						
第11回	事前学習 (内容·時間)	教科書の当該箇所(pp.82-122)を通読する. (2h)						
	事後学習 (内容·時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	テスト工程							
第12回	事前学習 (内容·時間)	教科書の当該箇所(pp.172-182)を通読する. (2h)						
	事後学習 (内容·時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	運用保守							
第13回	事前学習 (内容·時間)	教科書の当該箇所(pp.188-200)を通読する. (2h)						
	事後学習 (内容·時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	 仕様書作月 	丈(1)						
第14回	事前学習 (内容·時間)	第2回から第13回までの講義内容を復習する.(2h)						
	事後学習 (内容·時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
	仕様書作品	丈(2)						
第15回	事前学習 (内容·時間)	前回の仕様書の確認をする. (2h)						
	事後学習 (内容·時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、復習する.(2h)						
第16回	定期試験を	生実施する						

ナンバリング (Numb	pering)						
1BIN-6532-Z2I	ET						
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
マルチメディア論 (教職関連科目 必 高等学校 情報)		共通	3・4年生・前期		2単位	選択	荒平 高章
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
屋 修の前坦冬州		情報リテラシ	一演習を修得してい	いること	∴(編入生は	この限	りではない.)

本講義では、ディプロマポリシーに基づき、コンピュータ、およびネットワークで取り扱うマルチメディア情報について概説する。また、現代社会で活用されているマルチメディアにも触れ、どのような場面でどのような技術が使用されているかを学ぶ。さらに、マルチメディアに関する調査研究を実施し、発表を行うことでマルチメディアに関する理解を深めてもらう。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals									
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture							
Knowledge and Understandi	「g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0						
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0						
	数量的スキル	Mathematics							
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0						
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0						
	問題解決力	Problem Solving							
	建学の精神	University Founding Philosophy	0						
	自己管理力	Self-management							
华克 十九州 6 年 L	チームワーク	Teamwork							
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0						
r or oonar adamage	倫理観	Ethical Sense							
	市民としての社会的責任	Social Responsibility							
	生涯学習力	Lifelong Learning	0						
統合的な学習経験と創造的思考で Integrated Learning Experience an		Integrated Learning Experience							
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills							

到達目標 Objectives

マルチメディアに関する基礎的事項(マルチメディア構成要素、メディア処理技術、インターネット通信、ネットビジネス)について分類や列挙、説明をすることができ、現代社会におけるマルチメディア技術の例を列挙し、説明することができる.

マルチメディアに関する課題を見つけ、自ら課題解決策を提案でき、第三者に伝えることができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは研究室(653)にて受け付ける. オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.

また、クラスルームを開設するので、講義に関する連絡はクラスルームで行う。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|学習の確認:本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること(毎時間)。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
マルチメディア(ファーストステップ)	今井 崇雅	今井 崇雅 近代科学社			
	参考文献 Referen	ce Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
入門マルチメディア 改訂新版	松阪喜幸	画像情報教育振興協会	978-4903474601		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

|調査研究課題(30%), 発表(30%)と定期試験(40%)をもとに総合的に判断する.

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	講義ガイダンス				
第1回	事前学習 シラバスを通読し、受講理由を明確にする.(2.0h)				
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)				
	マルチメディアの特徴				
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.2-19)を通読する. (2.0h)				
	事後学習 (KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)				
	音の符号化(1)				
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.24-38)を通読する. (2.0h)				
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)				
	音の符号化(2)				
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.42-51)を通読する. (2.0h)				
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)				
	音の符号化(3)				
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.52-57)を通読する. (2.0h)				
	事後学習 (KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)				
	静止画像の符号化(1)				
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.66-83)を通読する. (2.0h)				
	事後学習 (KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)				
	静止画像の符号化(2)				
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.84-95)を通読する. (2.0h)				
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)				
	動画像の符号化				
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.104-113)を通読する. (2.0h)				
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)				

	文字の符号化					
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.119-125)を通読する. (2.0h)					
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)					
	ディジタル信号の品質					
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.130-145)を通読する. (2.0h)					
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)					
	マルチメディアのこれから					
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.150-154)を通読する. (2.0h)					
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)					
	調査研究と資料作成					
第12回	事前学習 (内容・時間) 第2回から第11回までの講義内容を復習する. (2.0h)					
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)					
	プレゼンテーション(1)					
第13回	事前学習 (内容・時間) 前回の調査内容を確認する. プレゼンテーション資料を作成する. (2.0h)					
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)					
	プレゼンテーション(2)					
第14回	事前学習 _(内容・時間) プレゼンテーション資料を作成する. (2.0h)					
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)					
	まとめ					
第15回	事前学習 第2回から第14回までの講義内容を復習する. (2.0h)					
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)					
第16回	定期試験を実施する					

ナンバリング (Numbering)						
1AMN-6490-12C	1EDN-6	490-12E				
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sen		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
マーケティング論	219~	1年生•前期		2単位	経営 必修 NW 選択	秋吉 浩志
オンライン授業 Online Class なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 経営やマーケティングに興味をもつ学生は積極的に履修をすすめる。本学の経営 Course Prerequisites 情報学を学ぶための基礎的な1分野としてとても大事な科目である。						
四十二 0 0 11						

本学の建学の精神をふまえつつ、アドミッションポリシーにに沿った、カリキュラムポリシーに基づき、マーケティングの基礎理論を包括的に講義する。毎回講義ではパワーポイントを使用し、プレゼンテーション方式で授業を行う。それに合わせて、テキストを使用、適宜プリントも配布するが、その回限定のプリントなので、再配布することはしない。よって、必ず出席すること。また、最新のマーケティング&消費者行動に関するテキストを紹介するので、必ず読むことをすすめる。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

この科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)選択科目である。

実務経験内容

Work Experience Content

創造的思考力

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

Creative Thinking Skills

該当しない			
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understar	nding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0
カロの仕状の知ら	数量的スキル	Mathematics	0
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0
donone ciano	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving	0
	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	0
** 大力性の知り	チームワーク	Teamwork	0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
1 orsonal Gualities	倫理観	Ethical Sense	0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0
	生涯学習力	Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的思		Integrated Learning Experience	
Integrated Learning Experience	and Alath II To the I		

Creative Thinking Skills

到達目標 Objectives

マーケティング論の基礎的な講義である。後期または2年次以降の経営情報学関連科目受講に向けての基礎科目であるので、この授業でマーケティングの基礎理論を学んで、2年次以降のとくにマーケティング及び流通関連科目、およびビジネス関連科目を理解する力を養うことが目標である。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
- ②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
- ③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
- ④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に研究室(2号館5階555研究室)にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。

研究室訪問の際、メール; akiyoshi@g.kiis.ac.jpにメール連絡をしておくことを薦める。(遠隔授業の場合はGoogleクラスルームを活用して連絡を随時行う)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

この科目は経営学検定試験の初級「マーケティング」部分の基礎内容にもふれている。また販売士(リテールマーケティング)受験希望者は、必ず履修することを薦める。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日までに秋吉までメール (akiyoshi@gkiis.ac.jp)で提出してください。

また、遠隔授業の際は主にZoomと動画にて、授業を行い、課題等はGoogleクラスルームを活用する

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
図解&事例で学ぶ マーケティングの教科書	シェルパ (著), 酒井 光雄 (監修)	マイナビ	ISBN978-4839954406
	参考文献 Referen	ce Books	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
マーケティング基礎読本増補改訂版	日経デジタルマーケティング	日経BP社	ISBN978-4-8222-3559-8
国権政制版 図解マーケティング大全	安部徹也他	洋泉社MOOK	ISBN978-8003-1479-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験もしくは期末レポート(60%)、出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。(30%)、授業態度、ミニテスト (10%)を基準とする。

パソコン(タブレット型も含む)、携帯(スマートフォン)その他電子機器の使用は出席登録以外では一切禁止し、使用した場合によっては科目受講失格(0点)にする。基本的に座席指定を行う。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	マーケティングとは何か&ガイダンス(社会のなかでのマーケティングの役割について)				
第1回	事前学習 テキストの関連したページならびにを事前配布している資料を読んでおくこと。特にマーケ (内容・時間) ティングの基礎知識解説を読んでおくように。(2h)				
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)				
	アメリカと日本のマーケティングの歴史と定義の変遷について				
第2回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)				
	事後学習 「内容・時間) 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)				
	マーケティングミックス(マーケティングの4Pとターゲット層を考える)				
第3回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)				
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)				
	製品戦略①(メーカーの製品づくりと製品コンセプトを考える)				
第4回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)				
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)				
	製品戦略②(コモディティ化とメーカーの製品づくり、製品コンセプトを考える)				
第5回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)				
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)				
	価格戦略①(価格決定について損益分岐点法など価格決定のプロセスについて)				
第6回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)				
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)				
	価格戦略②(現代の価格決定法を考える:サブスクリプションなど新たな動きについて)				
第7回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)				
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)				
	流通(チャネル)戦略①(商業の発展と流通の役割)				
第8回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)				
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)				

	流通(チャネル)戦略②(流通システム、流通チャネル、取引数削減の原理など、流通の問題を考える)
第9回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
	プロモーション戦略①(広義のプロモーション戦略を考える)
第10回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
	プロモーション戦略②(広告、イベントなど狭義のプロモーションについて考える)
第11回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
	サービスマーケティング(サービスとはなにか、サービスの諸特徴について)
第12回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
	電子商取引とe-マーケティング(電子商取引の劇的な発展に伴う問題点を考える)
第13回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
	IT &ICTとマーケティング(ITやIOTの発展によるマーケティング情報システムの諸問題を考える)
第14回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
	現代におけるマーケティング概念の劇的な変化と進展について&まとめ
第15回	事前学習 テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 最後にマーケティング論のまとめレポートを書いてもらいます。(2h)
第16回	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。 その進捗状況も試験の一部とみなす。

ナンバリング(Numb	ering)						
1AMN-5200-12	2C						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学斯 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
		224~	1年生·前期			必修	
会計学		221~223	1年生·後期		2単位	選択	春日 克則
		219•220	2年生·後期			経営 必修 NW 選択	
オンライン授業 Online Class	なし		スルームの利用 ogle Classroom	なし			
履修の前提条件 Course Prerequisites		「会計学入門	」、簿記Ⅰ・Ⅱなど会	計学の)初歩的な知詞	戦を習得	导していることが望ましい。

会計はいろんなことに役立っています。例えば、①お金を投資している人にその投資先がどれだけ儲かったの かやその情報の信頼性について。②製品を製造している会社には作った製品にどれだけお金がかかり、それを いくらで売れば儲かるか。そして③その将来性について。さらには、④どの会社が環境に優しいのかや、⑤子供 食堂などの営利を目的としていない法人がどうすれば潰れずにすむのか、などについて知るための手助けをして います。しかし、抽象的で少し分かりにくいのではないでしょうか。そこで、講義では、①について学ぶ分野を財務 会計と監査論。②を原価計算と管理会計。③を経営分析。④を環境会計。⑤を公会計として、具体的な事例を 使って会計が果たす役割について学んでいきます。そして、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー |の「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「V」の達成に主体的に関与するものです。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understanding	g 人類の文化・社会と自然に	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
77 EP 44 + 44 - 44 + 44 - 44 + 44 - 44 + 44 - 44 + 44 - 44 + 44 - 44 + 44 - 44 +	数量的スキル	Mathematics	0		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
donono onino	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy	0		
	自己管理力	Self-management			
ᄯᅔᅷᄼᄴᇰᇷᅡ	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 or oor ar quartito	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0		
	生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and		Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

どんなに記憶力がよい人でも、世界で活躍する大企業(例えば、Apple)の行動全てを覚えることは不可能で しょう。仮に、できたとしても、その人の記憶を引き継ぐ人はいるのでしょうか。PCがある?でも、それはPCが記憶 できる形にしないとダメですよね。会計は、企業などの活動をお金に換算して記録・集計し、それを役立つ形にし て提供します。このような、役割を持つ会計について、①財務会計と監査論、②原価計算と管理会計、③経営分 析、④環境会計、⑤公会計の各分野ごとに区分して、具体的な事例に基づいてその内容を理解することを目標と します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けています。そこで、当該時間において、双方向で課題 についてコミュニケーションを図って行きたいと思います。なお、授業の最後には成果を提出してもらい、翌週添削 して返却します。成果を提出する際には、授業中に解決できなかった疑問なども記入し、返却されたペーパーに は、私のコメントが書いてあるので互いわかり合えるまで、キャッチボールを行いましょう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(455研究室)にて随時受け付けています。また、メール(kasuga@kiis.ac.jp) での相談等も歓迎します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:日本商工会議所簿記検定2級および1級の基礎となる授業です。 学習の確認:ポートフォリオシートと小テストによって学習の確認を行います。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 講義時間に資料を配付します。 参考文献 Reference Books 出版社 Publisher 書名 Title 著者名 Author ISBNコード ISBN Code 図解でナットク!会計入門[第3版] 桝岡源一郎編著 中央経済社 978-4-502-41621-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

経営情報学の基礎領域にある「会計学」(会計学総論)について体系的に学習し、一定の理解・技能を修得して いるかを評価します。

具体的には、定期試験60%、毎回の課題提出40%の割合を持って評価します。なお、講義の理解を深めるため に、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされますが、この課題への取り組みは疑問点に関する質問・回答と いうコミュニケーションツールとして皆さんの理解の手助けとなります。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション(授業の内容と進め方)。会社の成績表と健康診断表を理解する。
第1回	事前学習 「簿記 I 」を復習しておいて下さい。(2時間)
	事後学習 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	君はどちらを選ぶ?薄利多売戦略と高級路線戦略について。一経営分析-
第2回	事前学習 (内容・時間) 第1回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	作った製品をいくらで売れば儲かるか。一管理会計一
第3回	事前学習 (内容・時間) 第2回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	意思決定①:製品を組み合わせて利益を最大にする一制約条件が1つの場合一。(管理会計)
第4回	事前学習 (内容・時間) 第3回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	意思決定②:a. 部品を自製すべきか、外部購入すべきか。b.安い値段でも追加注文を受けるべきか。
第5回	事前学習 (内容・時間) 第3回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	製品の製造にいくらかかったか①:注文による場合。一原価計算一
第6回	事前学習 (内容・時間) 第5回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	製品の製造にいくらかかったか②:見積もり生産(大量生産・大量販売)の場合。
第7回	事前学習 (内容・時間) 第6回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	中間テスト(これまで学習した項目の理解度テスト)とその解説
第8回	事前学習 第1回から前回までの総復習を行うこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 中間テストの問題について振り返りの学習を行う。(2時間)

	投資している会社がどれだけ儲かったのかを知る。一財務会計一
第9回	事前学習 (内容・時間) 第7回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 返却された中間テストと授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	企業の成績表をつくるための理論と社会制度。一財務会計一
第10回	事前学習 (内容・時間) 第9回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	企業が公表した情報は、信頼できるのか。一監査論一
第11回	事前学習 (内容・時間) 第10回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	監査の現場では、どんなことが起きているのか。一監査論一
第12回	事前学習 (内容・時間) 第11回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	利益の獲得を目的にしない組織がある。一公会計一
第13回	事前学習 (内容・時間) 第12回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	どの会社が環境に優しいのか。-環境会計-
第14回	事前学習 (内容・時間) 第13回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	これまでの講義のまとめ
第15回	事前学習 (内容・時間) 第9回から前回までの総復習を行うこと。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
第16回(定期試験)	定期試験(講義全体をとおした学習成果の確認)

ナンバリング (Numbering) 1AMN-5562-22E					
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
コマース論	224~	 	- 27/1		AA
コマース論 I	219~223 経営情報学科	2年生•前期	2単位	選択	鈴木 和也
オンライン授業 Online Class なし		スルームの利用 ogle Classroom			
履修の前提条件 Course Prerequisites	位を取得して	侖 I 、経営学総論 II 、マー こいること。2.履修者は全貞 こ合格すること。	-ケティング論 員、7月にCB	などの Tで販売)関連する科目を履修し単 も士検定試験(3級)を申し

この講義は、多様化・高度化した顧客ニーズを的確に捉え、ニーズに合った商品やサービスの提供、商品の開発や仕入、販売、物流などを効率的かつ効果的に行うための実践的なスキルを身に付ける。さらには、将来、商品開発やマーケティング等の分野で活躍できるための専門的な知識も習得する。

なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
授業を通して修得できる力 Competency Goals				
知識・理解の観点 多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Cult				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
汎用的技能の観点 Generic Skills	数量的スキル	Mathematics		
	情報リテラシー	Information Literacy		
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy	0	
	情報リテラシー Information Literacy 論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking (1) 問題解決力 Problem Solving (1) 建学の精神 University Founding Philosophy (1) 自己管理力 Self-management (1) チームワーク Teamwork (1) リーダーシップ Leadership (1)	0		
	チームワーク	理力 Self-management (
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0	
i craonal Quantica	倫理観	Ethical Sense	0	
市民としての	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

日本商工会議所主催販売士検定試験3級を受験し合格を目指す。(販売士試験については、現在1級から3級までCBT方式にて、指定会場でコンピュータを使った受験になりました。年間を通して受験が可能です。)

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
- ・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー 以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握に努める。

教科書 Textbooks				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
1回で合格!リテールマーケティング (販売士)検定3級テキスト&問題集	上岡 史郎	成美堂出版	978-4-415-23432-8	
参考文献 Reference Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
販売士検定試験2級ハンドブック (応用編)~リテールマーケティング (販売士)検定試験3級対応	日本商工会議所 全国商工会連合会	カリアック	H00100338	
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation				

1.定期試験(80%)、2.小テスト(5%)、3.学修課題の提出(5%)、4.授業への取組み(10%)

	授業計画 Course Schedule	
	テーマ Theme	
	授業概要(授業の進め方、評価について、販売士検定試験について) 小売業の類型 I	
第1回	事前学習 小売業は生産者と消費者の橋渡し役 /4人以下の規模が半数近くの中小小売業を通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
	小売業の類型Ⅱ	
第2回	事前学習 (内容・時間) 規模のメリットを享受する組織小売業/フランチャイズの組織とその特徴を通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
	小売業の類型皿	
第3回	事前学習 本部が権限を把握するチェーンストア/販売形態の種類と特徴を通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答。	(2.0h)
	小売業の類型Ⅳ	
第4回	事前学習 インターネット社会とキャッシュレス対応/ネットショップとリアルショップ通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答。	(2.0h)
	マーチャンダイジング I	
第5回	事前学習 商品の品質3要素と商品のコンセプト/商品の分類と本体要素/マーチャンダイジングの構成要素を通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
	マーチャンダイジング Ⅱ	
第6回	事前学習 コンビニエンスストアの商品計画と仕入計画/コンビニエンスストアの在庫管理と販売管理を通読する	ა. (2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
	マーチャンダイジングⅢ	
第7回	事前学習 商品計画と顧客ニーズ/品揃え計画での品揃えの幅と奥行 を通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
	ストアオペレーション Ι	
第8回	事前学習 (内容・時間) 効率的な店舗運営のための開店準備/さまざまな役割を担うレジ業務を通読する	o。 (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)

——			
	ストアオペ	レーションⅡ	
第9回	事前学習 (内容·時間)	荷受・検収と補充(リセット)の基本/残さず切らさずが発注の基本を通読する。	(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
	ストアオペ	レーションⅢ	
第10回	事前学習 (内容·時間)	顧客の満足度を高める包装/見やすく、選びやすいディスプレイを通読する。	(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
第11回	マーケティ	ング I	
	事前学習 (内容·時間)	変化する市場に働きかけるマーケティング/小売業のマーケティングの基本知識を通読する。	(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
第12回	マーケティ	'ング Ⅱ	
	事前学習 (内容·時間)	売上志向から顧客満足経営へ/顧客の固定化をはかる顧客維持政策を通読する。	(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	本時の内容の再確認と練習問題の解答。	(2.0h)
	マーケティ	·ングⅢ	
第13回	事前学習 (内容·時間)	地理的、時間的範囲で分けられる商圏/小売業にとっての立地条件の重要性を通読する。	(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
	販売·経営	客管理 I	
第14回	事前学習 (内容·時間)	接客のマナーと挨拶・接客方法/クレームや返品への対応方法を通読する。	(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
第15回	販売·経営	常管理Ⅱ	
	事前学習 (内容·時間)	小売業に関する法令/販売活動に関する法令/商品に関する法令を通読する。	(2.0h)
	事後学習 (内容·時間)	本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
第16回(定期試験)	定期試験((リテール する。)	の実施 マーケティング[販売士]検定試験2級と同定程度の内容、難易度の問題で効果測!	――― 定を実施

ナンバリング (Numbering)	
1AMN-5400-22E	1EDN-5400-22E
科目名 Class	入学年度 Admission Year開講学年・学期 School Year, Semester単位数 Credit必・選
経営分析	219~ 2年生・前期 2単位 選択 山下 壽文
オンライン授業 Online Class なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom
履修の前提条件 Course Prerequisites	第記や会計学の基本的な知識を修得していることが望ましいが、企業の業績や成長性の分析に興味を有することが必要である。

企業が公表する財務諸表は企業情報の宝庫である。財務諸表等から得られる情報を利用した分析理論と手法を学習し、企業の経営成績・財政状態・キャッシュ・フローの状況を判断できる能力を養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understand	ing 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	9 0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening				
71 E 45++44: 5 5F F	数量的スキル	Mathematics	0			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
GONONO OMINO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0			
	問題解決力	Problem Solving	0			
	建学の精神	University Founding Philosophy				
	自己管理力	Self-management				
 	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
T Greenar gaanaes	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考 Integrated Learning Experience a		Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

講義では、学則第3条を踏まえて、経営学分野の経営分析について知識を修得することを目標とする。そのため、企業が作成した貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書を使用して、様々な分析(診断)を行う。この過程で、収益性・安全性・成長性等の各種分析手法を身につける。さらに、分析にもとづいて企業経営の問題点を指摘し、これを解決するための提案力を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けている。そこで、当該時間において、双方向で課題に対する見解を昇華させて行きたい。レポート提出に際しては、その内容に応じて報告を課すこともある。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室にて行う。オフィスアワー以外で質問、相談等がある場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

学習の確認:ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に適宜指示する。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
経営分析~テキスト&問題	山下壽文 冊子(600円)		市販されていません 初回講義で購入してください			
	参考文献 Referen	ce Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
経営分析を学ぶ	を学ぶ 山下壽文他		978-4-419-05478-6			
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation						

定期試験60%、課題提出40%で評価。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション(講義の内容・進め方)、会社数字の読み方
第1回	事前学習 テキスト第1回を読んで会社数字の読み方を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
	貸借対照表のしくみ
第2回	事前学習 テキスト第2回を読んで貸借対照表のしくみを整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
	損益計算書のしくみ
第3回	事前学習 テキスト第3回を読んで損益計算書のしくみを整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
	経営分析の手法
第4回	事前学習 テキスト第4回を読んで経営分析の手法を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
	安全性分析(1)~短期支払能力
第5回	事前学習 テキスト第5回を読んで短期の安全性分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
	安全性分析(2)~長期支払能力
第6回	テキスト第6回を読んで長期の安全性分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
	収益性分析~売上高利益率、資本利益率
第7回	事前学習 テキスト第7回を読んで収益性分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
	資金運用分析
第8回	事前学習 テキスト第8回を読んで資金運用分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容の復習。(2時間)

F	
	株価分析
第9回	事前学習 テキスト第9回を読んで株価分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
	生産性分析
第10回	事前学習 テキスト第10回を読んで生産性分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
	損益分岐点分析
第11回	事前学習 (内容・時間) テキスト第11回を読んで損益分岐点分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
	キャッシュフロー計算書(1)~CF計算書の作成
第12回	事前学習 (内容・時間) テキスト第12回を読んでCF計算書の作成方法を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
	キャッシュフロー計算書(2)~CF分析
第13回	事前学習 テキスト第13回を読んでキャッシュ・フロー分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 テキストおよび講義内容について復習。(2時間)
	総合演習(1)
第14回	事前学習 (内容・時間) テキスト第14回の演習問題を予習しておくこと。(2時間)
	事後学習 テキストの演習問題について復習。(2時間)
	総合演習(2)
第15回	事前学習 (内容・時間) テキスト第15回の演習問題を予習しておくこと。(2時間)
	事後学習 テキストをもとに経営分析の要点について復習。(2時間)
第16回 (定期試験)	定期試験

ナンバリング (Numbering	
1AMB-6082-22E	1EDB-6082-22E
科目名 Class	入学年度 Admission Year開講学年・学期 School Year, Semester単位数 Credit必・選
統計学	219~ 2年生・後期 2単位 選択 中島 直樹
オンライン授業 Online Class なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom あり
履修の前提条件 Course Prerequisites	【219~】統計学入門を修得していること。 【~218】Webで「統計とは」と「確率とは」のキーワードをそれぞれ検索し、特に入門的な複数のサイトを選んでその内容を読んでおくこと。

本講義では、ディプロマポリシーに基づき、記述統計学と推測統計学の違いを意識しながら、データの縮約・視覚化、母集団と標本分布の違い、統計的仮説検定の基本的な手順を学びます。また、データ解析の目的にあわせた基本的な統計処理と確率分布との関連性について、さらに統計処理をする目的やその限界についても学びます。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない						
		授業を通して修得で	きる力	Competenc	y Goals	
知識・理解の観点	į	多文化・異文化に関する知	識の理解	裈	Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understa	anding	人類の文化・社会と自然に	関する知	印識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
		コミュニケーション・スキル	Readin	g / Writing /	Speaking / Listening	
カロの社会の知り		数量的スキル	Mathe		0	
汎用的技能の観点 Generic Skills	₹ [情報リテラシー	Information Literacy			0
denone entire		論理的思考力	Logica	Thinking / (Creative Thinking	0
		問題解決力	Problem Solving			
		建学の精神	Univer	sity Founding	; Philosophy	
		自己管理力	Self-management			
** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		チームワーク	Teamwork			0
態度・志向性の観点 Personal Qualities		リーダーシップ	Leader	rship		0
1 or oon ar quartico	-	倫理観	Ethica	Sense		
		市民としての社会的責任	Social	Responsibilit	у	
		生涯学習力	Lifelon	g Learning		
統合的な学習経験と創造的思		統合的な学習経験	Integra	ted Learning	Experience	
Integrated Learning Experience Creative Thinking Skills	se and	創造的思考力	Creati	ve Thinking S	kills	

到達目標 Objectives

41部】

- ・母集団と標本、標本抽出法を説明できる。・質的データと量的データの違いを説明できる。・データを記述するための基礎 事項(代表値、散布度、標準化、相関係数、回帰直線)を説明できる。・統計的検定やその他の検定法について説明できる。 【態度・習慣】
- 疑問点を尋ねることができる。・講義に参加できる。

【技能】

- ・教科書の例題を模倣し、演習問題を解くことができる。・時間内で、与えられた問題を解くことができる。
- 任意のデータを適切に記述できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容に関する応用問題を講義の終わりにほぼ毎回実施します。

また、Excel の分析ツールを用いて、統計的検定の理解と実習を行いますので、積極的に取り組む様に心掛けて ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

教員との連絡方法は、授業の終了後、あるいは研究室を訪ねること。 オフィスアワーの時間は、掲示を参照すること。

> その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックシートに必要事項を記入し8回目講義および最終講義時に提出すること.

教科書 Textbooks ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher 書き込み式統計学入門 須藤昭義 東京図書株式会社 978-4-489-02315-6 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code コア・テキスト統計学 大屋 幸輔 新世社 978-4-88384-307-7 成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点(確認プリント、提出物など)(40%)、期末試験(60%)の総合評価

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	統計とは
第1回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)
	記述統計学と推測統計学
第2回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、(内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)
	確率分布の期待値と分散
第3回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)
	正規分布と確率分布
第4回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、(内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)
	標準正規分布
第5回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間) ************************************
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)
	母集団と標本
第6回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)
	母数の推定
第7回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)
	母平均と標本平均
第8回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、(内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)

	区間推定と t-分布						
第9回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)						
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)						
	統計的仮説検定の考え方						
第10回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)						
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)						
	カイ2乗検定						
第11回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)						
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)						
	平均値の差の検定(t検定ー対応なし)						
第12回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)						
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)						
	平均値の差の検定(t検定ー対応あり)						
第13回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)						
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)						
	分散分析-1 要因						
第14回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)						
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)						
	まとめ						
	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2時間)						
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)						
_							
第16回 (定期試験)	定期試験を実施する						

ナンバリング (Numbering) 1AMN-5600-22E

1AMN-5600-2	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
コンピュータ会計		224~	2年生・後期		2単位	選択	岩下 昌美
		219~223 経営情報学科	2年生・前期				
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
ソフトのライセンス数により受講者制隊 (masami¬i@g,kiis.ac,jp)にて「受講希望 履修の前提条件 の先着順により受講者を決定し、折り コン操作に関する知識と複式簿記に関 のネットワーク(KIISNW)にログインでも ります。		構希望 , 折り。 記に関	学籍番号と 返し受講可否 する基礎知詞	氏名」と の返事 哉が必	:お知らせください。メール をいたします。また、パソ 須となります。さらに大学		

授業概要 Course Outline

ディプロマポリシーにもとづき、本講義ではコンピュータ会計の基礎的なレベルについて説明をします。 1年時の「簿記」講義において、手記会計をもとに学んだと思いますが、実社会の企業においては、会計処理 (帳簿記録)もコンピュータを利用し会計ソフト(システム)で行われている場合がほとんどです。そこで、業界トップシェアの会計ソフトである「弥生会計」を用いて、会計ソフトのしくみ、メニュー構成、基本操作、各種帳票類の出力方法などを学習します。さらには経理担当者として必要な給料計算および税務の知識などもあわせて学習しますので、税理士事務所などでインターンシップの際に役立つ内容です。

また令和3年度において「電子帳簿保存法」の改正があり、おおむねすべての企業が影響をうけることになりますので、その内容および要件にも触れてみたいと思います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experienc	e	
該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Natur	e O	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
7 B 4 + 4 5 A 4 +	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
denone diams	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management		
北京 ナウ州の知り	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 or oonar additioo	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning	0	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

会計ソフトのしくみ、メニュー構成、基本操作、各種帳票類の出力、特殊機能、会計情報の活用方法について学習し、企業においての会計ソフトの導入から財務諸表の作成ができる能力を身につけます。会計ソフトに関連する検定試験(電子会計実務 3級、2級 弥生会計 2級)の取得も可能となります。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

企業が現実に行っている会計処理などについて、各自が毎回実習を積み重ねていきますので、遅刻欠席のないようにお願いします。授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。

毎回の授業終了時には成果物の提出をお願いします。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問などは、授業の前後またはオフィスアワーを利用してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

会計ソフトを使用した検定試験(日本商工会議所主催電子会計実務)を推奨します。 学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

	Jooks			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐—ド ISBN Code 978-4407364361	
『令和6年度コンピュータ会計 基本テキスト』	弥生スクールプロジェク トメンバー (編集)	実教出版		
	参考文献 Referen	ce Books		
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
『はじめて使う 弥生会計 24』	嶋田知子(著), 前原東二 (監修)	C&R研究所	4863543948	
In 2-1-				

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法: 定期試験(60%), レポート(10%), 平常点(30%)。平常点は科目別履修状況チェック表の提出状況, 毎回の授業最後の成果物提出状況なで判断する。

成績評価の基準:①会計ソフトのデータファイル作成,基本操作(入力,編集,修正,削除),開始残高登録,科目登録、補助科目登録などができるか。②残高試算表で確認,チェックができるか。③固定資産管理ができるか、④消費税を理解して会計処理ができているか。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション(講義の進め方, 講義内容, 受講上の諸注意, 評価方法などを説明します。) 複式簿記の基礎知識(3級程度)を復習します。
第1回	事前学習 (内容・時間) 簿記3級で学んだ簿記一巡の手続について確認しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義時の簿記3級の問題を再度復習し確認しておくこと。(2時間)
	第1章 企業活動と会計処理:企業経理,会計情報の活用と作成について学習します。
第2回	事前学習 _(内容・時間) テキスト第1章pp.8~24を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 企業活動と会計処理について、テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
	第2章 会計ソフトの操作(基礎知識)①:コンピュータの関連知識,会計ソフトの起動,データファイル作成,バックアップ,復元,終了について学習します。
第3回	事前学習 (内容・時間) テキスト第2章pp.26~31を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 会計ソフトの利用方法について,テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
	第2章 会計ソフトの操作(基礎知識)②:会計データの入力操作と帳簿体系, 伝票検索・印刷方法, 集計表の作成について学習します。
第4回	事前学習 テキスト第2章pp.32~54を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 会計ソフトの入力操作,帳簿体系について,テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
	第3章 基幹業務の内容とビジネス法務: 商取引に必要なビジネス法務, 企業の業務システムと会計処理について学習します。
第5回	事前学習 (内容・時間) テキスト第3章pp.56~59を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 企業の業務やビジネス法務について、テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
	第3章 業務ごとの会計処理(1)現金預金に関連する業務,(2)売上に関する業務について,入力作業を行います。
第6回	事前学習 (内容・時間) テキスト第3章pp.60~82を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 企業の業務(現金預金, 売上)について, テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
	第3章 業務ごとの会計処理(3)仕入に関連する業務、(4)経費に関する業務、(5)その他の債権・債務に関する業務について、入力作業を行います。
第7回	事前学習 (内容・時間) テキスト第3章pp.83~108を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 企業の業務(仕入, 経費, その他)について, テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
	第3章 業務ごとの会計処理(6)給料に関する業務について、給料計算の仕組みを学習したのち入力 作業を行います。
第8回	事前学習 テキスト第3章pp.109~122を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 企業の業務(給与)について、テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)

	第4章 税金に関連する業務と会計処理:法人税のしくみ,消費税のしくみについて学習します。
第9回	事前学習 テキスト第4章pp.124~143を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 税金に関する業務について、テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
	第5章 会計データの入力処理と集計①:テキスト例題による証憑類のデータ入力を行っていきます。
第10回	事前学習 テキスト第5章pp.144~155を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義時の証憑に基づく会計処理について、テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
	第5章 会計データの入力処理と集計②:テキスト例題の証憑類によるデータ入力を行っていきます。
第11回	事前学習 テキスト第5章pp.156~175を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 講義時の証憑に基づく会計処理について、テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
	第5章 会計データの入力処理と集計③:テキスト例題の証憑類によるデータ入力を行っていきます。
第12回	事前学習 テキスト第5章pp.176~190を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義時の証憑に基づく会計処理について、テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
	第6章 月次決算に関連する業務と会計処理:決算の手続き、残高チェック、減価償却について学習します。
第13回	事前学習 テキスト第6章pp.192~203を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 「内容・時間) 月次決算について、テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
	第6章 年次決算と決算書出力方法について学習します。
第14回	事前学習 テキスト第6章pp.204~223を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 月次決算および年次決算について,講義時の内容を再度確認して理解を深める。(2時間)
	固定資産管理(固定資産台帳へ登録,減価償却の自動計算)および電子帳簿保存法の概要について 学習します。
第15回	事前学習 指示された固定資産について、国税庁のホームページより耐用年数を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 減価償却について、講義時の内容を再度確認して理解を深める。(2時間)
第16回	60分定期試験(実技試験を含む)

ナンバリング (Number							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
経営組織論		224~ 219~223 経営情報学科	2年生∙後期		2単位	選択	井上 善海
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 経営者、管理職、起業などを考える学 Course Prerequisites いものである。経営に興味のある者の						の知識はなくてはならな	

日常生活の中で、私たちは様々な「組織」に関わり生活をしています。しかし、日常的経験があるが故にかえって深く考えることをせず、その結果として、本質的な理解が妨げられることも多いのではないでしょうか。この授業では、本学の建学の精神をふまえつつ、そのなかのカリキュラムポリシーに基づき、経営組織論の概念をもとに個人、集団、組織全体についての考察を進め、現代社会における「組織」の諸側面を深く理解すると同時に、組織における個人・集団の振る舞いや、経営組織の活動の背後にある意味を洞察する力を磨いていくことをめざします。さらには組織はすでに市場との密接な関係が深まり、消費者も組織の中に組み込まれています。そのような仕組みを「気づかせる」ことに目的を持っています。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience		Work Experience Content		Class	Contents Utilizing Work Experience	
該当		企業経営者11年 経営コンサルタント9年		企業の経営戦略や経営組織等,経営コンサルタント 実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。		
		授業を通して修得でき	きる力	Competenc	y Goals	
知識・理解の観点	Į.	多文化・異文化に関する知	識の理解	裈	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understa	anding	人類の文化・社会と自然に	関する知	口識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
		コミュニケーション・スキル	Readin	g / Writing /	Speaking / Listening	0
70 ED 44 14 AV A 50	_	数量的スキル	Mather	matics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	氘	情報リテラシー	Information Literacy			0
denone et al		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			0
		問題解決力	Problem Solving			0
		建学の精神 Unive		sity Founding	Philosophy	0
		自己管理力	Self-m	anagement		0
北庄 ナウ州の知	±	チームワーク	Teamw	vork		0
態度・志向性の観 Personal Qualities		リーダーシップ	Leader	ship		0
r or contain quantities	•	倫理観	Ethical	Sense		0
		市民としての社会的責任	Social	Responsibility	y	0
		生涯学習力	Lifelon	g Learning		0
統合的な学習経験と創造的原 Integrated Learning Experience		統合的な学習経験	Integra	ted Learning	Experience	
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills		創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

- ①経営組織に関する知識や考え方を習得する。
- ②日本的経営のメリット・デメリットを理解し、説明できるようになること。
- ③日本の経営のあるべき姿を展望できるようになること。
- ④劇的に変化する組織の形態に対応できるスキルを得ることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し、講義を聴いているだけでは単位取得できません。講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。

また企業経営や経営戦略に関するビデオ聴講による演習等を行います。聴講したビデオに基づき、ディスカッションを行うため、ビデオ内容の聞き取り力、メモカ、聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

|連絡方法:メールで連絡してください。

オフィスアワー:授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録(ポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher テキストは使用せず、毎回教員が 作成した資料を事前にclassroom にて配布する 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code よくわかる組織論 田尾雅夫 編著 ミネルヴァ書房 9.78462E+12 成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

中間と期末のレポート、もしくは試験(60%)、授業内課題レポート(40%)を基準とする。

	授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme					
	ガイダンス: 授業の概要・講義の進め方・成績評価方法などを説明します。					
第1回	事前学習 指定のテキストの指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	経営組織の特徴と基礎概念(経営組織の範囲と重要性)					
第2回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	伝統的組織論1: テイラーの科学的管理法					
第3回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	伝統的組織論2: フィヨールの管理課程論					
第4回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	人間関係論: インフォーマル組織の発見					
第5回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	近代組織論: バーナード革命とサイモンの意思決定論					
第6回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	組織の基本形態(企業の組織形態のさまざまな種類について)					
第7回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	組織デザイン(組織の体制を最大限に生かせる環境をつくる)					
第8回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					

	日本的経営組織と日本的経営					
第9回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	日本の経営1: リーダーシップ(組織におけるリーダーシップのありかた)					
第10回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	日本の経営2: CSR(企業の社会的責任)					
第11回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	日本の経営3: 暗黙知と知の創造					
第12回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	新たな組織モデル:ティール組織について					
第13回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	新たな組織モデル:自律的・分権的ネットワーク組織論(インターネット上での組織の変化について)					
第14回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	企業、中間組織、市場について(ウイリアムソンの「組織と市場」より)					
第15回	事前学習 指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。(2h)					
	事後学習 当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)					
	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。 その進捗状況も試験の一部とみなす。					

ナンバリング (Numbering)
1AMN-5980-Z2ET

	1AMN-5980-Z2	ET						
	科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
	知的財産権 《 _{教職関連科目} 必 高等学権	交 情報)	224~	- 3・4年生・前期		2単位	選択	丹羽 崇之
	知的所有権 《教職関連科目 必 高等学科	交 情報)	219~223 経営情報学科			2年位	送扒	刀物 汞之
	オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		事法」を履修してい	ることだ	が望ましい。				

知的財産とは、人の知的な創造活動によって生み出された発明や著作物などの成果のことをいう。知的財産権とはそれら成果に対する権利の総称であり、著作権、産業財産権(特許権、実用新案権、意匠権、商標権)等がある。この講義では、知的財産権に関して基礎的な知識を学ぶ。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない				

授業を通して修得できる力 Competency Goals					
知識・理解の観点		·			
Knowledge and Understa	Inding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
刀甲的牡化の知り	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
deriorio ettillo	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0		
	問題解決力	Problem Solving	0		
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
** *** ******************************	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観り Personal Qualities		Leadership			
l orosmar quanties	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0		
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills		Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

建学の精神をふまえ、知的財産権の理解を深め、「法的なものの考え方」・「リーガルマインド」の習得をはかる。 そのうえで、関連法分野の知見を習得し、研修を重ねることにより、紛争処理能力を涵養する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

最新の事件や判例等をとりあげるので、学生諸君に法律関係や適用法令について考えてもらう。新聞には毎日目を通し、知的財産に関する記事を切り抜くなどして、記録しておくこと。また、関連する雑誌の記事も確認するようにしてもらいたい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問等は、授業の前後の時間やオフィスアワーを積極的に利用してもらいたい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

欠席した場合には、その回の授業内容を学習したレポートを提出してもらう。(提出しない場合は、定期試験の受験を認めない。) 学習の確認・ポートフォリオシート「利日別履修確認チェック表」に必要事項を記入し、最終講義時に提出するこ

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し、最終講義時に提出すること。

		3X11 = 10X00	33113			
書名 Title		著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
	プレップ知的財産法	小泉直樹	弘文堂	978-4335313301		
		参考文献 Referen	ce Books			
	書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code		
図録 知的財産法		前田・金子・青木(編)	弘文堂	978-4335358586		

教科書 Textbooks

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

法学書院

978-4587561994

正林真之(監)

|平常点(ミニテスト、レポート)30%、定期試験70%により総合評価する。

知的財産法判例教室

	授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme				
	ガイダンス、知的所有権とはなにか				
第1回	事前学習 知的所有権とは何か、考えてみる(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 知的所有権とは何か、学んだことを確認する(2時間)				
	特許法(1) 特許権は誰のものか				
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書第1章を読み、特許権の帰属について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第1章を読み返し、特許権の帰属について復習する(2時間)				
	特許法(2) 特許発明の技術的範囲				
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2章を読み、特許発明の技術的範囲について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第2章を読み返し、特許発明の技術的範囲について復習する(2時間)				
	特許法(3) 均等侵害·間接侵害				
第4回	事前学習 教科書第3章を読み、均等侵害・間接侵害について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第3章を読み返し、均等侵害・間接侵害について復習する(2時間)				
	特許法(4) 相手方の反論・損害賠償				
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書第4章を読み、相手方の反論・損害賠償について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第4章を読み返し、相手方の反論・損害賠償について復習する(2時間)				
	特許法(5) 特許権の成立をめぐる争い				
第6回	事前学習 教科書第5章を読み、特許権の成立をめぐる争いについて考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第5章を読み返し、特許権の成立をめぐる争いについて復習する(2時間)				
	特許法(6) ライセンス(実施権)				
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書第6章を読み、ライセンス(実施権)について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第6章を読み返し、ライセンス(実施権)について復習する(2時間)				
	著作権法(1) 著作物				
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書第7章を読み、著作物について考える(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 教科書第7章を読み返し、著作物について復習する(2時間)				

	著作権法(2) 著作者
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書第8章を読み、著作者について考える(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 教科書第8章を読み返し、著作者について復習する(2時間)
	著作権法(3) 複製と翻案
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書第9章を読み、複製と翻案について考える(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 教科書第9章を読み返し、複製と翻案について復習する(2時間)
	著作権法(4) 著作権の制限
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書第10章を読み、著作権の制限について考える(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 教科書第10章を読み返し、著作権の制限について復習する(2時間)
	著作権法(5) 著作者人格権・著作隣接権
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書第11章を読み、著作者人格権・著作隣接権について考える(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 教科書第11章を読み返し、著作者人格権・著作隣接権について復習する(2時間)
	意匠法
第13回	事前学習 (内容・時間) 意匠法の条文を読み、意匠の意義、登録要件、保護主体等について考える(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 意匠法、配布資料を読み返し、意匠の意義、登録要件、保護主体等について復習する(2時間)
	商標法
第14回	事前学習 (内容・時間) 商標法の条文を読み、商標法の概要、商標権侵害について考える(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 商標法、配布資料を読み返し、商標法の概要、商標権侵害について復習する(2時間)
	不正競争防止法
第15回	事前学習 (内容・時間) 不正競争防止法の条文を読み、不正競争防止法の目的、概要等について考える(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 不正競争防止法、配布資料を読み返し、不正競争防止法の目的、概要等について復習する(2時間)
第16回	定期試験

ナンバリング (Numbering 1AIN-5432-12ES	7					
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem	•	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
計算機システム論 (教職関連科目 選 高等学校 情幸	219~	1年生•後期		2単位	選択	朝廣雄一
オンライン授業 Online Class あり	401		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites						ていること)と,基本的な る(履修規程第5条3項に

経営情報学分野においては種々の計算をコンピュータに行わせるため、コンピュータの基本原理について理解しておくことが重要である。そこで学則第3条を踏まえて、本講義では、計算機における3つの基幹技術であるハードウェア、ソフトウェア、通信について取り上げる。例えば、以下のような話題について紹介する。
ハードウェア:コンピュータの中はどのように動作して、情報をどのように格納しているのか
ソフトウェア:コンピュータへの指示はどのようにして行うのか、どのような処理を行えるのか
通信:どのようにしてネットワーク上での通信が行われているのか
なお問題演習やPCを用いた実習を適宜取り入れることにより、知識の定着を図る。

実務経験をいかした教育内容

	天術在級内台 Work Experience Content	受務経験をいかした教育内各 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture
Knowledge and Understa	anding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening
ᄁᄑᄵᆉᆇᄼᇷᅶ	数量的スキル	Mathematics O
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy
derione entitle	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking O
	問題解決力	Problem Solving
	建学の精神	University Founding Philosophy
	自己管理力	Self-management O
能由。古白州の知。	チームワーク	Teamwork
態度・志向性の観点 Personal Qualities		Leadership
	倫理観	Ethical Sense
	市民としての社会的責任	Social Responsibility
	生涯学習力	Lifelong Learning
統合的な学習経験と創造的思 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience
Creative Thinking Skills	ANA 11 m 4 1	Creative Thinking Skills

到達目標 Objectives

経営情報学分野の基礎的な知識を修得するために、この科目ではコンピュータを構成するハードウェア・ソフトウェア・通信がどのような働きをしているかについての基礎的知識を習得することを目指している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

反転授業を行います。配布資料の学習ならびに演習問題に主体的に取り組み、疑問点などについて履修者同士 で議論したり、授業中に積極的に発言して下さい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワーはなし。電子メールにてasahiro@is.kyusan-u.ac.jp宛てに連絡を取ってください。ただし、携帯電話やフリーメールアドレスからではなく、大学のアドレスから発信して下さい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

授業で扱う内容の一部は、基本情報技術者試験の試験範囲に含まれる。 学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修状況チェック表」に必要事項を記入すること。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
ディジタル作法	Brian W. Kernighan 著 久野 靖 訳	オーム社	978-4-274-06909-3			
	参考文献 Reference Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
プログラムはなぜ動くのか	矢沢久雄	日経BP社	978-4-8222-8315-5			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法

レポート(20%) 中間試験(30%) 定期試験(50%)

成績評価の基準

授業計画の欄に示した各項目について理解しているかが成績評価の基準である。具体的には、それぞれの項目についてレポート課題、中間試験、定期試験のいずれかに出題し、合計得点で評価することにより、総合的な理解度を評価する。

	授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme				
	コンピュータとは何か? [オンライン]				
第1回	事前学習 (内容・時間) 教科書 p.26 までを読む(2時間)				
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	ビット・バイトと情報の表現 [オンライン]				
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.27-46 を読む(2時間)				
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	CPUの中身 [オンライン]				
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.47-66 を読む(2時間)				
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	アルゴリズム [オンライン]				
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.67-86 を読む(2時間)				
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	プログラミングとプログラミング言語 [対面]				
第5回	事前学習 (内容·時間) 教科書 pp.87-114 を読む(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	ソフトウェアシステム [対面]				
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.115-140 を読む(2時間)				
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	プログラミングを学ぶ [対面]				
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.141-158 を読む(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	コンピュータを用いたソフトウェアに関する演習(実習を含む) [対面]				
第8回	事前学習 PCの準備(アダプターやケーブルなどの準備, ならびに事前設定など)を行う(1時間)				
	事後学習 _(内容・時間) 授業中に完了できなかった課題とレポート作成に取り組む(3時間)				

	まとめと中間試験 [対面]
第9回	事前学習 cれまでに学習した内容の復習を行う(3時間)
	事後学習 よく分からなかった問題について復習を行う(1時間)
	ネットワーク[オンライン]
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.159-184 を読む(2時間)
	事後学習 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
	インターネット [オンライン]
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.185-220 を読む(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
	World Wide Web [オンライン]
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.221-256 を読む(2時間)
	事後学習 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
	データ、情報、プライバシー [対面]
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.257-290 を読む(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
	コンピュータを用いた通信に関する演習(実習を含む) [対面]
第14回	事前学習 PCの準備(アダプターやケーブルなどの準備, ならびに事前設定など)を行う(1時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中に完了できなかった課題とレポート作成に取り組む(3時間)
	全体のまとめ[対面]
第15回	事前学習 (内容・時間) 教科書や配布資料を見直して、内容の理解を深める(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 定期試験のための準備を行う(2時間)
第16回	定期試験 [対面]

-	ナンバリング (Numbering) 1AIN-5122-22ET							
	科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学持 School Year, Sem	•	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
(孝	アルゴリズムとデータ構造 (教職関連科目 必 高等学校 情報)		219~	2年生•前期		2単位	選択	朝廣 雄一
	オンライン授業 Online Class	1 1 1 1			あり			
	履修の前提条件 Course Prerequisites		「プログラミン		学科)?	を合格してい	る(また	斗),または「基礎数学」と には同等の知識を有してい

学則第3条を踏まえて、経営情報学分野の応用的な知識として、情報システムの基本的かつ重要な要素であるアルゴリズムとデータ構造を扱い、各種の問題とそれらに対するアルゴリズムの漸近的な性能を解析する手法について解説する。まず単純な問題を対象とし、アルゴリズムとその性能を解析する流れについて概説する。その後、基本的データ構造を用いた、各種の計算などのアルゴリズムについて漸近的な性能の解析を行う。問題演習やPCを用いた実習を適宜取り入れることにより、知識の定着を図る。

実務経験内容

Work Experience Content

創造的思考力

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

Creative Thinking Skills

該当しない			
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	,
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
77 四44+44: 0 知 上	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	
GONONO SIAMO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	0
** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	チームワーク	Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
1 orderial qualities	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
integrated Learning Experience and			

Creative Thinking Skills

到達目標 Objectives

経営情報学分野の応用的な知識として、アルゴリズムとデータ構造の知識を習得し、アルゴリズムの漸近的な性能を解析する手法について習得するのを目指している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

反転授業を行います。配布資料の学習ならびに演習問題に主体的に取り組み、疑問点などについて履修者同士 で議論したり、授業中に積極的に発言して下さい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワーはなし。電子メールにてasahiro@is.kyusan-u.ac.jp宛てに連絡を取ってください。ただし、携帯電話やフリーメールアドレスからではなく、大学のアドレスから発信して下さい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

授業で扱う内容の一部は、基本情報技術者試験の試験範囲に含まれる。 学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入すること。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
授業は配布プリントに従って実施する					
	参考文献 Reference Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
アルゴリズムイントロダクション 第3版 第1巻	コルメン、ライザーソン、リベスト、シュタイン(浅野、岩野、梅尾、山下、和田訳)	近代科学社	978-4-7649-0406-4		

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- 成績評価の方法
- レポート(20%) 中間試験(30%) 定期試験(50%)
- 成績評価の基準

授業計画の欄に示した各項目について理解しているかが成績評価の基準である。具体的には、それぞれの項目についてレポート課題、中間試験、定期試験のいずれかに出題し、合計得点で評価することにより、総合的な理解度を評価する。

	授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme				
	計算におけるアルゴリズムの役割について理解する [オンライン]				
第1回	事前学習 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)				
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	疑似プログラムの概要について理解する [オンライン]				
第2回	事前学習 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)				
	事後学習 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	SRAMモデルの概要について理解する [オンライン]				
第3回	事前学習 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)				
	事後学習 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	単純な問題とアルゴリズムについて理解する [オンライン]				
第4回	事前学習 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)				
	事後学習 _{授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)}				
	各種演算とアルゴリズムについて理解する[対面]				
第5回	事前学習 (内容・時間) 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)				
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	条件分岐について理解する[対面]				
第6回	事前学習 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	高度な条件分岐について理解する[対面]				
第7回	事前学習 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)				
	事後学習 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				
	最良計算時間と最悪計算時間について理解する[対面]				
第8回	事前学習 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)				
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)				

	まとめと中間試験 [対面]
第9回	事前学習 これまでに学習した内容の復習を行う(3時間)
	事後学習 よく分からなかった問題について復習を行う(1時間)
	数列について理解する [オンライン]
第10回	事前学習 「内容・時間) 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
	ループ構造を持つアルゴリズム(1)数の和を計算するアルゴリズムについて理解する [オンライン]
第11回	事前学習 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
	ループ構造を持つアルゴリズム(2)ループ不変式について理解する [オンライン]
第12回	事前学習 (内容・時間) 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
	ループ構造を持つアルゴリズム(3)自然数の和を計算するアルゴリズムについて理解する [対面]
第13回	事前学習 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
	O記法について理解する [対面]
第14回	事前学習 (内容・時間) 配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
	各種アルゴリズムの実験的評価に取り組む(実習を含む) [対面]
第15回	事前学習 PCの準備(アダプターやケーブルなどの準備, ならびに事前設定など)を行う(1時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中に完了できなかった課題とレポート作成に取り組む(3時間)
第16回 (定期試験)	定期試験[対面]

ナンバリング(Numb	ering)						
1AIN-6060-22E	T						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
データベース論 (教職関連科目 必 高等学校	交情報)	共通 2年生・前期		2単位	選択	宮﨑武	
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequis	-	情報学入門	Using Google Classroom 「ロップ」				

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではデータベースの概要を学ぶ。データベースとしては現在最も広範囲に使用されているリレーショナルデータベースを中心にデータベースの設計方法、アクセス方法を演習を通じて身につける。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

創造的思考力

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

Integrated Learning Experience and

Creative Thinking Skills

該当しない					
		授業を通して修得で	きる力 Competenc	y Goals	
知識・理解の観	点	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Unders	standing	ding 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature			
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	
77 27 44 44 44 44 44	ı -	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観 Generic Skills		情報リテラシー Information Literacy		,	
denone orans	論理的思考力		Logical Thinking / Creative Thinking		
		問題解決力 Problem Solving			0
		建学の精神	University Founding	Philosophy	
		自己管理力	Self-management		
	- L	チームワーク	Teamwork		
│ 態度・志向性の観 │ Personal Qualiti		リーダーシップ	Leadership		
i craonar quanti	03	倫理観	Ethical Sense		
		市民としての社会的責任	€ Social Responsibility		
		生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的		統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		

Creative Thinking Skills

到達目標 Objectives

自分でデータベースを作成し、アクセスすることができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回各自のPCで、実際に手を動かしてデータベースへの操作をしてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室(274)にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回必ずパソコンを持参する事。

また、インストールしたデータベースのソフトウェアなどを毎回利用できるよう、パソコンのアップデートやメンテナーンスを継続して行うこと。

	教科書 Textb	oooks	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
資料配布			
	参考文献 Referen	ce Books	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
データベースの基礎(改訂版) - MariaDB/MySQL対応 -	永田武	コロナ社	978-4-339-02919-2
	评価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation	

実技試験60%、総合演習40%

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	ガイダンス、データベースとは
第1回	事前学習 シラバスを読む(2h)
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う、スライド資料を読み内容を理解する(2h)
	Sqlite3・PHPのインストールおよび動作確認
第2回	事前学習 (内容・時間) PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習 Sqlite3・PHPの起動と終了を何度も行い操作に慣れる(2h)
	Tableの作成
第3回	事前学習 PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習 複数回1つTableを作成する(2h)
	データの挿入
第4回	事前学習 PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習 (内容・時間) 複数回Tableにデータを挿入する(2h)
	データの修正
第5回	事前学習 PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習 複数回Tableのデータを修正する(2h)
	データの削除
第6回	事前学習 PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習 (内容・時間) 複数回Tableのデータを削除する(2h)
	データの参照
第7回	事前学習 PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習 (内容・時間) 複数回Tableのデータを参照する(2h)
	データの抽出条件による参照
第8回	事前学習 PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習 複数回Tableのデータを抽出条件を入れて参照する(2h)

	phpプログラムを利用したデータの参照
第9回	事前学習 (内容・時間) PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習 (内容・時間) 授業中に作成したプログラムを別のtableでもう一度自分で作成する(2h)
	phpプログラムを利用したデータの抽出条件による参照
第10回	事前学習 PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中に作成したプログラムを別のtableでもう一度自分で作成する(2h)
	データベースの設計、正規化による整理方法
第11回	事前学習 PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習 授業中に指示のあった作業をもう一度自分で実施する(2h)
	複数の表の結合によるデータ参照
第12回	事前学習 PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習 授業中に作成したプログラムを別のtableでもう一度自分で作成する(2h)
	実技試験前半
第13回	事前学習 これまでの授業で行ったデータベースに対する操作を何度も自分で繰り返す(2h)
	事後学習 授業中の問題の復習およびこれまでの授業の復習をする(2h)
	実技試験後半
第14回	事前学習 これまでの授業で行ったデータベースに対する操作を何度も自分で繰り返す(2h)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中の問題の復習をする(2h)
	総合演習
第15回	事前学習 これまでの講義資料を読んでおく(2h)
	事後学習 データ操作言語の命令文をしっかりと復習する(2h)
第16回	実技試験60%、総合演習40%

ナンバリング (Numb	ering)						
1AIN-6580-22E	Ξ						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Sem	-	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
ゲームプログラミ	ング	223~	2年生•前期		2単位	選択	豊田桃子
オンライン授業 Online Class	なし		ラスルームの利用 logle Classroom	あり			
履修の前提条 Course Prerequis		プログラミング	プログラミング実践!を履修・修得していること.				

本講義では、ディプロマポリシーに基づき、プログラミングの基本をおさえつつシューティングゲームを開発し、実践的なゲーム開発の基礎を学ぶ、本講義では、JavaScriptを使用する。 本講義を担当する講師は、現在ゲーム・アプリ開発に携わっており、 ゲーム・アプリ作成に関する技術だけでなく、関連業界についても 熟知しているため、ゲーム・アプリ関連業界を目指す学生を歓迎する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	・Webアプリケーションの開発 ・JavaScriptを使用したゲームプログラミングの開発 ・JavaScriptのゲームフレームワークPhaserを使用したゲームプログラミングの開発	・JavaScriptゲームプログラミング ・WEBアプリケーション開発(データベース・インフラ・アプリ 開発・プログラミングなど)

多文化・異文化に関する知識	竜の理解	Multiple Culture / Different Culture	0		
人類の文化・社会と自然に	類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0		
数量的スキル	Mathematics		0		
情報リテラシー	Information Literacy	,	0		
論理的思考力	Logical Thinking / C	reative Thinking	0		
問題解決力	Problem Solving				
建学の精神	University Founding Philosophy				
自己管理力	Self-management				
チームワーク	Teamwork		0		
リーダーシップ	Leadership				
倫理観	Ethical Sense		0		
市民としての社会的責任	Social Responsibility				
生涯学習力	Lifelong Learning				
統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience			
創造的思考力	Creative Thinking Skills				
	人類の文化・社会と自然に関コミュニケーション・スキル数量的スキル情報リテラシー論理的思考力問題解決力建学の精神自己管理力チームワークリーダーシップ倫理観市民としての社会的責任生涯学習力統合的な学習経験	数量的スキル Mathematics 情報リテラシー Information Literacy 論理的思考力 Logical Thinking / C 問題解決力 Problem Solving 建学の精神 University Founding 自己管理力 Self-management チームワーク Teamwork リーダーシップ Leadership 倫理観 Ethical Sense 市民としての社会的責任 Social Responsibility 生涯学習力 Lifelong Learning 統合的な学習経験 Integrated Learning	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening 数量的スキル Mathematics 情報リテラシー Information Literacy 論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking 問題解決力 Problem Solving 建学の精神 University Founding Philosophy 自己管理力 Self-management チームワーク Teamwork リーダーシップ Leadership 倫理観 Ethical Sense 市民としての社会的責任 Social Responsibility 生涯学習力 Lifelong Learning 統合的な学習経験 Integrated Learning Experience		

到達目標 Objectives

①プログラミング言語に関する基本用語が説明できる。②サンプルプログラムを応用できる。③課題に応じて最適な処理構文を選択し、使用できる。④ゲーム史について基本事項が列挙できる。⑤講義に参加できる。⑥課題解決のためにお互いに助けることができる。⑦疑問点を尋ねることができる。⑧プログラム処理のためにPCを操作できる。⑨プログラム作成のためにフローチャートを自分で準備できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義ではなく、実習型講義を実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡は全てクラスルームにて行う。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックシートに必要事項を記入し8回目講義および最終講義時に提出すること.

	教科書 Textb	ooks	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
講義に沿った配布資料を準備し、それに沿って進めます.			
参考文献 Reference Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
「ゲーム&モダンJavaScript文法で2倍楽しい]グラフィックスプログラミング入門 ──リアルタイムに動く画面を描く。 プログラマー直伝の基本 (WEB+DB PRESS plus)	杉本 雅広	技術評論社	978-4297110857
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation			

授業態度(30%)、授業内での成果物(20%)、試験(50%)で評価する.

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	講座ガイダンス
第1回	事前学習 シラバスを通読し、受講理由を明確にする. (2h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
	ゲーム史
第2回	事前学習 ゲーム史についてインターネット等で調査する. (2h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
	JavaScript基礎(1)
第3回	事前学習 JavaScriptについてインターネット等で調査する. (2h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
	JavaScript基礎(2)・アルゴリズム基礎
第4回	事前学習 JavaScriptに関する第3回の内容を復習する. (2h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
	アルゴリズム 演習
第5回	事前学習 (内容・時間) JavaScriptに関する第4回の内容を復習する. (2h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
	Canvas API 基礎
第6回	事前学習 (内容・時間) Canvas APIについてインターネット等で調査する. (2h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
	Canvas API 実践
第7回	事前学習 (内容・時間) Canvas APIに関する第6回の内容を復習する. (2h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
	シューティングゲーム開発 (1)
第8回	事前学習 (内容・時間) 第3回から第7回の内容を復習する. (2h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)

	シューティン	·グゲーム開発 (2)
第9回	事前学習 (内容·時間)	第8回の内容を復習する. (2h)
	事後学習 (内容·時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
	シューティン	·グゲーム開発 (3)
第10回	事前学習 (内容·時間)	第9回の内容を復習する. (2h)
	事後学習 (内容·時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
	シューティン	·グゲーム開発 (4)
第11回	事前学習 (内容·時間)	第10回の内容を復習する. (2h)
	事後学習 (内容·時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
	シューティン	·グゲーム開発 (5)
第12回	事前学習 (内容·時間)	第11回の内容を復習する. (2h)
	事後学習 (内容·時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
	シューティン	ッグゲーム開発(6)
第13回	事前学習 (内容·時間)	第12回の内容を復習する. (2h)
第13回	事前学習	
第13回	事前学習 (內容·時間) 事後学習 (內容·時間)	第12回の内容を復習する. (2h)
第13回	事前学習 (內容·時間) 事後学習 (內容·時間)	第12回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
	事前学習 (内容・時間) 事後学習 (内容・時間) シューティン 事前学習	第12回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h) グゲーム開発(7)
	事前容・時間 事前容・時間 事後容・時ででは 事では、事では、事では、事では、事では、事では、事では、事では、事では、事では、	第12回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h) グゲーム開発 (7) 第13回の内容を復習する. (2h)
	事前容・時間 事前容・時間 事後容・時ででは 事では、事では、事では、事では、事では、事では、事では、事では、事では、事では、	第12回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h) グゲーム開発 (7) 第13回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
第14回	事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内	第12回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h) グゲーム開発(7) 第13回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
第14回	事(内 事(内 事 所 を) 事(内 事 形 で) 事(内 事 形 で) 事(力 事 の) 事(力 事	第12回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h) グゲーム開発 (7) 第13回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h) グゲーム開発 (8) 第14回の内容を復習する. (2h)
第14回	事(内 事(内 事 所 を) 事(内 事 形 で) 事(内 事 形 で) 事(力 事 の) 事(力 事	第12回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h) ググゲーム開発 (7) 第13回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h) ググゲーム開発 (8) 第14回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
第14回	事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内	第12回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h) ググゲーム開発 (7) 第13回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h) ググゲーム開発 (8) 第14回の内容を復習する. (2h) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)

ナンバリング (Numbering)
1AIN-6690-22E

17411 0000 222	-						
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
eスポーツ概論	-	224~					和士孙士
特別実習・講義(情 eスポーツ概論		223	2年生・後期		2単位	2単位 選択	秋吉浩志 中島直樹 宮崎武
特別講義(情報 eスポーツ概論		~222					
オンライン授業 Online Class	あり	_	スルームの利用 ogle Classroom	あり			

履修の前提条件 Course Prerequisites

実務経験のある教員による科目

eスポーツ業界、ゲーム業界、デジタルビジネス関係の多くの実践興味を持っている学生に は選択をすすめる。

実務経験をいかした教育内容

授業概要 Course Outline

欧米で小規模コミュニティのイベントとしてスタートし、プロ化、そしてグローバル&拡大ビジネス化したeスポーツ の成立から発展の歴史を詳しく学び、海外の流れと、その動きに乗り遅れたにもかかわらず飛躍的な拡大路線 を取り始めた日本の状況を紹介する。eスポーツ主要競技の流れについても学び、eスポーツの特徴も理解す る。メディア、行政、法律、教育分野、既存のフィジカルスポーツ団体等を巻き込みながら日々益々拡大する。さらにはeスポーツを取り巻く情報システムやゲームプログラミングの世界についても紹介したい。そして、eスポーツの過去と現在の理解を深め今後についての考察を行えるようにすることを目的とする。

また、建学の精神や特にカリキュラムポリシーに沿って、IT業界で活躍できる広く多様性ある人材づくりを目指すものである。

実務経験内容

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience	
6人小一ノに関わる多 律	スポーツ業界で企画、イベント業 、教育分野など多岐にわたる実)ある講師がオムニバスで講義を	多経験 プロ語前のとさは、ノイベート、ブループラーブ、ブル アイス ロープ 発表 個人発表発表などた由心に進行していく	
	kann	rennsuru	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture (0
Knowledge and Understan	ding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature (0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening (0
20 用的世纪の知点	数量的スキル	Mathematics (0
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy (0
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking (0
	問題解決力	Problem Solving (0
	建学の精神	University Founding Philosophy (0
	自己管理力	Self-management (0
 態度・志向性の観点	チームワーク	Teamwork	0
思度・心内圧の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0
	倫理観	Ethical Sense (0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility (0
	生涯学習力	Lifelong Learning (0
統合的な学習経験と創造的思想 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience	0
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	0

到達目標 Objectives

デジタルネィティブ世代のメインストリームになるeスポーツの歴史と現状、今後の流れを考察して、物事を 多方面から見ることが出来る力をつけてもらう。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
- ②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
- ③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
- ④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。
- ⑤主に業界の外部講師の授業が多いため、しっかりとコミュニケーションをとることをすすめる。 など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に秋吉研究室(2号館5階555研究室)にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。 研究室訪問の際、メール;akiyoshi@g.kiis.ac.jpにメール連絡をしておくことを薦める。(遠隔授業の場合はGoogleクラスルーム を活用して連絡を随時行う)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

この科目は急速に発展しているeスポーツ業界に関連する知識を得るための科目である。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日までに秋吉までメール (akiyoshi@gkiis.ac.jp)で提出してください。

また、遠隔授業の際は主にZoomと動画にて、授業を行い、課題等はGoogleクラスルームを活用する。

事後学習として毎週課題があり、課題を提出しないと授業に出席しても出席にはならない。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
毎回主にパワーポイントかPDFによる 資料を配布する。配布はクラスルー ムにて行う。			
	参考文献 Referer	nce Books	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
・まるわかり! eスボーツ・ビジネス (日 経ムック)	KPMGコンサルティング	日本経済新聞出版	ISBN-13 978 : - 4532183103
・続・eスポーツ地方創生 新たな展開	筧 誠一郎	白夜書房	
を見せ拡大し続けるムーブメントの未 来	 岡安 学	 秀和システム	ISBN-13 978 : - 14864943451
木 ・みんなが知りたかった 最新eスポー	叫久 于	万和ノヘノム	14004343431

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法:授業での出席や活動状況、発表、課題提出、レポート、定期試験等の成績により総合的に評価する。主に定期試験40%、出席(課題提出やグループワークなど)30%、イベント運営参加(20%)、その他(授業態度など)10%。

・成績評価の基準:講義のなかで①集団の中で他者と協力・協調できているか、②責任もった行動がとれているか、③提出物や発表(プレゼンテーション)で大学生としての自己表現ができているか、など。

・なお、eスポーツは実際運営することが重要なスキルとなっている。よって15回の講義以外に以降の3つのイベントいずれかに参加して、レポートを提出していただく。①学園祭におけるeスポーツイベント②太宰府市で開催されるeスポーツイベント③福岡県eスポーツ協会主催のイベント(日程は講義中に発表する)

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	ガイダンスおよびeスポーツの基礎知識について
第1回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	eスポーツとは何か(eスポーツの定義、学びのeスポーツ他)
第2回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	eスポーツの歴史について(ゲームからeスポーツへ)
第3回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	eスポーツのジャンルについて(FPS、TPS,RTSなど、拡張するゲームの分野)
第4回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	eスポーツの施設や設備について(施設の種類や実例による設備の紹介など)
第5回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	eスポーツとeスポーツが起こす文化について
第6回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	eスポーツのビジネスについて①(スポーツ産業とeスポーツ)
第7回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	eスポーツのビジネスについて②(グローバル化するeスポーツビジネス)
第8回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)

	eスポーツに関わる法律、条令等について①(著作権、肖像権など)
第9回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	eスポーツに関わる法律、条令等について②(著作権、肖像権など)
第10回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	eスポーツを取り巻く、情報システムについて
第11回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	eスポーツとゲームプログラミングについて
第12回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	eスポーツと教育について(これからの教育に欠かせないゲームと育成)
第13回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	eスポーツと地方創生(地方振興、観光資源との関りなど)
第14回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
	これからのeスポーツの発展と展開について(eスポーツのイベントの企画、立案、制作、実施など、そしてオリンピ、
第15回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第16回(定期試験)	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗 状況も試験の一部とみなす。 これからの時代に向けて、こらからのeスポーツに関わる基本的な知識が理解されているかを問う。

ナンバリング (Numbering)						
1AIN-6610-22E	1AIN-66	610-22C				
科目名 Class	入学年度 開講学年·学期 Admission Year School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor	
情報処理技術演習 I (ITパスポート 対策)	223~	223~ 2年生•前期		2単位	経営 選択 NW 必修	ディンダ プラマンタ
オンライン授業 Online Class なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites	ITパスポート <u>う</u>	資格取得に意欲的に	三取り組む	ご意志があるこ	٤.	

本授業では、ITパスポート試験に向けて必要な情報技術の基本的な知識を獲得し、ディプロマポリシーに基づいてテクノロジ系の入門を行う.文系と理系の視点から、コンピュータの仕組みや処理について学ぶアプローチで授業が提供する.演習問題を通して内容を網羅し、受講者全員がITパスポート試験に合格することを目標とする.

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

接業を通して修得できる力 Competency Goals 知識・理解の観点 Knowledge and Understanding 多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening 数量的スキル Mathematics 情報リテラシー Information Literacy	
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening 数量的スキル Mathematics	
Knowledge and Understanding 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening 数量的スキル Mathematics	
コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening 数量的スキル Mathematics	
数量的スキル Mathematics	
】 - 羽田的技能の組占 - ┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	
汎用的技能の観点 棒報リテラシー Information Literacy	0
Generic Skills Information Literacy	0
論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking	0
問題解決力 Problem Solving	0
建学の精神 University Founding Philosophy	
自己管理力 Self-management	0
チームワーク Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities Leadership	
倫理観 Ethical Sense	
市民としての社会的責任 Social Responsibility	
生涯学習力 Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills 創造的思考力 Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ITパスポート資格について説明できる.テクノロジー分野に関する基本事項, 用語について説明することができる. 演習やテストに参加することができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義の他に、学生参加型の演習やテストを行う.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは551研究室にて受け付ける.オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について 毎回の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ループリック」にオンライン自己評価を記入し,提出して下さい.

	教科書 Textb	oooks		
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
文系のための 基本情報技術者 はじめに読む本	近藤 孝之	技術評論社	978-4297130282	
	参考文献 Referen	ice Books		
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
令和6-7年度版 ITパスポート試験 対 策テキスト&過去問題集(よくわかる マスター)	富士通ラーニングメディア	FOM出版	978-4867750704	
☆	亚伊士社 0	/ Mathed of Fredricks		

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

課題やレポート10%, 中間課題演習15%, 後期課題演習15%, 定期試験60%.

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	ガイダンス
第1回	事前学習 本講義について、シラバスと関連する教科書およびネット記事を読んでおくこと(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 本講義のキーワードと目的を特定し、自己評価を行っておくこと(2時間)
	2進数と10進数
第2回	事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.8~p.27) やインターネットによって予習を行っておくこと(2時間)
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと.(2時間)
	2進数:計算と応用
第3回	事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.28~p.38) やインターネットによって予習を行っておくこと(2時間)
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと(2時間)
	機械の記憶
第4回	事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.40~p.43) やインターネットによって予習を行っておくこと.(2時間)
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと.(2時間)
	仕組みと種類
第5回	事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.44~p.52) やインターネットによって予習を行っておくこと.(2時間)
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと.(2時間)
	集合と論理演算
第6回	事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.54~p.69) やインターネットによって予習を行っておくこと(2時間)
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと.(2時間)
	足し算の仕組み
第7回	事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.70~p.75) やインターネットによって予習を行っておくこと.(2時間)
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと.(2時間)
	確率・統計
第8回	事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.76~p.84) やインターネットによって予習を行っておくこと.(2時間)
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと(2時間)

テスト:中間課題演習
事前学習 (内容・時間) 第2回~第8回を復習しておくこと.(2時間)
事後学習 (内容・時間) 時間内に回答できなかった問題は必ず、復習させること(2時間)
Central Processing Unit (CPU)とその言語
事前学習 次回の学習範囲について、教科書 (p.86~p.107) やインターネットによって予習を行っておくこと(2時間)
事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと(2時間)
CPUの高機能化
事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について,教科書 (p.108~p.116) やインターネットによって予習を行っておくこと(2時間)
事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと(2時間)
ソフトウェアとハードウェア
事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.118~p.128) やインターネットによって予習を行っておくこと(2時間)
事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと(2時間)
繰り返しシステム
事前学習 次回の学習範囲について,教科書(p.129~p.144)やインターネットによって予習を行っておくこと(2時間)
事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと(2時間)
ネットワークとインタネット
事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.146~p.165) やインターネットによって予習を行っておくこと(2時間)
事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと、(2時間)
テスト:後期課題演習
事前学習 (内容・時間) 第10回~第14回を復習しておくこと.(2時間)
事後学習 時間内に回答できなかった問題は必ず、復習させること(2時間)
定期試験等

ナンバリング(Numl	pering)							
1AIN-5750-24	E	1AIN-5750-24C						
科目名 Class		入学年度 開講学年•学期 Admission Year School Year, Semester			単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor	
情報テクノロジー演習 I (ITパスポート対策)		220~222	2年生∙1	経営選 NW 必 ニッガラ		ディンダ プラマンタ		
		219 情報ネットワーク学科	- 2年生·前期			4単位	必修	7107 0000
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条 Course Prerequi		ITパスポート	資格取得に意	欲的に	取り	組む意志がる	あること	

働く人が共通して備えておきたい情報技術や企業活動に関する基本的な知識を幅広く問われるのが、情報技術 者試験のITパスポートである。この授業では、ディプロマポリシーに基づき、ストラテジ系、マネジメント系、テクノロ ジ系の3つの分野の出題範囲について、過去問題を通して網羅していく、受講者全員のITパスポート試験合格を 目標とする.

実務経験内容

実務経験をいかした教育内容

実務経験のある教員による科目

with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understanding	スタイプ 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
7 m44+44 0 to t	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
donorio orano	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 or contain qualitation	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

|ITパスポート資格について説明できる.テクノロジー分野に関する基本事項,用語について説明することができる. ストラテジー分野に関する基本事項,用語について説明することができる.マネジメント分野に関する基本事項,用 語について説明することができる.演習や確認テストに参加することができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義の他に,学生参加型の演習や確認テストを行う.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは551研究室にて受け付ける.オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」にオンライン自己評価を 記入し、提出して下さい.

教科書 Textbooks								
書名 Title	書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN C							
みんなが欲しかった!ITパスポートの教科書&問題集2024年度版	TAC出版情報処理試験 研究会(編著)	TAC株式会社出版事業部	978-4-300-10938-0					
	参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
令和6-7年度版 ITパスポート試験 対策テキスト &過去問題集 (よくわかるマスター)	富士通ラーニングメディア	FOM出版 (富士通ラーニングメディア)	978-4-86775-070-4					
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation								

|確認テスト①~③のうちで2つの最高得点:60%,定期試験40%.また,本学開催のiパス・簿記コンテストへの参加 も含まれる.積極的な参加を推奨する.

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション(ITパスポート試験の概要と演習の進め方)
第1回	事前学習 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	プレテスト
第2回	事前学習 (内容・時間) カイナ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	テクノロジ 系① 離散数学
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	テクノロジ 系① 情報理論
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	テクノロジ 系② データ構造とアルゴリズム
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	テクノロジ 系② プログラミング・プログラム言語とマークアップ言語
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
	テクノロジ 系③ システム処理形能
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
	テクノロジ 系③ 性能と信頼性
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)

	テクノロジ 系④ ハードウェア
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	テクノロジ 系④ ソフトウェア
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	確認テスト①の練習
第11回	事前学習 (内容・時間) 第3回~第10回を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	確認テスト①
第12回	事前学習 (内容・時間) 第3回~第10回を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	テクノロジ 系⑤ オフィスツールとオペンソースソフトウェア
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
	テクノロジ 系⑤ インタフェースとマルチメディア
第14回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	テクノロジ 系⑥ データベース
第15回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	テクノロジ 系⑥ データベース管理システムの機能
第16回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)

	テクノロジ 系⑦ ネットワーク
第17回	事前学習 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
	テクノロジ 系⑦ 送信プロトコル・ネットワーク応用
第18回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
	テクノロジ 系⑧セキュリティ
第19回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	テクノロジ 系⑧ 暗号化技術とディジタル署名
第20回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	確認テスト②の練習
第21回	事前学習 第13回~第20回を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
	確認テスト②
第22回	事前学習 第13回~第20回を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	コウジャン ズ① シュニ / 眼炎仕供
	マネジメント 系① システム開発技術
第23回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと(2時間)
第23回	事前学習 教科書の該当笛所を読んでおくこと (2時間)
第23回	事前学習 教科書の該当箇所を読んでおくこと(2時間) 事後学習 解けなかった問題については冬白復習すること(2時間)
第23回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間) 事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)

	マネジメント 系② プロジェクトマネジメント
第25回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	マネジメント 系② サービスマネジメント
第26回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	ストラテジ 系① IoT・組込みシステム
第27回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	ストラテジ 系① 要件定義
第28回	事前学習 (内容・時間) 教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	確認テスト③の練習
第29回	事前学習 第23回~第28回を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
	確認テスト③
第30回	事前学習 (内容・時間) 第23回~第28回を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習 解けなかった問題については各自復習すること(2時間)
第31回(定期試験)	定期試験

ナンバリング(Nu 1AIN-6620-							
科目名 Class		入学年度 Admission Year School Year, Semester		• •	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報処理技術 (ITパスポート		223~ 2年生・後期		2単位	選択	平川 淳一	
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisites ・受講マナーを守れる人			パスポー	ート」の取得る	を目標に	こしている人。	

企業活動や情報技術に関する基本的な知識について、広く問われるのが情報技術者試験「ITパスポート」、通称「iパス」と呼ばれる国家資格です。ビジネスパーソンにとって共通して備えておくべき知識を網羅しているため、IT業界のみならず、多くの社会人が受験している注目の資格です。

授業ではiパスの出題範囲、ストラテジ系、マネジメント系、テクノロジ系の過去問題を通して分野別の知識をインプットし、チェックテストによって、アウトプットすることで、知識の定着を図ります。

この科目は、カリキュラムポリシー「II 経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能や知識・理解を修得させること。」に基づいて、ITパスポート試験の対策科目として学んでいきます。

実務経験をいかした教育内容

一確認テストは、Googleクラスルーム内で毎回実施します。

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない				
	授業を通して修得でき	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
辺田的社会の知よ	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management		
能由、主白性の知ら	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

経営情報学の汎用的技能や知識・理解についての基礎を習得するために、この科目では経営・会計・情報を中心とする経営情報分野全般を横断的に学習し、国家資格情報技術者試験ITパスポートの取得を目指します。ITパスポートは通過点と捉え、次なる目標「基本情報技術」のための、基礎知識の定着が最低目標となります。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- •Checkテストは、授業でInputした内容を、Outputする機会であり、復習と理解度確認のために実施します。
- ・配付したプリントは、必ずファイリングして管理してください。
- ・配付するプリントにはメモ欄を用意しているので、たくさん書込みを行って独自の資料を作り上げてください。※授業終了時にプリントを確認します。
- ・間違えノートは、用語辞書としての役割を果たすので、記録を怠らないようにしてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験: ITパスポート試験

試 験 日:随時試験(受験会場に確認)

受 験 料: 7.500円(税込)

試験会場: 天神、博多、久留米、北九州会場 受験には、事前に受験者IDの登録が必要です。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 令和06年 ITパスポート合格教本 岡嶋 裕史 技術評論社 978-4297138530 参考文献 Reference Books ISBN⊐-F ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher かんたん合格 ITパスポート過去問題集 インプレス 間久保 恭子 978-4295018209 令和6年度 秋期

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- ·成績評価方法:平常点 20%、課題 20%、定期試験 60%
 - ※平常点は、学習意欲、受講マナー等を見て総合的に評価します。
 - 注)受講ルールを守れない人は、「減点」、「欠席」、「受講停止」にする場合があります。
 - ※学内で実施される『iパス・簿記コンテスト』参加者は、平常点を加算します。
 - ※定期試験をITパスポート受験(外部試験)に代えることを認めます。(事前に申し出ること)
 - ※定期試験前にITパスポート試験を受験した人は、定期試験を免除します。(最低得点ライン有り)
 - 合否に関係なく、試験得点を評価上、考慮します。(試験結果の提出義務有り)
- ・成績評価の基準:第1回授業で把握した苦手分野についての理解度が向上しているか。 ITパスポート試験の過去問題において各分野での正答率が60%以上の実力を要しているか。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	オリエンテーション:授業概要とITパスポート試験の内容を確認。過去問題にチャレンジ。				
第1回	事前学習 (内容・時間) ITパスポート試験について調べ、内容と出題範囲をノートにまとめておくこと。(2.0h)				
	事後学習 Tパスポートを取得するメリットとデメリットについて、500字程度にまとめておくこと。(2.0h)				
	ストラテジ系: 1. 経営・組織 (テキスト P.36~53)、2. 業務分析・データ利活用 (テキスト P.54~66)				
第3回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)				
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)				
	ストラテジ系: 3. 会計・財務 (テキスト P.19~34)				
第4回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)				
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)				
	ストラテジ系:4. 知的財産権~8. 標準化関連 (テキスト P.67~83)				
第5回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)				
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)				
	ストラテジ系:9. 経営戦略手法~10. マーケティング (テキスト P.87~118)				
第6回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)				
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)				
	ストラテジ系: 11. ビジネス戦略と目標・評価~17. IoT システム・組込みシステム (テキスト P.119~163)				
第7回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)				
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)				
	ストラテジ系: 18. 情報システム戦略~21. システム活用促進・評価 (テキスト P.131~136)				
第8回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)				
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)				

	ストラテジ系:22. システム化計画~24. 調達計画・実施 (テキスト P.140~146)
第9回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	マネジメント系:25. システム開発技術~26. 開発プロセス・手法 (テキスト P.167~184)
第10回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	マネジメント系:27. プロジェクトマネジメント~32. 内部統制 (テキスト P.185~209)
第11回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	テクノロジ系: 33. 離散数学~39. その他の言語 (テキスト P.213~254)
第12回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	テクノロジ系: 40. プロセッサ~53. マルチメディア応用 (テキスト P.227~293)
第13回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	テクノロジ系:54. データベース方式~57. トランザクション処理 (テキスト P.399~410)
第14回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	テクノロジ系 : 58. ネットワーク方式~63. 情報セキュリティ対策・実装技術 (テキスト P.299~379)
第15回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
第16回 (定期試験)	定期試験 ※情報技術者試験 ITパスポート試験に準じた内容で実施します。

ナンバリング(Numl	pering)						
1AIN-5760-24	E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
情報テクノロジー演習 II (ITパスポート対策)		220~222	2年生•後期		4単位 選択 平川 淳-		平川 淳一
		219 情報ネットワーク学科			4早江	迭扒	十川 孝一
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条 Course Prerequi		・国家資格「情報技術者試験ITパスポ・2時限続けて受講できる人。 ・受講マナーを守れる人			ート」の取得る	を目標に	こしている人。

企業活動や情報技術に関する基本的な知識について、広く問われるのが情報技術者試験「ITパスポート」、通称「iパス」と呼ばれる国家資格です。ビジネスパーソンにとって共通して備えておくべき知識を網羅しているため、IT業界のみならず、多くの社会人が受験している注目の資格です。

授業ではiパスの出題範囲、ストラテジ系、マネジメント系、テクノロジ系の過去問題を通して分野別の知識をインプットし、チェックテストによって、アウトプットすることで、知識の定着を図ります。

この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅱ経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能や知識・理解を修得させること。」に基づいて、ITパスポート試験の対策科目として学んでいきます。

実務経験をいかした教育内容

確認テストは、Googleクラスルーム内で毎回実施します。

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
77 田44+44-64-14	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
donorio oniiio	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving C		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management		
华克 士力州 《 罗上	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 ordonal Qualities	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

経営情報学の汎用的技能や知識・理解についての基礎を習得するために、この科目では経営・会計・情報を中心とする経営情報分野全般を横断的に学習し、国家資格情報技術者試験ITパスポートの取得を目指します。ITパスポートは通過点と捉え、次なる目標「基本情報技術」のための、基礎知識の定着が最低目標となります。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- •Checkテストは、授業でInputした内容を、Outputする機会であり、復習と理解度確認のために実施します。
- ・配付したプリントは、必ずファイリングして管理してください。
- ・配付するプリントにはメモ欄を用意しているので、たくさん書込みを行って独自の資料を作り上げてください。 ※授業終了時にプリントを確認します。
- ・間違えノートは、用語辞書としての役割を果たすので、記録を怠らないようにしてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験: ITパスポート試験

試 験 日:随時試験(受験会場に確認)

受 験 料: 7,500円(税込)

試験会場: 天神、博多、久留米、北九州会場 受験には、事前に受験者IDの登録が必要です。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code				
令和06年 ITパスポート合格教本	岡嶋 裕史 技術評論社		978-4297138530				
	参考文献 Referen	ce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code				
かんたん合格 ITパスポート過去問題集 令和6年度 秋期	間久保 恭子	インプレス	978-4295018209				

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- •成績評価方法:平常点 20%、課題 20%、定期試験 60%
 - ※平常点は、学習意欲、受講マナー等を見て総合的に評価します。
 - 注)受講ルールを守れない人は、「減点」、「欠席」、「受講停止」にする場合があります。
 - ※学内で実施される『iパス・簿記コンテスト』参加者は、平常点が加算します。
 - ※定期試験をITパスポート受験(外部試験)に代えることを認めます。(事前に申し出ること)
 - ※定期試験前にITパスポート試験を受験した人は、定期試験を免除します。(最低得点ライン有り)
 - 合否に関係なく、試験得点を評価上、考慮します。(試験結果の提出義務有り)
- ・成績評価の基準:第1回授業で把握した苦手分野についての理解度が向上しているか。 ITパスポート試験の過去問題において各分野での正答率が60%以上の実力を要しているか。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
第1回	オリエンテーション:授業概要とITパスポート試験の内容を確認。過去問題にチャレンジ。
	事前学習 ITパスポート試験について調べ、内容と出題範囲をノートにまとめておくこと。(2.0h)
	事後学習 Tパスポートを取得するメリットとデメリットについて、500字程度にまとめておくこと。(2.0h)
	オリエンテーション問題 解答解説:理解度の確認と自己点検
第2回	事前学習 ITパスポート試験の過去問題を各自で選択して、最低50問解答しておくこと。(2.0h)
	事後学習 オリエンテーション問題で間違えた内容について、調べてノートにまとめておくこと。(2.0h)
	ストラテジ系 : 1. 経営・組織 (テキスト P.36~53)
第3回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	ストラテジ系: 2. 業務分析・データ利活用 (テキスト P.54~66)
第4回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	ストラテジ系: 3. 会計・財務 (テキスト P.19~34)
第5回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	ストラテジ系: 4. 知的財産権~5. セキュリティ関連法規 (テキスト P.67~74)
第6回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	ストラテジ系: 6.労働関連・取引関連法~8. 標準化関連 (テキスト P.78~83)
第7回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	ストラテジ系: 9. 経営戦略手法~10. マーケティング (テキスト P.87~118)
第8回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)

	ストラテジ系: 11. ビジネス戦略と目標・評価~13. 技術開発戦略の立案・計画 (テキスト P.119~130)
第9回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	ストラテジ系 : 14. ビジネスシステム~17. IoT システム・組込みシステム (テキスト P.147~163)
第10回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	ストラテジ系: 18. 情報システム戦略~21. システム活用促進・評価 (テキスト P.131~136)
第11回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	ストラテジ系: 22. システム化計画~24. 調達計画・実施 (テキスト P.140~146)
第12回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	【Checkテスト】 ストラテジ系 (66問)
第13回	Checkテスト
第13回	事前学習 ストラテジ系のすべての配布資料を確認しておくこと (2.0h)
第13回	事前学習 (内容・時間) ストラテジ系のすべての配布資料を確認しておくこと。(2.0h) 事後学習 ストラテジ系の過去問題50問を解いて 採点結果まで記録しておくこと。(2.0h)
第13回	事前学習 (内容・時間) ストラテジ系のすべての配布資料を確認しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) ストラテジ系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。(2.0h)
	事前学習 (内容・時間) (内容・時間) ストラテジ系のすべての配布資料を確認しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) ストラテジ系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。(2.0h) 【総括】 ストラテジ系 Checkテストの解答解説:理解度の確認と自己点検 事前学習 Checkテストの解答上に生じた疑問点を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事前学習 (内容・時間) ストラテジ系のすべての配布資料を確認しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) ストラテジ系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。(2.0h) 【総括】 ストラテジ系 Checkテストの解答解説:理解度の確認と自己点検 事前学習 (内容・時間) Checkテストの解答上に生じた疑問点を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 Checkテストの結果を終まるて、学習方法の再構築室をノートにまとめておくこと。(2.0h)
	事前学習 (内容・時間) ストラテジ系のすべての配布資料を確認しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) ストラテジ系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。(2.0h) 【総括】 ストラテジ系 Checkテストの解答解説:理解度の確認と自己点検 事前学習 (内容・時間) Checkテストの解答上に生じた疑問点を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) Checkテストの結果を踏まえて、学習方法の再構築案をノートにまとめておくこと。(2.0h)
第14回	事前学習 (内容・時間) ストラテジ系のすべての配布資料を確認しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) ストラテジ系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。(2.0h) 【総括】 ストラテジ系 Checkテストの解答解説:理解度の確認と自己点検 事前学習 (内容・時間) Checkテストの解答上に生じた疑問点を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) Checkテストの結果を踏まえて、学習方法の再構築案をノートにまとめておくこと。(2.0h) マネジメント系: 25. システム開発技術~26. 開発プロセス・手法 (テキスト P.167~184) 事前学習 テキストを特請して、わからない 用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
第14回	事前学習 (内容・時間) ストラテジ系のすべての配布資料を確認しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) ストラテジ系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。(2.0h) 【総括】 ストラテジ系 Checkテストの解答解説:理解度の確認と自己点検 事前学習 (内容・時間) Checkテストの解答上に生じた疑問点を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) Checkテストの結果を踏まえて、学習方法の再構築案をノートにまとめておくこと。(2.0h) マネジメント系: 25.システム開発技術~26. 開発プロセス・手法 (テキスト P.167~184) 事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 テースと対応するテキスト「試験問題を解してみよう」を解しておくこと。(2.0h)
第14回	事前学習 (内容・時間) ストラテジ系のすべての配布資料を確認しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) ストラテジ系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。(2.0h) 【総括】 ストラテジ系 Checkテストの解答解説:理解度の確認と自己点検 事前学習 (内容・時間) Checkテストの解答上に生じた疑問点を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) Checkテストの結果を踏まえて、学習方法の再構築案をノートにまとめておくこと。(2.0h) マネジメント系: 25.システム開発技術~26. 開発プロセス・手法 (テキスト P.167~184) 事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
第14回	事前学習 (内容・時間) ストラテジ系のすべての配布資料を確認しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) ストラテジ系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。(2.0h) 【総括】 ストラテジ系 Checkテストの解答解説:理解度の確認と自己点検 事前学習 (内容・時間) Checkテストの解答上に生じた疑問点を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) Checkテストの結果を踏まえて、学習方法の再構築案をノートにまとめておくこと。(2.0h) マネジメント系: 25. システム開発技術~26. 開発プロセス・手法 (テキスト P.167~184) 事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h) マネジメント系: 27. プロジェクトマネジメント (テキスト P.185~195) 事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)

	マネジメント系 : 28. サービスマネジメント~30. ファシリティマネジメント (テキスト P.197~201)
第17回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	マネジメント系: 31. システム監査~32. 内部統制 (テキスト P.202~209)
第18回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	【Checkテスト】 マネジメント系
第19回	事前学習 マネジメント系のすべての配布資料を確認しておくこと。(2.0h)
	事後学習 マネジメント系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。(2.0h)
	【総括】マネジメント系 Checkテストの解答解説:理解度の確認と自己点検
第20回	事前学習 Checkテストの解答上に生じた疑問点を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 Checkテストの結果を踏まえて、学習方法の再構築案をノートにまとめておくこと。(2.0h)
	テクノロジ系: 33. 離散数学~35. 情報に関する理論 (テキスト P.213~226)
第21回	テクノロジ系: 33. 離散数学~35. 情報に関する理論 (テキスト P.213~226) 事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
第21回	事前学習 テセストを特許して、わからない田語を調べてノートに記録してなどこと(2.0k)
第21回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解してみよう」を解して記録しておくこと (2.0h)
第21回	事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h) テクノロジ系: 36. データ構造~39. その他の言語 (テキスト P.241~254) 事前学習 テキストを特読して、わからない思語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h) テクノロジ系: 36. データ構造 ~ 39. その他の言語 (テキスト P.241 ~ 254) 事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解してみよう」を解して記録しておくこと。(2.0h)
	事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h) テクノロジ系: 36. データ構造~39. その他の言語 (テキスト P.241~254) 事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
第22回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h) アクノロジ系: 36. データ構造~39. その他の言語 (テキスト P.241~254) 事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h) テクノロジ系: 40. プロセッサ~44. システムの評価指標 (テキスト P.277~293) 事前学習 テキストを特誌して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
第22回	事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h) テクノロジ系: 36. データ構造~39. その他の言語 (テキスト P.241~254) 事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h) テクノロジ系: 40. プロセッサ~44. システムの評価指標 (テキスト P.277~293) 事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
第22回	事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h) テクノロジ系: 36. データ構造~39. その他の言語 (テキスト P.241~254) 事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h) テクノロジ系: 40. プロセッサ~44. システムの評価指標 (テキスト P.277~293) 事前学習 (内容・時間) テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h) 事後学習 (内容・時間) テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)

	テクノロジ系 : 50. ヒューマンインタフェース技術~53. マルチメディア応用 (テキスト P.227~240)
第25回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	テクノロジ系:54. データベース方式~57. トランザクション処理 (テキスト P.399~410)
第26回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	テクノロジ系:58. ネットワーク方式~60. ネットワーク応用 (テキスト P.299~325)
第27回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	テクノロジ系:61. 情報セキュリティ~63. 情報セキュリティ対策・実装技術 (テキスト P.344~379)
第28回	事前学習 テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。(2.0h)
	【Checkテスト】 テクノロジ系
第29回	事前学習 (内容・時間) テクノロジ系のすべての配布資料を確認しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テクノロジ系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。(2.0h)
	【総括】 テクノロジ系 Checkテストの解答解説:理解度の確認と自己点検
第30回	事前学習 Checkテストの解答上に生じた疑問点を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) Checkテストの結果を踏まえて、学習方法の再構築案をノートにまとめておくこと。(2.0h)
	定期試験 ※情報技術者試験 ITパスポート試験に準じた内容で実施します。

ナンバリング (Numbering)						
1AIN-5440-Z2ET						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semes	ter	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
計測•制御論 (教職関連科目必高等学校情報)	219~	3・4年生・後期		2単位	選択	麻生 隆史
オンライン授業 Online Class なし	_	ラスルームの利用 pogle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	コンピュータ	システムの基礎知識を	を理角	昇しておくこと		

現在、私たちの周辺には、産業用・民製用を問わず、エレクトロニクス機器があふれています。そして、それらの内部にはマイコンと呼ばれる超小型のコンピュータが組み込まれ、高性能・高機能な制御システムを構成しています。特に様々な機器がコンピュータを介してどのようなシステムで構築されコントロールされているのかを知ることが重要です。

本科目では、建学の精神に基づき、高度情報化社会の要請をふまえ、身の回りのエレクトロニクス機器の内部構成を理解する上で、共通して必要となる計測及び制御システムに関する知識を学びます。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understandir	g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
辺田的社会の知よ	数量的スキル	Mathematics	0		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
GONONO CHING	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy	0		
	自己管理力	Self-management			
能由 士白州の知上	チームワーク	Teamwork	0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
, or corrain a damento	倫理観	Ethical Sense	0		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0		
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and		Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

情報学分野のひとつのシステムである計測・制御について深く理解し、パソコンやネットワークを用いてシステム設計が行えるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

│ 毎講義時間内に計測・制御に関するテーマを提示し、受講者全員でディスカッションを行います。各自の積極的 │な発言を望みます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡はメールにて行います。又、オフィスアワーは、研究室にて行います。自由に来室願います。調整が必要な場合はすべてグーグルクラスルームを積極的に活用します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎講義終了前に課題を設定しますので、メールにて課題の回答を提出してください。また、ポートフォリオシート 「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code プリント配布 参考文献 Reference Books ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher 計測・制御テクノロジーシリーズ11 高津 春雄 コロナ社 4-339-0336108 プロセス制御 成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

授業に取り組む態度(10%)及び定期試験(80%)及び毎講義に設定した課題の回答メール(10%)により学習成果を総合的に評価します。

	授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme					
	制御システムとコンピュータ(オリエンテーション)					
第1回	事前学習 制御システムとコンピュータについて調べる(2時間)					
	事後学習 制御システムを用いた応用事例を考察する(2時間)					
	センサ					
第2回	事前学習 (内容・時間) センサの種類について調べる(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) センサを用いている機器について実例を考察する(2時間)					
	定位置検知センサ					
第3回	事前学習 (内容・時間) GPSの仕組みを調べる(2時間)					
	事後学習 定位置検知センサが用いられている事例を考察する(2時間)					
	光及び温度検知センサ					
第4回	事前学習 (内容・時間) 光及び温度を検出するシステムを調べる(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 光及び温度検知センサを用いた機器を考察する(2時間)					
	超音波センサ					
第5回	事前学習 超音波センサが用いられている事例を調べる(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 超音波センサを用いている機器を考察する(2時間)					
	アクチュエータの種類					
第6回	事前学習 アクチュエータの概念を調べる(2時間)					
	事後学習 アクチュエータを用いている機器を考察する(2時間)					
	直流モータと交流モータ					
第7回	事前学習 直流と交流の違いを調べる(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 直流モータと交流モータの機器への応用を考察する(2時間)					
	ステッピングモータ及びサーボモータ					
第8回	事前学習 ステッピングモータ及びサーボモータの違いを調べる(2時間)					
	事後学習 ステッピングモータ及びサーボモータの実用例を考察する(2時間)					

—	
	圧電素子
第9回	事前学習 身近に利用されている圧電素子を調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間) (内容・時間)
	アナログ制御とデジタル制御
第10回	事前学習 アナログとデジタルの違いについて調べる(2時間)
	事後学習 アナログ制御とデジタル制御の得意不得意分野を考察する(2時間)
	フィードバック制御
第11回	事前学習 なぜフィードバックが必要なのか調べる(2時間)
	事後学習 フィードバック制御により得られる実例を考察する(2時間)
	制御システムのステップ応答
第12回	事前学習 (内容・時間) ステップ応答がなぜ必要なのか調べる(2時間)
	事後学習 制御システムにおけるステップ応答の役割を考察する(2時間)
	制御アルゴリズム
第13回	事前学習 アルゴリズムとは何かを調べる(2時間)
	事後学習 制御アルゴリズムの高速化手法を考察する(2時間)
	現代制御理論
第14回	事前学習 システム制御の歴史を調べる(2時間)
	事後学習 未来における制御システムを考察する(2時間)
	制御システムと通信システム
第15回	事前学習 身近な通信システムを調べる(2時間)
	事後学習 通信システムにおける制御の実例を考察する(2時間)
第16回 (定期試験)	定期試験等

ナンバリング(Numb	pering)						
1EMN-5670-12E		1EDN-5	670-12E				
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Se		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
消費者行動論		共通	共通 1年生・後期		2単位	選択	秋吉 浩志
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
		ケティング、消費者 経営に関する1分				らつ学生は積極的に履修 ぎある。	

本学の建学の精神を基盤としたカリキュラムポリシーに基づき、消費者行動の基礎理論を包括的に講義する。毎回講義ではパワーポイントを使用し、プレゼンテーション方式で授業を行う。また、講義ではオリジナルプリントを使用するが、プリントの内容について授業中質問をするので、質問に答えられるよう集中しておくこと。この科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)選択科目である。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0	
77 田村井外の知 上	数量的スキル	Mathematics	0	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
GOTTOTTO STATE	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0	
	問題解決力	Problem Solving	0	
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management	0	
*** + + 4 4 6 79 1	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0	
i croonal Qualities	倫理観	Ethical Sense	0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning	0	
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	0	
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	0	

到達目標 Objectives

景気の動向、経済政策、企業経営、文化・ライフスタイル、ファッション、さらには国際化&グローバル化にいたるまでさまざまな動向を探り、世の中の消費者行動を分析する力を養う。小売店のバイヤー、Webビジネス関係企業、マーケティング関係の企業、マスコミ関係の就職等を望んでいる学生は履修を勧める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
- ②動画、プリント以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
- ③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
- ④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に研究室にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。 研究室訪問の際、メール;akiyoshi@g.kiis.ac.jpにメール連絡をしておくことを薦める。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|この科目は経営学検定試験の初級「マーケティング」部分の基礎内容にもふれている。また販売士(リテールマー |ケティング)受験希望者は、必ず履修することを薦める。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定した期日までに秋吉までメール(akiyoshi@g.kiis.ac.jp))で提出してください。

書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code テキストは使用せず、毎回教員が 作成した資料を事前にclassroom にて配布する また、マーケティング論で使用した テキストの用意も薦める。 参考文献 Reference Books

教科書 Textbooks

多名文献 Reterence Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
消費者行動論 消費者・コミュニケーション戦略	青木幸弘他 田中洋他	有斐閣アルマ 有斐閣アルマ	978-4641124639 978-4641122741		

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験もしくは期末レポート(60%)、出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。(30%)、授業態度、ミニテストなど(10%)を基準とする。

パソコン(タブレット型も含む)、携帯(スマートフォン)その他電子機器の使用は出席登録以外では一切禁止し、 使用した場合によっては科目受講失格(0点)にする。基本的に座席指定を行う。

授業計画 Course Schedule					
テーマ Theme					
第1回	消費者行動論とはなにか&ガイダンス				
	事前学習 classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)				
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)				
	消費者行動とマーケティング: 身近な個人個人の行動を考えよう				
第2回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)				
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)				
	消費社会とはなにか①:消費社会の誕生と発展ついて考えよう				
第3回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)				
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)				
	消費社会とはなにか②:日本での消費社会の発展を歴史を追って考えよう				
第4回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)				
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)				
	消費者行動論の基礎理論①:消費者行動を把握するための4つの理論について考えよう				
第5回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)				
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)				
	消費者行動論の基礎理論②BMEモデル、刺激反応モデル、S-O-R理論について考えよう				
第6回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)				
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)				
	消費者行動論の基礎理論③脳科学的分析方法など最新の消費者行動理論を考える				
第7回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)				
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)				
	ライフコース、ライフスタイル、ライフサイクルの3類型について考える				
第8回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)				
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)				

	国際的消費者行動論①「国際的消費者行動と文化について」							
第9回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
	国際的消費者行動論②「現地適応化か、国際標準化か」							
第10回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
	東アジアの文化と消費者行動論①「日本・韓国・中国の基礎文化比較と消費者行動」							
第11回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
	消費者行動とブランド形成について①「ブランドとはなにか」							
第12回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
	消費者行動とブランド形成について②「ブランド形成に必要なものはなにか」							
第13回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
	消費者行動とインターネットにおける相互性について「ネット上の消費者行動」							
第14回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
_	消費者行動とライフ設計、そして「これからの消費者行動分析について」							
第15回	事前学習 classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと(2h)							
	事後学習 classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)							
第16回	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。 その進捗状況も試験の一部とみなす。							

ナンバリング (Number	ring)							
1EMN-5070-22E		1ENN-5	IN-5070-22E					
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester			単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
デジタルビジネス論		223~	2年生・後期			2単位	選択	秋吉 浩志
Webサービス論		219~222	2年生	・後期		2年位	迭扒	
オンライン授業 Online Class	なし		スルームの利ogle Classroo		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisite	①マーケティング論・消費者行動論、経営戦略論、経営情報論 I・II を履修している学生に 薦める。 ②デジタル社会における総合的なネットビジネスを通じた問題点を探るため、ネットビジネス に興味のある学生を求めます。							

本学の建学の精神を基盤としたカリキュラムポリシーに基づいた授業を展開する。前半はデジタル社会におけるWebサービス・広告&マーケティングの基礎を展開し、中盤は広告計画、実践、後半はWebサービスの変化をより具体的に説明を行う。さらにはWebサービスを通じた社会的な問題もとりあげる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	一 			実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience			
デジタルビジネスに関わっている、例 企画、イベント業務、法律、教育分野 岐にわたる実務経験を中心に講師が を行う。			など多	g 外部語即のとさは、ナイベート、クルーフソーク、クル・ ター・プ発主 個 ※主発主などた由心に進行していく			
授業を通して修得できる力 Competency Goals							
知識・理解の観			多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Differe			0	
Knowledge and Understanding		人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Na			Human Culture / Society / Nature	0	
		コミュニケーション・スキル	Readin	g / Writing /	Speaking / Listening	0	
の田的世紀の舞	∃ 占	数量的スキル	Mathematics			0	
汎用的技能の観点 Generic Skills		情報リテラシー	Information Literacy			0	
		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			0	
		問題解決力	Problem Solving			0	
		建学の精神	Univer	sity Founding	; Philosophy	0	
		自己管理力	Self-management			0	
 態度・志向性の観	31 占	チームワーク	Teamwork			0	
一窓及・心門注の領 Personal Qualiti		リーダーシップ	Leadership		0		
	備	倫理観	Ethical Sense			0	
		市民としての社会的責任	Social Responsibility		У	0	
		生涯学習力	Lifelong Learning			0	
統合的な学習経験と創造的 Integrated Learning Experio		統合的な学習経験	Integra	ated Learning Experience			
Creative Thinking Sk		創造的思考力	Creativ	e Thinking S	kills	0	

到達目標 Objectives

現代のあらゆるデジタルビジネス(Webサービス)の基礎を展開してゆく。よって、広告、放送関係業界、通販業界、企業の企画、マーケティング担当者を目指す学生に対して、知識・教養・実践力・想像力などを身につけることを目標としている。デジタルビジネスは原題のあらゆるデジタルビジネスに関する基礎理論を外部講師の講義を中心に紹介していく。経営情報について、また、デジタルビジネス関連に興味のあるものは、選択をすすめる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
- ②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
- ③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
- ④グループワークなども実践し、考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。 など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に研究室にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。 研究室訪問の際、メール:akiyoshi@g.kiis.ac.jp.にメール連絡をしておくことを薦める。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日までに設定したクロスルームの課題欄に提出してください。

また、遠隔授業の際は主にZoomと動画にて、授業を行い、課題等はGoogleクラスルームを活用する。 資料に関してはGoogleクラスルームを活用して配布する場合もあるので教員の案内に注意を払うこと。 2021以前の学生でWebサービス論の単位を取っている学生は履修できない。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
テキストは使用せず、毎回教員が 作成した資料を事前にclassroom にて配布する						
	参考文献 Reference Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
はじめてでもよくわかる! デジタルマーケティング集中講義 わかりやすい広告論 これからの広告の教科書	カティサーク 押切 孝雄 石崎徹 佐藤達郎	マイナビ出版 八千代出版 かんき出版	978-4839961619 978-4842915647 978-4761270957			
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation						

双續評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験もしくは期末レポート(30%)、講義内での課題や発表・発言・議論、グループワーク。(約40%)出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。(20%)、授業態度、ミニテストなど(10%)を基準とする。またポートフォリオの内容作成を毎時間行ってもらう。

|資料に関してはGoogleクラスルームを活用して配布する。教員の案内に注意を払うこと。

また、ゲスト講師の回に理由があって休んだ学生には、その授業の録画動画を見てもらい、欠席者向け課題とレポートを提出していただく。また、指示がない限り、スマートフォン、パソコンの使用を禁止する。

※この科目はアクティブラーニングを積極的に行うため、履修人数を30人までを上限とする。学内掲示板などに予約のためのGoogle form QRコードを掲示するので、それに従って予約をするように。30人を超えた場合はキャンセル順に履修できる連絡をするのでメールをなどを見逃がさないようにすること。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	ガイダンスおよびデジタルビジネス社会における「Webサービス」について
第1回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。課題もある場合がある。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	デジタルビジネスとは①そもそもデジタルビジネスとは何か
第2回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	デジタルビジネスとは②広告としてのWebのありかた
第3回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	メディアを考える①四大メディアからデジタル化が進むWeb関連のメディアへ
第4回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	メディアを考える②新たなメディアの台頭について(ゲスト講師の予定)
第5回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	SNSの普及とデジタルメディア(ゲスト講師の予定)
第6回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	デジタルビジネスとデジタル音楽と映像について(ゲスト講師の予定)
第7回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	映像や音声のデジタル化とAI生成について(ゲスト講師の予定)
第8回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)

	デジタルビジネスと体験接点型メディア
第9回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
第10回	企業組織やキャリア教育におけるデジタル化の進展について(ゲスト講師)
	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	グローバル化するデジタルビジネス(Webサービス)とメディア
第11回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	デジタルマーケティングの世界:デジタルマーケティングの範囲について
第12回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	ゲーム業界の世界(デジタル化の進展によるゲームの変化)について(外部講師の予定)
第13回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	AR(拡張現実)、VR(仮想現実)、MR(複合現実)について(ゲスト講師の予定)
第14回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
第15回	デジタル社会におけるビジネス展開上の消費者参加&発信型メディアの台頭とまとめ
	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 (内容・時間) 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
第16回	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。 その進捗状況も試験の一部とみなす。

ナンバリング (Numbering)								
1EMN-5010-22E		1ENN-5	010-22E					
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年 School Year,			単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
SNS活用と問題解決		219~	2年生・	前期		2単位	選択	秋吉 浩志
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom						
太宰府地区ならびにその周辺地区の方々と積極的に交流するので、書く(メモをある)、聴く、話す、考える力を要求する。また、基本的なSNSを利用していることが、件である。また、マーケティング、消費者行動の基礎知識が必要になるため、この科目をするに履修している学生にすすめる。				を利用していることが条				

SNSと問題解決(コミュニケーションデザイン)は主にSNSなどを利用した人間の生活・活動に密着した科目であり、生活と不即不離の関係にある。今日の情報化社会において、地域の問題解決を生産される製品や地域の情報を発信、ブランド化に繋げるなど、地域や消費者に好ましい印象を持たせるための問題解決をさぐる。よって講義とにフィールドワークによって生活者・社会人として必要なコミュニケーション能力を高める。

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験のある教員による科目

該当しない						
	授業を通して修得で	きる力 Competend	y Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Understanding	g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0		
7 8 4 4 4 5 4 5	数量的スキル	Mathematics		0		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
derione simile	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding	g Philosophy	0		
	自己管理力 Self-management					
北庄 十九世の知上	チームワーク	Teamwork		0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
1 or oonar adams	倫理観	Ethical Sense		0		
	市民としての社会的責任	Social Responsibilit	у	0		
	生涯学習力	Lifelong Learning		0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience	0		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	Skills	0		

到達目標 Objectives

本学のアドミッションポリシーやカリキュラムポリシーにもある高度な情報に関する知識と経営の知識を融合を目指した科目のひとつである。さらに講義とフィールドワークなどを通して、社会と密接に関りながら、発想力を強化し、企画・立案等のコンセプトワークの作成やプレゼンテーション能力の向上ならびに個人個人の社会人としてのコミュニケーション能力(デザインとスキル)習得することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ①講義内では毎回ディスカッション(討論)を行なってもらう
- ②個人またはチームごとにプレゼンテーションを行う(3回開催予定)
- ③地域のフィールドワークに参加し、コミュニケーションを行い、問題解決の策定を行う(1回開催予定)
- ④講義は学生同士の討論とディベートを中心とするため、教員はテーマの提供とアドバイスしか行わない
- ⑤学外の住民との協議の様子は録画するため、この回を欠席した学生は動画を見てもらい課題にも取り組むこと

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

この科目は少人数でしか運営できない科目のため、予約限定先着20名履修可能とする。(1回目の講義で履修をやめた人数分繰りあげで受講可能:最大人数を20名とする)

予約日を掲示板等で発表するので、掲示板を注意深く見ておくこと。

予約はGoogle Formにて行う(先着順)ので、履修Web登録ができたとしても、それは無効とする。

事前に内容について聴きたい学生は、予約して研究室に来ること。

質問メールアドレス(共有):akiyoshi@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations.

ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。 過去旧カリキュラム「SNS応用演習」の科目を履修し、単位を取れた学生はこの科目は履修できない。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code テキストは使用せず、毎回教員が 作成した資料を事前にclassroom にて配布する。 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 問題解決の進め方〔新訂〕 秋光 淳牛他 放送大学教育振興会 978-4595319556

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

プレゼンテーション・フィールドワークの内容、課題レポート・課題作品等(40%)

評価の観点:出席、発表、提出物の内容、創意工夫の成果、自宅学習の程度等。(40%)

期末試験(20%)

チームによる3回のフィールドワーク参加とプレゼンテーションの発表に参加できない学生は評価の対象外となるので、同じチームの成員に迷惑をかけないように臨んでもらいたい。(無断欠席、遅刻はいかなる理由があろうとも一切認めない)。指示があるとき以外はスマートフォンなどの電子機器などの使用を禁止する。守れない場合は失格処分とする。あた、フィールドワークを行うが、基本的に土日を活用する(2回程度)

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	準備学習 オリエンテーション(履修の前提条件)自己紹介&ワークチーム決定
第1回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。課題もある場合がある(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと(2h)
	大宰府市個人商店や住民(内山地区)、観光インフルエンサーと地域の問題点についての協議
第2回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	太宰府のコンテンツ、問題点の発見と問題解決方法のチーム発表(パワーポイント)1回目
第3回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	太宰府のコンテンツ、問題点の発見と問題解決方法のチーム発表(パワーポイント)2回目
第4回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	情報発信のありかたと情報発信におけるSNSの利用による問題解決討論
第5回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	SNS使用で魅力あるコンテンツとWeb文章とはなにか
第6回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	太宰府情報発信サイトを利用した実践的な情報発信を考える(内山地区からの問題発見)
第7回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	太宰府情報発信サイトを利用した実践的な情報発信を考える(内山地区の魅力発信)
第8回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)

	情報とコミュニケーションデザインの役割について
第9回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	言語、視覚によるコミュニケーション法、色彩の特質と効果およびサインとシンボルについて
第10回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	内山地区ならびにコンサルタントを含めたプレゼンテーション発表
第11回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	図と言語、また写真や動画を使ったコンテンツ企画&作成計画について
第12回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	多面的なコミュニケーションによる地域の問題発見と問題解決
第13回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	地域問題において発見した問題をどのように解決するか、問題解決に向けての企画立案と提案
第14回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
	地域創造と地域発展の課題と問題点(まとめ)
第15回	事前学習 テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。(2h)
	事後学習 提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。(2h)
第16回	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。 その進捗状況も試験の一部とみなす。

ナンバリング (Numbering)							
1EGN-5030-22ES							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学斯 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.I	授業担当者 Instructor
英検上級 I·TOEIC応用 I		224~					
(教職関連科目 選 高等学校 情報)		221~223 経営情報学科	2年生·前期		2単位	選択	クリス フリン
TOEIC I (教職関連科目 選 高等学	TOEIC I (教職関連科目 選 高等学校 情報)						
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
腹修の削提条件 Course Prorequisites ②資格		②資格試験	声を出して授業に参 を積極的に受験する 程度の英語能力は基	3 <i>-</i> 2	らこと		

テキストに沿って海外旅行で使うTOEIC問題を学びながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ばせる。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫したい。定期的にトピックについて賛成反対の主張を述べさせる。TOEICの学習としてテキストを宿題とし、講義で復習。英検の問題も入れて学習する。建学の精神、3つのポリシー(CP. DP)、学習目標(学則1, 3条)に基づいています。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

該当しない 授業を通して修得できる力 Competency Goals 知識・理解の観点 多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Cu	
知識・理解の観占 多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Cu	
	ture O
Knowledge and Understanding 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Na	ure O
コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening	0
数量的スキル Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills Information Literacy	0
論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking	0
問題解決力 Problem Solving	
建学の精神 University Founding Philosophy	0
自己管理力 Self-management	
チームワーク Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities Leadership	
倫理観 Ethical Sense	
市民としての社会的責任 Social Responsibility	
生涯学習力 Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills 創造的思考力 Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

21世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして英語を習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。そしてそのスキルを生かして、自分の意見や主張を議論(DEBATE)できるようになることとTOEIC 800, 英検の2・準1級の2次試験を合格できるレベルを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。 ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。 |クラスの前に立って声を出して発言をします。 |Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(362)にて随時受け付けます。 オフィスアワー: 火曜日2時限目と5時限目

flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

外部試験:英検検定試2~3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。試験日 1月、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。 TOEICは学外で受験。 学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに フリン までメールで提出してください。

教科書 Textbooks ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher SUCCESSFUL KEYS TO Atsushi Mizumoto 桐原書店 978-4-34255263-2 THE TOEIC TEST 2 Mark D. Stafford (4th Edition) 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法:定期試験30%、外部試験10%、平常点(レポート・提出物など)60% ・成績評価の基準:①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験はTOEICの模擬試験となる

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	Daily Life 品詞の違い、広告を読む
第1回	事前学習 教科書を事前に読んで、TOEICについてネットで調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Places カード、通知を読む
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 「内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	People 代名詞、図表とメモを読む
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Travel 資料と手紙を読む
第4回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Business 動詞の形、通知・メモを読む
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Office 手紙を読む
第6回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Technology 語い関係、メモと概要を読む
第7回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Personnel 記事を読む
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 (内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)

調べる。(2hr)
愚べる。(2hr)
調べる。(2hr)
愚べる。(2hr)
高べる。(2hr)
愚べる。(2hr)
愚べる。(2hr)
Part 2, Part
· 一

ナンバリング (Numbering)							
1EGN-5040-22ES							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
英検上級 II · TOEIC応用 II		224~					
(教職関連科目 選 高等学校 情報)		221~223 経営情報学科	2年生・後期		2単位	選択	クリス フリン
TOEIC II (教職関連科目 選 高等学	TOEIC Ⅱ (教職関連科目 選 高等学校 情報)						
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
腹形の削旋条件 ②資格		②資格試験	声を出して授業に参 を積極的に受験する な程度の英語能力は	ること	らこと		

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

前期に続いて、テキストに沿って海外旅行で使うTOEIC問題を学びながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ばせる。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫したい。定期的にトピックについて賛成反対の主張を述べさせる。TOEICの学習としてテキストを宿題とし、講義で復習。英検の問題も学習する。建学の精神、3つのポリシー(CP, DP)、学習目標(学則1, 3条)に基づいています。

実務経験をいかした教育内容

授業概要 Course Outline

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience				
該当しない						
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0			
刀甲的针织の知上	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	テラシー Information Literacy				
GONONO OKINO	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management				
総由 十九州の知上	チームワーク	Teamwork	0			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
T STOCKER GOVERNORS	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

21世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして英語を習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。そしてそのスキルを生かして、自分の意見や主張を議論(DEBATE)できるようになることとTOEIC 800, 英検の2・準1級の2次試験を合格できるレベルを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。 ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。 |クラスの前に立って声を出して発言をします。 |Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(362)にて随時受け付けます。 オフィスアワー:火曜日2時限目と5時限目

flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:英検検定試2~3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。 試験日 1月、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。 TOEICは学外で受験 学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに フリン までメールで提出してください。

教科書 Textbooks 著者名 Author ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 出版社 Publisher SUCCESSFUL KEYS TO Atsushi Mizumoto 桐原書店 978-4-342-55264-9 THE TOEIC TEST 3 Mark D. Stafford 4th Edition 参考文献 Reference Books ISBNコード ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm 成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法:定期試験30%、外部試験10%、平常点(レポート・提出物など)60% ・成績評価の基準:①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験はTOEICの模擬試験となる

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	Daily Life 品詞の違い、広告を読む
第1回	事前学習 教科書を事前に読んで、TOEICについてネットで調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Places カード、通知を読む
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	People 代名詞、図表とメモを読む
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Travel 資料と手紙を読む
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Business 動詞の形、通知・メモを読む
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Office 手紙を読む
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Technology 語い関係、メモと概要を読む
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Personnel 記事を読む
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _(内容・時間) 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)

	Management 接続詞、通知を読む
第9回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Purchasing レシートを読む
第10回	事前学習 内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Finances 時制、レシピを読む
第11回	事前学習 内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Media 記事を読む
第12回	事前学習 内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Entertainment Eメールを読む
第13回	事前学習 内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	Health FAXを読む
第14回	事前学習 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
	定期試験の準備
第15回	事前学習 内容・時間) 教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 テスト範囲を記録し、学習する。(2hr+)
第16回	定期試験はTOEIC TEST の形式の縮小版です。LISTENING COMPREHENSION (Part 1, Part 2, Part 3) and READING COMPREHENSION Part 4, Part 5, Part 6, Part 7). Test will be 60 Minutes

ナンバリング (Numbering)					
1EGN-6280-Z2E					
科目名 Class	入学年度 開講学年·学期 Admission Year School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネス英語	224~ 3-	4年生•前期			
ビジネス英語 [210-220	·4年生·前期 2年生·前期	2単位	選択	藤内 響子
オンライン授業 Online Class なし	Googleクラスルー. Using Google Cla	1 # 1 1 1			
履修の前提条件 Course Prerequisites 英語の基礎力を持っていること。熱意:			を持って学習 [・]	や発表	に取り組めること。

商品価格や為替相場決定のメカニズムから説き起こして、関税、経済ブロック、対外債務、南北格差問題、さらに は経済成長が地球環境に及ぼす影響まで。身の回りで起こっている様々な経済事象の中から、最も大きな変化 をとげつつあるテーマを題材に選び、今日の世界経済を語るうえで欠かせないテーマを英語で学ぶものである。 なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

宇教経験をいかした教育内突

宇淼怒騇贞灾

実務経験のある教員による科目

夫材在映のの句教員による件日 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	美務詮験内容 Work Experience Content	美務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture 〇
Knowledge and Understar	nding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature 〇
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening
辺田的社会の知ら	数量的スキル	Mathematics
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking
	問題解決力	Problem Solving O
	建学の精神	University Founding Philosophy
	自己管理力	Self-management O
総由・士白州の知ら	チームワーク	Teamwork
態度・志向性の観点 Personal Qualities	111—4 — 1111	Leadership
. or our an analysis	倫理観	Ethical Sense
	市民としての社会的責任	Social Responsibility
	生涯学習力	Lifelong Learning O
統合的な学習経験と創造的思 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills

到達目標 Objectives

基本的な経済事項を英語で理解できる様になること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業の内容を敷衍する形で現実に社会の中で起きている経済事象を確認し、問題点等をまとめて、授業で発表してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

随時研究室(272)にて受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験として英検やTOEICの受験を推奨します。受験者には成績評価時に加点します。 ポートフォリオシートは、Google Classroom を用いてやり取りを行います。必要事項を記入し最終講義時に提出し て下さい。

	教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
毎回プリントを用意して配布します。						
	参考文献 Referen	ce Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
総合英語 Evergreen	墺 タカユキ	いいずな書店	978-4-86460-721-6C7082			
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation						

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	Introduction
第1回	事前学習 (内容・時間) テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
	Multimedia Revolution
第2回	事前学習 テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
	Multimedia Revolution
第3回	事前学習 (内容・時間) テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
	New Information Networks
第4回	事前学習 (内容・時間) テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
	New Information Networks
第5回	事前学習 テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
	The Changing Role of Japanese Trading Companies
第6回	事前学習 テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
	Price Destruction
第7回	事前学習 テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
	Untangling Japan's Distribution System
第8回	事前学習 (内容・時間) テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)

	Credit Card	ds and Smart Cards -A New Era-				
第9回	事前学習 . (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)				
		授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)				
	Credit Card	ds and Smart Cards -A New Era-				
第10回	事前学習 (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)				
		授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)				
	The Import	ance of the Bank of Japan to the Japanese Economy				
第11回	事前学習 . (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)				
	, , , ,	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)				
	How the Foreign Exchange Market Works					
第12回	事前学習 (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)				
		授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)				
	APEC Takes Off					
第13回	事前学習 . (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)				
		授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)				
	The Role o	f the World Trade Organization				
第14回	事前学習 (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)				
		授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)				
	The Role o	f the World Trade Organization				
第15回	事前学習 . (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)				
		授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)				
第16回	 定期試験等					
(定期試験)	- ATHLADY					

ナンバリング(Numl	pering)									
1SIN-6180-YY	Έ									
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l		授業担当者 Instructor		
特別実習•講義(情 医療情報	髯報)	223~	2年上,後期		2単位	選択	丹羽	崇之		和也
特別講義(情報 医療情報	()	~222	- 2年生•後期 		2年位	医扒		中島	直樹	
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり						
履修の前提条 Course Prerequi		日頃から図書	日頃から図書、新聞、雑誌を読み、図		療に関する知	識を吸	火収する	るように	努める	こと。

医事情報とは、医療に関する情報のことである。医療機関においては、患者の氏名、生年月日、住所といった基本的な情報にはじまり、さまざまな診療情報を取り扱っている。電子カルテの導入など、高度に情報化が進む一方で、ランサムウェアによるサイバー攻撃を受け、病院機能が停止する事態も報告されている。本講では、医療制度、病院業務、診療記録、医療情報システムなど、医療情報について学ぶ。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない			
	授業を通して修得で	きるカ Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Natu	e O
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
汎用的技能の観点 Generic Skills	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
Giornalia Griinia	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
総由 古白州の知上	チームワーク	Teamwork	0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
r oreemar quantite	倫理観	Ethical Sense	0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

建学の精神を生かして、医療情報の素養をそなえ、人々の生命・健康を保持し、社会に貢献できる医療情報技師、診療情報管理士、医療経営職等として、医療施設あるいは医療関連業界で求められる素養を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

医療に特有の問題事例を提示し、学生諸君に解決策を考えてもらう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問・意見等、授業中の積極的な発言を歓迎する。また、授業の前後やオフィスアワーの時間も活用してもらいたい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

欠席した場合には、その回の授業内容を学習したレポートを提出してもらう。(提出しない場合は、定期試験の受験を認めない。)

|学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出すること。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code			
医療情報の基礎知識〔改訂第2版〕	日本医療情報学会	南江堂	978-4524249930			
	参考文献 Reference Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
医療情報 医学・医療編〔第7版〕	日本医療情報学会	篠原出版新社	978-4867058138			
医療情報 医療情報システム編〔第7版〕	日本医療情報学会	篠原出版新社	978-4867058152			
医療情報 情報処理技術編〔第7版〕	日本医療情報学会	篠原出版新社	978-4867058145			
成績訓	平価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation				

平常点(ミニテスト、レポート)30%、定期試験70%により総合評価する。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	ガイダンス 社会における医療の役割
第1回	事前学習 医療の役割について考えておく(2時間)
	事後学習 医療の役割について復習する(2時間)
	医療関連法規・保健医療福祉制度
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書第1章第1節・第2節を読み、医療制度について調べておく(2時間)
	事後学習 教科書第1章第1節・第2節を読み返し、医療制度について復習する(2時間)
	保健医療福祉専門職
第3回	事前学習 教科書第1章第3節を読み、医療関連専門職について調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 教科書第1章第3節を読み返し、医療関連専門職について復習する(2時間)
	予防医学、救急医療・災害時医療
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書第1章第4節・第5節を読み、医療行為、医療関係者について考える(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 教科書第1章第4節・第5節を読み返し、医療行為、医療関係者について復習する(2時間)
	病院業務
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2章第1節・第2節を読み、病院業務について調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 教科書第2章第1節・第2節を読み返し、、病院業務について復習する(2時間)
	病院の運営管理
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2章第3節・第4節を読み、病院の運営管理について知る(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 教科書第2章第3節・第4節を読み返し、病院の運営管理について復習する(2時間)
	診療記録、医療情報の特性
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書第3章第1節・第2節を読み、診療記録、医療情報について考える(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 教科書第3章第1節・第2節を読み返し、診療記録、医療情報について復習する(2時間)
	医の倫理
第8回	事前学習 教科書第3章第3節を読み、医の倫理について考える(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 教科書第3章第3節を読み返し、医の倫理について復習する(2時間)

F					
	医療の情報倫理				
第9回	事前学習 教科書第3章第4節を読み、医療の情報倫理について考える(2時間)				
	事後学習 教科書第3章第4節を読み返し、医療の情報倫理について復習する(2時間)				
	病院情報システム				
第10回	事前学習 教科書第6章第1節を読み、病院情報システムについて調べる(2時間)				
	事後学習 教科書第6章第1節を読み返し、病院情報システムについて復習する(2時間)				
	医療情報システム				
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書第6章第2節を読み、医療情報システムについて調べる(2時間)				
	事後学習 教科書第6章第2節を読み返し、医療情報システムについて復習する(2時間)				
	医療情報システムの管理				
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書第6章第3節を読み、医療情報システムの管理について調べる(2時間)				
	事後学習 教科書第6章第3節を読み返し、医療情報システムの管理について調べる(2時間)				
	医療情報の標準化				
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書第7章第1節を読み、医療情報の標準化について考える(2時間)				
	事後学習 教科書第7章第1節を読み返し、医療情報の標準化について復習する(2時間)				
	医療情報の分析と評価				
第14回	事前学習 (内容・時間) 教科書第7章第2節を読み、分析と評価について考える(2時間)				
	事後学習 教科書第7章第2節を読み返し、分析と評価について復習する(2時間)				
	まとめ				
第15回	事前学習 (内容・時間) 教科書の基礎知識問題を解いてみる(2時間)				
	事後学習 教科書の基礎知識問題で、正解できなかった問題を復習する(2時間)				
第16回	定期試験				

ナンバリング (Numbering)1SAN-6130-YYE科目名
Class入学年度
Admission Year開講学年・学期
School Year, Semester特別実習・講義(会計)
ファイナンシャル・プランニング223~1年生・前期

ファイナンシャル・プランニング Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom

~222

履修の前提条件 Course Prerequisites

特別講義(会計)

・国家検定「3級ファイナンシャル・プランニング技能士」試験の合格を目標にする 人。

必·選

選択

単位数

Credit

2単位

授業担当者

Instructor

平川 淳一

・受講マナーを守れる人。・電卓が必要です。

授業概要 Course Outline

私たちのライフプランに関わってくる年金や保険、貯蓄やローン、税制や不動産、贈与や相続といった内容について包括的に学びます。暮らしとお金の相談員が、ファイナンシャルプランナーです。

銀行や証券会社、不動産会社だけではなく、一般企業の事務職においても必要とされる知識を習得することができます。

国が認定する検定資格「FP技能士3級実技試験」の内容を学習範囲とします。

FP3級試験の過去問題を教材とし、検定試験の合格レベルにまで到達することが、この講義の目指すところです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得で	きる力 Competency	Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / S	peaking / Listening	
27 田柏杜松の知上	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
deficite online	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		0
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management		0
华克 十 台州 の知上	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 or sorial Qualities	倫理観	Ethical Sense		0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		0
	生涯学習力	Lifelong Learning		0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning E	xperience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skil	lls	

到達目標 Objectives

- ・この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅲ 社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に基づいて、年金や保険、税金、法律などの社会制度について、複眼的な知識の習得を目標とします。
- ・国家検定「3級ファイナンシャル・プランニング技能士」の実技試験合格を目標とします。
- ・自身のライフプランを実現するために、ファイナンシャル・プランニングが行えるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- Checkテストは、授業でInputした内容を、Outputする機会であり、復習と理解度確認のために実施します。
- ・配付したプリントは、必ずファイリングして管理してください。
- •目的を持ち、自らの意思において学び取る姿勢が必要です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:FP技能検定3級 (試験実施機関:一般社団法人 金融財政事情研究会)

試験日:毎月実施、CBT(Computer-Based Testing)方式による試験

試験会場:主要都市で開催

受検料:学科試 4,000円、験実技試験 4,000円

URL: http:://www.kinzai.or.jp/

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code スッキリわかる FP技能士3級 白鳥 光良 TAC出版 978-4300105245 2023-2024年 参考文献 Reference Books 書名 Title 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 著者名 Author スッキリとける 過去+予想問題 TAC FP講座 TAC出版 978-4300105276 FP技能士3級 2023-2024年

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法:平常点 20%、課題 20%、定期試験 60%

※平常点は、学習意欲、受講マナー等を見て総合的に評価します。

注) 受講ルールを守れない人は、「減点」、「欠席」、「受講停止」にする場合があります。

┃・成績評価の基準:3級FP技能検定実技試験の受験レベルに達しているか。

ライフプランニングと資金計画:年金や健康保険、住宅ローンなどについて理解しているか。

リスク管理:生命保険、損害保険などの各種保険商品について理解しているか。

金融資産運用:株式や債券、投資信託などについて理解しているか。

タックスプランニング: 所得税や法人税などの税金と控除について理解しているか。

不動産:不動産の売買や法令などについて理解しているか。

相続・事業承継:相続や贈与、事業の継承について理解しているか。

授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme			
	オリエンテーション:授業の概要、FP技能士試験についての説明、FP試験問題の体験			
第1回	事前学習 (内容・時間) FPとは何か、その役割と実技試験の内容を調べて、ノートにまとめておくこと。(2.0h)			
	事後学習 (内容・時間) 理解不十分な社会制度や用語について調べて、ノートに記録しておくこと。(2.0h)			
	ライフプランニングと資金計画 ① FPの倫理と関連法規、健康保険 (テキスト P.5 ~ 30)			
第2回	事前学習 テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。(2.0h)			
	事後学習 テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。(2.0h)			
	ライフプランニングと資金計画 ② 社会保険のしくみ (テキスト P. 32 ~ 45) リスク管理 ① 生命保険 (テキスト P. 50 ~ 67)			
第3回	事前学習 テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。(2.0h)			
	事後学習 テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。(2.0h)			
	リスク管理 ② 生命保険商品、第三分野の保険、損害保険 (テキスト P.88 ~ 105) 金融資産運用 ① 金融資産を取り巻く環境、様々な金融商品1 (テキスト P.90 ~ 107)			
第4回	事前学習 テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。(2.0h)			
	事後学習 テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。(2.0h)			
	金融資産運用② 様々な金融商品2、金融商品の税金 (テキスト P. 112 ~ 128) タックスプランニング① 所得税のしくみ (テキスト P. 132 ~ 155)			
第5回	事前学習 (内容・時間) テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。(2.0h)			
	事後学習 テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。(2.0h)			
	タックスプランニング ② 所得控除、税額控除 (テキスト P. 157 ~ 176) 不動産 ① 不動産の調査と取引 (テキスト P. 180 ~ 189)			
第6回	事前学習 テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。(2.0h)			
	事後学習 テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。(2.0h)			
	不動産 ② 不動産に関する法律 (テキスト P. 195 ~ 216) 相続・事業継承 ① 贈与の基本、相続の基本 (テキスト P. 220 ~ 233)			
第7回	事前学習 テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。(2.0h)			
	事後学習 テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。(2.0h)			
	相続・事業継承 ② 相続のしくみ、相続財産の評価 (テキスト P. 238 ~ 261)			
第8回	事前学習 テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。(2.0h)			
	事後学習 テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。(2.0h)			

	中間テスト (第1回~8回までに学んだ内容から出題します。)
第9回	事前学習 第1回~8回までの内容を復習し、中間テスト対策を立てておくこと。(2.0h)
	事後学習 中間テストの内容を振り返り、苦手分野の知識を補強しておくこと。(2.0h)
	[実技] ライフプランニングと資金計画:公的年金に関する計算 (テキスト P. 296 ~ 304)
第10回	事前学習 テキスト範囲を精読し、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。(2.0h)
	[実技]金融資産運用:株式投資指標と債券利回りに関する計算 (テキスト P. 305 ~ 310)
第11回	事前学習 テキスト範囲を精読し、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。(2.0h)
	[実技]タックスプランニング:所得控除額、給与所得金額の計算 (テキスト P. 311 ~ 320)
第12回	事前学習 テキスト範囲を精読し、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。(2.0h)
	[実技]不動産:建蔽率·容積率の計算 (テキスト P. 324 ~ 330)
第13回	事前学習 テキスト範囲を精読し、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。(2.0h)
	[実技]相続・事業承継:相続税に関する計算 (テキスト P.331 ~335)
第14回	事前学習 テキスト範囲を精読し、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。(2.0h)
	事後学習 テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。(2.0h)
	総復習 実技試験:個人資産相談業務
第15回	事前学習 第1回~14回までの授業内容と、これまで記録したノートを見直しておくこと。(2.0h)
	事後学習 総復習をもとに、定期試験の対策を立てておくこと。(2.0h)
717 · • —	定期試験
	※FP本試験に準じた内容で実施します。

ナンバリング (Numbering) 1SePN-6720-12E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
プレゼミ I		共通	1年生・前期 2単位		2単位	選択	担当教員 「ゼミ・演習ガイダンス」参照
オンライン授業 Online Class 担当教員		_	スルームの利用 ogle Classroom	担当教員 に確認			
履修の前提条件 Course Prerequisites		分の学習目標やりによる選考がありに必ず相談してく 受講すること、情報	将来の社会進出などを考えます。履修を希望する学生ださい。担当教員の許可が 報ネットワーク学科の学生な は認めません。「プレゼミ I	てクラスを は、配布資 あれば、紹 が経営情報	選んでください。自 資料「ゼミ・演習ガー 経営情報学科の学 最学科の教員のクラ	目分のクラ イダンス」? 生が情報 ラスを受講	を開設します。学生の皆さんは、自 たえを決めるにあたっては、担当教員 をよく読み、担当教員または教務課 ネットワーク学科の教員のクラスを することが可能です。原則として2 優修は可能ですが、担当教員の方針

本学の専門分野は経営情報学であり、経営学と情報学の融合を目指しています。この科目では、1年次の早いうちから少人数のクラスで、専門分野や将来の社会進出に必要とされる技能や知識について入門から基礎レベルを重点的に学習する、という趣旨のもとで様々なクラスを開設します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーIII・IV・Vに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力 Competency Goals ※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解		Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / S	peaking / Listening	0
77 F7 44 44 6 78 4	数量的スキル	Mathematics		0
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		0
GONONO OKINO	論理的思考力	Logical Thinking / Cr	eative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving		0
	建学の精神	University Founding F	Philosophy	0
	自己管理力	Self-management		0
华克 十九州 6年 上	チームワーク	Teamwork		0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0
1 croonar Quantico	倫理観	Ethical Sense		0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		0
	生涯学習力	Lifelong Learning		0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning E	xperience	0
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Ski	lls	0

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、経営情報学の諸分野および将来の社会進出に必要とされる技能や知識の入門から基礎レベルを理解し修得できる、ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生あるいは学生間で議論したり、レポートを発表したり、実習や製作などを行います。こうした授業を通じて物事について考え、理解を深めて、創り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。

授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
担当教員の指示に従ってください。						
	参考文献 Refere	nce Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
担当教員の指示に従ってください。						
P /+ Im 1 . 1						

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

	授業計画 Course Schedule ※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
	テーマ Theme
	クラス別授業
第1回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第2回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第3回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第4回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第5回	事前学習 (内容・時間) 世当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第6回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第7回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第8回	事前学習 (内容・時間) 世当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)

	クラス別授業	
第9回	事前学習 (内容·時間)	3当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間) 担	l当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業	
第10回	事前学習 (内容·時間) 担	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間) 担	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業	•
第11回	事前学習 (内容·時間) 担	3当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担 (内容·時間)	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業	
第12回	事前学習 (内容·時間) 担	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間) 担	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業	
第13回	事前学習 担 (内容·時間)	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担(内容・時間)	2当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業	
第14回	事前学習 (内容·時間) 担	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	2当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業	
第15回	事前学習 (内容·時間) 担	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間) 担	2当教員の指示に従ってください。(2時間)
第16回 (定期試験)		l当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。) けとルーブリックの作成と提出

ナンバリング (Numbering)							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学: School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
プレゼミⅡ		共通	1年生・後期		2単位	選択	担当教員 「ゼミ・演習ガイダンス」参照
			ラスルームの利用 logle Classroom	担当教員 に確認			
履修の前提条件 Course Prerequisites		分の学習目標やによる選考がありに必ず相談してく 受講すること、情報	将来の社会進出などを考え ます。履修を希望する学生 ださい。担当教員の許可が 報ネットワーク学科の学生♪ は認めません。「プレゼミ I	てクラスを は、配布資 あれば、紹 が経営情報	選んでください。自 資料「ゼミ・演習ガー 経営情報学科の学 最学科の教員のクラ	目分のクラ イダンス」で 生が情報 ラスを受講	スを開設します。学生の皆さんは、自にスを決めるにあたっては、担当教員をよく読み、担当教員または教務課ネットワーク学科の教員のクラスを することが可能です。原則として2 慢修は可能ですが、担当教員の方針

本学の専門分野は経営情報学であり、経営学と情報学の融合を目指しています。この科目では、1年次の早いうちから少人数のクラスで、専門分野や将来の社会進出に必要とされる技能や知識について入門から基礎レベルを重点的に学習する、という趣旨のもとで様々なクラスを開設します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅢ・Ⅳ・Vに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力 Competency Goals ※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / S	Speaking / Listening	0
N	数量的スキル	Mathematics		0
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		0
deficite onlis	論理的思考力	Logical Thinking / Cr	eative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving		0
	建学の精神	University Founding F	Philosophy	0
	自己管理力	Self-management		0
	チームワーク	Teamwork		0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0
i crsonal Quantics	倫理観	Ethical Sense		0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		0
	生涯学習力	Lifelong Learning		0
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning E	xperience	0
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Sk	ills	0

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、経営情報学の諸分野および将来の社会進出に必要とされる技能や知識の入門から基礎レベルを理解し修得できる、ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生あるいは学生間で議論したり、レポートを発表したり、実習や製作などを行います。こうした授業を通じて物事について考え、理解を深めて、創り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。

授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 担当教員の指示に従ってください。 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 担当教員の指示に従ってください。

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

	授業計画 Course Schedule ※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
	テーマ Theme
	クラス別授業
第1回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第2回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第3回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第4回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第5回	事前学習 (内容・時間) 世当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第6回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第7回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第8回	事前学習 (内容・時間) 世当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)

	クラス別授業	
第9回	事前学習 (内容·時間)	3当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間) 担	l当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業	
第10回	事前学習 (内容·時間) 担	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間) 担	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業	•
第11回	事前学習 (内容·時間) 担	3当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担 (内容·時間)	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業	
第12回	事前学習 (内容·時間) 担	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間) 担	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業	
第13回	事前学習 担 (内容·時間)	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担(内容・時間)	2当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業	
第14回	事前学習 (内容·時間) 担	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	2当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業	
第15回	事前学習 (内容·時間) 担	当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容·時間) 担	2当教員の指示に従ってください。(2時間)
第16回 (定期試験)		l当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。) けとルーブリックの作成と提出

ナンバリング (Numbering)
1SeBN-6741-24C

科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営学基礎演習 情報学基礎演習		共通	2年生•通年		4単位	必修	担当教員 「基礎ゼミ・演習ガイドブック」参照
オンライン授業 Online Class ^{旧確認}			スルームの利用 ogle Classroom	担当教員 に確認			
				- 60-1 00	> / IAI		- 600-0 - 1-1 - Wal - 1-1 - 1-1

この科目では、担当教員の研究領域、学生の興味・関心などに応じて様々なクラスを開設します。学生の皆さんは、自分の学習目標や将来の社会進出などを考えてクラスを選んでください。その際は担当教員による選考があります。自分のクラスを決めるにあたっては、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をよ読み、担当教員または教務課に必ず相談してください。担当教員の許可があれば、経営情報学科の学生が情報ネットワーク学科の教員のクラスを受講すること、情報ネットワーク学科の学生が経営情報学科の教員のクラスを受講することが可能です。なお「基礎ゼミ」(2年次)、「専門ゼミ I・II」(3・4年次)、「経営学・情報学専門演習 I・II」(3・4年次)との同時履修は原則として認めません。

授業概要 Course Outline

本学の専門分野は経営情報学であり、経営学と情報学の融合を目指しています。この科目では、少人数のクラスで専門分野 や将来の社会進出に必要とされる技能や知識を基礎レベルを重点的に学習する、という趣旨のもとで様々なクラスを開設しま す。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。なおこの科目では、 建学の精神および特にディプロマポリシーⅢ・Ⅳ・Vに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力 Competency Goals ※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解		Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		0
77 円 45 ++ 4k の 4H ト	数量的スキル	Mathematics		0
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		0
denono okina	論理的思考力	Logical Thinking / Cre	eative Thinking	0
	問題解決力	解決力 Problem Solving		0
	建学の精神	学の精神 University Founding Philosophy		0
	自己管理力	Self-management		0
华克 十九州 6年 5	チームワーク	Teamwork		0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0
1 Croonal Quantico	倫理観	Ethical Sense		0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		0
	生涯学習力	Lifelong Learning		0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		0
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		0

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、①経営情報学の諸分野の基礎レベルに関する知識や技能を修得できる、②幅広い教養を 修得できる、③さまざまな検定試験の合格を目指す、④イベントの企画や実施、学外活動を通して、社会で通用できる力を体 得できる、⑤制作や開発を通して創造力を伸ばす、ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによっ て異なりますので、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生あるいは学生間で議論したり、レポートを発表したり、実習や製作などを行います。こうした授業を通じて物事について考え、理解を深めて、何かを創り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。

授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks									
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐—F ISBN Code						
担当教員の指示に従ってください。									
	参考文献 Reference Books								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code						
担当教員の指示に従ってください。									
成结亚历古法 Creating Critaria / Mathed of Evaluation									

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

	授業計画 Course Schedule ※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
	テーマ Theme
	クラス別授業
第1回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間) (内容・時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第2回	事前学習 (内容・時間) 世当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間) (内容・時間)
	クラス別授業
第3回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第4回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第5回	事前学習 (内容・時間) セン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間) (内容・時間)
	クラス別授業
第6回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間) (内容・時間)
	クラス別授業
第7回	事前学習 _(内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間) (内容・時間)
	クラス別授業
第8回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)

第9回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 「内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第10回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第11回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 内容・時間 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第12回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
第13回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 内容・時間 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第14回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 内容・時間 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第15回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 _{内容・時間} 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第16回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 _{内容・時間} 担当教員の指示に従ってください。(2時間)

	クラス別授業					
第17回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)				
	クラス別授業					
第18回	事前学習 (内容·時間) 担当教	(員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間) 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)				
	クラス別授業					
第19回	事前学習 (内容·時間) 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)				
	クラス別授業					
第20回	事前学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)				
	クラス別授業					
第21回	事前学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間) 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)				
	クラス別授業					
第22回	事前学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間) 担当教	2員の指示に従ってください。(2時間)				
	クラス別授業					
第23回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)				
	クラス別授業					
第24回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間) 担当教	(員の指示に従ってください。(2時間)				

	クラス別授業					
第25回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	クラス別授業					
第26回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	事後学習 _(内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	クラス別授業					
第27回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	クラス別授業					
第28回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	クラス別授業					
第29回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	クラス別授業					
第30回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
第31回 (定期試験)	定期試験(担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。) ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他					

ナンバリング (Numbering)
1SeBN-6751-24C
1.1 D 2

科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎ゼミ		共通	2年生•通年		4単位	必修	担当教員 「基礎ゼミ・演習ガイドブック」参照
オンライン授業 Online Class 担当教員 に確認			スルームの利用 ogle Classroom	担当教員 に確認			

この科目では、担当教員の研究領域、学生の興味・関心などに応じて様々なクラスを開設します。学生の皆さんは、自分の学習目標や将来の社会進出などを考えてクラスを選んでください。その際は担当教員による選考があります。自分のクラスを決めるにあたっては、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をよく読み、担当教員または教務課に必ず相談してください。 担当教員の許可があれば、経営情報学科の学生が情報ネットワーク学科の教員のクラスを受講すること、情報ネットワーク学科の学生が経営情報学科の教員のクラスを受講することが可能です。 なお「基礎演習」(2年次)、「専門ゼミ I・II」(3・4年次)、「経営学・情報学専門演習 I・II」(3・4年次)との同時履修は原則として認めません。

授業概要 Course Outline

本学の専門分野は経営情報学であり、経営学と情報学の融合を目指しています。この科目では、少人数のクラスで専門分野 や将来の社会進出に必要とされる技能や知識について基礎から応用レベルを重点的に学習する、という趣旨のもとで様々な クラスを開設します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。な おこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅢ・Ⅳ・Vに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力 Competency Goals ※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

	タカル 用カルに関する物	**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Maria Odi / Diss. a Odi	$\overline{}$
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	誠の理胜	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Sp	peaking / Listening	0
77 円 45 ++ 4k の 4H ト	数量的スキル	Mathematics		0
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		0
denono okina	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		0
	問題解決力	Problem Solving		0
	建学の精神	University Founding P	Philosophy	0
	自己管理力	Self-management		0
45.5 - 5.4 4 6.79 b	チームワーク	Teamwork		0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0
1 Craonal Quantica	倫理観	Ethical Sense		0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		0
	生涯学習力	Lifelong Learning		0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning E	xperience	0
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skil	ls	0

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、①経営情報学の諸分野の基礎レベルを中心に、応用レベルについても一定の知識や技能を修得できる、②学術文献を読んで考えるカ、議論する力を修得できる、③経営・会計・情報の検定試験の上位級の合格を目指す、ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生あるいは学生間で議論したり、レポートを発表したり、実習や製作などを行います。こうした授業を通じて物事について考え、理解を深めて、何かを創り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。

授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
担当教員の指示に従ってください。					
	参考文献 Referer	nce Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
担当教員の指示に従ってください。					
rt 使事项 医十分 Constitution On the size / Markland of Earlands					

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

	授業計画 Course Schedule ※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。					
	テーマ Theme					
	クラス別授業					
第1回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間) (内容・時間)					
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	クラス別授業					
第2回	事前学習 (内容・時間) 世当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間) (内容・時間)					
	クラス別授業					
第3回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	クラス別授業					
第4回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	クラス別授業					
第5回	事前学習 (内容・時間) セン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間) (内容・時間)					
	クラス別授業					
第6回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間) (内容・時間)					
	クラス別授業					
第7回	事前学習 _(内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間) (内容・時間)					
	クラス別授業					
第8回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					
	事後学習 _(内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)					

第9回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 「内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第10回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第11回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 内容・時間 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第12回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
第13回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 内容・時間 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第14回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 内容・時間 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第15回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 _{内容・時間} 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第16回	事前学習 内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 _{内容・時間} 担当教員の指示に従ってください。(2時間)

	クラス別授業				
第17回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)			
	事後学習 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)			
	クラス別授業				
第18回	事前学習 (内容·時間) 担当教	(員の指示に従ってください。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間) 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)			
	クラス別授業				
第19回	事前学習 (内容·時間) 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)			
	クラス別授業				
第20回	事前学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)			
	事後学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)			
	クラス別授業				
第21回	事前学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間) 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)			
	クラス別授業				
第22回	事前学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間) 担当教	2員の指示に従ってください。(2時間)			
	クラス別授業				
第23回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)			
	クラス別授業				
第24回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間) 担当教	(員の指示に従ってください。(2時間)			

	クラス別授業
第25回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第26回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第27回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第28回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第29回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第30回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
第31回 (定期試験)	定期試験(担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。) ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他

ナンバリング (Numbering)
1SeAN-6762-34C

	科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
	経営学専門演習 I 情報学専門演習 I オンライン授業 Online Class		共通	3年生•通年		4単位	必修	担当教員 「専門ゼミ・演習ガイドブック」参照
			_	スルームの利用 ogle Classroom	担当教員 に確認			

この科目では、担当教員の研究領域、学生の興味・関心などに応じて様々なクラスを開設します。学生の皆さんは、自分の学習目標や将来の社会進出などを考えてクラスを選んでください。その際は担当教員による選考があります。自分のクラスを決めるにあたっては、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をよく読み、担当教員または教務課に必ず相談してください。担当教員の許可があれば、経営情報学科の学生が情報ネットワーク学科の教員のクラスを受講すること、情報ネットワーク学科の学生が経営情報学科の教員のクラスを受講することが可能です。教育・研究上の観点から、3年次のクラスと4年次のクラスは一つのものとして見なしますので、4年次へ進級する際は原則としてクラスの変更は認めません。なお「基礎ゼミ・演習」(2年次)、「専門ゼミ I・II」(3・4年次)、「経営学・情報学専門演習 II」(4年次)との同時履修は原則として認めません。

授業概要 Course Outline

本学の専門分野は経営情報学であり、経営学と情報学の融合を目指しています。この科目では、少人数のクラスで専門分野 や将来の社会進出に必要とされる技能や知識を基礎レベルを2年次よりもさらに重点的に詳しく学習する、という趣旨のもとで 様々なクラスを開設します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧くださ い。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅢ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力 Competency Goals ※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解		Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / S	peaking / Listening	0
7 m +++++	数量的スキル	Mathematics		0
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		0
denono okina	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		0
	問題解決力	Problem Solving		0
	建学の精神	University Founding F	Philosophy	0
	自己管理力	Self-management		0
华克 士力州 6 智 b	チームワーク	Teamwork		0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0
1 Croonal Quantico	倫理観	Ethical Sense		0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		0
	生涯学習力	Lifelong Learning		0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning E	xperience	0
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Ski	lls	0

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、①経営情報学の諸分野の基礎レベルに関する知識や技能を詳しく修得できる、②幅広い教養を修得できる、③さまざまな検定試験の合格を目指す、④イベントの企画や実施、学外活動を通して、社会で通用できる力を体得できる、⑤制作や開発を通して創造力を伸ばす、⑥卒業論文(研究)の執筆・作成に向けた準備ができる、ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生あるいは学生間で議論したり、レポートを発表したり、実習や製作などを行います。こうした授業を通じて物事について考え、理解を深めて、何かを創り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。

授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	ISBNコード ISBN Code			
担当教員の指示に従ってください。					
	参考文献 Referer	nce Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
担当教員の指示に従ってください。					
成结冠庙士注 Cuading Cuitavia / Mathad of Evaluation					

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

	授業計画 Course Schedule	※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「専門せき・演習がインック」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
		テーマ Theme
	クラス別授業	
第1回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第2回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第3回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第4回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第5回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第6回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第7回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第8回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	- さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)

	クラス別授業		
第9回	事前学習 田当教員の指示に従ってください(2時間)		
	本		
	争後子自 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第10回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第11回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第12回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第13回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第14回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第15回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第16回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		

	クラス別授業			
第17回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第18回	事前学習 (内容·時間) 担当教	(員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間) 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第19回	事前学習 (内容·時間) 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第20回	事前学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第21回	事前学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間) 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第22回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間) 担当教	2員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第23回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第24回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間) 担当教	(員の指示に従ってください。(2時間)		

	クラス別授業				
第25回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)				
	クラス別授業				
第26回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 _(内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)				
	クラス別授業				
第27回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)				
	クラス別授業				
第28回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)				
	クラス別授業				
第29回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)				
	クラス別授業				
第30回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)				
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)				
第31回 (定期試験)	定期試験(担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。) ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他				

ナンバリング (Numbering)
1SeAN-6772-34C

科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor	
専門ゼミI		共通	3年生•通年	<u>:</u>	4単位	必修	担当教員 「専門ゼミ・演習ガイドブック」参照	
オンライン授業 Online Class ^{旧確認}		_	スルームの利用 logle Classroom	担当教員 に確認				

この科目では、担当教員の研究領域、学生の興味・関心などに応じて様々なクラスを開設します。学生の皆さんは、自分の学習目標や将来の社会進出などを考えてクラスを選んでください。その際は担当教員による選考があります。自分のクラスを決めるにあたっては、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をよく読み、担当教員または教務課に必ず相談してください。 担当教員の許可があれば、経営情報学科の学生が情報ネットワーク学科の教員のクラスを受講すること、情報ネットワーク学科の学生が経営情報学科の教員のクラスを受講すること、情報ネットワーク学科の学生が経営情報学科の教員のクラスを受講することが可能です。教育・研究上の観点から、3年次のクラスと4年次のクラスは一つのものとして見なしますので、4年次へ進級する際は原則としてラスの変更は認めません。なお「基礎ゼミ・演習」(2年次)、「経営学・情報学専門演習 I・II」(3年次・4年次)、「専門ゼミII」(4年次)との同時履修は原則として認めません。

授業概要 Course Outline

本学の専門分野は経営情報学であり、経営学と情報学の融合を目指しています。この科目では、少人数のクラスで専門分野や将来の社会進出に必要とされる技能や知識について応用レベルを重点的に詳しく学習する、という趣旨のもとで様々なクラスを開設します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーIII・IV・Vに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力 Competency Goals ※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Cu		Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解		Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		0
7 m + + + + + + + = + + + + + + + + + + +	数量的スキル	Mathematics		0
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		0
GOTTOTTO CINITIO	論理的思考力	Logical Thinking / Cr	eative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving		0
	建学の精神	University Founding Philosophy		0
	自己管理力	Self-management		0
华克 十九州 6年 5	チームワーク	Teamwork		0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0
1 Croonal Qualities	倫理観	Ethical Sense		0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		0
	生涯学習力	Lifelong Learning		0
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning E	xperience	0
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Ski	lls	0

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、①経営情報学の諸分野の応用レベルについての知識や技能を修得できる、②学術文献を 読んで考える力、議論する力を修得できる、③卒業論文(研究)の執筆・作成に向けた準備ができる、④経営・会計・情報の検 定試験の上位級の合格を目指す、ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますの で、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生あるいは学生間で議論したり、レポートを発表したり、実習や製作などを行います。こうした授業を通じて物事について考え、理解を深めて、何かを創り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。

授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
担当教員の指示に従ってください。					
	参考文献 Referer	nce Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
担当教員の指示に従ってください。					
rt 结束(开土) the continue of the					

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

	授業計画 Course Schedule	※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「専門せき・演習がインック」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
		テーマ Theme
	クラス別授業	
第1回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第2回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第3回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第4回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第5回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第6回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第7回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第8回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	- さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)

	クラス別授業		
第9回	事前学習 田当教員の指示に従ってください(2時間)		
	本		
	争後子自 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第10回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第11回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第12回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第13回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第14回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第15回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業		
第16回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)		

	クラス別授業			
第17回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第18回	事前学習 (内容·時間) 担当教	(員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第19回	事前学習 (内容·時間) 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第20回	事前学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第21回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間) 担当教	双員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第22回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間) 担当教	2員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第23回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	クラス別授業			
第24回	事前学習 (内容·時間) 担当教	は員の指示に従ってください。(2時間)		
	事後学習 (内容·時間) 担当教	(員の指示に従ってください。(2時間)		

	クラス別授業						
第25回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第26回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 _(内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第27回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第28回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第29回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第30回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
第31回 (定期試験)	定期試験(担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。) ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他						

ナンバリング (Numbering)
1SeEN-6783-44C

13eLN 0703 440							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営学専門演習 Ⅱ 情報学専門演習 Ⅱ		共通	4年生•通年		4単位	必修	担当教員 「専門ゼミ・演習ガイドブック」参照
オンライン授業 Online Class ^{に確認}		_	スルームの利用 logle Classroom	担当教員 に確認			

3年次に「経営学専門演習 I 」または「情報学専門演習 I 」を履修して合格した学生は、「経営学専門演習 II 」または「情報学専門演習 II 」を履修してください。教育・研究上の観点から、3年次のクラスと4年次のクラスは一つのものとして見なしますので、4年次へ進級する際は原則としてクラスの変更は認めません。なお「基礎ゼミ・演習」(2年次)、「経営学・情報学専門演習 I 」(3年次)、「専門ゼミ I・II」(3年次・4年次)、との同時履修は原則として認めません。

授業概要 Course Outline

この科目の主な学習内容は、それまでに学んで修得した知識や技能を結集して「卒業論文(研究)」を執筆・作成すること、またはそれと同等と認められるものを表すことです。授業では担当教員による指導のほかに、学生によるプレゼンテーション、質疑応答やアドバイスなどを経て、大学4年間における学習成果として相応しい「卒業論文(研究)」、またはそれと同等と見なすものを表すことができるようにしていきます。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅡ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力 Competency Goals ※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

1210 210 10 10 000	composition, around					
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識の理解		Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解		Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Sp	peaking / Listening	0		
77 EL 45 A 47 A 5	数量的スキル	Mathematics		0		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
GOTTOTTO SINIIIO	論理的思考力	Logical Thinking / Cre	eative Thinking	0		
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding P	hilosophy	0		
	自己管理力	Self-management	Self-management			
北京 ナウ州の知り	チームワーク	Teamwork		0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
1 orderial qualities	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		0		
	生涯学習力	Lifelong Learning		0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning E	xperience	0		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、 ディプロマポリシー「II 学習の成果を卒業研究(またはこれと同等認められるもの)によって示すことができること。」および経営情報学科の「学習成果(Student Learning Outcomes)」の「4. 統合的な学習経験と創造的思考力・ゼミ・演習科目の学習をとおして、マネージメントとICTに関連する学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究(またはこれと同等認められるもの)によって示すことができる。」、、情報ネットワーク学科の「学習成果(Student Learning Outcomes)」の「4. 統合的な学習経験と創造的思考力・ゼミ・演習科目の学習をとおして、ICTを中心とする学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究(またはこれと同等認められるもの)によって示すことができる。」ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生が担当教員の指導を受けながら、主体的に卒業論文(研究)またはそれと同等と認められるものについてのテーマを設定し、執筆・作成していくことが重要です。また、クラスにおけるプレゼンテーションや質疑応答を通じて、より良い論文(研究)を作り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。

授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code				
担当教員の指示に従ってください。							
	参考文献 Referer	nce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
担当教員の指示に従ってください。							
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation							

	授業計画 Course Schedule ※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「専門セミ・演習がインプリンをご覧のうえ、担当教員に確認してください。
	テーマ Theme
	クラス別授業
第1回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第2回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第3回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 世当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第4回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第5回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第6回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第7回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第8回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)

	クラス別授業
第9回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第10回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第11回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第12回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第13回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第14回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第15回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第16回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)

	クラス別授業
第17回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第18回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第19回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第20回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第21回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第22回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第23回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第24回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)

	クラス別授業
第25回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第26回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第27回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第28回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第29回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第30回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
第31回 (定期試験)	定期試験(卒業論文(研究)の提出・発表など。担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。) ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他

ナンバリング (Numbering)
1SeEN-6793-44C
利 日 夕

	科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
	専門ゼミⅡ		共通	4年生•通年	-	4単位	必修	担当教員 「専門ゼミ・演習ガイドブック」参照
	オンライン授業 Dnline Class に確認		_	ラスルームの利用 pogle Classroom	担当教員 に確認			

3年次に「専門ゼミ I 」を履修して合格した学生は、「専門ゼミ II 」を履修してください。教育・研究上の観点から、3年次のクラスと4年次のクラスは一つのものとして見なしますので、4年次へ進級する際は原則としてクラスの変更は認めません。なお「基礎ゼミ・演習」(2年次)、「専門ゼミ I 」(3年次)、「経営学・情報学専門演習 I・II」(3年次・4年次)との同時履修は原則として認めません。

授業概要 Course Outline

この科目の主な学習内容は、それまでに学んで修得した知識や技能を結集して「卒業論文(研究)」を執筆・作成することです。授業では担当教員による指導のほかに、学生によるプレゼンテーション、質疑応答やアドバイスなどを経て、大学4年間における学習成果として相応しい「卒業論文(研究)」が完成できるようになることを目指します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅡ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力 Competency Goals ※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識の理解		Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / S	peaking / Listening	0
7 m + + + + + + + + + + + + + + + + + +	数量的スキル Mathematics			0
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		0
GOTTOTTO CINITIO	論理的思考力	Logical Thinking / Cre	eative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving		0
	建学の精神	University Founding Philosophy		0
	自己管理力	Self-management		0
华克 十九州 6年 5	チームワーク	Teamwork		0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0
1 or oonar quantioo	倫理観	Ethical Sense		0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		0
	生涯学習力	Lifelong Learning		0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning E	xperience	0
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		0

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、 ディプロマポリシー「II 学習の成果を卒業研究(またはこれと同等認められるもの)によって示すことができること。」および経営情報学科の「学習成果(Student Learning Outcomes)」の「4. 統合的な学習経験と創造的思考力・ゼミ・演習科目の学習をとおして、マネージメントとICTに関連する学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究(またはこれと同等認められるもの)によって示すことができる。」、情報ネットワーク学科の「学習成果(Student Learning Outcomes)」の「4. 統合的な学習経験と創造的思考力・ゼミ・演習科目の学習をとおして、ICTを中心とする学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究(またはこれと同等認められるもの)によって示すことができる。」ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生が担当教員の指導を受けながら、主体的に卒業論文(研究)のテーマを設定し、執筆(作成)していくことが重要です。 また、クラスにおけるプレゼンテーションや質疑応答を通じて、より完成度の高い論文(研究)を作り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。

授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐—F ISBN Code				
担当教員の指示に従ってください。							
	参考文献 Referer	nce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
担当教員の指示に従ってください。							
成结冠体大法 Creding Critaria / Mathed of Evaluation							

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

	授業計画 Course Schedule	※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「専門せき・演習がインック」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
		テーマ Theme
	クラス別授業	
第1回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第2回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第3回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第4回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第5回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第6回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第7回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)
	クラス別授業	
第8回	事前学習 担当教員の指示に従ってくだ	- さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってくだ	さい。(2時間)

	クラス別授業						
第9回	事前学習 田当教員の指示に従ってください(2時間)						
	車 公 公 羽						
	争後子自 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第10回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第11回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第12回	事前学習 _(内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第13回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第14回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第15回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第16回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						

	クラス別授業						
第17回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第18回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第19回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第20回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第21回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第22回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第23回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	クラス別授業						
第24回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)						

	クラス別授業
第25回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第26回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第27回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第28回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第29回	事前学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	クラス別授業
第30回	事前学習 (内容・時間) 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	事後学習 担当教員の指示に従ってください。(2時間)
	定期試験(卒業論文(研究)の提出・発表など。担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。) ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他

専門教育科目

(経営情報学科)

ナンバリング (Numbering)]					
1AMN-6440-12E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
ベンチャービジネス入門		219~ 経営情報学科	1年生・後期		2単位	選択	遠藤 真紀
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
・大学を卒業して社会に出れ リーマンになることを当然とも 造していく気概が望まれます ・新聞、雑誌等を読む習慣を 生を成り行きに任せるのでは 前向きに生きようとする事が		ることを当然とせず, E 既が望まれます。 Fを読む習慣を身に付 こ任せるのではなく,	自ら事業 けるな 自分の	きを興すなど、し ど、社会のあら	ビジネス らゆる事	スマンとして自分の仕事を創事象に興味を持ち、自身の人	

- ・本学の建学の精神、3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ、中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等、経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
- ・過去の実務経験を基に、ベンチャービジネスに限らず社会やビジネスそのもの、および企業の目的・意義について議論を展開していきます。
- ・ビデオの資料等を活用し、身近な事例を題材に講義を進め、働く事の意義やベンチャー企業および社会そのものに関心を持ってもらい、IT人材(高度情報化人材)としての基本的な知識の修得や企業と自分との関係を知ろうとする積極性を養っていきます。卒業後、社会に出て「何をすべきか」、「自分ならどうするか」という自らの答えを導き出せる思考能力を培っていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content			Class	実務経験をいかした教育内容 Contents Utilizing Work Experience	
該当	級土木· 卸売会社 販売士) 診断, 中	#会社(5年): 建築設備施工管 2級管工事施工管理技士), ±(10年): 商品開発, 営業管: , 経営コンサルタント(30年): i小企業経営支援(中小企業 S/EMS Lead Auditor)	建材 理(1級 :経営 診断	等への経営を 連科目の講覧 や管理手法を 考え方等につ	は業等の実務経験および製造業・サート 支援実務を通じて得た知見を元に、経 義を通じて、理論だけでなく企業経営の および社会の常識や社会で生き抜くた いても伝えていきます。また事例や中 士の問題を活用した演習等も行います	営関 0実態 めの 小企
		授業を通して修得で	きるカ	Competenc	y Goals	
知識・理解の観り	点	多文化・異文化に関する知	識の理角	7 4	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Unders	tanding	人類の文化・社会と自然に	関する知	識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
		コミュニケーション・スキル	Reading	g / Writing /	Speaking / Listening	0
77 田 45 ++ 4k の 年	-	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観 Generic Skills	只	情報リテラシー	情報リテラシー Information Literacy		0	
Gonerio Grano		論理的思考力	l的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking		0	
		問題解決力	Problem Solving		0	
		建学の精神	Univers	ity Founding	Philosophy	0
		自己管理力	Self-management		0	
お本 ナウ州の 年	a - -	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観 Personal Qualitie		リーダーシップ	Leadership			
1 oroonar quantit	00	倫理観	Ethical Sense			0
		市民としての社会的責任	Social I	Responsibility	,	0
		生涯学習力	Lifelon	g Learning	_	0
統合的な学習経験と創造的		統合的な学習経験	Integra	ted Learning	Experience	
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills		創造的思考力	Creative Thinking Skills		0	

到達目標 Objectives

- 自分自身と社会や企業との関わりについて理解できるようになる。
- ・またIT人材(高度情報化人材)として広く社会や仕事の意義を理解し、自分の将来像について想い描けるようになるために「やり甲斐のある仕事や企業とは何か」を知り、現実的な思考、手段、人間関係等のあり方について理解している。
- ・同時に、事業の成功や失敗のケースを学び、社会に出てから役に立つ経営学について関心を持ち、簿記や販売士等各種の資格にも挑むようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し、講義を聴いているだけでは単位取得できません。 ・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。 ・ベンチャー企業や革新的企業の経営や戦略等に関するビデオ聴講による演習や中小企業診断士試験の問題 を活用した演習を行います。また演習に基づきディスカッションを行うため、ビデオ内容の聞き取り力、メモカ、聴 講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は、研究室での直接面談またはGoogleクラスルームやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には、研究室のメッセージボードやEメール(endo@kiis.ac.jp)等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず、去る者追わず」のスタンスで対応しますが、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

- ・希望者には,必要に応じて,販売士(3級~1級),経営学検定(マネジメント検定:初級,中級,上級),中小企業診断士等, 経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
- ・事前・事後学習としての課題レポート以外に、授業態度や資格試験への積極的な取り組み、関連するレポートおよび学習記録(事前学習/授業レポートやポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 専門基礎ライブラリー 太田一樹ほか 実業出版 978-4-407-31077-1 ベンチャービジネス論 参考文献 Reference Books ISBNコード ISBN Code 書名 Title 出版社 Publisher 著者名 Author ベンチャー企業 松田修一 日本経済新聞出版社 10-4532113032

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法:定期試験(50%), 平常点(出席率, ディスカッションへの参加, 各種レポート提出, 資格試験への取り組み, ポートフォリオ提出, 教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性)等(50%)を総合的に考慮して評価します。

評価基準:広く社会や企業および仕事の意義等について理解している。自分自身の将来について明確な意識を 持ち,社会やベンチャー企業等との関わりについて理解している。また各種の資格にも挑むくらい,経営学につい て関心を持ち,学習に対する積極性をもっている。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	講義の目的と進め方(講義内容のアウトラインの理解)
第1回	事前学習 ベンチャーや起業の体験談およびそれに関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載され (内容・時間) ているため、積極的にアクセスし、自分の挑戦材料として頭に入れておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 本講義のアウトラインについて復習,課題への取り組み(2時間)
	企業の目的と企業の意義ーベンチャービジネスとは何か
第2回	事前学習 配布資料の事前確認(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 配布資料・講義内容および自身の提出課題内容の再確認(2時間)
	社会や企業と自分との関わりを考える(ビデオ演習)
第3回	事前学習 提出課題に基づき、企業と自身の関わりについて検討する(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	自分の将来を考える:選択の自由
第4回	事前学習 ビデオ演習を含む,前回講義内容を基に,自身の将来像について検討する(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成①:会社への依存 or 自立(自律)
第5回	事前学習 自身の将来像に関連させ、働く事の意義について検討する(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	現代社会とベンチャー企業
第6回	事前学習 テキスト・配布資料に基づき、ベンチャー企業の特徴等について予習する(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	起業への準備(1)企業の事を知る①会社の種類
第7回	事前学習 課題演習として「企業」について予習する(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	起業への準備(1)企業の事を知る②株式会社
第8回	事前学習 (内容・時間) 課題演習として「株式会社」について予習する(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)

第9回	起業への準備(1)企業の事を知る③企業の存在意義 事前学習 (内容・時間) テキスト・配布資料に基づき、ベンチャー企業等について予習する(2時間) 事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	(内容・時間) 一件投入 「一年」と、「こうの人間を占む、一件投下するの人は「という同)
	起業への準備(2)ビジネスの事を知る:経営者の視点と労働者の視点
第10回	事前学習 (内容・時間) テキスト・配布資料に基づき、ベンチャー企業等について予習する(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	起業への準備(3)自分の潜在的能力を伸ばす:求められるジンザイ(人材→人財)
第11回	事前学習 テキスト・配布資料に基づき、ベンチャー企業等について予習する(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成②:ベンチャー・ビジネスの事例
第12回	事前学習 (内容・時間) テキスト・配布資料に基づき、ベンチャー企業等について予習する(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	起業への準備(4)起業の仕方を知る①ビジネスアイティアの見つけ方
第13回	事前学習 (内容・時間) テキスト・配布資料に基づき、ベンチャー企業等について予習する(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	起業への準備(4)起業の仕方を知る②開業までのスケジュールとビジネスプラン
第14回	事前学習 テキスト・配布資料に基づき、ベンチャー企業等について予習する(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	講義のまとめ(講義内容全体の総括)
第15回	事前学習 (内容・時間) テキスト・配布資料に基づき、ベンチャー企業等について予習する(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
第16回(定期試験)	定期試験

ナンバリング (Numbering)							
1AMB-5332-12E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
∽ ⇔ ⇔ π		223~ 経営情報学科			2単位	選択	井上 善海
作品于心間口	経営学総論 II					必修	
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites		企業の経営・ や経済・企業		を持っ ス等に	ている事。日	頃から	どして,経営情報および 社会(世の中)の出来事

本学の建学の精神、3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ、企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等、経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。企業経営のあり方等について理解するとともに、各理論の背景や意義などについても考察していきます。テキストを基に、伝統的な理論から現代の経営学まで、その形成過程や今日的課題について講義を進めます。現代企業の経営は、情報システムやネットワーク技術との関わりで進化していることから、これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。

「経営学総論Ⅱ」では、「経営学総論Ⅰ」で理解した内容を基礎に、より理解を深めるため現実の企業経営政策・ 経営現象について、経営管理という視点で客観的に考察を行っていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience		実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience	
該当		企業経営者11年 経営コンサルタント9年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等,経済 サルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う	
		授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観	点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Unders	standing	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
20 田幼牡牡の毎	1 L	数量的スキル	Mathematics	0
汎用的技能の観 Generic Skills		情報リテラシー	Information Literacy	0
		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0
		問題解決力	Problem Solving	0
		建学の精神	University Founding Philosophy	0
		自己管理力	Self-management	0
** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	8 L	チームワーク	Teamwork	
態度・志向性の観 Personal Qualiti		リーダーシップ	Leadership	
i oroomar agains		倫理観	Ethical Sense	0
		市民としての社会的責任	Social Responsibility	0
		生涯学習力	Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的		統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills		創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

- 1. 今日的な企業経営のあり方やあるべき姿などについての理解。
- 2. 基本的なマネジメント理論(組織構造・機能, 経営戦略, 経営資源, マーケティング, 財務, 労務、環境変化への対応等)や「マネジメント(経営管理)」はどのようなものかの理解。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し、講義を聴いているだけでは単位取得できません。講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。 また企業経営や経営戦略に関するビデオ聴講による演習等を行います。聴講したビデオに基づき、ディスカッションを行うため、ビデオ内容の聞き取り力、メモカ、聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法:メールで連絡してください。

オフィスアワー:授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録(ポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。

	教科書 Textbooks				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
テキストは使用せず、毎回教員 が作成した資料を事前に classroomにて配布する					
	参考文献 Reference Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code		
よくわかる経営管理	高橋伸夫 編著	ミネルヴァ書房	9784623061044		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

中間と期末のレポート、もしくは試験(60%)、授業内課題レポート(40%)を基準とする。

授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme			
	講義の目的と進め方(講義内容のアウトラインの理解) 企業経営を考える			
第1回	事前学習 テキストの事前確認および企業経営等に関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載され (内容・時間) ているため、積極的にアクセスし、自分の挑戦材料として頭に入れておく。(2時間)			
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	1. 経営管理の意義 (企業組織の成立, 企業と環境, 企業の社会的責任)			
第2回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	1. 経営管理の意義 (経営者の職能, コーポレート・ガバナンス)			
第3回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	2. 経営管理論の生成と発展 (古典的管理論, 新古典的管理論, 近代的管理論)			
第4回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	2. 経営管理論の生成と発展 (適応的管理論, 戦略的管理論, 社会的管理論)			
第5回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	3. 経営管理の体系 (経営管理の対象, 総合経営管理と機能別管理)			
第6回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	3. 経営管理の体系 (経営管理の階層, 経営管理のプロセス, 経営管理論の位置づけ)			
第7回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	4. 経営戦略 (経営戦略の意義, ドメイン, 製品・市場戦略)			
第8回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			

	4. 経営戦略 (経営資源, 競争戦略, ビジネス・システム戦略)
第9回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	5. 経営組織 (経営組織の編成, 組織の動態化, 組織における人間行動)
第10回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	5. 経営組織 (組織文化, 組織変革, 組織間関係)
第11回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	6. 機能別管理 (経営システムの構造, 人的資源管理, 財務管理, 情報管理, 法務管理)
第12回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	6. 機能別管理 (研究開発管理, 調達管理, 生産管理, マーケティング管理, ロジスティックス管理)
第13回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	7. 経営情報 (高度情報社会の進展, 情報通信技術の進展, 情報通信システム, eビジネスの進展, 経営と情報)
第14回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	講義のまとめ(講義内容全体の総括)
第15回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
第16回	定期試験

ナンバリング (Numbering)							
1AMN-5260-22E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
企業金融		219~ 経営情報学科	2年生・前期		2単位	選択	片山 准一
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisites			営学と簿記・会計学 2・会計学で使われ			解できる	ること。

企業金融(コーポレート・ファイナンス)の諸問題を資本調達論の観点から商法(会社法)と関連付けて論じる。企業金融を歴史的・論理的且つ、具体的な事例を通して分析・講義する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understandin	g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
77 17 14 14 14 15 15 15	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	
donorio omis	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving	0
	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
北京 十九州の知上	チームワーク	Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
r orderial qualities	倫理観	Ethical Sense	0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0
	生涯学習力	Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

デュプロマポリシーに基づきこの授業では企業の経営財務の諸問題を資本調達論の観点から歴史的・論理的に論じ得ること。講義全体を通して、唯物弁証法的論理思考の構築を到達目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

可能な限り双方向のディスカッションを中心とした講義を心掛けたい。講義中基本的な質問を行うので、積極的に 回答してもらいたい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員と連絡をとりたい場合は、研究室を訪ねること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

kiis学修ポートフォリオ&ルーブリックに必要事項を記入の上、最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
講義資料を配布する					
	参考文献 Reference Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
経営財務論	片山伍一・後藤泰二	ミネルヴァ書房	ISBN4-623-01750-8 C3034		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

| |定期試験での評価(70%) 講義中の質問への回答及び板書の記帳等の評価(30%)第1回の講義でノートの取り方など、詳細を説明するので、必ず、出席すること。

授業計画 Course Schedule			
	テーマ Theme		
	はじめに 企業金融(コーポレート・ファイナンス)の講義案を述べる。		
第1回	事前学習 企業金融・経営財務等の概念をネット検索しておくこと。(120分)		
	事後学習 (内容・時間) 講義概要をよく復習しておくこと。疑問があれば次回の講義で質問すること。(120分)		
	資本とは 資本の循環・回転について述べる。		
第2回	事前学習 (内容・時間) 資本とは何かを質問するので、回答できるようネット検索しておくこと。(120分)		
	事後学習 資本の循環・回転図を何度も書いて理解すること。(120分)		
	資本及び資本家概念について 「機能資本家」「無機能資本家」概念について述べる。		
第3回	(内容・時 資本・資本家概念をネット検索しておくこと。(120分)		
	事後学習 「機能資本家」「無機能資本家」概念及び「出資」と「貸付」概念の相違を理解すること。(120分)		
	企業形態の展開過程 個人企業→合名会社→合資会社→株式会社の展開過程を述べる。		
第4回	事前学習 (内容・時間) 企業組織諸形態を事前にネット検索しておくこと。(120分)		
	事後学習 (内容・時間) 唯物弁証法による企業形態の展開過程を理解すること。(120分)		
	株式会社発生前史 コンメンダ・ソキェタスの企業形態を述べる。		
第5回	事前学習 コンメンダ・ソキェタス等の概念をネット検索しておくこと。(120分)		
	事後学習 (内容・時間) 株式会社の発生過程を史実に基づいて理解すること。(120分)		
	株式会社発達史 東印度会社 運河会社 鉄道会社 重化学工業会社への株式会社形態を述べる。		
第6回	事前学習 アダム・スミスの「諸国民の富」4(岩波文庫)を事前に読んでおくこと。(120分)		
	事後学習 (内容・時間) 株式会社の発展には「バブル」がついて回ることを理解すること。(120分)		
	株式会社の古典的学説 アダム・スミス カール・マルクス ルト・ルフ・ヒルファーテ・ィング等の学説を述べる。		
第7回	事前学習 「諸国民の富」「資本論」「金融資本論」を事前に読んでおくこと。(120分)		
	事後学習 (内容・時間) 上記、3冊を熟読すること。(120分)		
	コーポルート・ガバナンス① 会社支配論—所有者支配論 経営者支配論 金融機関支配論について述べる。		
第8回	事前学習 配布資料を事前に読んでおくこと。(120分)		
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を元に文献検索しておくこと。(120分)		

	コーポレート・ガバナンス② 米国のコーポレート・ガバナンスについて述べる。
第9回	事前学習 (内容・時間) 配布資料を事前に読んでおくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を元に文献検索をしておくこと。(120分)
	コーポレート・ガバナンス③ 日本のコーポレート・ガバナンスについて述べる。
第10回	事前学習 (内容・時間) 配布資料を事前に読んでおくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を元に文献検索しておくこと。(120分)
	コーポレート・ガバナンス④ 持株会社とコーポレート・ガバナンスについて述べる。
第11回	事前学習 (内容・時間) 配布資料を事前に読んでおくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を元に文献検索しておくこと。(120分)
	企業集中① 企業間競争について述べる。
第12回	事前学習 (内容・時間) 競争概念をネット検索しておくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 競争概念を理解すること。(120分)
	企業集中② カルテル トラスト コンチェルンについて述べる。
第13回	事前学習 カルテル・トラスト・コンチェルン概念をネット検索しておくこと。(120分)
	事後学習 カルテル・トラスト・コンチェルン概念を理解すること。(120分)
	競争と独(寡)占 資本主義的競争→独(寡)占へのプロセスについて述べる。
第14回	事前学習 (内容・時間) 独占禁止法をネット検索しておくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 企業の独占化への必然性を理解すること。(120分)
	企業金融のまとめ
第15回	事前学習 (内容・時間) 講義の総括を行うので、復習しておくこと。講義全体を通して疑問があれば質問すること。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 定期試験に向けて復習しておくこと。(120分)
第16回	定期テスト

ナンバリング(Numb	ering)						
1AMB-6192-22	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学斯 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
経営史		224~ 経営情報学科	営情報学科 		2単位	選択	鈴木 和也
日本経営史		219~223 経営情報学科			2年位	医扒	호마시스 시니다
オンライン授業 Online Class なし			スルームの利用 ogle Classroom	あり			
履修の前提条f Course Prerequis			、事情(留学生のみ〕 引していること。)、経営	営学総論Ⅰ、績	経営学	総論Ⅱなどの科目を履修
授業概要 Course Outline							

今日おこっている日本経済・経営の諸問題 や今後の展開も、その成立過程、つまり歴史によって規定されている要素はとても多い。この講義では、近代以降の日本の企業経営はどのように展開してきたのか、その結果現在どのような特徴を持つようになったのかについて学ぶ。さらに、史実を垣間見ることによって、すべての社会、産業、経営に関する新しい知識の習得に努め、社会に貢献できる産業人としての基本を醸成する。

なお、カリキュラムポリシーIVに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience				
該当しない						
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening				
刀田幼牡牡の知上	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
derierio ciuno	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management				
能由。古白州の知よ	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
. o. oonan aaamao	倫理観	Ethical Sense	0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

- ・歴史を単なる過去に対する知識ととらえず、今日的な問題の源流ととらえる。
- ・経済・経営の諸問題を、自分自身の身近な現象として認識し、それに対する知識や見識を深める。
- ・今後社会人として、会社や社会や他国などと共有できるような知識や意識を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
- ・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー 以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks								
書名 Title	著者名 Author	著者名 Author 出版社 Publisher						
1からの経営史	宮本又郎 他編著	碩学社	978-4502089008					
	参考文献 Referen	ice Books						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
企業家に学ぶ 日本経営史— テーマとケースでとらえよう	宇田川 勝 他編著	有斐閣	978-4641184008					
- -	亚年士:	/ M . I . C . I						

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

|1.定期試験(80%)、2.小テスト(10%)、3.学修課題の提出(5%)、4.授業への取組み(5%)

	授業計画 Course Schedule	
	テーマ Theme	
	授業概要(授業の進め方、評価について) 江戸時代の経営	
第1回	事前学習 (内容・時間) 教科書2頁、7頁~24頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	明治の企業家たち	
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書27頁~43頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	近代産業経営の成立	
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書45頁~61頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	財閥の多角化と組織	
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書71頁~85頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	重化学工業化と新興財閥	
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書87頁~103頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	技術経営の誕生	
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書105頁~121頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	「日本型」人事管理とサラリーマンの誕生	
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書123頁~140頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	都市型ビジネスの成立	
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書143頁~154頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)

	経済民主化と企業変革	
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書169頁~183頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	大量消費社会の到来と家電メーカーの発展	
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書185頁~201頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	企業集団とメインバンク	
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書203頁~220頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	日本的生産システムの形成	
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書223頁~241頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	流通のイノベーション	
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書243頁~261頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	変貌する総合商社	
第14回	事前学習 (内容・時間) 教科書263頁~279頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	日本的経営とその内容	
第15回	事前学習 (内容・時間) 教科書281頁~298頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
第16回(定期試験)	定期試験の実施 (まとめと振り返りを行う。)	

ナンバリング(Numb	pering)						
1AMN-5952-Z2	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sem	•	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
組織心理学		219~223 経営情報学科	3・4年生・前其	Я	2単位	選択	鈴木 和也
オンライン授業 Online Class	なし	_	スルームの利用 ogle Classroom	あり			
履修の前提条f Course Prerequis	oitoo	理学」を受講	基礎知識があるとし し、単位を取得して 禁です。3. 私語は認	いるこ	とを受講の条		。したがって、1年次に「心 ます。

1.産業や組織における人々の心理学的な問題を明確化し、解決のための知識や理論を学ぶ。2.グループ・ワークにより、議論を深める力、傾聴する力を体験する。

3.自身のライフプラン・キャリアプランを見つめ直し、実行すべき目標を立て、実践する力を養う。

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty

with Work Experience

なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0		
71 EL 44 A 4	数量的スキル	Mathematics	0		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy	0		
	自己管理力	Self-management	0		
华克 士力性の知上	チームワーク	Teamwork	0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0		
i ordenar quanties	倫理観	Ethical Sense	0		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	0		

到達目標 Objectives

- 1. 組織の特性について基本的な知識を学修する。
- 2. 組織人には「社会人基礎力」が必要なことを理解し、建学の精神である「優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性」を培う。
- 3. 組織の人的側面である集団内行動、集団間行動、リーダーシップおよび組織風土を理解し、組織の発展と崩 壊について理解する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- |・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
- ・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks								
書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード I								
産業・組織 (キーワード心理学シリーズ12)	角山 剛 (かくやま たかし)	新曜社	978-4-7885-1266-5					
	参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
組織行動の心理学 (産業・組織心理学講座:第3巻)	産業・組織心理学会(企画) 角山 剛(編)	北大路書房	978-4-7628-3086-0					

毎回、補助教材として、授業内容に関連したプリント資料を配付・活用します。

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験(80%)、2.小テスト(10%)、3.学修課題の提出(5%)、4.授業への取組み(5%)

授業計画 Course Schedule								
	テーマ Theme							
	オリエンテーション:産業・組織心理学とは/組織における人間観の変遷~ホーソン実験~							
第1回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)						
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	モチベーション (1)仕事と自己実現(何のために働くのか)							
第2回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)						
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	モチベーション (2)期待と動機づけ/目標と動機づけ(目標設定理論)							
第3回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)						
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	集団内コミュニケーション 一説得の原理ー							
第4回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)						
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	集団意思決定(1)コンセンサス課題							
第5回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)						
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	集団意思決定(2)集団浅慮							
第6回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)						
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	リーダーシップ (1)リーダーの特性と行動							
第7回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)						
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						
	リーダーシップ (2)状況に対応したリーダーシップ							
第8回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)						
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)						

	職場におけるメンタルヘルス (1)職業性ストレスモデル	
第9回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	職場におけるメンタルヘルス (2)ワークシートへの記入およびグループワークを通じた検討	
第10回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	社会人基礎力としてのソーシャルスキル(1)ソーシャルスキルの理論的枠組み	
第11回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	社会人基礎力としてのソーシャルスキル (2)グループワークによる実践	
第12回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	キャリア形成 (1)振り返る/主体性を発揮する	
第13回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	キャリア形成(2)目標設定/時間管理	
第14回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	キャリア形成(3)選択と自己実現	
第15回	事前学習 授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 (内容・時間) 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
第16回	定期試験の実施 (まとめと振り返りを行う。)	

	バリング (Numb AMN−6572−Z2							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor	
(教職関連	労務管理論 (教職関連科目 必 高等学校 情報)		219~ 経営情報学科	3·4年生·前期		2単位	選択	鈴木 和也
_	オンライン授業 Online Class なし			スルームの利用 ogle Classroom	あり		•	
履修の前提条件 Course Prerequisites			こと。2. 受請					夏修し単位を取得している ・キャリア検定試験3級人

企業は労働力という経営資源を獲得しなければ企業活動を実現することができない。そのためにヒトの獲得や活用、さらには労働者(従業員)と企業との間の対立の解決に関わる諸活動や調整が必要となる。この講義では、人事・労務管理、あるいは人的資源管理と呼ばれるこれらの活動の概要と経営的意義について学習を深めていく。さらには、これまでに学んだ経営学やマーケティングなどの基本的知識も活かしながら、社会で活躍できる人材としての基本を培う。

なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience		実務経験内容 Work Experience Content	Class	実務経験をいかした教育内容 Contents Utilizing Work Experience	
該当しない					
		授業を通して修得できる力	Competency	y Goals	
知識・理解の観	 点	多文化・異文化に関する知識の理	解	Multiple Culture / Different Culture	

授業を通して修得できる力 Competency Goals							
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0			
77 177 44 44 44 47 47 47	数量的スキル	Mathematics					
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy					
deficite dallis	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力	Problem Solving					
	建学の精神	University Founding	Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management					
*** + + 4 4 5 7 1	チームワーク	Teamwork		0			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0			
1 Gradial Qualities	倫理観	Ethical Sense		0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	/				
	生涯学習力	Lifelong Learning					
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience				
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	kills				

到達目標 Objectives

企業における仕事がどのような性質を有しているか、また企業で働くことが自分の今後の生活にどのような意味をもつ ことになるのかを考えられるようにする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- →対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
- ・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー 以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks								
書名 Title	書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher							
新しい人事労務管理 第6版 佐藤博樹 他著		有斐閣	978-4641222274					
	参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code					
人的資源管理論	平野文彦 編著	税務経理協会	4-419-03544-7					
人的資源管理[新訂]	原田順子・平野光俊 著	放送大学教育振興会	978-4-595-14104-1					
B / + -= /- 1 . 1								

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

|1.定期試験(80%)、2.小テスト(10%)、3.学修課題の提出(5%)、4.授業への取組み(5%)

授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme			
	授業概要(授業の進め方、評価について) 人事管理とは			
第1回	事前学習 教科書 I ~ V、2頁~15頁を通読する	(2.0h)		
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)		
	組織をつくる			
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書16頁~28頁を通読する	(2.0h)		
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)		
	働くということ			
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書129頁~152頁を通読する	(2.0h)		
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)		
	システムとしての人事管理			
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書288頁~290頁を通読する	(2.0h)		
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)		
	社員格付け制度:雇用関係を支える仕組み			
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書69頁~95頁を通読する	(2.0h)		
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)		
	採用と退出:雇用関係を交わす			
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書33頁~40頁を通読する	(2.0h)		
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)		
	配置:仕事を割り振る			
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書42頁~53頁を通読する	(2.0h)		
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)		
	評価と報酬:報いる			
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書99頁~124頁を通読する	(2.0h)		
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)		

	人事育成:「育つ」と「育てる」の交差	
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書157頁~185頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	労使関係:従業員尊重のための人事管理	
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書241頁~257頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	非正社員の基幹化	
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書189頁~211頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	女性の活躍推進	
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書226頁~228頁、304頁~306頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	ワークライフ・バランスと働き方改革	
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書230頁~232頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	高齢者雇用	
第14回	事前学習 (内容・時間) 教科書59頁~65頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
	グローバル経営と国際的人事管理/人事管理の未来	
第15回	事前学習 (内容・時間) 教科書261頁~288頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習問題の解答	(2.0h)
第16回(定期試験)	定期試験の実施 (まとめと振り返りを行う。)	

ナンバリング(Numl	pering)]					
1AMA-5350-Z	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sem	•	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
経営思想		219~222 経営情報学科	3・4年生・前期	1	2単位	選択	坂上 宏
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
②下記の ※禁止事			でいて関心を持っていままに目を通しておくこれまい。 正当な理由の 、退室、携帯電話の使	こと。)ない遅	刻、	事項。	

フェルディナンド・テンニースとマックス・ウェーバーの思想をとりあげて、近代社会の構造的変容と人間性の疎外の問題について考えていきます。授業の前半は、ゲマインシャフトとゲゼルシャフトの特徴について解説します。後半は、近代資本主義とキリスト教プロテスタンティズムの倫理観の関連について解説します。最後に社会における支配の正当性と官僚制について概述します。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「I 建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ 社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない	
授業を通して修得できる力 Competency Goals	
知識・理解の観点 多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different C	ulture O
Knowledge and Understanding 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / N	ature O
コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening	
数量的スキル Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills Information Literacy	
論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking	
問題解決力 Problem Solving	
建学の精神 University Founding Philosophy	0
自己管理力 Self-management	
チームワーク Teamwork	
態度 · 志向性の観点 Personal Qualities Leadership	
倫理観 Ethical Sense	0
市民としての社会的責任 Social Responsibility	0
生涯学習力 Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	
Creative Thinking Skills 創造的思考力 Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

この授業の目標は次の二つです。

できるようになること。

第一にテンニースの所説を通じて、ゲマインシャフト(共同社会)とゲゼルシャフト(利益社会)の特徴、およびそれぞれの社会において人間はどのような存在として位置づけられているか、そして人間同士を結びつけるのは何であるか、という点について理解できるようになること。 第二にウェーバーの所説を通じて、近代資本主義社会の精神的土台となった禁欲的合理主義について、そして官僚制の特徴と官僚制社会における人間のあり方について理解

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。 毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(363)およびGoogleクラスルーム・メール(sakagami@g.kiis.ac.jp)にて随時受け付けます。

提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

学習の確認:ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher プリントを配布する。 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 4003420713 4003400000 テンニエス 岩波文庫 『ゲマインシャフトとゲゼルシャフト上下』 『資本主義の精神とプロテスタンティズムの倫理』 ウェーバー 岩波文庫 4003420934

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ(事前学習と事後学習)の提出、ルーブリックの提出)。 成績評価の基準:①ゲマインシャフトについて、特に個人と集団の関係、産業の特徴などについて理解しているか。②ゲゼルシャフトについて、特に個人と集団の関係、産業の特徴、交換と価値の意味、労働のあり方、都市と人間のあり方などについて理解しているか。③資本主義の精神について、特に合理主義、世俗内禁欲と職業召命観などについて理解しているか。④支配の正統性と官僚制の特徴、官僚制社会の将来と人間のあり方について理解しているか。

授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme			
	授業の方針、テンニースの思想とウェーバーの思想について概要紹介:プリント1			
第1回	事前学習 テンニースは、近代社会がどのようにして発展してきたと考えていますか。第1回授業プリン (内容・時間) トを読んで説明してください。(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 経済における合理主義の特徴について、授業ではどのように述べられていましたか。(2時間)			
	テンニースの思想①(合理主義と歴史主義の総合、本質意志と選択意志、社会発展論、ゲマインシャフトとゲゼルシャフトの本質的概念):プリント2			
第2回	事前学習 テンニースは社会を結びつけるものについてどのように考えていますか。第2回授業プリント (内容・時間) を見て答えてください。(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) ケマインシャフトとゲゼルシャフトの本質的概念について説明してください。(2時間)			
	テンニースの思想②(ゲマインシャフトの基本的特徴、初期的形態、父子関係、ゲマインシャフトの発展、ゲマインシャフト的意志):プリント3			
第3回	事前学習 テンニースは、ゲマインシャフトがどのように発展していくと説明していますか。第3回授業プ (内容・時間) リントを読んで答えてください。(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) ゲマインシャフトの基本的特徴について説明してください。(2時間)			
	テンニーズの思想③(ゲマインシャフトの成員を結びつける精神、ゲマインシャフトの重要な根本法則、 ゲゼルシャフトにおける交換と価値、擬制、ゲゼルシャフト的価値と必要、個人の労働と社会の利益): プリント4			
第4回	事前学習 テンニースは、ゲゼルシャフトにおける交換と価値についてどのように述べていますか。第4 (内容・時間) 回授業プリントを読んで答えてください。(2時間)			
	事後学習 ゲゼルシャフト的価値と必要について説明してください。(2時間) (内容・時間)			
	テンニースの思想④(ゲゼルシャフトは相互的、集団の成立、犠牲的人格、法人、ゲゼルシャフト的な 法秩序の前提、「市民社会」ま、たは「交易ゲゼルシャフト」、競争と同盟): プリント5			
第5回	事前学習 ゲゼルシャフトは相互的とはどういう意味ですか。第5回授業プリントを読んで答えてくださ (内容・時間) い。(2時間)			
	事後学習 ゲゼルシャフトにおける個人や集団の行動の特徴について説明してください。(2時間)			
	テンニースの思想⑤(国家のゲゼルシャフト的な発展、世界市場の成立、大都市と人間の運命、合理化の進展と人間関係の変化、世界都市と人間疎外):プリント6			
第6回	事前学習 国家のゲゼルシャフト的な発展について、第6回授業プリントを読んで説明してください。(2時間) (内容・時間)			
	事後学習 合理化の進展と人間関係の変化について授業ではどのように述べられていましたか。(2時間) (内容・時間)			
	テンニースの思想⑥(現代の運命、人間らしい生活を取り戻せるか…)、ウェーバーの思想①(問題意識、経歴):プリント7			
第7回	事前学習 近代資本主義に関するウェーバーの問題意識について、第7回の授業プリントを読んで説明 してください。(2時間)			
	事後学習 経済における合理主義について、授業ではどのように述べられていましたか。(2時間)			
	ウェーバーの思想②(西洋近代の資本主義の合理的性格、資本主義の倫理観(精神)、生活態度、合理主義の特徴、プロテスタンティズムの思想):プリント8			
第8回	事前学習 プロテスタンティズム運動と思想の特徴について、第8回授業プリントを読んで説明してくださ (内容・時間)			
	事後学習 (内容・時間) 資本主義の倫理観について授業ではどのように述べられていましたか。(2時間)			

	ウェーバーの思想③(信仰と救済、世俗内禁欲と職業、1647年「ウェストミンスター信仰告白」):プリント9
第9回	事前学習 カルヴァン派の二重予定説について、第9回の授業プリントを読んで説明してください。(2時間)
	事後学習 世俗内禁欲と職業について、授業ではどのように述べられていましたか。(2時間)
	ウェーバーの思想④(救済の自己確信と職業労働、神と人間の関係、職業召命観):プリント10
第10回	事前学習 カルヴァン派は、救済の確信をどのようにして得られると考えていますか。第10回授業プリン (内容・時間) トを読んで説明してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 職業召命観について授業ではどのように述べられていましたか。(2時間)
	ウェーバーの思想⑤(信仰と営利、利得と節約、宗教的倫理の喪失) :プリント11
第11回	事前学習 信仰と営利について、第11回の授業プリントを読んで説明してください。(2時間)
	事後学習 カルヴァン派の世俗内禁欲の思想と資本主義のエートスについて授業ではどのように述べ (内容・時間) られていましたか。(2時間)
	ウェーバーの思想⑥(新しい職業倫理の誕生、「精神のない専門人」と「心情のない享楽人」、近代的官僚制社会の特徴と将来): プリント12
第12回	事前学習「独自の市民的な職業のエートス(習慣、道徳」としての「資本主義の精神」について、第12 (内容・時間)回授業プリントを読んで説明してください。(2時間)
	事後学習 ウェーバーの言葉「精神のない専門人」、「心情のない享楽人」について授業ではどのように (内容・時間) 述べられていましたか。(2時間)
	ウェーバーの思想⑦(近代官僚制の重要な特徴、官僚制は必然的な支配形態、官僚の支配する社会):プリント13
第13回	事前学習 近代官僚制の重要な特徴としてウェーバーは4つあげています。それは何ですか。第13回授 (内容・時間) 業プリントを読んで説明してください。(2時間)
	事後学習 官僚制社会の進行が生み出すものとして、ウェーバーはどのように述べていますか。(2時間)
	ウェーバーの思想®(支配の正統性その I):プリント14
第14回	事前学習 支配の正統性としてウェーバーは3つあげています。それは何ですか。第14回の授業プリン (内容・時間) トを読んで説明してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 合法的支配の内容について説明してください。(2時間)
	ウェーバーの思想⑨(支配の正統性その2):プリント15
第15回	事前学習 伝統的支配の内容について説明してください。(2時間)
	事後学習 資本主義社会における人間の生き方について、あなたの考えを述べてください。(2時間)
第16回	定期試験、ポートフォリオ&ルーブリック作成等

ナンバリング (Numb							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
情報テクノロジー (教職関連科目 必 高等学校 情報)		219~ 経営情報学科	1・2年生・前期		2単位	選択	ディンダ プラマンタ
オンライン授業 Online Class	なし	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites 復習しておくこと.			などり	学前までに	学習し	た情報関連科目があれば	

前半はコンピュータの仕組み,後半はネットワークを含む情報システムの仕組みについて学ぶ。コンピュータの仕組みでは,全体構成からハードウェア,ソフトウェア,コンピュータの情報表現や演算処理について学び,一連の情報処理の中でそれらがどのように関わり,利用されているかを理解できるようにする。情報システムの仕組みでは,その構築に欠かせないデータベース,ネットワーク通信,プログラミング言語の概要について学び,企業と情報システムの関連やその業務に携わる職種や職業についても言及する.

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Go	pals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知		tiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understand	ding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Hur	man Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Spea	aking / Listening	
カロが井供の知り	数量的スキル	Mathematics		0
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
denone ciamo	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Phile	osophy	
	自己管理力	管理力 Self-management		
お	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
i orconal qualities	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Expe	erience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

この授業ではディプロマポリシーに基づいて、コンピュータや情報システムの基礎的な仕組みや構成を理解し、その知識を活用できるようにすることを目指する.

具体的にはITパスポートのテクノロジー分野に出題されるような基礎的な項目を理解することを到達目標とする. また, 学生の理解の範囲内で, トピックを包括的にカバーするために, グループディスカッションを実施する.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

| 聴講型および演習型とグループディスカッションを併用して実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡,問い合わせ,相談などは551研究室にて受け付けます.オフィスアワーの時間については掲示を確認してください.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

講義資料を共有フォルダを介して配布するので、毎回PCを持参することが望ましい。 毎回の講義時間後、Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーフ・リック」にオンライン自己評価を 記入し、提出して下さい。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
コンピュータと情報システム(第3版)	草薙 信照	サイエンス社	978-4-7819-1560-9				
	参考文献 Referen	ce Books					
書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISE							
コンピュータ概論: 情報システム入門 第9版	魚田 勝臣, 渥美 幸雄, 植竹 朋文, 大曽根 匡, 森本祥一, 綿貫 理明	共立出版	978-4320124981				
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation							

グループプレゼンテーション50%、定期試験50%。

授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme			
	ガイダンスとコンピュータの歴史と性能			
第1回	事前学習 次回の学習範囲について、教科書やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)			
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)			
	コンピュータの基礎知識1(機器構成、CPU、情報の単位と接頭辞)			
第2回	事前学習 次回の学習範囲について、教科書 (p.26~p.36) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)			
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)			
	コンピュータの基礎知識2(データ表現、2進数とn進数、基数変換)			
第3回	事前学習 次回の学習範囲について、教科書 (p.38~p.39) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)			
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)			
	コンピュータの基礎知識3(算術演算、補数、論理演算)			
第4回	事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.41) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)			
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)			
	ハードウェア1(中央処理装置と記憶装置)			
第5回	事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.44~p.62) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)			
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)			
	ハードウェア2(入出力装置と周辺装置)			
第6回	事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.64~p.72) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)			
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)			
	ソフトウェア(OS、言語、アプリケーション)			
第7回	事前学習 (内容・時間) 次回の学習範囲について、教科書 (p.78~p.91) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)			
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)			
	データ形式とマルチメディア(文字コード、文字・画像・音声・動画データ)			
第8回	事前学習 次回の学習範囲について、教科書 (p.96~p.106) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)			
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)			

	発表会
第9回	事前学習 各グループにに発表用のスライドを作成し、準備を行っておくこと。(2時間)
	事後学習 グループプレゼンテーションの質疑応答については各自復習すること。(2時間) (内容・時間)
	通信ネットワーク
第10回	事前学習 次回の学習範囲について、教科書 (p.110~p.132) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)
	インターネットとセキュリティ
第11回	事前学習 次回の学習範囲について、教科書 (p.136~p.153) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)
	コンピュータと情報システム
第12回	事前学習 次回の学習範囲について、教科書 (p.164~p.180) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)
	データベースシステム
第13回	事前学習 次回の学習範囲について、教科書 (p.182~p.196) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)
	システムの設計と開発
第14回	事前学習 次回の学習範囲について、教科書 (p.200~p.216) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)
	事後学習 講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理 (内容・時間) 解しておくこと。(2時間)
	システムの運用と管理
第15回	事前学習 次回の学習範囲について、教科書 (p.220~p.238) やインターネットによって予習を行っておくこと。(2時間)
	事後学習 定期試験に向けて、本講義のGoogle Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をするこ (内容・時間) と。(提出するのは不必要)(2時間)
第16回 (定期試験)	定期試験等

ナンバリング (Numbering) 1AIN-6381-U2ET							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング 入門 (教職関連科目 必 高等学校 情報)		219~ 経営情報学科	2・3年生・前期		2単位	選択	車 炳玘
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		情報リテラシ	一演習を修得済み	である	ことが望まし	l'	

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではScratchのプログラミングを通して、プログラミングの手順や流れを修得する。

実務経験のある教員による科目	実務経験内容		実務経験をいかした教育内容	
Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない				
	授業を通して修得できる力	Competence	y Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識の理	解	Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understandin	g 人類の文化・社会と自然に関する領	印識の理解	Human Culture / Society / Nature	
		,	<u> </u>	

	技术を通じて修行できるが Competency doals					
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening			
77 ELANT AK O EL	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
donorio okino	論理的思考力	Logical Thinking / C	reative Thinking	0		
	問題解決力	Problem Solving		0		
	建学の精神	University Founding Philosophy				
	自己管理力	Self-management				
** + + + 4 * * * *	チームワーク	Teamwork		0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
1 or sorial Qualities	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	,			
	生涯学習力	Lifelong Learning				
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Sk	kills			

到達目標 Objectives

逐次処理、分岐処理、繰り返し処理について理解し、簡単なプログラムであれば本を見ながら自分で書くことがで きるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回各自のPCで、実際に手を動かしてプログラミングをしてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室(656)にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

初回からパソコンを持参すること。原則として初回授業の欠席者の履修は認めない。やむを得ない事情で1回目授業を欠席した者は2回目授業前日までに研究室に来ること。 学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さ

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 技術評論社 今すぐ使えるかんたんScratch 松下幸太郎 978-4-297-10547-1 参考文献 Reference Books ISBN⊐-F ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher Scratch逆引き大全300の極意 秀和システム 978-4798058061 Project Kyss 成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

毎回のプログラミング課題50%、定期試験50%

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	ガイダンス、Scratchのインストール					
第1回	事前学習 シラバスを読み、PCがすぐに使えるようアップデート等をしておく(2h)					
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(2h)					
	スプライトの3要素					
第2回	事前学習 前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)					
	事後学習 (スター・中間) (スター・					
	逐次処理					
第3回	事前学習 前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)					
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(2h)					
	繰り返し処理					
第4回	事前学習 前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)					
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(2h)					
	スプライトとコード					
第5回	事前学習 前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)					
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(2h)					
	分岐処理					
第6回	事前学習 前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)					
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(2h)					
	多分岐処理					
第7回	事前学習 前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)					
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(2h)					
	複製処理					
第8回	事前学習 前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)					
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(2h)					

F	ī	
	メッセージ	処理
第9回	事前学習 (内容·時間)	教科書第1章を読む(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(2h)
	入出力処理	理
第10回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(2h)
	音の処理	
第11回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(2h)
	変数	
第12回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(2h)
	画像の処理	理
第13回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(2h)
	スプライトの	の作成
第14回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(2h)
	ゲーム作品	或
第15回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(2h)
hete : - —		
第16回 (定期試験)	定期試験	

ナンバリング (Numbering)
1AIN-6590-U2ET
科目名 Class

初級プログラミング

(教職関連科目 必 高等学校 情報)

Course Prerequisites

オンライン授業 あり Googleクラスルームの利用 あり Using Google Classroom あり

入学年度

Admission Year

223~

経営情報学科

情報学入門、 と。 履修の前提条件

情報学入門、情報リテラシー演習 I およびプログラミング入門、のすべてに合格していること。

単位数

Credit

2単位

必·選

選択

授業担当者

Instructor

合田 和正

これら3科目すべての成績が優秀(優または秀)であることが望ましい。 情報リテラシー演習Ⅱに合格していることが望ましい。 原則として、他学科履修を認めない。

授業概要 Course Outline

開講学年•学期

School Year, Semester

2.3年生•後期

学則第3条を踏まえて、

情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての基本的な知識・技能を習得することを目標とする。 具体的には、プログラミング統合環境の基本操作から始め、

問題の明確化、簡単な設計、コーティング、コンパイル、実行、デバッグといった基本的なソフトウェア開発活動について学ぶ

さらにそれらの手順、流れを実習によって体得する。プログラミング言語としてC言語を用いて、簡単なプログラムを例として、プログラミング技法を学ぶ。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。開発環境として、Visual Studio Code, Google Colaboratory を使用する予定である。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
7 E 4 4 4 6 5 5	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0
denone omis	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
华克 土力业 の知 5	チームワーク	Teamwork	0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0
1 or sorial Qualities	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	0

到達目標 Objectives

プログラミング、アルゴリズムとは何かについて、C言語を通して理解する。 プログラミング言語としてC言語を題材として、命令型プログラミング言語の文法、 特に、変数とデータ型、演算子、基本制御(選択、反復)の基礎を修得する。 単に各自で理解できるだけでなく、初心者に説明、指導できるようになることが望ましい。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回、授業内容に関して受講者が自主的にテーマを設定してレポート(振り返りを兼ねる)を作成する。対話型中心にの授業を展開するが、まず授業内容について、実習を行う前に解説を聴く。学生自身が実習を通して積極的に授業に参加するために、対話的実習を実施する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付ける。オフィスアワーの時間については各自で掲示を確認。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:情報に関する検定試験を受験すること。

- |学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して提出すること。
- |※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。
- ※プログラミング関連の資格・検定の合格などについては加点することがある。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
C言語[完全]入門	松浦健一郎, 司 ゆき	SB Creative	978-4-8156-1168-2		
参考文献 Reference Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
Cプログラミング入門以前[第3版]	村山公保	マイナビ出版	978-4 8399-8255-3		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

- 1) 提出物(授業の振り返りや小テスト、演習、その他の課題等)が約50%、
- 2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約50%
- おの2項目をきちんと理解しているか。①C言語の文法②プログラミングとは何か。
- であって、かつ、これら1)、2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
- 具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	ガイダンス、プレースメント試験(情報の基礎、流れ図、Scratchなど)				
第1回	事前学習 情報学入門ほか前提科目の復習、プレースメント試験対策 [2.0h]				
	事後学習 (内容・時間) 不明な点、自信がない点をまとめる。わかるように復習 [2.0]				
	開発環境と操作方法、簡単な実例(操作中心)				
第2回	事前学習 プログラミング、ソフトウェア開発環境の概要や実例について調べてまとめる [2.0h]				
	事後学習 必要があればインストール。自分だけで基本的な操作ができるか実際に操作して確認。 [2.0]				
	プログラミング、C言語について				
第3回	事前学習 (内容・時間) Lesson 1, 2 を読んで、第2回で学習した内容を踏まえて、実践してみる [2.0h]				
	事後学習 変数、および基本的な流れ図についての知識の理解度を確認し、復習する [2.0h]				
	値(数字、文字)の出力と標準出力				
第4回	事前学習 (内容・時間) Lesson3を読んで、16進数・8進数、指数標記、標準出力について調べる [2.0h]				
	事後学習 (内容・時間) 整数型、浮動小数点数型、printf関数についての理解を確認し、復習する [2.0h]				
	式と計算、算術演算とビット操作、いろいろな環境と動作の違い				
第5回	事前学習 (内容・時間) Lesson4を読んで、四則演算、ビット操作について調べる [2.0h]				
	事後学習 第5回までの総復習。特にビット操作のシフトについて復習する [2.0h]				
	変数とデータ型、値の入力と標準入力。定数とその活用				
第6回	事前学習 (内容・時間) Lesson5を読んでC言語の変数、データ型、標準入力について調べる [2.0h]				
	事後学習 C言語の変数、定数、データ型、scanf関数についての理解を確認し、復習する [2.0h]				
	基本制御構造、特に選択構造、条件と演算子、if.switch文の使い分け				
第7回	事前学習 Lesson6を読んで、選択、場合分け、ifとswitchの英単語のしての意味を調べる [2.0h]				
	事後学習 if, switchの使い分け、elseを使う/使わない場合の確認。流れ図での表現の確認 [2.0h]				
	基本制御構造、特に反復構造、定回反復と条件反復、前判定と後判定。その他の制御				
第8回	事前学習 (内容・時間) Lesson7を読んで、未知の用語の意味と使い方、使い分けについて調べる。				
	事後学習 for, while, do~whileの特徴、使い分けについて整理しておく。流れ図での表現(2通り)の確認 [2.0h]				

	選択構造、反復構造に関する演習
第9回	事前学習 (内容・時間) Lesson6,7を再度よく読んで、第7,8回の内容を復習する [2.0h]
	事後学習 できなかった問題、自信がない問題について、完成させるとともに理解を深める [2.0h]
	多量のデータの扱いに向けて、配列の導入
第10回	事前学習 (内容・時間) Lesson8を読んで、数学の変数、C言語の変数と配列の共通点と差異を調べる [2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 数学の数列、ベクトル、行列、テンソルなどと多次元配列との関連を表にまとめ復習する [2.0h]
	選択、反復、配列を用いた総合演習
第11回	事前学習 (内容・時間) Lesson8までを再度読んで、どのような組み合わせが使えそうか考えてつつ復習する [2.0h]
	事後学習 できなかった問題、自信がない問題について、完成させるとともに理解を深める [2.0h]
	文字と文字列の操作、手書き文字とCプログラムにおける文字コード
第12回	事前学習 Lesson9を読んで、プログラミング作業の流れをイメージしてみる。文字コードについて調べる [2.0h]
	事後学習 (内容・時間) Windows, Mac, Linuxで良く用いられる文字コードとそれらの総合変換について確認し、復習する [2.0h]
	応用的内容の概観(関数、再帰、可変長引数、インライン関数、関数マクロなど)
第13回	事前学習 Lesson10,11を読んで、使えそうな事例を考えてみる。未知の用語について調べる [2.0h]
	事後学習 応用的な機能の整理となぜそのような機能が必要になったかをまとめて、復習する [2.0h]
	総合演習
第14回	事前学習 (内容・時間) 第13回までに学習した内容を紙のノートにまとめる(ルーズリーフ可)。自信がない点は復習する [2.0h]
	事後学習 できなかった問題、自信がない問題について、完成させるとともに理解を深める [2.0h]
	まとめ
第15回	事前学習 これまでに学習したC言語の文法についてまとめておくこと [2.0h]
	事後学習 (内容・時間) これまで学習した実習問題の問題点を確認 [2.0h]
第16回	本科目の対象プログラミング言語であるC言語について、基礎的水準の問題を出題予定 またプログラミング言語に依存しないプログラミングに関する内容(例えば流れ図)についても、基礎的 水準の問題を出題予定

ナンバリング (Numbering)							
1AIN-6392-U2ET							
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
初級プログラミング実習 (教職関連科目 必 高等学校 情報)		219~222 経営情報学科	1 ソ・3年4・伊里		2単位	選択	合田 和正
オンライン授業 Online Class あり			スルームの利用 ogle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		「プログラミン	「情報リテラシー演覧 ッグ入門」に合格済、 他学科履修を認めな	または			に不自由がないこと、 と。

学則第3条を踏まえて、

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての基本的な知識・技能を習得することを目標とする。 具体的には、プログラミング統合環境の基本操作から始め、コーティング、コンパイル、デバック、実行といった基 本的なソフトウェア開発活動について学ぶ。さらにそれらの手順、流れを実習によって体得する。プログラミング 言語としてC言語を用いて、簡単なプログラムを例として、プログラミング技法を学ぶ。※Google Classroomを毎 回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

該当しない			
	授業を通して修得でき	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
77 田45++45 の知 ト	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving	0
	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
北京 ナウ州の知上	チームワーク	Teamwork	0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0
1 or sorial Qualities	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

プログラミング言語であるC言語の文法を修得すること。次にプログラミングとは何か。アルゴリズムとは何かに ついて、C言語を通して学習する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業内容に関して受講者が自主的にテーマを設定してレポートを作成してもらう。対話型の授業を心がける。ま ず授業内容について、実習を行う前に解説します。学生自身が実習を通して積極的に授業に参加するしくみを行 います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してくだ さい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:情報に関する検定試験を受験すること。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して提出すること。

※学内のパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
学生のための詳解C	中村 隆一	東京電機大学出版局	978-4-501-54260-3	
	参考文献 Referen	ce Books		
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
学生のためのC	内山 章夫 他	東京電機大学出版局	978-4-501-52310-7	
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation				

- 1) 提出物(授業の振り返りや小テスト、演習、その他の課題等)が約50%、
- 2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約50%
- 3) 次の2項目をきちんと理解しているか。①C言語の文法②プログラミングとは何か。 であって、かつ、これら1)、2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。

具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

	授業計画 Course Schedule			
	テーマ Theme			
	ガイダンス、授業内容の説明、受講上の注意、プログラミングについて			
第1回	事前学習 プログラミングの概要について学習すること。テキスト1頁(0.5時間)			
	事後学習 プログラムとは何かについて理解を深めること(0.5時間)			
	ガイダンス、授業内容の説明、受講上の注意、プログラミングについて(2)実習環境について			
第2回	事前学習 プログラミング環境の概要について学習すること。テキスト1頁(0.5時間)			
	事後学習 プログラムとはプログラミングとは何かについて理解を深めること(0.5時間)			
	プログラミング言語、C言語とは何か、C言語のスタイルについて: 座学・説明中心			
第3回	事前学習 プログラムの作成手順(テキスト1頁)、構造化プログラミングについて(0.5時間)			
	事後学習 (内容・時間) 流れ図について学習すること(0.5時間)			
	プログラミング言語、C言語とは何か、C言語のスタイルについて: 実習			
第4回	事前学習 プログラムの作成手順(テキスト1頁)、構造化プログラミングについてまとめること(0.5時間)			
	事後学習 流れ図について実際に描いてみることを含め、学習すること(0.5時間)			
	文字列の出力(1)、文字列の出力(2) 演習問題: 説明・留意点、ヒントなど座学中心			
第5回	事前学習 データの出力(テキスト4~10頁)を読んでprintf関数について学習すること(0.5時間)			
	事後学習 (内容・時間) 実習問題について自宅で確認すること(0.5時間)			
	文字列の出力(1)、文字列の出力(2) 演習問題: 実習			
第6回	事前学習 データの出力(テキスト4~10頁)を読んでprintf関数の機能についてまとめること(0.5時間)			
	事後学習 (内容・時間) 教科書掲載分や授業中の実習問題の類題を自作してプログラミングしてみること(0.5時間)			
	変数と型宣言、演習問題: 説明・座学中心			
第7回	事前学習 テキスト11頁、整数と実数について学習すること(0.5時間)			
	事後学習 (内容・時間) 実習問題をもう一度確認すること(0.5時間)			
	変数と型宣言、演習問題: 実習			
第8回	事前学習 テキスト11頁、整数と実数の違いにきをつけてまとめること(0.5時間)			
	事後学習 (内容・時間) 教科書計算の実習問題について、99頁までどのような問題かを一度確認すること(0.5時間)			

算術演算(加減乗除、剰余の計算) 演習問題: 説明・座学中心
第9回 事前学習 (内容·時間)	テキスト10~17頁を重点的に目を通しておくこと(0.5時間)
事後学習 (内容·時間)	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間)
算術演算(加減乗除、剰余の計算) 演習問題: 実習
第10回 事前学習 (内容·時間)	テキスト10~17頁を参照に目を通し、数学の演算記号との違いについてまとめておくこと(0.5時間)
事後学習 (内容·時間)	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間)
入力(1)入	カ(2)について 演習問題: 説明、座学中心
第11回 事前学習 (内容·時間)	テキスト13~17頁を読んで、scanf関数について学習する(0.5時間)
事後学習 (内容·時間)	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間)
入力(1)入	カ(2)について 演習問題: 実習
第12回 事前学習 (内容·時間)	テキスト13~17頁を読んで、scanf関数についてprintf関数と対比してまとめること(0.5時間)
事後学習 (内容·時間)	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間)
選択処理(if文)について 演習問題: 説明・座学中心
第13回 事前学習 (内容·時間)	テキスト24~33頁を読んでおくこと(0.5時間)
事後学習 (内容·時間)	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間)
選択処理(if文)について 演習問題: 実習
第14回 事前学習 (内容·時間)	テキスト24~33頁を読んで、今回の新しい内容をまとめておくこと(0.5時間)
事後学習 (内容·時間)	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間)
選択処理は	に関する演習問題: 説明・座学中心
第15回 事前学習 (内容·時間)	第3章選択処理に関する項目を読んでおくこと(0.5時間)
事後学習 (内容·時間)	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間)
選択処理は	に関する演習問題: 実習
第16回 事前学習 (内容·時間)	第3章選択処理に関する項目を読んで、具体的な制御文についてまとめておくこと(0.5時間)
事後学習 (内容・時間)	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間)

	反復処理(for文) 演習問題: 説明·座学中心
第17回	 事前学習 _(内容・時間) テキスト47~50頁のfor文に関する学習(0.5時間)
	事後学習 (内容・時間) 実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間)
	反復処理(for文) 演習問題: 実習
第18回	事前学習 テキスト47~50頁のfor文について、選択処理との違いをまとめておくこと(0.5時間)
	事後学習 実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間)
	くり返し処理(while文) 演習問題: 説明・座学中心
第19回	事前学習 (内容・時間) テキスト50~51頁 while文に関して事前に読んでおくこと(0.5時間)
	事後学習 (内容・時間) 実習問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間)
	反復処理(while文) 演習問題: 実習
第20回	事前学習 テキスト50~51頁 while文に関して事前に読んでfor文とのちがいをまとめておくこと(0.5時間)
	事後学習 実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間)
	反復処理(do-while文) 演習問題: 説明·座学中心
第21回	反復処理(do-while文) 演習問題: 説明・座学中心 事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関する事前理解(0.5時間)
第21回	事前学習 テキスト52~53頁 do-while/- 関する事前理解(0.5時間)
第21回	事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関する事前理解(0.5時間) 事後学習 実習問題の理解・解釈で問違った占 方針を確認(0.5時間)
第21回	事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関する事前理解(0.5時間) 事後学習 (内容・時間) 実習問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間)
	事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関する事前理解(0.5時間) 事後学習 (内容・時間) 実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間) 反復処理(do-while文) 演習問題: 実習 事前学習 テキスト52~53頁 do-whileに関して for文 while文との違いをまとめておくこと(0.5時間)
	事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関する事前理解(0.5時間) 事後学習 (内容・時間) 実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間) 反復処理(do-while文) 演習問題: 実習 事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関して、for文、while文との違いをまとめておくこと(0.5時間) 事後学習 実習問題の問違った点を確認し 会後は問意えにくいようにすること(0.5時間)
	事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関する事前理解(0.5時間) 事後学習 (内容・時間) 実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間) 反復処理(do-while文) 演習問題: 実習 事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関して、for文、while文との違いをまとめておくこと(0.5時間) 事後学習 (内容・時間) 実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間)
第22回	事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関する事前理解(0.5時間) 実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間) 反復処理(do-while文) 演習問題: 実習 事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関して、for文、while文との違いをまとめておくこと(0.5時間) 事後学習 (内容・時間) 実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間) 反復処理に関する総合的な演習問題: 説明・座学中心 事前学習 for文 while文 do-while文について理解する事(0.5時間)
第22回	事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関する事前理解(0.5時間) 事後学習 (内容・時間) 実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間) 反復処理(do-while文) 演習問題: 実習 事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関して、for文、while文との違いをまとめておくこと(0.5時間) 事後学習 (内容・時間) 実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間) 反復処理に関する総合的な演習問題: 説明・座学中心 事前学習 (内容・時間) for文、while文、do-while文について理解する事(0.5時間) 事後学習 実習問題の問題の理解・解釈で問違った点、方針を確認(0.5時間)
第22回	事前学習 (内容・時間) テキスト52~53頁 do-whileに関する事前理解(0.5時間) 事後学習 (内容・時間) 実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間) 反復処理(do-while文) 演習問題: 実習 事前学習 テキスト52~53頁 do-whileに関して、for文、while文との違いをまとめておくこと(0.5時間) 事後学習 (内容・時間) 実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間) 反復処理に関する総合的な演習問題: 説明・座学中心 事前学習 (内容・時間) for文、while文、do-while文について理解する事(0.5時間) 事後学習 (内容・時間) 実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間)

	配列(1) 1次元配列について 演習問題: 説明・座学中心
第25回	事前学習 (内容・時間) 第5章 1次元配列について事前に読んでおくこと(0.5時間)
	事後学習 (内容・時間) 実習問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間)
	配列(1) 1次元配列について 演習問題: 実習
第26回	事前学習 第5章 1次元配列について、これまでのデータ型との違いを理解しておくこと(0.5時間)
	事後学習 実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間)
	配列(2) 2次元配列について 演習問題: 説明・座学中心
第27回	事前学習 テキスト85~99頁の2次元配列について目を通しておくこと(0.5時間)
	事後学習 (内容・時間) 実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認(0.5時間)
	配列(2) 2次元配列について 演習問題: 実習
第28回	事前学習 テキスト85~99頁の2次元配列について、1次元配列との違いを整理しておくこと(0.5時間)
	事後学習 _(内容・時間) 実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間)
	総合演習
第29回	事前学習 これまでに学習したC言語の文法の確認(0.5時間)
	事後学習 (内容・時間) 実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること(0.5時間)
	まとめ
第30回	事前学習 これまでに学習したC言語の文法についてまとめておくこと(0.5時間)
	事後学習 これまで学習した実習問題の問題点を確認(0.5時間)
第31回 (定期試験)	プログラミング言語であるC言語の基礎的水準の内容に関する問題を出題予定

ナンバリング (Numbering)]						
1AIN-6522-U2ES								
	科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem	•	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	
(マネージメントゲーム (教職関連科目 選 高等学校 情報)		219~ 経営情報学科	2・3年生・後其	Я	2単位	選択	
	オンライン授業 Online Class なし		_	スルームの利用 logle Classroom	あり			

履修の前提条件 Course Prerequisites 「情報リテラシー演習 I 、II 」を履修済であること。「マネージメント科学」を修得済であることが望ましい。数学関連科目を受講していることが望ましい。

授業担当者 Instructor

古川 哲也

授業概要 Course Outline

他企業との競争に係る企業経営における意思決定について、デイプロマポリシーに基づき、課題を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得する。具体的には、意思決定の考え方を理解し、モンテカルロシミュレーションの演習をすると共に、ゲーム理論を学習する。また、簡便なビジネスゲームを体験して、ビジネス上の意思決定をする考え方や結果をマルティメディア表現することを学習する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得できる力 Competency Goals					
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening				
刀田的壮松の知上	数量的スキル	Mathematics	0			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0			
denone onine	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0			
	問題解決力	Problem Solving	0			
	建学の精神	University Founding Philosophy				
	自己管理力	Self-management				
総由 土力性の知上	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
i or oonar quantroo	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning				
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

乱数を使用した初歩的なシミュレーションが出来ると共に、利害が伴う相手との交渉をする場合の合理的な判断をデルを考えられるようになる。また、ビジネス上の判断の重要性を知る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学習した内容を、各自がパソコンを用いて実習する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡にはメールを用いる。

furukawa@econ.kyushu-u.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオ「科目別履修状況チェック表」を作成し、第5回、第10回、第15回の授業時に提出する。

教科書 Textbooks 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 必要に応じて資料を配布する。 参考文献 Reference Books 書名 Title ISBN⊐ード ISBN Code 著者名 Author 出版社 Publisher 経営科学と情報処理 宮川 公男、他 実教出版株式会社 ISBN 4-407-02775-4 ビジネスゲームセオリー ISBN978-4-535-55557-0 御立尚資、他 日本評論社

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

|課題とプレゼンテーションの結果(30点) + 定期試験(70点)

	授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme				
	授業内容、授業の進め方、成績評価の仕方を説明する。				
第1回	事前学習 資料を読んで、企業のマネージメントをゲームとして捉えることを理解する。(2時間)				
	事後学習 説明内容を復習し、技術用語、専門用語など不明なものは調べるなどして確認する。(2時間) (内容・時間)				
	決定理論 				
第2回	事前学習 (内容・時間) ・大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
	事後学習 (内容・時間) 練習問題を解き、それぞれの原理に基づく意思決定を求める。(2時間)				
	待ち行列の解析的分析				
第3回	事前学習 資料を読んで、どのような手順で待ち行列を分析するのかを理解する。(2時間)				
	事後学習 授業で分析したデータをExcelを用いて検証する。(2時間)				
	モンテカルロシミュレーション				
第4回	事前学習 資料を読んで、乱数とモンテカルロシミュレーションを理解する。(2時間) (内容・時間)				
	事後学習 授業で説明したExcelを用いたシミュレーションを完成する。(2時間)				
	モンテカルロシミュレーションの応用1 				
第5回	事前学習 例題として用いるシミュレーションの内容を理解する。(2時間)				
	事後学習 サービス窓口が2つのときのシミュレーションを完成する。(2時間) (内容・時間)				
	モンテカルロシミュレーションの応用2				
第6回	事前学習 例題として用いるシミュレーションの内容を理解する。(2時間)				
	事後学習 様々な状況のシミュレーションを完成し、企業の意思決定を行う。(2時間)				
	ゲーム理論の概要				
第7回	事前学習 (内容・時間) 資料を読んで、ビジネスをゲームとして形式化する考え方を理解する。(2時間)				
	事後学習 授業の内容を復習し、支配戦略とナッシュ均衡の練習問題を解く。(2時間) (内容・時間)				
	ゲーム理論とその応用				
第8回	事前学習 (内容・時間) ************************************				
	事後学習 授業の内容を復習し、意思決定の順序がある場合の均衡の練習問題を解く。(2時間)				

	ビジネスゲームとは
第9回	事前学習 (内容・時間) 資料のビジネスゲームの概要の部分を読んでおく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) ビジネスゲームで何を学習できるのかをレポートにまとめる。(2時間)
	シミュレーションのための企業モデル
第10回	事前学習 (内容・時間) 企業や市場がゲームの中でどのようなモデルで表されているかを理解する。(2時間)
	事後学習 市場をシミュレーションするExcelのワークシートを完成する。(2時間)
	モデル企業経営(練習)
第11回	事前学習 (内容・時間) 自身が所属する企業(チーム)の戦略を様々な状況をシミュレーションして考えておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 第1期、第2期の結果を分析し、各企業の戦略を評価する。(2時間)
	モデル企業経営
第12回	事前学習 (内容・時間) 練習の分析結果を基に、戦略を検討しておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 第1期、第2期の貸借対照表、在庫などから、企業(チーム)の財務状況等を把握する。(2時間)
	モデル企業経営(続き)
第13回	事前学習 (内容・時間) 企業(チーム)の財務状況等、他チームの状況等から、戦略を検討しておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 最終結果を分析し、自企業(チーム)の戦略を評価する。(2時間)
	マルティメディアを用いた経営結果プレゼンテーション資料の作成
第14回	事前学習 (内容・時間)
	事後学習 プレゼンテーション資料を完成する。(2時間)
	プレゼンテーションおよびビジネスゲームから知ること
第15回	事前学習 (内容・時間) 作成した資料を点検し、プレゼンテーションの練習しておく。(2時間)
	事後学習 他の企業(チーム)のプレゼンテーションを評価し、レポートをまとめる。(2時間)
第16回	定期試験

ナンバリング (Numbering 1AIN-6403-Z2ES						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年•学斯 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング 論(教職関連科目 選 高等学校 情報	共通 経営情報学科	3・4年生・前期		2単位	選択	合田 和正
オンライン授業 Online Class	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites	ビジネスプロ	グ入門に合格してし 1グラミング(他学科) プログラミング未経	覆修)に	合格済であ	ることか	「望ましい。

学則第3条を踏まえて、

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての知識・技能を習得することを目標とする。 具体的には、フローチャートや変数表を活用して第三者が作成したプログラムを理解したり、更新したりできるようにする。また、逆に第三者が理解や更新を施すのが容易なプログラムの記述方法、例えば字下げや注釈添付なども学ぶ。さらに高度なプログラムを作成し、より高品質、より高信頼のプログラム作成を目指す。高品質を実現する方法の一つとしてGUI(Graphical User Interface)を用いた、プログラム作成にも挑戦してみる。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understandin	ス 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
刀田的牡化の知上	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
Generio erane	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management		
** 士力性の知り	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 ordenar quanties	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

プログラミング入門で学習したプログラミングの基礎理論に基づいて、そしてさらにイベント駆動やオブジェクト指向といった異なるプログラミング様式にも触れながら実際に多くのプログラムを作成しつつ、プログラミング理論への理解をいっそう深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

演習課題などを通して各自のPCで実際にプログラミングを行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。 ※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 資料を配布します。 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 学生のためのExcel VBA 第2版 若山芳三郎 東京電機大学出版局 978-4-501-55450-7 成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- 1) 提出物(授業の振り返りや課題等)が約60%、
- 2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
- であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。 具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

	授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme				
	関連項目の総復習・プレースメント試験				
第1回	事前学習 プログラミング入門の内容を復習し、プレースメント試験に備える。[2.0h]				
	事後学習 (内容・時間) 不正解、不安、不明な問題について復習。振り返りを書く。[2.0h]				
	開発環境、文字列出力、命令文、GUI部品の基本				
第2回	事前学習 GUIとCUIについて調べる。GUI部品について調べる。[2.0h]				
	事後学習 授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]				
	基本データ型と宣言文、定数、演算子				
第3回	事前学習 基本データ型について調べる。[2.0h]				
	事後学習 授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]				
	データ型I (整数型を中心に)				
第4回	事前学習 (内容・時間) 整数型、浮動小数点数型、固定小数点数型について調べる。[2.0h]				
	事後学習 授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]				
	制御文I(選択構造)				
第5回	事前学習 制御文について調べる。 [2.0h]				
	事後学習 授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]				
	データ型II (整数型以外)				
第6回	事前学習 (内容・時間) 文字型、通貨型、配列について調べる。[2.0h]				
	事後学習 授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]				
	制御文II(反復構造)				
第7回	事前学習 繰り返し文(反復文)について調べる。 [2.0h]				
	事後学習 授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]				
	中間試験				
第8回	事前学習 第7回までの内容(プログラミング入門の内容を含む)を総復習して備える。[2.0h]				
	事後学習 (内容・時間) 不正解、不安、不明な問題について復習。振り返りを書く。[2.0h]				

	プログラムの抽象化
第9回	事前学習 抽象化・一般化、具体化・特殊化について調べる。[2.0h]
	事後学習 _(内容・時間) 授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
	手続きと関数I(戻り値なし)
第10回	事前学習 手続きについて調べる。[2.0h]
	事後学習 _(内容・時間) 授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
	手続きと関数II(戻り値あり)
第11回	事前学習 (内容・時間) 関数について調べる。[2.0h]
	事後学習 授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
	再帰とスタック
第12回	事前学習 再帰、スタック、キューについて調べる。[2.0h]
	事後学習 授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
	応用プログラムI
第13回	事前学習 (内容・時間) 12回までの内容をまとめる。 [2.0h]
	事後学習 授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
	応用プログラムⅡ
第14回	事前学習 (内容・時間) 13回で何がよかった、足りなかったかを踏まえて準備する。[2.0h]
	事後学習 授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
	まとめ
第15回	事前学習 (内容・時間) 14回までの内容をまとめる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 定期試験に向けて、想定問題を作成し、解答の説明を考える。振り返りを書く。[2.0h]
第16回	
第16回(定期試験)	定期試験等

ナンバリング (Numbering)							
1AIN-6414-Z2ES	1AIN-6414-Z2ES						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
中級プログラミング実 (教職関連科目 選 高等学校		219~222 経営情報学科	3·4年生•後其	Я	2単位	選択	宮﨑武
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites		初級プログラ	ラミング実習およびこ	プログラ	ラミング論を両	方とも	合格していること。

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではプログラムの作成仕様を満足するだけでなく、第三者にとって、理解、保守が容易なプログラムを作成できるようになることを目指す。その中で効率的なプログラミングや効果的な注釈文の書き方を体得していく。より高度なプログラミングに対応するために実習を通して配列などの複雑なデータ構造やそれらのデータを操作するための演算子への理解をさらに深める。そして、プログラムを抽象化することで見通しの良い、理解が容易なプログラムに仕上げる手法について学ぶ。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0	
刀甲的针丝の钳上	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
deliterite entitle	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management		
** 十九州の知上	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
i ordenar quanties	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

初級プログラミング実習を基礎として、さらに高度なプログラミングに挑戦する。また、他者にも理解できるプログラミングができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回各自のPCで、実際に手を動かしてプログラミングをしてください。また、自身が作成したプログラムについての発表もしてもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室(274)にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義中に各自のPCで小規模なプログラミングを行う演習を行います。また、宿題として次の講義までにもう少し規模の大きなプログラムを作成する課題を出します。次の講義ではそのプログラムについて解説をします。

また、定期試験の代わりにプログラムの作成とプログラムの解説や実行結果などをまとめたレポートを作成する課題を提出します。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
新 わかりやすいJava 入門編 第3版	川場隆	秀和システム	978-4-7980-6775-9		
	参考文献 Referen	ce Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
独習Java 新版 スッキリわかるJava入門	山田祥寛 中山清喬/国本大悟	翔泳社 インプレス	978-4-7981-5112-0 978-4-295-00780-7		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

|講義のプログラミング課題(40%)、レポート試験(60%)で評価

	授業計画 Course Schedule			
	テーマ Theme			
	ガイダンス、開発環境のインストール			
第1回	事前学習 シラバスを読み、PCのアップデート等がないか確認する(0.5h)			
	事後学習 (内容・時間) 教科書第1章を読みながらソフトの起動をする(0.5h)			
	開発環境の構築			
第2回	事前学習 シラバスを読み、PCのアップデート等がないか確認する(0.5h)			
	事後学習 (内容・時間) 教科書第1章を読みながらソフトの起動をする(0.5h)			
	プログラムの書き方			
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2.1節を読んでおく(0.5h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(0.5h)			
	変数			
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2.2,2.3節を読んでおく(0.5h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(0.5h)			
	各自の作成したプログラムの発表および意見交換			
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2.1~2.3節を読んでおく(0.5h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(0.5h)			
	演算子			
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2.4~2.6節を読んでおく(0.5h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(0.5h)			
	各自の作成したプログラムの発表および意見交換			
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2.4~2.6節を読んでおく(0.5h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(0.5h)			
	標準クラスのメソッド			
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書第2.7~2.10節を読んでおく(0.5h)			
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(0.5h)			

	各自の作用	成したプログラムの発表および意見交換
第9回	事前学習 (内容·時間)	教科書第2.7~2.10節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
	 配列とレコ	ı—ド
第10回	事前学習 (内容·時間)	教科書第3.1, 3.2節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
	各自の作用	成したプログラムの発表および意見交換
第11回	事前学習 (内容·時間)	教科書第3.1, 3.2節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
	リスト	
第12回	事前学習 (内容·時間)	教科書第3.3, 3.4節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
	各自の作用	成したプログラムの発表および意見交換
第13回	事前学習 (内容·時間)	教科書第3.3, 3.4節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
	メソッド	
第14回	事前学習 (内容·時間)	教科書第4章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
	各自の作り	成したプログラムの発表および意見交換
第15回	事前学習 (内容·時間)	教科書第4章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
	条件を作品	成する演算子
第16回	事前学習 (内容·時間)	教科書第5.1節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)

	各自の作品	或したプログラムの発表および意見交換
第17回	事前学習 (内容·時間)	教科書第10章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
i	if文	
第18回	事前学習 (内容·時間)	教科書第5.2節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
٤	各自の作品	或したプログラムの発表および意見交換 ************************************
第19回	事前学習 (内容·時間)	教科書第5.2節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
5	switch文と	switch式
第20回	事前学習 (内容·時間)	教科書第5.3,5.7節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
	各自の作品	或したプログラムの発表および意見交換
第21回	事前学習 (内容·時間)	教科書第5.3,5.7節を読んでおく(0.5h)
1	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
f	for文	
	事前学習 (内容·時間)	教科書第5.4節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
٤	各自の作品	或したプログラムの発表および意見交換 ************************************
	事前学習 (内容·時間)	教科書第5.4節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)
	while文とシ	ジャンプによる制御
	事前学習 (内容·時間)	教科書第5.5~5.6節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(0.5h)

	各自の作成したプログラムの発表および意見交換
第25回	事前学習 _(内容・時間) 教科書第5.5~5.6節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容・時間) 課題を行う(0.5h)
	オブジェクトの作成
第26回	事前学習 (内容・時間) 教科書第6章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 _(内容・時間) 課題を行う(0.5h)
	各自の作成したプログラムの発表および意見交換
第27回	事前学習 (内容・時間) 教科書第6章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容・時間) 課題の復習を行う(0.5h)
	オブジェクトの仕組み
第28回	事前学習 教科書第7章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容・時間) 課題の復習を行う(0.5h)
	各自の作成したプログラムの発表および意見交換
第29回	事前学習 教科書第7章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容・時間) 課題の復習を行う(0.5h)
	継承
第30回	事前学習 教科書第8章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 (内容・時間) 課題の復習を行う(0.5h)
第31回(定期試験)	レポート試験

ナンバリング (Numb	ering)						
1AIN-5610-Z2E	ĒΤ						
科目名 Class		入学年度 Admission Year School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor	
コンピュータグラフィックス論 (教職関連科目 必 高等学校 情報)		219~ 経営情報学科	3・4年生・前其	A	2単位	選択	鶴野 玲治
オンライン授業 Online Class	なし	_	ラスルームの利用 pogle Classroom				
			って事前学習、事後学				この英語力が必要になり

履修の前提条件 Course Prerequisites 基礎的な数学や物理学の知識、また、説明を読解するため若干の英語力が必要になりま

windowsへのソフトウエア導入と設定、基本的な操作やエラー対応などは各自で対応できる という前提で進めます。

授業概要 Course Outline

この授業では建学の精神『至心』に基づいて、心に描いたものを表現し、人に伝え、お互いの考えを理解する方法として、コ ンピュータを使ったビジュアルな表現方法を学びます。人は8割から9割の情報を視覚を通して取得しています。視覚に働き かける表現方法として、三次元CG(コンピュータグラフィックスを扱います。三次元CGの基礎を講義し、演習を通して体験的 に学びます。CGの処理は三次元の物体や空間をコンピュータの中にどのように定義するかという「モデリング」とこれを二次 元的なコンピュータ画像としてどのように表現するかという「レンダリング」に大きく分けることができます。本科目ではこの流 れを概観しながら、これらを構成する技術や考え方を解説し、同時にCGソフトウエア(PovRay)を使った演習を通して体験的 に学んでいきます。

実務経験のある教員による科目		実務経験内容		実務経験をいかした教育内容		
Subject Taught by The Faculty with Work Experience		Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない						
		授業を通して修得できる力	Competency	y Goals		
知識・理解の観	.点	多文化・異文化に関する知識の理例	解	Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding		人類の文化・社会と自然に関する知識の理解		Human Culture / Society / Nature		

授業を通して修得できる力 Competency Goals						
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening			
77 四44++44: 0 知 上	数量的スキル	Mathematics		0		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	,	0		
deficite okilis	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving		0		
	建学の精神	University Founding	Philosophy			
	自己管理力	Self-management		0		
** まちせる知り	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
1 or sorial Qualities	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	У			
	生涯学習力	Lifelong Learning		0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience			
Creative Thinking Skills	kills					

到達目標 Objectives

コンピュータグラフィックスの本質は情報科学です。コンピュータの中に人工的な空間や物体を設定し、光を計算 して画像を作ります。そのために空間や被写体を感覚的にとらえ、構造や配置などを論理的に考えて記述しま す。この一連の流れを通して知識だけでなく論理的思考力や問題解決力を身につけることが目標です。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

最初のうちは説明を聞いて例題を試してください。そのあとは自分なりに応用的な課題を設定し、各自で進めてく ださい。たくさんの試行錯誤の中から問題の本質を見極めてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員は非常勤なので授業の時以外は学内には居ません。質問や相談は授業の時にお願いします。 緊急の場合のみ、メールで受け付けます。アドレスは授業中にお伝えします。メールには必ず、所属名、授業名、 氏名を記述してから問い合わせ内容を書いてください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

インターネットからオンラインソフトウェアをダウンロードしインストールします。

これらが可能な自分専用のwindowsの入ったPCを用意してください。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks						
書名 Title	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
POV-Rayによる3次元CG制作 ーモデリングからアニメーションまでー	鈴木広隆·倉田和夫· 佐藤尚	CGARTS協会	978-4-903474-19-9			
	参考文献 Reference Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
コンピュータグラフィックス	コンピュータグラフィックス [改訂新版]編集委員会	CGARTS協会	978-4-903474-49-6			
+4=====+++++++++++++++++++++++++++++++						

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

毎回の授業での課題を出題し、さらに全体を通した最終課題を出題します。

試験については、授業内容の理解度、理論の応用力、表現力、構成力など判断し(60%)、これに平常点(毎回の 課題等)(40%)を加えて最終評価とします。

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	三次元CG技法の概観。全体を構成する技術とそれによって作られる画像や映像を解説。					
第1回	事前学習 一般的な事例の確認(2h)					
	事後学習 紹介した技術、理論、事例の再確認(2h)					
	空間座標系、モデリングとレンダリングの説明。実習ソフトウエア(povray)の説明と動作確認。					
第2回	事前学習 幾何学の概念の復習、コンピュータos(windows)とソフトウエアインストール環境の確認(2h)					
	事後学習 コンピュータグラフィックスの技術的視点からの考え方の復習、ソフトウエア動作確認(2h)					
	空間の考え方。直交座標系の中での光源、視点、投影空間などの説明、単一のオブジェクトを描く。					
第3回	事前学習 三次元空間の扱い方の復習、ソフトウエアインストールと動作確認(2h)					
	事後学習 ソフトウエア内での空間の扱い方の概念の復習(2h)					
	空間の中でのオブジェクトの配置、シーンスクリプト(記述言語)の構成と簡単な文法を説明。					
第4回	事前学習 データの入力と編集方法の予習(2h)					
	事後学習 モデリング、エディッティング、レンダリングの一連の動作の再確認(2h)					
	反射色と発光色の概念。RGB(Red,Green,Blue)のみを使って加法混色と減法混色を表現する					
第5回	事前学習 (内容・時間) 光学系、色の表現と取扱い方法の予習(2h)					
	事後学習 仮想的な色と光のモデル、発光と反射による表現実験(2h)					
	座標変換。平行移動、回転移動、スケーリングの考え方と変換方法。スクリプトでの実装。					
第6回	事前学習 (内容・時間) 座標変換、幾何学的変換の予習(2h)					
	事後学習 アフィン変換の実験と結果の確認、オブジェクトモデリングへの適用と確認(2h)					
	連続的、パラメトリックな座標変換。パラメータを使った複数オブジェクトの取り扱い方法を確認。					
第7回	事前学習 モデリングとレンダリングでの定数と変数の扱い方の予習(2h)					
	事後学習 パラメータ化による自動変換方法の確認(2h)					
_	CSGモデリング。物体形状を基本立体の演算(union, difference, intersection)で表現する。					
第8回	事前学習 (内容・時間) 空間内形状演算方法の予習(2h)					
	事後学習 (内容・時間) 空間内形状演算の実験と結果の確認、応用モデルの試作(2h)					

	前半で解説、実習した内容を応用し、課題制作を行う。
第9回	事前学習 (内容・時間) 任意のオブジェクト、シーン、光源環境、動作等の構想(2h)
	事後学習 (内容・時間) 上記の表現方法、スクリプト記述方法の試行、レンダリングと結果確認(2h)
	表面模様の表現方法。マッピングの考え方を解説し、演習する。
第10回	事前学習 テクスチャマッピングの概念の確認(2h)
	事後学習 スクリプトへの実装方法の復習、レンダリング結果の再確認(2h)
	材質感の表現方法。物体表面の反射モデルを説明し、石、木材、金属などの質感表現を実習する。
第11回	事前学習 マテリアル表現、反射特性の考え方の予習(2h)
	事後学習 反射モデルの分類と特性と効果の再確認(2h)
	透明で光が屈折するモデルを説明する。ガラス、水晶、水などの質感表現を実習する。
第12回	事前学習 (内容・時間) マテリアル表現、光の透過屈折特性の考え方の予習(2h)
	事後学習 透過屈折モデルの特性とレンダリング結果の再確認(2h)
	照明モデルを説明する。平行光線、点光源、指向性光源のモデルとその効果を実習する。
第13回	事前学習 ライティングの概念の予習、光源モデルの確認(2h)
	事後学習 光源モデルの与え方とスクリプトでの記述方法の復習、レンダリング結果の確認(2h)
	CSG、表面反射、透明屈折、照明効果、空間文字列を加えたシーンを練習課題とする。
第14回	事前学習 (内容・時間) 具体的なシーンをイメージしそれぞれを表現する方法や記述方法を計画(2h)
	事後学習 試行錯誤を通じて具体的なシーンのレンダリングを試行する(2h)
	シーン構成、データ化、レンダリング、フィードバックなど、制作の工程を想定して制作する。
第15回	事前学習 具体的なシーンを構成する個々のエレメントのデータ化を考える(2h)
	事後学習 個々の技術を考えながら全体の具体的なイメージを制作する(2h)
第16回	定期試験

ナンバリング(Numb	pering)						
1EAN-6020-22	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
中級簿記		224~ 経営情報学科	0年生 前期		2単位	選択	岩下 昌美
中級簿記演習	I	219~223 経営情報学科	· 2年生∙前期		2年世	送扒	石厂目大
オンライン授業 Online Class	なし		oogleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条(Course Prerequis		複式簿記(3級)の基本知識を習得していることが望ましい。 「会計学入門」・「簿記 I・II」などの会計関連科目を履修していることが望ましい 電卓必須。遅刻は厳禁。					

ディプロマポリシーにもとづき,この授業では、簿記の専門的レベルの知識・技能について説明します。 複式簿記とは、企業の日々の経営活動を記録・計算・整理して経営成績と財政状態を明らかにする原理と技能 のことです。本講義では、簿記 I・II で習得した複式簿記の基礎的な原理・技術に加えて、日本商工会議所主催 の簿記検定2級の商業簿記の内容、つまり、株式会社の経営活動に関わる会計処理・決算手続きを学んでいき ます。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

ただし、内容は広範囲にわたるため、後期開講の「中級簿記演習 II 」までが2級の学習範囲となります。 簿記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席することがとても重要です。

実務経験内容

Work Experience Content

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
刀甲的针丝の知上	数量的スキル	Mathematics	0	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
donono okino	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving	0	
	建学の精神	University Founding Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management	0	
能由 土力州の知上	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
r orderial qualities	倫理観	Ethical Sense	0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning	0	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

本講義では、日本商工会議所検定2級の商業簿記の内容中心に簿記の技術や理論を学び、株式会社の経済活動を記録・計算・整理・集計したものを活用して、財務諸表を作成することができることを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。 授業終了時には毎回の理解度をチェックするため、ミニテストを実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは2号館2階270室の研究室にて, オフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。

ただし、研究室への来室は事前にメール(masami-i@g.kiis.ac.jp)などでご相談ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
合格テキスト 日商簿記2級 商業 簿記 Ver.17	TAC簿記検定講座	TAC出版	978-4300106570			
	参考文献 Referen	ce Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code			
スッキリわかる 日商簿記2級 商業 簿記 最新版 テキスト&問題集	滝澤 ななみ	TAC出版				
	亚価支法 Crading Critoria	/ Mathed of Evaluation				

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:定期試験(50%), 平常点(30%), 課題への取組み(20%)。 平常点は毎回の課題提出や講義への参加状況で判断します。 成績評価の基準:①仕訳ができるか。②補助簿への記入ができるか。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション(講義の進め方,講義内容,受講上の諸注意,評価方法等を確認する。) 簿記 I・II (3級)の復習 【テーマ00】簿記一巡の手続き
第1回	事前学習 テキストの【テーマ00】を一読してください。(2時間)
	事後学習 配布する復習問題を解いてください。(2時間)
	【テーマ01】財務諸表:損益計算書・貸借対照表 ・財務諸表の様式を学習します。
第2回	事前学習 「ウェストの【テーマ01】を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	【テーマ02】商品売買 ・商品売買取引の記帳方法,返品・割戻,仕入・売上の計上基準,期末評価について学習します。
第3回	事前学習 テキストの【テーマ02】を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	【テーマ03】現金および預金 ・当座預金の調整(預金残高の不一致の原因の会計処理),銀行勘定調整表の作成,定期預金について学習します。
第4回	事前学習 テキストの【テーマ03】を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	【テーマ04】債権・債務・クレジット売掛金、手形取引、電子記録債権・債務、その他の債権の譲渡について学習します。
第5回	事前学習 テキストの【テーマ04】を一読してください。(2時間)
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	【テーマ05】有価証券 ・有価証券の範囲,分類,株式の処理,公社債(債券)の処理,有価証券の期末評価について学習します。
第6回	事前学習 「ウキストの【テーマ05】を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 配布する復習問題を解いてください。(2時間)
	【テーマ06】有形固定資産(I) ・固定資産の購入,減価償却,固定資産の売却について学習します。
第7回	事前学習 テキストの【テーマ06】を一読してください。(2時間)
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	【テーマ07】有形固定資産(Ⅱ) ・割賦購入,建設仮勘定,改良と修繕,除却と廃棄,買換え,臨時損失,圧縮記帳について学習します。
第8回	事前学習 テキストの【テーマ07】を一読してください。(2時間)
	事後学習 配布する復習問題を解いてください。(2時間)

*** • -	「テーマ08】リース取引 ・リース取引の仕組み,分類,借手側の会計処理,ファイナンス・リース取引(売買処理),オペレー ティング・リース取引(賃貸借処理)について学習します。
第9回	事前学習 内容・時間)
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	テーマ09】無形固定資産等と研究開発費 ・無形固定資産,投資その他の資産,研究開発費について学習します。
第10回	事前学習 テキストの【テーマ09】を一読してください。(2時間) 内容・時間)
	事後学習 内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	テーマ10】引当金 ・引当金の意義,貸倒引当金,その他の引当金について学習します。
第11回	事前学習 テキストの【テーマ10】を一読してください。(2時間) 内容・時間)
	事後学習 内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	テーマ11】外貨換算会計 ・為替換算,外貨建取引の会計処理,為替予約について学習します。
第12回	事前学習 テキストの【テーマ11】を一読してください。(2時間) 内容・時間)
	事後学習 内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	テーマ12】税金 ・税金の分類,法人税等,消費税について学習します。
第13回	事前学習 テキストの【テーマ12】を一読してください。(2時間) 内容・時間)
	事後学習 内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	まとめ(1) 総合演習
第14回	事前学習 第1回から第7回までの復習問題・解答を再度確認してください。(2時間) 内容・時間)
	事後学習 配布する演習問題を解いてください。(2時間) 内容・時間)
	まとめ(2) 総合演習
第15回	事前学習 内容・時間) 第8回から第13回までの復習問題・解答を再度確認してください。(2時間)
	事後学習 内容・時間)配布する演習問題を解いてください。(2時間)
第16回	60分の定期試験(電卓持ち込み可)

ナンバリング (Numbering) 1EAN-6030-22E						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年·学婷 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
中級簿記演習Ⅱ	219~223 経営情報学科	2年生・後期		2単位	選択	岩下 昌美
オンライン授業 Online Class なし		スルームの利用 ogle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	複式簿記(3級)の基本知識を習得していることが望ましい。 前期開講の「中級簿記演習 I 」を履修し単位を取得していることが望ましい。 電卓必須。遅刻は厳禁。					-

ディプロマポリシーにもとづき、この授業では、簿記の専門的レベルの知識・技能について説明します。 複式簿記とは、企業の日々の経営活動を記録・計算・整理して経営成績と財政状態を明らかにする原理と技能のことです。本講義では、簿記 I・II で習得した複式簿記の基礎的な原理・技術に加えて、日本商工会議所主催の簿記検定2級の商業簿記の内容、つまり、株式会社の経営活動に関わる会計処理・決算手続きを学んでいきます。

ただし、前期開講の「中級簿記演習 I 」を引き継ぎ学習していきます 簿記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席することがとても重要です。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない				
授業を通して修得できる力、Competency Goals				

授業を通して修得できる力 Competency Goals						
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understar	ding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening				
77 四 44 + 44 45 47 H	数量的スキル	Mathematics	0			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
denono omio	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management	0			
华克 士力州 の知り	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
r or oorial qualities	倫理観	Ethical Sense	0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience	·			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

本講義では,日本商工会議所検定2級の商業簿記の内容中心に簿記の技術や理論を学び,株式会社の経済 活動を記録・計算・整理・集計したものを活用して,財務諸表を作成することができることを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。授業終了時には毎回の理解度をチェックするため、ミニテストを実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡,問い合わせ,相談などは2号館2階270室の研究室にて,オフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。

ただし、研究室への来室は事前にメール(masami-i@g.kiis.ac.jp)などでご相談ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、後期定期試験日までに メールで提出してください。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author 出版社 Publisher		ISBNコード ISBN Code			
合格テキスト 日商簿記2級 商業 簿記 Ver.17	TAC簿記検定講座	TAC出版	978-4300106570			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
スッキリわかる 日商簿記2級 商業 簿記 最新版 テキスト&問題集	滝澤 ななみ	TAC出版				

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:定期試験(50%), 平常点(30%), 課題への取組み(20%)。 平常点は毎回の課題提出や講義への参加状況で判断します。 成績評価の基準:①仕訳ができるか。②決算整理事項をもとに財務諸表等の作成ができるか。

	授業計画 Course Schedule					
テーマ Theme						
	オリエンテーション(講義の進め方, 講義内容, 受講上の諸注意, 評価方法等を確認する。) 中級簿記演習 I・II の復習					
第1回	事前学習 テキストの【テーマ00】~【テーマ12】を一読してください。(2時間)					
	事後学習 配布する復習問題を解いてください。(2時間)					
	【テーマ13】課税所得の算定と税効果会計 ・課税所得, 差異の発生と解消, 税効果会計の意義, 一時差異と永久差異, 将来減算一時差異, そ の他有価証券評価差額金にかかる税効果会計, 税効果会計の仕訳について学習します。					
第2回	事前学習 テキストの【テーマ13】を一読してください。(2時間)					
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)					
	【テーマ14】株式の発行 ・株式会社の概要, 純資産(資本), 株式の発行, 株式申込証拠金について学習します。					
第3回	事前学習 テキストの【テーマ14】を一読してください。(2時間)					
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)					
	【テーマ15】剰余金の配当と処分 ・利益剰余金の配当と処分, 利益準備金の積立て, その他資本剰余金による配当, 株主資本の計数の変動, 株主資本等変動計算書について学習します。					
第4回	事前学習 テキストの【テーマ15】を一読してください。(2時間)					
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)					
	【デーマ16】決算手続 ・決算の意義,決算手続,精算表,勘定の締切り,月次損益の算定,決算整理仕訳について学習しま す。					
第5回	事前学習 テキストの【テーマ16】を一読してください。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)					
	【テーマ17】収益の認識基準 ・サービス業(役務収益, 役務原価), 収益認識の基本原則, 契約資産と債権, 売上割戻について学習します。					
第6回	事前学習 テキストの【テーマ17】を一読してください。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)					
第7回	【テーマ18】本支店会計 ・本支店間取引(内部取引), 支店間取引, 決算手続, 決算振替(純損益の振替), 本支店合併財務諸表の作成について学習します。					
	事前学習 テキストの【テーマ18】を一読してください。(2時間)					
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)					
第8回	【テーマ19】合併と事業譲渡 ・合併,事業譲渡,のれんの償却について学習します。					
	事前学習 テキストの【テーマ19】を一読してください。(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)					

	【テーマ20】連結会計 I (資本連結 I) ・連結会計の意義, 連結財務諸表と作成方法, 連結財務諸表の構成, 支配獲得日の連結, 投資と資本の相殺消去について学習します。
第9回	事前学習 テキストの【テーマ20】を一読してください。(2時間)
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	【テーマ21】連結会計Ⅱ(資本連結Ⅱ) ・支配獲得後の連結,連結精算表について学習します。
第10回	事前学習 テキストの【テーマ21】を一読してください。(2時間)
	事後学習 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
*******	【テーマ22】連結会計Ⅲ(成果連結) ・成果連結と連結修正仕訳, 内部取引高と債権・債務の相殺消去, 未実現利益(棚卸資産, 土地など の売買)の消去について学習します。
第11回	事前学習 テキストの【テーマ22】を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
## 4 O 🗔	【テーマ23】連絡会計IV(連結株主資本等変動計算書作成) ・連結株主資本等変動計算書の概要,連結財務諸表の関係,連結修正仕訳,連結精算表について 学習します。
第12回	事前学習 テキストの【テーマ23】を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	【テーマ24】製造業会計 ・残高試算表、決算整理、財務諸表について学習します。
第13回	事前学習 テキストの【テーマ24】を一読してください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。(2時間)
	まとめ(1) 総合演習
第14回	事前学習 第1回から第7回までの復習問題・解答を再度確認してください。(2時間)
	事後学習 配布する演習問題を解いてください。(2時間)
第15回	まとめ(2) 総合演習
	事前学習 第8回から第13回までの復習問題・解答を再度確認してください。(2時間)
	事後学習 配布する演習問題を解いてください。(2時間)
第16回	60分の定期試験(電卓持ち込み可)

ナンバリング (Numbering 1EAN-5480-22E)					
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
原価計算論	224~ 経営情報学科	- 2年生·前期		2単位	選択	山下 壽文
原価計算論 I	219~223 経営情報学科			2年1世	迭扒	ш г н Х
オンライン授業 Online Class なし	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites ることが望ましい。		養者主催簿記	· 拾定詞	试験3級程度を理解してい		

講義では、「原価計算基準」にもとづいて、日本商工会議所主催簿記検定試験2級「工業簿記」の内容をテキストをもとに解説、例題による確認、練習問題を解いて復習することにより、工業簿記の基礎を修得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience		実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない					
		授業を通して修得できる力	Competency	y Goals	
知識・理解の観占		多文化・異文化に関する知識の理解		Multiple Culture / Different Culture	

技耒を通して修存できる力 Competency Goals						
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識の理解		Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解		Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening			
77 CT 44 14 0 5 14 1	数量的スキル	Mathematics		0		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
denone oning	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		0		
	問題解決力	Problem Solving		0		
	建学の精神	University Founding Philosophy		0		
	自己管理力	Self-management		0		
	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
1 croonal Qualities	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	/			
	生涯学習力	Lifelong Learning		0		
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	kills			

到達目標 Objectives

講義では、学則第3条を踏まえて、経営学分野の原価計算について知識を修得することを目標とする。そのため、原価計算、工業簿記の基本的項目を体系的に整理・理解し、製造業の取引を記録、計算、分類、集計して財務諸表作成までを学習する。また、日本商工会議所主催簿記検定試験2級工業簿記に合格できる能力を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- 対話型の講義を心がけるので、質問等積極的な取組みを期待する。
- 講義内で実施する小テストを活用し、講義内容の理解を深めるとともに講義への積極的な参加を促す。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室にて行う。オフィスアワー以外で質問、相談等がある場合は、事前にメール等でアポイン トメントを取ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価等、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

	教科書 Textbooks							
	書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code 市販されていません 初回講義で購入してください				
	原価計算論 I	山下壽文	冊子(実費)					
参考文献 Reference Books								
	書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
	検定簿記講義2級工業簿記 岡本清他		中央経済社	978-4-502-83553-7				
	成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation							

.定期試験60%、小テスト40%で評価。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	オリエンテーション(講義の内容・進め方)、工業簿記と原価計算				
第1回	事前学習 テキスト第1回を読んで内容を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容の復習。(2時間)				
	原価の勘定体系				
第2回	事前学習 テキスト第2回を読んで内容を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容の復習。(2時間)				
	製造原価報告書の作成				
第3回	事前学習 テキスト第3回を読んで内容を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容の復習。(2時間)				
	原価の費目別計算(1): 材料費				
第4回	事前学習 テキスト第4回を読んで内容を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容の復習。(2時間)				
	原価の費目別計算(2): 消費賃金(労務費)、経費				
第5回	事前学習 テキスト第5回を読んで内容を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容の復習。(2時間)				
	製造間接費・個別原価計算:製造間接費の配賦、原価計算表の作成				
第6回	事則字省 (内容・時 テキスト第6回を読んで内容を整理しておくこと。(2時間) 問)				
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)				
	部門別計算:部門費の集計、補助部門費の配賦、製造部門費の予定配賦				
第7回	事前学習 テキスト第7回を読んで内容を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)				
	総合原価計算(1): 期末仕掛品の計算				
第8回	事前学習 テキスト第8回を読んで内容を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容の復習。(2時間)				

	総合原価計算(2): 等級別・組別・工程別・連産品総合計算表、副産物の評価・処理						
第9回	事前学習 テキスト第9回を読んで内容を整理しておくこと。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容の復習。(2時間)						
	標準原価計算:原価差異と原価分析、標準原価計算の記帳						
第10回	事前学習 テキスト第10回を読んで内容を整理しておくこと。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容の復習。(2時間)						
	直接原価計算:損益分岐点分析、全部原価計算と直接原価計算						
第11回	事前学習 (内容・時間) テキスト第11回を読んで内容を整理しておくこと。(2時間)						
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)						
	工場独立会計						
第12回	事前学習 (内容・時間) テキスト第12回を読んで内容を整理しておくこと。(2時間)						
	事後学習 テキストおよび講義内容の復習。(2時間)						
	総合問題(1)						
第13回	事前学習 テキストの練習問題を予習しておくこと。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 配布の模範解答による復習。(2時間)						
	総合問題(2)						
第14回	事前学習 (内容・時間) テキストの練習問題を予習しておくこと。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 配布の模範解答による復習。(2時間)						
	まとめ:要点整理						
第15回	事前学習 (内容・時間) テキストを読んで要点を整理しておくこと。(2時間)						
	事後学習 テキストをもとに工業簿記の要点について復習。(2時間)						
第16回 (定期試験)	定期試験						

ナンバリング (Numbering)				
1EAN-5490-22E					
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semeste	単位数 er Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
原価計算論Ⅱ	219~223 経営情報学科	2学年•後期	2単位	選択	春日 克則
オンライン授業 Online Class	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom			
履修の前提条件 Course Prerequisites		寅習Ⅱ」「原価計算論Ⅰ ⋾簿記検定試験2級受験			「望ましい。」パス・簿記コン して下さい。

この講義は、日本商工会議所主催の「簿記検定2級」の内容を学習します。具体的には、前期に開設されている「原価計算論 I 」をふまえて、さらに発展した「標準原価計算」「直接原価計算」と「原価・営業量・利益関係の分析」を学習します。なお、講義の前半では復習のために「個別原価計算」と「総合原価計算」に取り組みます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「V」の達成に主体的に関与するものです。

実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

該当しない						
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Cult	re			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Na	ture O			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening				
刀甲的牡化の知上	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
denone on the	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving	0			
	建学の精神	University Founding Philosophy				
	自己管理力	Self-management				
** まりせる知よ	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
T STOCKER GRANDOS	倫理観	Ethical Sense	0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

原価計算は、製品の原価を計算し、経営管理に役立てるための一連の手続きをいいます。そこで、原価計算に関連した基本的な用語や計算方法を習得し、さらには原価計算システムが経営管理目的に有用な情報を提供していることについて理解することを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けています。そこで、当該時間において、双方向で課題についてコミュニケーションを図って行きたいと思います。なお、授業の最後には成果を提出してもらい、翌週添削して返却します。成果を提出する際には、授業中に解決できなかった疑問なども記入し、返却されたペーパーには、私のコメントが書いてあるので互いわかり合えるまで、キャッチボールを行いましょう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(455研究室)にて随時受け付けています。また、メール(kasuga@kiis.ac.jp) での相談等も歓迎します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:日商簿記検定試験2級と授業内容が関連しています。 学習の確認:ポートフォリオシートと小テストによって学習の確認を行います。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 資料を配付します。 参考文献 Reference Books 出版社 Publisher 書名 Title 著者名 Author ISBNコード ISBN Code 合格トレーニング日商簿記2級 TAC株式会社 TAC出版 最新版 工業簿記(最新版)

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

経営情報学の応用・発展領域にある「原価計算論 II 」について体系的に学習し、一定の理解・技能を修得しているかを評価します。具体的には、定期試験60%、毎回の課題提出40%の割合を持って評価します。なお、講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされますが、この課題への取り組みは疑問点に関する質問・回答というコミュニケーションツールとして皆さんの理解の手助けとなります。

授業計画 Course Schedule					
		テーマ Theme			
	オリエンテ	ーション(講義の内容、進め方など)、材料費・労務費・経費の意味と計算方法			
第1回	事前学習 (内容·時間)	インターネット等で工業簿記について調べておくこと。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間)	授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)			
	材料費の	内容と処理法			
第2回	事前学習 (内容·時間)	第1回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)			
	労務費の	種類と処理法			
第3回	事前学習 (内容·時間)	第2回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)			
	経費の分割	類と処理法			
第4回	事前学習 (内容·時間)	第3回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)			
	個別原価語	計算の勘定連絡			
第5回	事前学習 (内容·時間)	第4回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)			
	個別原価語	計算における製造間接費の配賦			
第6回	事前学習 (内容·時間)	第5回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)			
	中間テスト	・(これまで学習した項目の理解度テスト)とその解説			
第7回	事前学習 (内容・時間)	第1回から前回までの総復習を行うこと。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間)	中間テストの問題について振り返りの学習を行う。(2時間)			
	製造間接	費分析の意義			
第8回	事前学習 (内容·時間)	第6回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)			
	事後学習 (内容·時間)	返却された中間テストと授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)			

	シュラッタ・	一図の作成と分析						
第9回	事前学習 (内容·時間)	第8回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)						
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)						
	総合原価	計算(月末仕掛品の評価-月初仕掛品がない場合)						
第10回	事前学習 (内容·時間)							
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)						
	総合原価	計算(月末仕掛品の評価ー平均法と先入先出法)						
第11回	事前学習 (内容·時間)	第10回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)						
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)						
	標準原価	標準原価計算の意義と手続き						
第12回	事前学習 (内容·時間)	前学習 第11回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)						
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)						
	標準原価計算(原価差異の分析) 							
第13回	事前学習 (内容·時間)	第12回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)						
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)						
	直接原価語	計算の意義						
第14回	事前学習 (内容·時間)	第13回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)						
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)						
	CVP分析-	- 学園祭のお好み焼きをいくらで販売したらよいのか						
第15回	事前学習 (内容·時間)	第14回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)						
	事後学習 (内容·時間)	授業中に取り組んだ課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)						
第16回	定期試験(まとめと打	の実施 版り返りを行う。)						

ナンバリング (Numbering)							
1EAN-5620-22E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
財務会計論		219~ 経営情報学科	2年生·前期		2単位	選択	文壽 不山
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条(Course Prerequis		「簿記 I・II」 ことが望まし		計学総	論」等会計学	の初と	歩的な知識を習得している

講義では、初歩的な簿記の知識を前提として、財務会計の必要性や基礎的な用語、企業会計の理論・制度の 両極分化についての実態を把握するとともに、「企業会計原則」および「企業会計基準」に即した財務会計の理論 的・制度的構造を、損益、資産、負債、純資産の各分野にわたって考察し、財務諸表における主要な論点につい て、金融構造の変化との関連を明らかにする。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competenc	y Goals	
 知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に			0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	
7 四处社业 0 知 上	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
denerie ettine	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		0
	自己管理力	Self-management		
お中 ナウ州の知上	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 or oonar quantioo	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	У	0
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

講義では、学則第3条を踏まえて、経営学分野の財部会計について知識を修得することを目標とする。今日、実体経済に比べ金融経済が益々優位を占めるようになっているため、財務会計に関する知識はだれもが身につけるべき常識となっている。このような社会的要請に応えるため、講義では財務諸表の基礎を学習する。まず、「企業会計原則」の資産・負債・資本・損益に関する問題を検討し、次に、「企業会計原則」と「国際財務報告基準」、、「収益費用アプローチ」と「資産負債会アプローチ」への制度・理論の両極分化とその主要問題について考察する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容および講義資料の性質に応じて、可能な限り、質疑応答等の対話を取り入れる。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問・相談は、研究室で行う。オフィスアワー以外で質問、相談等がある場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出してください。

教科書 Textbooks								
書名 Title	ISBN⊐ード ISBN Code							
財務会計論~テキスト&問題	山下壽文	冊子(700円)	市販されていません 初回講義で購入してください					
参考文献 Reference Books								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
ビギナーのための会計学	山下壽文他	創成社	978-4-7944-1479-3					
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation								

学期末試験60%、課題40%で評価。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	オリエンテーション(講義の内容・進め方)、わが国における企業会計制度の体系				
第1回	事前学習 テキスト第1回を読んでわが国の企業会計制度を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容をもとに企業会計制度について復習。(2時間)				
	会計会計の基本ルール〜会計公準、会計主体論および会計原則				
第2回	事前学習 テキスト第2回を読んで会計公準および会計主体論の論点を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 「ウロート 「				
	損益計算書原則~損益計算書のしくみ				
第3回	事前学習 テキスト第3回を読んで損益計算書しくみを整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 テキストおよび講義内容をもとに損益計算書について復習。(2時間)				
	貸借対照表原則~貸借対照表のしくみ				
第4回	事前学習 テキスト第4回を読んで貸借対照表のしくみを整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 「内容・時間) テキストおよび講義内容をもとに貸借対照表について復習。(2時間)				
	流動資産(1)~金銭債権				
第5回	事前学習 テキスト第5回を読んで金銭債権の種類および評価を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 テキストおよび講義内容をもとに金銭債権について復習。(2時間)				
	流動資産(2)~有価証券				
第6回	事前学習 テキスト第6回を読んで有価証券の種類および評価を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 テキストおよび講義内容をもとに有価証券について復習。(2時間)				
_	流動資産(3)~棚卸資産				
第7回	事前学習 (内容・時間) テキスト第7回を読んで棚卸資産の種類および評価を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容をもとに棚卸資産の内容について復習。(2時間)				
	固定資産・繰延資産				
第8回	事前学習 (内容・時間) テキスト第8回を読んで固定資産などの種類および評価を整理しておくこと。(2時間)				
	事後学習 テキストおよび講義内容をもとに固定資産などについて復習。(2時間)				

	固定資産の減損						
第9回	事前学習 テキスト第9回を読んで固定資産の減損の意義および計算を整理しておくこと。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) テキストおよび講義内容をもとに固定資産の減損について復習。(2時間)						
	負債(1)~引当金・退職給付引当金						
第10回	事前学習 (内容・時間) テキスト第10回を読んで引当金・退職給付引当金の処理を整理しておくこと。(2時間)						
	事後学習 テキストおよび講義内容をもとに引当金・退職給付引当金について復習。(2時間)						
	負債(2)~社債・資産除去債務						
第11回	事前学習 (内容・時間) テキスト第11回を読んで社債・資産除去債務の処理を整理しておくこと。(2時間)						
	事後学習 テキストおよび講義内容をもとに社債・資産除去債務について復習。(2時間)						
	純資産						
第12回	事前学習 (内容・時間) テキスト第12回を読んで純資産の区分・処理を整理しておくこと。(2時間)						
	事後学習 テキストおよび講義内容をもとに純資産について復習。(2時間)						
	キャッシュフ・ロー計算書						
第13回	事前学習 テキスト第13回を読んでキャシュ・フロー計算書の作成方法を整理しておくこと。(2時間)						
	事後学習 テキストおよび講義内容をもとにキャシュー・フローについて復習。(2時間)						
	リーース会計						
第14回	事前学習 テキスト第14回を読んでリース会計の種類・処理を整理しておくこと。(2時間)						
	事後学習 テキストおよび講義内容をもとにリース会計について復習。(2時間)						
	ストックオ・プション、のれん						
第15回	事前学習 テキスト第15回を読んでストック・オプションなどの処理を整理しておくこと。(2時間)						
	事後学習 テキストおよび講義内容をもとにストック・オプションなどについて復習。(2時間)						
第16回	学期末試験						

	ナンバリング (Numbering) 1EAN-5630-22E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor	
	財務管理		219~222 経営情報学科	2年生 後期		2単位	選択	片山 准一
_	ライン授業 line Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
	履修の前提条件 Course Prerequisites			引・総論、会計学入門)「投資」、「資金調達 理解が得られるため	重」、「酉	己当」などに関	一心を持	けつと、講義内容につい

財務管理の諸問題を資本調達論の観点から商法(会社法)を関連付けて論じる。財務管理を歴史的・論理的且つ、具体的な事例を通して分析・講義する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience	
該当しない			
	授業を通して修得できる力	Competency Goals	
	6 L // CD L // CD L = 4-=46 - =0	ATT.	

	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
77 田45++45 の知 ト	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	
GOTTOTTO CINITO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving	0
	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
松本 ナカ州の知り	チームワーク	Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
r orsonar Quantios	倫理観	Ethical Sense	0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0
	生涯学習力	Lifelong Learning	0
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

デュプロマポリシーに基づきこの授業では、企業の財務管理の諸問題を資本調達論の観点から歴史的・論理的に論じ得ること。講義全体を通して、唯物弁証法的論理思考の構築を到達目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
- ・講義中、基本的な質問を行うので、積極的に回答してもらいたい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員と連絡を取りたい場合は、研究室(454)を訪ねること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

kiis学修ポートフォリオ&ルーブリックに必要事項を記入のうえ、最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
講義資料を配布する							
	参考文献 Referen	ce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
経営財務論	片山伍一·後藤泰二	ミネルヴァ書房	ISBN4-623-01750-8 C- 3034				
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation							

定期試験での評価(70%) 講義中の質問への回答及び板書の記帳等の評価(30%) 第1回の講義でノートの取り方など、詳細を説明するので、必ず出席すること。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	はじめに 財務管理の講義案を述べる。
第1回	事前学習 (内容・時間) 企業金融、経営財務、財務管理等の概念をネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 講義概要をよく復習しておくこと。疑問があれば次回の講義で質問すること。(120分)
	資本とは 資本の循環・回転について述べる。
第2回	事前学習 資本とは何かを質問するので、回答できるようネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 資本の循環・回転図を何度も書いて理解すること。(120分)
	資本及び資本家概念について 「機能資本家」「無機能資本家」概念について述べる。
第3回	事前学習 (内容・時間) 資本・資本家概念をネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 「機能資本家」「無機能資本家」概念及び「出資」と「貸付」概念の相違を理解すること。(120分)
	企業形態の展開過程について 個人企業→合名会社→合資会社→株式会社について述べる。
第4回	事前学習 企業組織諸形態をネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 唯物弁証法による企業形態の展開過程を理解すること。(120分)
	株式会社の決定指標について述べる。
第5回	事前学習 (内容・時間) 譲渡自由な等額株券制、全社員有限責任制、法人格等についてネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 株式会社の組織形態を理解すること。(120分)
	株価形成の理論について述べる。
第6回	事前学習 (内容・時間) 株価に影響を与える要因は何か?をネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 上記を念頭に新聞の株式欄を見てみよう。(120分)
	株式会社の設立について述べる。
第7回	事前学習 (内容・時間) 株式会社の設立過程をネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 商法(会社法)等で規定される会社形態を調べてみよう。(120分)
	株式—株主権 株主の権利・義務について述べる。
第8回	事前学習 利益配当請求権、議決権等についてネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 株主代表訴訟について調べてみよう。(120分)

	配当政策 自己(内部)金融について述べる。
第9回	事前学習 欧米と比較して日本の企業の方が配当が低い訳を考えてみよう。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 上記を念頭に新聞の株式欄を見てみよう。(120分)
	優先株式①
第10回	事前学習 優先株式をネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 上記を念頭に新聞の株式欄を見てみよう。(120分)
	優先株式②
第11回	事前学習 優先株式をネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 上記を念頭に新聞の株式欄を見てみよう。(120分)
	無額面株式
第12回	事前学習 (内容・時間) 何故、日本では全て無額面株になったのか?をネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 上記を念頭に新聞の株式欄を見てみよう。(120分)
	自己株式①
第13回	事前学習 自己株式の問題点をネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 (内容・時間) 自己株式による企業犯罪をネットで検索してみよう。(120分)
	自己株式②
第14回	事前学習 (内容・時間) 自己株式の解禁は何故行われたのか?をネットで検索しておくこと。(120分)
	事後学習 自己株式の解禁によって企業財務にどのような影響が生じたかを考えてみよう。(120分)
	財務管理のまとめ
第15回	事前学習 (内容・時間) 講義の総括を行うので、復習しておくこと。講義全体を通して疑問があれば質問すること。(120分)
	事後学習 _(内容・時間) 定期試験に向けて復習しておくこと。(120分)
第16 同	
第16回 (定期試験)	定期試験

ナンバリング(Numb	ering)						
1EAN-5230-22	!E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
会社法		219~ 経営情報学科 2年生・前期			2単位	選択	吉野 正
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		なし			
履修の前提条件 Course Prerequisites		「法学」を履何	多していることが望ま	ミしいて	₹ す 。		

会社の法的な仕組みを学んで行きます。まず、会社の法的な性質を理解できるようになった上で、会社の種類ごとの法的な性質の違いを学びます。その後、株式会社の4つの類型を学んで、株式会社の各機関(株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、委員会等)の機能を理解できるよう授業を進めます。最後に取締役にどのような責任が課せらているかを学んで行きます。

なおこの講義は、建学の精神・ディプロマポリシーに基づき、弁護士として実際に勤務している教員が担当します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content			実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience		
該当		実務50年、長年の監査役経 くの会社法関連事件を処理し		会社法関連事例を具体的にとりあげて、会社法の別用を教示する。	実務運	
		授業を通して修得で	きる力	Competency Goals		
知識・理解の観	点	多文化・異文化に関する知識	識の理角	Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Unders	standing	人類の文化・社会と自然に	関する知	l識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
77 FF 44 6 6 75		数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観 Generic Skills		情報リテラシー Information Literacy				
deficite online	•	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				
		問題解決力	や力 Problem Solving			
		建学の精神	Univer	sity Founding Philosophy		
		自己管理力	己管理力 Self-management		0	
45 - 11 - 5	- L	チームワーク	Teamv	vork		
態度・志向性の観 Personal Qualiti	-	リーダーシップ	Leadership			
1 Cr 30riai Qualici		倫理観	Ethica	cal Sense		
			Social	cial Responsibility		
		生涯学習力	Lifelon	g Learning		
統合的な学習経験と創造的		統合的な学習経験	Integra	ated Learning Experience		
Integrated Learning Experie Creative Thinking Sk		創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

株式会社、持分会社についての法的な知識を修得して、ビジネス社会で必要とされる汎用的技能を身に付けます。具体的には、株式会社、持分会社の法的な知識を修得して、ニュース、新聞等の経済報道をより正確に理解できるようになることを目指します。更に株式会社の各機関の役割について知識を身に付け、役員(主に取締役)の法的な責任を深く理解することで、ビジネス社会において法的なリスクを回避できる汎用的技能の修得を目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

株式会社について自主的にテーマを設定して、レポートを作成してもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

金曜・2時限の授業後に連絡、質問、相談等を受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

学習の確認:授業の最初に前回の内容について質問を行いますので、積極的な発言を期待します。 ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出すること。

教科書 Textbooks ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher 現代商法入門 近藤光男編 有斐閣 978-4641221772 デイリー六法 大石 眞 編集 三省堂 978-4385158808 参考文献 Reference Books 書名 Title ISBN⊐ード ISBN Code 著者名 Author 出版社 Publisher 会社法判例百選(第3版) 岩原紳作、神作裕之、他編 有斐閣 9784641115309

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法: 定期試験95% 平常点(レポートの提出状況等)5%。 成績評価の基準:①会社の特徴について理解をしているか。②株式会社、合名会社、合資会社、合同会社のそれぞれの性質の違いを理解しているか。③株式会社のうち取締役会を設置することで機関の権限にどのような違いが出てくるかを理解しているか。④株式会社の指名委員会等設置会社、監査等員会設置会社を理解しているか。⑤取締役にどのような責任が課せられているか説明できること。

	授業計画 Course Schedule					
		テーマ Theme				
	会社法とは	‡				
第1回	事前学習 (内容·時間)	民法、商法、会社法、刑法の違いを事前に学ぶ(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	講義ノートの復習(2時間)				
	会社の法的	的意義				
第2回	事前学習 (内容・時間)	法人と自然人の違いを教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	講義ノートの復習(2時間)				
	持分会社					
第3回	事前学習 (内容·時間)	持分会社の種類を教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	講義ノートの復習(2時間)				
	持分会社(の責任				
第4回	事前学習 (内容·時間)	持分会社と社員の責任を教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	講義ノートの復習(2時間)				
	株式会社。	と持分会社の比較				
第5回	事前学習 (内容·時間)	株式会社の株主のことを教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	講義ノートの復習(2時間)				
	株式会社の	の類型(1)				
第6回	事前学習 (内容·時間)	取締役会設置会社のことを教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	講義ノートの復習(2時間)				
	株式会社(の類型(2)				
第7回	事前学習 (内容·時間)	委員会設置会社の意味を教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	講義ノートの復習(2時間)				
	株式会社(の役員、機関				
第8回	事前学習 (内容·時間)	株式会社の機関の種類について教科書で読んでおく(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	講義ノートの復習(2時間)				

	公開会社と非公開会社
第9回	事前学習 (内容・時間) 株式譲渡の可否について教科書で読んでおく(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートの復習(2時間)
	取締役の責任(1)
第10回	事前学習 「内容・時間) 取締役の会社に対する義務について教科書で読んでおく(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートの復習(2時間)
	取締役の責任(2)
第11回	事前学習 (内容・時間) 経営判断の意味を教科書で読んでおく(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートの復習(2時間)
	取締役の責任(3)
第12回	事前学習 (内容・時間) 株主代表訴訟について教科書で読んでおく(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートの復習(2時間)
	監査役、会社参与及び会計監査人の責任
第13回	事前学習 (内容・時間) 監査役の役割について教科書で読んでおく(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートの復習(2時間)
	株式の譲渡
第14回	事前学習 (内容・時間) 株式譲渡の方法について教科書で読んでおく(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートの復習(2時間)
	まとめ
第15回	事前学習 (内容・時間) 会社と従業員の関係について教科書で読んでおく(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートの復習(2時間)
第16回	定期試験

ナンバリング (Number	ring)						
1EAN-5240-22E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
監査論		219~223 経営情報学科	2年生•後期		2単位	選択	春日 克則
オンライン授業 Online Class	だい	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		なし			
履修の前提条件 Course Prerequisite	es		↑学の基本的な知識 いえば審判すること				Eしいですが、企業の監査 Eです。

監査をスポーツの審判と比較すると分かりやすいと思います。スポーツのうち、ボーリングやゴルフなどは自分 1人だけでプレイできるため(楽しいかどうかは?)他人にチェックしてもらう必要はありません。しかし、テニスや 柔道などは相手がいるスポーツなので、ルールの適用や解釈、得点の判断などはプレーヤー以外の第三者、つまり審判が必要になります。もちろん、審判を置かずにお互いの話し合いでやれなくはないですが、意見が食い 違った場合には調整が困難になります。そこで、偏りのない第三者の審判を用意しておいた方がスムースに試合を楽しめます。監査は、会社とその利害関係者(株主や債権者)との間で審判と同じ役割を果たします。つまり、会社と利害関係者の意見が一致しない場合、会社は必要なお金が集められず、株主等も投資が出来なくなります。その結果、社会的に有用な活動が停滞することになります。そこで、独立した第三者(監査人)を用意しておき、審判(監査)を行わせることで、効率的な社会が実現できることになります。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
刀田的牡化の知上	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
GONONO OKINO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management		
北京 ナウ州の知り	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 or sorial Qualities	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning	0	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

講義では、監査の必要性を学んだ上で、実際の手順、すなわち、実施のための準備、計画、実行、そして結果の報告を行うために必要な基礎的な理解を得ることを目標としています。 この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「V」の達成に主体的に関与するものです。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けています。そこで、当該時間において、双方向で課題についてコミュニケーションを図って行きたいと思います。なお、授業の最後には成果を提出してもらい、翌週添削して返却します。成果を提出する際には、授業中に解決できなかった疑問なども記入し、返却されたペーパーには、私のコメントが書いてあるので互いわかり合えるまで、キャッチボールを行いましょう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(455研究室)にて随時受け付けています。また、メール(kasuga@kiis.ac.jp)での相談等も歓迎します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:公認会計士試験の監査論と授業内容が関連しています。 学習の確認:ポートフォリオシートと小テストによって学習の確認を行います。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 資料を配付します。 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code ベーシック監査論 伊豫田隆俊他 同文舘出版 978-4-495-18257-1

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

経営情報学の応用・発展領域にある「監査論」について体系的に学習し、一定の理解・技能を修得しているかを評価します。

具体的には、定期試験60%、毎回の課題提出40%の割合を持って評価します。なお、講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされますが、この課題への取り組みは疑問点に関する質問・回答というコミュニケーションツールとして皆さんの理解の手助けとなります。

	授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme					
	オリエンテーションー自己証明は証明にあらずー大日本製糖事件ー					
第1回	事前学習 (内容・時間) インターネット等で「監査」について調べておくこと。(2時間)					
	事後学習 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)					
	財務諸表監査の社会的役割と公認会計士一山陽特殊鋼事件一 					
第2回	事前学習 (内容・時間) 第1回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)					
	事後学習 「内容・時間」 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)					
	監査の必要性と法定監査制度					
第3回	事前学習 第2回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)					
	事後学習 _(内容・時間) 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)					
	監査全体の流れー東北文化学園大事件ー					
第4回	事前学習 第3回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)					
	事後学習 _(内容・時間) 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)					
	監査基準一大光相互銀行事件一 					
第5回	事前学習 (内容・時間) 第4回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)					
	事後学習 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)					
	リスク·アプローチ監査 					
第6回	事前学習 第5回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)					
	事後学習 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)					
	内部統制 					
第7回	事前学習 (内容・時間) 第6回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)					
	事後学習 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)					
	中間テスト(これまで学習した項目の理解度テスト)とその解説					
第8回	事前学習 第1回から前回までの総復習を行うこと。(2時間)					
	事後学習 中間テストの問題について振り返りの学習を行う。(2時間)					

	監査上の	主要な検討事項(KAMーKey Audit Mattersー)
第9回	事前学習 (内容·時間)	指定した企業の経営上の問題点について予習しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された中間テストと授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	EDINETIC	よる監査報告書の検索と検討
第10回	事前学習 (内容·時間)	EDINETの検索方法について、配付資料により予習しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	監査の実施	施一東芝事件一
第11回	事前学習 (内容·時間)	第10回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	監査計画·	ーオリンパス事件ー
第12回	事前学習 (内容·時間)	第11回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	監査結果(の報告
第13回	事前学習 (内容·時間)	第12回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	パブリック	・アカウンタビリティ(公的説明責任)
第14回	事前学習 (内容·時間)	第13回の授業で配付した資料に取り組む。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	まとめ	
第15回	事前学習 (内容·時間)	第9回から前回までの総復習を行うこと。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
第16回		
(定期試験)	定期試験	

ナンバリング (Numbering)							
1EAN-5910-Z2	?E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
税務会計論		219~ 経営情報学科	3·4年生·前期		2単位	選択	春日 克則
オンライン授業 Online Class	なし		スルームの利用 logle Classroom	なし			
履修の前提条件 Course Prerequisites			門」や「簿記」を履修 に興味を持っている			哉を有す	「ることが望ましいが、何

税は、取る者と取られる者との戦いの歴史といえます。例えば、株式会社などの所得(利益)に課せられる法人税は、国から見ると(個人)所得税や消費税と並ぶ大きな財源となっています。反面、納税者の側からは、住民税、事業税を合わせると法人所得の約40%が徴収されることになります。そこで、税務当局と納税者の利害が激しくぶつかることになるのですが、「税務会計論」(税務会計論」)では、この戦いをどのように終わらせ、どうしたらお互いが納得できるかの仕組みを学びます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「V」の達成に主体的に関与するものです。

実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

該当しない						
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening				
刀甲的针丝の钳上	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
GOTTOTTO STATE	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management				
総典 ま点性の知よ	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

税を学ぶ場合に、最も重要な原則は租税法律主義です。この原則は、納税者の代表が決めた法律によってしか税を課すことができないというものです。そこで、この授業では、国と納税者が争った判例をみることによって、租税法律主義を具体的に理解することを目標とします。同時に、このような理念が税額の計算にどのように具体的に活かされているかについても理解することを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けています。そこで、当該時間において、双方向で課題についてコミュニケーションを図って行きたいと思います。なお、授業の最後には成果を提出してもらい、翌週添削して返却します。成果を提出する際には、授業中に解決できなかった疑問なども記入し、返却されたペーパーには、私のコメントが書いてあるので互いわかり合えるまで、キャッチボールを行いましょう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(455研究室)にて随時受け付けています。また、メール(kasuga@kiis.ac.jp)での相談等も歓迎します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:税のスペシャリスト=税理士試験の基礎となる授業です。 学習の確認:ポートフォリオシートと小テストによって学習の確認を行います。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 資料を配付します。 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code よくわかる税法入門 三木義一 有斐閣 978-4-641-28150-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

経営情報学の応用・発展領域にある「税務会計論」(税務会計論 I)について体系的に学習し、一定の理解・技能を修得しているかを評価します。

具体的には、定期試験60%、毎回の課題提出40%の割合を持って評価します。なお、講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされますが、この課題への取り組みは疑問点に関する質問・回答というコミュニケーションツールとして皆さんの理解の手助けとなります。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	サラリーマンなのに37年間、所得税を納めなかった男ー申告納税制度ー
第1回	事前学習 日本の税制、特に所得税制についてインターネットを活用して調べる。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	ホステスの報酬にかかる源泉徴収事件ー税を学ぶ場合に最も重要な原則「租税法律主義」一
第2回	事前学習 第1回の授業で配付された資料を読め疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	1600億円をタダでもらっても税金はゼロ?(武富士事件)ー租税法律主義は正しいのかー
第3回	事前学習 (内容・時間) 第2回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	同族会社の判定①-特殊関係人-
第4回	事前学習 第3回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	同族会社の判定②一具体的な事例を考える一
第5回	事前学習 (内容・時間) 第4回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	税金の金額を計算してみよう①-簿記・会計上の利益を所得に変換する便利な用具(別表4)-
第6回	事前学習 (内容・時間) 第5回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	税金の金額を計算してみよう②一税金の額を簡単に計算するための便利な用具(別表1と次葉)ー
第7回	事前学習 第6回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	中間テスト(これまで学習した項目の理解度テスト)とその解説
第8回	事前学習 第1回から前回までの総復習を行うこと。(2時間)
	事後学習 中間テストの問題について振り返りの学習を行う。(2時間)

	交際費を使	もうと税金がかかる一交際費の限度額計算(別表15)ー
第9回	事前学習 (内容·時間)	第7回授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された中間テストと授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	ふるさと納	税をしてみよう一寄附金制度ー
第10回	事前学習 (内容·時間)	第9回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	寄附をする	と税金がかかる一寄附金の限度額計算(別表14)ー
第11回	事前学習 (内容·時間)	第10回の授業で配付された資料み疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	 配当金を受	とけ取っても税金がかからないー受取配当等の益金不算入(二重課税の防止)ー
第12回	事前学習 (内容·時間)	事前に配付された資料を読み疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	皆さんにと	って身近な税金ー個人の所得税(納税義務の範囲)ー
第13回	事前学習 (内容·時間)	第12回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	どんなこと	をすると税金がかかるのかー所得の分類ー
第14回	事前学習 (内容·時間)	第13回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
	国際的な利	党金逃れを防止するーGAFAの支払っている税金は適正かー
第15回	事前学習 (内容·時間)	第14回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	授業中の課題について振り返りの学習を行う。(2時間)
第16回	定期テスト	

ナンバリング (Numbering)							
1EAN-5900-Z2E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
税法学		219~ 経営情報学 科	3•4年生•後期		2単位	選択	平山 誠一郎
オンライン授業 Online Class	なし		スルームの利用 ogle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		従って、税法等 ① 遅刻・欠席 ② 授業中の	のルール。税法学の技 学総論を受講する者は まをしない スマホの私的利用、私 上(起こします)	、校則	で決められた		

「租税は、…およそ民主主義国家にあっては、国家の維持及び活動に必要な経費は、主権者たる国民が共同の費用として 代表者を通じて定めるところにより自ら負担すべきものである」(大島判決(最判:昭和60年3月27日判決))とされている。税と は何か、税による国家の活動にはどのようなものがあるかを学ぶ。

また、身近な税である所得税・消費税を取り上げ、今後学生諸君が実生活に出てどのようにかかわっていくかなどを学ぶ。 なお、所得税の確定申告書を作成するなど実践的な学習を行う。 国税庁ホームページにアクセスして、所得税の申告書作 成システムを利用した所得税確定申告書の作成模擬演習を行うなど、電子機器を取り入れた授業も予定している。

中教奴除といわした教会市京

中效奴除出宗

宇弥経験のなる数昌による利日

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content			実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience				
該当	する審理	職において、税法の解釈・適用事務や課税処分に対するでは、 でどを含む税務の実務経験()。	下服審 3	実務経験に基づき、税法理論と税法を執行する税務行政の両面から「税」をとらえ講義を行う。				
		授業を通して修得でき	きる力 C	Competency	y Goals			
知識・理解の観点	¥	多文化・異文化に関する知	識の理解		Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Underst	anding	人類の文化・社会と自然に	関する知識	識の理解	Human Culture / Society / Nature	0		
		コミュニケーション・スキル	Reading	/ Writing /	Speaking / Listening			
刀甲的针状不知。	F	数量的スキル	Mathematics			0		
汎用的技能の観り Generic Skills		情報リテラシー	Information Literacy					
derierie eriiie		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking					
		問題解決力	Problem Solving					
		建学の精神	Universi	ty Founding	Philosophy	0		
		自己管理力	Self-management			0		
** またい は の 知 の 知 の 知 の 知 の 知 の 知 の 知 の 知 の 知 の	₽	チームワーク	Teamwo	rk				
態度・志向性の観 Personal Qualitie		リーダーシップ	Leaders	hip				
, s. ss.ia. gaaner	-	倫理観	Ethical S	I Sense				
		市民としての社会的責任	Social R	Social Responsibility				
		生涯学習力	Lifelong Learning					
統合的な学習経験と創造的。 Integrated Learning Experien		統合的な学習経験	Integrate	ed Learning	Experience			
Creative Thinking Skills		創造的思考力	Creative	Thinking SI	kills			

到達目標 Objectives

- 学則第3条を踏まえ、経営情報学の応用領域にある租税法に関して基本的な知識を修得することを目標とします。
- ①和税とは何かを理解する。
- ②所得税の仕組みを理解する。
- ③所得税確定申告書の作成ができるようになる。(国税庁ホームページを利用しての作成を含む。)
- ④消費税の仕組みと特色を理解する。
- この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「III」を前提としながら、「IV」および「V」の達成に主体的に関与するものです。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ①授業中不明の点があれば積極的に質問してください。また、教授からの質問に対しては自分の考えを率直に述べてくださ い。
- ②国税庁ホームページなどの情報を提供しますので、自ら閲覧するなどして知識等を広めてください。
- ③毎回コメント用紙(兼出席票)を配りますので、意見や質問などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は、研究室(456)にて随時受け付けます。連絡先はhirayama@kiis.ac.jpです。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|学習の確認:ポートフォリオシート及び小テストにより学習の確認を行います。

教科書 Textbooks 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 税務大学校講本 国税庁ホームページ (税法入門、所得税法、消費税法) 参考文献 Reference Books 出版社 Publisher 書名 Title 著者名 Author ISBN⊐ード ISBN Code プレップ租税法[第4版] 佐藤 英明 弘文堂 978-4-335-31331-8 成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点(講義時の小テストの解答状況や受講態度など)40%、定期試験60%で評価します。

		授業計画 Course Schedule
		テーマ Theme
	「租税の意	義」
第1回	事前学習 (内容·時間)	税大講本の税法入門(以下「税法入門」という)の第1章第1節「租税の意義」を読んでおく。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	テキスト等により租税の意義について復習し理解を深める。(2時間)
	「財政」(歳)	入·歳出)
第2回	事前学習 (内容·時間)	税法入門の補章「財政の仕組みと役割」を読んでおく。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	我が国における歳入・歳出の状況について、財務省ホームページ等で復習する。(2時間)
	「租税負担될	率・国民負担率」及び「財政赤字」
第3回	事前学習 (内容·時間)	税法入門の第1章第9節「国民の租税負担」を読んでおく。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	我が国の税制の状況を理解し、今後いかにすべきかを考える。(2時間)
	「租税の種類	類」及び「租税の原則」
第4回	事前学習 (内容·時間)	税法入門の第1章第7節「租税の分類」及び第8節「租税の原則」を読んでおく。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	講義で学んだことをテキストや財務省・国税庁ホームページ等で復習する。(2時間)
	「租税の根据	処」及び「担税力」
第5回	(内容・時間)	税法入門の第1章第2節「租税の根拠と配分」及び第2章第2節「租税体系についての考え方」を読ん でおく。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	「担税力」、「垂直的公平」、「水平的公平」、「タックスミックス」など講義で学んだことをまとめる。 (2時間)
	「租税法律3	主義」及び「三権分立」
第6回	事前学習 (内容·時間)	税法入門の第3章第2節「租税法律主義」を読んでおく。また、「三権分立」とは何かを調べておく。 (2時間)
	事後学習 (内容·時間)	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。(2時間)
	「「所得の概	[念]及び「所得の種類」
第7回	事前学習 (内容·時間)	税大講本の所得税法(以下「所得税法」という)の第1章第2節「所得の概念」及び第2章「所得の種類と意義」を読んでおく。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。(2時間)
	「給与収入」	احر 給与所得」の関係
第8回	事前学習 (内容·時間)	所得税法の第2章4「給与所得の金額の計算」を読んでおく。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	給与所得控除の意義について理解を深めた上で、計算問題を解く。(2時間)

	「所得控除」	について				
第9回	事前学習 (内容·時間)	所得税法の第3章「所得控除」を読んで所得控除の概要を理解しておく。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。(2時間)				
	 「勤労学生	空除」、「扶養控除」及び「基礎控除」				
第10回	事前学習 (内容·時間)	「勤労学生控除」、「扶養控除」及び「基礎控除」の各控除について、所得税法で具体的な要件と控除 額を確認しておく。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。(2時間)				
	「課税される	5所得金額」及び「税額の計算」				
第11回	事前学習 (内容·時間)	所得税法の第4章「税額計算」を読んで、税額計算の方法等を確認しておく。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	設例を基に税額の計算を行う。(2時間)				
	「源泉徴収	制度」				
第12回	事前学習 (内容·時間)	所得税法の第5章「源泉徴収制度」を読んで概要を理解しておく。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。(2時間)				
	「納付税額の計算」及び「所得税確定申告書の作成」					
第13回	事前学習 (内容·時間)	第8回から第12回までを復習し、税額の計算手順を確認しておく。また、確定申告書の様式を確認しておく。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	設例を基に所得税の税額計算方法を復習する。(2時間)				
	「消費税の	仕組み」				
第14回	事前学習 (内容·時間)	事前配付資料を読んで、消費税法の概要を確認しておく。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。(2時間)				
	電子機器を	使用した所得税確定申告書の作成				
第15回	事前学習 (内容·時間)	国税庁ホームページでスマホ申告の概要を確認する。(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	スマートフォンを使用した所得税確定申告書作成の操作要領を復習する。(2時間)				
第16回	租税につい	て正しく理解できているか、記述式問題による定期試験を行う。				

ナンバリング (Numbering)							
1EMN-5380-12	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
経営戦略論		224~ 経営情報学科	1年生・後期		2単位	選択	遠藤 真紀
<u>作 呂 我 呵 酬</u>	在呂牧哈珊		1年生•前期		2平四	运扒	述 際
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites		の基礎である が望ましい。 ・また「マーケ	る「経営学総論 I 」「	経営学	空総論Ⅱ」など ・ビジネス入『	を既に	注理論であるため、経営学 上修得し、理解している事 会計学入門」、「簿記」な が望ましい。

- ・本学の建学の精神、3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ、中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等、経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
- ・IT人材(高度情報化人材)として必要な、経営戦略に関する基本理論を体系的に理解するとともに、その理論の背景や意義などについても考察していきます。テキストを基に、伝統的な理論から現代の戦略論まで、その形成過程や今日的課題について講義を進めます。
- ・現代企業の経営戦略が,情報システムやネットワーク技術との関わりで進化していることから,これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience		実務経験内容 Work Experience Content		実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience				
該当	建築設備会社(5年): 建築設備施工行級土木・2級管工事施工管理技士), 卸売会社(10年): 商品開発, 営業管別販売士), 経営コンサルタント(30年): 診断, 中小企業経営支援(中小企業士, QMS/EMS Lead Auditor)			等への経営 連科目の講 や管理手法 考え方等に	業等の実務経験および製造業・サー 支援実務を通じて得た知見を元に、経 義を通じて、理論だけでなく企業経営の および社会の常識や社会で生き抜くた いいても伝えていきます。また事例や「 士の問題を活用した演習等も行います	営関 の実態 めの 中小企		
	_	授業を通して修得で	きる力	Competenc	y Goals			
知識・理解の観点		多文化・異文化に関する知	識の理	解	Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Underst	tanding	人類の文化・社会と自然に	関する知	田識の理解	Human Culture / Society / Nature	0		
		コミュニケーション・スキル	Readir	ng / Writing /	Speaking / Listening	0		
 汎用的技能の観』	占	数量的スキル Mathematics						
ル州的技能の観り Generic Skills	氚	情報リテラシー Information Literacy				0		
		論理的思考力	Logica	l Thinking / Creative Thinking				
		問題解決力	Problem Solving			0		
		建学の精神	University Founding Philosophy					
		自己管理力	Self-management					
能産・士島州の知	· 上	チームワーク	Teamwork					
態度・志向性の観 Personal Qualitie		リーダーシップ	Leade	rship				
		倫理観	Ethica	l Sense		0		
		市民としての社会的責任	Social	Responsibility	/	0		
		生涯学習力	Lifelor	ng Learning		0		
統合的な学習経験と創造的 Integrated Learning Experien		統合的な学習経験	Integra	ated Learning	Experience			
Creative Thinking Skill		創造的思考力	Creative Thinking Skills					

到達目標 Objectives

- ・現代企業の経営における戦略の意義や必要性および主な経営戦略理論(分析型・プロセス型経営戦略,ドメイン、製品・市場戦略,経営資源、競争戦略等)について理解している。
- ・具体的には、卒業後、IT人材(高度情報化人材)として就職した企業の経営戦略等が理解でき、自律的・自発的な行動への判断基準が持てるようになる。
- ・また例えば、企業物とよばれる小説またはビジネス雑誌・書籍等の理解が促進されるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し、講義を聴いているだけでは単位取得できません。 ・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。 ・企業経営や経営戦略等に関するビデオ聴講による演習や中小企業診断士試験の問題を活用した演習を行います。また演習に基づき、ディスカッションを行うため、ビデオ内容の聞き取り力、メモカ、聴講した内容や関連情報に関する考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は、研究室での直接面談またはGoogleクラスルームやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には、研究室のメッセージボードやEメール(endo@kiis.ac.jp)等を活用してください。
|・自主性を重要視するので「来る者拒まず、去る者追わず」のスタンスで対応しますが、「聞くは一時の恥、聞かぬ

は一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には、必要に応じて、販売士(3級~1級)、経営学検定(マネジメント検定:初級、中級、上級)、中小企業診断士等、経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。

・事前・事後学習としての課題レポート以外に、授業態度や資格試験への積極的な取り組み、関連するレポートおよび学習記録(事前学習/授業レポートやポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks 著者名 Author 書名 Title 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 経営戦略論要論 岸川善光 同文舘出版 4-495-37421-4 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐─F ISBN Code 井上善海•佐久間信夫編 よくわかる経営戦略論 ミネルヴァ書房 978-4-623-05069-7 戦略プロフェッショナル 日経ビジネス文庫 978-4-532-19145-0 三枝 匡

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法:定期試験(50%), 平常点(出席率, ディスカッションへの参加, 各種レポート提出, 資格試験への取り組み, ポートフォリオ提出, 教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性)等(50%)を総合的に考慮して評価します。

|評価基準:学習に対する積極性および経営戦略の意義や各経営戦略理論等について基礎的な理解が図られて |いる。自身に関係する企業の経営戦略等が理解でき,自律的・自発的な行動への判断基準が持てている。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	講義の目的と進め方(講義内容のアウトラインの理解)
第1回	事前学習 企業および経営・戦略に関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため、積 (内容・時間) 極的にアクセスし、自分の挑戦材料として頭に入れておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 本講義のアウトラインについて復習,課題への取り組み(2時間)
	経営戦略の意義 -環境変化と経営戦略-
第2回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認(2時間)
	事後学習 病容・時間) 再義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	経営戦略の意義 一経営戦略の定義、企業と環境のかかわり方一
第3回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	経営戦略の意義 一将来志向的な構想, 意思決定プロセスー
第4回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	経営戦略論の生成と発展 一経営戦略論の生成(チャンドラー, アンゾフ, スタイナー等)ー
第5回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	経営戦略論の生成と発展 一分析型経営戦略論(経験曲線, PPMほか)ー
第6回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間) 東海州 (2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	経営戦略論の生成と発展 ープロセス型・情報創発型・社会調和型経営戦略論ー
第7回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間) 東係常期
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	経営戦略論の体系 一全体戦略と個別戦略,経営戦略の構成要素ー
第8回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間) 東係常期
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)

	経営戦略の体系 -経営戦略策定プロセス,経営戦略の構成要素の適合性-
第9回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	ドメイン ードメインの意義、ドメイン定義の要件ー
第10回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	製品・市場戦略 ー製品・市場戦略の意義、製品・市場マトリクスー
第11回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	製品・市場戦略 一多角化戦略, 差別化と細分化, 新製品開発, 新市場開拓一
第12回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	経営資源 一経営資源と経営戦略一
第13回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	競争戦略 一競争戦略の意義,価値連鎖,競争基本戦略,競争戦略の定石ー
第14回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	講義のまとめ(講義内容全体の総括)
第15回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
第16回	定期試験等

ナンバリング(Numb	ering)						
1EMN-5572-22E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
コマース論Ⅱ		219~223 経営情報学科	2学年•後期		2単位	選択	鈴木 和也
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites			i(コマース論 I)を原 (2級)を受験すること		単位を取得し	ている	こと。2.履修者全員が販売

この講義は、多様化・高度化した顧客ニーズを的確に捉え、ニーズに合った商品やサービスの提供、商品の開発や仕入、販売、物流などを効率的かつ効果的に行うための実践的なスキルを身に付ける。さらには、将来、商品開発やマーケティング等の分野で活躍できるための専門的な知識も習得する。

なお、カリキュラムポリシーIVに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty	実務経験内容 Wark Experience Contact	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience				
with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience				
該当しない						
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understand	ing 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0			
20日的社会の知よ	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
Giornollio Giuno	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management				
お中 十九州の知上	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0			
i orconar quantico	倫理観	Ethical Sense	0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考 Integrated Learning Experience a		Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

日本商工会議所主催販売士検定試験2級を受験し合格を目指す。(販売士試験については、現在1級から3級までCBT方式にて、指定会場でコンピュータを使った受験になりました。年間を通して受験が可能です。)

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握に努める。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
1回で合格!リテールマーケティング (販売士)検定2級テキスト&問題集	上岡 史郎	成美堂出版	978-4415234311				
参考文献 Reference Books							
書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコート							
販売士検定試験2級ハンドブック (応用編)〜リテールマーケティング (販売士)検定試験2級対応	日本商工会議所 全国商工会連合会	カリアック	H00100227				
成績	······ 評価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation					

1.定期試験(80%)、2.小テスト(5%)、3.学修課題の提出(5%)、4.授業への取組み(10%)

授業計画 Course Schedule							
	テーマ Theme						
	授業概要(授業の進め方、評価について) 小売業の類型 I						
第1回	事前学習 (内容・時間) 教科書13頁~26頁を通読する。	(2.0h)					
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)					
	小売業の類型Ⅱ						
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書23頁~40頁を通読する。	(2.0h)					
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)					
	小売業の類型Ⅲ						
第3回	事前学習 教科書41頁~57頁を通読する。	(2.0h)					
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)					
	マーチャンダイジング I						
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書61頁~73頁を通読する。	(2.0h)					
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)					
	マーチャンダイジング Ⅱ						
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書74頁~89頁を通読する。	(2.0h)					
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)					
	マーチャンダイジングⅢ						
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書90頁~103頁を通読する。	(2.0h)					
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)					
	ストアオペレーション I						
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書107頁~127頁を通読する。	(2.0h)					
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)					
	ストアオペレーション II						
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書128頁~141頁を通読する。	(2.0h)					
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)					

	ストアオペレーションⅢ	
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書142頁~153頁を通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
	マーケティング I	
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書157頁~178頁を通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
	マーケティング Ⅱ	
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書179頁~198頁を通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
	マーケティングⅢ	
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書199頁~207頁を通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
	 販売・経営管理 I	
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書211頁~230頁を通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
	 販売・経営管理Ⅱ 	
第14回	事前学習 (内容・時間) 教科書231頁~245頁を通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
_	販売·経営管理Ⅲ	
第15回	事前学習 (内容・時間) 教科書246頁~255頁を通読する。	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と練習問題の解答	(2.0h)
第16回	定期試験の実施 (リテールマーケティング[販売士]検定試験2級と同定程度の内容、難易度の問題で効果 る。)	- !測定を実施す

ナンバリング (Numbering						
1EMN-6430-U2E						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Seme	-	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
ベンチャー企業論	219~223 経営情報学科	2・3年生・後期	l	2単位	選択	遠藤 真紀
オンライン授業 Online Class なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites	が望ましい。 ・また経営学・「ベンチャー	・会計学関連の科目 -ビジネス入門」同様 や仕事, 働く意義やや	をでき 、社会	きるだけ多く履 そのあらゆる	夏修して 事象に!	こ履修し、理解している事 こいる事が望ましい。 興味を持ち、自分の理想 前向きに生きようとする事

- ・本学の建学の精神、3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ、中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事 業計画作成の支援等、経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
- ・ベンチャーだけでなく、ビジネスや経営は、実際に行ってみないと本当の理解はできません。しかしテキストによ る基本理論の理解やビデオ・資料等による演習を通じて疑似体験する事は可能です。
- ・これまでの実務経験を踏まえ,企業経営が身近に感じられるような講義を行い,IT人材(高度情報化人材)とし て必要なベンチャー企業に関する基本的な知識および自身と社会や企業との関わりについて深く知ろうとする積 極性を養っていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience				
級: 該当 販売 診	築設備会社(5年): 建築設備施工作 土木・2級管工事施工管理技士), 売会社(10年): 商品開発, 営業管: 売士), 経営コンサルタント(30年) 断, 中小企業経営支援(中小企業 QMS/EMS Lead Auditor)	建材 等への経営支援実務を通じて得た知見を元に、経理(1級 連科目の講義を通じて、理論だけでなく企業経営の :経営 や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くた	営関 D実態 めの 中小企			
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知		0			
Knowledge and Understar	nding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0			
 汎用的技能の観点	数量的スキル	数量的スキル Mathematics				
ル州町技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0			
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0			
	問題解決力	Problem Solving	0			
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management	0			
 態度・志向性の観点	チームワーク	Teamwork				
思度・心内主の転点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

- IT人材(高度情報化人材)に必要な、ベンチャー企業の社会的意義や特徴および課題等の基礎的知識を理解 し、社会や企業について関心を持つようになる。
- ・大企業等に執着することなく、またサラリーマン(給料のために働く人)となる事と当然とせず、自ら会社を興すな ど、ビジネスマン(自分のやりたい仕事を創造し実践する人)として社会で活躍できるマインドを身につける。 ・また社会に出てから役に立つ経営学について関心を持ち、販売士等各種の資格にも挑むようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し、講義を聴いているだけでは単位取得できません。 ・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し,自身の意見を発言していくことが求められます。 ・ベンチャー企業や革新的企業の経営や戦略等に関するビデオの聴講およびベンチャー企業経営者による講演 等による演習を行います。聴講したビデオ・資料等に基づきディスカッションを行うため,ビデオや講演内容の聞き 取り力、メモカ、聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関 するアドバイス・相談等は、研究室での直接面談またはGoogleクラスルームやEメール等で対応します。 ・オフィスアワー以外の不在時には、研究室のメッセージボードやEメール(endo@kiis.ac.jp)等を活用してください。 ・自主性を重要視するので「来る者拒まず,去る者追わず」のスタンスで対応しますが,「聞くは一時の恥,聞かぬ は一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

- ・希望者には,必要に応じて,販売士(3級~1級),経営学検定(マネジメント検定:初級,中級,上級),中小企業診断士等, 経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
- ・事前・事後学習としての課題レポート以外に,授業態度や資格試験への積極的な取り組み,関連するレポートおよび学習 記録(事前学習/授業レポートやポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks								
書名 Title	書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher							
専門基礎ライブラリー ベンチャービジネス論	太田一樹ほか	実業出版	978-4-407-31077-1					
	参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
ベンチャー企業	松田修一	日本経済新聞出版社	10-4532113032					
成績	平価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation						

成績評価方法:定期試験(50%),平常点(出席率,ディスカッションへの参加,各種レポート提出,資格試験への 取り組み、ポートフォリオ提出、教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性)等(50%)を総合的に考慮し て評価します。

評価基準:広く社会や企業および仕事の意義等について理解し、自分自身のと社会やベンチャー企業等との関 わりについて理解している。また各種の資格にも挑むくらい、経営学について関心を持ち、学習に対する積極性 をもっている。

授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme			
	講義の目的と進め方(講義内容のアウトラインの理解)			
第1回	事前学習 ベンチャーや起業の体験談およびそれに関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載され (内容・時間) ているため、積極的にアクセスし、自分の挑戦材料として頭に入れておく。(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 本講義のアウトラインについて復習,課題への取り組み(2時間)			
	企業の存在意義とベンチャー企業の必要性			
第2回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	ベンチャー企業とは:わが国のベンチャー企業の実態			
第3回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成①			
第4回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	ベンチャー企業の特性			
第5回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	ベンチャー企業の成長・発展過程(1)成長の考え方と経営戦略の論理			
第6回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	ベンチャー企業の成長・発展過程(2)マーケティングの重要性			
第7回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			
	ベンチャー企業の成長・発展過程(3)イグジット(出口戦略)とIPO・MBOの動向			
第8回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)			

	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成②					
第9回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)					
	ベンチャー企業の活動実態と問題点(1)スタートアップ期					
第10回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)					
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)					
	ベンチャー企業の活動実態と問題点(2)成長期, 成熟期					
第11回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)					
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)					
	ベンチャー企業の活動実態と問題点(3)安定期					
第12回	事前学習 (内容・時間) テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)					
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)					
	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成③					
第13回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)					
	ベンチャー企業と政策					
第14回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)					
	講義のまとめ(講義内容全体の総括)					
第15回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)					
第16回	定期試験等					

ナンバリング (Number	ring)						
1EMN-6040-U2E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
中小企業論		219~ 経営情報学科	2・3年生・前期 2単位		選択	遠藤 真紀	
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisite	es	営学」を,中かす。 ・よってベース Ⅱ」および「糸	小企業にあてはめた スとなる基本的な経	ながら「 営学関 戦略記	中小企業固有 関連科目であ _{角」、「マーケラ}	「の課題 る「経営	:大企業を対象とした「経 13等について考察してきま 営学総論 I 」「経営学総論 「論」,「会計学」,「簿記」

- ・本学の建学の精神,3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ,中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事 業計画作成の支援等. 経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
- ・中小企業は,わが国において企業数および雇用される従業員数とも圧倒的多数を占め,またわが国産業の競 争力を下支えしています。IT人材(高度情報化人材)として必要な知識として, 大企業との格差問題や下請問題 のみならず、中小企業が社会や地域経済に寄与していることについて考察していきます。
- ・テキストだけでなくビデオ教材等を活用し、また実務経験を踏まえた具体的な事例を交え、構造的・政策的・実践 的な議論を展開していきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty		実務経験内容		実務経験をいかした教育内容			
with Work Experience		Work Experience Content		Class Contents Utilizing Work Experience			
該当	建築設備会社(5年): 建築設備施工管理(1級土木・2級管工事施工管理技士), 建材卸売会社(10年): 商品開発, 営業管理(1級販売士), 経営コンサルタント(30年): 経営診断, 中小企業経営支援(中小企業診断士, QMS/EMS Lead Auditor)			等への経営支援実務を通じて得た知見を元に、経営関 連科目の講義を通じて、理論だけでなく企業経営の実			
		授業を通して修得で	·る力 Compe	tency Goals			
知識・理解の観	点	多文化・異文化に関する知	敞の理解	Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Unders	standing	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理	图解 Human Culture / Society / Nature	0		
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening				
刀甲的针状の钉	1.±	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観 Generic Skills		情報リテラシー	Information Literacy				
derionic ciune		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
		問題解決力	Problem Solving				
		建学の精神	University Founding Philosophy		0		
		自己管理力	Self-management				
総由・士白州の制	日上	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観 Personal Qualiti		リーダーシップ	Leadership				
		倫理観	Ethical Sense		0		
		市民としての社会的責任	Social Respons	sibility	0		
		生涯学習力	Lifelong Learni	ing	0		
統合的な学習経験と創造的 Integrated Learning Experie		統合的な学習経験	Integrated Lea	rning Experience			
Creative Thinking Skills		創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

- ・中小企業を論じるために必要な、経営学関連科目の基礎知識を有している。
- ・IT人材(高度情報化人材)として必要な中小企業についての基礎知識(特性や役割および政策等)および今日 的な課題(大企業との格差問題や下請問題および中小企業に必要なマネジメント理論)等について理解してい

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し、講義を聴いているだけでは単位取得できません。 ・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し,自身の意見を発言していくことが求められます。 ・また中小企業経営や戦略等に関するビデオ聴講による演習や中小企業診断士試験の問題を活用した演習を 行います。演習に基づき.ディスカッションを行うため.ビデオ内容の聞き取り力.メモカ.聴講した内容や関連情 報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関 するアドバイス・相談等は、研究室での直接面談またはGoogleクラスルームやEメール等で対応します。 ・オフィスアワー以外の不在時には、研究室のメッセージボードやEメール(endo@kiis.ac.jp)等を活用してください。 ・自主性を重要視するので「来る者拒まず,去る者追わず」のスタンスで対応しますが,「聞くは一時の恥,聞かぬ」

は一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,

ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。 ・事前・事後学習としての課題レポート以外に、授業態度や資格試験への積極的な取り組み、関連するレポートおよび学習

・希望者には,必要に応じて,販売士(3級~1級),経営学検定(マネジメント検定:初級,中級,上級),中小企業診断士等,

記録(事前学習/授業レポートやポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
中小企業経営入門(第2版)	井上•木村•瀬戸編著	中央経済社	978-4-502-42141-9					
	参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
現代中小企業経営論 よくわかる経営戦略論 戦略プロフェッショナル	川上義明 井上善海·佐久間信夫編 著 三枝 匡	税務経理教会 ミネルヴァ書房 日経ビジネス文庫	4-419-04660-0 978-4-623-05069-7 978-4-532-19145-0					
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation								

成績評価方法:定期試験(50%), 平常点(出席率, ディスカッションへの参加, 各種レポート提出, 資格試験への 取り組み、ポートフォリオ提出、教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性)等(50%)を総合的に考慮し て評価します。

|評価基準:学習に対する積極性および中小企業の経営についての基礎知識および今日的な課題についての知 |識を修得し、理解している。また企業経営に関して、今後の自身の自律的・自発的な行動への判断基準が持てて いる。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	講義の目的と進め方(講義内容のアウトラインの理解)
第1回	事前学習 中小企業およびそれに関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため、積極 (内容・時間) 的にアクセスし、自分の挑戦材料として頭に入れておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 本講義のアウトラインについて復習,課題への取り組み(2時間)
	中小企業の特性
第2回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	中小企業の歴史
第3回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	海外の中小企業
第4回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	中小企業問題と中小企業政策
第5回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	中小企業の戦略マネジメント
第6回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	下請分業構造の変容と中小企業のマネジメント
第7回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	中小企業ネットワークのマネジメント
第8回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)

	地域産業集積の変容と中小企業のマネジメント
第9回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	グローバル経済の変容と中小企業のマネジメント
第10回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	中小企業の組織・人材マネジメント
第11回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	中小企業の事業承継マネジメント
第12回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	中小企業の製品開発・事業開発マネジメント
第13回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	中小企業の財務マネジメント
第14回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
	講義のまとめ(講義内容全体の総括)
第15回	事前学習 テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 講義ノートに基づき、ビデオ演習を含む、講義内容の復習(2時間)
第16回	定期試験等
(定期試験)	VC MITMINV ユ

ナンバリング (Numb	ering)]					
1EMN-6320-Z2	!E						
科目名 Class	/ / / / /		開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネスプランニン	ング	219~ 経営情報学科 3·4年生·後期		2単位	選択	遠藤 真紀	
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
・自身のビジネスアイディアを事業計画書へまとめるにあたり、経営学の基礎「経営学総論 I・II」をはじめ、「経営情報学」、「会計学」、「簿記」、「管理会計「経営戦略論」、「マーケティング論」、「消費者行動論」、「流通経済論」など、基な関連科目を履修し、理解している事が前提です。 ・需要予測や資金計画・利益計画も作成するため、特に計数管理に必要な財活などの知識は必須となります。				「簿記」,「管理会計」, 流通経済論」など,基本的			

- ・本学の建学の精神,3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ,中小企業診断士として企業の事業計画や創業計 画の作成支援など、経営コンサルティング実務の経験を持つ教員が担当します。
- ・新しくビジネスを興す時,製品・サービスの市場性等の見きわめ(市場調査・需要予測などの外部環境分析)や 自社(自分)の能力評価(内部環境分析)が必要です。過去の実務経験を踏まえ、アイディアの出し方やまとめ方 および事業計画の作成方法をテキストやワークシート等を使って講義します。なお週一回の断片的な講義では、 考えがまとまらなかったり、作業が進まなかったりするため、例年、土日を使った集中特別講義を行っています。 ・最終的には、IT人材(高度情報化人材)として自分のビジネスアイディアを事業計画書にまとめ、その内容をプレ ゼンテーションしてもらいます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content			Class	実務経験をいかした教育内容 Contents Utilizing Work Experience	
該当	級土木· 卸売会补 販売士) 診断, 中	#会社(5年): 建築設備施工管 2級管工事施工管理技士), 対(10年): 商品開発, 営業管理 , 経営コンサルタント(30年): 可小企業経営支援(中小企業 S/EMS Lead Auditor)	建材 哩(1級 経営	等への経営 連科目の講 や管理手法 考え方等にご	「業等の実務経験および製造業・サー 支援実務を通じて得た知見を元に、経 義を通じて、理論だけでなく企業経営の および社会の常識や社会で生き抜くた いいても伝えていきます。また事例や「 士の問題を活用した演習等も行います	営関 の実態 めの 中小企
		授業を通して修得で	きるカ	Competenc	y Goals	
知識・理解の観	点	多文化・異文化に関する知	識の理	解	Multiple Culture / Different Culture	0
Knowledge and Unders	standing	人類の文化・社会と自然に	関する知	印識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		Speaking / Listening	0
の田幼芸能の舞	上	数量的スキル	Mathematics			0
汎用的技能の観 Generic Skills		情報リテラシー	Information Literacy			0
		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			0
		問題解決力	Problem Solving			0
		建学の精神	University Founding Philosophy		Philosophy	0
		自己管理力	Self-m	nanagement		0
総由 土白州の5	я. ь	チームワーク	Teamv	vork		0
態度・志向性の勧 Personal Qualiti		リーダーシップ	Leade	rship		0
i oroonar agains		倫理観	Ethica	l Sense		0
		市民としての社会的責任	Social	Responsibility	<i>y</i>	0
		生涯学習力	Lifelon	g Learning		0
統合的な学習経験と創造的		統合的な学習経験	Integra	ated Learning	Experience	
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills		創造的思考力	Creative Thinking Skills		kills	0

到達目標 Objectives

- ・ビジネスの着眼点や起業して事業を成功させるために必要なマーケティングおよび資金計画・利益計画など、事 前検討項目を理解するとともに、講義・演習を通じて、その検討結果を自分自身の事業計画書(ビジネスプラン) としてまとめていく能力が備わっている。
- ・同時に、IT人材(高度情報化人材)として事業の成功や失敗のケースを学び、社会に出てから役に立つ経営学 について関心を持ち、積極的に関連する資格(簿記や販売士等)にも挑むようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ・基本的に対話型・演習型の講義になります。よってただ単に出席し、講義を聴いているだけでは単位取得できま せん。
- ・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応するとともに、自身のビジネスアイディアやビジネスプラン をまとめ、発表してもらいます。
- ・また土日を使った集中講義(特別講義)では、ビデオ演習や学外の企業・店舗を視察し、 損益分析などのビジネ スシミュレーションを行います。視察資料やビデオに基づきディスカッションを行うなど、情報収集能力(聞き取り カ.メモカ等)や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関 するアドバイス・相談等は研究室での直接面談またはGoogleクラスルームやEメール等で対応します。

・オフィスアワー以外の不在時には、研究室のメッセージボードやEメール(endo@kiis.ac.jp)等を活用してください。 ・自主性を重要視するので「来る者拒まず、去る者追わず」のスタンスで対応しますが、「聞くは一時の恥、聞かぬ」 は一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には,必要に応じて,販売士(3級~1級),経営学検定(マネジメント検定:初級,中級,上級),中小企業診断士等, 経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。

・事前・事後学習としての課題レポート以外に、授業態度や資格試験への積極的な取り組み、関連するレポートおよび学習 記録(事前学習/授業レポートやポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 事業再構築のプランニング 井上善海ほか 中央経済社 4-502-37510-1 参考文献 Reference Books 出版社 Publisher ISBN⊐-F ISBN Code 書名 Title 著者名 Author さあ、発明家の出番です! 風媒社 藤村靖之 4-8331-3134-X

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法:ビジネスプラン(50%), 平常点(出席率, ディスカッションへの参加, 各種レポート課題等の提出, |ポートフォリオ提出, 教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性)等(50%)を総合的に考慮して評価しま

評価基準:広く社会や企業および仕事の意義等について理解している。一貫性のあるビジネスプラン作成のプロ セスおよび必要な各検討項目を理解している。自分自身のアイディアをビジネスプランとしてまとめることができ る。また各種の資格にも挑むくらい、経営学について関心を持ち、学習に対する積極性をもっている。

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	講義の目的と進め方(講義内容のアウトラインおよびワークシートの理解)					
第1回	事前学習 シラバス, テキストの確認とビジネスアイディアの検討(2時間)					
	事後学習 テキストおよび配布資料の再確認とビジネスアイディアの検討(2時間)					
	自信と企業の関係、企業の存在意義と成長要因					
第2回	事前学習 テキストおよび配布資料の確認とビジネスアイディアの検討(2時間)					
	事後学習 テキストおよび配布資料の再確認とビジネスアイディアの検討(2時間)					
	経営理念・事業コンセプトの重要性					
第3回	事前学習 テキストおよび配布資料の確認とビジネスアイディアの検討(2時間)					
	事後学習 テキストおよび配布資料の再確認とビジネスアイディアの検討(2時間)					
	新事業計画の策定手順と記入例					
第4回	事前学習 配布資料(事業計画書ワークシート)の事前確認とビジネスアイディアの検討(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 配布資料(事業計画書ワークシート記入例)の再確認とビジネスアイディアの検討(2時間)					
	事業計画ワークシートの作成ー演習(1):ビジネスアイディアの抽出					
第5回	事前学習 配布資料(事業計画書ワークシート記入例)の再確認とビジネスアイディアの検討(2時間)					
	事後学習 自身のビジネスアイディアの検討(2時間)					
	事業計画ワークシートの作成ー演習(2):ビジネスアイディアの評価					
第6回	事前学習 自身のビジネスアイディアの検討と評価(2時間)					
	事後学習 自身のビジネスアイディアの評価とブラッシュアップ(2時間)					
	事業計画ワークシートの作成ー演習(3):事業コンセプトと経営理念					
第7回	事前学習 自身のアイディアの事業コンセプトの検討(2時間)					
	事後学習 自身のアイディアの事業コンセプトのブラッシュアップ(2時間)					
	事業計画ワークシートの作成ー演習(4):外部環境と内部環境の評価					
第8回	事前学習 自身の事業内容の外部環境・内部環境の検討(2時間)					
	事後学習 (内容・時間) 自身の事業内容の外部環境・内部環境の再検討(2時間)					

	事業計画ワークシートの作成ー演習(5):マーケティングの展開
第9回	事前学習 自身の事業内容のマーケティングの検討(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 自身の事業内容のマーケティングの再検討(2時間)
	事業計画ワークシートの作成ー演習(6):ビジネスモデルの検討
第10回	事前学習 自身の事業内容のビジネスモデルの検討(2時間)
	事後学習 自身の事業内容のビジネスモデルのブラッシュアップ(2時間)
	事業計画ワークシートの作成ー演習(7):収支計画(見積損益計算書の作成)
第11回	事前学習 自身の事業内容の収支計画の検討(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 自身の事業内容の収支計画の再検討(2時間)
	事業計画ワークシートの作成ー演習(8):資金計画(設備資金と運転資金)
第12回	事前学習 (内容・時間) 自身の事業内容の資金計画の検討(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 自身の事業内容の資金計画の再検討(2時間)
	事業計画ワークシートの作成ー演習(9):販売計画
第13回	事前学習 (内容・時間) 自身の事業内容の販売計画の検討(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 自身の事業内容の販売計画の再検討(2時間)
	ビジネス・プレゼンテーション(プレゼンテーションとビジネスプランの評価)
第14回	事前学習 自身の事業のプレゼンテーション内容の検討(2時間)
	事後学習 自身の事業のプレゼンテーション内容のブラッシュアップ(2時間)
	講義のまとめと全体総括
第15回	事前学習 (内容・時間) 自身の事業計画書の再確認(2時間)
	事後学習 講義のまとめと全体総括の復習(2時間)
第16回	事業計画書(ビジネスプラン)およびプレゼンテーション資料の提出

ナンバリング(Numl	pering)]					
1EGN-5510-22	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
国際経営論		219~ 経営情報学科 2年生·後期		2単位	選択	小川 雄平	
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条 Course Prerequi			や多国籍企業に興味 んで、時事問題に関			o	

経済のグローバル化と少子高齢化の進行に対応して、日本企業は製造業から商業・小売業に至るまで、中国や東南アジア諸国へと進出している。授業では、グローバル化する世界経済の実態を学び、変化する経済環境に対応して採られる企業の国際経営戦略を考察する。実例に相応しい新聞記事を取り上げて理解を深める。授業は、毎回準備するプリントとテキストを併用して進める。

授業概要 Course Outline

受講者の理解度を確認するために、小テストを実施する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty		実務経験内容		実務経験をいかした教育内容	
with Work Experience		Work Experience Content	Class	Contents Utilizing Work Experience	
該当しない					
		授業を通して修得できる力	Competency	y Goals	
知識・理解の観点		多文化・異文化に関する知識の理	解	Multiple Culture / Different Culture	0
IZ I I III I					

	授業を通して修得で	きる力 Competency	/ Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0	
77 田45++4kの知 b	数量的スキル	Mathematics		0	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	,		
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / C	reative Thinking	0	
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding	Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management		0	
** + + + + + + + + + + + + + + + + + +	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 or cornar quartities	倫理観	Ethical Sense		0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	,	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning		0	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Sk	kills	0	

到達目標 Objectives

- この授業では、学則第3条を踏まえて、経営学の基本知識の修得に努め、
- ・世界経済の現状が把握できること
- ・企業の国際経営戦略の課題が理解できること
- ・国際経営分野の更に専門的な学習への橋渡し、あるいは実生活での活用に役立てられることを目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ①双方向・対話型の授業を心掛けるので、積極的な発言を期待する。
- ②質問を歓迎する。理解できないことは、どしどし質問して欲しい。
- ③企業の経営者であるとの想定で企業戦略を考えてもらうような取り組みも実施したい。

node

水・木・金曜日のオフィスアワーは研究室(182号室)に待機しているので、気軽に訪ねてほしい。 メールによる質問も活用してほしい(メールアドレス: ogawa@kiis.ac.jp)。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修度確認チェック表」に必要事項を記入してメールで提出すること。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
国際ビジネス論を学ぶ	小川雄平・猿渡剛編著	中央経済社	978-4-502-35761-9				
	参考文献 Referen	ce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
国際経営 第5版	吉原英樹	有斐閣	978-4-641-22172-7				
成績	平価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation					

以槓評価方法 Grading Criteria ∕ **Method of Evaluation**

定期試験を実施する。成績評価は、学習成果の達成度を評価する観点から、定期試験70%、授業中に実施する 小テスト20%、授業への取組み10%とする。欠席日数が3分の1を超える者は定期試験の受験資格を認めない。

授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme			
	 オリエンテーション:経済と経営の違いは?国際経営とは?(授業のアウトラインの説明) 			
第1回	事前学習 (内容・時間) シラバスをよく読んで、注意事項をメモし、授業の全体の流れを把握しておく。	時間:2時間		
	事後学習 (内容・時間) プリントを熟読して授業内容を振り返り、不明な個所を明らかにしておく。	時間:2時間		
	株式会社の仕組みと企業経営			
第2回	事前学習 (内容・時間) プリントを読んで「株式会社」について事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間:2時間		
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間:2時間		
	多国籍企業の経営目標と国際経営戦略			
第3回	事前学習 (内容・時間) プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけてておく。	時間:2時間		
	事後学習 テキストの第5章をよく読んで、多国籍企業の理解を深めておく。	時間:2時間		
	日本経済の構造変化と企業の多国籍化			
第4回	事前学習 (内容・時間) テキストの序章をよく読んで事前学習し、疑問点を見つけてておく。	時間:2時間		
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで、授業内容を復習する。	時間:2時間		
	日本企業のグローバル展開:グローバルサプライチェーンとは何か			
第5回	事前学習 (内容・時間) プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間:2時間		
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間		
	少子高齢化と日本的経営			
第6回	事前学習 (内容・時間)	時間:2時間		
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間		
	日本企業とアジアビジネス			
第7回	事前学習 テキストの4章と11章をよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間:2時間		
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間		
	為替レートと企業戦略 I : 為替レートの決定要因、為替レートの影響、企業の社内レート			
第8回	事前学習 (内容・時間) テキストの3章をよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間:2時間		
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間:2時間		

	 為替レートと企業戦略 II : 円高と生産・輸出拠点の移転・再移転 	
第9回	事前学習 (内容・時間)	時間:2時間
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間:2時間
	貿易取引の実際と決済	
第10回	事前学習 (内容・時間) プリントをよく読んで「外国為替」について事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間:2時間
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間
	日本の関税と自由貿易協定(FTA)	
第11回	事前学習 (内容・時間) テキストの2章をよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間:2時間
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間
	メガFTAと企業戦略	
第12回	事前学習 (内容・時間) プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間:2時間
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間:2時間
	自動車産業の生産・輸出基地としてのメキシコ	
第13回	事前学習 テキストの7章をよく読んで、自動車生産についての理解を深めておく。	時間:2時間
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間
	多国籍企業とタックスへイブン(租税回避地)	
第14回	事前学習 (内容・時間) プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間:2時間
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間:2時間
	日本企業の税務戦略と移転価格税制	
第15回	事前学習 _(内容・時間) プリントを読んで「移転価格税制」について事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間:2時間
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間
第16回	定期試験	

ナンバリング (Numbering)							
1EGN-5530-22E	1EGN-5530-22E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
国際情報分析		219~223 経営情報学科	2年生•後期		2単位	選択	クリス フリン
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisites		英検準2級・	TOEIC 550程度の3	英語能:	力が必要。		

この講義では世界のマスコミや情報源を紹介し、主に英語の情報を分析して研究する。毎週時事ニュースの記事を紹介し、研究する。世界の主な新聞、テレビ、インターネットサイトなどの記事やレポートを徹底的に分析、理解、そして議論する。毎回のプリントが試験持ち込み可なので、大事にとっておいてください。建学の精神、3つのポリシー(CP, DP)、学習目標(学則1, 3条)に基づいています。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

with Work Experience	Work Experience Content	0.00	S Contents Offizing Work Experience		
該当しない					
	授業を通して修得でき	きる力 Competend	cy Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0	
77 ET 44 44 6 49 5	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 , Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
	<u></u> 論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
]	建学の精神	University Founding	g Philosophy		
	自己管理力	Self-management			
	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibilit	zy	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning		0	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience		
	創造的思考力	Creative Thinking S	Skills		

到達目標 Objectives

現代の社会では国際化・情報化がマスコミに大きな影響を与えてきた。衛星テレビ、インターネットのニュースサイトやテレビ局のon-demand動画映像などが大量の情報を供給しているが、その中から適切な情報を検索、選択する技術が求められている。またはいわれるFAKE NEWSを見分けるスキルも身に付ける

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

中間試験と期末試験として、学生が新聞記事などを用意し、クラスに詳しく説明するというプレゼンテーション形式 を実施する。または積極的に毎週の主なニュースを調べて、クラスに紹介する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(362)にて随時受け付けます。オフィスアワー: 火曜日2時限目と5時限目

flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|外部試験:英検検定試2~3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。 |試験日 5,10,1月、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。 |学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入すること。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code 毎週、新聞記事をプリントして配布 する。その記事はテストの題材と なる 参考文献 Reference Books 書名 Title ISBNコード ISBN Code 著者名 Author 出版社 Publisher 報道は欠陥商品と疑え 鳥越 俊太郎 ウエイツ 4-901391-22-4 成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

50%授業の貢献度、50%期末レポート・試験

授業計画 Course Schedule					
テーマ Theme					
	Introduction to Media Studies 国際情報分析・メディア				
第1回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)				
	事後学習 (内容・時間) 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)				
	First News Topic 第1回のニュース記事				
第2回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)				
	事後学習 (内容・時間) 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)				
	Second News Topic 第2回のニュース記事				
第3回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)				
	事後学習 (内容・時間) 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)				
	Third News Topic 第3回のニュース記事				
第4回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)				
	事後学習 (内容・時間) 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)				
	Fourth News Topic 第4回のニュース記事				
第5回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)				
	事後学習 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)				
	Fifth News Topic 第5回のニュース記事				
第6回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)				
	事後学習 (内容・時間) 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)				
	Sixth News Topic 第6回のニュース記事				
第7回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)				
	事後学習 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)				
	Seventh News Topic 第7回のニュース記事				
第8回	事前学習 (内容・時間) 1から7の記事を復習すること。(2hr)				
	事後学習 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)				

	Eigth News Topic 第8回のニュース記事
第9回	事前学習 (内容・時間) 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)
	Ninth News Topic 91回のニュース記事
第10回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)
	Tenth News Topic 第10回のニュース記事
第11回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)
	中間テスト、これまで勉強した1~4回の記事(TOPIC)についてのテスト
第12回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)
	中韓テスト 振り返り
第13回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)
	Eleventh News Topic 第11回のニュース記事
第14回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)
	Tests preparation テスト準備
第15回	事前学習 毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習 記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索(2hr)
	期末テスト、 TOPIC 5~11についての期末テスト

ナンバリング (Numbering)							
1EGN-6290-Z2E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネス英語 Ⅱ		221~223 経営情報学科 219-220	3・4年生・後期		2単位	選択	藤内 響子
C V T V X m I	ことがへ来記せ		2年生・後期		2412	الحق المح	nxr j e j
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisites		英語の基礎	力を持っていること。	熱意を	を持って学習	や発表	に取り組めること。

商品価格や為替相場決定のメカニズムから説き起こして、関税、経済ブロック、対外債務、南北格差問題、さらには経済成長が地球環境に及ぼす影響まで。身の回りで起こっている様々な経済事象の中から、最も大きな変化をとげつつあるテーマを題材に選び、今日の世界経済を語るうえで欠かせないテーマを英語で学ぶものである。なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

授業概要 Course Outline

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0	
刀田幼士松の知り	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management	0	
** まりはの知よ	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
T STOOTHAN GUARRINGS	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning	0	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達	日煙	Obiec	tives

基本的な経済事項を英語で理解できる様になること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業の内容を敷衍する形で現実に社会の中で起きている経済事象を確認し、問題点等をまとめて、授業で発表してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

随時研究室(272)にて受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

外部試験として英検やTOEICの受験を推奨します。受験者には成績評価時に加点します。 ポートフォリオシートは、Google Classroom を用いてやり取りを行います。必要事項を記入し最終講義時に提出し て下さい。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
毎回プリントを用意して配布します。					
	参考文献 Reference Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
なし。					
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme			
	Introduction			
第1回	事前学習 (内容・時間) テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	Department Stores and Supermarkets			
第2回	事前学習 テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	Discount Stores			
第3回	事前学習 テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	Catalogue Shopping			
第4回	事前学習 テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	Catalogue Shopping			
第5回	事前学習 テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	Tourism			
第6回	事前学習 (内容・時間) テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	Weather Forecasting and It's Links to the Economy			
第7回	事前学習 テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	Product Liability Laws			
第8回	事前学習 (内容・時間) テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 (内容・時間) は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			

	Japan's N	lew Product Liability Law			
第9回	事前学習 (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 (内容·時間)	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	Japan's N	lew Product Liability Law			
第10回	事前学習 (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 (内容·時間)	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	Genetic E	ngineering			
第11回	事前学習 (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 (内容·時間)	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念 は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	Genetic E	ngineering			
第12回	事前学習 (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 (内容·時間)	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	Bioremediation and Bioreactors				
第13回	事前学習 (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 (内容·時間)	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	Bioremedia	ation and Bioreactors			
第14回	事前学習 (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
	事後学習 (内容·時間)	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
	New Busin	nesses and Health			
第15回	事前学習 (内容·時間)	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。(各回ごとに2.0h)			
		授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)			
第16回 (定期試験)	定期試験等	等			

ナンバリング (Numbering)							
1EGA-5520-Z2E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
国際経済論		219~ 経営情報学科	3•4年生•前期		2単位	選択	小川 雄平
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisites			こ関心があること。 こ興味を持って新聞	を読む	こと。		

国際経済・貿易の歴史や理論を踏まえた上で、著しくグローバル化した世界経済の現状を、直接投資、貿易、自由貿易協定等の基本的な内容も学びながら、日本経済との関わりで理解する。 テキストは使用せず、テキストに代わるプリントを準備して授業を進める。 授業の理解度を測るために、授業時間中に小テストを実施する。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Natur				
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0		
カロが井がる知り	数量的スキル	Mathematics	0		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy	0		
	自己管理力	Self-management			
	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 or sorial Qualities	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	0		

到達目標 Objectives

- この授業では、学則第1条を踏まえて、豊かな人間性を備えた創造的・実践的な人材の育成を目標に、
- •グローバル化した世界経済の現状が把握できること
- ・世界経済の抱える課題が理解できること
- ・国際貿易の歴史的歩みや諸理論が修得できること
- ・国際経済分野のより専門的な学習への橋渡し、あるいは実社会での活動に役立てられること、を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- ①双方向・対話型の授業を心がけるので、積極的な発言を求める。
- ②授業内容に関係する新聞記事を配布して問題の所在とその解決策を見出せるように促す。
- ③質問を歓迎する。理解できないことは、どしどし質問して欲しい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

- ①水・木・金曜日のオフィスアワーは研究室(182研究室)に待機しているので、気軽に訪ねてほしい。
- ②メールによる質問も受け付けるので、ogawa@kiis.ac.jp に送信してほしい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

|学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修度確認チェック表」に必要事項を記入して、メールで提出すること。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
教科書に代わるプリントを準備する。						
参考文献 Reference Books						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
東アジア地中海経済圏	小川 雄平	九州大学出版会	4-87378-918-4			
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation						

定期試験を実施する。成績評価は、学習成果の達成度を評価する観点から、定期試験70%、授業中の小テスト 20%、授業への取組み10%とする。欠席日数が3分の1を超える者は定期試験の受験を認めない。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	オリエンテーション:国際経済と世界経済の違いは?(授業のアウトラインの説明)				
第1回	事前学習 (内容・時間) シラバスをよく読んで、授業の全体の流れを理解し、注意事項を確認する。	時間:2時間			
	事後学習 プリントをよく読んで、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間			
	貿易の歴史:香料貿易・茶貿易・奴隷貿易				
第2回	事前学習 プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間			
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間			
	貿易理論の歴史 I:重商主義の貿易論とスミスの貿易論				
第3回	事前学習 (内容・時間) 重商主義に対するスミスの批判点を調べて予習し、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間			
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間			
	貿易理論の歴史 Ⅱ :リカードの比較生産費説				
第4回	事前学習 リカードの「比較優位」とは何かを調べて予習し、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間			
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間			
	貿易理論の歴史Ⅲ:ミルの相互需要説				
第5回	事前学習 プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間			
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間			
	貿易理論の歴史Ⅳ:乗数理論と貿易乗数				
第6回	事前学習 プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間			
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間			
	直接投資と国際収支				
第7回	事前学習 直接投資と間接(証券)投資の違いを調べて、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間			
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間			
	貿易取引と為替の原理				
第8回	事前学習 (内容・時間) プリントをよく読んで「外国為替」について予習し、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間			
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間			

	為替レートの決定と妥当な為替レート(購買力平価による為替レート)	
第9回	事前学習 プリントを読んで「為替レート」について予習し、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間
	事後学習 _(内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間
	生産性格差・賃金格差と為替レート	
第10回	事前学習 プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間
	事後学習 _(内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間
	関税とは?	
第11回	事前学習 プリントを読んで「関税」について予習し、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間
	事後学習 (内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間
	世界貿易機関(WTO)と自由貿易協定(FTA)	
第12回	事前学習 「世界貿易機関」について調べておき、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間
	事後学習 _(内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間
	国際経済と港湾物流	
第13回	事前学習 (内容・時間) プリントを読んで、日本の港湾の地位低下の原因を調べておく。	時間:2時間
	事後学習 _(内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間
	局地的経済圏と地域経済協力	
第14回	事前学習 プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間
	事後学習 (内容・時間) 参考書の8章をよく読んで、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間
	世界経済の課題:環境汚染と経済格差	
第15回	事前学習 プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモしておく。	時間:2時間
	事後学習 _(内容・時間) 疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間:2時間
第16回	定期試験	

ナンバリング(Numbe	ering)						
1EGA-5540-Z2E	E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学斯 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
国際政治学		~222 経営情報学科	3・4年生・前期		2単位	選択	坂上 宏
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisites		②カント『永遠 ※禁止事項:	すでに受講済みである。 平和のために』を読了 不必要な私語。正当な 指定する事項。	してお	くことが望まし		のない入退室。携帯電話の

近代国際関係の成立に関して、その最も重要な契機となるのが1648年ウェストファリア講和会議です。この会議を経て、主 権を有する国民国家を単位とする「国際関係」が生まれたと考えられています。この講義の前半では、H.Jモーゲンソーおよ びF.L.シューマンの所説に依拠しながら、近代国際関係の成立の背景として、中世末期から同会議に至る西ヨーロッパ世界 の変遷について説明し、次に近代国際関係の主要な特徴である国家主権、国際法、勢力均衡について解説します。後半で は、イマニュエル・カントの道徳論とそれに立脚する平和論について解説します。カントは、人間は自ら進んで善を行う「自 律」的存在であるとし、そのような「市民」から成る国家間の連合によって平和が実現されると主張します。このようなカントの 平和論の根底には、彼の哲学的に深遠な洞察があります。この講義では、そうした彼の思想についても可能な限り言及する ことにしたいと思います。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は 容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ 建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ 社 会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない				
	授業を通して修得でき	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
刀甲的针丝の知上	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
denerie cime	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management		
炎声 ナウ州の知上	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 or oonar adameroo	倫理観	Ethical Sense	0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

本講義の目標は、第一に受講者がH.JモーゲンソーおよびF.L.シューマンが説明する近代国際関係の成立とその基本的特 徴について理解できるようになることです。第二にイマニュエル・カントの説く平和論の内容について理解できるようになるこ とです。これらにより、受講者の国際政治に関する歴史的・理論的視野を広げることがさらなる目標です。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。

毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(363)およびGoogleクラスルーム・メール(sakagami@g.kiis.ac.jp)にて随時受け付けま

提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,

ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について 学習の確認:ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks 書名 Title 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 著者名 Author プリントを配布する。 参考文献 Reference Books ISBN⊐-F ISBN Code 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher 『永遠平和のために』『君主論』 4003362594.4003400000 カント, マキャベリ, 岩波文庫 ホッブズ 4003400410-429-437-445 『リヴァイアサン(1)~(4)』 『国際政治 上中下』※特に中巻 モーゲンソー(原彬久ほか訳) 岩波文庫 4003402812-2820-2839. 東京大学出版 4130300296.413030030X 『国際政治 上下』※特に上巻

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ(事前学習と事後学習)の提出、ルーブリックの提 成績評価の基準

①西欧国家体系の特質について、特にウェストファリア体制の成立、国家主権、国際法、勢力均衡について理解している

シューマン

②カントの平和論について、特に実践理性、平和状態と市民的体制、国際法と諸国家の連合、世界市民法と普遍的な友好 に関してそれぞれの内容を理解しているか。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	授業の方針、現代国際関係の特徴(ボーダーレスとボーダーフル) :プリント1				
第1回	事前学習 現代国際関係の特徴についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ①)(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 現代国際関係の特徴についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ①)(2時間)				
	中世ヨーロッパ社会の特徴、中世から近代への移行(ルネサンス運動、宗教改革):プリント2				
第2回	事前学習 中世ヨーロッパ社会の特徴についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ①)(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) ルネサンス運動の特徴についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ②)(2時間)				
	中世から近代への移行(資本主義、絶対王政国家の出現)、ドイツ30年戦争 : プリント3				
第3回	事前学習 中世から近代への移行についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ②)(2時間)				
	事後学習 ドイツ30年戦争についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ③)(2時間)				
	ドイツ30年戦争とウェストファリア講和条約~西欧国家体系の誕生、国際関係の誕生と外交の形成 :プリント4				
第4回	事前学習 ウェストファリア講和条約についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ③)(2時間)				
	事後学習 「内容・時間) 西欧国家体系についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ④)(2時間)				
	国際関係の誕生と外交の形成(中世イタリアの状況)、外交の目標と手段、国際政治とは何か :プリント5				
第5回	事前学習 (内容・時間) 『君主論』で述べられている外交の目標と手段について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ④)(2時間)				
	事後学習 (内容・時間) 『君主論』で述べられている外交の目標と手段について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑤)(2時間)				
	西欧国家体系を構成する概念その1(国家主権の概念について、その思想の変遷) : プリント6				
第6回	事前学習 国家主権の概念についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑤)(2時間)				
	事後学習 国家主権の概念についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑥)(2時間)				
	西欧国家体系を構成する概念その2(国際法と国際社会):プリント7				
第7回	事前学習 国際法についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑥)(2時間)				
	事後学習 国際法についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑦)(2時間)				
	西欧国家体系を構成する概念その3(勢力均衡とパワーポリティクス): プリント8				
第8回	事前学習 (内容・時間) 勢力均衡についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑦)(2時間)				
	事後学習 勢力均衡についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ®)(2時間)				

	国際政治と理想主義の思想 :プリント9
第9回	事前学習 国際政治に関する理想主義の思想についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ®)(2時間)
	事後学習 国際政治に関する理想主義の思想についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑨)(2時間)
	カントの思想① 純粋理性と実践理性 :プリント10
第10回	事前学習 カントが述べる純粋理性と実践理性についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑨)(2時間)
	事後学習 カントが述べる純粋理性と実践理性についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑩)(2時間)
	かかの思想②平和論(戦争状態と平和状態、平和状態と市民的体制): プリント11
第11回	事前学習 カントが述べる戦争状態と平和状態についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑩)(2時間)
	事後学習 カントが述べる平和状態と市民的体制についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑪)(2時間)
	カントの思想③平和論(国際法と諸国家の連合、世界市民法と普遍的な友好):プリント12
第12回	事前学習 (内容・時間) カントが述べる国際法と諸国家の連合についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑪)(2時間)
	事後学習 (内容・時間) カントが述べる世界市民法と普遍的な友好についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑰)(2時間)
	かかの思想④ 自然の摂理と永遠平和の保証について:プリント13
第13回	事前学習 カントが述べる自然の摂理についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑰)(2時間)
	事後学習 カントが述べる永遠平和の保証についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑬)(2時間)
	カントの思想⑤ 道徳について :プリント14
第14回	事前学習 (内容・時間) カントが述べる道徳のあり方についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑬)(2時間)
	事後学習 カントが述べる道徳のあり方についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑭)(2時間)
	カントの思想⑥ 道徳と政治の関係 :プリント15
第15回	事前学習 (内容・時間) カントが述べる道徳と政治のあり方についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑭)(2時間)
	事後学習 カントが述べる道徳と政治のあり方についてプリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑮)(2時間)
第16回	定期試験、ポートフォリオ&ルーブリック作成等

専門教育科目

(情報ネットワーク学科)

ナンバリング (Numb							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学類 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング初き	歩 I	219~ 情報ネットワーク学科	1年生•前期		2単位	必修	合田 和正
オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom あし		あり			
履修の前提条作 Course Prerequis		これまでに学習した情報・プログラミ! 書館の教職指定コーナーに配置され I」の教科書のプログラミング関連項 収予定)			いる高等学	校情報	科「情報の科学」「情報

学則第3条を踏まえて、

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての基本的な知識・技能を習得することを目標とする。 具体的には、プログラミングを通して、プログラミングの手順や流れを修得する。どのプログラミング言語を学ぶ上 でも根本が同じであることをプログラミング言語を通じて体感する。※Google Classroomを毎回の課題提出などで 使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competend	cy Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understandin	g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening		
汎用的技能の観点 Generic Skills	数量的スキル	Mathematics			
	情報リテラシー	Information Literacy			
denone entire	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
** まちせる知り	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 oroonar quantios	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibilit	zy		
	生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and		Integrated Learning	Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	Skills		

到達目標 Objectives

簡単なフローチャートを読み書きできるようになる。基本制御構造について理解し、簡単なプログラミングができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|演習課題などを通して各自のPCで実際にプログラミングを行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。また、電子メイルやその他に授業中に提示するその他の方法でも受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。

授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、

関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。 学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。 ※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
資料を配布します。			
	参考文献 Referen	ce Books	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
Scratchではじめよう! プログラミング入門	杉浦学	日経BP社	978-4-8222-9774-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- 1) 提出物(授業の振り返りや課題等)が約60%、
- 2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
- であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。 具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule							
	テーマ Theme						
	ガイダンス、プログラミング入門						
第1回	事前学習 身近なプログラムについて調べ、履修要件の内容をまとめて提出できるようにしておく。[2.0+						
	事後学習 _(内容・時間) 授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]						
	プログラミング関連の用語、概念						
第2回	事前学習 概念、コンセプト、イメージについて調べる。 [2.0h]						
	事後学習 授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]						
	フローチャート入門						
第3回	事前学習 フローチャート、流れ図、図式について調べる。[2.0h]						
	事後学習 端点、線、処理について理解を確認する。実際に描いてみる。振り返りを書く。[2.0h]						
	フローチャートとIPOモデルの考え方						
第4回	事前学習 起承転結、序論・本論・結論、文章による説明の流れについて調べる。[2.0h]						
	事後学習 IPO(Input, Process, Output)モデルに近いものを探してみる。振り返りを書く。[2.0h]						
	フローチャートを意識したScratchプログラミング						
第5回	事前学習 (内容・時間) Scratchプログラム(並べたブロック)やその実行結果、実況などを調べる。[2.0h]						
	事後学習 フローチャートとScratchプログラムの類似点を確認する。振り返りを書く。[2.0h]						
	Scratchプログラミング実習						
第6回	事前学習 (内容・時間) Scratchプログラムで簡単そうなものを探してみる(scratch.mit.edu)。 [2.0h]						
	事後学習 授業時間内に終わらなかった課題を完成させる。類題に挑戦する。振り返りを書く。[2.0h]						
	Scratchプログラミング、より高度な機能						
第7回	事前学習 これまでに使ったScratchのブロックとその分類についてまとめる。[2.0h]						
	事後学習 ペンに代表される拡張機能や、ブロック定義などを実際に使ってみる。[2.0h]						
	フローチャートを意識したScratchプログラミング(2)より高度な機能						
第8回	事前学習 IPOモデルやフローチャートの定義済み処理を意識したプログラムを考えてみる。[2.0h]						
	事後学習 実際にフローチャートを描いてから、それに基づいてプログラミングしてみる。振り返りを書 (内容・時間) く。 [2.0h]						

—	
	基本制御構造: 連接、選択、反復
第9回	事前学習 プログラムの基本制御構造(連接、選択、反復)について調べる。[2.0h] 内容・時間)
	事後学習 Scratchの制御ブロックと選択、反復の対応を確認する。振り返りを書く。[2.0h]
	Scratchプログラミング実習(2)基本制御構造を意識して
第10回	事前学習 部品化やIPOモデルを意識したプログラミングを想像してみる。[2.0h]
	事後学習 内容・時間) 文章、フローチャート、Scratchプログラムの順に開発してみる。振り返りを書く。[2.0h]
	Scratchプログラミング実習(3) 選択構造、反復構造
第11回	事前学習 10回でプログラミングしやすかった点、しにくかった点についてまとめる。 [2.0h]
	事後学習 _{内容・時間)} 授業時間内に終わらなかった課題を完成させる。類題に挑戦する。振り返りを書く。[2.0h]
	プログラミングにおける再帰の考え方と反復
第12回	事前学習 内容・時間) 再帰、基底、帰納、反復について調べる。 [2.0h]
	事後学習 内容・時間)単純なプログラムで再帰と反復を比較してみる。振り返りを書く。[2.0h]
	青報に関する知識とプログラミング
第13回	事前学習 プログラミングで扱うデータ表現と情報科学の知識について調べる。 [2.0h]
	事後学習 _{内容・時間)} 授業をうけて、初めてふれたこと、なぜ調べられなかったのか考察。振り返りを書く。[2.0h]
	変数と基本的データ構造とプログラミング
第14回	事前学習 内容・時間) 基本的データ構造、整数型、実数型、範囲、ビット数などについて調べる。 [2.0h]
	事後学習 _{内容・時間)} 最も基本的なデータ型一つは何か考察する。振り返りを書く。[2.0h]
	まとめ
第15回	事前学習 内容・時間) 14回までの内容をまとめる。 [2.0h]
	事後学習 _{内容・時間)} 定期試験に向けて、準備する。中間試験の復習もする。[2.0h]
第16回	定期試験
l	

ナンバリング (Numb							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング初:	歩Ⅱ	219~ 情報ネットワーク学科 1年生・後			2単位	選択	合田 和正
オンライン授業 Online Class	あり		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites		こいるこ	۲٤.				

学則第3条を踏まえて、

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての基本的な知識・技能を習得することを目標とする。 具体的には、フローチャートや変数表を活用して第三者が作成したプログラムを理解したり、更新したりできるようにする。また、逆に第三者が理解や更新を施すのが容易なプログラムの記述方法、例えば字下げや注釈添付なども学ぶ。さらに高度なプログラムを作成し、より高品質、より高信頼のプログラム作成を目指す。高品質を実現する方法の一つとしてGUI(Graphical User Interface)を用いた、プログラム作成にも挑戦してみる。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
カロの社会の知よ	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
demonie enime	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
华克 十九州 6年 5	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
i ordenar quantico	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

プログラミング初歩 I で学習したプログラミングの基礎に基づいて、さらに実際に多くのより複雑なプログラムを作成しつつ、プログラミング理論への理解をいっそう深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

演習課題などを通して各自のPCで実際にプログラミングを行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。また、電子メイルやその他に授業中に提示するその他の方法でも受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。

授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、

関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。

|※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
資料を配布します。								
参考文献 Reference Books								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
1) Scratchではじめよう! プログラミング入門	1) 杉浦学	1)日経BP社	1) 978-4-501-55450-7					
2) 学生のためのExcel VBA 第2 版	2) 若山芳三郎	2) 東京電機大学出版局	2) 978-4-8222-9774-9					

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- 1) 提出物(授業の振り返りや課題等)が約60%、
- 2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%

であって、かつ、これら1)、2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。

|具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	ガイダンス、プレースメント試験					
第1回	事前学習 プログラミング初歩 I の内容を復習する。[2.0h]					
	事後学習 (内容・時間) 不正解、不安、不明な問題を復習。振り返りを書く。[2.0h]					
	開発環境 (Scratch, VBS/VBA, Python)					
第2回	事前学習 開発環境、プラットフォーム、OS(基本ソフト)について調べる。[3.0h]					
	事後学習 プログラミング初歩 I の開発環境についてまとめる。振り返りを書く。[1.0h]					
	基本データ型					
第3回	事前学習 プログラミング初歩 I で学んだデータ型についてまとめる。[3.0h]					
	事後学習 型付き、型無し、強い型、弱い型についてまとめる。振り返りを書く。[1.0h]					
	データ型 I					
第4回	事前学習 (内容・時間) 基本データ型、派生データ型、配列、構造体、参照型、オブジェクトについて調べる。[3.0h]					
	事後学習 VBS, VBS, Scratchにおけるデータ型の扱いを確認する。振り返りを書く。[1.0h]					
	制御文(選択構造)					
第5回	事前学習 選択する際に、二者択一の場合と多岐選択の場合の違いを考察する。[3.0h]					
	事後学習 多岐選択が1つの部品の場合と複数の二者択一の組合せの場合と比較。振り返りを書く。 (内容・時間) [1.0h]					
	データ型 II					
第6回	事前学習 データ型と演算子、動的型付けと静的型付けについて調べる。[3.0h]					
	事後学習 モデル化、付番、数値化について調べる。振り返りを書く。[1.0h]					
	制御文(反復構造)					
第7回	事前学習 選択と反復の違いと特徴を確認する。[3.0h]					
	事後学習 (内容・時間) 定回反復と不定回(条件)反復、前判定と後判定についてまとめる。振り返りを書く。[1.0h]					
	中間試験					
第8回	事前学習 7回までの内容(プレースメント試験含む)を総復習する。 [3.0h]					
	事後学習 (内容・時間) 不正解、不安、不明な問題を復習。振り返りを書く。[1.0h]					

	プログラム	の抽象化
第9回	事前学習 (内容·時間)	コンピュータの五大装置と抽象化、データ・手続きの抽象化について考察。[3.0h]
	事後学習 (内容·時間)	マジックナンバーの排除の事例、変数・定数の導入を実習。振り返りを書く。[1.0h]
	手続きと関	男数 I (戻り値なし)
第10回	事前学習 (内容·時間)	手続き、作業、段取り、ひとまとめについて調べる。 [3.0h]
	事後学習 (内容·時間)	手続きを含むプログラムを書いて実行してみる。ない場合と比較。振り返りを書く。[1.0h]
	手続きと関	見数Ⅱ(戻り値あり)
第11回	事前学習 (内容·時間)	関数、変換、加工、写像について調べる。[3.0h]
	事後学習 (内容·時間)	関数を含むプログラムを書いて実行してみる。ない場合と比較。振り返りを書く。[1.0h]
	再帰とスタ	ック
第12回	事前学習 (内容·時間)	再帰と反復の関係、スタック、キューについて調べる。[3.0h]
	事後学習 (内容·時間)	再帰プログラムと反復プログラムを比較。振り返りを書く。[1.0h]
	応用プログ	ブラム I
第13回	事前学習 (内容·時間)	Scratch, VBS,VBAを復習する。フローチャート、IPOモデルについて復習する。[3.0h]
	事後学習 (内容·時間)	授業時間内に完成しなかった課題を完成させる。振り返りを書く。[1.0h]
	応用プログ	プラム Ⅱ
第14回	事前学習 (内容·時間)	VBS/VBA, Pythonを復習する。Scratchとの違いを意識する。[3.0h]
	事後学習 (内容·時間)	授業時間内に完成しなかった課題を完成させる。振り返りを書く。[1.0h]
	まとめ	
第15回	事前学習 (内容·時間)	14回までの内容をノートにまとめる。手書きを強く推奨。[3.0h]
	事後学習 (内容·時間)	定期試験に向けて、想定問題を作成し、解法込で説明できるようにする。[1.0h]
第16回	定期試験	

ナンバリング(Numl	pering)						
1AIN-6342-24	1AIN-6342-24E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング実	践 I	219~ 情報ネットワーク学科 2年生・前期			4単位	選択	荒平 高章
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
	優修の前提条件 urse Prerequisites			いること	:.(編入学生	はこの	限りではない.)

本講義ではディプロマポリシーに基づき、プログラミングに関する基本事項をおさえ、プログラムコードの記述方法、プログラムの実行に関する基本作法を学び、これらを実習を通して体系的に習得する. 本実習ではPythonを使用する.

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening			
20日初廿代の知上	数量的スキル	Mathematics	0		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
denerie ciano	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy	0		
	自己管理力	Self-management	0		
北京 ナウ州の 知り	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 orderial addition	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

①プログラミング言語に関する基本用語が説明できる. ②サンプルプログラムを応用できる. ③課題に応じて最適な処理構文を選択し, 使用できる. ④選択処理, 反復処理の構文が列挙できる. ⑤講義に参加できる. ⑥課題解決のためにお互いに助けることができる. ⑦疑問点を尋ねることができる. ⑧プログラム処理のためにPCを操作できる. ⑨サンプルプログラムを模倣できる. ⑩プログラム作成のためにフローチャートを自分で準備できる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義ではなく、実習型講義を実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは研究室(653)にて受け付ける. オフィスアワーの時間については掲示を確認すること. また, クラスルームを開設するので, 講義に関する連絡はクラスルームで行う.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

|学習の確認:本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること(毎時間)。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
Pythonスタートブック	辻 真吾	技術評論社	978-4774196435		
	参考文献 Referen	ce Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
Pythonチュートリアル	Guido van Rossum オーム社		978-4-87311-753-9		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

|実習課題(50%)と定期試験(50%)で評価する.

	授業計画 Course Schedule				
	講義ガイダンス				
第1回	事前学習 シラバスを通読し、受講理由を明確にする. (2.0h)				
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)				
	プログラミング概要				
第2回	事前学習 シラバスを通読し、受講理由を明確にする. (2.0h)				
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の振り返りを記載し復習する.(2.0h)				
	Pythonの実行環境構築				
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書の付録AおよびBを通読する(2.0h)				
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する. (2.0h)				
	Pythonの実行環境構築				
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書の付録AおよびBを通読する(2.0h)				
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する. (2.0h)				
	Pythonプログラミング入門(1)				
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.12-24)を通読する. (2.0h)				
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する. (2.0h)				
	Pythonプログラミング入門(1) 演習				
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.12-24)を通読する. (2.0h)				
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する. (2.0h)				
	Pythonプログラミング入門(2)				
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.25-35)を通読する. (2.0h)				
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する. (2.0h)				
	Pythonプログラミング入門(2) 演習				
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.25-35)を通読する. (2.0h)				
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する. (2.0h)				

	プログラムの材料と道具
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.38-61)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)
	プログラムの材料と道具 演習
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.38-61)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)
	データと型
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.64-86)通読する. (2.0h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)
	データと型 演習
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.64-86)通読する. (2.0h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)
	データ型
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.88-113)通読する. (2.0h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)
	データ型 演習
第14回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.88-113)通読する. (2.0h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)
	中間課題演習(1)
第15回	事前学習 第1回から第14回までの講義の復習をする. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)
	中間課題演習(2)
第16回	事前学習 第1回から第14回までの講義の復習をする. (2.0h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)

	条件分岐と繰り返し(for文)
第17回	事 共 兴 羽
7,	(内容・時間) 教行音の自然固別を(pp.116 122/通説する). (2.017)
	争後子音 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)
	条件分岐と繰り返し(for文)演習
第18回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.118-122)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する. (2.0h)
	条件分岐と繰り返し(if文)
第19回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.123-128)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する. (2.0h)
	条件分岐と繰り返し(if文) 演習
第20回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.123-128)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する. (2.0h)
	条件分岐と繰り返し(while文とエラー)
第21回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.129-145)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する. (2.0h)
	条件分岐と繰り返し(while文とエラー) 演習
第22回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.129-145)通読する. (2.0h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)
	ファイルの読み書き(1)
第23回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.148-167)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する. (2.0h)
	ファイルの読み書き(1) 演習
第24回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.148-167)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する. (2.0h)

	ファイルの読み書き(2)			
第25回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.148-167)通読する. (2.0h)			
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)			
	ファイルの読み書き(2) 演習			
第26回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所を(pp.148-167)通読する. (2.0h)			
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)			
	期末課題演習(1)			
第27回	事前学習 (内容・時間) 第1回から第26回までの講義の復習をする. (2.0h)			
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)			
	期末課題演習(2)			
第28回	事前学習 (内容・時間) 第1回から第26回までの講義の復習をする. (2.0h)			
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)			
	期末課題演習(3)			
第29回	事前学習 (内容・時間) 前回の期末課題演習の準備と復習を行う. (2.0h)			
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)			
	期末課題演習(4)			
第30回	事前学習 (内容・時間) 前回の期末課題演習の準備と復習を行う. (2.0h)			
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し、講義内容を復習する.(2.0h)			
第21日				
第31回 (定期試験)	定期試験を実施する.			

ナンバリング(Numl	pering)						
1AIN-6353-24	·Ε						
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
プログラミング実	プログラミング実践II		2年生・後期		4単位	選択	ディンダ プラマンタ
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom あり					
履修の前提条件 Course Prerequisites		プログラミン・	グ実践を修得した。	こと(履	修中や「不可	〕は不	可).

ディプロマポリシーに基づき, この授業では, Pythonプログラミングに関する基本事項を復習し, それらの知識・技能を活かして, より応用的な知識及び技能の獲得を目指す.

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

創造的思考力

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience

Creative Thinking Skills

授業概要 Course Outline

該当しない			
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understandin	g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
20日的社会の知よ	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0
deficite onling	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving	0
	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	0
能由、古白州の知占	チームワーク	Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
Torografia quantito	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and		Integrated Learning Experience	
I Intograted Learning Experience and	· ·		

Creative Thinking Skills

到達目標 Objectives

①プログラミング言語に関する基本用語が説明できる.②サンプルプログラムを応用できる.③課題に応じて最適な処理構文を選択し,使用できる.④講義に参加できる.⑤課題解決のためにお互いに助けることができる. ⑥疑問点を尋ねることができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義ではなく,実習型講義を実施する. 授業では教科書には載っていない内容についてもカバーする.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは551研究室にて受け付ける.オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.

その他 Others, 外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後,Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」にオンライン自己評価を記入し,提出して下さい.

生成系AIの使用に関するポリシーに基づき、本授業はその使用を禁止しています

初回の授業において、生成系AIの使用に関する規約宣言書を記入し、提出してください.

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
Python2年生 データ分析のしくみ 体験してわかる! 会話でまなべる! Python3年生 ディープラーニングのしくみ 体験してわかる! 会話でまなべる!	森巧尚	翔泳社	978-4798164960 978-4798174983		
参考文献 Reference Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
新・標準プログラマーズライブラリ 試 してわかる Python[基礎]入門	谷尻 かおり	技術評論社	978-4297125004		
P (+===					

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

毎回の課題orレポート50%, 中間課題演習15%, 後期課題演習15%, 定期試験20%.

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	講義ガイタ	「ンス, プログラミング概要				
第1回	事前学習 (内容·時間)	講義開始前までに、プログラミング実践Iの教科書を復習しておくこと.(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方, 手順などを教科書, Web, その他の参考書などを通して理解しておくこと.(2時間)				
	Pythonプレ	ィテスト				
第2回	事前学習 (内容·時間)	講義開始前までに、プログラミング実践Iの教科書を復習しておくこと.(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方, 手順などを教科書, Web, その他の参考書などを通して理解しておくこと.(2時間)				
	復習:デー	夕型				
第3回	事前学習 (内容·時間)	講義開始前までに、プログラミング実践Iの教科書の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)				
	復習:デー	タ型の作成				
第4回	事前学習 (内容·時間)	講義開始前までに、プログラミング実践Iの教科書の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)				
	条件分岐と	と繰り返しの復習				
第5回	事前学習 (内容·時間)	講義開始前までに、インタネットで、第5回のテーマを検索し、通読しておくこと.(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること.(2時間)				
	自前の関数	数を作成				
第6回	事前学習 (内容·時間)	講義開始前までに、インタネットで、第6回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)				
	Numpy:配	列(array)の基本と乱数生成(Random Number Generator)				
第7回	事前学習 (内容·時間)	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず,完成させること(2時間)				
	Numpy:基	本的な関数				
第8回	事前学習 (内容·時間)	講義開始前までに、教科書、Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)				
	事後学習 (内容·時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)				

		—
	andas: データの作成と読み込み	
第9回	事前学習 講義開始前までに、教科書、Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)	
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)	
	andas: データの索引と選択	
第10回	事前学習 講義開始前までに、教科書、Webの該当箇所を通読しておくこと(2時間)	
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)	
	andas: 欠損値と冗長なデータの除去	
第11回	事前学習 内容・時間) 講義開始前までに、教科書、Webの該当箇所を通読しておくこと(2時間)	
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)	
	andas: 条件と繰り返し処理	
第12回	事前学習 講義開始前までに、教科書、Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)	
	事後学習 内容・時間 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)	
	latplotlib:可視化	
第13回	前学習 内容・時間) 講義開始前までに、インタネットで、第13回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間)	
	事後学習 中間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)	
	latplotlib:カスタマイズ	
第14回	事前学習 講義開始前までに、インタネットで、第14回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間)	
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)	
	□間課題演習の練習	
第15回	事前学習 第3回~第14回を復習しておくこと.(2時間)	
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)	
	□間課題演習	
第16回	事前学習 第3回~第14回を復習しておくこと.(2時間)	
	事後学習 中間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)	

	BeautifulSoup:	:スクレイピング
第17回	事前学習 (内容·時間)	らいまでに、インタネットで、第17回のテーマを検索し、通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 時間	引内に作成できなかったプログラムは必ず,完成させること(2時間)
	テキスト分析	
第18回	事前学習 (内容·時間)	らいまでに、インタネットで、第18回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 場開始前までに、インタネットで、第18回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間)
	事後学習 時間	引内に作成できなかったプログラムは必ず,完成させること(2時間)
	Scikit-learn: サ	トンプルデータセット
第19回	事前学習 (内容·時間)	ら、
	事後学習 時間	引内に作成できなかったプログラムは必ず,完成させること(2時間)
	Scikit-learn: ア	? ヤメのデータセット
第20回	事前学習 (内容·時間)	ら、
	事後学習 (内容·時間) 時間	間内に作成できなかったプログラムは必ず,完成させること(2時間)
	Scikit-learn: 手	=書きの数字データセットと学習
第21回	車	生書きの数字データセットと学習 義開始前までに、インタネットで、第21回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間)
第21回	事前学習 (内容·時間) 事務学習	
第21回	事前学習 講 講 事後学習 時間	らいまでに、インタネットで、第21回のテーマを検索し、通読しておくこと.(2時間)
第21回	事前学習 (内容·時間) 講義 事後学習 (内容·時間) 時間 Scikit-learn: 手	義開始前までに、インタネットで、第21回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)
	事前学習 (內容·時間) 事後学習 (內容·時間) Scikit-learn: 手 事前学習 (內容·時間) 講	遠開始前までに、インタネットで、第21回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間) =書きの数字の予測
	事前学習 (內容·時間)	機開始前までに、インタネットで、第21回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間) 書きの数字の予測 機開始前までに、インタネットで、第22回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)
	事前学習 講	機開始前までに、インタネットで、第21回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間) 書きの数字の予測 機開始前までに、インタネットで、第22回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)
第22回	事(内字)	度開始前までに、インタネットで、第21回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間) =書きの数字の予測 展開始前までに、インタネットで、第22回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)
第22回	事(内 等)	機開始前までに、インタネットで、第21回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 「関内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間) 「書きの数字の予測 「機開始前までに、インタネットで、第22回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 「関内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間) 「関とOR 「機開始前までに、インタネットで、第23回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間)
第22回	事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内 事(内	機開始前までに、インタネットで、第21回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 「関内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間) 「書きの数字の予測 「機開始前までに、インタネットで、第22回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間) 「関内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間) 「関とOR 「機開始前までに、インタネットで、第23回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間)

	論理回路:	NANDŁXOR		
第25回	事前学習 (内容·時間)	講義開始前までに,インタネットで,第25回のテーマを検索し,通読しておくこと(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)		
	パーセプト	·ロン: NANDとXORロ		
第26回	事前学習 (内容·時間)	講義開始前までに、インタネットで、第26回のテーマを検索し、通読しておくこと(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)		
	Open Com	puter Vision (openCV): 始める画像処理		
第27回		講義開始前までに, 教科書, 参考文献, インタネットで, 第27回のテーマを検索し, 通読しておくこと.(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)		
	Open Computer Vision (openCV): フィルタ処理			
第28回		講義開始前までに,教科書,参考文献,インタネットで,第28回のテーマを検索し,通読しておくこと(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)		
	後期課題	寅習の練習		
第29回	事前学習 (内容·時間)	第17回~第28回を復習しておくこと.(2時間)		
	事後学習 (内容·時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること(2時間)		
	後期課題》	寅習		
第30回	事前学習 (内容·時間)	第17回~第28回を復習しておくこと.(2時間)		
		時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること、定期試験に向けて、本講義のGoogle Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をすること、(提出するのは不必要)(2時間)		
第31回	定期試験			
	後期課題河 事前学習 (内容·時間) 事後学習 (内容·時間)	第17回~第28回を復習しておくこと.(2時間) 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること.定期試験に向けて、本講義のGoogle		

ナンバリング (Numberin	ng)						
1AIB-5720-22E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
情報数学Ⅱ		219~ 情報ネットワーク学 科	2年生•前期		2単位	選択	宮﨑 武
オンライン授業 Online Class	<u>ا</u>		スルームの利用 logle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites 基礎数学を履修していることが望まし		望まし	, \ °				

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、大量データの処理に欠かせない数学の一分野である「微分・積分」 について学びます。蓄積されたデータから未来を予測するために必要な基礎知識を身に付けます。

実務経験のある教員による科目		実務経験内容	実務経験をいかした教育内容			
Subject Taught by The Faculty with Work Experience		Work Experience Content	Class	Contents Utilizing Work Experience		
該当しない						
	授業を通して修得できる力 Competency Goals					
知識・理解の観点		多文化・異文化に関する知識の理解		Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding		人類の文化・社会と自然に関する知	田識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
		コミュニケーション・スキル Readir	ng / Writing /	Speaking / Listening		

IXX 2.00 CP IT CE WITH COMPETCHOY Goals					
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening		
77 FT 44 44 6 78 5	数量的スキル	Mathematics		0	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	,		
donono okino	論理的思考力	Logical Thinking / C	reative Thinking	0	
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding	Philosophy		
	自己管理力	Self-management			
北京 ナウ州の知り	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 orsonal Gallicios	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

- 1. 基本的な関数の概念を知る。
- 2. 微分・積分の定義および概念を知る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容に関する演習問題を解き、数学的な考え方を学習します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室(274)にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:学習した内容を定期試験までに指定の用紙にまとめて提出してもらいます。

	教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
計算力をつける微分積分	神永正博•藤田育嗣	内田老鶴圃	978-4-7536-0031-1			
	参考文献 Referen	ce Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code			
大学基礎数学 微分積分キャンパス・ゼミ 改訂1	馬場敬之	マセマ出版社	978-4-86615-218-9			
基礎数学 -微分積分-	小島政利·竹内善和	共立出版	978-4-32001-634-7			
_b /s±=	T/T-1-1-0 11 0 11 1	/ • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験80%、演習課題20%

授業計画 Course Schedule				
		テーマ Theme		
	ガイダンス			
第1回	事前学習 (内容·時間)	高校の頃に勉強した数学の復習をしておく(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う(2h)		
	極限			
第2回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		
	導関数と微	数分		
第3回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		
	指数関数·	対数関数の微分		
第4回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		
	三角関数の	の微分		
第5回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		
	合成関数(の微分		
第6回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		
	対数微分流	法・ロピタルの定理		
第7回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		
	マクローリ	ン展開・テイラー展開		
第8回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)		

	関数の増え	咸
第9回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。(2h)
	微分の証明	明問題
第10回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
	微分まとめ	
第11回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
	不定積分	
第12回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
	定積分	
第13回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。(2h)
	面積∙体積	
第14回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
	積分まとめ	
第15回	事前学習 (内容·時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容·時間)	課題を行う。これまでに間違えた問題を何度も解く(2h)
第16回 (定期試験)	定期試験	
	(内容・時間) 積分まとが 事前容・時間) 事後学時間)) 前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)

ナンバリング (Number 1AIN-5192-22E	ring)						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
オペレーティングシステ	Fム論	219~ 情報ネットワーク学科	2年生•後期		2単位	選択	合田 和正
オンライン授業 Online Class	あり		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 情報学入門および情報リテラシー演 Course Prerequisites ITパスポート試験に合格していること				ているこ	۲ ۲ .		

学則第3条を踏まえて、

情報学分野の情報システム、オペレーティングシステムについての基本的な知識を習得することを目標とする。 具体的には、オペレーティングシステムの主たる機能:プロセス制御、割り込み、仮想記憶システム、ファイルの 入出力を中心に理解する。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施する ことがある。

授業概要 Course Outline

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understand	ng 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
カロが井外の知よ	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management		
** またいはいます。	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 or oor ar quarteroo	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考 Integrated Learning Experience a		Integrated Learning Experience	·	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

オペレーティングシステム(OS)とは何か、どんな機能を提供しているのか、オペレーティングシステムがなかった。 らコンピュータはどうなるかについて理解する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

小テストや演習課題等で自主的な学習を促す。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。 授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、

関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。

※学内のバスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

	预 剂自 10%	,001(3	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
オペレーティングシステム入門 (新版)	古市栄治	オーム社	978-4-274-22921-3
	参考文献 Referen	ice Books	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
レクチャー オペレーティングシステム	福田晃	数理工学社	978-4864810647
IT TEXT オペレーティングシステム	野口健一郎	オーム社	978-4274132506

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- 1) 提出物(授業の振り返りや課題等)が約60%、
- 2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
- であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごと評価が30%以上であること。 具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule				
	テーマ Theme			
	ガイダンス・プレースメント試験			
第1回	事前学習 情報学入門、ITパスポート試験のテクノロジ分野について学習しておく。[2,0h]			
	事後学習 (内容・時間) 解けなかった問題、不正解あるいは不安だった問題の復習。振り返りを書く。[2.0h]			
	オペレーティングシステムの役割			
第2回	事前学習 テキストがあれば、目次と本文前半を通読。なければ表題を検索してみる [2.0h]			
	事後学習 役割を表す文章は暗記する。振り返りを書く。 [2.0h]			
	プロセスの制御(1) 状態遷移			
第3回	事前学習 プログラムとプロセスについて調べる。プロセスの状態について調べる。[2.0h]			
	事後学習 プロセスの状態および状態間の遷移について図とともに理解し暗記。振り返りを書く。[2.0h]			
	プロセスの制御(2) 排他制御			
第4回	事前学習 哲学者の食事問題について調べてまとめておく。[2.0h]			
	事後学習 (内容・時間) 排他制御がないと困る場合とそうでない場合を整理。振り返りを書く。[2.0h]			
	プロセスのスケジューリング(1) プロセスの活動と並行動作			
第5回	事前学習 並行、並列、逐次の各用語について調べまとめておく。 [2.0h]			
	事後学習 (内容・時間) 逐次実行と並行実行を比較して、利点欠点を整理。[2.0h]			
	プロセスのスケジューリング(2) 様々なスケジューリング			
第6回	事前学習 基本的なスケジューリングについて、弱点と必要性をまとめておく。[2.0h]			
	事後学習 基本的なスケジューリングと比較しながらまとめる。[2.0h]			
	割り込みの制御(1) 外部割込みと内部割込み			
第7回	事前学習 割込みの種類と説明から自分のノートPCでの事例をイメージしまとめる。[2.0h]			
	事後学習 外部割込みと内部割込みの具体的事例を自分のノートPCを例に考えてまとめる。[2.0h]			
	割り込みの制御(2) 割り込みハンドラ、コンテクスト切替			
第8回	事前学習 (内容・時間) 実生活で作業を中断して、別作業後に円滑に元の作業に戻る工夫について考察。[2.0h]			
	事後学習 (内容・時間) 実生活での工夫とOSでの情報保持について対応を考察。 [2.0h]			

	仮想記憶システム(1) 主記憶と仮想記憶
第9回	事前学習 (内容・時間) 各自の短期記憶と長期記憶とノートなどの記録との関係を整理してみる。[2.0h]
	事後学習 各自の記憶・記録と仮想記憶とを比較して対応付けしてみる。 [2.0h]
	仮想記憶システム(2) ページング、入れ替えアルゴリズム
第10回	事前学習 スワッピングとページングの違い、基本的なページングアルゴリズムについて整理。[2.0h]
	事後学習 ノートやExcelで表を作成して実際に記入しながら理解を進める。振り返りを書く。[2.0h]
	仮想記憶システム(3) 演習、特にFIFO, LRUアルゴリズム
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書の演習問題を解いておく。 [2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 不正解、不安、不明な問題の復習。部分点を得るための工夫を整理。振り返りを書く。[2.0h]
	入出力とファイルの制御(1) デバイス
第12回	事前学習 プロセスのスケジューリングや割込みの内容と関連付ける。 [2.0h]
	事後学習 プリンタやLANなど身近なデバイスと関連付けて考察。振り返りを書く。[2.0h]
	入出力とファイルの制御(2) ファイルシステム、ディレクトリ
第13回	事前学習 ルート、ホーム、ディレクトリ、ツリー構造について用語整理。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 相対パスと絶対パス、区切り文字、ルートディレクトリについて整理。振り返りを書く。[2.0h]
	総合演習
第14回	事前学習 ページングアルゴリズム、特にLRUについて復習しておく。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 不正解、不安、不明な問題の復習。部分点を得るための工夫を整理。振り返りを書く。[2.0h]
	まとめ
第15回	事前学習 (内容・時間) 14回までの内容をまとめておく。定期試験の想定問題と解説を考えてまとめる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 定期試験に向けて、不得意な内容、不安な内容を復習する。[2.0h]
第16回	定期試験
(定期試験)	

モバイルネットワーク

(教職関連科目 選 高等学校 情報)

オンライン授業 なし Googleクラスルームの利用 あり Using Google Classroom あり

入学年度

Admission Year

共通

情報ネットワーク学科

履修の前提条件 Course Prerequisites 「情報学入門」を履修していること。(履修規程第5条3項に基づく)「情報テクノロジー(情報処理入門)」を履修し、テクノロジ分野について理解していることが望ましい。

単位数

Credit

2単位

必·選

選択

授業担当者

Instructor

岸川洋

「第5世代移動通信システム(5G)」の特徴及び活用事例について調べ、疑問点について整理しておくことが望ましい。

授業概要 Course Outline

開講学年•学期

School Year, Semester

3・4年生・前期

学習目標・目的(学則第3条)を踏まえて、ネットワーク関連の情報通信技術の知識とその活用能力を修得することを目的とする。

電気通信事業会社で、交換設備部門(開発、計画、設計、調達、保守)の実務経験のある教員が、モバイル通信のしくみ、モバイル通信の歴史等を解説することにより、第5世代・第6世代までの基礎知識を学修する。図表を作成し要点を整理することにより、理解を深める。

連絡事項はGoogleクラスルームにおいて確認できる。授業の資料はGoogleクラスルームにおいて入手できる。毎回の課題やレポートはGoogleクラスルームに提出する。授業の質問や感想は Googleクラスルームにも提出できる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content			Class	実務経験をいかした教育内容 Contents Utilizing Work Experience		
該当	部門(11 当(2年) 年)、保	言事業会社勤務(30年)、交持 年)(研究開発担当(3年)、 、設計担当(2年)、調達担当 守担当(2年))、端末機器部 発担当)の実務経験を有する	計画担 á(2 門(3	電気通信事業会社における実務経験(交換設備部門 (11年)、端末機器部門(3年))があり、モバイル通信の 歴史、モバイル通信のしくみ、各分野における活用事 例、電気通信事業者、電気通信事業法 等について具 的に説明する。			
		授業を通して修得で	きるカ	Competency	y Goals		
知識・理解の観点	沪	多文化・異文化に関する知	識の理解	裈	Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Unders	tanding	人類の文化・社会と自然に	関するst	口識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
		コミュニケーション・スキル	Readin	g / Writing /	Speaking / Listening		
カロが井供の知	-	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観 Generic Skills		情報リテラシー	報リテラシー Information Literacy				
derione entitle		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
		問題解決力	Problem Solving				
		建学の精神	Univer	sity Founding	Philosophy		
		自己管理力	Self-management				
** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	9.±	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観 Personal Qualitie		リーダーシップ	Leader	ship			
1 51 55 Tal Qualities		倫理観	Ethical	Sense			
		市民としての社会的責任	Social	Responsibility	/		
		生涯学習力	Lifelon	g Learning		0	
統合的な学習経験と創造的 Integrated Learning Experie		統合的な学習経験	Integra	ted Learning	Experience		
Creative Thinking Skil		創造的思考力	Creativ	e Thinking Sl	kills		

到達目標 Objectives

「学修成果(Student Learning Outcomes) 2項 汎用的技能:ICT関連科目の学習をとおして、マネージメント分野だけでなく社会の多様な場面において、ICTを駆使して対応できる高度で専門的な技能を修得している。」に基づき。

モバイル通信のしくみを理解し効果的にモバイル通信を活用できる、「情報通信白書」等を活用して電気通信事業の動向を把握できる、さらにネットワーク社会の新しい分野で活躍できる人材となることを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回の授業で、授業内容をまとめた課題の提出があります。資料やネット検索等を活用して補足してください。 また意見、感想なども記入してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法:メールで連絡してください。又は事務局へ伝えてください。 オフィスアワー:授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:ITパスポート資格の未取得者は受験すること。資格取得状況を成績評価の対象とする。 学修の確認:ポートフォリオシート・ルーブリックに該当事項を記入して、課題と一緒に Googleクラスルームへ提出すること。

教科書 Textbooks 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐-F ISBN Code モバイルコンピューティング モバイル基礎テキスト(第8版) リックテレコム 978-4865943320 推進コンソーシアム 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 情報通信白書(令和2年版) 日経印刷株式会社 総務省 9784865792263 モバイル通信のしくみと技術が 井上伸雄 アニモ出版 '9784897951454 わかる本

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:平常点(60%)、定期試験(40%)。平常点は授業への参加状況、毎回の課題提出状況、 学習ポートフォリオ・ルーブリックの提出状況、小テスト、レポートで総合的に判断する。 成績評価の基準:利用部門での情報リーダーに必要な、モバイル通信ネットワークに関する知識がある。 (毎回の授業のキーワードについて正しく説明できる。)

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション(授業の概要・受講上の諸注意)
第1回	事前学習 「第5世代のサービス」についてネット検索等で調べ、疑問点を整理する。(2時間)
	事後学習 授業を受講するためのネットワーク環境や資料を整備する。(2時間)
	モバイル通信の概要
第2回	事前学習 テキストの次回授業範囲(p10-p11)を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	モバイル通信の歴史
第3回	事前学習 テキストの次回授業範囲(p6-p7)を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	モバイル通信のネットワーク
第4回	事前学習 テキストの次回授業範囲(p10-p11)を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	モバイル通信のつながるしくみ
第5回	事前学習 テキストの次回授業範囲(p2-3,p40-p41)を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	モバイル通信のインターネット接続
第6回	事前学習 「携帯電話のインターネットサービス」についてネット検索等で調べ、疑問点を整理する。(2時
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	各世代の特徴(第1世代~第3世代)
第7回	事前学習 テキストの次回授業範囲(p44-p49)を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	各世代の特徴(第4世代~第6世代)
第8回	事前学習 テキストの次回授業範囲(p50-p51,p164-p165)を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)

	モバイル通	通信の高速データ通信
第9回	事前学習 (内容·時間)	テキストの次回授業範囲(p30-p31)を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	モバイル通	通信のGPS機能
第10回	事前学習 (内容·時間)	「GPSの仕組み」についてネット検索等で調べ、疑問点を整理する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	モバイル通	通信とクラウドコンピューティング
第11回	事前学習 (内容·時間)	テキストの次回授業範囲(p72-p74)を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	電気通信	事業者
第12回	事前学習 (内容·時間)	テキストの次回授業範囲(p8-p9)を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	電気通信	事業法
第13回	事前学習 (内容·時間)	テキストの次回授業範囲(p146-p147)を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	モバイル通	通信の各産業・分野における活用事例
第14回	事前学習 (内容·時間)	テキストの次回授業範囲(p166-p167)を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
	まとめ	
第15回	事前学習 (内容·時間)	全体を振り返り、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容·時間)	キーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第16回	定期試験等	

ナンバリング (Numb	ering)						
1ENN-5050-12	E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
Webデザイン		223~ 情報ネットワーク学科	1年生・後期		2単位	選択	平塚 智一
Webコンテンツ制作 I		219~222 情報ネットワーク学科	1年生・後期		2平位	运扒	一小小 目
オンライン授業 Online Class	あり	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites		情報リテラシ	√一演習Ⅰに合格済	である	ことが望まし	l۱°	

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、ビジネスパーソンおよびITエキスパートとして仕事をする上で必須となるWeb技術の基礎について、現在、システム開発会社でエンジニアとしてWeb制作や開発を行っている教員が実務経験を生かした授業を行う。

ビジネスとインターネット、各種サービスとインターネットを概観する。ユーザ・インターフェイスと提供したいサービスの機能・構造との関係をどのようにデザインするか考察する。基本的なHTMLおよびCSSについて学習する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience		実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience			
該当	プログラ	・イト制作等におけるディレク ・マー、デザイナーとしてウェ ・ 条(15年)の実務経験を有す	ブ制作「た業業を行います」の天然社談をもとに、天例を	交え		
-		授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観り	戼	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Underst	tanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0		
71 ET 44 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観 Generic Skills		情報リテラシー	Information Literacy			
donono onino		論理的思考力	思考力 Logical Thinking / Creative Thinking			
		問題解決力	Problem Solving			
		建学の精神	University Founding Philosophy			
		自己管理力	Self-management			
北庄 十九州の年	a -	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観 Personal Qualitie		リーダーシップ	Leadership			
1 or oonar quarer	30	倫理観	Ethical Sense			
		市民としての社会的責任	Social Responsibility			
		生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思考力		統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Integrated Learning Experier Creative Thinking Skil		創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

ウェブサイト構築におけるプロジェクトの進め方を理解しつつ、ターゲットユーザの設定やウェブアクセシビリティ、 サイト構造・デザインの検討プロセス等について学ぶ。また、HTMLファイル、CSSファイルについて基本的な読み 書きができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、自分で考えたビジネス等のウェブサイトのデザインを目標に、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員とのメール等で行う。 (メールアドレス等は講義中に指示)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。 授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、関連内容の模擬試験の受験者・高得点者について は、その内容に応じて成績評価の参考とする。

|学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
1冊ですべて身につくHTML&CSS とWebデザイン入門講座	Mana	SBクリエイティブ	978-4815618469				
参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
Webディレクションの新・標準ルール 改訂第2版	栄前田 勝太郎, 滝川 洋 平	エムディエヌコーポレー ション	978-4844369783				
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation							

授業への参加態度等(30%)、課題や授業振り返りなどの提出状況(30%)、小テストおよび定期試験(40%)等で総合的に判断する。

授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme					
	ガイダンス					
第1回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)					
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)					
	Web制作の流れ(Webとは、UI・UX、ユーザビリティ等)					
第2回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)					
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)					
	Web制作の流れ(サイトの目的、ターゲットユーザ、ペルソナ等)					
第3回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)					
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)					
	Web制作の流れ(開発方針、ウェブアクセシビリティ、ユーザ接点等)					
第4回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)					
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)					
	Web制作の流れ(サイト構造、デザインの検討等)					
第5回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)					
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)					
	Web制作の流れ(コーディング、公開・運用、Webサイトの評価等)					
第6回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)					
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)					
	HTML・CSSの基礎(見出し、文章、画像等)、演習					
第7回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)					
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)					
	HTML・CSSの基礎(リスト、表、フォーム等)、演習					
第8回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)					
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)					

第9回	HTML・CSSの基礎(文字サイズ、フォントの種類等)、演習 事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
	HTML・CSSの基礎(文字列の配置、色等)、演習
第10回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
	HTML・CSSの基礎(背景画像、幅・高さの指定、余白の調整等)、演習
第11回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間)を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
	HTML・CSSの基礎(線を引く、リストの装飾、class・idの指定等)、演習
第12回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
	HTML・CSSの基礎(レイアウトを組む、CSSの初期化等)、演習
第13回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間)を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
	よりよいコピーの作り方1
第14回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
	よりよいコピーの作り方2、講義のまとめ
第15回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
第16回	定期試験等

ナンバリング(Numb	pering)						
1ENN-5862-22	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
スイッチング技術		219~ 情報ネットワーク学 科	2年生・前期		2単位	選択	車 炳玘
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisites 1年次科目「情報ネットワー		情報ネットワーク入	門」を7	70点以上の月	成績で!	単位を取得すること。	

LANスイッチングに関する技術を実習を通して修得する。具体的には、スイッチの基本設定をはじめ、スパニングツリープロトコル、仮想LAN、VLAN間ルーティングなど企業内ネットワーク機器の根幹をなす機器であるスイッチに関する技術を習得する。

宝教奴除ないかした教育中家

0

0

宝 致 奴 段 巾 宓

チームワーク

リーダーシップ

生涯学習力

創造的思考力

統合的な学習経験

倫理観

宇務経験のある数員による利日

態度・志向性の観点

Personal Qualities

統合的な学習経験と創造的思考力

Integrated Learning Experience and

Creative Thinking Skills

美務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience		実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない						
		授業を通して修得で	きるカ	Competenc	y Goals	
知識・理解の観点		多文化・異文化に関する知識の理解		解	Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Unders	standing	人類の文化・社会と自然に	関する知	口識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
		コミュニケーション・スキル	Readin	g / Writing /	Speaking / Listening	0
7 844+44.05	a -	数量的スキル	Mathematics			
ル用的技能の街 Generic Skills	汎用的技能の観点 Generic Skills		Information Literacy		,	0
denone entire		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
		問題解決力	Problem Solving			0
	建学の精神		University Founding Philosophy			
		自己管理力	Self-management			

Teamwork

Leadership

市民としての社会的責任 Social Responsibility

Ethical Sense

Lifelong Learning

Creative Thinking Skills

Integrated Learning Experience

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、実習を中心に、情報通信ネットワークの基礎技術であるスイッチング技術を習得し、エンタープライズLANのパフォーマンスおよびセキュリティー対策として有効なVLANの運用に必要なスキル習得を目標とする。本授業を履修すると、初級レベルのネットワーク技術者、ヘルプデスク技術者およびコンピュータ技術者の業務に必要なスキルを修得できる。本講義履修と並行にCCNA(CCENT)資格の準備を始める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|実習トポロジーごとに新しくチームを組み、実習を行うこと。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法:学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先:cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。

オフィスアワー::水曜日2、3時限、木曜日3時限 研究室:656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。(CCENT, CCNA, CCNP) 学習の確認:オンラインテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					

■ シスコネットワーキングアカデミーオンライン教材 (https://www.netacad.com)

参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐—F ISBN Code 978-4797388824				
CCNA/CCENT 問題集	Gene	SBクリエイティブ					
成結員	亚価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation					

以稹評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験・オンラインテスト(40%)、実習(40%)、その他(20%、課題、チームワーク、ポートフォリオ、外部試験の結果)

	授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme						
	スイッチ導入ネットワークの概要						
第1回	事前学習 テキストセクション1. 0を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 テキスト1. O. 1. 2の課題を専用のノートにまとめること。2時間						
	LAN設計						
第2回	事前学習 テキストセクション1. 1を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 テキスト1. 1. 1. 6の課題を専用のノートにまとめること。2時間						
	スイッチ導入環境						
第3回	事前学習 テキストセクション1.2と1.3を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 テキスト1. 1. 2. 3及び1. 2. 1. 6の課題を専用のノートにまとめること。2時間						
	スイッチの基本設定						
第4回	事前学習 テキストセクション2.0と2.1を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 実習2. 1. 1. 6をパケットトレーサーで行うこと。2時間						
	スイッチの管理						
第5回	事前学習 テキストセクション2. 2読んでおくこと。2時間						
	事後学習 実習2. 2. 4. 11をパケットトレーサーで行うこと。2時間						
	スイッチセキュリティ						
第6回	事前学習 テキストセクション2. 3を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 テキスト2. 3. 1. 3のトポロジーの実装をパケットトレーサーで行うこと。2時間						
	VLANの概念						
第7回	事前学習 テキストセクション3.0を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 テキスト3. 0. 1. 2の課題を専用のノートにまとめること。2時間						
	VLANセグメンテーション						
第8回	事前学習 テキストセクション3. 1を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 テキスト3. 1. 2. 7の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間						

VLANの設計
事前学習 テキストセクション3.2を読んでおくこと。2時間
事後学習 (内容・時間) テキスト3. 2. 2. 5の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
VLANの実装
事前学習 テキストセクション3.3を読んでおくこと。2時間
事後学習 テキスト3. 3. 2. 2の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
VLANのセキュリティ
事前学習 テキストセクション3. 4を読んでおくこと。2時間
事後学習 テキスト3. 4. 1. 3のトポロジーの実装をパケットトレーサーで行うこと。2時間
VLAN間ルーティングの設定
事前学習 テキストセクション5.0と5.1を読んでおくこと。2時間
事後学習 (内容・時間) テキスト5. 1. 2. 4の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
VLAN間ルーティングのトラブルシューティング
事前学習 テキストセクション5. 2を読んでおくこと。2時間
事後学習 (内容・時間) テキスト5. 2. 2. 4の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
Layer 3 スイッチング
事前学習 テキストセクション5.3を読んでおくこと。2時間
事後学習 テキスト5. 3. 2. 4の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
スイッチネットワークの実装
事前学習 テキストセクション5. 4を読んでおくこと。2時間
事後学習 _(内容・時間) テキスト5. 4. 1. 2の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
シスコネットワーキングアカデミーオンラインテストを行う。

ナンバリング(Numb	ering)						
1ENN-5873-22	!E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.I	授業担当者 Instructor
ルーティング技術 219~ 情報ネットワーク学科		219~ 情報ネットワーク学科	2年生・後期		2単位	選択	車 炳玘
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条(Course Prerequis		2年次科目「ご	スイッチング技術」を	70点	以上の成績	で単位を	を修得すること。

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、LANにおけるルーティングに関する技術を実習を通して修得する。 具体的には、RIP、EIGRP,OSPFなどダイナミックルーティングプロトコル及び高度なIPアドレッシング技法について学習する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		
	□光ナス」ー版は一ナフ ⊥	

	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understandin	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0		
7 E 44+4k A 41 +	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
GOTTOTTO STATE	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
** 十 九 州 小知 上	チームワーク	Teamwork	0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0		
r orderial qualities	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

実習を中心に、情報通信ネットワークの基盤技術であるルーティング技術を習得し、エンタープライズLANの最適運用に必要なプロトコルの操作に関するスキルの習得を目標とする。本授業を履修すると、初級レベルのネットワーク技術者、ヘルプデスク技術者およびコンピュータ技術者の業務に必要なスキルを修得できる。本講義履修と並行にCCNA(CCENT)資格の準備を始める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

実習トポロジーごとに新しくチームを組み、実習を行うこと。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法:学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先:cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるベイフィスアワーの時間を利用してください。

オフィスアワー::水曜日2、3時限、木曜日3時限 研究室:656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。(CCENT, CCNA, CCNP) 学習の確認:オンラインテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

	教科書 Textb	oooks	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code

シスコネットワーキングアカデミーオンライン教材 (https://www.netacad.com)

参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author 出版社 Publisher		ISBN⊐ード ISBN Code				
CCNA/CCENT 問題集	Gene	SBクリエイティブ	978-4797388824				
☆繧≒	亚西士法 Cuadina Cuitavia	/ Mothed of Evaluation					

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験・オンラインテスト(40%)、実習(40%)、その他(20%、課題、チームワーク、ポートフォリオ、外部試験の結果)

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	ルーティングの概念
第1回	事前学習 テキスト4. Oを読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容・時間) 課題4. 0. 1. 2. を専用のノートにまとめておくこと。2時間
	ルータの初期設定
第2回	事前学習 テキスト4. 1を読んでおくこと。2時間
	事後学習 実習4. 1. 4. 6をパケットトレーサーで行うこと。2時間
	ルーティングの決定
第3回	事前学習 テキスト4. 2を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容・時間) 課題4. 2. 2. 5を専用のノートにまとめること。2時間
	ルータの動作
第4回	事前学習 テキスト4. 3と4. 4を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容・時間) 課題4.3.1.4を専用のノートにまとめること。2時間
	スタティックルーティングの実装
第5回	事前学習 (内容・時間) テキスト6. 0と6. 1を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容・時間) 課題6. 1. 2. 6を専用のノートにまとめること。2時間
	スタティックルートとデフォルトルートの設定
第6回	事前学習 (内容・時間) テキスト6. 2を読んでおくこと。 2時間
	事後学習 実習6. 2. 2. 5をパケットトレーサーで行うこと。2時間
	CIDR、VLSMとIPアドレッシング
第7回	事前学習 (内容・時間) テキスト6. 3を読んでおくこと。 2時間
	事後学習 実習6. 3. 3. 7をパケットトレーサーで行うこと。2時間
	スタティックルート及びデフォルトルートのトラブルシューティング
第8回	事前学習 テキスト6. 4~6. 6を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容・時間) 実習6. 5. 2. 5をパケットトレーサーで行うこと。2時間

	ダイナミックルーティングプロトコル
第9回	事前学習 テキス7.0と7.1を読んでおくこと。2時間 (内容・時間)
	事後学習 _(内容・時間) 課題7. 1. 4. 9~7. 1. 4. 11を専用のノートにまとめること。2時間
	ディスタンスベクターダイナミックルーティング
第10回	事前学習 テキスト7. 2と7. 3を読んでおくこと。2時間 (内容・時間)
	事後学習 _(内容・時間) 実習7. 3. 1. 8をパケットトレーサーで行うこと。2時間
	リンクステートダイナミックルーティング
第11回	事前学習 テキスト7. 4を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容・時間) 課題7. 4. 2. 9を専用のノートにまとめること。2時間
	ルーティングテーブル
第12回	事前学習 テキスト7. 5と7. 6を読んでおくこと。2時間 (内容・時間)
	事後学習 課題7. 5. 3. 3を専用のノートにまとめること。2時間
	シングルエリアOSPF
第13回	事前学習 _(内容・時間) テキスト8. 0を読んでおくこと。2時間
	事後学習 課題8. 0. 1. 2を専用のノートにまとめること。2時間
	OSPFの特性
第14回	事前学習 テキスト8. 1を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容・時間) 課題8. 1. 3. 5を専用のノートにまとめること。2時間
	シングルエリアOSPFの設定
第15回	事前学習 (内容・時間) テキスト8. 2から8. 4を読んでおくこと。2時間
	事後学習 実習8. 2. 4. 5をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第16回(定期試験)	シスコネットワーキングアカデミー実施のオンラインテストを行う。

ナンバリング (Numb								
1ENN-5060-22	<u> </u>							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.I	授業担当者 Instructor	
Webシステム		223~ 情報ネットワーク学科	2年生•前期		2単位	,555.TLL	77.10 An	
Webコンテンツ制作 Ⅱ		219~222 情報ネットワーク学科	2年生•前期		2単位 選択		平塚 智一	
オンライン授業 Online Class	あり	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条 Course Prerequi		Webデザイン	ィ(Webコンテンツ制化	作 I)に	こ合格済であ	ることだ	が望ましい。	

|ディプロマポリシーに基づき、この授業では、ビジネスパーソンおよびITエキスパートとして仕事をする上で必須と なるWeb技術の基礎について、現在、システム開発会社でエンジニアとしてWeb制作や開発を行っている教員が 実務経験を生かした授業を行う。

|科目「Webデザイン(Webコンテンツ制作 I)」での学習を踏まえて、各種Webサービスが提供する機能とそのため の構造、それらを支える基盤技術やプログラミング技術について総合的に学習する。Web関連ファイルについて 理解を深める。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience		実務経験内容 Work Experience Content		実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience				
該当	プログラ	・イト制作等におけるディレク ラマー、デザイナーとしてウェー 務(15年)の実務経験を有す	ブ制作	ウェブ制作会社における実務経験をもとに、実例を交えた講義を行います。				
		授業を通して修得で	きるカ	Competency	y Goals			
知識・理解の観点	点	多文化・異文化に関する知	識の理解	7	Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Underst	tanding	人類の文化・社会と自然に	関する知	□識の理解	Human Culture / Society / Nature	0		
		コミュニケーション・スキル	Readin	g / Writing /	Speaking / Listening	0		
77 四九十十十八年	-	数量的スキル	Mathematics					
汎用的技能の観 Generic Skills	尽	情報リテラシー	Information Literacy			0		
denone ciamo		論理的思考力	的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					
		問題解決力	Problem Solving C					
		建学の精神	University Founding Philosophy					
		自己管理力	Self-management					
能由・士白州の知	ı 上	チームワーク	Teamwork					
態度・志向性の観 Personal Qualitie		リーダーシップ	Leader	ship				
		倫理観	Ethical	Sense				
		市民としての社会的責任	Social	Responsibility	·			
		生涯学習力	Lifelon	g Learning		0		
統合的な学習経験と創造的 Integrated Learning Experier		統合的な学習経験	Integra	ted Learning	Experience			
Creative Thinking Skill		創造的思考力	Creativ	e Thinking Sl	kills			

到達目標 Objectives

具体的なウェブサイトを制作する際のHTML・CSSのコーディング手法、及びウェブサイトのコンテンツの一部であ るロゴやキャッチコピーの考え方について理解する。また、ウェブサイトを公開・運用する上で必要となるウェブや ネットワークの技術背景についての理解を深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、自分で考えたビジネス等のウェブサイトのデザインを目標に、学習内容をどう応用 |するかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員とのメール等で行う。 (メールアドレス等は講義中に指示)

> その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。 授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、関連内容の模擬試験の受験者・高得点者について は、その内容に応じて成績評価の参考とする。

|学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code			
1冊ですべて身につくHTML&CSS とWebデザイン入門講座	Mana	SBクリエイティブ	978-4815618469			
	参考文献 Referer	nce Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
図解まるわかり Web技術のしくみ	西村 泰洋 翔泳社		978-4798169491			
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation						

授業への参加態度等(30%)、課題や授業振り返りなどの提出状況(30%)、小テストおよび定期試験(40%)等で 総合的に判断する。

授業計画 Course Schedule							
	テーマ Theme						
	ガイダンス						
第1回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)						
	Web制作実践(フルスクリーンページ)						
第2回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間)						
	Web制作実践(2カラムレイアウト)						
第3回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 た仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)						
	Web制作実践(タイル型レイアウト)						
第4回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)						
	Web制作実践(外部メディアの利用)						
第5回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)						
	ロゴ						
第6回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)						
	キャッチコピー(レイアウトと装飾)						
第7回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)						
	キャッチコピー(効果を高める心理テクニック)						
第8回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)						
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)						

	演習
第9回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h) 事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題
	事後学音 技术プートを見直し、後に必要な情報を採じてすいる方によるの世す。光成できながらた課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
	ネットワークの基礎知識
第10回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h) 事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題
	(内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
	Web技術
第11回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
	HTTPのやりとりの仕組み
第12回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
	Webで扱うデータ形式
第13回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
	Webアプリケーションの基本
第14回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
	Webのセキュリティ、認証
第15回	事前学習 参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をした (内容・時間) り、タイピング練習をしたりする。(各回ごとに2.0h)
	事後学習 授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題 (内容・時間) を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。(各回ごとに2.0h)
第16回	定期試験等

ナンバリング(Numl	pering)						
1ENN-5082-22	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem	•	単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
Webプログラミング	I	219~ 情報ネットワーク学 科	2年生・後期		2単位	選択	車 炳玘
オンライン授業 Online Class	なし	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条 Course Prerequi		「プログラミング初歩I」、「「プログラミン 注意事項:携帯電話・スマートフォンの					単位を修得すること。

HTML、CSSによるWebページの作成およびPHPとのデータ受け取るの仕組みについて実習を通して修得する。

授業概要 Course Outline

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得できる力 Competency Goals							
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture						
Knowledge and Understand	ding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Natur	e O					
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening						
カロが井供の知り	数量的スキル	Mathematics						
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0					
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking						
	問題解決力	Problem Solving						
	建学の精神	University Founding Philosophy						
	自己管理力	Self-management						
	チームワーク	Teamwork	0					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership						
	倫理観	Ethical Sense						
	市民としての社会的責任	Social Responsibility						
	生涯学習力	Lifelong Learning						
統合的な学習経験と創造的思想 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience						
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills						

到達目標 Objectives

学則第3条を踏まえて、Webシステムの開発に必要な基礎概念およびスキールの修得を目標とする。本授業を履修すると、WebシステムにおけるHTML,CSSおよびPHPの役割や基礎概念の修得は勿論、初級レベルのネットワーク技術者、ヘルプデスク技術者およびコンピュータ技術者の業務に必要なスキルを修得できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ホームページのトレンドをつかむため、2人から4人のグループで必修技術や最新技術等をWeb上で調べ(5回以上)、ポートフォリオに記入すること。また、個人ホームページをレンタルサーバー(自己管理サーバー)上に作成し、第15回目の授業時間にそのURLを提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法:学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先:cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合 はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー::水曜日2、3時限、木曜日3時限 研究室: 656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:HTML5プロフェッショナル認定試験を受験すること。

教科書 Textbooks							
書名 Title	Title 著者名 Author 出版社 Publisher						
書きながら覚えるHTML&CSS入門 ワークブック	さわだ えり	技術評論社	978-4-7741-9626-8				
	参考文献 Referer	nce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
いきなりはじめるPHP	谷藤賢一	谷藤賢一 リックテレコム					
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation							

定期試験(30%)、実習課題(50%)、その他(20%、レポート、外部試験の結果)

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	TMLの基礎				
第1回	事前学習 内容・時間) Web教材 Hello World HTML Section 1と2を読んでおくこと。2時間				
	事後学習 課題1を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間				
	/ebシステムの概要、開発環境について				
第2回	革前学習 Web教材 Hello World HTML Section 3と4を読んでおくこと。2時間 内容・時間				
	『後学習 _{内容・時間)} 課題2と3を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間				
	開発用ソフトウェアの導入、設定				
第3回	事前学習 Web教材 Hello World HTML Section 5と6を読んでおくこと。2時間				
	事後学習 対容・時間) 課題4から6を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間				
	/ebページの作成、保存、表示				
第4回	事前学習 Web教材 Hello World HTML Section 7と8を読んでおくこと。2時間 内容・時間				
	事後学習 対容・時間) 課題7と8を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間				
	て字の操作(1)				
第5回	革前学習 Neb教材 Hello World HTML Section 9を読んでおくこと。2時間				
	事後学習 対容・時間) 課題9と10を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間				
	て字の操作(2)				
第6回	革前学習 Web教材 Try next HTML Section 1と2を読んでおくこと。2時間				
	事後学習 課題11と12を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間				
	ンクについて				
第7回	革前学習 Web教材 Try next HTML Section 3と4を読んでおくこと。2時間				
	事後学習 対容・時間) 課題13と14を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間				
	背景と罫線のデザイン				
第8回	軍前学習 内容・時間) Web教材 Try next HTML Section 5と6を読んでおくこと。2時間				
	事後学習 課題15から17を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間				

	画像の操作	作(1)
第9回	事前学習 (内容·時間)	Web教材 Try next HTML Section 7と8を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容·時間)	課題18と19を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
	画像の操作	作(2)
第10回	事前学習 (内容·時間)	Web教材 Try next HTML Section 9から11を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容·時間)	課題20から22を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
	テーブルの	D操作
第11回	事前学習 (内容·時間)	Web教材 Try next HTML Section 12と13を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容·時間)	課題23と24を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
	フォームの	操作(1)
第12回	事前学習 (内容·時間)	Web教材 First step CSS Section 1から3を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容·時間)	課題25と26を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
	フォームの)操作(2)
第13回	事前学習 (内容·時間)	Web教材 First step CSS Section 4から6を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容·時間)	課題27と28を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
	フォームデ	データのPHP操作の仕組み(1)
第14回	事前学習 (内容·時間)	Web教材 First step CSS Section 7から9を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容·時間)	課題29を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
	フォームデ	データのPHP操作の仕組み(2)
第15回	事前学習 (内容·時間)	Web教材 First step CSS Section 10から12を読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容·時間)	課題30を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第16回	4択及び訂	3述式問題による定期試験を行う。

ナンバリング (Numl							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学邦 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
Webプログラミング	п	219~ 情報ネットワーク学科	3・4年生・前期		2単位	選択	車 炳玘
オンライン授業 Online Class	なし		ioogleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条 Course Prerequi		「Webプログラミング1」を70点以上のF			戈績で、単位 を	を取得・	すること。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

PHPプログラミング及びMySQLの基礎及びHTMLとの連携について実習を通して取得する。

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competend	y Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understandin	g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	
カロの社会の知ら	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
denone enime	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding	g Philosophy	
	自己管理力	Self-management		
** また性の知り	チームワーク	Teamwork		0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
r oroomar quantros	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibilit	у	
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and		Integrated Learning	Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

学則第3条を踏まえて、Webシステム開発の基礎知識であるPHPプログラミング及びMySQLデータベースに関するスキールの取得を目標とする。本授業を履修すると、HTMLデータの処理方法やDBへの登録、検索、修正、削除などに必要なスキールを取得できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|授業内容を参考に各自Webシステムの設計及び実装を行い、第15回目の授業時に完成したのを発表する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法:学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先: cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー::水曜日2、3時限、木曜日3時限 研究室: 656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:PHP7技術者認定初級試験を受験すること。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
いきなりはじめるPHP	谷藤賢一	リックテレコム	978-4-89797-885-7				
	参考文献 Referen	ce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
イラストでよくわかるPHP	岡本雄樹	インプレスジャパン	978-4-8443-3295-4				
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation							

|定期試験(30%)、実習課題(50%)、その他(20%、レポート、外部試験の結果)

	授業計画 Course Schedule						
	テーマ Theme						
	入力フォームについて						
第1回	事前学習 テキスト Chapter 1と2を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 課題1を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	データの受け取り						
第2回	事前学習 テキスト Chapter 3. 1から3. 3を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 _(内容・時間) 課題2を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	変数						
第3回	事前学習 テキスト Chapter 3. 4から3. 6を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 課題3を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	入力チェック						
第4回	事前学習 テキスト Chapter 3. 7から3. 9を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 課題4を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	入力フォームの操作(1)						
第5回	事前学習 テキスト Chapter 3. 10から3. 12を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 _(内容・時間) 課題5を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	入力フォームの操作(2)						
第6回	事前学習 テキスト Chapter 3. 13から3. 17を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 (内容・時間) 課題6を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	データベースの概念						
第7回	事前学習 テキスト Chapter 4. 1を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 _(内容・時間) 課題7を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	MySQLの基本設定						
第8回	事前学習 テキスト Chapter 4. 2を読んでおくこと。2時間						
	事後学習 課題8を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						

	データベースとテーブルの作成
第9回	事前学習 (内容・時間) テキスト Chapter 4. 3を読んでおくこと。2時間
	事後学習 課題9を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
	データのタイプ
第10回	事前学習 _(内容・時間) テキスト Chapter 4. 4を読んでおくこと。2時間
	事後学習 課題10を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
	データの検索
第11回	事前学習 _(内容・時間) テキスト Chapter 4. 5から4. 7を読んでおくこと。2時間
	事後学習 課題11を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
	データの登録
第12回	事前学習 テキスト Chapter 4. 8と9を読んでおくこと。2時間
	事後学習 課題12を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
	データの修正
第13回	事前学習 (内容・時間) テキスト Chapter 4. 10を読んでおくこと。2時間
	事後学習 課題13を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
	データの削除
第14回	事前学習 (内容・時間) テキスト Chapter 4. 11と12を読んでおくこと。2時間
	事後学習 課題14を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
	課題の発表
第15回	事前学習 (内容・時間) 発表内容のPPTを作成し、予行演習を行うこと。2時間
	事後学習 発表内容の修正及びコメントなどを取り入れ、プログラムを修正し、指定のフォルダに保存し (内容・時間) ておくこと。5時間
第16回 (定期試験)	4択及び記述式問題による定期試験を行う。

ナンバリング(Numb	ering)						
1ENN-5104-Z2	E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem	•	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
Webフ [°] ロク [*] ラミンク [*] Ⅲ		219~ 情報ネットワーク学科	3・4年生・後期		2単位	選択	車 炳玘
オンライン授業 Online Class		_	スルームの利用 logle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		「Webプログ ⁻	ラミング Ⅱ 」を70点↓	以上の	成績で、単位	立を取得	引すること 。

関数の使い方など高度なPHPプログラミング技法及びデータベースの設計や管理、セキュリティ対策スキールを、 実習を通して取得する。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

授業概要 Course Outline

該当しない						
授業を通して修得できる力 Competency Goals						
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening				
7 E 44+4k A 58 F	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
donorio orano	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy				
	自己管理力	Self-management				
** 十九州 6 知 b	チームワーク	Teamwork	0			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
1 or oonar quantico	倫理観	Ethical Sense				
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning				
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

学則第3条を踏まえて、実践的Webシステム開発に必要なPHP及びMySQLスキールの取得を目標とする。本授業を履修すると、セキュリティ対策などを取り入れた安全なWebシステムの設計・実装及び運用に関するスキールを身に着けることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|授業内容を参考に各自Webシステムの設計及び実装を行い、第10回目及び第15回目の授業時に発表する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法:学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先:cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合 はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー::水曜日2、3時限、木曜日3時限 研究室: 656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。(HTML5プロフェッショナル認定資格、PHP技術者認定試験、ITパスポート、基本情報技術者) 学習の確認: HTML・CSS・PHPのコマンドのテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks 著者名 Author 出版社 Publisher ISBN⊐ード ISBN Code 書名 Title 基本がわかるSQL入門 西村 めぐみ 技術評論社 978-4-297-11659-0 参考文献 Reference Books 書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code スッキリわかるSQL入門 飯田理恵子 インプレス 978-4295005094 成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(30%)、実習課題(50%)、その他(20%、レポート、外部試験の結果)

	授業計画 Course Schedule							
	テーマ Theme							
	SQL&DBの基礎知識							
第1回	事前学習 内容・時間) テキスト Chapter 1.1を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間							
	事後学習 課題1を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間 内容・時間							
	BMSの基本機能							
第2回	事前学習 テキスト Chapter 1.2~1.3を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間 内容・時間)							
	事後学習 _{内容・時間)} 課題2を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間							
	DB及びテーブルの作成							
第3回	事前学習 内容・時間) テキスト Chapter 2.1~2.2を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間							
	事後学習 課題3を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間 内容・時間							
	テーブルの削除及び外部キーの設定							
第4回	事前学習 内容・時間) テキスト Chapter 2.3を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間							
	事後学習 課題4を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間 内容・時間)							
	データの追加と変更							
第5回	事前学習 テキスト Chapter 2.4~2.5を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間 内容・時間)							
	事後学習 課題5を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間 内容・時間							
	データの追加と変更の削除と検索							
第6回	事前学習 内容・時間) テキスト Chapter 2.6を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間							
	事後学習 課題6を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間 内容・時間							
	データの検索2							
第7回	事前学習 内容・時間) テキスト Chapter 2.7を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間							
	事後学習 課題7を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間 内容・時間							
	データの操作(SELECTの基本構文)							
第8回	事前学習 内容・時間) テキスト Chapter 6-1を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間							
	事後学習 課題8を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間 内容・時間							

	関数と演算子						
第9回	事前学習 (内容・時間) テキスト Chapter 6-2を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。 2時間						
	事後学習 (内容・時間) 課題9を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	結合						
第10回	事前学習 テキスト Chapter 6-3を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間						
	事後学習 課題10を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	集約関数						
第11回	事前学習 テキスト Chapter 6-5を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間						
	事後学習 課題11を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	テーブルの連結						
第12回	事前学習 テキスト Chapter 6-6を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間						
	事後学習 課題12を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	サブクエリー						
第13回	事前学習 テキスト Chapter 6-8を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間						
	事後学習 課題13を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	ウィンドウ関数						
第14回	事前学習 テキスト Chapter 6-9を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間						
	事後学習 課題14を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
	データの更新						
第15回	事前学習 テキスト Chapter 6-10を参考に、Web上で関連事項を探し、まとめること。 2時間						
	事後学習 課題14を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間						
第16回 (定期試験)	4択及び記述式問題による定期試験を行う。						

ナンバリング (Numbering)						
1ENN-6270-Z4ES						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年 • 学邦 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
ネットワークアプリケーション構築(教職関連科目 選 高等学校 情報		3・4年生・通年		4単位	選択	合田 和正
オンライン授業 Online Class あり		ラスルームの利用 pogle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		プログラミングの経 こ事前相談すること。		ること。未経	験者で	履修を希望する場合に

学則第3条を踏まえて、情報学分野の情報システム、システム開発についての知識・技能を習得することを目標

具体的には、Webアプリケーション開発のための技術について、アプリケーションの設計、プログラム開発の実習 を含めて学ぶ。プログラミング言語としては、Java, Webサーバおよびアプリケーションをサーバ内で稼働させるコ ンテナとしてはTomcat、アプリケーションの記述としてはサーブレット、JSP、JavaBeansを学び、演習を通して実 際に経験することによって構築技術を身に付ける。必要に応じてDockerコンテナを使用する。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。

この授業は、原則として対面で実施予定ですが、オンライン(Zoom)で実施する可能性がある。オンライン実施の 際はURL、IDは別途連絡する。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty

接業を通して修得できる力 Competency Goals 知識・理解の観点 Knowledge and Understanding 別用的技能の観点 Generic Skills 超量の表土ル Reading / Writing / Speaking / Listening 数量的スキル Mathematics 情報リテラシー Information Literacy 論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking ○ 問題解決力 Problem Solving ○ プラン・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening ○ Washing / Creative Thinking ○ Washing / Creative Thinking / Creative Thinking ○ Washing / Creative Thinking / Creative Thinking ○ Washing / Creative Thinking Skills ○ Wa	with Work Experience		Work Experience Content	Olass Contents Othizing Work Experience			
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding Namp	該当しない						
Knowledge and Understanding 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening 数量的スキル Mathematics 情報リテラシー Information Literacy 論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking O 問題解決力 Problem Solving O 問題解決力 Problem Solving O 自己管理力 Self-management O チームワーク Teamwork リーダーシップ Leadership 倫理観 Ethical Sense 市民としての社会的責任 Social Responsibility 生涯学習力 Lifelong Learning Experience and Integrated Learning Experience and Mathematics			授業を通して修得でき	る力 Comp	petency	Goals	
汎用的技能の観点 Generic Skills Talical Transmission Talical Transmis	知識・理解の観点		多文化・異文化に関する知	識の理解		Multiple Culture / Different Culture	
汎用的技能の観点 Generic Skills	Knowledge and Underst	tanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の	理解	Human Culture / Society / Nature	
The problem of th			コミュニケーション・スキル	Reading / W	riting / S	Speaking / Listening	
Reneric Skills	77 M 44 44 44 45 49	-	数量的スキル	Mathematics			
論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking 〇 問題解決力 Problem Solving ○ ② 建学の精神 University Founding Philosophy ○ ③ 自己管理力 Self-management ○ ③ チームワーク Teamwork リーダーシップ Leadership 倫理観 Ethical Sense 市民としての社会的責任 Social Responsibility 生涯学習力 Lifelong Learning ○ ③ 統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and をおいています。 「新会的な学習経験と創造的思考力」 が会的な学習経験 Integrated Learning Experience		点	情報リテラシー	Information	Literacy		
建学の精神 University Founding Philosophy O 自己管理力 Self-management O チームワーク Teamwork リーダーシップ Leadership			論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			0
自己管理力 Self-management O チームワーク Teamwork リーダーシップ Leadership 倫理観 Ethical Sense 市民としての社会的責任 Social Responsibility 生涯学習力 Lifelong Learning O 統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and			問題解決力	Problem Solving			0
態度・志向性の観点 Personal Qualities ### Function			建学の精神	University F	ounding l	Philosophy	0
態度・志向性の観点 Personal Qualities リーダーシップ			自己管理力	Self-management			0
Personal Qualities		ı <u>I</u> -	チームワーク	Teamwork			
倫理観 Ethical Sense 市民としての社会的責任 Social Responsibility 生涯学習力 Lifelong Learning 統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience 統合的な学習経験			リーダーシップ	Leadership			
生涯学習力 Lifelong Learning 統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and 統合的な学習経験 Integrated Learning Experience	1 oroonar quantre		倫理観	Ethical Sense			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Machine State			市民としての社会的責任	Social Responsibility			
Integrated Learning Experience and			生涯学習力	Lifelong Lea	rning		0
Creative Thinking Skills 創造的思考力 Creative Thinking Skills			統合的な学習経験	Integrated L	earning E	xperience	
			創造的思考力	Creative Th	nking Sk	ills	

到達目標 Objectives

Javaによるプログラミングを通じて、アプリケーションを作成できるようになる。また、Javaを学ぶことにより、現在 のシステム開発において重要なオブジェクト指向の基本を理解し説明できるようになる。今自分が利用している Webのシステムがどのようにして構築されているかを理解し説明できるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

システム構築の基本はプログラム作成ですから、多くのプログラムを書いて基本を習得してください。関連書籍も 多く、ネット上にも多くのサンプルプログラムがあります。これらを利用してプログラミングに慣れてください。プロ グラムの中で命令や論理に疑問を残さず、質問してください。課題は必ず提出してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲 示を確認すること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認としてポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出してください(提出 時期については指示します)。

※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
やさしいJava 第7版	高橋 麻奈	SB Creative	978-4-8156-0084-6		
参考文献 Reference Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
本格学習Java入門 [改訂3版] 基本の習得からゲームプログラミン グ 作成まで	佐々木 整	技術評論社	978-4-2971-0122-0		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

风積評価万法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- 1) 提出物(授業の振り返りや小テスト、演習、その他の課題等)が約50%、
- 2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約50%

であって、かつ、これら1)、2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。

具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	ガイダンス(1)、Javaの環境設定とプログラム作成手順
第1回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson 1, 2 のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 指定したプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	ガイダンス(2)、Javaの環境設定とプログラム作成手順,プログラムの基本スタイルおよび変数
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson 3, 4 のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 指定したプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	構造化プログラミング(1)、条件判断による処理の分岐(if文、switch文)
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson5 前半のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 課題の条件分岐のプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	構造化プログラミング(2)、条件判断による処理の分岐(if文、switch文)
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson5 後半のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 課題の条件分岐のプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	繰り返し処理(1)for文による回数指定の繰り返し、while文による条件指定の繰り返し(前判断型)
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson6, Sec6.1 for前半のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 「(内容・時間) 課題の繰り返し処理のプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	繰り返し処理(2)for文による回数指定の繰り返し、while文による条件指定の繰り返し(前判断型)
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson6, Sec6.1 for後半のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 課題の繰り返し処理のプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	繰り返し処理(3)while文による繰り返し(後判断型)、強制終了と中断再開
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson6の残りのSec のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 課題の繰り返し処理のプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	繰り返し処理(4)while文による繰り返し(後判断型)、強制終了と中断再開
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson7 のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 課題の繰り返し処理のプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)

	オブジェクト指向プログラミング(1)オブジェクト指向の考え方、メソッドの作り方
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson8 前半のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 課題のメソッドのプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	オブジェクト指向プログラミング(2)オブジェクト指向の考え方、メソッドの作り方、アクセッサ
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson8 後半のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 課題のメソッドのプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	オブジェクト指向プログラミング(3)オブジェクトとクラス、初期化(コンストラクタ)
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson9 前半のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 課題のメソッドのプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	オブジェクト指向プログラミング(4)オブジェクトとクラス、初期化(コンストラクタ)、後始末(デストラクタ)
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson9 後半のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 課題のメソッドのプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	クラスの継承、インターフェイス、パッケージの作成(1)継承(インヘリタンス)
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson11(10は自習課題) のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 課題のクラスのプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	クラスの継承、インターフェイス、パッケージの作成(2)継承の用法
第14回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson12,13 のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 課題のクラスのプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	例外(エラー)処理、ストリームによるデータのコンソールやファイルからの入出力とデータ送受信(1)
第15回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson13, 14前半のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 課題の例外処理のプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	例外(エラー)処理、ストリームによるデータのコンソールやファイルからの入出力とデータ送受信(2)
第16回	事前学習 (内容・時間) 教科書 Lesson14 後半のプログラムと説明文を読む(2時間)
	事後学習 課題の例外処理のプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)

マルチスレッド(サーバーでの同時並行処理)、ソケットによるネットワークプログラミング、応用問題(1) 事前学習		
「(中京・時間) 「中京・時間		マルチスレッド(サーバーでの同時並行処理)、ソケットによるネットワークプログラミング、応用問題(1)
第18回 マルチスレッド(サーバーでの同時並行処理)、ソケットによるネットワークプログラミング、応用問題(2) 事前学習 Lesson15 後半のプログラムと説明をよく読んで機能の概要を理解し、応用を考える(2時間) 事が学習 (内容・時間) 課題のソケットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) 事前学習 事前に配布した資料を読んでWebプログラミングの概要をつかんでおく(2時間) 事前学習 事前に配布した資料を読んでWebプログラミングの概要をつかんでおく(2時間) 自宅で操作手順を再度実行して操作法を確認する(2時間) 事前学習 事前に配布した資料を読んでWebプログラミングの概要をつかんでおく(2時間) 事前学習 事前に配布した資料を読んでWebプログラミングの概要を理解し、動作確認しておく(2時間) 事後学習 (内容・時間) 事を学習 (内容・時間) 事が学習 事前に配布した資料を読んでWebプログラミングの概要を理解し、動作確認しておく(2時間) 事が学習 事前に配布した資料を読んでWebプログラミングの概要を理解し、動作確認しておく(2時間) 事が学習 事前に配布した資料を読んでサーブレットプログラミングの概要を理解し、サーブレットの構造とプログラミング(アプリケーション制御機能)、その1:連携の概要 第21回 事前学 事前に配布した資料を読んでサーブレットプログラミングの概要をつかんでおく(2時間) 中・ブレットの構造とプログラミング(アプリケーション制御機能)、その2:実際の連携 第22回 事前学習 サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) サーブレットプログラミング演習(1) 概要 事前学習 事前に配布した資料を読んでサーブレットプログラミングの概要をつかんでおく(2時間) 事の学習 課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) サーブレットプログラミング演習(2)応用 事前学習 事前に配布した資料を読んでサーブレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 事の学習 課題のサーブレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 事の学習 財際のサーブレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 事の学習 サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 事の学習 サーブレットプログラムを作成し、提出目に保存する(2時間) サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 事の学習 サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間)	第17回	
第18回 事前学習 Lesson15 後半のプログラムと説明をよく読んで機能の概要を理解し、応用を考える(2時間) 「保容・時間 課題のソケットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) 「保容・時間 課題のソケットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) 平 6 学習 (保容・時間) 単 7 プレットの構造とプログラミング(アプリケーション制御機能)、その1:連携の概要 単 7 プレットの構造とプログラミング(アプリケーション制御機能)、その1:連携の概要 単 7 プレットの構造とプログラミング(アプリケーション制御機能)、その2:実際の連携 サーブレットの構造とプログラミングの概要を理解し、関題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) 東 6 学習 (保容・時間) 東 6 学習 (保容・時間) 単 7 プレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) 単 7 プレットプログラミング(アプリケーション制御機能)、その2:実際の連携 サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 単 7 プレットプログラミング(東宮(1) 概要 事 7 学宮 (保容・時間) 課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) 平 7 プレットプログラミング演習(2) 応用 事 7 学宮 課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) サーブレットプログラミング演習(2) 応用 事 7 学宮 課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 事 7 学宮 理 7 プレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) 単 7 プレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 単 7 プレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 単 7 プレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) 単 7 プレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 単 7 プレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 単 7 プレットプログラムを作成し、提出目に保存する(2時間) 単 7 プレットプログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 1 プログラミングの概要を理解し、サンブルを実行しておく(2時間) 1 プログラミングの概要を理解してはなどのは、1 プログラミングの概要を理解してはなどのは、1 プログラミングの概要を理解してはなどのは、1 プログラミングの概要を理解してはなどのは、1 プログラミングの概要を理解してはなどのは、1 プログラミングの概要を理解してはなどのは、1 プログラミングの概要を理解してはなどのは、1 プログラミングの概要を理解してはなどのは、1 プログラミングロ		
(内容・時間) にきるが113 女子のノンスとのみぞんらかが、後後や37 (内容・時間) 事務学習 (内容・時間) 課題のソケットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)		マルチスレッド(サーバーでの同時並行処理)、ソケットによるネットワークプログラミング、応用問題(2)
(内容・時間) (株成のアノア・アログラムを下板と、定山川に保守する)とで同川 (内容・時間)	第18回	
第19回 事前学習 事前に配布した資料を読んでWebプログラミングの概要をつかんでおく(2時間) 事後学習 自宅で操作手順を再度実行して操作法を確認する(2時間)		
(内容・時間)		Webプログラミングとは、Tomcat(Webサーバとコンテナ)のインストール、設定と動作確認
(内容・時間) 日でで味下子物を行うを入りして味下がるといました。	第19回	
第20回 事前学習 事前に配布した資料を読んでWebプログラミングの概要を理解し、動作確認しておく(2時間) 事後学習 由宅で操作手順を再度実行して操作法を確認する(2時間) サーブレットの構造とプログラミング(アプリケーション制御機能)、その1:連携の概要 事前学習 内容・時間 事前に配布した資料を読んでサーブレットプログラミングの概要をつかんでおく(2時間) 事後学習		
(内容・時間) 事前に記いてといいといいといいといいといいといいといいといいといいといいといいといいとい		Webプログラミングとは、Tomcat (Webサーバとコンテナ) のインストール後の動作確認とサンプルの実行
第21回	第20回	
第21回 事前学習 事前に配布した資料を読んでサーブレットプログラミングの概要をつかんでおく(2時間) 事後学習 課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) サーブレットの構造とプログラミング(アプリケーション制御機能)、その2:実際の連携 事前学習 サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく(2時間) 事後学習 課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) サーブレットプログラミング演習(1)概要 事前学習 p前に配布した資料を読んでサーブレットプログラミングの概要をつかんでおく(2時間) 事前学習 課題のサーブレットプログラミングの概要をつかんでおく(2時間) 東週のサーブレットプログラミングの概要をつかんでおく(2時間) サーブレットプログラミング演習(2)応用 事前学習 phづけのでは、提出用に保存する(2時間) サーブレットプログラミング演習(2)応用 事前学習 phづけのでは、提出用に保存する(2時間) サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく(2時間) 事後学習 phが		
(内容・時間) 平的に配用のた資料を配がてす プレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) 事後学習 課題のサーブレットプログラミング(アプリケーション制御機能)、その2:実際の連携 事前学習 サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく(2時間) 事後学習 課題のサーブレットプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく(2時間) サーブレットプログラミング演習(1)概要 事前学習 内容・時間) 事後学習 課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) 事後学習 課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間) サーブレットプログラミング演習(2)応用 サーブレットプログラミング演習(2)応用 事前学習 内容・時間 サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく(2時間) 事後学習 理額のサーブレットプログラ人を作成し、提出用に保存する(2時間)		サーブレットの構造とプログラミング(アプリケーション制御機能)、その1:連携の概要
第22回	第21回	
第22回 事前学習		
第23回 事前学習		サーブレットの構造とプログラミング(アプリケーション制御機能)、その2:実際の連携
(内容・時間)	第22回	
第23回		
第一次		サーブレットプログラミング演習(1)概要
(内容・時間) 本庭のサーブレットプログラミング演習(2)応用	第23回	
第24回 事前学習 サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく(2時間) 事後学習 理題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)		
(内容・時間) タープレットプログランタの概要を理解し、タフランルを実行しておくと時間/ 事後学習 理題のサーブレットプログランを作成し、提出用に保存する(2時間)		サーブレットプログラミング演習(2)応用
	第24回	

—	
	JSPのプログラミング(データの表示機能)、その1: 表示とその仕組み
第25回	事前学習 事前に配布した資料を読んでJSPプログラミングの概要をつかんでおく(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 課題のJSPプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	JSPのプログラミング(データの表示機能)、その2: 実際の表示
第26回	事前学習 JSPプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 課題のJSPプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	JSPのプログラミング演習(1)概要
第27回	事前学習 事前に配布した資料を読んでJSPプログラミングの概要をつかんでおく(2時間)
	事後学習 課題のJSPプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	JSPのプログラミング演習(2)応用
第28回	事前学習 JSPプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく(2時間)
	事後学習 課題のJSPプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	JavaBeansのプログラミング、全体のまとめ(1)概要
第29回	事前学習 (内容・時間)
	事後学習 課題のJavaBeansプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
	JavaBeansのプログラミング、全体のまとめ(2)応用
第30回	事前学習 _(内容・時間) JavaBeansプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 課題のJavaBeansプログラムを作成し、提出用に保存する(2時間)
第31回(定期試験)	定期試験(Webプログラミング)

ナンバリング(Numb	ering)						
1ENN-5884-Z2E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
インターネット技術		219~ 情報ネットワーク学科	3 4 年 午 • 明 期		2単位	選択	車 炳玘
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条件 Course Prerequisites		「ルーティング	グ技術」を70点以上	の成績	責で単位を修	得する	こと。

顧客の要求の収集方法、これらの要求に見合う設備と必要なプロトコル、および顧客のニーズに対処したネットワークトポロジーの設定方法などを実習を通して修得する。さらに、顧客に提案する設計をどう作成し、構築するか、その方法に習熟する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience		実務経験内容 Work Experience Content	Class	実務経験をいかした教育内容 Contents Utilizing Work Experience	
該当しない					
		授業を通して修得できる力	Competenc	y Goals	
知識・理解の観点		多文化・異文化に関する知識の理解	解	Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Underst	tanding	人類の文化・社会と自然に関する知	口識の理解	Human Culture / Society / Nature	0

授業を通して修得できる力 Competency Goals					
 知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識の理解		Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening		
77 F7444 6 49 4	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	,	0	
donorio okino	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		0	
	問題解決力	Problem Solving		0	
	建学の精神	University Founding	Philosophy		
	自己管理力	Self-management			
総本 十九州の知り	チームワーク	Teamwork		0	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
1 or cornar quartities	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	,		
	生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	kills		

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、小規模エンタープライズのためのLAN および WAN の設計に必要な技術力を養成することを目的とする。CCENT、CCNA、CCNPの資格取得を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

実習トポロジーごとに新しくチームを組み、実習を行うこと。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法:学籍番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先: cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー::水曜日2、3時限、木曜日3時限 研究室: 656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。(CCENT, CCNA, CCNP) 学習の確認:オンラインテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				

シスコネットワーキングアカデミーオンライン教材 (https://www.netacad.com)

参考文献 Reference Books						
書名 Title 著者名 Author 出版社 Publisher ISBNコード ISBN Coo						
CCNA/CCENT 問題集	Gene	SBクリエイティブ	978-4797388824			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

|定期試験・オンラインテスト(40%)、実習(40%)、その他(20%、チームワーク、ポートフォリオ、外部試験の結果)

	授業計画 Course Schedule							
	テーマ Theme							
	アクセスコントロールリスト							
第1回	事前学習 テキスト9. 0を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 テキスト9. 0. 1. 1. の内容を専用のノートにまとめること。2時間							
	IP アクセスコントロールリストの動作							
第2回	事前学習 テキスト9. 1を読んでおくこと。2時間 (内容・時間)							
	事後学習 (内容・時間) 課題9. 1. 5. 4を専用のノートにまとめること。2時間							
	標準アクセスコントロールリスト							
第3回	事前学習 テキスト9. 2を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 (内容・時間) 実習9. 2. 3. 4をパケットトレーサーで行うこと。2時間							
	拡張アクセスコントロールリスト							
第4回	事前学習 テキスト9. 3を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 (内容・時間) 実習9. 3. 2. 13をパケットトレーサーで行うこと。2時間							
	アクセスコントロールリストのトラブルシューティング1							
第5回	事前学習 テキスト9. 4を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 課題9.3.2.7~9.3.2.9を専用のノートにまとめること。2時間							
	アクセスコントロールリストのトラブルシューティング2							
第6回	事前学習 テキスト9. 5を読んでおくこと。2時間 (内容・時間)							
	事後学習 実習9. 3. 2. 10と9. 3. 2. 11をパケットトレーサーで行うこと。2時間							
	アクセスコントロールリストのトラブルシューティング3							
第7回	事前学習 テキスト9. 6を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 実習9. 3. 2. 12と9. 3. 2. 13をパケットトレーサーで行うこと。2時間							
	DHCP							
第8回	事前学習 テキスト第10章を読んでおくこと。2時間							
	事後学習 (内容・時間) 実習10. 1. 4. 4. をパケットトレーサーで行うこと。2時間							

	ネットワークアドレス変換の概要
第9回	事前学習 (内容・時間) テキスト11. Oを読んでおくこと。2時間
	事後学習 (内容・時間) テキスト11. 0. 1. 1の内容を専用のノートにまとめること。2時間
	ネットワークアドレス変換の動作
第10回	事前学習 (内容・時間) テキスト11. 1を読んでおくこと。2時間
	事後学習 _(内容・時間) 実習11. 1. 2. 6をパケットトレーサーで行うこと。2時間
	ネットワークアドレス変換の設定
第11回	事前学習 (内容・時間) テキスト11. 2を読んでおくこと。 2時間
	事後学習 実習11. 2. 3. 7をパケットトレーサーで行うこと。2時間
	ネットワークアドレス変換のトラブルシューティング
第12回	事前学習 _(内容・時間) テキスト11. 3を読んでおくこと。2時間
	事後学習 実習11.3.1.5をパケットトレーサーで行うこと。2時間
	LAN設計及び実装1
第13回	事前学習 (内容・時間) 小規模LANのトポロジーを設計すること。2時間
	事後学習 実装したLANに標準アクセスコントロールリストの設定を行うこと。2時間
	LAN設計及び実装2
第14回	事前学習 中規模LANのトポロジーを設計すること。2時間
	事後学習 実装したLANに拡張アクセスコントロールリストの設定を行うこと。2時間
	LAN設計及び実装3
第15回	事前学習 大規模LANのトポロジーを設計すること。2時間
	事後学習 実装したLANに拡張アクセスコントロールリストの設定を行うこと。2時間
第16回(定期試験)	シスコネットワーキングアカデミー実施のオンラインテストを行う。

ナンバリング (Numb	pering)						
1EDN-6372-22	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.I	授業担当者 Instructor
ビジネスプログラミング		219~ 情報ネットワーク学科	≱ 2年生・前期		2単位	選択	ディンダ プラマンタ
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		プログラミン・	グ入門またはプロク	゙゙ラミン	グ初歩Ⅱを修	多得し <i>た</i>	≃方が望ましい.

ディプロマポリシーに基づき, この授業では, Excelを高度に利用するためにVBA(Visual Basic for Application)を使

用したマクロのプログラミングを学習する.

授業概要 Course Outline

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得で	きる力 Competenc	y Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	
刀田的针丝の知上	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
denone onine	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		0
	建学の精神	University Founding	Philosophy	
	自己管理力	Self-management		0
お中 ナウ州の知上	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 or sorial quanties	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	y	
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	kills	

到達目標 Objectives

Excelのマクロの記録、VBAによるExcelデータに対するプログラミングの学習によってExcelの利用方法が広がり、 今後の学習や仕事で広範囲に活用することができるようになる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回各自のPCで、実際に手を動かしてプログラミングをしてください.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは551研究室にて受け付けます.オフィスアワーの時間については掲示を確認してください.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後,Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」にオンライン自己評価を記入し,提出して下さい.

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code				
学生のためのExcel VBA 第2版	若山芳三郎	東京電機大学出版局	978-4-501-55450-7				
	参考文献 Referen	ice Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
Excel VBAユーザーのための Python プログラミング入門	伊藤潔人	日経BP	978-4296202652				
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation							

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

毎回のプログラミング課題50%, 定期試験50%

授業計画 Course Schedule			
	テーマ Theme		
	ガイダンス, 自動記録によるマクロの作成と実行		
第1回	事前学習 講義開始前までにPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)		
	事後学習 「内容・時間) 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)		
	簡単なマクロの作成		
第2回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくださ (内容・時間) い.(2時間)		
	事後学習 (内容・時間) 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)		
	変数の使い方と計算		
第3回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくださ (内容・時間) い.(2時間)		
	事後学習 (内容・時間) 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)		
	セルの選択とコピー		
第4回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくださ (内容・時間) い.(2時間)		
	事後学習 (内容・時間) 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)		
	条件による分岐		
第5回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくださ (内容・時間) い.(2時間)		
	事後学習 (内容・時間) 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)		
	複数の条件による分岐(IfThenElseEnd Ifステートメント)		
第6回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくださ (内容・時間) い.(2時間)		
	事後学習 「内容・時間) 講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)		
	複数の条件による分岐(Select Caseステートメント)		
第7回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくださ (内容・時間)		
	事後学習 (内容・時間) 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)		
	処理の繰り返し(ForNextステートメント)		
第8回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくださ (内容・時間)		
	事後学習 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)		

	ニ重の繰り返し				
第9回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくださ 内容・時間 い.(2時間)	<u></u>			
	事後学習 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)				
	型理の繰り返し(Do WhileLoop)				
第10回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくだる 内容・時間 い.(2時間)	Ţ.			
	事後学習 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)				
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
第11回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくだる 内容・時間 い.(2時間)	<u> </u>			
	事後学習 大容・時間) 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)				
	-次元配列				
第12回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくだる 内容・時間 い.(2時間)	<u> </u>			
	事後学習 大容・時間) 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)				
	二次元配列				
第13回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくだる 内容・時間 い.(2時間)	<u></u>			
	事後学習 大容・時間) 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)				
	Lーザーフォームの作成				
第14回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくだる 内容・時間 い.(2時間)	<u> </u>			
	事後学習 対容・時間) 講義で行った例題を自力で解いてください.(2時間)				
	※合演習と復習				
第15回	事前学習 講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてくだる 内容・時間 い.(2時間)	<u> </u>			
	F後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること、定期試験に向けて、本講義のGoogle Classroomの授業 内容・時間) (Materials)の中で練習問題をすること、(提出するのは不必要) (2時間)				
第16回	E期試験				
(定期試験)					

ナンバリング (Numbering) 1EDN-6092-Z2E						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年 - 学期 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
多変量解析	219~ 情報ネットワーク学科	3•4年生•前期	Ą	2単位	選択	荒平 高章
オンライン授業 Online Class なし		スルームの利用 ogle Classroom	あり			
復修の則提条件	(履修してい	.統計学を修得して ない場合は、先に上 生はこの限りではな	記科目		こと。)	

本講義では、ディプロマポリシーに基づき、多変量データによるデータ間の関連性の把握、予測、要因分析などを通して、新たな(潜在的な)情報を把握するため、身近で簡単な例題をもとに、代表的な手法の考え方、使い方、分析結果の見方を学びます。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
7 四处社业 0 知 上	数量的スキル	Mathematics	0	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
GOTTOTTO GIAMO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management	0	
	チームワーク	Teamwork	0	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0	
1 or oonar quantioo	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

知識】

・分析手法(回帰分析・クラスター分析・主成分分析・判別分析・因子分析)を説明できる。

【態度•習慣】

・疑問点を尋ねることができる。・講義に参加できる。

【技能】

- ・教科書の例題を模倣し、演習問題を解くことができる。・時間内で、与えられた問題を解くことができる。
- 任意のデータを適切に記述できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

教員との連絡方法は、授業の終了後、あるいは研究室を訪ねてください。 オフィスアワーの時間は、掲示を参照して下さい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること(毎時間)。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
例題でよくわかる はじめての多変量解析	加藤豊	森北出版	978-4-627-08221-2		
参考文献 Reference Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code		
経営のための多変量解析法	本多正久・島田一明	産能大学出版部	ISBN4 382-04511-8		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

演習やレポートなどの提出物(50%)、定期試験(50%)を総合的に評価する。

	授業計画 Course Schedule			
	テーマ Theme			
	1章 多変量解析とは 1 (目的・準備、回帰分析、数量化の方法)			
第1回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)			
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)			
	1章 多変量解析とは 2 (クラスター分析、主成分分析、因子分析、判別分析)			
第2回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)			
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)			
	2章 統計の基礎事項の準備			
第3回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)			
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)			
	3章 線形代数の基礎事項の準備			
第4回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)			
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)			
	4章 単回帰分析			
第5回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)			
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)			
	4章 単回帰分析			
第6回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)			
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)			
	5章 重回帰分析			
第7回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)			
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)			
	5章 重回帰分析			
第8回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)			
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)			

	6章 数量化I類
第9回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)
	7章 クラスター分析
第10回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)
	8章 主成分分析1 (主成分の導出)
第11回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)
	8章 主成分分析2 (主成分分析)
第12回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)
	9章 判別分析、10章 因子分析
第13回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)
	データ分析演習・レポート作成
第14回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習 時間内にできなかった部分などを整理し、レポートにまとめる。(2.0h)
	まとめ
第15回	事前学習 習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、 (内容・時間) 講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考 (内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2.0h)
第16回 (定期試験)	定期試験を実施する。

ナンバリング (Numbering)							
1EDN-6052-Z2	1EDN-6052-Z2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
データ解析	データ解析 219~ 3・4年生・前期		2単位	選択	宮﨑 武		
オンライン授業 Online Class	なし		スルームの利用 logle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		統計学入門。 い。	統計学を両方とも	修得し	ているか十分	かな知識	戦を得ていることが望まし

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではデータサイエンスの基本となるデータ分析について、データの取得、分析、結果の解釈までを代表的な分析手法に適用し、一連のプロセスを学ぶ、また、最も重要な分析結果の解釈についてもクラス内で発表の機会を設ける.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals					
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening		
77日44444444444444444444444444444444444	数量的スキル	Mathematics		0	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literac	у	0	
derierie enine	論理的思考力	Logical Thinking / 0	Creative Thinking	0	
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
**・ 十九州の知上	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
To contain duamance	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	Skills		

到達目標 Objectives

データサイエンスの一連のプロセス(問題点の発見, 関連データの取得, データの精査, 分析, 結果の解釈, 問題解決)を経験・修得することを目標とする.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

各自で実際にデータ解析をして発表をしてもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室(274)にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認し てください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
入門統計学 第2版	栗原 伸一	オーム社	978-4-274-22738-7		
	参考文献 Referen	ce Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
基礎から学ぶ統計学	中原 治	羊土社	978-4-758-12121-7		
完全独習 統計学入門	小島 寛之	ダイヤモンド社	978-4-478-82009-4		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

|データ解析の発表・レポート課題・授業中の発言などの結果などを総合的に判断します。

配点割合: 発表50%、レポート課題40%、授業態度10%

授業計画 Course Schedule				
		テーマ Theme		
	ガイダンス			
第1回	事前学習 (内容·時間)	統計学入門および統計学の授業の復習をしておく(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	講義資料より教科書第1章を復習する(1h)		
	推測統計算	学		
第2回	事前学習 (内容·時間)	教科書第1章から第3章までを読んでおく(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	教科書第2,3章を復習する(2h)		
	信頼区間の	の推定		
第3回	事前学習 (内容·時間)	前回授業の内容を復習し、教科書第4章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	教科書第4章を復習する(2h)		
	χ二乗分	布とF分布		
第4回	事前学習 (内容·時間)	前回授業の内容を復習し、教科書第5章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	教科書第5章を復習する(2h)		
	検定の基準	本		
第5回	事前学習 (内容·時間)	前回授業の内容を復習し、教科書第6章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	教科書第6章を復習する(2h)		
	対応のない	い2群の差		
第6回	事前学習 (内容·時間)	前回授業の内容を復習し、教科書7.1~7.3節を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	教科書第7.1~7.3章を復習する(2h)		
	対応のある	る2群の差と等分散の検定		
第7回	事前学習 (内容·時間)	前回授業の内容を復習し、教科書7.4, 7.5節を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	教科書第7章全体を復習する(2h)		
	一元配置名	分散分析		
第8回	事前学習 (内容·時間)	前回授業の内容を復習し、教科書8.1~8.4節を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)		
	事後学習 (内容·時間)	教科書第8.1~8.4章を復習する(2h)		

	二元配置以上の分散分析					
第9回	事前学習 内容・時間) 前回授業の内容を復習し、教科書8.5節を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)					
	事後学習 _{内容・時間)} 教科書第8章全体を復習する(2h)					
	多重比較法					
第10回	事前学習 内容・時間)前回授業の内容を復習し、教科書第9章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)					
	事後学習 _{内容・時間)} 教科書第9章を復習する(2h)					
	実験計画法					
第11回	事前学習 内容・時間)前回授業の内容を復習し、教科書第10章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)					
	事後学習 内容・時間) 教科書第10章を復習する(2h)					
	カテゴリデータの検定					
第12回	事前学習 内容・時間) 前回授業の内容を復習し、教科書第11章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)					
	事後学習 内容・時間) 教科書第11章を復習する(2h)					
	順位データの検定					
第13回	事前学習 内容・時間)前回授業の内容を復習し、教科書第12章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)					
	事後学習 内容・時間) 教科書第12章を復習する(2h)					
	データ解析発表(1)					
第14回	事前学習 内容・時間) データ解析を行い発表の準備を行う(2h)					
	事後学習 _{内容・時間)} 指摘された点について再度整理し、レポートを作成する(2h)					
	データ解析発表(2)					
第15回	事前学習 データ解析を行い発表の準備を行う(2h)					
	事後学習 内容・時間) 指摘された点について再度整理し、レポートを作成する(2h)					
第16回	定期試験					

ナンバリング (Numb	ering)						
1EDN-6070-Z2	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
データモデリング		219~ 情報ネットワーク学科	3・4年生・後其	Я	2単位	選択	中島 直樹
オンライン授業 Online Class	なし		プラスルームの利用 Google Classroom あり				
履修の前提条f Course Prerequis		情報数学I、f	青報数学Ⅱを合格す	る程度	の線形代数は	および待	数分積分の知識があること

ディプロマポリシーに基づき、本講義では、大量データの処理において欠かせないモデル作成について学びます。自然現象をモデル化し、解析する手法の紹介を通して、蓄積されたデータから未来を予測するために必要な知識を身に付けます。微分方程式や行列の計算など情報数学 I、情報数学 II で学んだ内容の応用になります。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容			
with Work Experience	Work Experience Content	Class	s Contents Utilizing Work Experience		
該当しない					
	授業を通して修得できる力	Competenc	y Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知識の理		Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	g 人類の文化・社会と自然に関する知	口識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
				_	

	TAREMED CIPIN CC WY						
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0			
77 77 44 44 6 49 4	数量的スキル	Mathematics		0			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	,				
GOTIOTIO OKIIIO	論理的思考力	Logical Thinking / C	reative Thinking	0			
	問題解決力	Problem Solving					
	建学の精神	University Founding	Philosophy				
	自己管理力	Self-management					
**	チームワーク	Teamwork					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership					
1 orsonar Quarties	倫理観	Ethical Sense					
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	/				
	生涯学習力	Lifelong Learning					
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience				
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking SI	kills				

到達目標 Objectives

| 自然現象や社会現象に対して数理モデルを構築する考え方を身につける。 | データに基づく考察が出来る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容に関する課題を定期的に出題し、解答してもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

	教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
講義資料を配布							
	参考文献 Reference Books						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
カ学系入門 進化のダイナミクス 数理生物学	Morris W. Hirsch他 Martin A. Nowak 瀬野祐美	共立出版 共立出版 共立出版 共立出版	978-4320111363 978-4320056657 978-4320056565				
成績語	平価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation					

定期的な課題20%、定期試験80%

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	ガイダンス				
第1回	事前学習 シラバスを読み、情報数学 I (線形代数)および情報数学 II (微分積分)の復習をする(2h)				
	事後学習 情報数学 I (線形代数)および情報数学 II (微分積分)の復習をする(2h)				
	微分方程式				
第2回	事前学習 高校の数Ⅲの微分方程式および情報数学Ⅱ(微分積分)の復習をする(2h)				
	事後学習 (内容・時間) 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)				
	微分方程式の解のふるまい				
第3回	事前学習 前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)				
	事後学習 (内容・時間) 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)				
	ロジスティック方程式				
第4回	事前学習 前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)				
	事後学習 (内容・時間) 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)				
	分岐現象				
第5回	事前学習 前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)				
	事後学習 (内容・時間) 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)				
	二元微分方程式				
第6回	事前学習 前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)				
	事後学習 (内容・時間) 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)				
	固有値と固有ベクトル				
第7回	事前学習 前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)				
	事後学習 (内容・時間) 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)				
	固有値が異なる2つの実数の場合				
第8回	事前学習 前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)				
	事後学習 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)				

		_				
	夏素数					
第9回	前学習 内容・時間) 前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)					
	「後学習 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)					
	有値が2つの複素数の場合					
第10回	前学習 内容・時間) 前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)					
	接後学習 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)					
	有値が1つの実数(重解)の場合					
第11回	節前学習 前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)					
	接受習 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)					
	限形化					
第12回	前学習 内容・時間) 前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)					
	孫後学習 「中容・時間)」 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)					
	ベイズの定理					
第13回	事前学習 内容・時間) 前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)					
	孫後学習 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)					
	イズ推定					
第14回	前学習 内容・時間)					
	「後学習」 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)					
	合演習と復習					
第15回	前学習 内容・時間) これまでの授業内容について復習し、疑問点を洗い出す(2h)					
	接後学習 課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)					
第16回 (定期試験)	2期試験					

ナンバリング (Numbering)							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
統計プログラミング		219~ 情報ネットワーク学科	3・4年生・後期		2単位	選択	中島 直樹
オンライン授業 Online Class	なし		ラスルームの利用 g Google Classroom				
居体の前担冬州		統計学を履り	多していること。				

ディプロマポリシーに基づき、Pythonを使って、統計に関する基本的な知識や技能を学び、それらを活かしてより応用的なデータ分析を行うことができるようになるというものである。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understandi	^{ng} 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
刀甲的针丝の知上	数量的スキル	Mathematics	0	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0	
derierio diame	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management		
** またはいます。	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
T Grooman Quantito	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考: Integrated Learning Experience an		Integrated Learning Experience	·	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

この授業では、以下の事項を目標とする。①プログラミング言語に関する基本用語が説明できる。②統計的なサンプルプログラムを応用できる。 ③課題に応じて最適な処理構文を選択し、使用できる。 ④講義に参加できる。⑤課題解決のためにお互いに助けることができる。⑥疑問点を尋ねることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義の他に、学生参加型の演習を行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付ける。オフィスアワーの時間については掲示を確認すること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

毎回の講義時間後、ポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」にオンライン自己評価を記入し、提出して下さい。

プログラミングには自身のPCでPythonを用い、環境としてJupyter Notebookを活用する。口

教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code			
Python2年生 データ分析のしくみ	森 巧尚	翔泳社	ISBN-13 : 978-4798164960			
	参考文献 Referer	ice Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code			
データサイエンス教本	橋本洋志, 牧野浩二	オーム社	ISBN-13 : ∱978- 4274222900			
成績	平価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation				

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

毎回の課題orレポート50%、定期試験50%。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	構義ガイダンス、プログラミング概要				
第1回	事前学習 内容・時間) 講義開始前までに、テキストの該当箇所を通読しておくこと。(2時間)				
	事後学習 習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その化 内容・時間) 書などを通して理解しておくこと。(2時間)	也の参考			
	ocalでpythonの実行環境構築 (Jupyter Notebook)				
第2回	事前学習 内容・時間)				
	事後学習 時間内にJupyter Notebookのインストールできなかった人は必ず、完成させること	。(2時間)			
	lupyter Notebookの使い方				
第3回	事前学習 内容・時間) 教科書 pp.26~38 を読んでおくこと。(2時間)				
	事後学習 内容・時間) 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)				
	長形式のデータを読み込む				
第4回	事前学習 内容・時間) 教科書 pp.40~53 を読んでおくこと。(2時間)				
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間) 内容・時間				
	データの選択と索引付け				
第5回	事前学習 内容・時間) 教科書 pp.54~66 を読んでおくこと。(2時間)				
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間) 内容・時間)				
	データの確認と補修				
第6回	事前学習 _{内容・時間)} 教科書 pp.67~76 を読んでおくこと。(2時間)				
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間) 内容・時間)				
	データの比較				
第7回	事前学習 _{内容・時間)} 教科書 pp.77~100 を読んでおくこと。(2時間)				
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間) 内容・時間)				
	中間課題演習				
第8回	事前学習 内容・時間) 第3回~第7回を復習しておくこと。(2時間)				
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、復習や完成させること。(2時間)	_			

	グラフの作成
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.101~130 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	分散•標準偏差
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.131~143 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	正規分布:自然なばらつき・累積分布関数
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.144~159 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	正規分布:自然なばらつきの確認・違うばらつきのデータを比較
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.160~168 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	回帰分析:2種類のデータの相関関数・予測
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.169~181 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	回帰分析:アヤメのデータ
第14回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.187~197 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
_	後期課題演習
第15回	事前学習 (内容・時間) 第9回~第14回を復習しておくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。定期試験に向けて、本講義のGoogle (内容・時間) Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をすること。(提出するのは不必要)(2時間)
第16回 (定期試験)	定期試験

ナンバリング(Numb	pering)]					
1EDN-5251-Z2E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
機械学習		219~ 情報ネットワーク学科			2単位	選択	中島 直樹
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisites		プログラミン・	グ実践Ⅱを履修して	いること	Ł.		
			l= alle log == -				

ディプロマポリシーに基づき、近年、爆発的な進歩と普及を遂げている、いわゆる「人工知能(AI)技術」の根幹をなす機械学習技術について重要事項を学び、演習を通じてモデル構築を体験し、実践的な能力を身につける。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
 知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening		
7 円45+++* 0 知 b	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
GOTOTO GIANO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management		
** まちせる知り	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 oroonar quantios	倫理観	Ethical Sense		
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

この授業では、機械学習技術の重要事項を身につけ、目的に応じて、データを収集、モデルを構築、処理し、評価し、結果を導く能力(一定の実装能力を含む)を獲得することを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

すべての授業に出席することを期待している。 授業では教科書には載っていない内容についてもカバーするので、これは特に重要なこと。 また、聴講型講義の他に、学生参加型の演習を行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは551研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してく ださい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後、ポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」にオンライン自己評価を記入し、提出して下さい。

プログラミングには自身のPCでPythonを用い、環境としてJupyter NotebookやGoogle Colaboratoryを活用する。 🛚

	教科書 Textb	ooks		
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
Python3年生 機械学習のしくみ	森 巧尚	翔泳社	ISBN-13 : 978-4798166575	
	参考文献 Referen	ce Books		
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
機械学習を解釈する技術	森下 光之助	技術評論社	ISBN-13 : ∱978- 4297122263	
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation				

毎回の課題orレポート50%、定期試験50%。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	機械学習イントロダクション
第1回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.11~29 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 第1回の内容を復習しておくこと。(2時間)
	機械学習環境の準備 (Google Colaboratory・Jupyter Notebook)
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.30~52を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 第2回の内容を復習しておくこと。(2時間)
	Scikit-learn(サイキットラーン)
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.53~65、pp.70~75、pp.82~84 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	Scikit-learn(サイキットラーン)の塊例を分類:データを用意する・学習用とテスト用に分ける
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.85~95を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	Scikit-learn(サイキットラーン)の塊例を分類:学習して予測する・分類を可視化する
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.96~110を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	線形回帰で予測する
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.111~121を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	分類:ロジスティク回帰
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.122~130を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	分類:SVM(サポートベクターマシン)
第8回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.131~142を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)

	分類:決定木
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.143~151を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	分類 :ランダムフォレストとk-NN(k近傍法)
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.152~158を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	MNIST(手書きの数字)データセット:データ・学習データの準備
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.165~178を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	MNIST(手書きの数字)データセット: 学習・予測
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.179~190を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	教師なし学習のクラスタリング:k-means(k平均法)・その他
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書 pp.159~164、pp.191~195を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	Perceptron (パーセプトロン)
第14回	事前学習 (内容・時間) Web、教科書で第14回のテーマを検索し、選んでその内容を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
	Artificial Neural Network (人エニューラルネットワーク)
第15回	事前学習 Web、教科書で第15回のテーマを検索し、選んでその内容を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。定期試験に向けて、本講義のGoogle (内容・時間) Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をすること。(提出するのは不必要)(2時間)
第16回 (定期試験)	定期試験

ナンバリング(Numl	bering)						
1EDN-5262-Z	2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
人工知能		219~ 情報ネットワーク学科	┃ ┃ 3・4年生・後其 ┃	Я	2単位	選択	ディンダ プラマンタ
オンライン授業 Online Class	なし		ラスルームの利用 pogle Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		グ実践Ⅰおよび機材	対学習る	を修得した方	が望ま	LIV.	

現在, 人工知能技術は, 私たちの生活の様々なところで使われている. 本授業では, ディプロマポリシーに基づき, 人工知能技術の基礎を体系的に学ぶ. 人工知能技術の応用例について触れ, 実生活に密着してきつつある姿を 垣間見る. また, 学生の理解の範囲内で, トピックを包括的にカバーするために, グループディスカッションを実施 する.ロ

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience	
該当しない			
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understandi	ng 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
辺田的社会の知ら	数量的スキル	Mathematics	0
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving	
	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	0
能由・士白州の知ら	チームワーク	Teamwork	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考: Integrated Learning Experience ar		Integrated Learning Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①人工知能に関する基本用語が説明できる. ②講義に参加できる. ③課題解決のためにお互いに助けることができる. 疑問点を尋ねることができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|聴講型および実習型講義とグループディスカッションを併用して実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは研究室(551)にて受け付ける. オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.

その他 Others, 外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後,Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」にオンライン自己評価を 記入し,提出して下さい.

	教科書 Textb	oooks	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
基礎から学ぶ人工知能の教科書	小高知宏	オーム社	978-4-274-22426-3
	参考文献 Referen	ice Books	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
あたらしい人工知能の教科書 プロダクト/サービス開発に必要な基礎知識	多田 智史	翔泳社	978-4798145600
± //±=		/ NA	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

レポート(30%), 発表(20%)と定期試験(50%)をもとに総合的に判断する.

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	ガイダンス
第1回	事前学習 シラバスを通読し、受講理由を明確にする. (2.0h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	人工知能とは:概要と研究分野
第2回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(p.2-p.9)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	人工知能とは:基盤技術と産業応用
第3回	事前学習 教科書の当該箇所(p.10-p.19)を通読する. (2.0h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	人工知能の歴史: 探索・推論と知識の時代
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(p.21-p.36)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	人工知能の歴史: 機械学習・表現学習の時代
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(p.37-p.44)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	機械学習
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(p.58-p.80)を通読する. (2.0h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	知識表現と推論
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.82-p.97)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	ニューラルネットワーク
第8回	事前学習 教科書の当該箇所(p.100-p.119)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)

	深層学習
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(p.122-p.139)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	進化的計算と群知能
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(p.142-p.163)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	自然言語処理
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(p.166-p.190)を通読する. (2.0h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	画像認識
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(p.192-p.210)を通読する. (2.0h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	エージェントと強化学習
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(p.212-p.233)を通読する. (2.0h)
	事後学習 KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	人工知能とゲーム
第14回	事前学習 (内容・時間) 教科書の当該箇所(pp.236-p.258)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
	発表会とまとめ
第15回	事前学習 (内容・時間) 本講義のテーマに関する発表資料を作成する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間) KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第16回	定期試験を実施する.

教職に関する科目

ナンバリング (Numbering)
2TTB-5010-32ET
科目名

入学年度 開講学年·学期 Admission Year School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
223~	2年生•前期	2単位	数心	合田 和正 荒平 高章
~222	3十二 明朔	2年位		
Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
	Admission Year 223~ ~222 Google 7=	Admission Year School Year, Semester 223~ 3年生・前期 ~222 Googleクラスルームの利用 おし	Admission Year School Year, Semester Credit 223~ 3年生・前期 2単位 ~222	Admission Year School Year, Semester Credit Comp./Opt.l 223~ 3年生・前期 2単位 教必 Googleクラスルームの利用 あし

履修の前提条件 Course Prerequisites

2年生までの教職科目・教科科目のすべてに合格済であることが望ましい。

実務経験をいかした教育内容

授業概要 Course Outline

学則第3条を踏まえて、

実務経験のある教員による科目

情報学分野の情報教育、特に高等学校の情報科における教科教育法についての知識を習得することを目標とす ろ

具体的には、教科情報科が設置された経緯、教育目標と内容について理解し、情報技術の進展と社会への影響を踏まえ、情報に関する幅広い知識とともに、コンピュータや情報通信ネットワークを活用する実践力と情報モラルの育成の方法について、実習を伴いながら習得し、教科情報科に対する内容的な理解を目指す。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。ICT演習としての実施を計画している。

実務経験内容

Subject Taught by The Faculty with Work Experience	Work Experience Content			Class	s Contents Utilizing Work Experience	
該当しない						
		授業を通して修得で	きるカ	Competenc	y Goals	
知識・理解の観点	į	多文化・異文化に関する知	識の理	解	Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understa	anding	人類の文化・社会と自然に	関する知	旧識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
汎用的技能の観点 Generic Skills		コミュニケーション・スキル	Readir	g / Writing /	Speaking / Listening	0
		数量的スキル	Mathematics			
		情報リテラシー	Information Literacy			0
denerie enine		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			0
		問題解決力	Problem Solving			0
		建学の精神	Univer	sity Founding	g Philosophy	
		自己管理力	Self-management			
华在 十九州 《知	-	チームワーク	Teamv	ork .		
態度・志向性の観点 Personal Qualities		リーダーシップ	Leade	rship		
1 or sorial qualities	,	倫理観	Ethica	Sense		
		市民としての社会的責任	Social	Responsibilit	у	
		生涯学習力	Lifelon	g Learning		0
統合的な学習経験と創造的思 Integrated Learning Experienc		統合的な学習経験	Integra	ted Learning	Experience	
Creative Thinking Skills		創造的思考力	Creati	ve Thinking S	Skills	

到達目標 Objectives

高等学校教育に教科「情報」として普通教科と専門教科の設置に始まり、共通教科情報科と専門教科情報科に 再構成され、社会人として必要な情報活用能力を身につけることを狙いとした教育が実施されてきている。その 中で情報化社会を主体的に生きるために必要な情報活用能力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態 度の育成が求められている。これらの要求に応えられる教員となるために教科設置の経緯、教科の配置、関係、 構造、目的を理解するとともに、「情報」教科教育法 II で実践していくための教科教育の基礎を学ぶ。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、学習指導案の作成を目標に、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。 必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。また、ふだんから情報教育や教員採用に関 するニュースに注意を払い、4年生での教育実習に備える。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。また、電子メイルやその他に授業中に提示するその他の方法でも受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。

|授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、

関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。

|※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks								
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
資料を配布します。(昨年度以前 の講義資料を含む)								
	参考文献 Reference Books							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code					
1) 高等学校学習指導要領解説 情報編 2) 情報科教育法	1) 文部科学省 2) 鹿野利春ほか編	1) 開隆館 2) 実教出版	1) 978-4304021633 2) 978-4407355215					
	评価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation						

- -
- 1) 提出物(授業の振り返りや課題等)が約60%、
- 2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%

であって、かつ、これら1)、2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。

具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	概要と教育目標:教科「情報」の位置づけ、共通教科と専門教科の違い、各科目の概説
第1回	事前学習 これまでの教職科目・教科科目でで学んだ内容をまとめる [2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 共通教科・専門教科、科目「情報」の概要の復習。振り返りを書く。[2.0h]
	教科「情報」の内容:「情報」教科教育法 I の授業内容
第2回	事前学習 (内容・時間) 指導要領解説を通読し、全体を大雑把に把握し、まとめておく[2.0h]
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容、特に指導要領解説の内容以外を中心に複数う。振り返りを書く[2.0h]
	情報技術の進展と社会への影響:NW、DBを中心として情報技術の活用による社会の発展 ※Zoomを予定
第3回	事前学習 データベース論など関連する教科科目の復習をしておく [2.0h]
	事後学習 情報技術の活用についての事例についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
	模擬講義への参加と評価 ※状況によりZoomを活用
第4回	事前学習 (内容・時間) 模擬授業の単元についてまとめておく [2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 模擬授業について振り返り、自分に不足していることをまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
	共通教科情報科目の科目と内容(1)情報 I、特にプログラミングとデータの活用、および同実習
第5回	事前学習 (内容・時間) 指導要領解説と(高校)教科書の目次を参照して、概要を自分の言葉でまとめる [2.0h]
	事後学習 _(内容・時間) 実習課題を完成させ、類題を考えてみる(作問)。振り返りを書く[2.0h]
	共通教科情報科の科目と内容(2)情報Ⅱ、特に情報システムとデータサイエンス、および同実習
第6回	事前学習 (内容・時間) 指導要領解説と(高校)教科書の目次を参照して、概要を自分の言葉でまとめる [2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 実習課題を完成させ、類題を考えてみる(作問)。振り返りを書く[2.0h]
	共通教科情報科のまとめ
第7回	事前学習 (内容・時間) 共通教科情報科の2科目の共通する内容についてまとめておく。[2.0h]
	事後学習 自分のまとめと授業内容を比較・考察する。振り返りを書く。[2.0h]
	専門教科情報科の科目と内容(1)情報システム分野の科目群
第8回	事前学習 (内容・時間) 対応する教科科目群の概要をシラバス等を参照してまとめておく [2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 科目群に共通する考え方・指導方法についてまとめる。振り返りを書く[2.0h]

	専門教科情報科の科目と内容(2)コンテンツ分野の科目群
第9回	事前学習 (内容・時間) 対応する教科科目群の概要をシラバス等を参照してまとめておく [2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 科目群に共通する考え方・指導方法についてまとめる。振り返りを書く[2.0h]
	専門教科情報科の科目と内容(3)共通分野、特に情報と問題解決ほか
第10回	事前学習 (内容・時間) 日常生活における問題解決事例と(高校)教科書の対応について考察 [2.0h]
	事後学習 問題解決の流れや実行の可視化について考察。振り返りを書く。[2.0h]
	社会と情報システム(1)情報システムと生活の変化 ※Zoomを予定
第11回	事前学習 (高校)教科書の導入部分について、時代のギャップがあるか検証 [2.0h]
	事後学習 情報システムと生活の変化の具体例・事例をまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
	社会と情報システム(2)情報の信頼性・公開・保護
第12回	事前学習 (内容・時間) 技術・倫理・道徳・教育とソーシャルエンジニアリング事例について調べる [2.0h]
	事後学習 (高校)教科書では足りない点の洗い出しと補強について考察。振り返りを書く[2.0h]
	情報教育の課題と展望(1)教育方法・環境の情報化、情報の信頼性・公開・保護
第13回	事前学習 現状のHW,SW,コンテンツ、インフラについてGIGAスクール構想について調べる [2.0h]
	事後学習 理想と現実、地域格差、経済格差などの格差について考察。振り返りを書く [2.0h]
	情報教育の課題と展望(2)最近の話題から
第14回	事前学習 (内容・時間) 2020年度の遠隔教育について小中高についてつ国公立・私立別に事例を調べる [2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 2022年度以降の遠隔教育、ディジタル教科書について考察。振り返りを書く。[2.0h]
	まとめ
第15回	事前学習 (内容・時間) 14回までの内容について、特に興味を持った回次を中心にまとめる [2.0h]
	事後学習 (内容・時間) 定期試験に向けて、教科教育法Ⅱに向けて、まとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第16回	定期試験等

ナンバリング (Numb 2TTB-5020-32E							
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
情報科教育法 II (教職に関する科		223~			0 ## / 	## ?>	∠ E. 15.7
「情報」教科教育法 (教職に関する科		~222	3年生·後期 22		2単位	教必	合田 和正
オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条作 Course Prerequis		「情報」教科	情報」教科教育法Iに合格しているこ				

学則第3条を踏まえて、

情報学分野の情報教育、特に高等学校の情報科における教科教育法についての知識を習得し、模擬授業や教育実習へ向けて、少しずつ実践してみることを目標とする。

具体的には、教科教育法 I に引き続き、教育法の実践力を身につける。また、教科情報科の内容に即しながら教授システムの設計、学習指導計画の立案ができるようにし、それらを実施・評価することも身につける。※ Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。ICT演習としての実施を計画している。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience			
該当しない					
	授業を通して修得で	きるカ Competency Goals			
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture			
Knowledge and Understan	ding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0		
プロササギの知り	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0		
GOTTOTTO CINITO	論理的思考力	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
************************************	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
r or oorial qualities	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思想 Integrated Learning Experience		Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

指導案の作成及び教授法、観点別評価の理解。教育実習へ向けて、授業に必要な準備を把握する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、学習指導案の作成を目標に、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。 必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。また、電子メイルやその他に授業中に提示するその他の方法でも受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。

授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、

関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。

※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
資料を配布します。(昨年度以前 の講義資料を含む)							
	参考文献 Referer	ice Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
1) 高等学校学習指導要領解説 情報編	1) 文部科学省	1) 開隆館	1) 978-4304021633				
2) 情報科教育法	2) 鹿野利春ほか編	2) 実教出版	2) 978-4407355215				
成結	亚価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation					

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- 1) 提出物(授業の振り返りや課題等)が約60%、
- 2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%

であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。

具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	「情報」のカリキュラム構成、教科教育法Iの復習
第1回	事前学習 教科教育法 I および前期の教職科目についてまとめておく。[2.0h]
	事後学習 _{授業を受けて、} 各自の弱い点を補強する。振り返りを書く。[2.0h]
	共通教科情報科(1)「情報 I 」 ※Zoomを予定
第2回	事前学習 (内容・時間) (高校)教科書の目次、本文を参照しつつ、教科内容についてのイメージをまとめる [2.0h]
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容と自分のイメージを比較して考察、まとめる。振り返りを書く。[2.0h]
	共通教科情報科(2)「情報Ⅱ」
第3回	事前学習 (高校)教科書の目次、本文を参照しつつ、教科内容についてのイメージをまとめる [2.0h]
	事後学習 授業内容と自分のイメージを比較して考察、まとめる。振り返りを書く。[2.0h]
	専門教科情報科
第4回	事前学習 問題解決というキーワードで各分野、各科目の事例を調べる。 [2.0h]
	事後学習 _{授業} 内容と事例について整理してまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
	「情報 I 」の詳細内容と評価に向けた内容・目標のマトリックス化
第5回	事前学習 (高校)指導用教科書を参照しつつ、単元内容・単元目標についてまとめる。 [2.0h]
	事後学習 マトリックス化により明らかになった濃淡・強弱に基づいて補強。振り返りを書く。[2.0h]
	「情報Ⅰ」指導書の活用
第6回	事前学習 (高校)指導書を参照しつつ、より詳細な内容、目標、全体像についてまとめる。[2.0h]
	事後学習 指導用教科書と指導書の使い分けや記述内容の違いについてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
	目標と関連付けた評価
第7回	事前学習 目標の詳細化と評価方法・基準についてまとめる。[2.0h]
	事後学習 指導用教科書・指導書の強みと弱みについてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
_	授業展開法とメディアの利用(1)板書、黒板とホワイトボード、電子黒板 ※Zoomを予定
第8回	事前学習 cれまでに使用、見たことがある黒板、ホワイドボード、チョーク、マーカーなどについてまとめる。[2.0h]
	事後学習 これからの板書と資料提示について考察する。特にディジタル化の観点。振り返りを書く。[2.0h]

	授業展開法とメディアの利用(2)投影、スライドやプロジェクタ、および電子黒板(2)
第9回	事前学習 OHPやプロジェクタ、大画面ディスプレイなど光による資料提示についてまとめる。[2.0h]
	事後学習 cれからの遠隔を含めた資料提示について考察する。振り返りを書く。[2.0h]
	授業展開法とメディアの利用(3)メディアの特性と工夫
第10回	事前学習 提示(伝達)、記録の観点、教師・学生の観点からメディアについて調べる。[2.0h]
	事後学習 メディアの現状と今後について考察し、まとめる。振り返りを書く。[2.0h]
	授業展開法とメディアの利用(4)コンテンツのディジタル化と活用 ※Zoomを予定
第11回	事前学習 身近なディジタルコンテンツについて事例をまとめる。[2.0h]
	事後学習 今後の動向について、現状と最先端から予測してみる。[2.0h]
	学習・教授評価と総括(1)評価について、位置と役割
第12回	事前学習 (内容・時間) 計測と評価、主観的評価と客観的評価についてまとめる。[2.0h]
	事後学習 評価の位置と役割についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
	学習・教授評価と総括(2)目的と役割、基本的性格、対象と主体
第13回	事前学習 評価の対象と主体を中心に、目的・役割について調べてまとめる。[2.0h]
	事後学習 授業をうけて、基本的性格と目的役割についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
	学習・教授評価と総括(3)評価のまとめ
第14回	事前学習 (内容・時間) 評価に向けての準備、シラバス、教材、試験、採点についてまとめる。[2.0h]
	事後学習 評価についての全体的なまとめをする。振り返りを書く。[2.0h]
	まとめ
第15回	事前学習 (内容・時間) 14回までの授業をまとめておく。[2.0h]
	事後学習 _(内容・時間) 定期試験に向けて、教育実習に向けて、指導案の事例を収集分析する。[2.0h]
第16回	定期試験等

ナンバリング(Numb	ering)						
2TTB-5080-22E	ĒΤ						
科目名 Class	71,12		開講学年·学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
教育哲学 (教職に関する科目	目)	共通	共通 2年生·後期		2単位	教必	坂上 宏
オンライン授業 Online Class	なし	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
①「教師入門」をすでに単位取得済みであ ②下記の参考書のどれか一冊を読了して、 ※禁止事項:不必要な私語。正当な理由で 使用。その他指定する事項。		おくことが望ま		「のない入退室。携帯電話の			

この授業では、歴史上名高い哲学者・思想家の代表的な著作に見られる教育観、道徳観、人間観などについて講義します。「教育」という事象を単に'教える'、'学ぶ'という側面だけではなく、人間存在の根源的見地から考えて、教育と道徳のあり方、教育と社会の関係性などについて考えていきます。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「I 建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ 社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty

with Work Experience	Work Experience Content	Olasc	S Contents Cullizing Work Experience		
該当しない					
	授業を通して修得で	きる力 Competenc	y Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	0	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening		
	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
GOTTOTTO GIVING	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding	; Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management			
能由 古白州の知ら	チームワーク	Teamwork			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership			
	倫理観	Ethical Sense		0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibilit	у	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning	Experience	0	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	kills	0	

到達目標 Objectives

本講義の目標は以下のとおりです。

- ①プラトンの教育観と人間観(「哲人教育」「イデア」「魂の配慮」「魂の転向・浄化」)等の概要について理解できる。
- ②アリストテレスの道徳観と人間観(「倫理的徳」「知性的徳」「正義」「愛と幸福」)等の概要について理解できる。
- ③カントの教育観、道徳観、人間観(「理性と認識」「道徳と義務」「倫理教育」「実践的教育と自然的教育」)等の概要について理解できる。
- ④ロックとペスタロッチーの教育観と人間観等の概要について理解できる。
- ⑤ルソーの教育観、人間観、道徳観(人間性と道徳・教育のあり方)等の概要について理解できる。
- ⑥デューイの教育観と人間観(民主主義と教育、学校のあり方)等の概要について理解できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。

|毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(363)およびGoogleクラスルーム・メール(sakagami@g.kiis.ac.jp)にて随時受け付けます。

提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

|学習の確認:ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

	教科書 Textbooks				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
配布プリント 教育思想史	今井康雄(編)	有斐閣			
	参考文献 Referen	ice Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
国家 上・下 ニコマコス倫理学 上・下 教育学(カント全集17) 実践理性批判 道徳哲学 教育に関する考察 エミール上・中・下 人間不平等起原論 隠者の夕暮と教育 学校と社会	プラトン アリストテレス カント カント カント ロック ルソー ペスタロッチー デューイ デューイ	岩岩岩岩岩岩岩岩岩岩岩岩岩岩岩岩岩岩岩 光波波波波波 文文文文文文文文文文文文文	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ(事前学習と事後学習)の提出、ルーブリックの提出)。 成績評価の基準:

- ①プラトンの教育観と人間観(「哲人教育」「イデア」「魂の配慮」「魂の転向・浄化」)等の概要について説明できる。
- ②アリストテレスの道徳観と人間観(「倫理的徳」「知性的徳」「正義」「愛と幸福」)等の概要について説明できる。
- ③カントの教育観、道徳観、人間観(「理性と認識」「道徳と義務」「倫理教育」「実践的教育と自然的教育」)等の概要につい て説明できる。
- ④ロックとペスタロッチーの教育観と人間観等の概要について説明できる。
- ⑤ルソーの教育観、人間観、道徳観(人間性と道徳・教育のあり方)等の概要について説明できる。
- |⑥デューイの教育観と人間観(民主主義と教育、学校のあり方)等の概要について説明できる。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	授業の方針、教育と哲学の基本的な考え方、 プラトン『国家』における教育観と人間観①(哲人教育とイデア論) :プリント1
第1回	事前学習 プラトンのイデア論の要点について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ①)(2時間)
	事後学習 プラトンの哲人教育論の要点について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ①)(2時間)
	プラトン『国家』における教育観と人間観②(魂の配慮と徳):プリント2
第2回	事前学習 プラトンが説く「魂の配慮」の要点について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ①)(2時間)
	事後学習 プラトンが述べる道徳の考え方について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ②)(2時間)
	プラトン『国家』における教育観と人間観③(魂の転向と浄化):プリント3
第3回	事前学習 プラトンが述べる教育のあり方「魂の転向」について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ②) (内容・時間) (2時間)
	事後学習 プラトンが述べる教育のあり方「魂の浄化」について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ③) (内容・時間)
	アリストテレス『ニコマコス倫理学』における道徳観と人間観①(徳のあり方、倫理的徳) :プリント4
第4回	事前学習 アリストテレスが述べる道徳のあり方について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ③)(2時間)
	事後学習 アリストテレスが述べる倫理的徳について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ④)(2時間)
	アリストテレス『ニコマコス倫理学』における道徳観と人間観②(知性的的徳、正義):プリント5
第5回	事前学習 アリストテレスが述べる知性的徳について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ④)(2時間)
	事後学習 アリストテレスが述べる正義のあり方について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑤)(2時間)
	アリストテレス『ニコマコス倫理学』における道徳観と人間観③(愛、幸福) :プリント6
第6回	事前学習 アリストテレスが述べる愛のあり方について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑤)(2時間)
	事後学習 アリストテレスが述べる幸福のあり方について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑥)(2時間)
	カント『実践理性批判』における道徳観と人間観(理性と認識):プリントア
第7回	事前学習 カントが述べる理性のあり方について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑥)(2時間)
	事後学習 カントが述べる認識のあり方について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑦)(2時間)
	カント『道徳哲学』における教育観と道徳観(道徳の義務、倫理教育) :プリント8
第8回	事前学習 カントが述べる道徳のあり方について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑦)(2時間)
	事後学習 カントが述べる倫理教育のあり方について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ®)(2時間)

	カント『教育学』における教育観(実践的教育、自然的教育): プリント9
第9回	事前学習 カントが述べる実践的教育について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑧)(2時間)
	事後学習 (内容・時間) カントが述べる自然的教育について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑨)(2時間)
	ロック『教育に関する考察』における教育観と人間観(教育と習慣) ペスタロッチー『隠者の夕暮れ・シュタンツだより』における教育観 :プリント10
第10回	事前学習 ロックの教育観と人間観について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑨)(2時間)
	事後学習 ペスタロッチーの教育観について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑩)(2時間)
	ルソー『人間不平等起原論』における人間観と道徳観(人間性と道徳) : プリント11
第11回	事前学習 (内容・時間) ルソーが述べる人間観について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑩)(2時間)
	事後学習 (内容・時間) ルソーが述べる道徳のあり方について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑪)(2時間)
	ルソー『エミール』における人間観と教育観(人間性と教育のあり方) :プリント12
第12回	事前学習 『エミール』で述べられている人間観について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑪)(2時間)
	事後学習 『エミール』で述べられている教育観について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑰)(2時間)
	デューイ『民主主義と教育』における教育観と人間観①(民主主義と人間) :プリント13
第13回	事前学習 『民主主義と教育』で述べられている教育観について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑫) (内容・時間)
	事後学習 『民主主義と教育』で述べられている教育観について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑬) (内容・時間) (2時間)
	デューイ『民主主義と教育』における教育観と人間観②(民主主義と教育) :プリント14
第14回	事前学習 『民主主義と教育』で述べられている教育観について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオー⑬) (内容・時間) (2時間)
	事後学習 『民主主義と教育』で述べられている教育観について、プリントを読んで答えてください。(ポートフォリオ⑭) (内容・時間)
	デューイ『学校と社会』における教育観 :プリント15
第15回	事前学習 『学校と社会』で述べられている教育観と学校のあり方について、プリントを読んで答えてください。(ポー (内容・時間) トフォリオ⑭)(2時間)
	事後学習 『学校と社会』で述べられている教育観と学校のあり方について、プリントを読んで答えてください。(ポー (内容・時間) トフォリオー⑮)(2時間)
第16回	定期試験、ポートフォリオ&ルーブリック作成等

ナンバリング(Numb	ering)						
2TTB-5100-12I	ET						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教師入門 (教職に関する科	目)	共通	1年生•後期		2単位	教必	桑野裕文
オンライン授業 Online Class	なし		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
履修の前提条f Course Prerequis	(1)学校教育に関心がある者。②教師への志望動機が明確である者。③ディスカッ (1)学校教育に関心がある者。②教師への志望動機が明確である者。③ディスカッ						

15回の講義中、一人最低2回は各自が自主的に設定したテーマについて、問題提起をしてもらう。それに対し、グループ又は個人としての意見・疑問を出し合い討論する。討論の時間では、建学の精神である「至心」に基づいて、積極的かつ誠実な態度での討論を行う。最終的には、理想の教育及び教師像について考える。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない			
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	•	0
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0
77 FT 44 + 44 - 45 - 45 - 45 - 45 - 45 - 45 -	数量的スキル	Mathematics	
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	
GOTIOTIO OKIIIO	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0
	問題解決力	Problem Solving	0
	建学の精神	University Founding Philosophy	0
	自己管理力	Self-management	0
45. 	チームワーク	Teamwork	0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0
1 Gradiai Quancies	倫理観	Ethical Sense	0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

この授業の目標は、①建学の精神である「優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性」の育成、②教師としての心構えから、教育課程、校務分掌等幅広く理解する、③代表的な授業スタイル「講義型授業」「問答型授業」「個別型授業」「対話型授業」のメリット・デメリット、及びICT機器を活用した指導法について理解を深めるとする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学校教育を多様な視点で捉え、主体的に事前事後の学習ができるようにしてください。 対話型の授業を心がけますので、意欲的な発言を期待しています。 授業の終わりには毎回コメントカードを作成・提出してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワーは、授業日の授業の前後の時間になります。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して授業の前までに桑野までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
特に打	特に指定しませんが、必要に応じて資料を配布します。				
	参考文献 Referen	ce Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
学校の戦後史 教育言説の歴史社会学	木村元 広田照幸	岩波書店 名古屋大学出版会	9784004315360 481580396X		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

- ·成績評価の方法:定期試験50%、問題提起25%、平常点25%(ディスカッション、ポートフォリオ、レポート、 コメントカードの作成等)
- ・成績評価の基準
- ①教員としての心構え、教職の専門性、教職員の服務、教育活動等を理解しているか。
- ②創意工夫をして問題提起を行おうとしているか。ディスカッションに積極的に参加しているか。
- ③多様な意見を吸収し、建学の精神である「優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性」に近づこうとしているか。

	授業計画 Course Schedule			
	テーマ Theme			
	オリエンテーション:授業の進め方,成績評価等についての説明等 対面			
第1回	事前学習 教職とは何かについて調べてまとめておく。			
	事後学習 講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。			
	教員としての心構え(宣誓義務と服務義務)			
第2回	事前学習 公務員の宣誓についてまとめておく。『地方公務員法(服務の宣誓)第30条・第31条』 参照)			
	事後学習 講義内容をwordで200字程度にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。			
	教職の専門性と研修			
第3回	事前学習 「教師聖職者論」、「教師労働者論」、「教師聖職者論」についてまとめておく。			
	事後学習 講義内容をwordで200字程度にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。			
	学校教育の意義・役割			
第4回	事前学習 「教員と教師」と「業務と公務」について調べておく。			
	事後学習 講義内容をwordで200字程度にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。			
	日本の教育制度			
第5回	事前学習 「初等教育」・「中等教育」・「高等教育」について調べておく。			
	事後学習 講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。			
	教育活動と教育課程			
第6回	事前学習 「教育課程」について調べておく。			
	事後学習 講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。			
	学校としての組織マネージメント			
第7回	事前学習 「校務分掌」について調べておく。			
	事後学習 講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。			
	学びの多様化(不登校生徒に対する支援)			
第8回	事前学習 日本の特別支援教育の歴史について、300字程度にまとめておく。			
	事後学習 講義内容をwordで100字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。			

	学校を取り巻く動向(働き方改革より担任制と部活動改革))
第9回	事前学習 「学級担任制」と「教科担任制」のちがいについて調べておく。
	事後学習 講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。
	授業スタイル「講義型授業」「問答型授業」「個別型授業」「対話型授業」のメリット・デメリット
第10回	事前学習 (内容・時間) PDCAサイクルについて調べておく。
	事後学習 講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。
	ICTを活用した指導法について
第11回	事前学習 ICT機器について調べておく。
	事後学習 講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。
	学校を取り巻く動向(教育行政と教育委員会の役割)
第12回	事前学習 (内容・時間) 戦前と前後の教育制度の違いについて調べておく。
	事後学習 講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。
	まず、係となった学生が自主的に決めたテーマに沿って問題提起を行い、これに関する意見交換等を30分間で行います。その後、教師の仕事について解説します。その際、必要に応じて意見交流をします。対面
第13回	事前学習 (内容・時間) 「教員志望動機」について300字以内にまとめておく。
	事後学習 講義内容をwordで100字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。
	まず、係となった学生が自主的に決めたテーマに沿って問題提起を行い、これに関する意見交換等を30分間で行います。その後、教師の置かれている現在的な問題について考え、どうすれば効果的な教育が行われるのかについて意見交換をします。 対面
第14回	事前学習 教師の仕事を阻害していると考えられる事柄について、300字程度でまとめてください。授業 (内容・時間) で発表してもらいます(2時間)。
	事後学習 講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。
	まず、係となった学生が自主的に決めたテーマに沿って問題提起を行い、これに関する意見交換等を30分間で行います。その後、これからの時代に求められる「理想」の教師像について議論をします。対面
第15回	事前学習 自分なりの「理想」の教師像を、300字程度でまとめてきてください。授業で質問します(2時 (内容・時間) 間)。
	事後学習 講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業 (内容・時間) は欠席となりますので注意してください(2時間)。
//···	教師の役割、教師を取り巻く環境の変化、不登校児童生徒への取り組み等、学習したすべての事柄が試験の対象となります。

ナンバリング (Numbering) 2TTB-5050-22ET 科目名 Class Admission Year School Year, Semester Credit グロスト (Att) 教育社会学

オンライン授業 なし Googleクラスルームの利用 あり Using Google Classroom あり

共通

履修の前提条件 Course Prerequisites

実務経験のある教員による科目

(教職に関する科目)

将来教職を目指す者に向けた授業であるので、教える=学ぶという主客往復運動を自らの裡に作用させ主体的に取り組む姿勢と態度そして能力が求められる。

2単位

教必

実務経験をいかした教育内容

授業担当者

Instructor

平田 毅

授業概要 Course Outline

2年生・後期

現代社会は大きな転換期を経験している。そうした状況のなか、2020年にはCOVID-19感染症パンデミックのなか、2月末から全国の小中学校が一斉に休校するという事態も起こった。学校や教育のあり方が大きく問われ、大きな変革を迫られた。この授業では、そうした状況も踏まえ、転換期の教育・学校の諸相とそれを取り巻く"問題"に焦点を当て、その構造とメカニズムを社会学的に考察・解明していくことを目的とする。

一方的に私が講義する授業だけでなく、受講生のみなさんがそれぞれのテーマに基づいて作成したレポートの発表を取り 入れた授業を行うので、問題意識を持って、積極的に課題に取り組んでほしい。

なお、本授業は学則第23条の2により開講されるものであり、カリキュラムポリシーの I およびVIを満たす科目ともなる。

実務経験内容

with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
 知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Cultur	e O	
Knowledge and Understandin	g 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0	
カロの社会の知ら	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0	
	問題解決力	Problem Solving	0	
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management	0	
能由 古白州の知上	チームワーク	Teamwork		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
, or oornan quantities	倫理観	Ethical Sense	0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and		Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

- ・教育・学校をとりまく状況や問題を社会学的に捉え、その相互関係のメカニズムを考察し理解する。
- ・教職を志望するに当たって、教育・学校における諸問題・諸事象を複眼的に捉える視点と態度を養う。
 ・PC、PowerPoint、電子黒板など情報ツールを有効に活用したプレゼンテーションができるスキルの習得も図

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

テキスト沿ったテーマを分担して、PowerPointを用いて発表していきます。

- ①各自の担当テーマを十分にリサーチし、その内容や問題の十分な理解に努めます。
- ②オーディエンスにも「よくわかる発表」になるように工夫したPowerPoint原稿を作成ます。
- ③作成したPowerPointをもとに発表の準備(練習)をします。
- 4 発表します。
- ⑤聴き手の側は予めテキストの指定箇所を熟読し要点と疑問点を念頭に置きながらしっかりと発表に耳を傾けます。
- ⑤発表後、聴き手は積極的に質問し意見を述べるなど、発表に対して真摯に反応します。
- ※以上が、相互に学び合う場を創出していくうえで、不可欠な要素です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業終了後に声を掛けるか、もしくは研究室を訪ねてください。

オフィスアワーの時間は、掲示案内を参照してください。

メールアドレス: t-hirata@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎時のテーマ発表について「教育社会学 発表学習の記録』シートを記入し、学びの振り返りをします。 しっかり、記入するようにしてください。

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks				
書名 Title	ISBN⊐ード ISBN Code			
これからの教育社会学	相澤真一·伊佐夏実 内田良·徳永知子 著	有斐閣 (2,100円税別)	978-4-641-20003-6	
参考文献 Reference Books				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	
よくわかる教育社会学	酒井朗·多賀太· 中村高康編著	ミネルヴァ書房 (2,600円税別)	978-4-623-06293-5	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

|テーマ発表の内容(40%)と期末レポート(60%)により総合的に評価する。

授業計画 Course Schedule					
	テーマ Theme				
	授業ガイダンス 教育社会学とは何か				
第1回	事前学習 シラバスを精読し、教育社会学で学ぶことを把握しておく。自らの学校経験を振り返り、学校 (内容・時間) や教育の意味を考える。[2h]				
	事後学習 自らの学校経験や被教育体験を重ね合わせて、テキストを概観し、興味ある箇所を読む。[2h]				
	学校と社会 ~教育は社会の中で行われている				
第2回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。 [2h]				
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 「内容・時間 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]				
	階層と教育 ~近代化とメリトクラシー				
第3回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]				
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 「内容・時間 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]				
	マイノリティと教育 ~社会的排除と教育				
第4回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]				
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。 [2h]				
	ジェンダーと教育 ~隠れたカリキュラムとジェンダー形成				
第5回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。 [2h]				
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]				
	教師の社会学 〜教師の役割と変わる教員養成				
第6回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]				
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]				
	子どもの社会学 ~子ども観の変遷と情報化のなかの子ども				
第7回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。 [2h]				
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。 [2h]				
	ライフコース ~ライフヒストリーとライフストーリー				
第8回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]				
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]				

	教育問題の社会学 ~非行・逸脱・不登校・いじめ
第9回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。 [2h]
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
	教育改革 ~市場化する教育
第10回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。 [2h]
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
	学校教育 ~公教育制度のなかの学校
第11回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
	労働市場へのトランジション ~キャリア教育と進路指導
第12回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
	教育と経済 ~人的資本論とシグナリング論、教育投資論
第13回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
	今、学校・教師に求められていること ~学校と社会のつながり
第14回	事前学習 テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習 発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 (内容・時間) テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
	授業の振り返りとまとめ
第15回	事前学習 これまでのテーマを振り返って、それぞれのエスプリを整理する。[2h]
	事後学習 期末レポート作成に向けて、テーマを明確にしその作成に取り組む。[2h]
第16回	レポート課題の提出
1	

ナンバリング(Numl	pering)						
2TTB-5060-22	ET						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
教育心理学 (教職に関する科目)		共通	2年生·前期		2単位	教必	鈴木和也
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		「心理学」を見	覆修(単位修得)もし [.]	〈は同日	持履修してい	ること。	

建学の精神である「優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性」を基礎とし、学校教師(本学の場合、高校教諭)としての基本的条件(専門科目知識・技能は勿論)としての役割(自己管理、対人理解・共感力・支援力)に関する知識・態度を理解し、自らの課題として自覚できるための講義とグループワークから構成される。

授業概要 Course Outline

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	、類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0			
7 D44+4 0 4 1	数量的スキル	Mathematics	0			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0			
denone onine	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0			
	問題解決力	Problem Solving	0			
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management	0			
** 十 七 # 6 # 1	チームワーク	Teamwork	0			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0			
Torounai Quancios	倫理観	Ethical Sense	0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性を培い、学校教師(本学の場合、高等学校教諭)としての基本的姿勢(教師役割への積極的態度、責任感)と専門性(教授・指導・支援の力量)の基礎となる心理学的知識への関心が高まることと、習得される(説明できる)こと。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|授業内容と関連させて、今日の学校教育をめぐる諸問題についてグループ・ディスカッションを導入する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー 以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

	教科書 Textbooks						
	書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code			
	はじめて学ぶ教育心理学	吉川成司・関田一彦・他	ミネルヴァ書房	978-4-623-07448-8			
	参考文献 Reference Books						
	書名 Title	著者名 Author	or 出版社 Publisher ISBNコード				
- 1		·	-	-			

補助教材として、授業内容に関連したプリント資料を配付・活用します。

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験の成績と授業中の参加度(質問・発表、グループワーク等)を総合的に評価します。 両者の比重は、概ね6対4。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション:「教育心理学」を学ぶにあたって
第1回	事前学習 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	教育心理学の目的と意義
第2回	事前学習 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	教育心理学の方法:学校教師に求められる研究方法
第3回	事前学習 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	人間の発達(1)考え方・規程要因・過程
第4回	事前学習 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	人間の発達(2)発達の諸相
第5回	事前学習 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	学習(1)動機づけ
第6回	事前学習 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	学習(2)学習の評価
第7回	事前学習 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	学習(3)ICT教育とメディアリテラシー
第8回	事前学習 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間) 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)

	
	まとめと確認①:グループワークによる自己点検
第9回	事前学習 (内容・時間) 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	学級集団とその指導(1)学級の心理学的構造
第10回	事前学習 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	学級集団とその指導(2)心理教育
第11回	事前学習 (内容・時間) 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	生徒理解と個別指導
第12回	事前学習 (内容・時間) 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	問題行動と教育相談
第13回	事前学習 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	特別支援教育:発達の個人差への教育的対応
第14回	事前学習 (内容・時間) 当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
	まとめと確認②:グループワークによる自己点検
第15回	事前学習 これまでの授業内容を総復習し、ノートにまとめる。(2h)
	事後学習 難しく感じた問題等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第16回(定期試験)	定期試験(筆記試験)

ナンバリング (Numb	pering)						
2TTN-5140-22	ET						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
特別支援教育 (教職に関する科		219~ 経営情報学科	2年生・後期		2単位	教必	鈴木 和也
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites			、心理学、教育哲学 るいは単位を取得			士会学、	教育心理学、教育課程

この講義では、障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、 教師として、子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めて生活や学習上の困難を改善・克服 するための適切な指導と必要な支援を行うための基礎知識を学ぶ。建学の精神として、優れた専門性を磨くこと は勿論ではあるが、温かい人間性や豊かな人間性を育むことも同時に目指す。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competenc	y Goals	
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
Knowledge and Understan	ding 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	0
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing /	Speaking / Listening	0
20日本社会の日上	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		0
Gonorio Giano	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		0
	問題解決力	Problem Solving		0
	建学の精神	University Founding	g Philosophy	0
	自己管理力	Self-management		0
	チームワーク	Teamwork		0
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		0
i orsonar Quantios	倫理観	Ethical Sense		0
	市民としての社会的責任	Social Responsibility		0
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思す Integrated Learning Experience		Integrated Learning	Experience	
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking S	Skills	

到達目標 Objectives

- ・特別支援教育の考え方・基本的概念を理解し説明できる。(知識・理解)
- ・学習や生活上の困難さの原因・背景への関心をもつ。(態度・志向性)
- ・特別な教育的支援が必要な生徒に対して具体的な支援のアイディアと方法を提供できる。(技能)

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

- 対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
- ┣・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー 以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
高等学校教員のための 特別支援教育入門	大塚 玲 著	萌文書林	978-4-89347-362-2		
	参考文献 Referen	ce Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
特別支援教育の基礎・基本 2020	独立行政法人 国立特別支援教育総合 研究所	株式会社ジアース教育 新社	978-4-86371-548-6		
成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation					

1.定期試験(80%)、2.小テスト(10%)、3.学修課題の提出(5%)、4.授業への取組み(5%)

	授業計画 Course Schedule			
	テーマ Theme			
	オリエンテーション~支援教育と特別支援教育			
第1回	事前学習 (内容・時間) 配布資料「特別支援教育とその現状」を通読する	(2.0h)		
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)		
	学校教育のシステムと個に応じた指導とは			
第2回	事前学習 (内容・時間) 配布資料「学校教育のシステムと個に応じた指導」を通読	(2.0h)		
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)		
	通常学級で困っている子ども(生徒)たち			
第3回	事前学習 (内容・時間) 教科書68頁~76頁を通読する	(2.0h)		
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)		
	特別に支援を必要とする子ども(生徒)①知的障害			
第4回	事前学習 (内容・時間) 教科書152頁~183を通読する	(2.0h)		
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)		
	特別に支援を必要とする子ども(生徒)②発達障害(自閉性障害)			
第5回	事前学習 (内容・時間) 教科書302頁~320頁を通読する	(2.0h)		
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)		
	特別に支援を必要とする子ども(生徒)③学習障害(LD)			
第6回	事前学習 (内容・時間) 教科書323頁~331頁を通読する	(2.0h)		
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)		
	特別に支援を必要とする子ども(生徒)④注意欠陥多動性障害(ADHD)			
第7回	事前学習 (内容・時間) 教科書333頁~339頁を通読する	(2.0h)		
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)		
	特別に支援を必要とする子ども(生徒)⑤その他(文化マイノリティ)			
第8回	事前学習 配布資料「文化マイノリティを通読する	(2.0h)		
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)		

	特別支援教育の実際と課題①学級づくり~生徒指導、教育相談	
第9回	事前学習 (内容・時間) 教科書39頁~45頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
	 特別支援教育の実際と課題②授業づくり~目標設定と方法・評価 	
第10回	事前学習 (内容・時間) 教科書51頁~52頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
	 特別支援教育の実際と課題③保護者・地域社会との連携〜成長と理解 	
第11回	事前学習 (内容・時間) 教科書64頁~66頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
	特別支援教育の実際と課題④専門機関との連携	
第12回	事前学習 (内容・時間) 教科書50頁~51頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
	特別支援教育の実際と課題⑤特別支援教育における情報機器の活用(アシスティブ・テいて)	クノロジーにつ
第13回	事前学習 (内容・時間) 教科書61頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
	特別支援教育の実際と課題⑥特別支援教育における情報機器等の活用の実際(教材作 ての活用、生徒の個別学習への活用について)	F成の道具とし
第14回	事前学習 (内容·時間) 教科書119頁~122頁、176頁~178頁、257頁~261頁を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
	まとめ	
第15回	事前学習 (内容・時間) 配布資料「特別支援教育の課題と展望」を通読する	(2.0h)
	事後学習 (内容・時間) 本時の内容の再確認と復習課題の解答	(2.0h)
第16回	定期試験の実施 (振り返りを行い、特別支援教育に対する見識を深める。)	

ナンバリング(Numbe	ering)						
2TTN-5130-32ET							
科目名 Class		入学年度 Admission Year			単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
総合的な探究の時間の (教職に関する科目		219~ 3年生・後期		2単位	教必	相良 誠司	
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom					
履修の前提条件 Course Prerequisi	•	21世紀の高度情報化社会にあって、次世代の高等学校教育において「至心をも事にあたる人間づくりをなす」という確固たる意思をもち、高等学校情報科教諭とて修得すべき「総合的な探究の時間」の在り方について意欲的に学ぼうとする姿を有すること。				高等学校情報科教諭とし	

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

<内容>

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty

- 1 新学習指導要領の背景や理念、及び高等学校の教育課程全体について理解を深める。
- 2 「総合的な探究(学習)の時間」の意義・目標・特質について理解を深める。
- 3 先進的な「総合的な探究の時間」の実践例について調査発表し、協議する。
- 4 「総合的な探究の時間」の体制づくり・全体計画・年間計画・単元構想・評価について理解を深める。
- 5 母校を想定した、総合的な探究の時間の単元の構想を発表し、協議する。

実務経験内容

Work Experience Content

with Work Experience	Work Experience Content	Glass Contents Offizing Work Experience			
該当しない					
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0		
	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy			
deficite ordina	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	0		
	問題解決力	Problem Solving			
	建学の精神	University Founding Philosophy			
	自己管理力	Self-management			
华克 十 九 州 6 年 上	チームワーク	Teamwork	0		
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0		
1 or oonar adams	倫理観	Ethical Sense			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility			
	生涯学習力	Lifelong Learning	0		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills			

到達目標 Objectives

【1.知識・理解】

・総合的な探究の時間の意義;・目標・特質について理解することができる。

【2.汎用的技能】

・カリキュラム・マネジメントの観点から、総合的な探究の時間の全体計画・単元計画等を立案し検討することができる。

【3. 態度·志向性】

・「総合的な探究の時間の指導法」の学びを調整しながら進め、振り返って成果と今後の課題を明らかにすることができる。

【4.統合的な学習経験と創造的思考力】

・先進的な総合的な探究の時間の実践例について探究し、自らの考えを構築することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

適宜、ICTを活用したグループワーク、プレゼンテーションを取り入れる。また、Goole classroomをはじめとするGoogle Workspaceアプリを活用する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせや質問には、主としてメールで対応する。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

- ·第15回後に、「学びの振り返りレポート」及び「KIIS学修ポートフォリオ&ルーブリック」を提出する。
- ・可能であれば、授業以外の時間に、実際の「総合的な探究の時間」の取組を視察する機会を設ける。

	教科書 Textbooks						
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
高等学校学習指導要領(平成30年告示) 解説 総合的な探究の時間編	文部科学省						
	参考文献 Referen	ice Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
今、求められる力を高める総合的な 学習の時間の展開(高等学校編)	文部科学省						
In 2-1-1							

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- ○授業課題への取組(42%)
- ○授業の振り返り(28%)
- 〇自己探究課題への取組(14%)
- ○学びの振り返りレポート(16%)

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション 授業の目標・計画・方法等について 自己目標(なりたい自分)の設定
第1回	事前学習 自分自身の体験した、「総合的な探究(学習)の時間」を想起し、メモする。(2時間)
	事後学習 授業への質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記載し、フォームで提出する。(2時間)
	日本の学校教育の動向 社会に開かれた教育課程
第2回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)
	教育課程の基準としての新学習指導要領(育成を目指す資質・能力の3本柱)
第3回	事前学習 (内容・時間) 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)
	総合的な探究の時間の意義・目標・特質
第4回	事前学習 事前課題について、自分の疑問や考えを記入しておく。(2時間)
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)
	総合的な探究の時間を柱とした教育課程編成の実際 (カリキュラム・マネジメント)
第5回	事前学習 (内容・時間) 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)
	先進的な総合的な探究の時間の実践例①に学ぶ(金沢大学附属高等学校)
第6回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)
	先進的な総合的な探究の時間の実践例②③に学ぶ(山梨県立北杜高等学校・岡山県立真庭高等学校)
第7回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)
	先進的な総合的な探究の時間の実践例④⑤に学ぶ(広島県立安芸南高等学校·大分県立日田三隈高等学校)
第8回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)

	総合的な探究の時間の体制づくり					
第9回	事前学習 (内容・時間) 事前課題について、自分の疑問や考えを記入する。(2時間)					
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)					
	総合的な探究の時間のデザイン(全体計画・年間指導計画)					
第10回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)					
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)					
	総合的な探究の時間の単元の構想 指導と 評価					
第11回	事前学習 (内容・時間) 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)					
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)					
	総合的な探究の時間の構想①(プレゼンテーションと協議)					
第12回	事前学習 (内容・時間) 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)					
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)					
	総合的な探究の時間の構想②(プレゼンテーションと協議)					
第13回	事前学習 (内容・時間) 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)					
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)					
	総合的な探究の時間の構想③(プレゼンテーションと協議)					
第14回	事前学習 _(内容・時間) 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)					
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。(2時間)					
	総合的な探究の時間の指導法のまとめ					
第15回	事前学習 (内容・時間)					
	事後学習 「KIIS学修ポートフォリオ&ルーブリック」をまとめて提出する。(2時間)					
第16回(定期試験)	まとめ					

ナンバリング (Numberin)				
2TTB-5030-22ET					
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年•学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
教育課程論(特別活動を含む (教職に関する科目)	, 共通	共通 2年生・後期		教必	益田 潤子
オンライン授業 Online Class	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom			
履修の前提条件 Course Prerequisites		修しているこ	٤٤.		

本授業の目標は、学校の教育課程とその内容を理解すると共に、とりわけ特別活動の基本的性格と意義を理解することです。そのため本授業では、まず、学習指導要領の位置づけと変遷を確認することを通して、社会の変化が学習指導要領に与える影響について検討します。その上で、現在の教育課程編成の課題として、教育内容の選択と配列に関わる問題について検討します。このような教育課程の基本的理解を踏まえ、特別活動の特質、指導上の要点、他教科との関連、家庭・地域・関係機関との連携の重要性等を理解します。そして、特別活動に携わる上での、実践的な指導力を身に付けることを目指します。これらの取り組みは、建学の精神である「至心」を基盤とする教育者としての心構えを養うものであり、受講者にはこうした心構えを体得して欲しいと思います。

実務経験をいかした教育内容

実務経験内容

実務経験のある教員による科目

with Work Experience	Work Experience Content	Class Contents Utilizing Work Experience				
該当しない						
·	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0			
辺田的社会の知よ	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy				
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy	0			
	自己管理力	Self-management				
北庄 ナウ州の 知上	チームワーク	Teamwork	0			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
r or oonar quantito	倫理観	Ethical Sense	0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0			
	生涯学習力	Lifelong Learning				
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

- 学校の教育課程とその内容を理解することができる。
- 学習指導要領の位置づけと変遷を説明することができる。
- ・現代の教育課程編成の課題に気づくことができる。
- 特別活動の教育課程上の位置づけを説明することができる。
- 特別活動の目標や諸活動の特質を理解することができる。
- 特別活動における個と集団の関係を踏まえた指導上の要点を説明することができる。
- ・ICT教育の知見を踏まえた教育課程の意義を理解することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

各講義の終わりにミニレポートの作成・提出をお願いします。各回のテーマについて自由に記述してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

mail:jtaka0623@gmail.com

授業の前後で質問など受けつけています。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

|学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
プリント配布					
	参考文献 Referen	ce Books			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
改訂版 教育課程編成論—学校は何 を学ぶところか	安彦忠彦	放送大学教育振興会	4595126182		
キーワードで拓く新しい特別活動—平 成29年版・30年版学習指導要領対応	日本特別活動学会	東洋館	4491036799		
□ は は 目	亚伟士: +	/ Mathad of Fushiotion			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:定期試験60%・平常点40%(ミニレポートを含む)

成績評価の基準:教育課程や特別活動のあり方を深く考えることができるか否か

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	トリエンテーション
第1回	事前学習 教育課程に関する自らの興味や疑問点を整理し、説明することができるようにする(2時間)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	牧育課程の基本的理解∶教育課程編成の基本原理と学習指導要領の位置づけ
第2回	前学習 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	学習指導要領の変遷①: 学習指導要領の成立
第3回	事前学習 _{内容・時間)} 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	学習指導要領の変遷②: 教育内容の現代化
第4回	事前学習 _{内容・時間)} 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	学習指導要領の変遷③:ゆとりある教育活動
第5回	事前学習 _{内容・時間)} 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	学習指導要領の変遷④:グローバル化に伴う諸改訂
第6回	事前学習 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 _{内容・時間)} 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	見在の教育課程編成の課題①:教育内容の選択と配列に関わる問題
第7回	事前学習 _{内容・時間)} 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	後学習 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間) 大容・時間)
	見在の教育課程編成の課題②:カリキュラムマネジメントの意義と重要性
第8回	事前学習 _{内容・時間)} 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 _{内容・時間} 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)

	現在の教育課程編成の課題③:カリキュラム評価の基本的理解
第9回	事前学習 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	特別活動の目標―「望ましい集団活動」から「互いのよさや可能性」へ
第10回	事前学習 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	特別活動を構成する諸活動の特質—学級活動・ホームルーム活動
第11回	事前学習 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	特別活動を構成する諸活動の特質—児童生徒会活動、クラブ活動、学校行事
第12回	事前学習 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	特別活動と他教科との関連および家庭・地域・関係機関との連携
第13回	事前学習 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 _(内容・時間) 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	特別活動における計画および評価・改善活動
第14回	事前学習 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	特別活動における指導—「自己の生き方」をより良く考えさせる方法
第15回	事前学習 授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する(2時間)
	事後学習 授業内容に関する疑問点・論点を整理する(2時間)
	定期試験はレポート形式とします。 授業内で提示するレポート課題に各自で取り組んでいただきます。

ナンバリング (Numberin 2TTB-5090-32ET						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年·学期 School Year, Seme	-	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
教育方法学(ICT活用を含む (教職に関する科目)	共通	3年生・前期		2単位	教必	益田 潤子 荒平 高章
オンライン授業 Online Class	_	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom				
ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		に関心があること。 いた授業計画を作成し プレゼンテーションを :私語。正当な理由の	行うと	共に、ディス	カッショ	ンに積極的に参加するこ

本授業では、ディプロマポリシーに基づき、教育方法に関する歴史・理論・実践の基礎的な知識・技能を学ぶ。その過程において、今日、特に求められるICTを用いた授業方法等を学ぶ。これらを受けて、各自がICTを用いた学習指導案を作成し、それをもとに、各自がプレゼンテーションを行う。その後、授業内容やICTの使用方法等が、適切であったかどうかについての意見交流を行う。そして、不十分であった点を改善し、次年度の教育実習に向けて備える。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

該当しない				
·	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0	
Knowledge and Understanding	3 人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0	
20日的社会の知よ	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
donono onino	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management		
************************************	チームワーク	Teamwork	0	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership	0	
r oreeman quantite	倫理観	Ethical Sense	0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning		
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

本科目の到達目標は、①教育方法の歴史・理論・実践を理解している。②適切にICTを教科指導に用いることができる。③授業を実践するにあたって、ICTを用いた学習指導案を作成することができる。④プレゼンテーションで不十分であった点を、話合って改善することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

プレゼンテーション終了後に、ディスカッションを行う。 対話型の授業を行うので、意欲的な発言を期待する。 授業の終わりに、コメントカードの作成・提出を行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡問合せは、kimandkayl@yahoo.co.jp、または。jtaka0623@gmail.comにて随時受け付ける。 オフィスアワーは、授業日の授業の前後の時間になる。

また、クラスルームを開設するので、講義以外での連絡等はクラスルームで行う。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して授業の前までに益田まで メールで提出。

教科書 Textbooks				
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code	

特に指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考文献 Reference Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code		
教育方法の理論と実践 高等学校学習指導要領解説情報編	小川哲生、菱山覚一郎 文部科学省	明星大学出版部開隆堂出版	9784895491549 9784304021633		

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- ・成績評価の方法:定期試験30%、学習指導案と実技50%、平常点20%(ディスカッション、ポートフォリオ、模擬授業評価表、コメントカードの作成)
- ・成績評価の基準
- ①教育の理論や歴史を理解しているか。
- ②創意工夫を行い、分かりやすい学習指導案を作成しようとしているか。
- ③ディスカッションに、積極的に参加しようとしているか。
- ④ICTの使い方を理解し、授業で適切に使おうとしているか。

授業計画 Course Schedule			
	テーマ Theme		
	導入の講義。授業の概要を説明する。また、学習指導案作成の教材決め等を行う。(担当:荒平、益田)		
第1回	事前学習 高校時代に用いていた教科書等から、事前に学習指導案を作成するための単元(教材)を (内容・時間) 決めておくこと。授業で質問する(2時間)。		
	事後学習 教材、授業目標等を、wordで100字程度にまとめ、メールで送ること。回答がないと本日の授 (内容・時間) 業は欠席となるので注意するように(2時間)。		
	ICTと教育(担当:荒平)		
第2回	事前学習 自身がこれまでの受けてきた講義を振り返り、どのようなICT機器が使用されていたか、どの (内容・時間) ように講義で使用されていたかを考えておく. (2時間)		
	事後学習 今回の講義を通して,気づき・発見等についてワード等の電子ファイルにまとめる.(2時間)		
	ICT機器の教育への応用(Microsoft Office)(担当:荒平)		
第3回	事前学習 自身の講義にどのようなICT機器やICT技術が使えるのかについて考え、ノートにまとめてお (内容・時間) く。(2時間)		
	事後学習 今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。(2時間)		
	ICT機器の教育への応用(プログラミング①)(担当:荒平)		
第4回	事前学習 自身がこれまでの受けてきたプログラミング系講義を振り返り、どのようなプログラミング言語を学ん (内容・時間) できたか、また情報科目で取り扱われているプログラミングの単元について調査しておく。(2時間)		
	事後学習 今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。(2時間)		
	ICT機器の教育への応用(プログラミング②)(担当:荒平)		
第5回	事前学習 第4回の講義を振り返り、情報科目で自身が教えることができる内容について考えておく。(2時間)		
	事後学習 今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。(2時間)		
	ICT機器・技術を用いた模擬講義計画(担当:荒平)		
第6回	事前学習 第4回、5回の講義を振り返り、情報科目で自身が教えることができる内容について考えておく。(2時間)		
	事後学習 今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。(2時間)		
	ICT機器・技術を用いた模擬講義実践(担当:荒平)		
第7回	事前学習 (内容・時間) 第6回の講義を振り返り、講義ができるように教材の準備をしておく。(2時間)		
	事後学習 今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。他者の講義に対し (内容・時間) て評価票を作成する。(2時間)		
	ICT機器・技術を用いた模擬講義改善とフィードバック(担当:荒平)		
第8回	事前学習 他者の講義に対して評価票を作成する。自身の模擬講義の反省点をワードファイルにまと (内容・時間) める。(2時間)		
	事後学習 第2回から第8回までの講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。 (内容・時間) 模擬講義に関するフィードバックを反映させたレポートを作成する。(2時間)		

	教育方法の史的変遷を知る。 日本の教育方法が、戦後どのような変遷をたどって発展したのかを解説する。(担当:益田)
第9回	事前学習 体系的教授法、経験主義とは何かについて調べ、500字程度にまとめておくこと。授業で質 (内容・時間) 問する(2時間)。
	事後学習 講義内容をwordで100字以内にまとめ、メールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席 (内容・時間) となるので注意するように(2時間)。
	学習指導要領の変遷について学ぶ。 戦後からの学習指導要領の変遷を学んだ後に、効果的な教育方法、基礎的な学習評価方法、ICTの活用法を説明する。(担 当:益田)
第10回	事前学習 学習指導要領とは何かについて調べ、500字程度にまとめておくこと。授業で質問する(2時 内容・時間) 間)。
	事後学習 講義内容をwordで100字以内にまとめ、メールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席 (内容・時間) となるので注意するように(2時間)。
	優れた特色ある教育実践に学ぶ。 優れた教育実践についていくつか紹介する。これらの実践を通して、効果的な教育方法について考える。(担当:益田)
第11回	事前学習 無着成恭、東井義雄、斎藤喜博の教育実践について調べ、簡単にまとめてくること。授業で (内容・時間) 質問する(2時間)。
	事後学習 講義内容をwordで100字以内にまとめ、メールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席 (内容・時間) となるので注意するように(2時間)。
	学習指導案を作成する① 授業の要素、授業の要件、教材研究、学習の形態について解説する。その後、学習指導案作成に入る。(担当:益田)
第12回	事前学習 (内容・時間) オリエンテーション時に選択した教材をもとに、教材研究を行っておく。授業で発表させる。
	事後学習 授業中の課題を作成し、メールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席となるので注意 (内容・時間) するように(2時間)。
	学習指導案を作成する② 効果的な発問方法・板書計画・机間指導方法・評価方法等の説明をする。その後、学習指導案を作成する。(担当:益田)
第13回	事前学習 オリエンテーション時に選択した教材をもとに、発問計画、板書計画、机間指導をまとめてお (内容・時間) く。授業で発表させる(2時間)。
	事後学習 授業中の課題を作成し、メールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席となるので注意 (内容・時間) するように(2時間)。
	プレゼンテーション① この授業では、2人にプレゼンテーションを行ってもらう。それぞれ、20分間のプレゼンを行った後に、10分間の質疑応答を行 う。その後、改善した方が良い点等を話し合う。これを繰返す。(担当:益田)
第14回	事前学習 (内容・時間) 学習指導案を作成させておくこと(2時間)。
	事後学習 プレゼン者の発表に対する感想を、wordで100字以内にまとめメールで送ること。回答がな (内容・時間) いと本日の授業は欠席となるので注意するように(2時間)。
	プレゼンテーション② この授業では、2人にプレゼンテーションを行ってもらう。それぞれ、20分間のプレゼンを行った後に、10分間の質疑応答を行 う。その後、改善した方が良い点等を話し合う。これを繰返す。(担当:益田)
第15回	事前学習 (内容・時間) 学習指導案を作成させておくこと(2時間)。
	事後学習 プレゼン者の発表に対する感想を、wordで100字以内にまとめメールで送ること。回答がな (内容・時間) いと本日の授業は欠席となるので注意するように(2時間)。
第16回 (定期試験)	教育方法の歴史、理論、ICT、優れた実践、教材研究等の学習したすべての事柄が試験の対象となる。

科目名 Class入学年度 Admission Year開講学年・学期 School Year, Semester単位数 Credit必・選 Comp. / Opt.授業担当者 Instructor生徒指導(進路指導を含む) (教職に関する科目)共通3年生・前期2単位教必相良 誠司オンライン授業 Online ClassなしGoogleクラスルームの利用 Using Google Classroomあり履修の前提条件 Course Prerequisites21世紀の高度情報化社会にあって、次世代の高等学校教育において「至心をもって事にあたる人間づくりをなす」という確固たる意思をもち、高等学校情報科教諭として修得すべき「生徒指導(進路指導を含む)」の在り方について意欲的に学ぼうとする姿勢を有すること。	ナンバリング (Numbering 2TTA-5120-32ET						
(教職に関する科目) 共通 3年生・前期 2単位 教必 相良 誠可 オンライン授業 Online Class なし Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom あり Using Google Classroom 21世紀の高度情報化社会にあって、次世代の高等学校教育において「至心をもって 事にあたる人間づくりをなす」という確固たる意思をもち、高等学校情報科教諭として修得すべき「生徒指導(進路指導を含む)」の在り方について意欲的に学ぼうとす	科目名			• •		Comp. /	
Online Class Using Google Classroom のり Using Google Classroom のり 21世紀の高度情報化社会にあって、次世代の高等学校教育において「至心をもって 履修の前提条件 Course Prerequisites て修得すべき「生徒指導(進路指導を含む)」の在り方について意欲的に学ぼうとす) 共通	共通 3年生・前期		2単位 教必 相良 誠司		
履修の前提条件 事にあたる人間づくりをなす」という確固たる意思をもち、高等学校情報科教諭とし Course Prerequisites て修得すべき「生徒指導(進路指導を含む)」の在り方について意欲的に学ぼうとす	1 70						

<内容>

実務経験のある数員による科目

1 新学習指導要領の背景や理念、及び高等学校の教育課程全体について理解を深める。

宝孜奴段山宗

- 2 生徒指導及び進路指導(キャリア教育)の意義・目標・特質について理解を深める。
- 3 「高等学校キャリア教育の手引き」参考に、進路指導(キャリア教育)の定義、カリキュラムマネジメント、ホームルーム活動等について理解を深める。
- 4 「生徒指導提要(改訂版)」を参考に、生徒指導の定義、方法、指導体制、関係機関等のの連携等について理解を深める。
- 5 動画視聴・プレゼンテーション・グループワークを通じて、具体的な事例・事案について自らの考えを構築し、 協議する。

宇教経験ないかした教育内容

美務経験のの句教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	美務経験内容 Work Experience Content	美務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	*	0	
Knowledge and Understanding	3 人類の文化・社会と自然に	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature		
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0	
辺田的社会の知点	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
Generie enine	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy	0	
	自己管理力	Self-management		
総由 古白州の知占	チームワーク	Teamwork	0	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
r orconar quanties	倫理観 市民としての社会的責任	Ethical Sense		
		Social Responsibility		
	生涯学習力	Lifelong Learning	0	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

【1.知識・理解】

- ・生徒指導及び進路指導(キャリア教育)の意義;・目標・特質について理解することができる。
- ・個別の課題を抱える児童生徒への対応(具体的な事例・事案)について探究し、自らの考えを構築することができる。

【3. 態度・志向性】

- ・「生徒指導(進路指導を含む)」の学びを調整しながら進め、振り返って成果と今後の課題を明らかにすることができる。
- 【4.統合的な学習経験と創造的思考力】
- ・生徒指導及び進路指導(キャリア教育)についての学習経験をもとに、学校現場での具体的な取組への展望をもつことができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

適宜、ICTを活用し、動画視聴、グループワーク、プレゼンテーションを取り入れる。

また、Goole classroomをはじめとするGoogle Workspaceアプリを活用する。

これらを通じて、自らの考えを構築し協議し、探究するという「主体的・対話的で深い学び」を展開する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせや質問には、主としてメールで対応する。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,

ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・第15回後に、「KIIS学修ポートフォリオ&ルーブリック」及び「学びの振り返りレポート」を提出する。

	教科書 Textbooks					
書名「	itle	著者名 Author	出版社	Publisher	ISBN⊐ード	ISBN Code
高等学校学習指導要领解説 特別:		文部科学省				
	参考文献 Reference Books					
書名「	itle	著者名 Author	出版社	Publisher	ISBN⊐ード	ISBN Code
生徒指導提要 及び 高等学校キャリア		文部科学省				

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

- ○授業課題への取組(39%)
- ○授業の振り返り(26%)
- 〇自己探究課題への取組(13%)
- ○学びの振り返りレポート(22%)

授業計画 Course Schedule				
テーマ Theme				
	オリエンテーション 授業の目標・計画・方法等について 自己目標(なりたい自分)の設定			
第1回	事前学習 自分自身の体験した、「生徒指導」「進路指導(キャリア教育)」を想起し、メモする。(2時間)			
	事後学習 授業への質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記載し、振り返りを提出する。(2時間)			
	進路指導(キャリア教育)の定義・意義・育成する能力			
第2回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)			
	進路指導(キャリア教育)のカリキュラム・マネジメント			
第3回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)			
	進路指導(キャリア教育)とホームルーム活動			
第4回	事前学習 事前課題について、自分の疑問や考えを記入しておく。(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)			
	生徒指導の定義、構造			
第5回	事前学習 (内容・時間) 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)			
	生徒指導の方法、基盤、取組上の留意点			
第6回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)			
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)			
	生徒指導と教育課程			
第7回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)			
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)			
	生徒指導体制、教育相談体制、チーム学校			
第8回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)			
	事後学習 (内容・時間) 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)			

	危機管理体制、関係機関等との連携、生徒指導に関する法制度
第9回	事前学習 事前課題について、自分の疑問や考えを記入する。(2時間)
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)
	いじめ・インターネットに関わる問題
第10回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)
	暴力行為・少年非行
第11回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)
	児童虐待・自殺
第12回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)
	事後学習 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)
	不登校•中途退学
第13回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)
	性に関する課題 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導
第14回	事前学習 事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。(2時間)
	「生徒指導(進路指導を含む)」のまとめと振り返り
第15回	事前学習 「KIIS学修ポートフォリオ&ルーブリック」を作成しておく。(2時間)
	事後学習 学びの振り返りレポートをまとめて提出する。(2時間)
第16回(定期試験)	まとめ

ナンバリング (Numl 2TTA-5070-32							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年·学婷 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.I	授業担当者 Instructor
教育相談 (教職に関する科	目)	共通	2年生・後期		2単位	教必	米光 真由美
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom			•		
履修の前提条 Course Prerequi		教師入門、著	女師入門、教育心理学を履修している			定第5条	€3項に基づく)。

授業概要 Course Outline

教育相談は、一人一人の生徒の教育上の問題について、本人またはその親などに、その望ましい在り方を助言することである。その方法としては、1対1の相談活動に限定することなく、すべての教師が生徒に接するあらゆる機会をとらえ、あらゆる教育実践の中に生かし、教育相談的な配慮をすることが大切である。この授業では、教育相談を実践していく上で基本的に必要な以下の項目について具体的に取り上げ、考察する。①学校で生じる様々な現象についてその背景を考慮する。②生徒や保護者等から話を聴くことができる。③関係職員と連携して問題の解決に向けて見通しを持てる。④継続的な努力を重ねられる。また、学校現場での情報教育の現状を折に触れて講じていく。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

該当しない						
	授業を通して修得で	きるカ Competency Goals				
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0			
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0			
77 田仏社4Kの知 F	数量的スキル	Mathematics				
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy	0			
deriorio ciumo	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力	Problem Solving				
	建学の精神	University Founding Philosophy				
	自己管理力	Self-management	0			
能由 古白州の知よ	チームワーク	Teamwork				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership				
r orderial addition	倫理観	Ethical Sense	0			
	市民としての社会的責任	Social Responsibility				
	生涯学習力	Lifelong Learning	0			
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience				
Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills				

到達目標 Objectives

本学の建学の精神である『至心』を基本として

- 1)学校における教育相談の意義と理論を理解している。
- 2)教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関する基礎的事柄を含む)を理解している。
- 3)教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業中に一部ディスカッションの時間を設けます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などはメールにて受け付けます。 yonemitsu.health@gmail.com

> その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation) について

毎回の授業の終わりに「授業の振り返り」の提出をお願いします。

	教科書 Textb	ooks	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
プリント配布			
	参考文献 Referen	ce Books	
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code
教室で生かす カウンセリング・マインド 教師の立場でできるカウンセリン グとは	桑原知子	日本評論社	4-535-56146-x
成績:	平価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation	

定期試験(60%) 授業の振り返り(10%) 授業中のレポート(10%) 授業で学んだことを発表する(20%)

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	オリエンテーション 授業全体の概要説明及び学校教育相談の概要の解説
第1回	事前学習 事前に本授業のシラバスを読む。疑問点を確認しておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
	学校教育相談の意義と課題
第2回	事前学習 授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
	教育相談の基礎理論
第3回	事前学習 授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
	教育相談の方法 1 生徒の不適応や問題行動の意味の把握
第4回	事前学習 (内容・時間) 授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
	教育相談の方法 2 カウンセリングマインドとは
第5回	事前学習 (内容・時間) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
	教育相談の方法 3 カウンセリングの姿勢と技法
第6回	事前学習 授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
	教育相談の展開 1 校務分掌と教育相談体制
第7回	事前学習 授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
	教育相談の展開 2 地域の専門機関との連携
第8回	事前学習 (内容・時間) 授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)

	青年期の心身の発達の特徴						
第9回	事前学習 授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)						
	不登校の背景と基本的対処法						
第10回	事前学習 授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)						
	いじめの背景と基本的対処法						
第11回	事前学習 授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)						
	少年非行の背景と基本的対処法						
第12回	事前学習 (内容・時間) 授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)						
	神経発達症の背景と基本的対処法						
第13回	事前学習 授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)						
	アサーショントレーニング						
第14回	事前学習 授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)						
	まとめ・授業で学んだことを発表する						
第15回	事前学習 (内容・時間) 授業で学んだことをまとめ、発表原稿を作る。(2時間)						
	事後学習 (内容・時間) 他学生の発表を振り返り整理する。(2時間)						
第16回 (定期試験)	定期試験(筆記試験)						
	ı						

ナンバリング (Numberin	g)					
2TTA-5110-42ET						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年·学 School Year, Sem	• •	単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
教職実践演習(高) (教職に関する科目)	共通	4年生・後期		2単位	教必	鈴木和也
オンライン授業 Online Class	_	ラスルームの利用 oogle Classroom	あり			
履修の前提条件 将来教職を目指す者に向けた Course Prerequisites を自らの裡に作用させ主体的に						

授業概要 Course Outline

教職に必要な実践的総合的な能力の育成をめざすため、①自らのこれまでの教職課程での学びを振り返り、相互に交流するなかで、②教職に就いたときに直面すると考えられる学級経営や授業実践上の諸問題に模擬的に取り組み、問題解決能力を育むとともに、③教員の資質能力とは何かを自らの問題として把握しようとする態度を養うことを目的とする。

そのため、これまでの「受動的」な姿勢での"学び"ではなく、常に具体的な一例えば、学生相互の討論やグループワーク、現場教師からの聞き取り、さらには模擬授業などの一取り組みを通して「能動的」に、つまり反省的実践的に、何ものかをしっかりと"学びとる"ことを目指した授業となる。

上記のことを実現するために、教育現場における情報化の状況をリサーチし、活用されている通信メディアや機器を積極的に活用するとともに、それらを活用できるスキル習得にも努める。

実務経験をいかした教育内容

Class Contents Utilizing Work Experience

なお、本授業は学則第23条の2により開講されるものであり、カリキュラムポリシーの I およびⅥを満たす科目ともなる。

実務経験内容

Work Experience Content

実務経験のある教員による科目

Subject Taught by The Faculty with Work Experience

with Work Experience		Work Experience Content	Olass Contents Othering Work Experience			
該当しない						
		授業を通して修得でき	きる力 Competency Goals			
知識・理解の観	 点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0		
Knowledge and Unders	standing	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0		
		コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0		
7 E 11 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ı -	数量的スキル	Mathematics			
汎用的技能の観 Generic Skills		情報リテラシー	Information Literacy			
denone onine		論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking			
		問題解決力	Problem Solving			
		建学の精神	University Founding Philosophy			
		自己管理力	Self-management	0		
能由 まわせの知	8 - E	チームワーク	Teamwork	0		
態度・志向性の観 Personal Qualition		リーダーシップ	Leadership			
r or oonar quanti		倫理観	Ethical Sense	0		
		市民としての社会的責任	Social Responsibility			
		生涯学習力	Lifelong Learning			
統合的な学習経験と創造的 Integrated Learning Experie		統合的な学習経験	Integrated Learning Experience			
Creative Thinking Skil		創造的思考力	Creative Thinking Skills			
			9			

到達目標 Objectives

- |・教職に必要な実践的総合的な資質・能力とは何かを理解し、それを自ら培おうとする態度を身につける。
- ・教職に求められているメディアリテラシーについて理解をするとともに、情報通信機器を有効に活用できるスキルの習得を図る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教職に関する課題について、

- ・調べ学習・グループ討議・発表 が中心の演習を行う。
- ・卒業後教職に就いている先輩(現場の教員)からの聞き取りや交流を通して、教育の課題や理想について深く 考える機会を設ける。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー 以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

4年間の教職課程で学んだことを確認し、卒業後のキャリア形成に繋げていきます。 学習の確認∶ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks							
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code				
教職実践演習 ワークブック 教職編	石野正彦 ほか 著	発行: 上越教育大学出版会 発売: 株式会社 桐朋 (1300円税別)	978-4-909561-02-2				
	参考文献 Referen	ce Books					
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code				
教職実践演習 ワークブック	西岡加名恵·石川英真 川地亜弥子·北原琢也 編著	ミネルヴァ書房 (2,000円税別)	978-4-623-06651-3				
成績:	平価方法 Grading Criteria	/ Method of Evaluation					

グループワーク・討論への取り組みと小レポート(40%)、および、期末レポート(60%)に基づき総合的に判断し、 評価する。

	授業計画 Course Schedule
	テーマ Theme
	ガイダンス:教職実践演習の目指すもの・進め方
第1回	事前学習 これまで教職課程で学んできたことを振り返っておく。[2h]
	事後学習 これまで教職課程で学んできたことを「振り返ってシート」にまとめる。[2h]
	教育実習で学んだこと(1) (グループ討論を通して、実習での学びを総括する)
第2回	事前学習 (内容・時間) 教育実習で学んできたことを振り返っておく。[2h]
	事後学習 意見交換した内容を振り返りまとめる。[2h]
	教育実習で学んだこと(2) (教育実習報告会の準備・予行演習)
第3回	事前学習 PowerPoint原稿の素案を作成する。[2h]
	事後学習 PowerPoint原稿を完成させる。[2h]
	教育実習で学んだこと(3) (発表・教育実習報告会発表)
第4回	事前学習 (内容・時間) PowerPointでの発表の練習をする。[2h]
	事後学習 報告会での協議を踏まえて、教育実習の学びをまとめる。[2h]
	教師の教育実践とはなにか(1):授業づくり・学級づくりの重要性(生徒理解と教材研究・集団づくり)
第5回	事前学習 テキストや参考文献等を参照し、調査や討議のための資料準備を行う。[2h]
	事後学習 授業の内容を振り返り、次回授業に準備すべき事項について確認する。[2h]
	教師の教育実践とはなにか(2):教師集団の相互理解と学校づくり
第6回	事前学習 テキストや参考文献等を参照し、調査や討議のための資料準備を行う。[2h]
	事後学習 授業の内容を振り返り、次回授業に準備すべき事項について確認する。[2h]
	教師の教育実践とはなにか(3):保護者・地域との連携と授業づくり・学級づくり・学校づくり
第7回	事前学習 テキストや参考文献等を参照し、調査や討議のための資料準備を行う。[2h]
	事後学習 _(内容・時間) 授業の内容を振り返り、次回授業に準備すべき事項について確認する。[2h]
	教師の教育実践とはなにか(4):教師集団の相互理解と学校づくり ※現場教員(卒業生)との交流
第8回	事前学習 テキストや参考文献等を参照し、調査や討議のための資料準備を行う。[2h]
	事後学習 _(内容・時間) 授業の内容を振り返り、次回授業に準備すべき事項について確認する。[2h]

	教師は教育課題にどう向き合うべきか(1): コロナショックは学校に何をもたらしたか
第9回	事前学習 コロナ禍の学校について、ニュースや自らの体験を振り返っておく。[2h]
	事後学習 _(内容・時間) 授業での討議内容などを振り返り、問題をめぐる事実を整理する。[2h]
	 教師は教育課題にどう向き合うべきか(2): ポスト·コロナ(ウィズ·コロナ)の学校の姿はどうあるべきか
第10回	事前学習 コロナ禍後の学校・教育のあるべき姿について、自分なりにデザインしてみる。[2h]
	事後学習 _(内容・時間) 授業での討議内容などを振り返り、問題をめぐる将来像を描写してみる。[2h]
	教師は教育課題にどう向き合うべきか(3):「いじめ」問題(1)(事例・事件に学ぶ)
第11回	事前学習 「いじめ」問題について、ニュースや自らの体験を振り返っておく。[2h]
	事後学習 _(内容・時間) 授業での討議内容などを振り返り、問題をめぐる事実を整理する。[2h]
	教師は教育課題にどう向き合うべきか(4):「いじめ」問題(2) (問題の所在について討議する)
第12回	事前学習 「いじめ」問題について、ニュースや自らの体験を振り返っておく。[2h]
	事後学習 「いじめ」問題について、その問題の在処を整理する。[2h]
	教師は教育課題にどう向き合うべきか(5):「いじめ」問題(3)(対応策について考え討議する)
第13回	事前学習 「いじめ」問題の対応策や解決策について、自分なりに考え整理しておく。[2h]
	事後学習 _(内容・時間) 授業での討議内容などを振り返り、問題をめぐる対応策・解決策を描写してみる。[2h]
	教師の教育実践とはなにか:教師・学校への社会の期待と教育実践の創造
第14回	事前学習 これまでの授業内容で学んだことをもとに教師・学校の社会的役割について考えておく。[2h]
	事後学習 授業での討議内容などを振り返り、教師・学校への社会的期待を具体的に描写してみる。[2h]
	まとめ:いま、教員に求められる資質能力とは何か
第15回	事前学習 これまで教職課程で学んだことをもとに、これからの教師・学校に求められていることを考え (内容・時間) ておく。[2h]
	事後学習 これまでのすべての"学び"を振り返り、自らが社会的に果たすべき使命について具体的に (内容・時間) デザインする。[2h]
第16回	期末レポートの提出

ナンバリング (Numb 2TTA-5040-43							
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年•学邦 School Year, Sem		単位数 Credit	必•選 Comp./ Opt.l	授業担当者 Instructor
教育実習(事前事後指導) (教職に関する科目)		共通	4年生·前後期		3単位	教必	鈴木和也
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条 Course Prerequi			:教科専門科目を規 科教育法をはじめる				。 ごことを再度復習しておくこ

授業概要 Course Outline

教育実習は、短期間ではあるが、「教師」として教壇に立つ極めて実際的で実践的な機会である。また、実際の生徒へ働きかけることは責任も生じてくる重大な場でもある。こうしたことをしっかりと自覚し、この「事前事後指導」の時間は、主体的かつ積極的、かつ真摯な態度で臨むことが要求される。

この事前事後指導では、教育実習に赴くに当たって必要となる事柄の理解を通して、教育実習生としての心構え や態度を養うとともに、模擬授業をつくる作業を通して、基本的な授業技術の習得と授業実習への構えを身につ けることを目的とする。

"教師になる"との自覚のもと、いい加減な気持ちで取り組むことは厳に慎み、すべての活動に主体的に取り組むことが必要である。

また、事前指導においては、近年の学校のICT化の状況をしっかりと見据え、情報通信機器を有効に活用できるスキルも実践を通して身に付ける。事後には教育実習の成果と教訓を明確にし、後輩たちに効果的に報告する方途を考え実践すする。

なお、本授業は学則第23条の2により開講されるものであり、カリキュラムポリシーの I およびⅥを満たす科目ともなる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience		
該当しない				
	授業を通して修得で	きる力 Competency Goals		
知識・理解の観点	多文化・異文化に関する知	識の理解 Multiple Culture / Different Culture	0	
Knowledge and Understanding	人類の文化・社会と自然に	関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	0	
	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	0	
7 四处社 <u></u> 张 0 知 上	数量的スキル	Mathematics		
汎用的技能の観点 Generic Skills	情報リテラシー	Information Literacy		
denote diams	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking		
	問題解決力	Problem Solving		
	建学の精神	University Founding Philosophy		
	自己管理力	Self-management	0	
** また性の知り	チームワーク	Teamwork	0	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	リーダーシップ	Leadership		
1 or sorial Qualities	倫理観	Ethical Sense	0	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	0	
	生涯学習力	Lifelong Learning	0	
統合的な学習経験と創造的思考力	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience		
Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	創造的思考力	Creative Thinking Skills		

到達目標 Objectives

- ①教育実習に赴くにあたり、その意義・目的および留意点を把握し、実習の心構えを身につける。
- ②教育実習に当たって、同和教育の実践例などを通して人権教育の視点を理解する。
- ③模擬授業を通して、授業づくりの基本的な視点および技術を身につける。
- ③通信情報機器を活用した情報教育を視野に入れた授業づくりを行うとともに、そのためのスキル習得を図る。
- 4)教育実習で学んだことを相互に交流することをとおして、教育実習を意義あるものとして定着させる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

|教育実習---これこそがアクティヴラーニングそのものである。

事前:「授業をつくる」という取り組み(教材研究・指導案づくり)を経て、模擬授業を実際に行う。

事後:教育実習で学んだことを発表する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

| 質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー |以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

教育実習を終え、必要単位を充足によって、教員免許(高・情報)の申請となる。

教育実習は、実習校にとっても受講生(実習生)にとっても意義あるものにするために、事前準備と事後総括の取り組みは極めて重要である。このことを自覚して、教育実習およびその事前事後に主体的に取り組んでほしい。学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code										
ベストをつくす教育実習	筒井美紀・遠藤野ゆり編	有斐閣	978-4-641-17432-0										
	参考文献 Reference Books												
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBN⊐ード ISBN Code										
教育実習完全ガイド	山崎英則編著	ミネルヴァ書房	978-4-623-03913-5										
-+ 4±=	T/T-11 0 11 0 11 1	/ NA C.E.											

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

教育実習校の評価(80%)、

- [事前指導]模擬授業への取り組み(10%)
- [事後指導]教育実習報告会の取り組み(10%)
- に基づき、総合的に評価する。

		授業計画 Course Schedule							
		テーマ Theme							
	ガイダンス~教育実習とは何か								
第1回	事前学習 これまでに履	修した教職科目の授業内容について振り返っておく。[1.25h]							
	事後学習 (内容・時間) 自らの教員志	望の動機を文章で記述する。[1.25h]							
	教育実習の意義と目的								
第2回	事前学習 (内容・時間) 実習に行くに	に当たっての自らの抱負を文章で記述する。[1.25h]							
	事後学習 (内容・時間) 教員志望の重	が機と教育実習の抱負をまとめなおす。[1.25h]							
	高校にとっての教育実習	と実習生							
第3回	事前学習 _(内容・時間) 高校時代の初	故教育経験を振り返っておく。[1.25h]							
	事後学習 (内容·時間) 実習先高校の)概要や教育理念等について調べ、プリントに書き込む。[1.25h]							
	人権教育の視点~ひとり	リー人を大切にした授業							
第4回	事前学習 (内容・時間) これまでに学	校等で経験した「人権に関する学習」の内容について振り返っておく。[1.25h]							
	事後学習 「ひとり一人を (内容・時間)	大切にした授業」について小論文(1000字程度)を作成する。[1.25h]							
	教育実習の準備と心得((1)							
第5回	事前学習 (内容・時間) 事前配布の招	受業プリントの指定された箇所を読んでおく。[1.25h]							
	事後学習 (内容・時間) 授業プリントの	D本時で扱った箇所を再読してミニ課題に答える。[1.25h]							
	教育実習の準備と心得((2)							
第6回	事前学習 (内容・時間) 事前配布の摂	受業プリントの指定された箇所を読んでおく。[1.25h]							
	事後学習 (内容・時間) 授業プリントの	D本時で扱った箇所を再読してミニ課題に答える。[1.25h]							
	教材研究と授業構想(1)								
第7回	事前学習 (内容・時間) 高校情報の教	女科書を概観し、模擬授業で取り上げる単元の目星をつける。[1.25h]							
	事後学習 _(内容・時間) 高校情報の教	枚科書の該当単元を熟読する。[1.25h]							
	教材研究と授業構想(2)								
第8回	事前学習 (内容・時間) 該当単元の技	受業計画を作成する。[1.25h]							
	事後学習 _(内容・時間) 該当単元の技	受業計画を再考しリメイクする。[1.25h]							

授業をつくる(1)~模擬授業に向けて
事前学習 (内容・時間) 高校情報の教科書の該当単元を熟読し、単元の目標を作成しておく。[1.25h]
事後学習 (内容・時間) 高校情報の教科書の該当単元を熟読し、単元目標の内容を再考しリメイクする。[1.25h]
授業をつくる(2)~学習指導(案)とは何か
事前学習 (内容・時間) 該当単元のうち、模擬授業で行う「本時分」の授業のめあてを作成しておく。[1.25h]
事後学習 該当単元のうち、模擬授業で行う「本時分」の授業のめあてを再考しリメイクする。[1.25h]
授業をつくる(3)~学習指導案作成の仕方
事前学習 該当単元のうち、模擬授業で行う「本時分」の授業の展開イメージを作る。[1.25h]
事後学習 (内容·時間) 模擬授業で必要な教材等の構想を練る。[1.25h]
授業をつくる(4)~学習指導案の作成・教材づくり①
事前学習 (内容・時間) 模擬授業の展開を「授業構想メモ」を用いて構想を練る。[1.25h]
事後学習 _(内容・時間) 模擬授業の展開について再考し、構想をより具体化する。[1.25h]
授業をつくる(5)~学習指導案の作成・教材づくり②
事前学習 (内容・時間) 模擬授業の展開を「授業構想メモ」を用いてより具体的に再度練り直す。[1.25h]
事後学習 (内容・時間) 模擬授業の教材等を具体的にデザイン(設計)する。[1.25h]
授業をつくる(6)~模擬授業(予行練習)
事前学習 (内容・時間) 模擬授業の「授業構想」を完成させ、必要な教材等を作成する準備をする。[1.25h]
事後学習 (内容・時間) 模擬授業の「授業構想」と必要な教材等を完成させる。[1.25h]
授業をつくる(7)~模擬授業①
事前学習 模擬授業の準備をする。[1.25h]
事後学習 (内容・時間) 模擬授業の反省をし、成果と課題、教訓を明らかにする。[1.25h]
授業をつくる(8)~模擬授業②
事前学習 模擬授業の準備をする。[1.25h]
事後学習 _(内容・時間) 模擬授業の内容を振り返る。[1.25h]
授業をつくる(9)~模擬授業の総括
事前学習 (内容・時間) 模擬授業の成果と課題、教訓を明らかにする。[1.25h]
事後学習 他の模擬授業から学んだことも含めて、模擬授業の総括レポートにまとめる。[1.25h]

	教育実習簿の書き方(1)
第18回	事前学習 配布された「教育実習簿」を内容を把握しておく。[1.25h]
	事後学習 「教育実習簿」の指定箇所を清書する。[1.25h]
	教育実習簿の書き方(2)
第19回	事前学習 「教育実習簿」の「実習の心得」など指定された箇所を読んでおく。[1.25h]
	事後学習 「実習の心得」など指定された箇所を再度熟読し、指定された箇所を清書する。[1.25h]
	教育実習簿の書き方(3)
第20回	事前学習 「教育実習簿」の「実習の心得」など指定された箇所を読んでおく。[1.25h]
	事後学習 「実習の心得」など指定された箇所を再度熟読し、指定された箇所を清書する。[1.25h]
	教育実習に向けて(心構え)
第21回	事前学習 (内容・時間) 教育実習の向けての抱負を確認し、自己紹介の内容を準備をする。[1.25h]
	事後学習 (内容・時間) 教育実習の向けての抱負を再確認し、自己紹介の予行練習を行う。[1.25h]
	教育実習(1)
第22回	事前学習 (内容・時間) 実習校の指示に従った事前学習を行う。[1.25h以上、実習校指導教諭の指導に従う]
	事後学習 (内容・時間) 実習校の指示に従った事後学習を行う。[1.25h以上、実習校指導教諭の指導に従う]
	教育実習(2)
第23回	事前学習 (内容・時間) 実習校の指示に従った事前学習を行う。[2h以上、実習校指導教諭の指導に従う]
	事後学習 (内容・時間) 実習校の指示に従った事後学習を行う。[2h以上、実習校指導教諭の指導に従う]
	教育実習簿の提出
第24回	事前学習 「教育実習簿」を整理し、内容や誤字脱字・表現上の誤記がないか点検する。[1.25h]
	事後学習 (内容・時間) 教育実習の内容を振り返る。[1.25h]
	教育実習を振り返る
第25回	事前学習 教育実習のまとめの発表コンテンツの構想を練る。[1.25h]
	事後学習 他の実習先の報告も考慮して、自ら教育実習のまとめを整理する。[1.25h]
	教育実習の総括(1)
第26回	事前学習 教育実習の報告発表のコンテンツ構想を具体化するための材料の準備をする。[1.25h]
	事後学習 (内容・時間) 教育実習の報告会の発表コンテンツの構想をまとめる。[1.25h]

	教育実習の総括(2)										
第27回	事前学習 (内容・時間) 発表原稿の下書きを作成する。[1.25h]										
	事後学習 (内容・時間) 発表原稿を完成させ、報告発表の準備をする。[1.25h]										
	教育実習で学んだこと(1) 報告発表										
第28回	事前学習 報告発表のリハーサルをする。[1.25h]										
	事後学習 報告発表の成果と課題、教訓を明らかにする。[1.25h]										
	教育実習で学んだこと(2)発表										
第29回	事前学習 報告発表のリハーサルをする。[1.25h]										
	事後学習 報告発表の成果と課題、教訓を明らかにする。[1.25h]										
	まとめ										
第30回	事前学習 (内容・時間) 教育実習で得たものをレポートにまとめる準備をする。[1.25h]										
	事後学習 レポートを完成させ、提出する。[1.25h]										
第31回(定期試験)	教育実習簿(レポート)の提出										

□専任教員 職 名	氏名	担当科目	研究室
 学 長	克 	=1.78II ±1/40n=A 7ap 24 mil. I J-J-	(内線) 1号館1階(103)
教 授	麻 生 隆 史	計測・制御論, 建学の精神と人生	学長室 2号館3階(357) 1号館1階(102)
副 学 長 教 授 ———————————————————————————————————	桑野裕文	スポーツ理論,建学の精神と人生,ウェルネス理論,教師入門,基礎演習,専門演習 I・II	副学長室 2号館3階(359)
副学長	麻生尚寛		1号館1階(108) 副学長室
学 部 長 研 究 科 長 教 授	小 川 雄 平	国際経済論,国際経営論	2号館1階(182)
経営情報学科長 准 教 授	秋 吉 浩 志	マーケティング:論,経営情報学 I (経営情報論 I), SNS活用と問題解決,建学の精神と人生, 消費者行動論,デジタルビジネス論(Webサービス論), eスポーツ概論(特別実習・講義(情報)eスポーツ概論), プレゼミ I・II,基礎ゼミ,専門ゼミ I・II	2号館5階(555)
情報ネットワーク学科長 教 授	車 炳 玘	プログラミング入門, インターネット技術, スイッチング技術, 建学の精神と人生, Webプログラミング I・Ⅱ・Ⅲ, ルーティング技術, 情報ネットワーク入門, 基礎ゼミ・演習, 専門演習 I , 専門ゼミⅡ	2号館6階(656)
教 務 部 長 教 授	坂 上 宏	国際政治学,経営思想,教育哲学,建学の精神と人生,スタディスキル(コミュニケーションと自己発見 I),政治学、コミュニケーションと自己発見 II,特別実習・講義(実践力養成)倫理と人間,基礎演習,専門演習 II	2号館3階(363)
学生部長教 授	長友階富	簿記Ⅰ, 簿記Ⅱ(簿記演習), 建学の精神と人生, 基礎演習, 専門演習 I・Ⅱ	2号館5階(556)
附属図書館長 学術・教育研究所長 教 授	丹羽崇之	民事法,知的財産権(知的所有権),法学,情報倫理,特別実習·講義(情報)医療情報,基礎演習,専門演習 II	2号館5階(552)
教 授	遠 藤 真 紀	経営戦略論, 中小企業論, ビジネスス゚ランニング, ベンチャー企業論, 経営学総論 I , ベンチャービジネス入門, 基礎ゼミ, 専門ゼミ I・Ⅱ	2号館6階(655)
教 授	春日克則	税務会計論, 監査論, 原価計算論Ⅱ, 会計学, 基礎セミ, 専門セミⅡ	2号館4階(455)
教 授	片山 准一	企業金融,財務管理	2号館4階(454)
教 授	クリス フリン	英会話Basic I · II,英会話Advanced I • II,建学の精神と人生,英検上級 I • TOEIC応用 I (TOEIC I), 英検上級 II • TOEIC応用 II (TOEIC II),国際情報分析,基礎セミ,専門セミ I • II	2号館3階(362)
教 授	全 彰 煥	日本語 I·II,初級韓国語,中級韓国語,基礎演習,専門演習 I·II	2号館4階(453)
教 授	末永英男	基礎演習	2号館1階(179)
教 授	平山 誠一郎	税法学,基礎ゼミ,専門ゼミⅡ	2号館4階(456)
教 授	山下壽文	財務会計論,経営分析,原価計算論(原価計算論 I),会計学入門	2号館4階(451)
教 授	吉 野 正	会社法,日本国憲法	2号館3階(358)
准 教 授	荒 平 高 章	マルチメディア論, 情報ンステムの開発と管理, プログラミング実践 I , 多変量解析, 教育方法学(ICT活用を含む). 情報科教育法 I (「情報」教科教育法 I), 情報リテラシー演習 II , 情報数学 I , プレゼミ I · II , 基礎ゼミ・演習, 専門ゼミ I · II	2号館6階(653)
准 教 授	岩下昌美	コンピュ−タ会計, 簿記 I , 簿記 I (簿記演習), 中級簿記(中級簿記演習 I), スタディスキル/コミュニケーションと自己発見 I), 中級簿記演習 I , 基礎演習, 専門演習 I • II	2号館2階(270)
准 教 授	合田 和正	情報科教育法 I・Ⅱ(「情報」教科教育法 I・Ⅱ)、プログラミング論、プログラミング初歩 I・Ⅱ,情報処理技術演習Ⅲ・Ⅳ, 初級プログラミング実習,初級プログラミング、オヘプーティングシステム論。 ネットワークアプリケーション構築。 インターンシップ実習。 プレゼミ I・Ⅱ, 基礎ゼミ・演習。 専門ゼミ I	2号館2階(269)
准 教 授	鈴 木 和 也	経営史(日本経営史), 労務管理論, 教育心理学, 心理学, 組織心理学, コマース論(コマース論 I), コマース論 II, ビジネス実務, スタディスキル(コミュニケーションと自己発見 I), 特別支援教育, 教職実践演習(高), 教育実習(事前事後指導), 特別実習・講義(情報)医療情報, キャリアデザイン I・II, ブレセミ I・II, 基礎セミ, 専門セミ I・II	2号館5階(553)
准 教 授	竹 石 洋 介	ウェルネス(スポーツ実技 I), スポーツ(スポーツ実技 II), 基礎演習, 専門演習 I・II	体育館2階(502)
准 教 授	藤内響子	総合英語、ビジネス英語(ビジネス英語 I)、ビジネス英語 II,英検中級・TOEIC基礎,専門演習 I	2号館2階(272)
講師	古川幸子	日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	2号館4階(452)
講師	宮 﨑 武	情報セキュリティ,データベース論,データ解析,情報数学Ⅱ,情報リテラシー演習Ⅰ,スタディスキル(コミュニケーションと自己発見Ⅰ), 情報処理技術演習Ⅲ・Ⅳ,eスポーツ概論(特別実習・講義(情報)eスポーツ概論),中級プログラミング実習, 中級プログラミンク,プレセミI・Ⅱ,基礎セミ・演習,専門セミI・Ⅱ	2号館2階(274)
助教	ディンダ プラマンタ	ビジネスス゚ログラミング、情報リテラシー演習 I 、情報テクノロジー、情報テクノロジー演習 I 、情報処理技術演習 I 。 プログラミング実践 II , 人工知能, 基礎ゼミ・演習, 専門ゼミ I・II	2号館5階(551)
助教	中島直樹	基礎数学、情報リテラシー演習 I、情報学入門、統計学入門、スタディスキル(コミュニケーションと自己発見 I)、 eスポーツ概論(特別実習・講義(情報)eスポーツ概論)、特別実習・講義(情報)医療情報、 機械学習、統計学、データモデリング、統計プログラミング、プレゼミ I・II、基礎ゼミ・演習、専門ゼミ I	2号館2階(273)
※2018年度以前の入	 学生は教務課に問い合		

□非常勤講師

口非常勤講師			
職名	氏 名	担 当 科 目	研究室
九州情報大学名 誉 教 授	岸川洋	モハ゜イルネットワーク	
九 州 情 報 大 学名 誉 教 授	平 田 毅	スタディスキル(コミュニケーションと自己発見Ⅰ),社会学,教育社会学	
九 州 産 業 大 学 教 授	朝廣雄一	アルゴリズムとデータ構造,計算機システム論	
	安達義弘	宗教学	
	安部正俊	日本事情、ラーニングリテラシー	
法政大学 大学院 教 授	井上 善海	経営組織論,経営学総論Ⅱ,経営情報学Ⅱ(経営情報論Ⅱ)	
九州大学 大学院人 文 科 学 府	内田 水生	総合英語	
	大多 正人	キャリアデ ザ イン $I \cdot II$ 、 キャリアデ ザ イン $II \cdot IV$ (キャリアデ ザ イン入門 $I \cdot II$), キャリアデ ザ イン $V \cdot VI$ (キャリアデ ザ イン $I \cdot II$)	
	喬 秦 寧	初級中国語,中級中国語	
福岡女学院大学教 授	相良誠司	生徒指導(進路指導を含む)、総合的な探究の時間の指導法	2号館1階 講師控室
国文学研究資料館研究調査員	進藤康子	ラーニングリテラシー,文学,日本文化論	
九 州 大 学 大 学 院 芸術工学研究院教授	鶴 野 玲 治	コンヒ゜ュータク゛ラフィックス論	
株 式 会 社 X-HACK ソフトウェアエンジニア/ プロジェクトマネージャー	豊田桃子	ケ゛ームフ゜ロケ゛ラミンク゛	
東海大学講師	中原康征	経済学	
	平川淳一	特別実習・講義(会計)ファイナンシャル・プランニング、情報リテラシー演習 I (情報リテラシー演習), コンピュータ実務演習 I・II, 簿記 I (初級簿記), ピジネスソフト活用演習, 簿記 II (簿記演習), 情報処理技術演習 II・III・IV, 情報テウ/ロジー演習 II	
株 式 会 社 ブラテック Web 事業 部 長 博 士 (エ 学)	平塚智一	Webシステム(Webコンテンツ制作Ⅱ), Webデザイン(Webコンテンツ制作Ⅰ)	
九 州 大 学 大 学 院 経 済 学 研 究 院 教 授	古川 哲也	マネージ・メント科学,マネーシ・メントケ・ーム	
	益 田 潤 子	教育方法学(ICT活用を含む),教育課程論(特別活動を含む)	
	米光 真由美	教育相談	
※2018年度以前の入学	生は教務課に問い合わ)せてください	

大学院

2024(令和6)年度 学年暦 【大学院】

期	行 事	期日	備考
	入 学 式	4月 1日(月)	
	│ │ 新入生オリエンテーション		履修登録
	│ │ 授 業 開 始	9日(火)	【補講日】 ①5/18(土),②6/22(土),③7/25(木)
	 昭 和 の 日	29日(月)	通常授業
前	開 学 記 念 日	5月 27日(月)	通常授業
	 休 講 日	7月 3日(水)	(学部)i パスki isコンテスト
	 月曜日の授業	23日(火)	※月曜日の時間割
期	│ │ 前期授業終了	29日(月)	
	 試験等期間	30日(火) ~ 8月 7日(水)	8/6(火)、7(水) 予備日
	 夏 季 休 業	8月 8日(木) ~ 9月23日(月)	
	 合同ゼミ研修	9月 4日(水)	予備日 9/11
	授業開始	9月 25日(水)	【補講日】 ①11/9(土),②12/14(土),③12/24(火)
	学 園 祭	11月 2日(土) ~ 3日(日)	
	休 講 日	12月18日(水)	(学部)i パスki isコンテスト
	冬 季 休 業	25日(水) ~ 1月5日(日)	
	授業開始	1月 6日(月)	
後	休 講 日	17日(金)	
	修士論文締切	20日(月)	1月20日固定(土日の場合直後の平日とする)
	月曜日の授業	23日(木)	※月曜日の時間割
期	後期授業終了	27日(月)	
	試験等期間	28日(火) ~ 2月5日(水)	2/4(火)、5(水) 予備日
	修士論文発表会	2月 17日(月)	2月15日固定(土日の場合直後の平日とする)
	修士論文最終提出日	25日(火)	
	学 位 記 授 与 式	3月 18日(火)	
	春季休業	25日(火)~31日(月)	

【前	期】																	
	4月				5月				6月				7月					
月		15	22	29			13	20	27	3	10	17	24	1	8		22	29
火	9	16	23	30		7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	*23	
水	10	17	24		1	8	15	22	29	5	12	19	26		10	17	24	
木	11	18	25		2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	補	
金	12	19	26			10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26	
±							補					補						

授業コマ数	
15	
15	
15	
15	
15	

授業コマ数

※前期 試験等期間=7月30日(火)~ 8月7日(水) (予備日を含む)

【後	【後期】																			
	9.	月	10月				11月				12月				1月					
月		30		7		21	28			11	18	25	2	9	16	23	6		20	27
火			1	8	15	22	23	l	5	12	19	26	3	10	17	補	7	14	21	
水	25		2	9	16		30		6	13	20	27	4	11			8	15	22	
木	26		3	10	17	24	31		7	14	21	28	5	12	19		9	16	※23	
金	27		4	11	18	25		1	8	15	22	29	6	13	20		10		24	
±								l	補					補						

※後期 試験等期間=1月28日(火)~2月5日(水)(予備日を含む)

※1月23日(木)は、月曜日の授業を実施

大学院

(博士前期課程)

2024(令和6)年度 博士前期課程 開設授業科目

			授業科目の名称	職名	担当教員	授業を行う	単位	立 数	備考
			及未行日少石和	194 11	EJAG	年次	必修	選択) HI 75
			経営学特論	教 授	片 山 准 一	1 • 2		2	
			日本経営史特論	非常勤講師	加来祥男	1 • 2		2	
		経	経営組織特論	非常勤講師	黄 在南	1 • 2		2	
		営・	経営管理特論	非常勤講師	井 上 善 海	1 • 2		2	
		マネ	財務管理特論	教 授	片 山 准 一	1 • 2		2	
		ジメ	経営戦略特論	教 授	遠藤真紀	1 • 2		2	
		ン	ベンチャー企業特論	教 授	遠藤真紀	1 • 2		2	
		部部	中小企業特論	非常勤講師	井 上 善 海	1 • 2		2	
		門	国際経営特論	教 授	小 川 雄 平	1 • 2		2	
			ロジスティクス特論	教 授	小 川 雄 平	1 • 2		2	
			経営科学特論	非常勤講師	福山博文	1 • 2		2	
			会計情報学特論	教 授	山下壽文	1 • 2		2	
			会計監査特論	非常勤講師	伊藤龍峰	1 • 2		2	
			税務会計特論	教 授	春日克則	1 • 2		2	
		税	税法学特論 I (租税法総論)	教 授	平 山 誠一郎	1 • 2		2	
		法	税法学特論Ⅱ(所得税法)	教 授	平 山 誠一郎	1 • 2		2	
452		会	税法学特論Ⅲ(法人税法①)	教授	末 永 英 男	1 • 2		2	
1 -	経	計 部	税法学特論IV(法人税法②・消費税法)	教 授	末 永 英 男	1 • 2		2	
	営	門	税法学特論 V (相続税法・手続法・争訟法)	教 授	丹 羽 崇 之	1 • 2		2	
科	情		民法特論	教 授	丹 羽 崇 之	1 • 2		2	
目	報		会社法特論	教授	吉 野 正	1 • 2		2	
Ø =	学		民事・行政訴訟特論	教 授	吉 野 正	1 • 2		2	
概	科		情報科学特論	准 教 授	荒 平 高 章	1 • 2		2	
要	目	情 報	情報メディア特論	教 授	麻生隆史	1 • 2		2	
君	詳	取 ・ デ	情報ネットワーク特論	教 授	車 炳玘	1 • 2		2	
		1	情報でキュリティ特論	講師	宮 﨑 武	1 • 2		2	
		タサ	経営情報システム設計特論	非常勤講師	岸 川 洋	1 • 2		2	
		イエ	データベース特論	講師	宮 﨑 武	1 • 2		2	
		ンス	データ解析特論	准 教 授	荒 平 高 章	1 • 2		2	
		部門	数值解析特論	教 授	車 炳 玘	1 • 2		2	
			人工知能特論	助教	ディンダ プラマンタ	1 • 2		2	
			演習 I 経営・マネジメント部門	遠藤真紀	小川雄平				
				片 山 准 一					
			税法・会計部門	春日克則	末 永 英 男				
				平 山 誠一郎	福浦幾巳				
		演		山下壽文		1	4		
			情報・データサイエンス部門	麻生隆史	車 炳 玘				
		習		荒平高章	宮 﨑 武				
				ディンダ プラマンタ	. ,				
			特別演習 I	演習I	に同じ	1	4		
			演習Ⅱ	演習Iに加えて	丹羽崇之	2	4		
			特別演習Ⅱ	演習Ⅱ		2	4		

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営学特論	1・2 年生	選択	2 単位	片山准一

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、企業の経営行動とビジネス倫理を歴史的・論理的にとらえる。 企業行動を客観的に直視し、ビジネス倫理に関する基本的な考え方を習得することを到達目標とする。

授業の概要

企業は、tト、tノ、t利、情報等を駆使して熾烈な企業間競争を闘い抜いている。こうした競争に勝ち抜くために、企業は時として不正行為を行うことがある。近年では、例えば、某工芝社が長年にわたって不適切な会計処理を行ってきたり、某A化成建材会社が短小のクイ打ちをしてクイの残る仕事をしたり、某K戸製鋼が製品強度データの改竄をしたり、某N産自動車が完成検査の不正を行ったり。こうした企業の不正行為は枚挙に暇ない。

本講義では企業のガバナンス問題や CSR(企業の社会的責任)等を視座にビジネス倫理を中心に論じてい きたい。

授業計画

第1回 はじめに

第2回 資本概念と資本の循環・回転について

第3回 資本及び、資本家について

第4回 生産過程(協業・分業)について①

第5回 生産過程(機械制大工業)について②

第6回 生産管理(テイラー・システム)について①

第7回 生産管理(フォード・システム)について②

第8回 企業形態の展開について

第9回 株式会社について

第10回 コーポレート・ガバナンスについて①

第11回 コーポレート・ガバナンスについて②

第12回 企業間競争と独(寡)占化について①

第13回 企業間競争と独(寡)占化について②

第14回 環境(公害)問題について

第15回 経営学特論(ビジネス倫理)の総括

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

事前:最低限ネット検索で良いので、下調べをしておくこと。(120分)

授業中、基本的な質問を行うので、回答できるように準備しておくこと。

事後:講義内容を、文献等で確認・復習すること。(120分)

テキスト

使用しない。適宜、資料を配布する。

参考書・参考文献・参考資料等

馬場克三著『経営経済学』(税務経理協会) 講義の進捗度に沿って適宜、紹介する。

成績評価の方法・基準

口頭試験(50%) およびレポート(50%)により評価する。60%以上を合格とする。

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
日本経営史特論	1・2年生	選択	2 単位	加来 祥男

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、形成期から今日に至る日本企業の発展とその特質を明らかにすることを目標とする。 しかし、それにとどまらず、より一般的に企業とその発展全体像を把握する枠組みを構想できるようにした い。

授業の概要

形成期から今日までを見通しながら、日本企業の発展とその特質について考察する。とくに第2次世界大戦 後の高度成長期に重点がおかれる。

授業計画

第1回 講義のはじめに―構成と狙い

第2回 資本主義の発展と企業

第3回 企業システム把握の枠組み

第4回 日本における資本主義企業の形成

第5回 形成期日本企業の特質と類型(1)

第6回 形成期日本企業の特質と類型 (2)

第7回 産業構造の高度化と巨大企業の生成

第8回 戦時経済

第9回 戦後改革

第10回 高度成長の時代

第11回 高度成長期の産業と企業(1)

第12回 高度成長期の産業と企業(2)

第13回 日本的生産システム

第14回 日本的雇用システム

第15回 法人資本主義

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

授業では第 2 次世界大戦後の日本経済の高度成長を担った企業のシステムを理解することに重点がおかれるが、他の国や他の時代についても理解できるような視野の広さを養って欲しい。そのために、基本的なことがらを正確に把握することが必要である。毎時限で扱われる内容を事後的に反芻すること(2h)、次回の授業で扱われる内容を予想し、実際との異同を確認してみること(2h)が望ましい。

テキスト

さしあたり、宮本又郎他『日本経営史』、新版、有斐閣、2007年、をあげておく。 (変更する可能性あり)

参考書・参考文献・参考資料等

香西泰『高度成長の時代』、日経ビジネス人文庫、2001年 田村正紀『消費者の歴史』、千倉書房、2011年

成績評価の方法・基準

研究報告による。

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営組織特論	1・2 年生	選択	2 単位	黄 在南

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、企業の競争優位をもたらす組織のインタンジブル (見えざる資産) をどう構築するか を考える。

授業の概要

本授業では、組織でリーダーがインタンジブルをどのように構築すればいいかについて考える。なぜなら、 昨今、企業の競争優位と組織のインタンジブルとの関連性が注目を浴びているからである。したがって、話は かなり実践的である。とはいえ、大学院の授業であることを考え、実践的な事例に対して、事例の紹介だけに 終わらず、組織論の範疇(組織行動論、組織論など)の中で理論的な解釈を加える。

各回では、インタンジブルの構造を構成する要素を提示し、それが今までどのように利用されてきたかという実例と、リーダーがインタンジブルを実現できるようにするためのツールを示す。すなわち、本授業では、インタンジブルを築き上げるためにリーダーにできること、またリーダーがすべきことを紹介することに注力する。なお、その過程の中で、学問的な研究の対象になりうる研究課題に対して、初期的な考察も行う。

授業計画

- 第 1回 オリエンテーション:組織について学ぶこととは。
- 第 2回 形のないインタンジブル
- 第 3回 信用を築く
- 第 4回 成長のための戦略を立てる(1)
- 第 5回 成長のための戦略を立てる(2)
- 第 6回 コア・コンピテンシーを構築する(1)
- 第 7回 コア・コンピテンシーを構築する(2)
- 第 8回 人材を育成する(1)
- 第 9回 人材を育成する(2)
- 第10回 シェアド・マインドを作り出す(1)
- 第11回 シェアド・マインドを作り出す(2)
- 第12回 学習力を高める(1)
- 第13回 学習力を高める(2)
- 第14回 リーダーシップ・ブランドを確立する(1)
- 第15回 リーダーシップ・ブランドを確立する(2)

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

- (事前)配布する資料および授業に関係する内容については、教科書などで必ず確認しておくこと。 講義中に質疑・討論をおこなう。
- (事後) 授業でおこなったことを、必ず復習して積み上げる事。
 - 各回、少なくとも、1~2時間程度の事前・事後学習が必要である。

テキスト

デイブ・ウルリッチ ノーム・スモールウッド (著) 淡川桂子 (訳) 伊藤邦雄 (監訳) 『インタンジブル経営 ――競争優位をもたらす「見えざる資産」構築法』株式会社ランダムハウス講談社、2004 年。

ISBN:4-270-00017-1

参考書・参考文献・参考資料等

適宜、紹介する。

成績評価の方法・基準

レポートにより評価する

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営管理特論	1・2 年生	選択	2 単位	井上 善海

授業の到達目標及びテーマ

【到達目標】

学則第3条を踏まえて、以下の2点を到達目標とする。

- 経営管理論の史的変遷を説明できる。
- ② 経営管理論の体系を説明できる。

【テーマ】

経営管理論の構成要素

授業の概要

本授業では、アメリカにおける科学的管理に端を発し、その後、大規模化、高度化、複雑化、国際化が加速している企業活動を統括する総合管理論へと発展してきた経営管理(マネジメント)論について講義する。特に、経営管理論を構成する主要素である経営戦略、経営組織を中心に、経営計画や意思決定と経営情報システムなどの諸要素について学ぶ。

授業計画

- 第1回 授業のねらいと進め方
- 第2回 経営管理論を構成する諸要素
- 第3回 経営戦略① (経営戦略の概念)
- 第4回 経営戦略②(成長戦略)
- 第5回 経営戦略③ (競争戦略)
- 第6回 経営戦略④ (グローバル戦略)
- 第7回 経営戦略(5) (イノベーション)
- 第8回 経営計画とコントロール
- 第9回 経営組織① (経営組織の概念)
- 第10回 経営組織②(組織原則と組織の基本形態)
- 第11回 経営組織③(組織の分権化と動態化)
- 第12回 経営組織④(プロジェクト組織とマトリックス組織)
- 第13回 経営組織⑤(ネットワーク組織)
- 第14回 意思決定
- 第15回 経営情報システム

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

準備学習ではシラバスをもとに参考図書等を用い事前学習をしておくこと。復習では目安となる水準を授業中に示す。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

テキスト

テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前に classroom にて配布する。

参考書,参考文献,参考資料等

上野・馬場 (2016) 『経営管理論』 中央経済社 (2,400 円)

その他、各回の授業テーマごとに適宜指示する。

成績評価の方法・基準

本授業の2つの到達目標に対する達成度を評価基準に、課題レポートにより成績評価を行う。

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
財務管理特論	1・2 年生	選択	2 単位	片山准一

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、企業の財務管理の諸問題を資本調達論の観点から歴史的・論理的に論ずる。 講義全体を通じて、唯物弁証法的論理思考の構築を到達目標とする。

__ 授業の概要

財務管理の諸問題を資本調達論の観点から、商法(会社法)と関連付けて論じる。 財務管理を歴史的・論理的且つ、具体的な事例を通して分析・論証する。

授業計画

- 第1回 はじめに
- 第2回 資本概念と資本の循環・回転について
- 第3回 資本・資本家概念について
- 第4回 企業形態の展開過程について
- 第5回 株式会社について
- 第6回 株価形成の理論について
- 第7回 株式会社の設立過程について
- 第8回 株式一株主権について
- 第9回 自己(内部)金融について
- 第10回 優先株式について①
- 第11回 優先株式について②
- 第12回 無額面株式について
- 第13回 自己株式について①
- 第14回 自己株式について②
- 第15回 財務管理特論の総括

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

事前:最低限ネット検索で良いので、下調べをしておくこと。(120分)

授業中、基本的な質問を行うので、回答できるように準備しておくこと。

事後:講義内容を、文献等で確認・復習しておくこと。(120分)

テキスト

使用しない。適宜、資料を配布する。

参考書・参考文献・参考資料等

馬場克三著『株式会社金融論』(森山書店) 講義の進捗度に沿って適宜、紹介する。

成績評価の方法・基準

口頭試験(50%) およびレポート(50%) により評価する。60%以上を合格とする。

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営戦略特論	1・2 年生	選択	2 単位	遠藤 真紀

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえ、現代企業の経営における戦略の意義や必要性および主な経営戦略理論(分析型・プロセス型経営戦略,ドメイン、製品・市場戦略、経営資源、競争戦略等)について理解していること。具体的には、企業の経営戦略等が理解でき、自身の自律的・自発的な行動への判断基準が持てるようになること。また例えば、企業物とよばれる小説またはビジネス雑誌・書籍等の理解が促進されるようになること。

授業の概要

経営戦略に関するこれまでの理論を体系的に理解すると共に、その理論の背景や意義等について考察します。このため、経営戦略論の基本的テキストを基に、現代の戦略論がどのように形成されてきたのか、そのプロセスについても考察していきます。また現代企業の経営戦略が、情報システムやネットワークおよびweb ビジネス等との関わりで進化していることから、この点についても検討していきます。

授業計画

- 第1回 経営戦略とは
- 第2回 経営戦略の基本 ①ミッション
- 第3回 経営戦略の基本 ②ドメイン
- 第4回 経営戦略の基本 ③環境・資源分析
- 第5回 事例演習:ケーススタディ①
- 第6回 成長戦略 ①成長ベクトル
- 第7回 成長戦略 ②多角化
- 第8回 成長戦略 ③ポートフォリオ・マネジメント
- 第9回 成長戦略 ④成長戦略の展開
- 第10回 事例演習:ケーススタディ②
- 第11回 競争戦略 ①業界の競争分析
- 第12回 競争戦略 ②競争の基本戦略
- 第13回 競争戦略 ③バリュー・チェーン
- 第14回 競争戦略 ④競争戦略の展開
- 第15回 経営戦略の実行と評価

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

学部等において、経営学関連科目(経営管理論、マーケティング論、会計学等)を履修しておくことが望ましい。授業の前にはテキスト等を読み情報収集をして、担当した課題を発表するための準備をしておくこと。授業の後は、実際の事例などの関連情報をあたり、理解を深める努力を行うこと。(毎回 4.0h)

テキスト

岸川善光『経営戦略要論』同文舘または井上善海ほか『経営戦略入門』中央経済社など

参考書・参考文献・参考資料等

岸川善光ほか『ケースブック経営管理要論』同文舘 井上善海・佐久間信夫『よくわかる経営戦略論』ミネルヴァ書房

成績評価の方法・基準

提出したレポートで評価する。なお60%以上を合格とする。

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
ベンチャー企業特論	1・2 年生	選択	2 単位	遠藤 真紀

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえ、ベンチャー企業の社会的意義や必要性およびベンチャー・ビジネスの発展段階について理解していること。具体的には、ベンチャー企業の経営全般について理解でき、自身が起業家として、あるいはビジネス・パースンとして、自律的・自発的な行動・判断基準が持てるようになること。

授業の概要

ベンチャー企業に関するこれまでの理論を体系的に理解すると共に、その理論の背景や意義等について考察します。このため、ベンチャー・ビジネスの基本的テキストを基に、現代のベンチャー企業がどのように形成・発展してきたのか、そのプロセスについても考察していきます。またフィールドワークやケーススタディを通じて、起業家およびベンチャー企業の実態についても検討していきます。

授業計画

- 第1回 ベンチャー企業、ベンチャー・ビジネスの意義
- 第2回 ベンチャー企業、ベンチャー・ビジネスの生成と発展
- 第3回 ベンチャー・ビジネスの体系
- 第4回 事例演習:ケーススタディ①
- 第5回 ベンチャー・ビジネスの構想段階
- 第6回 ベンチャー・ビジネスの準備段階
- 第7回 ベンチャー・ビジネスの立ち上げ段階
- 第8回 ベンチャー・ビジネスの成長段階
- 第9回 ベンチャー・ビジネスの成熟段階
- 第10回リスク・マネジメントとイノベーション
- 第11回 ベンチャー・ビジネスの今日的課題
- 第12回 事例演習:ケーススタディ②
- 第13回 事例演習:ケーススタディ③
- 第14回 事例演習:ケーススタディ④
- 第15回 事例演習:ケーススタディ⑤

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

学部等において,経営学関連科目(経営管理論,マーケティング論,会計学等)を履修しておくことが望ましい。授業の前にはテキスト等を読み情報収集をして,担当した課題を発表するための準備をしておくこと。授業の後は,実際の事例などの関連情報をあたり,理解を深める努力を行うこと。(毎回 4.0h)

テキスト

岸川善光『ベンチャービジネス要論』同文舘

参考書・参考文献・参考資料等

岸川善光『経営戦略要論』同文舘および岸川善光『経営管理要論』同文舘 井上善海ほか『経営戦略入門』中央経済社

成績評価の方法・基準

提出したレポートで評価する。なお60%以上を合格とする。

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
中小企業特論	1・2 年生	選択	2 単位	井上 善海

授業の到達目標及びテーマ

【到達目標】

学則第3条を踏まえて、以下の3点を到達目標とする。

- ① 日本経済における中小企業の地位や役割について説明できる。
- ② 大企業とは異なった中小企業の経営特性について説明できる。
- ③ 経営環境の変化に対応し、成長を続ける中小企業のマネジメントついて説明できる。

【テーマ】

地域経済やグローバル化に寄与する中小企業

授業の概要

本授業では、わが国産業の競争力を支えてきた中小企業の構造的問題について、課題別に考察することをねらいとする。そこで、まず日本の中小企業の歴史的な変遷および国際比較を行いながら、中小企業の存在意義について明らかにする。その後、大企業との格差問題および下請中小企業問題を中心としながら、中小企業が地域経済の担い手やグローバル化に寄与していることについて考察していく。

授業計画

- 第1回 授業のねらいと進め方
- 第2回 中小企業の経営特性:単に大企業を縮小したような存在ではなく、大企業とは異なった経営特性を 持つ中小企業が、その経営特性を生かす道としてどのような事業分野があるのか。
- 第3回 中小企業の歴史:産業革命から現代まで、世界における中小企業がどのように変化してきたのか。
- 第4回 海外の中小企業:海外では、中小企業がどのような地位を占めどのような役割を担っているのか。
- 第5回 中小企業問題と中小企業政策:中小企業問題の本質とは何か、その解決のために講じられる中小企 業政策の役割や体系。
- 第6回 経営環境の変容と戦略:企業を取り巻く経営環境が変容しているなかで、中小企業が長期的な戦略 にもとづく経営に取り組む必要性。
- 第7回 資金難と財務:資金調達をはじめとした中小企業の財務マネジメントのあり方。
- 第8回 分業構造の変容と下請:下請企業の構造的問題を解決するマネジメント。
- 第9回 企業間関係の変容とネットワーク:経営資源に制約の多い中小企業の事業展開で抱える問題。
- 第10回 産業構造の変容と地域産業:産業集積の戦略的な連携や他地域への進出、地域資源の有効活用。
- 第11回 世界市場の変容とグローバル化:中小企業がグローバル化を行うことによって起きる問題。
- 第12回 人材難と組織:経営環境の多様な変化に適応していくための組織や人のマネジメントのあり方。
- 第13回 後継者難と事業承継:中小企業に特有の事業承継リスクへの対応方法について。
- 第14回 研究開発力不足と製品開発:イノベーションによる中小企業の製品開発マネジメントの重要性。
- 第15回 既存事業の衰退と事業開発:中小企業の事業開発上の経営課題と対応策。

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

準備学習ではシラバスをもとに参考図書等を用い事前学習をしておくこと。復習では目安となる水準を授業中に示す。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

テキスト

テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前に classroom にて配布する。

参考書・参考文献・参考資料等

井上善海編著(2022)『中小企業経営入門』中央経済社(2,300円)

井上善海編 (2009)『中小企業の戦略』同友館 (2,800円)

中小企業庁編『中小企業白書』(各年度版)

その他、授業テーマごとに適宜指示する。

成績評価の方法・基準

本授業の3つの到達目標に対する達成度を評価基準に、課題レポートにより成績評価を行う。

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
国際経営特論	1・2 年生	選択	2 単位	小川 雄平

授業の到達目標及びテーマ

「学則」第3条を踏まえて、著しくグローバル化した世界経済の実態について理解を深め、変化する経済環境に対応した企業の国際経営戦略上の課題を明らかにすることを目標とする。なお、授業を通して修士論文の作成にも役立てることを目指す。

授業の概要

日本企業の海外進出の進展とそれに伴う企業内貿易の展開や部品調達網の構築等の現状について解説し、 為替レートの変動や急増する FTA 等国際経済環境に対応した企業経営の在り方を検討する。新聞報道から具 体的な事例を取り上げてケーススタディを行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 日本的経営、日本企業の対外進出と空洞化
- 第3回 企業経営の国際化 I:対米貿易摩擦・円高と輸出企業による生産基地の移転、
- 第4回 企業経営の国際化Ⅱ:製造業企業による国際部品供給網の構築と国際分業の深化
- 第5回 企業経営の国際化Ⅲ:NIEsの対米貿易摩擦・生産コストの上昇と生産基地の再移転、
- 第6回 企業経営の国際化IV:中間層の増大=消費市場としてのアジア、企業の現地化とM&A
- 第7回 企業経営の国際化V:国際物流の進展とサプライチェーンマネジメント
- 第8回 小括と討論
- 第9回 貿易取引・決済の実際と外国為替の原理
- 第10回 企業内貿易の実態 I:企業の多国籍化と企業内取引の実際
- 第11回 企業内貿易の実態Ⅱ:タックス・ヘイブン(租税回避地)と移転価格税制
- 第12回 小括と討論
- 第13回 FTAと企業経営 I:日本の関税と FTA・EPA 戦略
- 第14回 FTAと企業経営Ⅱ:メガFTA(TPP11・EU目・RCEP)と企業経営
- 第15回 小括と討論

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

事前学習:テキストの該当箇所及びプリントに目を通して疑問点を明確にしておくこと。時間:2時間事後学習:講義内容の復習と授業中に指示された課題に取組むこと。 時間:2時間

テキスト

小川雄平・猿渡剛編著『国際ビジネス論を学ぶ』中央経済社、2,500円 (ISBN978-4-502-35761-9) 吉原英樹著『国際経営』第4版、有斐閣、2,000円 (ISBN978-4-641-22064-5) テキストの他にプリントも準備する。

参考書・参考文献・参考資料等

授業中に適宜指示する。

成績評価の方法・基準

成績は、試験(50%)と研究報告(50%)により評価する。

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
ロジスティクス特論	1・2 年生	選択	2 単位	小川 雄平

授業の到達目標及びテーマ

「学則」第3条を踏まえて、企業の原料調達から生産・製品販売に至るまでの物流・管理の現状について理解を深め、その課題を明らかにすることを目標とする。なお、授業を通して修士論文の作成にも役立てることを目指す。

授業の概要

ロジスティクス(Logistics)とは、元来は軍隊の兵站を意味したが、企業の部品・原料調達から生産・製品販売までの物流過程とその管理を指すようになった。経済のグローバル化に伴い企業の部品調達網(サプライチェーン)は、アジアを巻き込んで重層化・複雑化している。本講義では、主にNIEs・ASEAN・中国等の東アジア経済との関連で企業の物流過程を解明し、新聞報道の事例等も取り上げて詳細に解説する。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 生産の国際化・国際分業の重層化と企業内貿易
- 第3回 貿易摩擦・円高と日本企業の生産・輸出基地の移転・再移転
- 第4回 NIEs・ASEAN・中国の経済発展とサプライチェーンの構築
- 第5回 自動車産業に見る FTA 利用のサプライチェーン
- 第6回 小括と討論
- 第7回 輸送量の増大・効率化とコンテナリゼーション
- 第8回 コンテナ船の大型化と海運業の国際アライアンス
- 第9回 パナマ運河の拡張とパナマックス型コンテナ船・大型タンカー輸送
- 第10回 東アジアの港間競争の激化と中国港湾の躍進
- 第11回 日本企業のグローバル化と国際物流の変化
- 第12回 地方港湾の国際化=釜山港のハブ化と5大港湾の地位低下
- 第13回 小括と討論
- 第14回 東アジアの地域経済協力と物流協力体
- 第15回 シベリア鉄道・中欧班列・朝鮮半島南北間鉄道・日韓トンネル

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

事前学習:プリントとテキストの該当箇所に目を通して疑問点を明らかにしておくこと。 時間:2時間

事後学習:講義内容の復習と授業中に指示された課題に取組むこと。 時間:2時間

テキスト

柴崎隆一編『グローバル・ロジスティクス・ネットワーク』成山堂 2,800 円 (ISBN978-4-425-93161-3) テキストに加え、プリントも準備する。

参考書·参考資料等

苦瀬博仁編著『ロジスティクス概論』白桃書房、2,800円(ISBN978-4-561-75200-4)

成績評価の方法・基準

成績は、試験(50%)と研究報告(50%)により評価する。

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営科学特論	1・2年生	選択	2 単位	福山博文

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条をふまえて、データ包絡分析法(Data Envelopment Analysis、DEA)を学び、それを実践的に適用する能力の習得を目指します。

授業の概要

本講義では、企業等の組織体の生産効率性を分析・解析するデータ包絡分析法 (Data Envelopment Analysis: DEA と略) について学びます。DEA は、複数生産物での総合評価や改善策の定量的な把握と提案ができるといった特徴があります。講義では、DEA の基本的な考え方について、簡単な計算事例を用いて概説した後で、様々な分析事例を紹介します。

私は、エルゼビアが出版している OMEGA: International Journal of Management Science (インパクトファクター: 6.9) という経営科学の英文専門誌の担当編集委員 (Associate Editor) を務めているので、この分野の最近の研究動向などについても、お話したいと思います。私の研究に興味のある方は、次の URL などを参考にしてください。https://scholar.google.com/citations?user=BUHhDAwAAAAJ&hl=en

授業計画

- 第1回 オリエンテーション (授業の概要を説明します。)
- 第2回 線形計画法モデル1 (数学的準備をします。)
- 第3回 線形計画法モデル2 (数学的準備をします。)
- 第4回 データ包絡分析法 DEA の基本1
- 第5回 データ包絡分析法 DEA の基本 2
- 第6回 データ包絡分析法 DEA の基本 3
- 第7回 分析事例:電気事業1
- 第8回 分析事例:電気事業2
- 第9回 分析事例:保健医療政策1
- 第10回 分析事例:保健医療政策2
- 第11回 分析事例:都道府県の生産活動の効率性評価1
- 第12回 分析事例:都道府県の生産活動の効率性評価2
- 第13回 分析事例:金融1
- 第14回 分析事例:金融2
- 第15回 レポート提出課題について

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

- ・Excel の基本的操作を習得していること(高度のレベルでなくてもよい)を前提に講義を進めます。
- ・報告担当者は、配布用レジュメを作成すること。
- ・次回の授業範囲を十分に予習し、講義に臨むこと。
- ・事前に配布された資料がある場合には、熟読して講義に臨むこと。(2.0h)
- ・事後学習として受講ノートを作成すること。(2.0h)
- ・数学は初歩的レベルから始めるので、高度な数学的知識は必要ではありませんが、受講者は数学が嫌いでないことが重要です。

テキスト

『経営効率性の測定の基礎~DEA 分析の事例で学ぶ生産性・効率性向上への挑戦』(編) 刀根薫 , (著) 筒井 美樹, 丸山幸宏, 濱口由子, <u>福山博文</u>, 橋本敦夫, 岩本大輝, 大里怜、日本評論社、2022、ISBN978-4-535-55931-8。効率値の計測については、教育版のソフト DEA-Solver が利用可能です。

参考書 · 参考資料等

- 刀根薫『経営効率性の測定と改善―包絡分析法 DEA による』日科技連出版社、1993、ISBN978-4817150226
- Wade D. Cook and Joe Zhu (森田浩 訳)『データ包絡分析法 DEA』静岡学術出版 ISBN978-4-86474030-2

成績評価の方法・基準

方法:課題レポートで評価します。

基準:学んだ数理モデルを理解して、実証研究ができるようになる。

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
会 計 情 報 学 特 論	1・2 年生	選択	2 単位	山下 壽文

授業の到達目標及びテーマ

到達目標:学則第3条を踏まえて、会計情報作成・開示に関する理論的・制度論的知識の習得 テーマ:現代会計基準に関する主要論点の研究

授業の概要

現代経済社会を生きる私たちにとって、会計知識の習得は必須の要件となっている。この講義では、会計制度の変化と会計情報の新しい特徴を正確に理解し、企業の会計政策の決定と会計情報の分析とを行う能力を養うための専門知識を身に付けることを目的として、会計基準および概念フレームワークの主要な論点について体系的に説明し、討論する。

授業計画

- 第1回 法人税法第22条第4号と会計基準
- 第2回 シャウプ勧告の役割と『企業会計原則』の設定
- 第3回 歴史的視点からみた簿記と会計の関係
- 第4回 わが国の会計基準における国際会計基準の影響
- 第5回 概念フレームワークと会計基準
- 第6回 収益費用アプローチと資産負債アプローチ
- 第7回 公正価値の測定~割引現在価値
- 第8回 新収益認識基準と実現主義の原則
- 第9回 リース(1)ファイナンス・リース取引とオペレーション・リース取引
- 第10回 リース(2)セール・アンド・リースバック取引
- 第11回 資産除去債務会計
- 第12回 退職給付会計
- 第13回 キャツシュ・フロー計算書(1)直接法と間接法による作成
- 第14回 キャツシュ・フロー計算書(2)作成演習
- 第15回 連結会計

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

(留意点) 簿記・会計に関する基本的な知識を有していること。

(事前学習) 受講者全員が次回の学習領域について事前にテキストまたは配布資料を読み、疑問点や質問事項 等を整理した上で講義に参加すること。 (2 時間程度)

(事後学習) 講義中に理解したことをまとめ、疑問点や質問事項等が解決したかどうかを確認すること。その後、授業内容を再検討し、理解を深める必要がある。 (2 時間程度)

テキスト

山下壽文『財務会計論~テキスト&問題~』(冊子)

参考書・参考文献・参考資料など

中央経済社編『新版会計法規集』中央経済社

成績評価の方法・基準

定期試験(60%)、レポート(40%)を総合的に判断して評価します。

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
会 計 監 査 特 論	1・2 年生	選択	2 単位	伊藤 龍峰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標:学則第3条を踏まえて、財務諸表監査の社会的役割の理解と理論的・制度的な専門知識の習得 テーマ:財務諸表監査における枠組みと主要論点の研究

授業の概要

私たちは社会生活を営むかぎり、各種の組織や団体等と無関係ではありえません。このような組織や団体等では、必ず誰かが会計報告を作成し、また誰かがその会計報告を監査しているのです。これまで一部の人達を除いて、監査に対しては比較的無関心であったと言えるでしょう。ただ、監査は身近なところにあり、直接・間接に私たちと深い関わりを持って存在しています。とりわけ、企業と利害関係を持つ場合、企業が公表する財務諸表は、私たちと企業とを結ぶ重要な連結環であり、そのため、財務諸表が信頼できるものであるという保証があってこそ、私たちは安心して財務諸表を利用することができることになります。監査は、このような財務諸表の信頼性の保証に大きな役割を果たします。

会計監査特論では、公認会計士や監査法人による財務諸表監査の意義と役割を意識しながら講義を展開していきます。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 監査の必要性と法定監査制度
- 第3回 監査全体の流れ
- 第4回 監査基準
- 第5回 リスク・アプローチ監査
- 第6回 内部統制
- 第7回 監査計画
- 第8回 監査の実施
- 第9回 監査結果の報告
- 第10回 監査の品質管理
- 第11回 監査をめぐる国際的な動向
- 第12回 内部統制監査
- 第13回 公監査
- 第14回 財務諸表監査の周辺業務
- 第15回 まとめ

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

(留意点)簿記や会計学に関する学部レベルの知識を有していること。

(事前学習)毎回、次回の報告予定者を指名しますが、報告予定者ばかりではなく、受講者全員が次回の学習領域について事前にテキストを読み、疑問点や質問事項等を整理した上で授業に参加してください。

(2 時間程度)

(事後学習)講義中に理解したことを纏め、疑問点や質問事項等が解決したかどうかを確認してください。その後に、授業内容に関する深掘りを行い、自分のものにしてください。 (2 時間程度)

テキスト

『監査論入門 第5版』 長吉眞一、伊藤龍峰、北山久恵 井上善弘、岸牧人、異島須賀子 著 中央経済社 参考書・参考文献・参考資料等

適宜、資料配布を行うとともに、参考書についても具体的に指示します。

成績評価の方法・基準

定期試験の結果と課題研究レポートの内容を総合的に判断して評価します。

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税務会計特論	1・2 年生	選択	2 単位	春日 克則

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえ事例を研究することで、税務会計が課税所得計算の領域において、どのような特徴を有しているかを探るものである。税務会計は、企業会計、租税法、商法・会社法と密接に関連している。そこで、税務会計がこれらの学問領域に還元される単なる技法なのか、それとも独自の所得計算構造を有しているのか(有しているならその内容)について、事例(判例)研究を通じて、具体的に理解することを目標としている。

授業の概要

税務会計は、所得計算のための単なるパッチワーク的な技法であるのか、あるいは企業会計や租税法という隣接する諸領域とは異なる独自の理論体系を有するものなのかについて、第Ⅰ部(会計学との関わり)、第Ⅱ部(判例)、第Ⅲ部(非営利法人の収益事業課税の視点)の区分を通じて明らかにして行く。

授業計画

第1回 オリエンテーション (税務会計を3部に区分して考察すること)

第 I 部:会計学との関わりから税務会計を考える

第2回 税務会計からみた企業会計原則とIFRS

第3回 会計主体論-資本概念-所得概念

第4回 財政学、法律学、会計学そして税務会計

第Ⅱ部:判例から見た税務会計

第5回 事例研究「大竹貿易事件」「リースの税務処理(福岡地裁)」「商品券の税務処理(名古屋地裁)」

第6回 事例研究「リースの税務処理(福岡地裁)」「商品券の税務処理(名古屋地裁)」

第7回 事例研究「オリックス銀行事件」

第8回 事例研究「ビックカメラ事件」

第9回 事例研究「TFK事件」「クラヴィス事件」

第10回(税務)会計と法律との関係~マコンバー事件と実質課税の原則

第Ⅲ部:非営利法人の収益事業課税から税務会計を考える

第11回 事例研究「治験事件」「流山事件」「ペット葬祭事件」

第12回 非営利法人の収益事業課税の概要と問題点

第13回 対価概念の意義と問題点

第14回 現行の個別列挙方式に代わる新たな選択基準

第15回 まとめ

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

(留意点) 学部レベルの財務会計(会計学)の知識を有すること。

(準備学習)

事前:毎回、事前に資料を配付するので当該資料を学習すること。必要であれば、参考書で補いながら疑問点を整理して授業に臨むこと。(各回2時間)

事後:ほとんどの事例が、最高裁まで争われた事件であるので、講義中はポイントのみを検討することになる。そこで、地裁、高裁を含む判決の全文を判読することにより、さらに理解が深まる。(各回2時間)

テキスト

事前にプリントを配布する。

参考書・参考文献・参考資料等

- ·中里実他編『租税判例百選[第6版]』有斐閣
- 金子宏『租税法』弘文堂
- · 富岡幸雄『税務会計学原理』中央大学出版部
- ・中里実『金融取引と課税』有斐閣

成績評価の方法・基準

課題 (レポート) 50%と試験 50%の結果による評価で、60%以上を合格とする。

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論 I (租税法総論)	1・2 年生	選択	2 単位	平山 誠一郎

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、租税法総論について学ぶ。説明、討議及びレポート作成等により、租税法の知識、 考え方を身に付ける。

授業の概要

授業の該当テーマについて、金子宏『租税法 [第 24 版]』を精読し、法令、判例、学説等の理解を深める。 各税法に共通する基本的かつ重要な事項であり、1回当たりのボリュームもかなりあるため、相当の準備が 不可欠である。

授業計画

- 第1回 租税の意義
- 第2回 租税法の意義と特質
- 第3回 わが国における租税制度の発達
- 第4回 租税法の法源と効力
- 第5回 租税法の基本原則(1) 租税法律主義
- 第6回 租税法の基本原則(2) 租税公平主義、自主財政主義
- 第7回 租税法の解釈と適用
- 第8回 課税要件総論(1) 納税義務者
- 第9回 課税要件総論(2) 課税物件、課税標準、税率
- 第10回 納税義務の成立・承継及び消滅
- 第11回 附帯税、納税者の債権
- 第12回 租税手続法序説、租税確定手続(1) 確定の方式
- 第13回 租税確定手続(2) 申告納税方式、更正の請求、更正・決定
- 第14回 租税確定手続(3) 推計課税、賦課課税方式、確定権の除斥期間、質問検査権
- 第15回 まとめ

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

憲法、行政法、民法等の知識が必要である。

各回、少なくとも、2時間程度の事前学習、2時間程度の事後学習が必要である。

テキスト

金子宏『租税法〔第24版〕』(弘文堂)

『実務 税法六法』(新日本法規出版) 又は『税務六法』(ぎょうせい)

中里実他編『租税判例百選〔第7版〕』(有斐閣)

参考書・参考文献・参考資料等

税務大学校講本『税法入門』『国税通則法(基礎編)』

伊藤義一『税法の読み方 判例の見方〔改訂第3版〕』(TKC出版)

佐伯仁志・大村敦志編『ポケット六法』(有斐閣)

法令用語研究会『法律用語辞典』(有斐閣)

中里実ほか『租税法概説』(有斐閣)

成績評価の方法・基準

試験(50%)及びレポート(50%)により評価する。

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅱ (所得税法)	1・2 年生	選択	2 単位	平山 誠一郎

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、所得税法の法令の条文を読解でき、具体的事例に適用できる能力を身に付ける。 所得税法の体系的知識を習得する。

授業の概要

授業の進め方は、研究生が司会班、説明・回答班、質問班の3班に分かれて討議を行う方式による。 そのため、講義範囲のテキストを事前に熟読し理解しておくことが不可欠である。 討議の内容や理解度に応じて、教授が解説・質問を行う。

授業計画

- 第1回 総説(所得税の意義、所得の意義・概念、所得税の類型、課税単位)
- 第2回 所得税制度の基本的仕組(納税義務者、課税標準)
- 第3回 各種所得の意義と範囲(不動産所得、事業所得)
- 第4回 各種所得の意義と範囲(給与所得、退職所得)
- 第5回 各種所得の意義と範囲(山林所得、譲渡所得①)
- 第6回 各種所得の意義と範囲 (譲渡所得②)
- 第7回 各種所得の意義と範囲(利子所得、配当所得、一時所得、雑所得)
- 第8回 所得計算の通則(収入金額)
- 第9回 所得計算の通則(必要経費①(総説~売上原価))
- 第10回 所得金額の通則(必要経費②(販管費~所得金額の計算の特例))
- 第11回 課税標準の計算(所得金額の総合、損益通算、損失の繰越控除)
- 第12回 所得控除、税額の計算
- 第13回 源泉徴収制度、非居住者及び法人の納税義務
- 第14回 申告、納付及び還付
- 第15回 まとめ

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

簿記・会計の知識が不可欠である。

授業範囲の税法・テキストを読解しておくこと。

各回、少なくとも、2時間程度の事前学習、2時間程度の事後学習が必要である。

特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト

金子宏『租税法〔第24版〕』(弘文堂)

『実務 税法六法』(新日本法規出版) 又は『税務六法』(ぎょうせい)

佐藤英明『スタンダード所得税法〔第3版〕』(弘文堂)

中里実他編『租税判例百選〔第7版〕』(有斐閣)

参考書・参考文献・参考資料等

税務大学校講本『所得税法(基礎編)』

伊藤義一『税法の読み方 判例の見方〔改訂第3版〕』(TKC出版)

佐伯仁志・大村敦志編『ポケット六法』(有斐閣)

| 注解所得税法研究会『注解 所得税法』(大蔵財務協会)

中里実ほか『租税法概説』(有斐閣)

成績評価の方法・基準

試験(50%)及びレポート(50%)により評価する。

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅲ (法人税法①)	1・2 年生	選択	2単位	末永英男

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、法人税法の法令の条文を読解でき、具体的事例に適用できる能力を身に付ける。 法人税法の体系的知識を習得する。

授業の概要

授業の進め方は、受講生が司会班、説明・回答班、質問班の3班に分かれて討議を行う方式による。 そのため、講義範囲のテキストを事前に熟読し理解しておくことが不可欠である。 討議の内容や理解度 に応じて、教員が質問・解説を行う。

授業計画

- 第1回 総説
- 第2回 法人所得の意義と計算(総説)①益金
- 第3回 法人所得の意義と計算(総説)②損金
- 第4回 資本等取引
- 第5回 企業会計と租税会計との関係①
- 第6回 企業会計と租税会計との関係②
- 第7回 益金の額の計算
- 第8回 損金の額の計算① (売上原価~資産の評価損)
- 第9回 損金の額の計算②(役員給与等)
- 第10回 損金の額の計算③ (寄附金~準備金)
- 第11回 損金の額の計算④ (交際費等~使途秘匿金)
- 第12回 損金の額の計算⑤ (繰越欠損金~組合等の法人組合員の損失)
- 第13回 同族会社と所得課税
- 第14回 公益法人等関係税制
- 第15回 法人税額の計算および法人税の申告等

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

簿記・会計の知識が不可欠である。

税法の読み方の基本を、伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』(TKC出版)」によりマスターしておくこと。

授業範囲の税法・テキストを読解しておくこと。

各回、少なくとも、2時間程度の事前学習、2時間程度の事後学習が必要である。

特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト

末永英男編『法人税法会計論〔第9版〕』(中央経済社)、末永英男『税務会計論の基本問題』(中央経済社)、金子宏『租税法〔第24版〕』(弘文堂)、渡辺徹也『スタンダード法人税法〔第3版〕』(弘文堂)、『法人税法(基礎編)〔令和5年度版〕』(税務大学校)、別冊ジュリスト『租税判例百選〔第7版〕』(有斐閣)、『租税判例六法〔第6版〕』(有斐閣)

参考書・参考文献・参考資料等

末永英男編著『税務会計と租税判例』(中央経済社)、『実務 税法六法(法令編・通達編)[最新版]』(新日本法規出版)、『ポケット六法』(有斐閣)、『租税法概説』(有斐閣)、『税法入門』(有斐閣)、山本守之『体系法人税法』(税務経理協会)、『税法用語辞典』(大蔵財務協会)、『ケースブック租税法』(弘文堂)

成績評価の方法・基準

研究報告により評価する。

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論IV (法人税法②・消費税法)	1・2 年生	選択	2 単位	末永 英男

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、法人税法および消費税法の法令の条文を読解でき、具体的事例に適用できる 能力を身に付ける。 法人税法の体系的知識を習得する。

授業の概要

授業の進め方は、受講生が司会班、説明・回答班、質問班の3班に分かれて討議を行う方式による。 そのため、講義範囲のテキストを事前に熟読し理解しておくことが不可欠である。 討議の内容や理解度 に応じて、教員が質問・解説を行う。

授業計画

- 第1回 グループ法人税制およびグループ通算制度(旧連結納税制度)
- 第2回 法人組織税制 (総説、法人の設立、合併、分割)
- 第3回 法人組織税制 (非適格合併等による資産等の受入処置、組織再編に係る行為・計算の否認等)
- 第4回 法人課税信託、退職年金積立金に対する法人税、多様な事業体と投資媒体
- 第5回 国際取引(総説)
- 第6回 国際取引 (二重課税の排除、非居住者及び外国法人に対する所得課税)
- 第7回 国際取引 (移転価格税制)
- 第8回 国際取引(過少資本税制、過大支払利子税制)
- 第9回 国際取引 (タックス・ヘイブン対策税制)
- 第10回 国際取引(国際的企業再編成と租税回避)
- 第11回 消費税 (総説)
- 第12回 消費税 (課税の対象)
- 第13回 非課税と免税、納税義務者と納税義務の成立
- 第14回 課税標準と税率、税額控除
- 第15回 申告納付と納税地、国、地方公共団体等に係る特例等

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

簿記・会計の知識が不可欠である。

税法の読み方の基本を、伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』(TKC出版)」によりマスターしておくこと。

授業範囲の税法・テキストを読解しておくこと。

各回、少なくとも、2時間程度の事前学習、2時間程度の事後学習が必要である。

特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト

金子宏『租税法〔第 24 版〕』(弘文堂)、渡辺徹也『スタンダード法人税法〔第 3 版〕』(弘文堂)、『法人税法(基礎編)〔令和 6 年度版〕』(税務大学校)、『消費税法(基礎編)〔令和 5 年度版〕』(税務大学校)、別冊ジュリスト『租税判例百選〔第 7 版〕』(有斐閣)、『租税法判例六法〔第 6 版〕』(有斐閣)

参考書・参考文献・参考資料等

山本守之『体系法人税法』(税務経理協会)、望月文夫『図解国際税務(令和6年版)』(大蔵財務協会)、熊王征秀『消費税法講義録(第4版)』(中央経済社)、『税法用語辞典』(大蔵財務協会)、『ケースブック租税法』(弘文堂)、『実務税法六法(法令編・通達編)[最新版]』(新日本法規出版)、『ポケット六法』(有斐閣)、

成績評価の方法・基準

研究報告により評価する。

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論 V (相続税法・手続法・争訟法)	1・2年生	選択	2 単位	丹羽 崇之

授業の到達目標及びテーマ

相続税法、租税徴収手続、租税争訟法、租税処罰法について学ぶ。学則第3条を踏まえて、報告、討論及び レポート作成等により、租税法の知識、考え方を身に付ける。

授業の概要

各回の授業テーマについて、条文を読み込んだうえで、金子宏『租税法〔第24版〕』により、制度、判例・ 学説等の理解を深める。

各テーマについてかなり速いスピードで授業が進められる。授業1回当たりのボリュームも多いため、相当の準備が不可欠である。

授業計画

第1回 相続税(1) 総説、相続税の類型、納税義務者

第2回 相続税(2) 課税物件

第3回 相続税(3) 税負担の不当な減少の防止

第4回 相続税(4) 課税標準と税額

第5回 贈与税

第6回 財産の評価

第7回 事業承継税制

第8回 地価税・固定資産税

第9回 租税徴収手続(1) 納付と徴収①

第10回 租税徴収手続(2) 納付と徴収②

第11回 租税徴収手続(3) 滞納処分①

第12回 租税徵収手続(4) 滞納処分②

第13回 租税争訟法(1) 租税不服申立

第14回 租税争訟法(2) 租税訴訟

第15回 租税処罰法

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

憲法、行政法、民法、刑法、民事訴訟法等の知識が必要である。

各回4~8時間程度の事前・事後学習を求める。

テキスト

金子宏『租税法〔第24版〕』(弘文堂)

『実務税法六法』(新日本法規出版) または『税務六法』(ぎょうせい)

中里実他編『租税判例百選〔第7版〕』別冊ジュリスト(有斐閣)

参考書・参考文献・参考資料等

中里実他編『租税法概説〔第4版〕』(有斐閣)

税務大学校講本『相続税法(基礎編)』『国税通則法(基礎編)』『国税徴収法(基礎編)』

伊藤義一『税法の読み方 判例の見方〔改訂第3版〕』(TKC 出版)

佐伯仁志・大村敦志編『ポケット六法 令和6年版』(有斐閣)

成績評価の方法・基準

提出レポートにより評価する。

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
民法特論	1・2年生	選択	2 単位	丹羽 崇之

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、民法および関連する法令を熟読し、どのような状況をどのように規律しようとしているのか、なぜそのように規定されているのか、各条文の関係はどのようになっているのか等を考える。さらに重要判例を検討することにより、私法の解釈適用力を涵養する。

授業の概要

上記の目標到達のため、テキストにもとづいて民法全体を学ぶ。重要判例に関しては、事実の概要、争点、判旨、判決の意義等について討論する。授業1回当たりのボリュームも多いため、相当の準備が不可欠である。

授業計画

第1回 民法序論

第2回 総則(1) 人、法人

第3回 総則(2) 法律行為、意思表示

第4回 総則(3) 代理、無効と取り消し

第5回 総則(4) 条件・期限・期間、時効

第6回 債権(1) 総論

第7回 債権(2) 契約総論

第8回 債権(3) 契約各論

第9回 債権(4) 事務管理、不当利得、不法行為

第10回 物権(1) 物権総論

第11回 物権(2) 占有権、所有権、用益物権

第12回 物権(3) 担保物権

第13回 親族

第14回 相続(1) 総則、相続人、相続の効力

第15回 相続(2) 相続の放棄・承認、遺言、遺留分

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

未習者を対象としているが、民法は範囲が広いため、学習量が多いことを覚悟しておいてほしい。 各回4~8時間程度の事前・事後学習を求める。

テキスト

潮見佳男『民法(全)[第3版]』(有斐閣)

遠藤浩・川井健編『民法基本判例集〔第4版〕』(勁草書房)

佐伯仁志・大村敦志編『ポケット六法 令和6年版』(有斐閣)

参考書,参考文献,参考資料等

潮見・道垣内編『民法判例百選 I 総則・物権〔第9版〕』別冊ジュリスト(有斐閣)

窪田・森田編『民法判例百選Ⅱ 債権〔第9版〕』別冊ジュリスト(有斐閣)

水野・大村編『民法判例百選Ⅲ 親族・相続〔第3版〕』別冊ジュリスト(有斐閣)

成績評価の方法・基準

提出レポートにより評価する。

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
会社法特論	1・2 年生	選択	2 単位	吉野 正

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、会社法及び関連法について、基本的知識を学ぶ

授業の概要

基本教科書を事前に読んでもらい、適宜講義ノートを議論しながら学ぶ

授業計画

- 第1回 株式会社の設立
- 第2回 株式について
- 第3回 株式会社の機関1、株主総会
- 第4回 株式会社の機関2、取締役会設置会社と取締役会非設置会社
- 第5回 株式会社の機関3、指名委員会等設置会社、監査等委員会設置会社
- 第6回 株式会社の機関4、取締役、監査役、会計監査人、会計参与の義務と責任
- 第7回 株式の譲渡
- 第8回 会社の計算
- 第9回 募集株式の発行等と資金調達
- 第10回 定款変更
- 第11回 会社の解散と清算
- 第12回 企業の結合と再編
- 第13回 組織再編の手続
- 第14回 事業譲渡
- 第15回 持分会社

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

教科書を事前に読んでおく、事後は講義ノートと会社法該当条文をよく読む。

テキスト

会社法 (株) 有斐閣 伊藤靖史、大杉謙一、田中亘、松井秀征 著者

参考書・参考文献・参考資料等

会社法判例百選

成績評価の方法・基準

成績評価方法:定期試験95% レポートの提出5%。 成績評価の基準:①会社の特徴について理解をしているか。②株式会社、合名会社、合資会社、合同会社のそれぞれの性質の違いを理解しているか。③株式会社のうち取締役会を設置会社、指名委員会等設置会社、監査等員会設置会社を理解しているか。④取締役にどのような責任が課せられているか説明できること⑤会社の計算について十分理解していること⑥株式の譲渡及び金融商品取引について理解していること。

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
民事・行政訴訟特論	1・2 年生	選択	2 単位	吉野 正

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて民事訴訟、行政訴訟の裁判手続全般について基本的知識を学ぶ。 民事訴訟、行政訴訟の裁判手続の基本を理解する。

授業の概要

民事訴訟、行政訴訟の裁判手続を学ぶため、基本教科書を事前に読んでもらい、また適宜、教材を議論をしながら学ぶ。

授業計画

第1回 訴訟の当事者と訴の類型

第2回 訴訟の客体(訴訟物)1

第3回 訴訟の客体(訴訟物)2

第4回 請求の客観的併合

第5回 多数当事者訴訟1

第6回 多数当事者訴訟2

第7回 処分権主義と弁論主義

第8回 訴訟審理の原則

第9回 証拠

第10回 判決の効力1

第11回 判決の効力2

第12回 行政不服審査

第13回 行政訴訟1

第14回 行政訴訟2

第15回 上訴

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

講義のテーマについて、事前に該当箇所を読んでおく、事後は講義ノートを復習する

テキスト

適宜、資料を配布します

参考書・参考文献・参考資料等

「民事訴訟法(法学ライブラリー)」小林 秀之著

「民事訴訟法」伊藤 眞著

「行政法」櫻井 敬子,橋本 博之著

「租税判例百選」

「民事訴訟判例百選」

成績評価の方法・基準

3分の2の出席日数を満たした者について、レポート(100%)により評価

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
情 報 科 学 特 論	1・2 年生	選択	2 単位	荒平 高章

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、情報の収集、加工、蓄積、伝達という観点から情報科学システムを分析し、経営情報学の研究において必要となる基礎的な知識の習得を目的とする。

授業の概要

計算機の基本構成や動作原理、アルゴリズムとデータ表現、応用ソフトウェア、プログラミング言語、インターネットの仕組みおよび特徴、ウェブ検索、セキュリティ、プレゼンテーション資料の作成法などについて修得する。また、授業内容に関連するレポート作成やプレゼンテーションを実施する。

授業計画

- 第1回 情報科学と計算機の基本構成、0S
- 第2回 ウェブサーフィン、情報検索
- 第3回 情報の表現とアルゴリズム
- 第4回 プログラミング言語、ファイルシステム
- 第5回 データベース
- 第6回 ウェブサーバ、HTML、PHP
- 第7回 インターネットの仕組み、特徴
- 第8回 情報セキュリティ (ファイアウォール、プロキシ)
- 第9回 情報セキュリティ(マルウェア、暗号技術)
- 第10回 ウェブ検索
- 第11回 LAN、WAN、プロトコル
- 第12回 アプリケーションソフトの紹介 I (Word、Excel、Power Point、LaTex、TeraPad)
- 第13回 アプリケーションソフトの紹介 II (Word、Excel、Power Point、LaTex、TeraPad)
- 第14回 公開鍵暗号、デジタル証明
- 第15回 プレゼンテーション、著作権、個人情報保護法

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

授業計画に従ってテキストの該当箇所を熟読しておくこと。 用語の整理や参考書等を利用して授業内容の理解を深めておくこと。 各回、少なくとも、1~2時間程度の事前・事後学習が必要である。

テキスト

書 名:コンピュータ概論(ソフトウェア・通信ネットワーク)

著者:橋本洋志発行所:オーム社

参考書‧参考資料等

コンピュータネットワーク第5版、アンドリュー.Sタネンバウム、日経BP

成績評価の方法・基準

口頭試験:50%、レポート:50%

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
情報メディア特論	1・2 年生	選択	2 単位	麻生 隆史

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、現代の情報メディア、及びインターネット、ネットワークについて理解し、議論する

授業の概要

情報メディア即ち、マルティメディアとは、複数の異なる媒介によって表現される、総合的な情報である。 ディジタル技術などのコンピュータ技術の急速な発展によって、現在、マルティメディアの重要性は非常に高 くなってきている。本講義ではまず、マルティメディアの種類及び、特徴を述べる。さらに、インターネット、 及び現代のネットワークについて述べ、その将来性について議論する。

授業計画

- 第1回 マルティメディア・システム
- 第2回 ハードウエア
- 第3回 ソフトウエア
- 第4回 メディアのディジタル化
- 第5回 音声メディア
- 第6回 画像メディア
- 第7回 映像メディア
- 第8回 インターネット
- 第9回 音声処理
- 第10回 画像処理
- 第11回 コンピュータ・グラフィックス
- 第12回 コンテンツ・デザイン
- 第13回 Eコマース
- 第14回 セキュリティー
- 第15回 知的財産権

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

情報リテラシーの技能を持っていることが望ましい。

毎回授業計画に示すテーマについて事前に調べ(2時間)、知見を得ておくこと。さらに授業後にその復習をすること(2時間)。

テキスト

書 名:マルティメディア入門

著者:赤間世紀発行所:工学社

参考書‧参考資料等

香取淳子著『情報メディア論(メディアの系譜と開発原理)』北樹出版

成績評価の方法・基準

第15回授業終了後に指示する課題レポートにより評価する

授業科目名 開講学年		必・選	単位数	担当教員名
情報ネットワーク特論	1・2 年生	選択	2 単位	車 炳玘

授業の到達目標及びテーマ

本特論では、学則第3条を踏まえて、情報サービスの基礎となる要素技術や適用事例について学ぶことを目的とする。中でもマッシュアップなどと称されるネットワークサービス統合化技術は極めて重要性が高く、本特論においても詳しく調査し、学ぶことを目指す。

授業の概要

本特論では受講生自らがインターネット環境における多種多様の情報サービスを自発的に調査し、議論を 通じてその本質的な重要性を理解することを目指す。また、新しい情報サービスを発想できるよう思索を深め ることを期待する。調査・学習の過程で生じた疑問点をさらに追究するなど、受講生の要望や状況などを反映 させ臨機応変に対応する。

授業計画

- 第1回 授業全体の概要説明
- 第2回 情報ネットワーク社会とは
- 第3回 情報ネットワーク社会における情報サービス
- 第4回 情報サービスの基盤技術 (Internet・Web)
- 第5回 情報サービスの基盤技術 (Ubiquitous)
- 第6回 情報サービスの基盤技術 (Data Mining)
- 第7回 情報サービスの統合化技術 (Multi Agent System)
- 第8回 情報サービスの統合化技術 (Agent Communication Language)
- 第9回 情報サービスの統合化技術 (Mashup)
- 第10回 情報サービスの応用事例 (Net Shopping)
- 第11回 情報サービスの応用事例 (SNS)
- 第12回 情報サービスの応用事例 (Mobile)
- 第13回 図書館における情報サービス事例(図書館システム)
- 第14回 図書館における情報サービス事例(次世代 OPAC)
- 第15回 まとめ

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

(留意点)情報ネットワーク、情報サービスについて概略を記した参考書を読んで予備知識を得ておくことが望ましい。

(準備学習)

事前:前回の授業で指示したテキストの部分を読んで準備をしておくこと。疑問点があれば要点をまとめておく。 $(1\sim2$ 時間程度)

事後:講義内容の要点、議論した点および新たな疑問を数ページにまとめる。それを基に次の授業でフォローする。(2~3 時間程度)

テキスト

Web 教材(シスコネットワーキングアカデミー)

その他、必要に応じて資料を提示する。

参考書・参考文献・参考資料等

Web 文書など必要に応じて紹介する。

成績評価の方法・基準

レポート:50%、試験:50%

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
情報セキュリティ特論	1・2 年生	選択	2 単位	宮 﨑 武

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、個人として知っておくべき情報セキュリティの基礎知識について事例を中心に学び、情報システムのセキュリティ確保に関する情報や技術の習得を目標とする。

授業の概要

IT インフラの整備およびインターネットの普及・発展により、個人情報や機密情報の漏えい、マルウェア 感染など様々なセキュリティリスクに対して安全な情報セキュリティ対策を立てるのが重要な課題となって いる。本授業では、事例を中心にセキュリティリスクの種類やその対策について修得した上で、セキュリティ 技術について修得する。

授業計画

- 第 1回 オリエンテーション
- 第 2回 インターネットにおけるセキュリティの現状
- 第 3回 脆弱性と攻撃
- 第 4回 マルウェアの種類とその対策
- 第 5回 被害事例:フィッシング詐欺、ワンクリック請求
- 第 6回 スマートフォン、無線 LAN における脅威と対策
- 第 7回 組織におけるセキュリティ対策
- 第 8回 セキュリティ技術 (アカウント、ID、パスワード、ファイアウォール、IDS)
- 第 9回 暗号技術(古典的な暗号と共通鍵暗号)
- 第10回 暗号技術(公開鍵暗号)
- 第11回 暗号技術 (ディジタル署名)
- 第12回 OSのアクセス制御とセキュリティ
- 第13回 ユーザ認証技術とアクセスコントロール
- 第14回 電子商取引
- 第15回 まとめ

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

テキストのみでなく、各自 Web や文献などを調査し必要に応じてプログラムを作成する.

(準備学習)

事前:授業内容に該当するテキストの部分を読んで準備をしておくこと。必要に応じてプログラムを作成する. また疑問点があれば要点をまとめておく。(1~2 時間程度)

事後:講義内容の要点、議論した点および新たな疑問を数ページにまとめる。また各章毎に課す章末課題を解いて提出する. (2~3 時間程度)

テキスト

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)「情報セキュリティ読本 六訂版」実教出版,2022

参考書‧参考資料等

結城 浩「暗号技術入門 第3版 秘密の国のアリス」SBクリエイティブ、2015

成績評価の方法・基準

口頭試験:60%, レポート:40%

授業科目名 開講学年		必・選	単位数	担当教員名
経営情報システム設計特論	1・2 年生	選択	2 単位	岸川 洋

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、経営情報システムにおけるシステム開発工程全般と特にその中でも設計工程における方法論・技法を理解し、利用できるようにする。さらに、プロジェクト管理の立場から設計工程で留意すべきことについて理解し、利用できるようにする。

授業の概要

構築するシステムの特性に応じた設計法を適用することは重要である。まず、単純なシステム設計例により 各種方法論・技法を理解する。さらに、プロジェクト管理の立場から設計工程で発生する失敗について理解する

授業計画

- 第1回 ガイダンス、システム開発工程全般と設計工程
- 第2回 共通フレーム、各種設計技法
- 第3回 帰納的アプローチと演繹的アプローチ
- 第4回 プロセス中心アプローチ
- 第5回 データ中心アプローチ
- 第6回 オブジェクト指向アプローチ
- 第7回 ウォータフォールモデル
- 第8回 プロトタイプモデル
- 第9回 スパイラルモデル
- 第10回 単純なシステムの設計例(マスタファイル、イベントファイル)
- 第11回 単純なシステムの設計例 (DFD)
- 第12回 プロジェクト管理
- 第13回 PMBOK、WBS、ガントチャート
- 第14回 失敗例(設計者に起因、プロジェクトに起因、ステークホルダーに起因)
- 第15回 まとめ

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

事前学習:次回の授業内容について調べ、疑問点について整理する。(授業計画の欄を参照)

(1~2 時間程度)

事後学習:毎回の課題であるキーワードについて、説明できるようにする。(1~2時間程度)

テキスト

布広 永示他,「システム設計論(改訂版)」,コロナ社,2017年9月

参考書・参考文献・参考資料等

木暮 仁, 「利用部門のための情報システム設計論」,日科技連,2007 年 10 月 PMI 日本支部,「PMBOK ガイド第 6 版」,プロジェクトマネジメント協会,2018 年 1 月

成績評価の方法・基準

成績評価の方法:課題レポートにより評価する。

成績評価の基準:システム開発工程全般に関する知識を持ち、設計工程において各種設計法を活用 できる。

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
データベース特論	1・2 年生	選択	2 単位	宮 﨑 武

授業の到達目標及びテーマ

目標:学則第3条を踏まえて、データサイエンスに用いるためのデータベースの基礎知識の習得テーマ:リレーショナルデータベースを用いたデータサイエンスでの利用を意識した分析と可視化

授業の概要

データサイエンスの分野では欠かすことができないデータの取り扱いについて、データベースを構築して利用するための基礎的な知識を習得する。すなわち、データベースの目的や概念を理解し、データサイエンスで用いるデータからデータベースを構成し、分析、可視化を行う手法を学ぶ。

授業計画

- 第 1回 オリエンテーション
- 第 2回 データサイエンスのためのデータベース
- 第 3回 データベースの歴史
- 第 4回 関係データベースの基本(1) データの関係モデル(1)
- 第 5回 関係データベースの基本 (2) データの関係モデル (2)
- 第 6回 関係データベースの基本 (3) データの関係モデル (3)
- 第 7回 関係データベースの基本(4) 整合性制約
- 第 8回 関係データベースの基本(5) 関係代数
- 第 9回 SQL と正規化(1) SQL
- 第10回 SQL と正規化(2) 正規化
- 第11回 データの可視化と分析(1) データベースの可視化
- 第12回 データの可視化と分析(2) OLAP
- 第13回 NoSQL
- 第14回 実践的データ分析事例(1) Wikipedia ダンプデータ分析
- 第15回 実践的データ分析事例(2) それぞれの研究データの分析・可視化

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

(留意点) 各回担当を決め、担当の内容を解説してもらいます。

(準備学習)

事前:担当者:講義用パワーポイント資料を作成する。(3~4時間程度)、担当者以外:予習(1時間) 事後:講義担当者以外: レポートを課しますので、翌週の授業時に提出してください。(1~2時間程度)

テキスト

吉岡真治,村井 哲也 著,水田 正弘 編「データサイエンスのためのデータベース(データサイエンス入門シリーズ)」講談社、2020年

参考書,参考文献,参考資料等

永田武 著「データベースの基礎(改訂版) - MariaDB / MySQL 対応 -」コロナ社、2021年

成績評価の方法・基準

1. 口頭試験(60%) 2. 課題レポート(40%)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
データ解析特論	1・2 年生	選択	2 単位	荒平 高章

授業の到達目標及びテーマ

データ解析は、社会調査や企業や人間の様々な活動によって生じたデータから有用な知見やルールを見つけだし、予測や判断に利用しようとするものです。本講義では、学則第3条を踏まえて、代表的なデータ解析手法の修得、問題解決に必要なモデル化、有用かつ多様なデータ取得などを通して、データ活用の素養を身につけることを目標とします。「実践的なデータ解析」がテーマです。

授業の概要

基本統計量や視覚化によるデータの現状や関連性の把握、問題解決のための統計的手法を用いたデータの統合や縮約、構造分析を中心に行います。さらに、1次データ(アンケートデータ)や2次データ(公開データ)の取得や活用などを通した演習も行います。演習にはフリー統計ソフトである R を利用します。

授業計画

- 第1回 データ解析とは
- 第2回 データの現状把握と基本統計量
- 第3回 データの視覚化
- 第4回 データの関連性と予測 (相関と回帰分析)
- 第5回 データの種類と分析手法 (多変量解析)
- 第6回 データの統合1 (主成分分析)
- 第7回 データの統合2 (主成分分析によるデータ解析)
- 第8回 データの縮約1 (因子分析)
- 第9回 データの縮約2 (因子分析によるデータ解析)
- 第10回 データの構造分析 (共分散構造分析)
- 第11回 データマイニングとテキストマイニング
- 第12回 データの取得1 (独自データの取得と精査)
- 第13回 データの取得2 (公開データの入手と利用方法)
- 第14回 データの分析と解釈1
- 第15回 データの分析と解釈2

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

(留意点) 入門程度の統計知識があると望ましい。

(準備学習)

事前:授業計画に沿ってテキストを通読し、必要ならば参考書で補完しておくこと。また、疑問点などを整理して、講義中に確認すること。 $(1\sim2$ 時間程度)

事後: テキストの例題を参考にデータ解析の手法と R の利用法を修得すること。また、実際にポータルサイトなどからデータを取得し、R を用いてデータ分析を行ってみること($2\sim3$ 時間程度)

テキスト

書 名:Rによるデータサイエンス 第2版

著者:金 明哲 発行所:森北出版

参考書・参考文献・参考資料等

- ・中川 慶一郎他「データサイエンティストの基礎知識 挑戦する IT エンジニアのために」リックテレコム
- ・本多正久・島田一明『経営のための多変量解析法』産能大学出版部
- ・青木繁伸『Rによる統計解析』オーム社
- ・佐藤博樹 他『社会調査の公開データ 2次分析への招待』東京大学出版会

成績評価の方法・基準

試験50%とレポート50%の結果による総合評価で、60%以上を合格とする

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
数值解析特論	1・2 年生	選択	2 単位	車 炳玘

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、Python の使い方や情報システムにおける各種数値計算手法の習得を目標とする。

授業の概要

データの収集、加工、解析などについて、まずPythonの基本操作、データの入出力、データの図示などについて実習を通して習得する。また、情報システムの数値解析分野において使われる数値計算や誤差解析などの基礎知識を習得する。

授業計画

- 第1回 Pvthon の基礎、データの入出力・編集
- 第2回 変数とベクトル
- 第3回 ベクトル応用
- 第4回 関数の作成
- 第5回 論理型ベクトル
- 第6回 行列と繰り返し
- 第7回 データの視覚化
- 第8回 整列アルゴリズム
- 第9回 待ち行列と2分探索
- 第10回 データの演算と固有値
- 第11回 データ解析手法
- 第12回 主成分分析
- 第13回 因子分析
- 第14回 クラスター分析
- 第15回 線形判別分析

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

(留意点) ある程度数式が読めること、初等統計学を理解していることが望ましい (準備学習)

事前:授業内容に沿ってテキストの数式を書き写しながら通読し、疑問点などを整理して、講義中に質問する こと。(2時間程度)

事後:自身で数式を作成したり、そのグラフや相線を描いたりして理解を深めること。(2時間程度)

テキスト

チームカルポ著「Python 統計分析&機械学習マスタリングハンドブック」秀和システム、2023年

参考書・参考文献・参考資料等

幸谷智紀「Python 数値計算プログラミング」講談社、2021年

成績評価の方法・基準

試験(70%)とレポート(30%)により評価する

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名	
人工知能特論	1・2 年生	選択	2 単位	ディンダ プラマンタ	

授業の到達目標及びテーマ

現在、人工知能技術は私たちの生活のあらゆる領域で使用されている。学則第3条を踏まえ、本授業では深層学習の畳み込みニューラルネットワークと深層強化学習を中心に取り上げる。さらに、アルゴリズム表現や数式を用いて具体的な処理過程を説明し、Pythonを利用した AI プログラミングの応用例に触れ、これらの技術が実生活にどのように密着しているかを垣間見ることを目指する。

授業の概要

本授業では、深層学習の畳み込みニューラルネットワーク (CNN) や深層強化学習について講義および討論を行う。それ以外は、プリントを配布し関連する論文レビューも行う。

授業計画

- 第1回 人工知能の歴史、研究分野
- 第2回 パーセプトロン
- 第3回 論理回路の問題
- 第4回 活性化関数
- 第5回 畳み込みニューラルネットワーク:単純なネットワークモデル
- 第6回 畳み込みニューラルネットワーク:畳み込み層
- 第7回 畳み込みニューラルネットワーク:プーリング層
- 第8回 畳み込みニューラルネットワーク: Alex と VGG ネットワークモデル
- 第9回 論文レビュー
- 第10回 深層強化学習
- 第11回 深層強化学習の DeepQLearning (DQN)
- 第12回 DQN:基礎的な理論
- 第13回 DQN:エージェントの定義
- 第14回 DQN: OpenAI Gym の環境
- 第 15 回 「人工知能はどこに向かうのか」(Society 5.0)

履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)

事前学習に関しては、各授業回の見出しはテキストの各章に対応しているので、テキストの該当箇所を通読 しておくこと。(各回ごとに 2.0h)

事後学習に関しては、授業で学んだことを整理し、各自の研究生活へ役立てていくこと。(各回ごとに 2.0h)

テキスト

J. Krohn (著), 鈴木 賢治 (監修), 清水 美樹 (翻訳)「Python, TensorFlow で実践する深層学習入門: しくみの理解と応用」東京化学同人、2022 年

参考書・参考文献・参考資料等

小林一郎著「人工知能の基礎」サイエンス社、2008年

小高 知宏「基礎から学ぶ人工知能の教科書」オーム社、2019年

成績評価の方法・基準

テスト(70%)とレポート(30%)により評価する。

講義等の内容(博士前期課程)

【経営・マネジメント部門】

【経営・マネジメン	7卜部門】
授業科目名 (担当者名)	講義等の内容
演習 I 特別演習 I (遠藤真紀)	コロナ禍や物価上昇等への対応など企業の経営環境は激変しており、市場環境の認識と経営戦略の重要性が増している。演習 I では、様々な企業の具体的な事例(社会人においては自社の経営戦略等)について考察し、基本的な戦略理論について概観・理解するとともに、修士論文のテーマ設定に必要な研究を行う。特別演習 I では、自身の研究テーマに必要な文献・資料の収集・考察等を通して、問題意識(仮説・視座等)の設定・明確化と修士論文の骨子について検討する。 机上での学習・研究だけでなく、必要に応じてフィールドワーク等を行う事がある。
演習 I 特別演習 I (小川雄平)	経済のグローバル化が進展した結果、企業経営は、変化の激しい経済環境に対応した国際経営戦略の下に遂行せざるを得なくなっている。演習 I では、多くの日本企業が事業展開している東アジア地域を中心に、企業を取り巻く国際経済環境を考察し、それに対応する企業の国際経営戦略を理論的・実証的に検証する。 特別演習 I では、各自の個別研究課題の設定・明確化を図り、修士論文のスケルトンの作成を目指す。
演習 I 特別演習 I (片山准一)	現代の企業経営は、周りの環境も含めて高度化・専門化・複雑化してきている。こうした状況を踏まえて、具体的な事例を挙げながら研究指導にあたりたい。各自の研究テーマに沿った形で研究指導していきたい。
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (遠藤真紀)	演習 I および特別演習 I で設定した各自の問題意識(仮説,視座等)を掘り下げるとともに,修士論文作成に必要な分析・検証手法を含めた研究方法等について指導する。文献・資料やフィールドワーク等を通して得られた情報を考察していき,修士論文の完成を目指す。
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (小川雄平)	演習 I・特別演習 I で設定・明確化した各自の個別研究課題を深く掘り下げ、 先行研究を検証した上で、修士論文の完成を目指す。
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (片山准一)	演習I及び特別演習Iで基礎部分を構築し、本演習では修士論文作成に向けて指導を行う。

【税法・会計部門】

【税法・会計部門】	
授業科目名(担当者名)	講義等の内容
演習 I 特別演習 I (春日克則)	税務会計は、会計研究者から「会計によって計算された金額に加算・減算を行うだけの別表上の技術にすぎない」との批判がなされる場合がある。しかし、法人税法では 22 条において税法固有の課税所得計算原則を定めている。そこで、隣接諸科学との対比、とりわけ租税法および財務会計との比較を通じながら、所得概念、資本概念等の基礎的な税務会計の知識の習得と、修士論文の作成に必要な問題意識の醸成を目的としている。特別演習 I は、「演習 I」に引き続き修士論文の作成に必要な問題意識の明確化、先行研究のレビュー、そして当該先行研究に対する自らの研究の位置付けを行っていく。
演習 I 特別演習 I (末永英男)	特別演習 I では、実際に自分の研究課題について取り組んでもらい、自身の研究課題と研究計画のアップデートを計画的に行っていく。その際、資料収集の方法等の指導も行う。 研究とは、基本的には一人で行うものであるが、対話により発展するものでもある。院生同士、あるいは教員と自由闊達に議論を行うことで、院生自身の知識の定着と、知識の論理への発展を期待する。
演習 I 特別演習 I (平山誠一郎)	演習 I では、主要な裁判例を基に討議を行う。そのため、判決文(原文)を 第一審から読み、基礎事実、争点及び争点に対する原告・被告双方の主張並び に裁判所の判断(法令解釈、事実認定、あてはめ)を整理し、理解しておく。 特別演習 I では、修士論文の研究テーマに関する条文・定義の理解、関連文献 の収集・検討、論点整理等に取り組む。
演習 I 特別演習 I (福浦幾巳)	演習 I・特別演習 I では、各自のテーマとする取り組んだ研究課題について、自身の研究課題に従った研究計画を前提として、随時、資料収集、文献レビュー等の指導も行う。 研究には、研究課題を設定するリサーチクエスチョン(問い)が必要である。 それは、院生同士の基礎知識の確立、さらには教員と共有することにより広範な議論として発展・昇華するものでもある。
演習 I 特別演習 I (山下壽文)	会計基準のグローバル化のもとでわが国の会計基準がどのように変容したか、国際会計基準とわが国の会計基準の比較検討を行うことにより検証する。その際に、会計基準設定の基礎となる会計公準と会計原則の構造および「概念フレームワーク」について、その前提となるアプローチ(収益費用アプローチから資産負債アプローチへの展開)と関連づけて考察する。
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (春日克則)	演習Ⅱと特別演習Ⅱは、修士論文の作成(完成)を目的としている。 具体的には、①自らの研究に係わる先行研究を過不足なく取り上げること、 ②仮説の提示、③論文の中核である仮説の検証・論証テスト、④結論、の各要素を意識しながら仕上げることである。なお、論文には、結論の新規性、分析の独自性、そして、インプリケーションが求められていることも念頭に置く必要がある。

授 業 科 目 名 (担当者名)	講義等の内容
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (末永英男)	演習Ⅱおよび特別演習Ⅱでは、指導教員の指導を受けながら修士論文の作成に取り組んでもらう。 具体的には、修士論文の作成に必要な事項や留意すべき点について講義中に 指導をし、また、論文を実際に作成しながらそれらを習熟してもらうことで、 修士の学位に相応しいのみならず、社会一般に寄与するような研究を目指して もらいたい。
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (丹羽崇之)	演習Ⅱ・特別演習Ⅱでは、各人の研究課題を探求し、修士論文に結実させる。 租税法の基本原理から出発し、先行研究を網羅的に検討したうえで、租税法解 釈学の発展を目指すことになる。なお、租税法の正確な理解のためには、隣接 諸科学に関する知識と理解が不可欠であることを銘記しておかなければなら ない。
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (平山誠一郎)	演習Ⅱ及び特別演習Ⅱでは、各人の研究課題について、先行研究の検討、裁判例の分析、問題点の検証などを行い修士論文の完成を目指す。
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (福浦幾巳)	演習Ⅱ・特別演習Ⅱでは、演習Ⅰ・特別演習Ⅰを通して、指導教員の指導を受けながら修士論文の作成に取り組んでもらう。 具体的には、修士論文の作成に必要な資料収集、文献レビュー等による事項の比較、対照に留意しながら論文の作成を行っていく。修士論文は、課程の専門的な文献レビュー等の習熟、批評のみならず、学位に相応しい、社会一般に寄与する研究であることを心がけていただきたい。
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (山下壽文)	わが国の会社法会計、金融商品取引法会計および税務会計の比較検討をとおしてわが国の制度会計の体系を考察する。とくに、シャウプ勧告にもとづく戦後税制改革において会計基準が果たした役割、法人税法第 22 条の公正処理基準との関係について検証する。なお、公表財務諸表についての分析手法についても併せて検討する。

【情報・データサイエンス部門】

授 業 科 目 名 (担当者名)	講義等の内容
演習 I 特別演習 I (麻生隆史)	近年、情報技術が様々な分野で普及している中、その基礎理論をアナログとディジタルを比較することにより学ぶ。その際、ディジタル信号処理の基本的な概念を中心に、具体例を挙げて説明し、さらに情報機器を使用して実践的にシミュレーションを行う。また、研究を進めるにあたっての必要な文献調査の方法や論文の読み方を指導する。
演習 I 特別演習 I (車炳玘)	演習 I では、最近インターネット技術の進歩やパソコンおよびデジタルカメラの普及により多くの分野において情報発信手段として用いられているカラー画像の処理技術、つまりデジタル画像処理の基盤技術およびその最新研究動向を把握するのを目的とする。また、MATLAB による画像情報処理の基礎的な関数について演習を行う。

授業科目名(担当者名)	講義等の内容
演習 I 特別演習 I (荒平高章)	工学的手法や情報学的手法は、様々な分野で使用され、新たな技術が次々と 創出している.そこで、これらの手法を用いて生体医工学・生体情報学に関連 する諸問題にアプローチする研究を実施する.具体的には、組織工学に基づく 材料設計、in vitro 実験、生体工学に基づく数値解析などである.
演習 I 特別演習 I (宮﨑武)	高度情報化社会において、プライバシーを守り安全な情報機器の利用には、情報セキュリティ技術及びこれを支える基盤技術の一つである擬似乱数生成技術が欠かせない。これらの技術について実際に計算機上で実装し動作させた上で様々な解析を行い、得られたデータを分析することや理論的な解析結果との比較を行い、知識と解析手法について学ぶ演習を行う。
演習 I 特別演習 I (ディンダ プラマンタ)	Society 5.0 において実現される社会は、IoT (Internet of Things) によってすべての人と物がつながり、さまざまな知識や情報が共有され、人工知能のソフトウェア・ハードウェアが高速処理と高度な精度を重視する。本演習では、人工知能の応用の中で高速処理と高度な精度を目指し、人間情報学や情報工学に関連するさまざまな問題にアプローチする研究が行う。具体的には、深層学習モデルの設計やシミュレーションが行う。
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (麻生隆史)	情報技術を駆使して実際に利用されているソフトウェア・ハードウェアを調査し、プログラミング技術やハードウェアの開発プロセスを学び、それをどのような手法を用いて応用するかを指導する。特にソフトコンピューティングの基礎については詳細に説明する。同時に文献調査や英文論文読解も行う。また、情報科学の分野における論文作成手法を指導する。
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (車炳玘)	演習Ⅱでは、演習Ⅰに引き続き人間の色覚情報に基づいたデジタル画像処理に関する演習を行う。具体的には、画像の特徴抽出及び領域分割、色変換などの諸手法について MATLAB を用いて演習を行い、色覚バリアフリー社会の実現に向けた高汎用性の新しい手法の提案を試みる。
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (荒平高章)	演習 I・特別演習 I を受け、自身の研究内容について国内外での位置づけを明確にした上で、引き続き研究を継続し、実験データを整理し、考察を進める. 得られた結果をもとに国内外の学会での発表や論文投稿を積極的に行う.
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ (宮﨑武)	演習 I・特別演習 I を受け、自身が取り組んでいる研究内容にもこれらの解析手法を適応し、更に研究を進めるために必要な実験や考察を自ら提案し研究を進めていく。また得られた結果をもとに国内外の学会での発表や論文投稿を積極的に行う。
演習Ⅱ 特別演習Ⅱ ^{(ディンダ} プラマンタ)	演習 I・特別演習 I を修了した後、自身の研究内容を国内および国際的に明確に位置づけ、研究を継続し行う。提案手法の有効性は処理時間、精度、および消費電力を検証し、その結果をもとに考察を進む。得られた結果をもとに、国内および国際の学会で積極的に発表し、論文を投稿する予定。

大 学 院

(博士後期課程)

2024(令和6)年度 博士後期課程 開設授業科目

	授業科目の名称		職名担当教員		授業を行う	単 位 数		1111 Av
					年次	必修	選択	備考
		経営学特別研究	教 授	片 山 准 一	1 • 2 • 3		2	
		日本経営史特別研究	非常勤講師	加来祥男	1 • 2 • 3		2	
		経営管理特別研究	非常勤講師	井 上 善 海	1 • 2 • 3		2	
		財務管理特別研究	教 授	片 山 准 一	1 • 2 • 3		2	
		経営戦略特別研究	教 授	遠 藤 真 紀	1 • 2 • 3		2	
		中小企業特別研究	非常勤講師	井 上 善 海	1 • 2 • 3		2	
	経	国際経営特別研究	教 授	小 川 雄 平	1 • 2 • 3		2	
	営	会計情報学特別研究	教 授	山下壽文	1 • 2 • 3		2	
授	情	会計監査論特別研究	非常勤講師	伊藤龍峰	1 • 2 • 3		2	
業	報学	税務会計特別研究	教 授	春日克則	1 • 2 • 3		2	
科	升	税法学特別研究	教 授 教 授	末 永 英 男 福 浦 幾 巳	1 • 2 • 3		2	
目	目	民法特別研究	教 授	丹 羽 崇 之	1 • 2 • 3		2	
	群	情報科学特別研究	教 授	車 炳 玘	1 • 2 • 3		2	
0		情報片、77特別研究	教 授	麻生隆史	1 • 2 • 3		2	
概		情報セキュリティ特別研究	教 授	車 炳 玘	1 • 2 • 3		2	
要		情報・信号処理特別研究	教 授	麻 生 隆 史	1 • 2 • 3		2	
		数值解析特別研究	准 教 授	荒 平 高 章	1 • 2 • 3		2	
		応用数値解析特別研究	教 授	車 炳 玘	1 • 2 • 3		2	
		人工知能特別研究	准 教 授	荒 平 高 章	1 • 2 • 3		2	
		演習 I 経営・マネジメント部門	〇小川雄平	〇片 山 准 一				
		税法・会計部門	○春日克則	〇末 永 英 男				
	演		○福浦幾巳	〇山 下壽文	1	4		
	習	情報・データサイエンス部門	〇麻 生隆 史	○車 炳 玘				
	П		〇荒 平 高 章					
		演習Ⅱ		に同じ	2	4		
		演習Ⅲ	演習I	に同じ	3	4		

注:○印は「研究指導教員」

講義等の内容(博士後期課程)

授業科目名	講義等の内容
経営学特別研究 (片山准一)	経営学における主要なテーマ (コーポレート・ガバナンス、企業の社会的責任、ビジネス倫理等) について考察する。
日本経営史特別研究 (加来祥男)	第2次世界大戦後の日本企業の発展とその仕組みにみられる特徴を、生産システム、雇用システム、株式会社制度を中心に、国際比較を念頭におきながら考察する。
経営管理特別研究 (井上善海)	経営管理論を構成する主要素である経営戦略,経営組織を中心に,経営計画や意思決定と経営情報システムなどの諸要素について考察する。
財務管理特別研究 (片山准一)	戦後日本に於ける株式会社の所有と支配構造の変遷過程を商法(会社法) と関連付けながら歴史的・論理的に分析を行う。
経営戦略特別研究 (遠藤真紀)	With コロナや物価上昇等への対応など企業の経営環境は激変しており、市場環境の認識と経営戦略の重要性が増している。基本的な戦略理論について概観・確認するとともに、様々な企業の具体的な事例(社会人においては自社の経営戦略等)について、論理的・実証的な考察を進める。机上での学習・研究だけでなく、必要に応じてフィールドワーク等を行う事がある。
中小企業特別研究 (井上善海)	中小企業の歴史的な変遷および国際比較を行いながら、中小企業の存在意 義について、特に中小企業が地域経済の担い手やグローバル化に寄与してい ることについて考察する。
国際経営特別研究 (小川雄平)	グローバル化が進展した世界経済の現状の分析・把握と、それに伴う変容著しい国際経営環境に日々直面・対応している個別企業の国際経営戦略を理論的・実証的に考察する。
会計情報学特別研究 (山下壽文)	国際会計基準とわが国の会計基準の比較検討を行う。まず、概念フレームワークの構造とそのアプローチ(費用収益アプローチ・資産負債アプローチ)の検討、次に国際会計基準とわが国会計基準の相違点の検証、さらに国際会計基準によるわが国の制度会計への影響を分析する。また、わが国の制度会計における企業会計(会計基準など)と法人税法の公正処理基準との関係について考察する。
会計監査論特別研究 (伊藤龍峰)	我が国の会計監査論の先行研究を整理しながら、企業の財務諸表に対する 公認会計士・監査法人による監査制度を中心に、その問題点を検討・解明し ます。絶えず、財務諸表監査制度の本質とは何かという問題意識を持ちなが ら研究を進めてください。

授業科目名	講義等の内容
税務会計特別研究 (春日克則)	近年、営利法人と非営利法人の活動領域の重なりが拡大するなか、これまでは利益の獲得を主たる目的としないために、非営利法人の利益計算がタブー視されてきた。さらに、法人税法の分野においても、非営利法人の収益事業課税について34種を限定列挙する現行方式や、資本を定めないままに行う課税所得計算の非論理性が明らかになってきている。 そこで、本研究では、限界を迎えつつある非営利法人の収益事業課税について、その基礎理論である会計主体論および資本概念を研究するものである。本研究を通じて、より高度な複合的専門職業人並びに研究者の養成(デュプロマ・ポリシー)に寄与することを目標としている。
税法学特別研究 (末永英男)	実体法や手続法その他関連する法分野について総合的に学び、視野の広い博士論文を完成させるための基礎づくりを本講義のテーマとする。新しい課題に積極的に取り組みながら、租税法原理を理解することを到達目標とする。講義内容は、わが国法人税制全般について、歴史、租税法、判例、租税理論、会計理論に基づいたアプローチで検討を行う。授業の中で租税法の思考方法が学べるように、またそれが論文に活かせるように考える力を養いたい。租税法は法であり税であるので、民法・会社法や租税理論(財政学)の基本的知識を必要とする。したがって、幅広い勉強を期待したい。判例や通達等については、必要に応じ適宜対応する。
税法学特別研究 (福浦幾巳)	博士課程では、高度な専門知識及び研究活動はもとより、独創的な知見が求められる。そのためには、租税を取り巻く実体法や手続法その他関連する法分野について総合的に学び、視野の広い論文を完成させるための基礎づくりが必要である。したがって、本研究では新規の課題に積極的に取り組みながら、租税法原理を理解することを到達目標とする。 講義内容は、租税法全般の歴史、法的枠組み、判例を前提に、理論・制度・政策に基づいたアプローチで検討を行う。講義では租税法の思考方法が学べるように、またそれが論文に活かせるように考える力を養っていただく。なお、租税法は、民法・会社法や租税理論(財政学)の基本的知識も必要とするので幅広い研究を期待する。判例や通達等については、必要に応じ適宜対応する。
民法特別研究 (丹羽崇之)	英仏契約法・財産法・不法行為法の古典的判例、論文を講読し、その歴史的意義、実体法理の形成、さらにわが国の判例法理、学説の発展に与える影響を考察する。
情報科学特別研究 (車炳玘)	大量の情報がネットワーク上に存在し、今後も爆発的に増大する。広大な情報の海から、求める情報を捜し出すために、膨大な情報を収集・分析し、再構築する必要がある。ネットワークの広域性、データの多様性・分散性・不均一性を考慮した広域情報検索システムについて研究する。また、ネットワーク接続された計算資源を用いて大規模分散計算を行う Grid コンピューティングの研究も行う。国内外の研究組織とも協力しつつ、計算問題分割、計算資源の分散管理、自動スケジューリング等を研究する。
情報メディア特別研究 (麻生隆史)	ディジタル画像処理に関する様々な研究をまとめ、演習・シミュレーションで得られた成果を基に、論文作成のための研究のまとめ方、研究の細部に関する検証、情報科学の分野での直近の研究成果の調査をする。

授業科目名	講義等の内容
情報セキュリティ特別研究 (車炳玘)	組織における情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の設計・導入・運用・見直しについて事例を中心に考察する。
情報·信号処理特別研究 (麻生隆史)	多くの実験データには様々なノイズが乗る為,フィルタを通すなどそれぞれ適切な処理を実施することでノイズを除去し,その後何らかの知見を得る為のデータ処理を行っている。各自の研究テーマの関連研究においてどのような情報処理もしくは信号処理を利用しているかについて議論し,情報処理および信号処理についての理解を深める。
数値解析特別研究 (荒平高章)	自然科学系では偏微分方程式等で記述された数理モデルが多く存在し、その数値解析手法もかなり確立されている。近年では、社会科学系についても同様なモデル化が盛んに行われている。数値解析特別研究では、このような数理モデルについて色々な基準による分類を試み、それらの特徴や一般的な解法、解析条件などについて調査研究する。また、楕円型 Laplace 方程式について、数値解析手法の1つである有限要素法の代表的な離散化手法を修得し、具体的な境界値問題について解析システムを利用したシミュレーションを試みる。
応用数値解析特別研究 (車炳玘)	数値解析特別研究を踏まえて、自然科学系では数多く利用されている微分 方程式の解の振る舞いの求め方について調査研究する。解の周期性や安定性、 カオスなどについて検討し、それぞれ実世界でどういう事例の数理モデルと なるかなどについても深く考察する。
人工知能特別研究 (荒平高章)	1950 年代頃から本格的に発展してきた人工知能技術は、今日も様々な分野で応用されている.本研究は、どのような人工知能技術があるかについて、様々な分野の研究事例を通して議論し、考察をすすめる。

【経営・マネジメント部門】

授業科目名	講義等の内容
演習 I (小川雄平)	各自の研究テーマの具体化・明確化を図り、修士論文を再検討してリライトし、学会誌・学術誌への掲載に堪える論文に仕上げることを目標とする。 そのための文献・資料の収集・解析等研究の進め方を指導する。
演習 I (片山准一)	修士論文の再検討及び、特別研究において指導した内容から、各自のテーマを選別し、それに沿って研究指導を行う。

授業科目名	講義等の内容
演習Ⅱ (小川雄平)	演習 I に引き続いて研究の進め方を指導し、研究成果を関係学会で報告させる。学会報告の内容を基にした学術論文をもう一編完成させることに目標を置いて指導する。
演習Ⅱ (片山准一)	演習Iで構築した研究成果を発展させるべく、様々な文献収集を通してより高次な研究指導を行う。
演習 Ⅲ (小川雄平)	演習 I 及びII で作成した 2 編の学術論文を核に学位論文のスケルトンを検討・確立し、関係学会での報告を経て、学位論文にまとめ上げるように指導する。
演習 Ⅲ (片山准一)	演習 I・Ⅲで培った研究成果を学位論文として纏め上げられるよう、論文 指導を行う。

【税法・会計部門】

授業科目名	講義等の内容
演習 I (春日克則)	近年、会計基準のコンバージェンスにより、税務会計と財務会計(報告)との差異が鮮明となっている。そのため、法人税法 22 条 4 項の公正処理基準について、研究者からは確定決算主義を廃止すべき旨の主張がなされ、判例においても公正会計基準と税会計処理基準(ビックカメラ事件)との分離が示されている。このような状況下において、税務会計と財務会計とのあるべき関係性(協調、補完、あるいは独立)について議論を深めて行きたい。そのために、演習 I では、税務会計と財務会計(報告)のそれぞれについての先行研究について考察する。
演習 I (末永英男)	資料収集と先行研究の検討を行いながら、博士号論文のテーマの決定を行い、定期的に研究内容について報告を受け、討論していく。その上で、論文の全体構成を完成させる。義務としては、学会報告1回と査読論文1本の完成を目指す。
演習 I (福浦幾巳)	資料収集と先行研究の検討を行いながら、博士号論文のテーマの決定を行い、定期的に研究内容について報告を受け、討論していく。その上で、論文の全体構成を完成させる。義務としては、学会報告1回と査読論文1本の完成を目指す。
演習 I (山下壽文)	博士論文作成に必要な会計理論に関する体系的知見の整理と深化を目的とする。そのため、「古典的アプローチ」と対比しながら、「意思決定有用性アプローチ」の特徴を整理し、「財務会計概念フレームワーク」の主要な論点、とりわけ「公正価値会計」に関する理論的研究を深める。

授業科目名	講義等の内容
演習Ⅱ (春日克則)	演習Ⅱでは、演習Ⅰの考察を踏まえ、税務会計と財務会計との関係性が、 各時代においてそれぞれどのように把握されていたかについて研究して行 く。
演習 II (末永英男)	演習IIでは、引き続き博士論文の作成に取り組んでもらう。また、適宜最新判例や、学術論文、税制改正等について対話をすることで、博士論文作成に必要な租税制度に関する体系的知見を習得させる。 さらに、年1のペースで査読論文の作成、学会報告を目指し、計画的に研究を進捗させていく。
演習 II (福浦幾巳)	演習Ⅱでは、引き続き博士論文の作成に取り組んでいく。また、適宜最新判例や、学術論文、税法改正等について重ねることで、博士論文の作成に必要な体系的知見を習得させていく。 さらに、年1のペースで査読論文の作成、学会報告を目指し、計画的に研究を進捗させていく。
演習 II (山下壽文)	博士論文作成に必要な会計制度に関する体系的知見の整理と深化を目的とする。そのため、わが国とアングロ・アメリカン系主要諸国における会計規制、コーポレート・ガバナンスの相違と国際的な趨勢について整理し、会計のグローバル化に関する理論的研究を深める。
演習 Ⅲ (春日克則)	演習Ⅲでは、課税所得計算原理を追求する税務会計と、意思決定有用性を 指向する財務会計とを統合することの可能性について探ることとしたい。
演習 Ⅲ (末永英男)	演習Ⅲでは、論文の作成方法や研究方法について、受講生の特性に応じた個別指導を行い、質的に高いレベルの学位論文の完成を目指す。授業では、問題意識をもって発表とディスカッションを毎回行いながら論文の構成や質を高めていく。
演習 Ⅲ (福浦幾巳)	演習Ⅲでは、論文の作成方法や研究方法について、受講生の特性に応じた個別指導を行い、質の高いレベルの学位論文の完成を目指す。講義では、問題意識をもって発表とディスカッションを毎回行いながら論文の構成や質を高めていく。
演習 Ⅲ (山下壽文)	演習 I および演習 II における「意思決定有用性アプローチ」、わが国の会計制度および会計のグローバル化の研究を土台に据えながら、博士論文のテーマをもとに論文作成指導を行う。その際、博士論文作成者の研究テーマに関する研究報告とそれに対するディスカッションを中心にして進める。

【情報・データサイエンス部門】

授業科目名	講義等の内容
演習 I (麻生隆史)	情報科学の分野でも近年特に注目を浴びている、ディジタル画像処理技術を詳細に解説する。特にフィルタリング処理や領域分割等を学び、それをディジタル画像処理へ応用しシミュレーションする。その際必要である様々なプログラミング技術(MATLAB 等を含む)もあわせて学ぶ。さらに論文作成に必要な様々なアイデアを討論し、研究の進め方を指導する。

授業科目名	講義等の内容
演習 I (車炳玘)	インターネット技術や計算能力の進化に伴い、高機能、高性能の知的情報 処理に関する研究にますます関心が高まっている。演習 I では、人間の視聴 覚情報処理に関する最新の研究動向について視野を広げるために、画像、映 像、音声などを中心とするメディア情報の知的処理に関する基礎理論や先端 技術等について知識を広め、研究に必要な基礎知識を習得する。
演習 I (荒平高章)	工学的手法や情報学的手法は、様々な分野で使用され、新たな技術が次々と創出している。そこで、これらの手法を用いて生体医工学・生体情報学に関連する諸問題にアプローチする研究を実施する。具体的には、組織工学に基づく材料設計、in vitro 実験、生体工学に基づく数値解析などである。
演習Ⅱ (麻生隆史)	高度なディジタル画像処理技術を詳細に解説する。特にニューラルネットワーク、ファジィ理論、カオス理論等のソフトコンピューティング技術を学び、それをディジタル画像処理へ応用しシミュレーションする。FPGA等を用いたハードウエア技術もあわせて学ぶ。さらに論文作成に必要な様々なアイデアをさらに討論し、高度な研究の進め方を指導する。
演習Ⅱ (車炳玘)	演習Iで習得した知識をベースに博士後期課程で行う研究のテーマを決め、その関連資料の収集及び輪読、追実験などを中心に研究を進めるとともにその研究成果を随時論文にまとめ、発表する。また、研究課程で出てきた諸問題点の検討および改良を行う。
演習Ⅱ (荒平高章)	演習 I を受け、自身の研究内容について国内外での位置づけを明確にした上で、引き続き研究を継続し、実験データを整理し、考察を進める. 得られた結果をもとに国内外の学会での発表や論文投稿を積極的に行う.
演習 Ⅲ (麻生隆史)	ディジタル画像処理に関する様々な研究をまとめ、演習・シミュレーションで得られた成果を基に、論文作成のための研究のまとめ方、研究の細部に関する検証、情報科学の分野での直近の研究成果の調査をする。さらに論文作成に必要な様々なアイデアを再検討し、より高度な研究の進め方・まとめ方を指導する。具体的には、研究の新規性・学術的なレベル・社会への貢献等を検証する。
演習 Ⅲ (車炳玘)	演習Ⅱで進めてきた研究をまとめ、研究成果を学会発表及びジャーナル論 文として投稿する。また、研究課程で出てきた諸問題の改良を進めるととも に知的メディア情報処理に関する知見をまとめ、より高度な知的処理手法の 開発を目指す。
演習 Ⅲ (荒平高章)	演習Ⅱを受け、博士論文執筆のために自身の研究内容について国内外での位置づけを明確にした上で、必要な実験データを取得・整理し、考察を進める. 得られた結果をもとに国内外の学会での発表や論文投稿を積極的に行う.

□ 専任教員

□ 學仕教員	
氏 名	担 当 科 目 【青字:博士後期課程科目】
麻 生 隆 史	情報メディア特論。演習 I・Ⅱ,特別演習 I・Ⅱ 情報メディア特別研究。情報・信号処理特別研究。演習 I・Ⅱ・Ⅲ
小 川 雄 平	国際経営特論, ロジスティクス特論, 演習 I・II, 特別演習 I・II 国際経営特別研究, 演習 I・II・II
遠藤真紀	経営戦略特論, ベンチャー企業特論, 演習 I・Ⅱ,特別演習 I・Ⅱ,経営戦略特別研究
春日克則	税務会計特論,演習Ⅰ・Ⅱ,特別演習Ⅰ・Ⅱ,税務会計特別研究,演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
片山 准一	経営学特論,財務管理特論,演習 I·Ⅱ,特別演習 I·Ⅲ 経営学特別研究,財務管理特別研究,演習 I·Ⅲ
末永英男	税法学特論Ⅲ(法人税法①),税法学特論Ⅳ(法人税法②·消費税法),演習 I·Ⅱ,特別演習 I·Ⅱ 税法学特別研究,演習 I·Ⅲ·Ⅲ
車 炳 玘	情報ネットワーク特論, 数値解析特論, 演習 I・II, 特別演習 I・II 情報科学特別研究, 情報セキュリティ特別研究, 応用数値解析特別研究, 演習 I・II・II
丹羽崇之	税法学特論 V (相続税法·手続法·争訟法),民法特論,演習 Ⅱ,特別演習 Ⅱ,民法特別研究
平山 誠一郎	税法学特論 I (租税法総論),税法学特論 II (所得税法),演習 I • II,特別演習 I • II
福浦幾巳	演習Ⅰ・Ⅱ,特別演習Ⅰ・Ⅱ,税法学特別研究,演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
山下 壽文	会計情報学特論,演習Ⅰ・Ⅱ,特別演習Ⅰ・Ⅱ,会計情報学特別研究,演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
吉 野 正	会社法特論,民事・行政訴訟特論
荒 平 高 章	情報科学特論, データ解析特論, 演習 I・Ⅱ, 特別演習 I・Ⅱ 数値解析特別研究, 人工知能特別研究, 演習 I・Ⅱ・Ⅲ
宮 﨑 武	情報セキュリティ特論,データベース特論,演習Ⅰ・Ⅱ,特別演習Ⅰ・Ⅱ
〒゜ィンタ゜ フ゜ラマンタ	人工知能特論,演習 I • Ⅱ,特別演習 I • Ⅱ

口 非常勤講師

氏 名	担当科目 【青字:博士後期課程科目】
伊藤龍峰	会計監査特論, 会計監査論特別研究
井上 善海	経営管理特論,中小企業特論,経営管理特別研究,中小企業特別研究
加来祥男	日本経営史特論,日本経営史特別研究
岸川洋	経営情報システム設計特論
黄 在 南	経営組織特論
福山博文	経営科学特論

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表≪省令で定める単位数等の基準数相当分≫

担当教員名	科目名	学科	履修学年 時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
秋吉浩志	デジタルビジネス論	共通	2年生後期	選択	2	デジタルビジネスに関わっている、例えば企画、イベント業務、法 律、教育分野など多岐にわたる実務経験を中心に講師が講義を行 う。		本学の建学の精神を基盤としたカリキュラムポリシーに基づいた授業を展開する。前半はデジタル社会におけるWebサービス・広告&マーケティングの基礎を展開し、中盤は広告計画、実践、後半はWebサービスの変化をより具体的に説明を行う。さらにはWebサービスを通じた社会的な問題もとりあげる。
秋吉浩志 中島直樹 宮崎武	eスポーツ概論 (特別実習・講義(情報) e スポーツ概論)	共通	2年生後期	選択	2	eスポーツ業界で企画、イベント業務、法律、教育分野など多岐に わたる実務経験のある講師がオムニバスで講義を行う。	外部講師のときは、ディベート、グループワーク、グループ発表、個人発表発表などを中心に進行していく。	欧米で小規模コミュニティのイベントとしてスタートし、プロ化、そしてグローバル&拡大ビジネス化したeスポーツの成立から発展の歴史を詳しく学び、海外の流れと、その動きに乗り遅れたにもかかわらず飛躍的な拡大路線を取り始めた日本の状況を紹介する。eスポーツ主要競技の流れについても学び、eスポーツの特徴も理解する。メディア、行政、法律、教育分野、既存のフィジカルスポーツ団体等を巻き込みながら日々益々拡大する。さらにはeスポーツを取り巻く情報システムやゲームプログラミングの世界についても紹介したい。そして、eスポーツの過去と現在の理解を深め今後についての考察を行えるようにすることを目的とする。また、建学の精神や特にカリキュラムポリシーに沿って、IT業界で活躍できる広く多様性ある人材づくりを目指すものである。
井上 善海	経営組織論	共通	2年生後期	選択	2	企業経営者11年 経営コンサルタント9年	企業の経営戦略や経営組織等,経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。	日常生活の中で、私たちは様々な「組織」に関わり生活をしています。しかし、日常的経験があるが故にかえって深く考えることをせず、その結果として、本質的な理解が妨げられることも多いのではないでしょうか。この授業では、本学の建学の精神をふまえつつ、そのなかのカリキュラムボリシーに基づき、経営組織論の概念をもとに個人、集団、組織全体についての考察を進め、現代社会における「組織」の諸側面を深く理解すると同時に、組織における個人・集団の振る舞いや、経営組織の活動の背後にある意味を洞察する力を磨いていくことをめざします。さらには組織はすでに市場との密接な関係が深まり、消費者も組織の中に組み込まれています。そのような仕組みを「気づかせる」ことに目的を持っています。
井上 善海	経営情報学Ⅱ	共通	2·3年生 後期	選択	2	企業経営者11年 経営コンサルタント9年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等,経営コンサルタント の実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。	経営コンサルタントの実務経験がある教員が、経営環境の変化や情報技術の進展により、情報通信技術がどのように発展してきたかを解説することにより、各情報通信技術の利点・欠点・留意点について学修する。
大多 正人 鈴木 和也	キャリアデザインI	共通	1年生前期	必修	2	4回〜第13回まで外部講師を招き、様々な視点からの経験を学生たちに提供します。大学・短期大学校でのキャリア教育や産業カウンセラー、キャリアコンサルタント養成講座での指導者、自衛隊での職場体験学習を通して社会人基礎力の構築に従事した指導者、福岡	担当講師の講義では、「主体性を発揮し、行動する」「課題発見力を養う」「傾聴力を養う」といった社会人基礎力の能力要素に焦点を当てています。クラス別のグループワークを通じて社会人と学生の違いを理解し、実社会で必要な基礎力を学びます。第4回~第13回では、企業等の外部講師を招いてオムニバスで実施され、学生たちには実践的なキャリアデザインの知識やスキルが提供されます。	経済産業省が提唱する「社会人基礎力」は、職場や地域社会での多様な人々との協働に必要な基本的な力を指し、それは「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力から成り立っています(12の能力要素含む)。この授業では、特に「主体性を発揮し、行動する」「課題発見力を養う」「傾聴力を養う」の能力要素に焦点を当て、クラス別のグループワークを通じて社会人と学生の違いを理解し、実社会で求められる基礎力を学びます。外部資源を活用し、個々の学生が主体的に将来のキャリアを築くプロセスに重点を置きます。担当教員のサポートを得ながら、自己の能力向上と成長を遂げ、将来の社会で要求される力を身に付けます。この講座では、ディプロマポリシー間を目指し、建学の精神を理解し、主体的に実践できる姿勢や社会人として必要な態度を身につけます。同時に、カリキュラムポリシー」とVIも取り組んでいます。様々なワークを通じて、学生は考え行動し、協働して成果を生み出す力を育て、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけます。学生は自分の将来を「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、自分に合った進路を選ぶ力を養います。この講座は、知識だけでなく、自己管理や協力能力などの実践的なスキルを重視し、学生が将来の目標に向けて主体的に動けるようサポートします。
大多 正人 鈴木 和也	キャリアデザインⅡ	共通	1年生後期	必修	2	る傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。 豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功 するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第4回〜第5 回は、企業等の外部講師を招いてオムニバスで実施する授業です。 担任講師は、福岡県中小企業家同友会 共育委員会に属し、「労使		業後のイメージを描くと同時に、その目標に向けて今から取り組むべきことを具体的に明確にします。最後に、毎日を充実させるために行動を起こし、「やるなら、今」の意識を持ちます。これらのステップを通じて、学生は知識・理解を深め、幅広いスキルを身につけ、将来への準備を進めます。この講座では、ディプロマポリシーIIを目指し、建学の精神を理解し、主体的に実践できる姿勢や社会人として必要な態度を身につけます。同時に、カリキュラムポリシー I とVIも取り組んで

担当教員名	科目名	学科	履修学年 時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
大多 正人	キャリアデザインⅢ	共通	2年生前期	選択	2	するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。この授業では、第4回〜第5回にかけて外部講師を招いてオムニバス形式で行われます。この外部講師は、大学・短期大学校でのキャリア教育講師や産業カウンセラー、キャリアコンサルタント養成講座などで長年にわたりキャリア指導に従事しています。講師らは実務の視点か	プを踏むための準備を徹底的にサポートします。業界や企業を絞り込み、入念な事前研究を行う一方で、自己分析を通じて履歴書やエントリーシートの準備にも重点を置いています。これにより、学生たちは自身の強みを最大限に引き出し、企業へのアプローチに自信を持つことができます。徹底的な自己分析と企業研究を通じて、就職活動を有意義なものにし、理想のキャリアを構築する一歩を踏み出す手助けをしています。また、第4回から第5回にかけての授業では、外部講師を招いてオムニバス形式で実施されます。このアプローチを通じて、学生たちは大学教育では得られない実践的なキャ	履歴書やエントリーシートをしっかりと準備し、アピールボイントを明確に示します。これによ
大多 正人	キャリアデザインIV	共通	2年生後期	選択	2	る傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。 豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第4回〜第12回の授業に登壇する外部講師は、幅広い実務経験を有し、学生たちに有益な知識を提供しています。九州を拠点に企業・大学・自治体と協力し、進学・キャリアに関連する学校連携事業に参画してきた経営者や、「社会人の準備のため」に尽力し、長年にわたり就職活動に不可欠なスキル(自己分析・企業研究・業界研究・採用試験対策等)を取り上げ、学生たちが実践的なスキルを身につけられるよ	びます。まず、ルールと流れを理解し、これまでの自己整理と企業が求める人物像を把握します。自身のスキルや興味、価値観を考慮し、グループディスカッションと模擬面接で人間力を向上させます。模擬面接では自己表現力を養い、魅力的なアピール方法を磨きます。また、第4回から第12回では外部講師を招き、実務経験を通じた知識を共有します。採用手法や自治体連携企業説明会の実例を通して、九州地区の就職活動状況を解説します。経験豊富な講師が企業の採用プロセスに基づいた実践的な情報を提供します。また、SPI試験に焦点を当て、数理論理能力問題などを解説し、学生たち	就職活動において成功するためには、まずルールと流れを理解し、これまでの自己整理と企業が望む人物像を明確に把握することが不可欠です。自身の仕事におけるスキルややりたい仕事に対する興味、そして譲れない価値観を考慮に入れ、後半にはグループディスカッションと模擬面接を通じて人間力を向上させることを目指します。他者との意見交換を通して意見を発信し、相互理解を深めることで、コミュニケーション力を高めます。また、模擬面接を通じては自己表現力を養い、面接において魅力をアピールする方法を習得します。さらに、SPI3の演習では、自己の基礎能力を視覚化し向上を目指します。自身の強みや改善が必要な点を見つけ出すことで、より効果的な学習とスキル向上の方法を理解し、着実な成長を遂げていきます。この講座では、「社会基準」を大切にし、ディプロマポリシーIIIを目指します。建学の精神を理解し、自ら進んで実践する姿勢や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることが目標です。同時に、カリキュラムポリシーI(建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと)とカリキュラムポリシーVI(キャリア開発の技術を培い、将来の進路に備えること)にも取り組みます。特に、2年生の皆さんには、将来の就職に備えて、社会基準に則った授業で、実践的なスキルや適切な態度を身につけ、職場での成功につなげましょう。
大多 正人	キャリアデザインV	共通	3年生前期	選択	2	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。 豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第4回〜第6回、第9回〜11回の授業に登壇する外部講師は、幅広い実務経験を有し、学生たちに有益な知識を提供しています。進学・キャリアに関連する学校連携に携わってきたキャリアコンサルタントや、「社会人の準備のため」に尽力し、長年にわたり就職活動に不可欠なスキル(自己分析・企業研究・業界研究・採用試験対策等)を取り上げ、学生たちが実践的なスキルを身につけられるよう支援してきた指導者が社会での成功に向けて必要な知識やスキルを効果的に習得すること目指します。	ア教育と就業支援に尽力しています。同時に、企業の人事採用コンサルタントとしても活動し、最新の情報を通じて学生たちに進路決定に必要な視点を提供しています。学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝えています。第2回〜第6回、第9回〜第11回は、企業等の外部講師を招き、オムニバス形式で授業を展開します。就職ナビサイトの活用知識を深めて即戦態勢までに高め、学生たちに迅速な就職活動のスタートを切らせます。第9回〜第11回ではSPI試験対策を講じます。これらの授業を通じて、学生たちは実践的なスキルを向上させ、自信をもって就	進路・就職活動の総仕上げに焦点を当てたこの講義では、模擬面接や自己PRの作成、SPI対策などの実践的なスキルを磨くことが重要とします。学生は自らが主体となり、進路や就職活動において必要なスキルや知識を獲得し、実践的な経験を積んでいきます。このプロセスを通じて、学生たちは自己成長を促進し、ひとりで自分の進路や就職活動を堂々と進める自信を身につけます。この講座は、ディプロマポリシーIIIを目指し、建学の精神を理解し自己を進んで実践する態度や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることを目標としています。同時に、カリキュラムポリシーI およびVIに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけることが期待されています。この講座では、学生が将来の就職活動を円滑に進めるために必要な実践的なスキルを向上させ、自信をつける準備が整います。学生が自らの将来を積極的に「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、悔いのない進路選択ができるようにサポートします。
大多 正人	キャリアデザインVI	共通	3年生後期	選択	2	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。 豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第4回〜第6回、第9回〜12回の授業に登壇する外部講師は、民間企業等で幅広い実務経験を有し、学生たちに有益な知識を提供しています。企業採用に関わってきた人事採用担当者や、「社会人の準備のため」に尽力し、長年にわたり就職活動に不可欠なスキル(自己分析・企業研究・業界研究・採用試験対策等)を取り上げ、学生たちが実践的なスキルを身につけられるよう支援してきた指導者が上場・大手企業の内定獲得に向けて必要な知識やスキルを効果的に習得すること目指します。	ア教育と就業支援に尽力しています。同時に、企業の人事採用コンサルタントとしても活動し、上場・大手企業の多様な採用試験の傾向を通じて学生たちに進路決定に必要な視点を提供しています。学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力も伝えています。第4回〜第6回、第9回〜第12回は、企業等の外部講師を招き、オムニバス形式で授業を展開します。求められるスキルや知識を上場・大手企業の担当者から学び、学生たちに迅速な就職試験のスタートを切らせます。第9回〜第10回ではSPI試験対策を講じます。第11回〜第12回では集団・個人面接の対策を講じます。これらの授業を通じて、学生たちは実践的なスキルを向上	この講義では、国内の上場・大手企業への就職を志し、更に上位の企業から内々定を勝ち取るスキルを身につけます。授業では、就職活動に不可欠な情報やスキルを習得しますが、その際には国内の上場・大手企業を志望・受験する条件があります。履歴書やエントリーシートの作成、面接対応など、実践的な就職活動の準備が行われ、求められるスキルや知識を上場・大手企業の人事担当者から学びます。自己分析を進め、自らの強みを明確に把握することも重要です。最終的な目標は、理想の企業から内々定を獲得することであり、学生たちはその目標に向かって決意を持ち、積極的に進展していきます。授業は定員制で、上場・大手企業への志望と受験が求められるため、限られた枠内で目指す企業への内定獲得に向けて効果的なスキルを養います。この講座は、ディプロマポリシーIIIを目指し、建学の精神を理解し自己を進んで実践する態度や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることを目標としています。同時に、カリキュラムポリシー I およびVIに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけることが期待されています。この講座では、学生が将来の就職活動を円滑に進めるために必要な実践的なスキルを向上させ、自信をつける準備が整います。学生が自らの将来を積極的に「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、悔いのない進路選択ができるようにサポートします。
豊田桃子	ゲームプログラミング	共通	2年生 前期	選択	2	・Webアプリケーションの開発 ・JavaScriptを使用したゲームプログラミングの開発 ・JavaScriptのゲームフレームワークPhaserを使用したゲームプロ グラミングの開発	・JavaScriptゲームプログラミング ・WEBアプリケーション開発(データベース・インフラ・アプリ 開発・プログラミングなど)	本講義では、ディプロマポリシーに基づき、プログラミングの基本をおさえつつシューティング ゲームを開発し、 実践的なゲーム開発の基礎を学ぶ、本講義では、JavaScriptを使用する。 本講義を担当する講師は、現在ゲーム・アプリ開発に携わっており、 ゲーム・アプリ作成に関する技術だけでなく、関連業界についても 熟知しているため、ゲーム・アプリ関連業界を目指す学生を歓迎する。

担当教員名	科目名	学科	履修学年 時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
吉野 正	日本国憲法	共通	1年生 後期	選択	2	弁護士実務50年の経験の中で多くの憲法事案を取り扱ってきた。	実際に憲法が適用される事例をあげて、憲法の考え方を教示する。	めまぐるしく発展する現代社会の中で生じてきた憲法のさまざまな論点を理解することを通じて、 憲法の基本的な知識としくみについて解説します。この講義では、特に日本国憲法において実際の 社会で生じた具体的な事件に焦点を当てながら皆さん自身の立場や価値観を見つめなおす機会にし てもらいたいと思います。 教職課程を目指す受講者には、教育者として学生のもつ人権に配慮することの意味と役割について 理解することができるようになることを求めます。 なおこの講義は、建学の精神・ディプロマポリシーに基づき、弁護士として実際に勤務している教 員が担当します。
遠藤 真紀	経営学総論	共通	1年生 前期	必修	2	建築設備会社(5年):建築設備施工管理(1級土木・2級管工事施工管理技士),建材卸売会社(10年):商品開発,営業管理(1級販売士),経営コンサルタント(30年):経営診断,中小企業経営支援(中小企業診断士,QMS/EMS Lead Auditor)	支援実務を通じて得た知見を元に、経営関連科目の講義を通じて、 理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会 で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や	・本学の建学の精神、3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ、中小企業診断士として企業の経営戦略や事業計画作成支援など、経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・「経営学総論 I (経営学入門)」では、企業と社会についての基本的な視点から、企業経営に関する基本理論を体系的に理解するとともに、その理論の背景や意義などについても考察していきます。 ・テキストを基に、伝統的な理論から現代の経営学まで、その形成過程や今日的課題について講義を進めます。現代企業の経営は、情報システムやネットワーク技術との関わりで進化しています。理論だけでなく、これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。・なお人数制限はありませんが、履修人数が多い場合は2つの教室を使い、片方が教室で対面授業、もう片方が教室でオンライン授業となる事があります(学籍番号で割り振りし、対面とオンラインは交互に入れ替えます)。
学科共通 計 2								

担当教員名	科目名	学科	履修学年 時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
井上 善海	経営学総論=	経営情報学科	1年生 後期	選択	2	企業経営者11年 経営コンサルタント9年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等,経営コンサルタント の実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。	本学の建学の精神、3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ、企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等、経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。企業経営のあり方等について理解するとともに、各理論の背景や意義などについても考察していきます。テキストを基に、伝統的な理論から現代の経営学まで、その形成過程や今日的課題について講義を進めます。現代企業の経営は、情報システムやネットワーク技術との関わりで進化していることから、これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。 「経営学総論 II」では、「経営学総論 I」で理解した内容を基礎に、より理解を深めるため現実の企業経営政策・経営現象について、経営管理という視点で客観的に考察を行っていきます。
平山(誠一郎	税法学	経営情報学科	3·4年生 後期	選択	2	国税組織において、税法の解釈・適用に関する審理事務や課税処分に対する不服審査事務などを含む税務の実務経験(35年)を有する。	実務経験に基づき、税法理論と税法を執行する税務行政の両面から 「税」をとらえ講義を行う。	「租税は、…およそ民主主義国家にあっては、国家の維持及び活動に必要な経費は、主権者たる国民が共同の費用として代表者を通じて定めるところにより自ら負担すべきものである」(大島判決(最判:昭和60年3月27日判決))とされている。税とは何か、税による国家の活動にはどのようなものがあるかを学ぶ。また、身近な税である所得税・消費税を取り上げ、今後学生諸君が実生活に出てどのようにかかわっていくかなどを学ぶ。なお、所得税の確定申告書を作成するなど実践的な学習を行う。 国税庁ホームページにアクセスして、所得税の申告書作成システムを利用した所得税確定申告書の作成模擬演習を行うなど、電子機器を取り入れた授業も予定している。
吉野 正	会社法	経営情報学科	2年生前期	選択	2	弁護士実務50年、長年の監査役経験を有する。多くの会社法関連 事件を処理してきた。	会社法関連事例を具体的にとりあげて、会社法の実務運用を教示する。	会社の法的な仕組みを学んで行きます。まず、会社の法的な性質を理解できるようになった上で、会社の種類ごとの法的な性質の違いを学びます。その後、株式会社の4つの類型を学んで、株式会社の各機関(株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、委員会等)の機能を理解できるよう授業を進めます。最後に取締役にどのような責任が課せらているかを学んで行きます。なおこの講義は、建学の精神・ディブロマポリシーに基づき、弁護士として実際に勤務している教員が担当します。
遠藤 真紀	中小企業論	経営情報学科	2・3年生 前期	選択	2	建築設備会社(5年):建築設備施工管理(1級土木・2級管工事施工管理技士),建材卸売会社(10年):商品開発,営業管理(1級販売士),経営コンサルタント(30年):経営診断,中小企業経営支援(中小企業診断士,QMS/EMS Lead Auditor)	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営 支援実務を通じて得た知見を元に、経営関連科目の講義を通じて、 理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会 で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や 中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・中小企業は、わが国において企業数および雇用される従業員数とも圧倒的多数を占め、またわが 国産業の競争力を下支えしています。IT人材(高度情報化人材)として必要な知識として、大企業 との格差問題や下請問題のみならず。中小企業が社会や地域経済に寄与していることについて考察
遠藤 真紀	経営戦略論	経営情報学科	1年生 後期	選択	2	建築設備会社(5年):建築設備施工管理(1級土木・2級管工事施工管理技士),建材卸売会社(10年):商品開発,営業管理(1級販売士),経営コンサルタント(30年):経営診断,中小企業経営支援(中小企業診断士,QMS/EMS Lead Auditor)	支援実務を通じて得た知見を元に、経営関連科目の講義を通じて、 理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会	・本学の建学の精神、3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ、中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等、経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・IT人材(高度情報化人材)として必要な、経営戦略に関する基本理論を体系的に理解するとともに、その理論の背景や意義などについても考察していきます。テキストを基に、伝統的な理論から現代の戦略論まで、その形成過程や今日的課題について講義を進めます。・現代企業の経営戦略が、情報システムやネットワーク技術との関わりで進化していることから、これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。

担当教員名	科目名	学科	履修学年 時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
遠藤 真紀	ペンチャービジネス入門	経営情報学科	1年生 後期	選択	2	建築設備会社(5年):建築設備施工管理(1級土木・2級管工事施工管理技士),建材卸売会社(10年):商品開発,営業管理(1級販売士),経営コンサルタント(30年):経営診断,中小企業経営支援(中小企業診断士,QMS/EMS Lead Auditor)	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営 支援実務を通じて得た知見を元に、経営関連科目の講義を通じて、 理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会 で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や 中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神、3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ、中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等、経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・過去の実務経験を基に、ベンチャービジネスに限らず社会やビジネスそのもの、および企業の目的・意義について議論を展開していきます。 ・ビデオの資料等を活用し、身近な事例を題材に講義を進め、働く事の意義やベンチャー企業および社会そのものに関心を持ってもらい、IT人材(高度情報化人材)としての基本的な知識の修得や企業と自分との関係を知ろうとする積極性を養っていきます。卒業後、社会に出て「何をすべきか」「自分ならどうするか」という自らの答えを導き出せる思考能力を培っていきます。
遠藤 真紀	ベンチャー企業論	経営情報学科	2·3年生 後期	選択	2	建築設備会社(5年):建築設備施工管理(1級土木・2級管工事施工管理技士),建材卸売会社(10年):商品開発,営業管理(1級販売士),経営コンサルタント(30年):経営診断,中小企業経営支援(中小企業診断士,QMS/EMS Lead Auditor)	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営 支援実務を通じて得た知見を元に、経営関連科目の講義を通じて、 理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会 で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や 中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神、3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ、中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等、経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・ベンチャーだけでなく、ビジネスや経営は、実際に行ってみないと本当の理解はできません。しかしテキストによる基本理論の理解やビデオ・資料等による演習を通じて疑似体験する事は可能です。 ・これまでの実務経験を踏まえ、企業経営が身近に感じられるような講義を行い、IT人材(高度情報化人材)として必要なベンチャー企業に関する基本的な知識および自身と社会や企業との関わりについて深く知ろうとする積極性を養っていきます。
遠藤 真紀	ピ・ジ・ネスプ・ランニング	経営情報学科	3·4年生 後期	選択	2	建築設備会社(5年):建築設備施工管理 (1級土木・2級管工事施工管理技士),建材卸売会社(10年):商品開発,営業管理 (1級販売士),経営コンサルタント(30年):経営診断,中小企業経営支援(中小企業診断士,QMS/EMS Lead Auditor)	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に、経営関連科目の講義を通じて、理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神、3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ、中小企業診断士として企業の事業計画や創業計画の作成支援など、経営コンサルティング実務の経験を持つ教員が担当します。 ・新しくビジネスを興す時、製品・サービスの市場性等の見きわめ(市場調査・需要予測などの外部環境分析)や自社(自分)の能力評価(内部環境分析)が必要です。過去の実務経験を踏まえ、アイディアの出し方やまとめ方および事業計画の作成方法をテキストやワークシート等を使って講義します。なお週一回の断片的な講義では、考えがまとまらなかったり、作業が進まなかったりするため、例年、土日を使った集中特別講義を行っています。 ・最終的には、IT人材(高度情報化人材)として自分のビジネスアイディアを事業計画書にまとめ、その内容をプレゼンテーションしてもらいます。
経営情報学科 計							1	

担当教員名	科目名	学科	履修学年 時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
岸川 洋	モバイルネットワーク	情報ネットワーク学科	3・4年生 前期	選択	2	電気通信事業会社勤務(30年)、交換設備部門(11年)(研究開発担当(3年)、計画担当(2年)、設計担当(2年)、調達担当(2年)、保守担当(2年))、端末機器部門(3年)(開発担当)の実務経験を有する。		学習目標・目的(学則第3条)を踏まえて、ネットワーク関連の情報通信技術の知識とその活用能力を修得することを目的とする。 電気通信事業会社で、交換設備部門(開発、計画、設計、調達、保守)の実務経験のある教員が、モバイル通信のしくみ、モバイル通信の歴史等を解説することにより、第5世代・第6世代までの基礎知識を学修する。図表を作成し要点を整理することにより、理解を深める。連絡事項はGoogleクラスルームにおいて確認できる。授業の資料はGoogleクラスルームにおいて入手できる。毎回の課題やレポートはGoogleクラスルームに提出する。授業の質問や感想はGoogleクラスルームにも提出できる。
平塚 智一	Webシステム	情報ネットワーク学科	2年生前期	選択	2	ウェブサイト制作等におけるディレクター、プログラマー、デザイナーとしてウェブ制作会社勤務(15年)の実務経験を有する。	ウェブ制作会社における実務経験をもとに、実例を交えた講義を行います。	ディプロマポリシーに基づき、この授業では、ビジネスパーソンおよびITエキスパートとして仕事をする上で必須となるWeb技術の基礎について、現在、システム開発会社でエンジニアとしてWeb制作や開発を行っている教員が実務経験を生かした授業を行う。 科目「Webデザイン(Webコンテンツ制作 I)」での学習を踏まえて、各種Webサービスが提供する機能とそのための構造、それらを支える基盤技術やプログラミング技術について総合的に学習する。Web関連ファイルについて理解を深める。
平塚 智一	Webデザイン	情報ネットワーク学科	1年生 後期	選択	2	ウェブサイト制作等におけるディレクター、プログラマー、デザイナーとしてウェブ制作会社勤務(15年)の実務経験を有する。	ウェブ制作会社における実務経験をもとに、実例を交えた講義を行います。	ディプロマポリシーに基づき、この授業では、ビジネスパーソンおよびITエキスパートとして仕事をする上で必須となるWeb技術の基礎について、現在、システム開発会社でエンジニアとしてWeb制作や開発を行っている教員が実務経験を生かした授業を行う。ビジネスとインターネット、各種サービスとインターネットを概観する。ユーザ・インターフェイスと提供したいサービスの機能・構造との関係をどのようにデザインするか考察する。基本的なHTMLおよびCSSについて学習する。
情報ネットワーク学科 計								